船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事

【建築工事】

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	表紙・図面リスト	A-42	１階平面図（放射線系統）	A-83	建具共通事項	K-06	仮設養生計画図（１階平面図）（５）
A-02	建築改修工事特記仕様書（1）	A-43	１階平面図（検査・外来系統）	A-84	（改修前・改修後）建具表（１）	K-07	仮設養生計画図（１階平面図）（６）
A-03	建築改修工事特記仕様書（2）	A-44	１階平面図（リハビリ系統）	A-85	（改修前・改修後）建具表（２）	K-08	仮設養生計画図（２階平面図）（１）
A-04	建築改修工事特記仕様書（3）	A-45	１階平面図（管理部門-１系統）	A-86	（参考）１階玄関廻り詳細図	K-09	仮設養生計画図（２階平面図）（２）
A-05	建築改修工事特記仕様書（4）	A-46	１階平面図（管理部門-２系統）	A-87	（参考）風除室平面図・天井伏図・展開図	K-10	仮設養生計画図（３階平面図）（１）
A-06	建築改修工事特記仕様書（5）	A-47	１階平面図（管理部門-３系統）	A-88	（改修前）１階搬入扉建具詳細図	K-11	仮設養生計画図（３階平面図）（２）
A-07	建築改修工事特記仕様書（6）	A-48	１階平面図【全体】・改修建具キープラン	A-89	（改修後）１階搬入扉建具詳細図	K-12	仮設養生計画図（４階平面図）（１）
A-08	建築改修工事特記仕様書（7）	A-49	２階平面図【南側工事】	A-90	（改修前）外部建具詳細図（１）AW-K01～06	K-13	仮設養生計画図（４階平面図）（２）
A-09	建築改修工事特記仕様書（8）	A-50	２階平面図【北側工事】・改修建具キープラン	A-91	（改修前）外部建具詳細図（２）AW-K17	K-14	（既存）オイルタンク詳細図
A-10	建築材料等品質性能表（1）	A-51	３階平面図【南側工事】	A-92	（改修後）建具詳細図（１）排煙窓	K-15	浄化槽配置平面図
A-11	建築材料等品質性能表（2）	A-52	３階平面図【北側工事】・改修建具キープラン	A-93	（改修後）建具詳細図（２）滑り出し窓	K-16	浄化槽詳細図（１）
A-12	建築材料等品質性能表（3）	A-53	４階平面図【南側工事】	A-94	（改修後）建具詳細図（３）AW-K17	K-17	浄化槽詳細図（２）
A-13	概要・案内図	A-54	４階平面図【北側工事】・改修建具キープラン	A-95	（改修後）建具詳細図（４）AW-K17	K-18	浄化槽詳細図（３）
A-14	利用者・スタッフエリア図（１階）	A-55	（改修前）PH・R階平面図	A-96	雑詳細図（１）	K-19	ラフタークレーン配置図
A-15	利用者・スタッフエリア図（２～４階）	A-56	（改修後）PH・R階平面図	A-97	雑詳細図（２）	K-20	オールテレーンクレーン検討図 （断面図）
A-16	概略工事工程表（案）	A-57	立面図（１）	A-98	PH階屋上基礎ほか改修概要	K-21	オールテレーンクレーン検討図 （作業半径）
A-17	工区分け計画図（1階平面図）	A-58	立面図（２）	A-99	（改修前）PH階機械置場平面図	K-22	植栽平面図
A-18	屋根伏図兼配置図	A-59	断面図（１）	A-100	（改修後）PH階機械置場平面図	K-23	仮設間仕切り1階平面図（１）エントランス
A-19	外部仕上表（１）	A-60	断面図（２）	A-101	（改修前）PH階平面詳細図	K-24	仮設間仕切り1階平面図（２） 売店・事務室
A-20	外部仕上表（２）	A-61	断面詳細図（１）	A-102	（改修後）PH階平面詳細図	K-25	仮設間仕切り1階平面図（３）給食、放射線
A-21	内部仕上表（１）	A-62	断面詳細図（２）	A-103	（改修前）屋上断面図	K-26	仮設間仕切り1階平面図（４）検査・外来
A-22	内部仕上表（２）	A-63	断面詳細図（３）	A-104	（改修後）屋上断面図	K-27	仮設間仕切り1階平面図（５）リハビリ
A-23	内部仕上表（３）	A-64	断面詳細図（４）	A-105	（改修前）屋上断面詳細図（１）	K-28	仮設間仕切り1階平面図（６）管理部門-1
A-24	内部仕上表（４）	A-65	１階平面詳細図（１）	A-106	（改修前）屋上断面詳細図（２）	K-29	仮設間仕切り1階平面図（７）管理部門-2
A-25	内部仕上表（５）	A-66	１階平面詳細図（２）	A-107	（改修前）屋上断面詳細図（３）	K-30	仮設間仕切り1階平面図（８）管理部門-3
A-26	内部仕上表（６）	A-67	１階平面詳細図（３）	A-108	目隠しルーバー詳細図	K-31	仮設間仕切り2～4階平面図（南側）
A-27	内部仕上表（７）	A-68	１階平面詳細図（４）	A-109	パラペット詳細図	K-32	仮設間仕切り2～4階平面図（北側）
A-28	内部仕上表（８）	A-69	２～４階平面詳細図（１）	A-110	（改修前・改修後）PH階目隠しルーバー平面図		
A-29	内部仕上表（９）	A-70	２～４階平面詳細図（２）	A-111	（改修前・改修後）PH階目隠しルーバー展開図		
A-30	内部仕上表（１０）	A-71	２階平面詳細図	A-112	（改修前）PH階目隠しルーバー断面詳細図		
A-31	内部仕上表（１１）	A-72	３・４階平面詳細図	A-113	（改修前・改修後）PH階目隠しルーバー詳細図		
A-32	内部仕上表（１２）	A-73	１階天井伏図（１）	A-114	外部標準詳細図（１）（屋上鉄骨）	S-01	構造関係特記仕様書（１）
A-33	内部仕上表（１３）	A-74	１階天井伏図（２）	A-115	外部標準詳細図（２）（屋上架台金物）	S-02	構造関係特記仕様書（２）
A-34	内部仕上表（１４）	A-75	１階天井伏図（３）			S-03	構造関係特記仕様書（３）
A-35	内部仕上表（１５）	A-76	１階天井伏図（４）			S-04	構造関係共通事項
A-36	内部仕上表（１６）	A-77	２階天井伏図（１）			S-05	PH階 屋上伏図 （改修後）
A-37	内部仕上表（１７）	A-78	２階天井伏図（２）	K-01	仮設計画図（配置図）	S-06	PH階 屋上伏図 鉄骨フレーム(改修後)
A-38	ピット階平面図	A-79	３階天井伏図（１）	K-02	仮設養生計画図（１階平面図）（１）	S-07	鉄骨フレーム柱・梁レベル伏図
A-39	１階平面図（エントランス系統）	A-80	３階天井伏図（２）	K-03	仮設養生計画図（１階平面図）（２）	S-08	メンテナンス通路レベル伏図・軸図
A-40	１階平面図（売店・事務室系統）	A-81	４階天井伏図（１）	K-04	仮設養生計画図（１階平面図）（３）	S-09	詳細図（１）(既存)目隠しルーバー
A-41	１階平面図（給食系統）	A-82	４階天井伏図（２）	K-05	仮設養生計画図（１階平面図）（４）	S-10	詳細図（２）(既存)目隠しルーバー

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 穣夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-01
図面名	表紙・図面リスト	縮尺 N.S.	(131/402)
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

工事名称：船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事

Ⅰ．工事概要

1. 工事場所　千葉県船橋市夏見台４丁目２番ほか
2. 敷地面積　18,574.92㎡
3. 主要用途　病院
4. 工期　令和 10 年 4 月 28 日　まで
（工期内に完成検査を行い、引渡しを完了すること。）
5. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	備考
船橋市立					
リハビリテーション病院	RC	4階	5,949.59	14,158.09	

6. 工作物、外構等

Ⅱ．建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書による。
「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）

2. 特記仕様

1）項目は、●のついたものを適用する。
2）特記事項は、●印及び●印の付いたものを適用する。（☒及び○は適用しない。）
3）特記事項に記載の（　）内表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）6 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年法律第100 号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年12月22日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表１中の品目ごとの判断基準）を満たすものを示す。
5）建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項については、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（令和3年版）一般社団法人　公共建築協会」による。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	● 1. 適用基準等	● 建築工事標準詳細図　（令和4年版） ● 営繕工事写真撮影要領　（令和5年版） ● 建築工事安全施工技術指針　（平成27年） ● 建設工事公衆災害防止対策要綱　（令和元年） ● 千葉県福祉のまちづくり条例　施設整備マニュアル　（平成30年） ● 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　（令和4年度版） ○ 建築物解体工事共通仕様書　（令和4年版） ○ 公共建築木造工事標準仕様書　（令和4年版） ● デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（国営建技第14号　令和5年3月1日） ○ （　　）
	● 2. 工事実績情報の登録	(1.1.4) 本工事の最終請負代金(消費税込)が、500万以上となる場合には、工事実績情報システム（CORINS）に、基づき工事実績データを作成する。また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センターに所定の手続きにより登録するとともに、登録内容確認書の写しを提出する。 1）工事受注時　契約締結後10日以内 2）登録内容の変更時　契約事項の確定日から10日以内 3）工事完成時　工事完成後10日以内
	○ 3. 電気保安技術者	(1.3.3) ○ 自家用電気工作物、　○ 一般電気工作物 ただし、自家用電気工作物の場合は標準仕様書1.3.3(1)～(3)によるものとする。
	● 4. 保険	受注者は、本工事着手前に、工事目的物や工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険（建設工事保険・土木工事保険・組立保険・火災保険等）、工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険（請負業者賠償責任保険等）に必ず加入しなければならない。なお、第三者への保険については、対人賠償はひとりにつき２億円、一事故につき５億円、対物賠償は一事故につき３億円を最低填補限度額とすること。また、建設機械器具に生じる損害を填補する保険（動産総合保険・機械保険等）、運送中の工事材料や建設機械器具等に生じる損害を填補する保険（貨物海上保険・運送保険等）工事作業員の身体傷害を填補する保険（法定外労災補償・労働災害総合保険・傷害保険等）等には、必要に応じ加入すること。
	● 5. 設計GL	■ 図示、○　設計GL = 現状GL
	● 6. 施工条件	(1.3.5) 資材置場及び駐車場所 ○ 敷地内　○ 敷地外（ ○ 無償　○有償） （千葉県船橋市＿＿＿＿番＿＿＿＿） ● 週休２日制モニタリング工事 本工事は、週休２日制モニタリング工事である。受注者は、原則、週休２日で施工すること。また、工事の実施にあたっては、「週休２日制モニタリング工事実施マニュアル（試行）（営繕工事）」に基づき行うこと。 ●猛暑による作業不能日数 ○ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ○ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
	● 7. 環境への配慮	(1.4.1) (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の 1）から 4）を満たすものとする。 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗装、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 2）接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 3）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 4）1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の 1）又は 2）に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3）又は4）に該当する材料を指す。 1）建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 2）建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 3）建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 4）建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	● 8. 材料の品質等	(1.4.2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③安定的な供給が可能であること ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水材、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、錆鋲ふた
	○ 9. 技能士	(1.5.2) 適用工事種別 ／ 技能検定作業 ○ 仮設工事 ／ ○ とび作業 ○ 鉄筋工事 ／ ○ 鉄筋組立作業 ○ コンクリート工事 ／ ○ 型枠施工　○ コンクリート圧送工事作業 ○ 鉄骨工事 ／ ○ 構造物鉄工事作業　○ とび作業 ○ コンクリートブロック、ALCパネル、押出成形セメント板工事 ／ ○ コンクリートブロック工事作業 ○ ALCパネル工事作業 ○ 防水工事 ／ ○ アスファルト防水工事作業 ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ○ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ セメント系防水工事作業 ○ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ○ FRP防水工事作業　○ シーリング防水工事作業 ○ 石工事 ／ ○ 石張り作業 ○ タイル工事 ／ ○ タイル張り作業 ○ 木工事 ／ ○ 大工工事作業 ○ 屋根及びとい工事 ／ ○ 内外装板金作業 ○ 金属工事 ／ ○ 鋼製下地工事作業　○ 内外装板金作業 ○ 左官工事 ／ ○ 左官作業 ○ 建具工事 ／ ○ ビル用サッシ施工作業　○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業 ○ 金属製カーテンウォール工事作業 ○ カーテンウォール工事 ／ ○ ビル用サッシ施工作業　○ ガラス工事作業 ○ 塗装工事 ／ ○ 建築塗装作業 ○ 内装工事 ／ ○ カーペット系床仕上作業 ○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業　○ 壁装作業 ○ 排水工事 ／ ○ 建築配管作業 ○ 舗装工事 ／ ○ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ○ 加熱ペイントハンドマーカー工事作業 ○ 植栽工事 ／ ○ 造園工事作業
	● 10. 化学物質の濃度測定	(1.5.9) ・施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、報告すること。 ☒ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ○パラジクロロベンゼン(用途が学校の場合、上記項目に追加する。) 測定はパッシブ型採集機器により行う。 着工前の測定　○ 行わない、　● 行う 測定対象室　○ 図示、　●（　監督員の指示による　） 測定箇所数　○図示、　●（　監督員の指示による　）
	● 11. ワンデーレスポンス	船橋市ワンデーレスポンス実施マニュアルに基づき実施するものとする。
	○ 12. 材料試験	コンクリート圧縮試験及び鉄筋の引張等試験については、公益財団法人千葉県建設技術センター等の試験機関で実施すること。
	● 13. 発生材の処理	別記-1による。　(1.3.11)
	● 14. 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 施工範囲は別記-2（工事区分表）による。
	● 15. 安全対策	・受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。 ・発注者が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。
	● 16. 過積載による違法運行の防止	工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1）積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 2）さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3）過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。 4）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5）建設発生土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請事業者及び骨材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。 6）以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。
	● 17. 環境対策	・受注者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と、円滑な工事施工を図ること。 ・建設機械は、排ガス対策車及び、低騒音型を使用すること。 ・特定粉じん排出等作業（法定外建築物・作業を含む）は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施行する。 ・本工事で使用する軽油については、ＪＩＳ規格軽油を使用すること。 ・受注者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督職員の指示により協力しなければならない。 ・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び容器は可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄物の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。
	● 18. 工事現場管理	受注者は、工事の施工にあたっては、不法・違法無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	● 19. 中間検査	(1.6.2) ☒本工事は中間技術検査の対象である。 中間技術検査は、船橋市工事技術検査要綱に基づき実施する。 ●中間検査を実施する　（回数：＿＿ 回） 実施時期： 中間検査の範囲 ＿＿＿＿＿＿＿＿
	● 20　社内検査	受注者は、監督職員と協議のうえ、次の各号により社内検査を行なわなければならない。 （１）社内検査に従事する者（以下「社内検査員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び検査の事前に社内検査を行い、検査時にその結果を所定の様式により提出しなければならない。 （２）社内検査員は、当該工事に従事していない社内の者とする。 （３）社内検査は、契約図書及び関係図書に基づき、安全、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり行うものとする。 （４）社内検査員の資格は５年以上の現場経験を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。
	● 21. 創意工夫等	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
	● 22. 設計図CADデータ	・設計図CADデータ　：● 貸与する、○ 貸与しない 貸与する設計図CADデータを当該工事の施工図または完成図の作成以外の目的に使用してはならない。
	● 23. 完成図等	(1.8.1～3) 完成図一式を「船橋市営繕工事電子納品の手引き」により提出する。
	● 24. 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	● 25. 提出書類	受注者は、提出書類を船橋市請負工事提出書類様式集に基づいて、監督職員に提出しなければならない。
	○ 26. 施設点検	本工事完成（「工事目的物の引渡し」を行った日）後、1年目及び2年目に関係者（建築課、工事監理事務所、施設管理者、受注者）による施設点検（不具合の有無を確認し、その処理について協議）を行うので、当課からの依頼により施設点検に立会い協力するものとする。
2 仮設工事	○ 1. 監督職員事務所	(2.3.1) ・監督職員事務所の　規模(㎡) ○ 10程度、○ 20程度、○ 35程度、○ 65程度、○ 100程度、○ （　）程度 ・備品等の種類及び数量 ○ 書棚、○ 図面架、○ 見本棚、☒ 机及びいす、○ 更衣ロッカー（　）、 ○ ゴム長靴（　）、　○ 雨合羽（　）、○ ヘルメット（　）、○ 墜落制止用器具（　） ☒ 検査用機器
	● 2. 工事用水	構内既存の施設　☒ 利用できない、● 利用できる（☒ 有償、　○ 無償）
	● 3. 工事用電力	構内既存の施設　☒ 利用できない、● 利用できる（☒ 有償、　○ 無償）
	● 4. 仮囲い等	仮囲い　● 成型鋼板（H= 2.0 m、L= 190 m） ○ （　　） 出入口　○ シャッターゲート（W=　　m、H=　　m） ● キャスターゲート（W= 8.0 m、H= 2.0 m） ● キャスターゲート（W= 6.0 m、H= 2.0 m）
	● 5. 仮設通路	● 鋼板敷き（長さ6.0m、幅1.5m、厚さ22mm、　38　枚） ● 鋼板敷き（長さ3.0m、幅1.5m、厚さ22mm、　8　枚）
	● 6. 交通誘導員	配置人数　：（　36　）人 配置期間　：（　　） 配置場所　：（　　）
	● 7. 仮設足場	(2.2.4) 枠組足場の設置に当たっては、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省　平成21年 4月）により、手すり先行工法の種類は、別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2(2)手すり据置き方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 手すり先送り方式は不可とする。 また、別紙2「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とすること。 なお、別契約の関係業者がある場合は、当該業者に無償で使用させること。
3 土工事	○ 1. 埋め戻し及び盛り土	(3.2.3)(表3.2.1) ・材料及び工法　： ☒ 標準仕様書表3.2.1による ○ A 種　適用場所（　　） ☒ B 種　適用場所（　　） ○ C 種　適用場所（　　）、土質（　　）、受渡場所（　　） ○ D 種　適用場所（　　） ○ 材料（　　）、工法（　　）
	○ 2. 建設発生土の処理	(3.2.5) ○ 構内指示の場所に堆積、○　構内指示の場所に敷き均し、○（　　） ○ 構外搬出適切処理（別記-1による）
4 ～7		「４　地業工事」、「５　鉄筋工事」、「６　コンクリート工事」、「７　鉄骨工事」は、構造関係特記仕様書による。

章	項目	特記事項
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	○ 1. 補強コンクリートブロック造	(8.2.2.3,5,7,8) ・ブロックの種類　： 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ(mm) ／ モジュール呼び寸法(mm) 長さ ／ 高さ ／ 化粧の有無 ／ 適用箇所 ／ 備考 ○ ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ○ ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ・モルタルの調合（容積比）　： ☒ 標準仕様書表8.2.1による　○ セメント（　　）：砂（　　） ・各の配筋　：☒ 図示、○（　　） ・目地仕上げ　：○ 押し目地仕上げ、　○ 化粧目地仕上げ ・まぐさを受ける開口部両側のブロックにモルタル又はコンクリートを充填する範囲　： ☒ 図示、○（　　）
	○ 2. コンクリートブロック帳壁及び塀	(8.3.2～4) ・ブロックの種類　： 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ(mm) ／ モジュール呼び寸法(mm) 長さ ／ 高さ ／ 化粧の有無 ／ 表8.3.1以外の適用箇所 ／ 備考 ☒空洞ブロックC(16) ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ○ 型枠状ブロック 20 ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ○ ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ・モルタルの調合（容積比）　： ☒ 標準仕様書表8.2.1による、　○ セメント（　　）：砂（　　） ・塀の厚さ(mm)　： 壁の高さが2m以下　☒120、○（　　） 壁の高さが2m超え　☒150、○（　　） ・壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　：☒ 図示、○（　　） ・各部の配筋　：☒ 図示、　○（　　）
	○ 3. ALCパネル	(8.4.2～5) ・ALCパネルの区分等　： 区分 ／ 単位荷重(N/㎡) 正荷重 ／ 負荷重 ／ 厚さ(mm) ／ 幅及び長さ ／ 耐火性能(時間) ／ 構法の種別 ○ 外壁用 ／ ○ 一般 ○ コーナー ／ ○ 平 ○ 意匠 ／ ／ ／ 図示による ／ ○ なし ○ 1 ／ ☒ F種 ○ 間仕切壁用 ／ ○ 一般 ○ コーナー ／ ○ 平 ○ 意匠 ／ － ／ － ／ 図示による ／ ○ なし ○ 1 ／ ○ F種 ○ D種 ○ E種 ○ 屋根用 ／ － ／ － ／ ／ ／ 図示による ／ 0.5 ／ ○ 床用 ／ － ／ － ／ ／ ／ 図示による ／ ○ 1 ○ 2 ／ ・パネルの相互の接合部に充填する耐火目地材　：○（　　） ・外壁、屋根パネルの構法における耐風圧性能　： 建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、 ○ 1.3）倍の耐風圧性能 ・外壁パネル、間仕切りパネルにおける耐震性能　： 地震力に対する安全性 設計用震度 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 設計用水平震度（K_H） ☒ 1.0 ○ 設計用鉛直震度（K_V） ☒ 0.5 ○ 設計用震度に対して有害な残留ひずみが生じないこと。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 ○ 1/100 ○ 1/200 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと ・パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合：　☒ 図示、○（　　） ・パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm)　：☒ 10～20、○（　　） ・外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填　：○ 適用する、○ 適用しない
	○ 4. 押出成形セメント板（ECP）	(8.5.2～5) ・ECPの種類等　： パネルの種類 ／ 形状 ／ 厚さ(mm) ／ 幅(mm) ／ 工法の種別 ／ 備考 ○ 外壁パネル ／ ○ F ／ ○ 50、○ 60、○ 60 ／ ☒ 600 ○ ／ ○ A種 ○ B種 ／ ○ D ／ ○ 50、○ 60 ／ ／ ／ ／ ○ T ／ 60 ／ ／ ／ ／ ○ 間仕切壁パネル ／ ○ F ／ ○ 50、○ 60、○ 60 ／ ☒ 600 ○ ／ ○ B種 ○ C種 ／ ○ D ／ ○ 50、○ 60 ／ ／ ／ ／ ○ T ／ 60 ／ ／ ／ ／ 形状　F：フラットパネル、D：デザインパネル、T：タイルベースパネル ・外壁パネルの工法における耐風圧性能　： 建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、 ○ 1.3）倍の耐風圧性能 ・外壁パネル、間仕切りパネルにおける耐震性能　： 地震力に対する安全性 設計用震度 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 設計用水平震度（K_H） ☒ 1.0 ○ 設計用鉛直震度（K_V） ☒ 0.5 ○ 設計用震度に対して有害な残留ひずみが生じないこと。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 ○ 1/100 ○ 1/200 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと ・パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合：　☒ 図示、○（　　） ・パネル相互の目地幅（mm）：　☒長辺（　　mm）、☒ 短辺（　　mm） ・出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)：　☒ 15mm程度、○（　　） ・耐火構造以外の目地及び隙間の処理　：　☒ パネル製造所の仕様、○（　　） やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。 ／ 孔あけ及び欠き込みの大きさ ／ 切断後のパネルの残り部分の幅 パネルに孔あけを設ける場合 ／ 短辺 ／ パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 ／ 150mm以下 ／ 長辺 ／ 500mm以下 ／ 300mm以下 パネルに欠き込みを設ける場合 ／ 短辺 ／ パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 ／ 300mm以下 ／ 長辺 ／ 500mm以下 ／ 300mm以下

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-02
図面名	建築改修工事特記仕様書（１）	縮尺 NS	(132/402)
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

9 防水工事

○ 1. アスファルト防水

(9.2.2～5)(表 9.2.3～9)

屋根保護防水
・防水層の種別 :

種 別	施工箇所	断熱材 ⓖ	絶縁用シート
○ A-1			⊠ ポリスチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度
○ A-2			○
○ A-3			
○ B-1			
○ B-2		JIS A 9521に基づく押出ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) 厚さ mm	
○ AI-1			⊠ フラットヤーンクロス70g/㎡程度
○ AI-2			○
○ AI-3			
○ BI-1			
○ BI-2			

・改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ :
⊠ 標準仕様書表9.2.3から表9.2.4による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○( )
材料構成による区分 ⊠ R種
厚さ ○( ) mm以上
・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ :
⊠ 標準仕様書表9.2.5から表9.2.6による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○( )
材料構成による区分 ⊠ R種
厚さ ○( ) mm以上
・立上り部への断熱材及び絶縁用シート :
⊠ 設置しない、○ 設置する
・平場の保護コンクリートの厚さ :
こて仕上げ ⊠ 水下 80mm以上、○( )
床タイル張り ⊠ 水下 60mm以上、○( )
・立上り部の保護方法 :
○ 乾式保護材(品質・性能及び試験方法は、建築材料等品質性能表による)
窯業系パネルⅠ類 厚さ( ) mm、幅( ) mm
○ れんが押え (⊠ JIS R 1250、○)
○ コンクリート押え
○ モルタル押え(屋内)

屋根露出防水
・防水層の種別 :

種別	施工箇所	断熱材 ⓖ	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 ⓖ
○ D-1			⊠ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	⊠ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	○ 適用する
○ D-2					○ 適用する
○ DI-1		標準仕様書9.2.2(9)ｳ 種類 : 厚(mm) :	○	○	○ 適用する
○ DI-2					○ 適用する

・改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ :
⊠ 標準仕様書表9.2.8による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○( )
材料構成による区分 ⊠ R種
厚さ ○( ) mm以上
・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ :
⊠ 標準仕様書9.2.7及び9.2.8による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○( )
材料構成による区分 ⊠ R種
厚さ ○( ) mm以上
・絶縁断熱工法のルーフドレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 :
⊠ 図示、○( )
・絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 :
種類 ⊠ アスファルトルーフィング類の製造所の指定、○( )
設置数量 ⊠ アスファルトルーフィング類の製造所の指定、○(個)
屋内防水
・防水層の種別 :

種別	施工箇所
○ E-1	
○ E-2	

・保護層 : ○ 設ける(⊠ 図示、○)、○ 設けない
・E-1の工程3を行う部位 :
⊠ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
○ ( )
・防水層の下地の立上り :
⊠ コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
○ ( )
・立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 :
⊠ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度、○ ( )
・防水層の下地のモルタル塗り :
○ 適用する(施工範囲 : ⊠ 図示、○)、○ 適用しない
・屋上排水溝 : ⊠ 図示、○ ( )

○ 2. 改質アスファルトシート防水

(9.3.2.3)(表 9.3.1～3)

屋根露出防水
・防水層の種別 :

種別	施工箇所	断熱材 ⓖ	防湿用シート	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 ⓖ
○ AS-T1				⊠ 改質アスファルトシートの製造所の仕様	⊠ 改質アスファルトシートの製造所の仕様	○ 適用する
○ AS-T2						○ 適用する
○ AS-T3						○ 適用する
○ AS-T4						○ 適用する
○ AS-J1						○ 適用する
○ ASI-T1		標準仕様書9.3.2(3) 種類 :	○ 設ける 改質アスファルトシートの製造所の仕様	○	○	○ 適用する
○ ASI-J1		厚(mm) :	○ 設けない			○ 適用する

・改質アスファルトシートの種類及び厚さ :
⊠ 標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○( )
材料構成による区分 ⊠ R種
厚さ ○( ) mm以上
・粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ :
⊠ 標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○( )
材料構成による区分 ⊠ R種
・部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ :
⊠ 標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○( )
材料構成による区分 ⊠ R種
・立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 :
⊠ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度、○ ( )
・絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 :
種類 ⊠ 改質アスファルトシートの製造所の指定、○( )
設置数量 ⊠ 改質アスファルトシートの製造所の指定、○(個)

○ 3. 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～4)(表 9.4.1～3)

屋外防水
・防水層の種別 :

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材 ⓖ	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 ⓖ
○ S-F1				⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○	⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○	○ 適用する
○ S-F2						○ 適用する
○ S-M1				⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○	⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○	○ 適用する
○ S-M2						○ 適用する
○ SI-F1			標準仕様書9.4.2(3)ｲb 種類 :	⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○	⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○	○ 適用する
○ SI-F2			厚(mm) :			○ 適用する
○ SI-M1			標準仕様書9.4.2(3)ｲa 種類 :	⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○	⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○	○ 適用する
○ SI-M2		⊠ 発泡ポリエチレンシート ○	厚(mm) :			○ 適用する

・S1-F1、S1-F2、S1-M1及びS1-M2の仕様 :
⊠ 非歩行仕様、○ 軽歩行仕様
・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム :
○ 設置する、○ 設置しない
屋内防水
・防水層の種類 :

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗り厚さ
○ S-C1		mm	⊠ 7mm以下、○

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類 :
目地割 ⊠ 目地割2㎡程度、最大目地間隔3mm程度、○ ( )
目地の種類 ⊠ 押し目地、○( )
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ :
⊠ 標準仕様書表9.4.1、表9.4.2、及び表9.4.3による
○ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類( )、厚さ(mm)
固定金具の材質及び寸法形状 :
⊠ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼鈑及びそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
○( )
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 :
⊠ ルーフィングシートの製造所の仕様
○ 種類( )、設置装置(個)
接着工法の場合のPCコンクリート部材下地の目地処理 :
○ 行う(○ 図示、○)、○ 行わない
PCコンクリート下地の入隅部の増張り(種別 S-F1、S1-F1の場合) :
○ 行う(○ 図示、○)、○ 行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け :
建築基準法に基づき定まる風圧力の(○ 1、○ 1.15、○ 1.3)倍の風圧力に対応した工法

● 4. 塗膜防水

(9.5.3)(表 9.5.1、2)

・防水層の種別 :

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	高日射反射率防水 ⓖ
○ X-1		○ 主材料の製造所の仕様 ○	⊠ 主材料の製造所の仕様 ○		○ 適用する
● X-2	屋上基礎周囲	● 主材料の製造所の仕様 ○	● 主材料の製造所の仕様 ○		○ 適用する
○ Y-1	⊠ 地下外壁防水 ○				
○ Y-2	⊠ 屋内防水 ○			⊠ 適用する ○ 適用しない	

・ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 :
種類 ⊠ 主材料の製造所の指定、○( )
設置数量 ⊠ 主材料の製造所の指定、○(個)

○ 5. ケイ酸質系塗布防水

(9.6.1、3、4)(表9.6.1)

・防水層の種別 :

種別	施工箇所	備考
⊠ C-SUI		
○ C-SUP		

・防水層の下地 :
壁 : ⊠ コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)、○( )
天井部 : ⊠ コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)、○( )
・下地処理 :
コンクリートの打継ぎ箇所の処理 :
⊠ 打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。
○ 図示、○( )
標準仕様書9.6.4(2)の(ｲ)、(ﾛ) 以外の下地処理
○ 図示、○(

● 6. シーリング

(9.7.2～5)(表 9.7.1)

・シーリングの種類
下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による。
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

・仕上げを行わない施工箇所 : ⊠図示、 ○( )
・シーリング材の目地寸法 :
⊠ 標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による、 ○図示、○( )
・接着試験 : ⊠ 簡易接着性試験、○ 引張接着性試験

10 石工事

○ 1. 施工

(10.1.3)

・石材の割付け : ⊠図示、 ○( )

○ 2. 石材等

(10.2.1、3)(表10.2.1、2)

・天然石 :

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法(mm)	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考
○ 床石		⊠ 図示			

・テラゾブロック :

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	⊠ 大理石 ○ 花こう岩	⊠ 1.5～12 ○	○ 平もの ○ 役もの	○ 片面 ○ 両面			

・テラゾタイル :

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考
	⊠ 大理石 ○ 花こう岩	⊠ 1.5～12 ○	○ 300型 ○ 400型		

・取付け用モルタル、既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料等 :
⊠ 専門工事業者の指定する製品、○( )

○ 3. 外壁湿式工法

(10.2.2、3)(10.3.2、3)

・石材の厚さ ⊠図示 ○(mm)
・受金物 材質 : ⊠ SUS304、○ ( )
形状及び寸法 : ○ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
○ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm
・アンカーの材質及び径 : ⊠ SS400 M12、○( )
・あと施工アンカーの材質、寸法等 : ○ ( )
・ドレインパイプの材質 : ○ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ ○( )
・石裏面処理 : ○ 適用する、○ 適用しない
・裏打ち処理 : ○ 適用する、○ 適用しない
・下地ごしらえ : ⊠ あと施工アンカー 横筋横流し工法
○ あと施工アンカー工法
○ 流し筋工法
・目地 :
一般目地 目地幅(mm) ⊠ 6mm以上、 ○ ( )
シーリング材 ○ 適用する、 ○ 適用しない
伸縮調整目地 位置 ⊠ 標準仕様書11.1.1による、○ 図示
シーリング材の目地寸法 ⊠ 幅・深さとも10mm以上、 ○ 図示

● 4. 内壁空積工法

(10.2.2)(10.4.2、3)

⊙石材の厚さ ⊠図示 ○(mm)
・受金物 材質 ⊠ SUS304、 ○( )
形状及び寸法 ○ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
○ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm
・あと施工アンカーの材質、寸法等 : ○ ( )
⊙石裏面処理 : ● 適用する、○ 適用しない
・裏打ち処理 : ○ 適用する、○ 適用しない
⊙下地ごしらえ : ● あと施工アンカー・横筋流し工法
○ あと施工アンカー工法
⊙目地 :
一般目地 目地幅(mm) ● 6mm以上、 ○ ( )
シーリング材 ○ 適用する、 ● 適用しない
伸縮調整目地 位置 ⊠ 6m程度ごと、 ○ 図示
シーリング材の目地寸法 ⊠ 幅・深さとも10mm以上、○ 図示

○ 5. 外壁乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)

・石材の厚さ ⊠図示 ○(mm)
・乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 :
⊠ 標準仕様書 表10.2.4による(方式 ○スライド方式、 ○ ロッキング方式)
○ 図示
・あと施工アンカーの材質及び寸法等 : ( )
・だぼ用の穴の位置 : ⊠ 標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による、 ○( )
・裏打ち処理 : ○ 適用する、○ 適用しない
・外壁の工法 :
建築基準法に基づき定まる風圧力の (○ 1、○ 1.15、○ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法
・目地 : 目地幅(mm) ⊠ 8mm以上、○ ( )
シーリング材 ⊠ 標準仕様書表9.7.1により幅・深さとも8mm以上 ○図示

● 6. 床及び階段の石張り

(10.6.2、3)

・石材の厚さ ●図示 ○(床 30 mm、階段 mm)
・浸透性吸収防水剤
(床石張り) ○ 適用する ○ 適用しない
・石裏面処理
(床石張り) ○ 適用する ○ 適用しない
(階段張り) ○ 適用する ○ 適用しない
・裏打ち処理
(床石張り) ○ 適用する ○ 適用しない
⊙一般目地 目地幅(mm) 屋外 ⊠ 4以上、 ○( )
屋内 ● 3～6 、 ○( )
シーリング材 ○ 適用する、○ 適用しない
・伸縮調整目地 位置 ○ 図示、 ○ 標準仕様書10.6.2(5)(ｲ)
シーリング材の目地寸法 ⊠幅・深さとも10mm以上 ○ 図示

10 石工事

○ 7. 笠木、甲板等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、3)

・石材の厚さ ⊠図示 ○(mm)
・取付け工法 : ○ 外壁湿式工法、○ 乾式工法
・特殊部位用金物 :
材質 ⊠ ステンレス(SUS304) 、○( )
寸法等 引金物 ⊠ 標準仕様書10.2.2(3)による 、○( )
だぼ ⊠ 標準仕様書10.2.2(3)による 、○( )
かすがい ⊠ 標準仕様書10.2.2(3)による 、○( )
受け金物 ⊠ 標準仕様書10.2.2(1)(ｲ)による、○( )
・乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 :
⊠ 標準仕様書表10.2.4に準ずる(方式 ○ スライド方式、○ ロッキング方式)、○ 図示
・あと施工アンカーの材質、寸法等 : ○ ( )
・石裏面処理 : ○適用する、○適用しない
・乾式工法の場合の取付け代 : ○ 70mm程度、○ ( )
・石材裏面の補強用モルタル : ○ 適用する、○ 適用しない
・目地 :
湿式工法の場合
一般目地 目地幅 ⊠ 6mm以上 、○ ( )
シーリング材 ○ 適用する、○ 適用しない
伸縮調整目地 位置 ⊠ 標準仕様書表11.1.1による、○ 図示
シーリング材の目地寸法 ⊠ 幅、深さとも10mm以上 、○ 図示
乾式工法の場合
目地材 ⊠ 8mm以上、 ○ ( )
シーリング材 ⊠ 標準仕様書9.7.1により目地幅・深さとも8mm以上 ○ ( )

⑪ タイル工事

○ 1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)(表11.1.1)

・位置 : ⊠ 標準仕様書表11.1.1による、 ○ 図示
・目地寸法 : ⊠ 標準仕様書9.7.3による、 ○( )

○ 2. 見本焼き試験施工

(11.1.4)

見本焼き :
○ 行う(施工箇所 :) ○行わない
試験張り :
○ 行う(範囲、仕様等は図示) ○行わない

● 3. セメントモルタルによるタイル張り

(11.2.2、6)

・タイルの形状、寸法等 : 標準的な曲がりの役物は一体成形とする

施工箇所	外壁			
種類	磁器質			
形状寸法(mm)	50×50・45×45			
再生材料 ⓖ	○適用する	○適用する	○適用する	○適用する
吸水率による区分	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ
うわぐすり	●有 ○無	○有 ○無	○有 ○無	○有 ○無
役物	○有 ●無	○有 ○無	○有 ○無	○有 ○無
色	●標準 ○特注	○標準 ○特注	○標準 ○特注	○標準 ○特注
耐凍害性	●有 ○無	○有 ○無	○有 ○無	○有 ○無
耐滑り性	○	○	○	○
備考				

・既調合モルタル :
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)
・既調合目地材 :
(品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)
・下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 :
⊠ 目荒し工法(高圧水洗処理)、 ○ MCR工法、○ ( )
・壁タイル張りの工法 :
内装タイル ⊠ 密着張り、 ○ 改良圧着張り
外装タイル ○ 密着張り、 ○ 改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ○マスク張り、 ○ モザイクタイル張り

○ 4. 有機系接着剤によるタイル張り

(11.3.2～5)

・タイルの形状、寸法等 : 標準的な曲がりの役物は一体成形とする

施工箇所				
種類				
形状寸法(mm)				
再生材料 ⓖ	○適用する	○適用する	○適用する	○適用する
吸水率による区分	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ
うわぐすり	○有 ○無	○有 ○無	○有 ○無	○有 ○無
役物	○有 ○無	○有 ○無	○有 ○無	○有 ○無
色	○標準 ○特注	○標準 ○特注	○標準 ○特注	○標準 ○特注
耐凍害性	○有 ○無	○有 ○無	○有 ○無	○有 ○無
耐滑り性	○	○	○	○
備考				

・内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 : ⊠ F☆☆☆☆ ○ ( )
・下地調整塗りを行うコンクリート素地面の処理 :
○ MCR工法、 ○目荒し工法(高圧水洗処理)、 ○ ( )
・目地のシーリング材 :
打継ぎ目地 ⊠ポリウレタン系シーリング材 、○( )
ひび割れ誘発目地 ⊠ポリウレタン系シーリング材 、○( )
伸縮調整目地 ⊠変成シリコーン系シーリング材、○( )
その他の目地 ⊠変成シリコーン系シーリング材、○( )

・外装タイルの目地詰め
⊠ 行う ○ 行わない

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		
図面名	建築改修工事特記仕様書(2)	縮尺	N.S
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

図面番号 A-03

章	項目	特記事項
12 木工事	○ 1. 施工一般	(12.2.1) 材料のホルムアルデヒド放散量 ： ⊠ F☆☆☆☆ ○ ( )
	○ 2. 製材 G	(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1) ・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 ：

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		⊠ 2級 ○	⊠ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない
		⊠ 2級 ○	⊠ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		⊠ 上小節 ○	⊠ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない
見え掛り面以外		⊠ 小節以上 ○	⊠ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない
			⊠ A種 ○ B種 ○		

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		⊠ 1等 ○	⊠ 10%以下 ○ A種 ○ B種		○ する ○ しない
		⊠ 1等 ○	⊠ 10%以下 ○ A種 ○ B種		○ する ○ しない

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率	間伐材等の適用
		○ ○ 造作材 （⊠ A種、○ B種）	○ する ○ しない	⊠ A種 ○ B種 ○	○ する ○ しない
		○ ○ 造作材 （⊠ A種、○ B種）	○ する ○ しない	⊠ A種 ○ B種 ○	○ する ○ しない

	○ 3. 造作用集成材 G	(12.2.1)

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 ：

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					⊠ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない
					⊠ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 ：

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				⊠ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない
		化粧薄板： 芯材：				⊠ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 ：

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				⊠ 15%以下 ○	○ する ○ しない
				⊠ 15%以下 ○	○ する ○ しない

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 ：

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				⊠ 15%以下 ○	○ する ○ しない
		化粧薄板： 芯材：				⊠ 15%以下 ○	○ する ○ しない

	○ 4. 造作用単板積層材 G	(12.2.1)

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 ：

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			○ 有り（加工 ○ 天然木加工 ○ 塗装加工 ） ○ 無し（等級 ○ 1等、○ 2等、○ 3等）	○ する ○ しない	○ する ○ しない
			○ 有り（加工 ○ 天然木加工 ○ 塗装加工 ） ○ 無し（等級 ○ 1等、○ 2等、○ 3等）	○ する ○ しない	○ する ○ しない

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材 ：

施工箇所	寸法(mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		○ 有り（加工 ○ 天然木加工、○ 塗装加工 ） ○ 無し（ ）	⊠ 14%以下 ○	○ する ○ しない	○ する ○ しない
		○ 有り（加工 ○ 天然木加工、○ 塗装加工 ） ○ 無し（ ）	⊠ 14%以下 ○	○ する ○ しない	○ する ○ しない

・JAS 3079 に基づく直交集成板 G ：

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							○ する ○ しない
							○ する ○ しない

章	項目	特記事項
12 木工事	○ 5. 合板等	(12.2.1)

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G ：

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	⊠ 5.5 ○		⊠ 1類 ○ 2類	広葉樹⊠ 2等以上、○ 1等 針葉樹⊠ C-D以上、○	○ する ○ しない ○ する ○ しない	○ する ○ しない ○ する ○ しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G ：

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	保存処理	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	⊠ 12 ○	⊠ 2級以上 ○ 1級		⊠ 1類 ○ 特類	⊠ C-D以上 ○		○ する ○ しない ○ する ○ しない	○ する ○ しない ○ する ○ しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G ：

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			⊠ 1類 ○ 特類	○ する ○ しない	○ する ○ しない
				○ する ○ しない	○ する ○ しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧用合板 G ：

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			⊠ 1類 ○ 2類	○ する ○ しない	○ する ○ しない
				○ する ○ しない	○ する ○ しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G ：

施工箇所	品目	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工の方法	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
					⊠ 1類 ○ 2類	○ する ○ しない	○ する ○ しない
						○ する ○ しない	○ する ○ しない

・パーティクルボード G ：

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
	⊠ 15 ○		⊠ 13タイプ ○	⊠ P又はM ○		○ する ○ しない ○ する ○ しない

・JAS 0360 に基づく構造用パネル ：

施工箇所	品名	寸法(mm)

・MDF G ：

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						○ する ○ しない ○ する ○ しない

	○ 6. 接合具等	(12.2.2) ・造作材の化粧面の釘打ち ⊠ 適用する（ ⊠隠し釘打ち ○ ） ○ 適用しない ・諸金物の形状、寸法及び材質 (12.2.2)（表12.2.3～表12.2.5） ⊠ 標準仕様書12.2.2(2)(7)による ・接着剤（木れんが用接着を含む）のホルムアルデヒド放散量 ： (12.2.2、3) ⊠ F☆☆☆☆
	○ 7. 防腐・防蟻処理	(12.3.1、2) ・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材 ： 適用部位 ○（ ） ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 ：

適用部材	保存処理性能区分
	○ K2、○ K3、○ K4
	○ K2、○ K3、○ K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 ：

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	⊠ 薬剤の製造所の仕様による ○	⊠ JIS K 1571に適合又は同等品 ○

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位 ○（ ）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位 ○（ ）

	○ 8. 内部間仕切軸組及び床組	(12.4.1) ・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ⊠杉又は松 ○ ・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ⊠杉又は松 ○
	● 9. 窓、出入口その他	(12.5.1) ・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ⊠吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ○
	○ 10. 床板張り	(12.6.1) ・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ⊠ひのき ○
	○ 11. 壁及び天井下地	(12.7.1) ・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ⊠杉又は松 ○

章	項目	特記事項
13 屋根及びとい工事	○ 1. 長尺金属板葺	(13.2.2、3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
	⊠ JIS G 3322の屋根用コイル ○			○ 心木なし瓦棒葺 ○ 立平葺 ○ 蟠掛葺 ○ 横葺	

・下葺材料 ： ○ アスファルトルーフィング 940
○ 改質アスファルトルーフィング下葺材
（ ○ 一般タイプ、○ 複層基材タイプ、 ○ 粘着層付タイプ）
・横葺きの場合のけらば納め
○つかみ込み納め ○ けらば包み納め
・工法 ：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
・雪止め ： ○ 設置する（設置箇所：⊠ 図示、○ ）
○ 設置しない

	○ 2. 折板葺	(13.2.2)(13.2.3)(表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分 山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	○ 重ね形 ○ はぜ締め形 ○ かん合形			（ ）種	⊠ 鋼板製 ○ アルミニウム合金板製		○ 有り ○ 無し	○ 30分 ○ 無し

・材料 ： 板及びコイルの種類 ⊠ JIS G 3322 ○ （ ）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ○（ ）
・断熱材張り ○ 行う（種別. 、厚さ(mm) 、防火性能. 時間）
○ 行わない
・工法 ：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用
○ 適用する ○ 適用しない
折板のけらば納め
⊠ けらば包みによる方法、○ （ ）

	○ 3. 粘土瓦葺	(13.4.2、3)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の採用
							○ する ○ しない
							○ する ○ しない

・JIS A 5208に基づく凍害試験等 ： ⊠ 行わない、○ 行う
・瓦桟木 ： 材質 ⊠ 杉、○ ひのき、○ （ ）
寸法 ⊠ 幅21×高さ15(mm)、○ （ ）
・棟補強用心材 ： 材質 ⊠ 杉、○ ひのき、○ （ ）
寸法 ⊠ 幅40×高さ30(mm)、○ （ ）
・瓦緊結用釘及びねじ
種類（ ） 径（ ） 長さ（ ）
・棟補強等に使用する金物等 ：
材質 ○ ステンレス製、 ○ 亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法、留め付け等 ⊠ 図示、○ （ ）
・工法 ：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
・瓦桟木の留付け工法 ⊠ 図示、○ （ ）
・棟の工法 標準仕様書13.4.3.(4)による、 ○ 7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟
○ のし積み棟
・面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
○ モルタル ○ 瓦葺き用しっくい

	○ 4. とい	(13.5.2、3)(表 13.5.1～4)

・といその他の材種 ：
○ 配管用鋼管、 硬質ポリ塩化ビニル管、○ ルーフドレイン、
○ 表面処理鋼板（ ○ 表面及び裏面の塗膜の種類： ○ 耐酸被覆鋼板 ）
・とい受金物 ：
材種 ⊠ 表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）、○ （ ）
形状 ⊠ 表13.5.2による、○ （ ）
取付け間隔 ⊠ 表13.5.2による、○ （ ）
・足金物 ：
材種 ⊠ 表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）、○ （ ）
形状 ⊠ 表13.5.2による、○ （ ）
取付け間隔 ⊠ 表13.5.2による、○ （ ）
・多雪地域の場合の軒どいの取付間隔 ： ⊠ 0.5m以下 、○（ ）
・防露材のホルムアルデヒド放散量 ： ⊠ F☆☆☆☆、 ○（ ）
・鋼管製といの防露巻き ：
⊠ 適用する（工法 ⊠ 標準仕様書表13.5.4による、○ ）
○ 適用しない
・ルーフドレン

種別	施工箇所
○ ろく屋根用（ ○ 縦型、○ 横型）	
○ バルコニー用	
○ バルコニー中継用	

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-04
図面名	建築改修工事特記仕様書（３）	縮尺 NS	(134/402)
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

⑭ 金属工事

○ 1. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表14.2.1)

種別	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
○ AB-1種		
○ AB-2種		
○ AC-1種		
○ AC-2種		
○ BA-1種		
○ BA-2種		
○ BB-1種		
○ BB-2種		
○ BC-1種		
○ BC-2種		
○ C種		

色合い等（シルバー、アンバー、ブロンズ、ブラック系、ステンカラー、特注色）

・陽極酸化皮膜の着色方法 ：⊠ 二次電解着色、○ 三次電解着色

● 2. 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)（表14.2.2）

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
	○ A種	
● 溶融亜鉛めっき	○ B種	
	○ C種	
	○ D種	
○ 電気亜鉛めっき	○ E種	
	○ F種	

● 3. 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)(表14.4.1)

・野縁等の種類 ： 屋外（ ⊠ 25形、○ 19形）
屋内（ ● 19形、○ 25形）

・屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法 ：
建築基準法に基づき定める風圧力の（○ 1、○1.15、 ○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ○ 図示、○（ ）
周辺部の端からの間隔 ○ 図示、○（ ）
野縁の間隔 ○ 図示、○（ ）

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 ：
補強方法 ⊠ 図示、 ○（ ）

・天井のふところが3.0mを超える場合 ：
補強方法 ⊠ 図示、 ○（ ）

・天井下地材における耐震性を考慮した補強 ：
補強箇所 ⊠ 図示、 ○（ ）
補強方法 ⊠ 図示、 ○（ ）

・特定天井 ：
範囲 ○ 図示、 ○（ ）
特定天井の設計用震度及びクリアランス
特定天井告示（平成25年国土交通省告示第771号）による特定天井の設計用震度
検証ルート（ ）

室名	階	設計用水平震度（K_{H}）	設計用鉛直震度（K_{V}）	クリアランス（mm）

・特定天井以外の在来工法による吊り天井のうち天井材の落下により著しい影響がある室のもの（緊結吊天井） ：
範囲 ○ 図示、 ○（ ）
補強方法
標準仕様書14.4.2～14.4.4に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1）～4）のとおりとする。
1） 野縁受けは、相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め。
2） 野縁や野縁受けの隣り合うジョイントの位置は、互いに 1m 以上離し、千鳥状に配置。
3） 野縁受けと吊ボルトの接合に用いるハンガーは、ねじ留め等の措置（開き止め）を講じる。
4） 野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示第3第3項に適合する天井に用いられるもの、または、耐風圧クリップ相当の緊結度合を「新たな特定天井の技術基準（天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様の追加）の解説（平成28年7月版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所他）の「付録1 クリップの接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。
なお、当該クリップは、JIS A 6517にならなくてもよいものとする。

・システム天井 ：
範囲 ○ 図示、 ○（ ）
種別 ⊠ グリッドタイプ
耐震性
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_{H}） ⊠ 1.0 、○（ ）
設計用鉛直震度（K_{V}） ⊠ 0.5 、○（ ）
層間変形角 ○ 1/100、○ 1/200、 ○（ ）

● 4. 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3,4)(表14.5.1)

・スタッド、ランナーの種類 ：
⊠ 標準仕様書14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類、 ○ 図示
・スタッドの高さが5.0mを超える場合 ：⊠ 図示、○（ ）
・出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ：
⊠ 標準仕様書14.5.4(5)による、 ○（ ）

○ 5. 金属成形板張り

(14.6.2,3)

・種別 ：⊠図示、 ○（ ）
・表面処理 ：○図示、 ○（ ）
・取付け用下地 ：○標準仕様書14.4による、○ 図示
・伸縮調整継手 ：○設ける（施工箇所 ○ 図示、○（ ））
○設けない

○ 6. アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)

・種類 ：○ 250形、○ 300形、 ○ 350形
・表面処理 ：○ 種別 （ ）種
色合等 ○ 標準色（ ○ アンバー、○ ブロンズ、○ ブラック系、○ ステンカラー）
○ 特注色（ ）
・笠木の固定金具の工法等 ：
建築基準法に基づき定める風圧力の（○ 1、○1.15、 ○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法

15 左官工事

○ 1. ラス系下地

(15.2.4)

・下地の種類
○ 通気構法 （ ○二層下地 ○ 単層下地 ）
○ 直張り構法（ ○ラスモルタル下地 ○ ラスシートモルタル下地 ）
○ 図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合）
・材料
ラス材及び補強用平ラス
種類記号（ ⊠K ○ ）
種類及び1単位面積当りの質量
○ 二層下地通気構法
○ 波形ラス（W700） ○ こぶラス（K800） ○ 力骨付きラス（ＢＰ700）
○ 単層下地通気構法
○ リブラスＣ（ＲＣ800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス
○（ ）
ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分
⊠ＬＳ４（耐力壁の場合） ○（ ）

○ 2. せっこうボードその他のボード下地

(15.2.5)

・せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ
種類（○GB-R ○GB-L ○ ） 厚さ（ mm）
・木質系セメント板の種類及び厚さ
種類（○ ） 厚さ（ mm）

○ 3. こまい下地

(15.2.6)

・建築基準法に基づく耐力壁の指定 ○なし ○あり

○ 4. 木ずり下地

(15.2.7)

・材料
木ずり用小幅板の材種 ⊠ 杉（芯去り材） ○（ ）

● 5. モルタル塗り

(15.3.2、5)

⊙モルタル ：○ 現場調合材料、● 既調合材料（ ）
・既製目地材 ：○ 設ける（施工箇所（ ）、形状（ ⊠ 図示、 ○ 設けない
⊙床の目地 ：● 設ける（目地割り ● 2㎡程度（最大目地間隔3m程度）、○ （種類 ⊠ 押し目地、○ ）
○ 設けない
⊙外装タイル張り下地等のモルタル等塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ：○ 適用する、● 適用しない
・防水剤 ： 品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による

● 6. 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)

・建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ：⊠ Ｆ☆☆☆☆、○（ ）
・仕上塗材の種類 ：
薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料	仕上げの形状及び工法等
○ 外装薄塗材 Si	○	仕上げの形状
○ 可とう形外装薄塗材 Si	○	○ 砂壁状
○ 外装薄塗材 E	○	○ ゆず肌状（ ○ 吹付け、○ ローラー塗り）
○ 可とう形外装薄塗材 E	○	○ さざ波状
○ 防水形外装薄塗材 E	○	○ 平たん状
○ 外装薄塗材 S	○	○ 凹凸状（ ○ 吹付け、○ こて塗り）
○ 内装薄塗材 C	○	○ 着色骨材砂壁状（ ○ 吹付け、○こて塗り）
○ 内装薄塗材 L	○	○ 砂壁状じゅらく
○ 内装薄塗材 Si	○	○ 京壁状じゅらく
○ 内装薄塗材 E	○	工法
○ 内装薄塗材 W	○	吸放湿性 ○ 適用する、○ 適用しない

厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料	仕上げの形状及び工法等
○ 外装厚塗材 C	○	
○ 外装厚塗材 Si	○	仕上げの形状
○ 外装厚塗材 E	○	○ 吹放し、 ○ 凸部処理、 ○ 平たん状
○ 内装厚塗材 C	○	○ 凹凸状、 ○ ひき起こし、○ かき落とし
○ 内装厚塗材 L	○	
○ 内装厚塗材 G	○	工法等
○ 内装厚塗材 Si	○	吸放湿性 ○適用する、○ 適用しない
○ 内装厚塗材 E	○	上塗材 ○適用する、○ 適用しない

複層仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料	仕上げの形状及び工法等
○ 複層塗材 CE	○	仕上げの形状
○ 可とう形複層塗材 CE	○	○ ゆず肌状、○ 凸部処理、 ○ 凹凸状
○ 複層塗材 Si	○	工法等
○ 複層塗材 E	○	耐候性 ⊠ 耐候形３種、 ○
○ 複層塗材 RE	○	上塗材
○ 防水形複層塗材 CE	○	溶媒 ⊠ 水系、○ 溶剤系、○ 弱溶剤系
● 防水形複層塗材 E	○	樹脂 ⊠ アクリル系、○
○ 防水形複層塗材 RE	○	外観 ⊠ つやあり、○ つやなし、
○ 防水形複層塗材 RS	○	○ メタリック

軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料
○ 吹付用軽量塗材	○
○ こて塗用軽量塗材	○

○ 7. マスチック塗材塗り

(15.7.2)

・種別 ： ○ A種、 ○ B種

○ 8. しっくい塗り

(15.10.1～4)

・下地の種類 ○（ ）
○ 標準仕様書15.10.1による場合以外の下地への適用（ ）
・材料
○ 標準仕様書15.10.2(1)(ア)、(イ)による
色しっくい ： ○ 適用する ○ 適用しない
○（ ）
・調合及び塗厚 ：
既調合しっくい ⊠標準仕様書15.10.3(1)による ○（ ）
現場調合しっくい ⊠標準仕様書15.10.3(2)による ○（ ）
・既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
○ なで切り仕上げ ○ パターン仕上げ

○ 9. ロックウール吹付け

(15.12.2、3)

・ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ：⊠ Ｆ☆☆☆☆、○（ ）
・接着剤のホルムアルデヒド放散量 ：⊠ Ｆ☆☆☆☆、○（ ）
・吹付け厚さ（mm） ： ○ 図示、 ○ 25、 ○（ ）

⑯ 建具工事

○ 1. 防火戸

(16.1.3)

○ 建具表による、 ○（ ）

○ 2. 見本の製作等

(16.1.4)

・建具見本の製作 ： ○ 行う（建具符号： ）、 ○ 行わない
・建具見本の程度 ： ○ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
○ 納まり等が分かる程度のもの
・特殊な建具の仮組 ： ○ 行う（建具符号：図示）
○ 行わない

○ 3. 防犯建物部品

(16.1.6)

○ 適用する（ ○ 建具表による、 ○ 図示）、 ○ 適用しない

● 4. アルミニウム製建具

(16.2.2、4、5)（表14.2.1)(表16.2.1、2)

・性能値等 ：
耐風圧性の等級（○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ）
気密性の等級 （○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ）
水密性の等級 （○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ）
外部に面する建具の種別
○ A種（建具符号 ○ 建具表による、 ○ ）
○ B種（建具符号 ○ 建具表による、 ○ ）
○ C種（建具符号 ○ 建具表による、 ○ ）
○ D種（建具符号 ○ 建具表による、 ○ ）
○ E種（建具符号 ○ 建具表による、 ○ ）

4. アルミニウム製建具（続き）

防音ドア、防音サッシとする場合
○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ）
断熱ドア、断熱サッシ ⊡ とする場合
○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ）
・耐震性能（特定室等及び避難経路の扉） ：
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ））
重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_{H}） ⊠ 1.0、○（ ）
設計用鉛直震度（K_{V}） ⊠ 0.5、○（ ）
建具符号（○ 建具表による、○ ）
・材料、形状及び仕上げ、工法 ：
ステンレス鋼板（⊠ SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI、○ ）
枠の見込み寸法 ○ 建具表による、○（ ）
アルミニウムの表面処理
外部に面する建具 種別 ○ BB-1種、 ○ BB-2種（標準仕様書 表14.2.1）
着色 ○ 標準色、 ○ 特注色
屋内の建具 種別 ○ BC-1種、 ○ BC-2種（標準仕様書 表14.2.1）
着色 ○ 標準色、 ○ 特注色
ステンレス製のくつずりの仕上げ ⊠ HL程度、○ No.2B程度、○（ ）
結露水の処理方法 ⊠ 排水式、 ○（ ）
水切り板、ぜんぼ ⊠ 図示、 ○（ ）
木下地の場合の内付け建具 ○ 適用する ○ 適用しない

○ 5. 網戸等

(16.2.3)

種類	材質	線径	網目
○ 防虫網	⊠ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ ステンレス（SUS316）製	⊠ 0.25mm以上 ○	⊠ 16～18メッシュ ○
○ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm

● 6. 樹脂製建具（複合）

(16.3.2～5)

・性能値等 ：
耐風圧性の等級（○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ）
気密性の等級 （○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ）
水密性の等級 （○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ）
外部に面する建具の種別 ：
○ A種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ B種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ C種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ D種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ E種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
防音ドア、防音サッシ
○ 遮音性の等級 ○ T-1種、 ○ T-2種
建具符号（○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ ⊡
断熱性の等級 ○ H-4種、 ○ H-5種、 ○ H-6種、 ○ H-7種、 ○H-8種
建具符号（○ 建具表による、○ ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
○ N-1種、 ○ N-2種、 ○ N-3種
・材料、形状及び仕上げ、工法
ガラス ⊠ 複層ガラス、 ○（ ）
枠の見込み寸法 ○ 建具表による、○（ ）
表面色 ○ 標準色、 ○ 特注色
ステンレス製のくつずりの仕上げ ⊠ HL程度、○ No.2B程度、○（ ）
水切り板、ぜんぼ ⊠ 図示、 ○（ ）
木下地の場合の内付け建具 ○ 適用する ○ 適用しない

○ 7. 鋼製建具

(16.2.2)（16.4.2～4)（表16.4.2)

・性能値等 ：
簡易気密型ドアセット ○ 適用する（建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ S-5、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ S-6、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
・耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ））
重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_{H}） ⊠ 1.0、○（ ）
設計用鉛直震度（K_{V}） ⊠ 0.5、○（ ）
建具符号（○ 建具表による、○ ）
防音ドア、防音サッシとする場合
○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ ⊡ とする場合
○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
・大型建具 ：⊠ 適用しない（表16.4.2による）
○ 適用する（建具符号、枠の見込み寸法：建具表による）
・材料、形状及び仕上げ ：
ステンレス鋼板 ⊠SUS304・SUS430JIL・SUS443JI、○（ ）
鋼板の厚さ ⊠ 標準仕様書表16.4.2による、
○（ （使用箇所 ））
ステンレス製のくつずりの仕上げ ⊠ HL程度、 ○No.2B程度、○（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ⊠建具表による、○（ ）

○ 8. 鋼製軽量建具

(16.2.2)（16.5.2～4)

・性能値等 ：
簡易気密型ドアセット ○ 適用する（建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ 適用しない
防音ドア、防音サッシとする場合
○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ ⊡ とする場合
○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
・耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ））
重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_{H}） ⊠ 1.0、○（ ）
設計用鉛直震度（K_{V}） ⊠ 0.5、○（ ）
建具符号（○ 建具表による、○ ）
・材料、形状及び仕上げ ：
鋼板 ○ 亜鉛めっき鋼板、 ○ ビニル被膜鋼板、○ カラー鋼板、
○ ステンレス鋼板（ ⊠ SUS304、SUS430JILⅩはSUS443JI、○ ）
召合せ、縦小口包み板の材質 ○ 鋼板、 ○ 建具表による
鋼板の厚さ ⊠ 標準仕様書表16.5.1による
○（ （使用箇所 ））
ステンレス製のくつずりの仕上げ ⊠HL程度、 ○No.2B程度、 ○（ ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ⊠建具表による、○（ ）

● 9. ステンレス製建具

(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)

・性能値等 ：
簡易気密型ドアセット ● 適用する（建具符号（ ● 建具表による、○ ）
○ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ S-5、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ S-6、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
防音ドア、防音サッシとする場合
○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ ⊡ とする場合
● 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、● ）
・耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
● 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ））
重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_{H}） ● 1.0、○（ ）
設計用鉛直震度（K_{V}） ● 0.5、○（ ）
建具符号（● 建具表による、○ ）
・材料、形状及び仕上げ、工法 ：
鋼板 ● SUS304・SUS430JIL・SUS443JI、 ○（ ）
表面仕上げ ⊠ HL仕上げ、○ 鏡面仕上げ、● （ ブラスト仕上 ）
ステンレス製のくつずりの仕上げ ● HL程度、 ○No.2B程度、○（ ）
ステンレス鋼板の曲げ加工 ● 普通曲げ、○ 角出し曲げ

○ 10. 木製建具

(16.7.2～4)

・建具材の加工、組立時の含水率 ：⊠ A種、 ○（ ）
・建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ：
⊠ Ｆ☆☆☆☆、○（ ）
・フラッシュ戸 ：
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備考
○ 普通合板 ⊡	板面の品質（ ⊠広葉樹1等 ）	
○ 天然木化粧合板 ⊡	樹種名（ ）	
○ 特殊加工化粧合板 ⊡	化粧加工の方法 （ ○ オーバーレイ、 ○プリント、○ 塗装） 表面性能（ ）タイプ	
○ ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ）	

表面板の厚さ ：⊠ 表16.7.6による、○（ ）
・かまち戸 ：
かまち樹種 ○（ ）、鏡板樹種○（ ）
見込み寸法 ⊠ 36mm、 ○ 建具表による、 ○（ ）
・ふすま ：
張りの種別（ ○Ⅰ型、 ○Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外） ○ 鳥の子、 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度
上張り（押入等の裏側） 雲花紙程度
縁仕上 ○ 塗り縁、 ○生地縁（素地）、 ○ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ⊠ 19.5mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・戸ぶすま ：
見込み寸法 ⊠ 30.0mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・紙張り障子 ：
見込み寸法 ⊠ 30.0mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・枠、くつずりの材料 ：○ 建具表による、○（ ）

● 11. 建具用金物

(16.8.2,3)（表16.8.1)

・金物の種類・見え掛り部の材質等 ：
⊠ 標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による、○（ ）
・金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ：
⊠ 標準仕様書表16.8.2及び適用は建具表による、○（ ）
・樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ：
⊠ 標準仕様書表16.8.3による、○ 建具表による
・木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ：
⊠ 標準仕様書 表16.8.4による、 ○ 建具表による
・木製建具に使用する戸車及びレール ：
⊠ 標準仕様書 表16.8.5による、 ○ 建具表による
・握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ：
○ 建具表による、○ 図示
・錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠） ：
（品質・性能及び試験方法）建築材料等品質性能表による
・クローザ類 ：
（品質・性能及び試験方法）建築材料等品質性能表による

● 12. 鍵

(16.8.4)

⊙マスターキー ：○ 製作する（ ）、● 製作しない
⊙その他の鍵 ：● （例） エントランス入口、搬入口
⊙鍵箱 ：○ 有り、● 無し

● 13. 自動ドア開閉装置

(16.9.2、3)

・性能 ：
引き戸用駆動装置
性能等 ⊠ 標準仕様書表16.9.1による、○ 以下による

種類・開閉方式		耐電圧	
温度上昇		耐久性（サイクル）	
防錆	○ 適用する○適用しない	電源	

車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 ：
性能等 ⊠ 標準仕様書表16.9.2による、○ 以下による

耐電圧		温度上昇	
耐久性（サイクル）		防錆	○ 適用する○適用しない
電源			

引き戸用検出装置
性能等 ⊠ 標準仕様書表16.9.3による、○ 以下による

放射無線周波電磁界耐性			
耐電圧		防錆	○ 適用する○適用しない
防滴		電源	

・機構 ：

戸の開閉方式	○ 図示、 ○（ ）
引き戸検出装置の種類	○ 光線（反射）センター、 ○ 熱線センサー、 ○ 音波センサー、 ● 光電センサー、 ○ 電波センサー、 ○ タッチスイッチ（○ 無線式 ○ 光電式 ） ○ 押しボタンスイッチ、 ○ 車椅子使用者用便房スイッチ（○ 大形押しボタン ○ 非接触 ）
凍結防止装置	○ 適用する（建具表による）、 ● 適用しない

○ 14. 自閉式上吊り引戸装置

(16.10.3)(表16.10.1)

・引戸装置
性能等 ⊠ 表16.10.1による、○ 以下による

手動開き力		手動閉じ力	
閉じ速度の調整		制動区間	
開閉繰返し		耐衝撃性	

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	建築改修工事特記仕様書（４）
縮尺	NS
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-05

⑯ 建具工事

○ 15. 重量シャッター　(16.11.2、3)

・シャッターの種類　：
　○ 管理用シャッター（耐風圧強度（　　）N/m）
　○ 外壁用防火シャッター（耐風圧強度（　　）N/m）
　○ 屋内用防火シャッター
　○ 防煙シャッター
・開閉方式による種類　：⊠ 電動式（手動併用）、○ 手動式

・急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所　：
　○ 建具表による、○（　　）
・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所　：
　○ 建具表による、○（　　）
・危害防止機構を設けた屋内用防火シャッターもしくは防煙シャッターには設けること
　○ 建具表による、○（　　）
　機構　a) 危害防止装置
　　b) 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
・管理用シャッターのシャッターケース　：⊠ 設ける、○ 設けない
　ただし、外壁用防火シャッター、屋内用防火シャッター及び防炎シャッターには設けること
・スラット及びシャッターケース用鋼板　：
　鋼板の種類　○ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)
　　○ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
　めっきの付着量　⊠ Z12またはF12、○（　　）
・スライドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質　：
　ステンレス鋼板　⊠ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1、○（　　）

○ 16. 軽量シャッター　(16.12.2～4)

・開閉方式による種類　：⊠ 手動式、 ○ 電動式（手動併用）
・耐風圧強度　：○（　　）N/m²
・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置個所　：
　○ 建具表による、○（　　）
・スラットの材質　：○ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
　めっき付着量（⊠ Z06又はF06、○　　）
　○ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）
　めっき付着量（⊠ AZ90　　、○　　）
・スラットの形状　：○ インターロッキング形、○ オーバーラッピング形

○ 17. オーバーヘッドドア　(16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧性能の区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
⊠ スチールタイプ	○ 125	⊠ バランス式	○ スタンダード形	⊠ 溶融亜鉛めっき鋼板
○ アルミニウムタイプ	○ 100	○ チェーン式	○ ローヘッド形	
○ ファイバーグラスタイプ	○ 75	○ 電動式	○ ハイリフト形	○ ステンレス鋼板
	○ 50		○ バーチカル形	

ステンレス鋼板　⊠ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1、○（　　）

・障害物感知装置を設けた電動式オーバーヘッドドアの設置場所　：
　⊠ 建具表による、○（　　）

● 18. ガラス　(9.7)　(16.14.2～4)　(図16.14.1)

・適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類　⊠ 建具表による、○ 図示
・型板ガラスの厚さによる種類　⊠ 建具表による、○ 図示
・網入板ガラス、線入板ガラスの鋼、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
　⊠ 建具表による、○ 図示
・合わせガラス

材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ	⊠ 建具表による、　○ 図示
形状による種類	○ 平面合わせガラス、○ 曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性及び ショットバック衝撃特性による種類	○ Ⅰ類、○ Ⅱ-1類、 ○Ⅱ-2類、 ○ Ⅲ類

・強化ガラス　：

形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	⊠ 建具表による、　○ 図示
破片の状態及び ショットバック衝撃特性による種類	○ Ⅰ類、○ Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス　：

板ガラスの種類、厚さによる種類	⊠ 建具表による、　○ 図示
性能による種類	○ 1類、 ○ 2類

⊙複層ガラス　：

材料板ガラスによる種類及び厚さの組合せ、並びに複層ガラスの厚さ	● 建具表による、　○ 図示
断熱性による区分	○ T1、○ T2、○ T3、○ T4、○ T5、○ T6
日射取得性、日射遮蔽性	○ G、 ○ S
乾燥気体の種類	○ 空気　、●アルゴン

・熱線反射ガラス　：

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	⊠ 建具表による、○ 図示
日射熱遮へい性による区分	○ 1種、 ○2種、 ○ 3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性が2種の場合）	○ A種、 ○B種

・倍強度ガラス　：

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	⊠ 建具表による、○ 図示

⊙ガラスの留め材及び溝の大きさ　：

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
● アルミニウム製	⊠ グレイジングチャンネル ● シーリング材	● 建具の製造所の仕様による ○ 図示
● 樹脂製	● グレイジングビート ○ グレイジングチャンネル	● 建具の製造所の仕様による ○ 図示
○ 鋼製及び鋼製軽量	○ シーリング材 ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示
● ステンレス製	● シーリング材 ○	● 建具の製造所の仕様による ○ 図示

・構造体の層間変形角に対する追従性　：
　以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。
　○ 1/100、○ 1/200、○（　　）

⑯ 建具工事

○ 19. ガラスブロック　(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
○ 正方形	○ 125×125	80	○ クリア ○ 乳白	⊠ 8～15	外側 ⊠ 標準仕様書表16.4.5(2)(ｳ)(a)②	⊠ 6m以下ごとに幅10～25	⊠ 無し
	○ 160×160	95	○ クリア ○ 乳白			○ 図示	○ 有り
	○ 200×200	95 125	○ クリア ○ 乳白			○	
	○ 320×320	95	○ クリア ○ 乳白	○ 15～28	内側 ⊠ 標準仕様書表16.4.5(2)(ｳ)(a)②		
○ 長方形	○ 250×125	80	○ クリア ○ 乳白			○	
	○ 320×160	95	○ クリア ○ 乳白				

・壁用金属枠及び補強材の材料、形状　：⊠ 図示、○（　　）
・力骨　：材質　⊠ ステンレス鋼(SUS304)、○（　　）
　寸法　⊠ 径5.5mm、○（　　）
　形状　⊠ はしご形状横筋及び単筋、 ○（　　）
・化粧目地モルタルの色　：○（　　）
・シーリングの種類　：（ ○ SR－1　　○ PS－1）
・金属製化粧カバー　：材質　○ステンレス製、 ○ アルミニウム製
　寸法　⊠ 図示、○（　　）
　形状　⊠ 図示、○（　　）
・木下地の場合のアンカー等の取付け間隔　⊠図示 、○（　　）
・工法　：
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、 ○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
・目地部の横力骨の納まり　：
　⊠ ガラスブロック製造所の仕様による、 ○ 図示

⑰ カーテンウォール工事

○ 1. 取付方法、性能等　(17.1.3)　(17.2.2)　(17.3.2)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
・取付方法　：○ 層間方式、 ○ 柱・梁方式、○ 方立方式、 ○ スパンドレル方式、
　○（　　）
・性能　：

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)
				○ 30分 ○ 1時間	○ 80 ○ 70 ○ 60

・耐風圧性能　：
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、 ○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
・主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）　：

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	○ たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること
	○
4mを超える	○

・地震力に対する安全性　：

設計用震度	帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能
設計用水平震度(K_H) ⊠ 1.0 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。
設計用鉛直震度(K_V) ⊠ 0.5 ○	なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。

・構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能
○ 1/100 ○ 1/200	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと 層間変形角1/300に対して、ほとんど維修の必要がなく、継続使用に耐えること。

・性能の確認方法及び判定方法　：
　⊠ 性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

○ 2. メタルカーテンウォール　(17.2.2、3、5)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
・金属系材料の種類　：
　○ アルミニウム材　規格等　標準仕様書16.2.3による
　　種別　標準仕様書 表14.2.1による
　　着色　○標準色、 ○特注色
　　映像調整　○行う、 ○ 行わない
　○ 鋼材
　○ ステンレス鋼材
・形状及び仕上げ　：
　製品の寸法許容差　⊠標準仕様書 表17.2.1.1による、○（　　）
　見え掛かり部の仕上げ　⊠（　　）
　ガラス溝の寸法、形状等 ⊠ カーテンウォールの製造所の仕様、○（　　）
・取付け　：
　躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
　　鉛直方向　⊠ ±10mm、 ○（　　）
　　水平方向　⊠ ±25mm、 ○（　　）
　カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
　　目地の幅　⊠ ±3mm、 ○（　　）
　　目地の芯の通り　⊠ 0～＋2mm、○（　　）
　　目地両側の段差　⊠ 0～＋2mm、○（　　）
　　各階の基準墨から各部材までの距離　⊠ ±3mm、 ○（　　）
・シーリング材の種類（目地）　：○（　　）
・ガラスの取付け材料　：○ シーリング　種類（　　）
　○ 構造ガスケット　形状・寸法等 ⊠ 図示、 ○(　　）
・断熱材 [D] の種類　：○（　　）
・ガラスの取付け方法　：
　ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法
　⊠ 4辺支持　○（　　）

⑰ カーテンウォール工事

○ 3. PCカーテンウォール　(17.3.2～5)　(表17.3.1.2)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
・材料　：
　コンクリート　種類　○(　　)
　　品質　設計基準強度(Fc)　⊠ 30N/mm²、○(　　)
　　スランプ　⊠ 12cm 、○(　　)
　　気乾単位容積質量
　　○ 普通コンクリートの場合　2.1t/m³ を超え2.5t/m³ 未満
　　○ (　　)
　　単位水量の最大値　⊠ 185kg/m³、○(　　)
　鉄筋　種類記号 ⊠ SD295A（　　）、○(　　)
　補強鉄線　径(mm)　○ 3.2、 ○ 4.0、○ 5.0、○ 6.0
　　網目寸法 ○（　　）
・シーリング材の種類（目地）　：○（　　）
・耐火目地材の種類　：○（　　）
・断熱材 [D] の種類　：○（　　）
・ガラスの取付け材料　：○ シーリング　種類（　　）
　○ 構造ガスケット　形状・寸法等 ⊠ 図示、 ○(　　）
・先付けの材料　：
　○ 表面仕上げ材　○ セラミックタイル
　　○ 石材（ ○ 花こう岩、 ○ 大理石、 ○　　）
　　○ (　　)
　○ 建具枠（　　）
　○ ゴンドラ用ガイドレール（　　）
・形状及び仕上げ　：
　製品の見え掛り部の寸法許容値

辺長	⊠ ±3mm 、○	対角線長の差	⊠ 0～+5mm、○
版厚	⊠ ±2mm 、○	開口部内法寸法	⊠ ±2mm 、○
ねじれ、反り	⊠ 0～+5mm、○	曲がり	⊠ 0～+3mm、○
面の凹凸	⊠ 0～+3mm、○	先付け金物の位置	⊠ 0～+5mm、○

・PCカーテンウォールの仕上げ（　　）
・構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)（　　）
・製作
　PC版の配筋　⊠図示による
・取付け
　躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
　　鉛直方向　⊠ ±10mm、 ○（　　）
　　水平方向　⊠ ±25mm、 ○（　　）
　カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
　　目地の幅　⊠ ±5mm、 ○（　　）
　　目地の芯の通り　⊠ 0～＋3mm、○（　　）
　　目地両側の段差　⊠ 0～＋4mm、○（　　）
　　各階の基準墨から各部材までの距離　⊠ ±5mm、 ○（　　）
　ガラスの取付け方法
　　ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

⑱ 塗装工事

○ 1. 材料　(18.1.3)

・屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　：⊠ F☆☆☆☆、○（　　）
・防火材料　：⊠ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
　○ 仕上げ表による

● 2. 素地ごしらえ　(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	⊠ A種、○ B種
	透明塗りの場合	● B種、○ A種
鉄鋼面	DP以外	⊠ C種、○ A種、 ○B種
	DPのみ	● B種、○ A種、 ○C種
亜鉛めっき鋼面		○ A種、○ B種
モルタル面及びプラスター面		⊠ B種、○ A種
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面		⊠ B種、○ A種
コンクリート面（DPのみ）		⊠ A種、○ B種
押出成形セメント板面		○ A種、○ B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	⊠ A種、○ B種
	目地：継目処理工法以外	⊠ B種、○ A種

● 3. 錆止め塗料塗り　(18.3.2、3)

下地面等			さび止め塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	A種	⊠A種、○B種
		DP	1回目　C種 2、3回目　D種	標準仕様書表18.3.4
		EP－G	● B種、○ A種	●A種、○ B種
	見え隠れ部分	SOP	A種	⊠B種、○ A種
		DP	1回目　C種 2、3回目　D種	標準仕様書表18.3.4
		EP－G	● B種、○ A種	●B種、○ A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	⊠ A種、○ B種	⊠A種、○ B種
		DP	B種	標準仕様書表18.3.6
		EP－G	C種	⊠A種、○ B種
	鋼製建具以外	SOP	⊠ B種、○ A種	⊠B種、○ A種
		DP	B種	標準仕様書表18.3.6
		EP－G	C種	⊠B種、○ A種

● 4. 塗装　(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）	木部屋外	⊠ A種、○ B種	－
	木部屋内	⊠ B種、○ A種	－
	鉄鋼面	⊠ B種、○ A種	－
	亜鉛めっき鋼面	(表18.4.3)	－
クリヤラッカー塗り(CL)		⊠ B種、○ A種	－
アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		⊠ B種、○ A種	－
耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	(表18.7.1)	○ 上塗り等級（　）級
	亜鉛めっき鋼面	(表7.8.2)	● 上塗り等級（ 1 ）級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	○ A種、○ B種、 ○ C種	－
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	⊠ B種、○ A種	－
	屋内の鉄鋼面	⊠ B種、○ A種	－
	木部	(表18.8.2)	－
	亜鉛メッキ鋼面	(表18.8.4)	－
合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		⊠ B種、○ A種	－
ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		⊠ B種、○ A種	－
ステイン塗り		○ ピグメントステイン塗り	－
		○ オイルステイン塗り	
木材保護塗料塗り(WP)		⊠ B種、○ A種	－

・クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用　：
　○ 適用する(着色剤：　○ 溶剤系着色剤　　○油性染料着色剤)
　○ 適用しない
・ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用　：
　○ 適用する
　○ 適用しない
・オイルステン塗りの工程等　：
　※製造所の仕様による

⑲ 内装工事

● 1. 接着剤　(19.2.2)

・接着剤のホルムアルデヒド放散量　：⊠ F☆☆☆☆ 、○（　　）
・接着剤の可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）　：添付されていないものとする。
・施工箇所の下地セメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別　：
　○ 図示、○（　　）

○ 2. 下地の工法　(19.2.3)

・標準仕様書19.2.3(1)～(3)以外の下地の工法　：⊠図示 、○（　　）

○ 3. ビニル床シート [G]　(19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
⊠ FS（複層ビニル床シート） ○	○ 無地 ○ マーブル柄 ○ 柄物	⊠ 2.0 ○	

・目地処理をする場合の工法　：○ 熱溶接工法、○（　　）

○ 4. ビニル床タイル [G]　(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
⊠ KT（コンポジションビニル床タイル） ○ TT（単層ビニル床タイル） ○ FT（複層ビニル床タイル） ○ FOA（置敷きビニル床タイル） ○ FOB（薄型置敷きビニル床タイル）	○ 無地 ○ 柄物	○ 300×300 ○ 450×450 ○ 500×500 ○	⊠ 2.0 ○ 2.5 ○ 3.0 ○	

○ 5. 特殊機能床材　(19.2.2)

シートの種類	厚さ・寸法(mm)、形状	性能	種類
○ 帯電防止床シート			
○ 帯電防止床タイル			
○ 視聴覚障害者用床タイル		ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による	
○ 耐動荷重性床シート			
○ 防滑性床シート			
○ 防滑性床タイル			

○ 6. ビニル幅木　(19.2.2)

・材質の種類：○ 軟質、 ○ 硬質
・高さ(mm)　：⊠ 60、○ 75、○ 100、 ○（　　）
・厚さ(mm)　：⊠ 1.5以上、○（　　）

○ 7. ゴム床タイル　(19.2.2)

・種類　：○ 単層、 ○ 積層
・色柄　：○（　　）
・厚さ(mm)　：○ 3.0、 ○ 4.5、○ 6.0、○ 9.0
・寸法(mm)　：○（　　）

○ 8. カーペット敷き [G]　(19.3.2、3)(表 19.3.1)

・織じゅうたん　：

織り方	パイル形状
○ ウェルトンカーペット	○ カットパイル
○ ダブルフェースカーペット	○ ループパイル
○ アキスミンスターカーペット	○ カット、ループ併用

色柄　⊠ 模様のない無地、○（　　）
パイル糸の種類 ⊠ 標準仕様書表19.3.1による（○A種、○ B種、 ○ C種）
　○（　　）
帯電性　○ 適用する、 ○ 適用しない
縫じゅうたんの接合方法 ○ ヒートボンド工法、○（つづりぬい　　）
下敷き材 ⊠ 反毛フェルト（JIS L 3204第2種2号、呼び厚さ8mm）、○（　　）
・タフテッドカーペット　：

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性の適用	備考
○ カットパイル		○ 全面接着工法 ○ グリッパー工法	○ する （　　） ○ しない	
○ ループパイル				
○ カット、ループ併用				

下敷き材（グリッパー工法の場合）
⊠ 反毛フェルト（JIS L 3204第2種2号、呼び厚さ8mm）、○（　　）
・タイルカーペット　：

パイル形状	種別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
⊠ ループパイル	⊠ 第一種 ○ 第二種		⊠ 500×500 ○	⊠ 6.5 ○	
○ カットパイル	○ 第一種 ○ 第二種		⊠ 500×500 ○	⊠ 6.5 ○	
○ カット・ループ併用	○ 第一種 ○ 第二種		⊠ 500×500 ○	⊠ 6.5 ○	

タイルカーペットの敷き方　平場　⊠ 市松敷き、 ○ 模様流し、○(　　)
　階段部分 ⊠ 模様流し、 ○ 市松敷き、 ○(　　)
見切り、押え金物　材質（　　）
　種類（　　）
　形状等 ⊠ 図示、○（　　）

○ 9. 合成樹脂塗床　(19.4.2、3)(表 19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
○ 厚膜型塗床材（弾性ウレタン樹脂系塗床）			⊠ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ
○ 厚膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床）		○ 薄膜流しのべ工法 ○ 厚膜流しのべ工法 ○ 樹脂モルタル工法	○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ
○ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床）			⊠ 平滑仕上げ
○ アクリル樹脂塗床（JIS K 5970）（防塵塗料塗り）		⊠ 製造所の指定による	工程 塗布量(kg/m²) ⊠ 0.25kg/m²以上 表面仕上げ ⊠ 平滑、 ○ 防滑 溶剤 ⊠ 水性、 ○ 溶剤系、 ○ 無溶剤系 仕上げ色 ⊠ 標準色、○

・塗料のホルムアルデヒド放散量　：⊠ F☆☆☆☆ 、○（　　）

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	建築改修工事特記仕様書（５）
縮尺	NS
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

⑲ 内装工事

○ 10. フローリング張り [G]

(19.5.2～6)(表 19.5.1～6)

・単層フローリング　：
　○ フローリングボード1等

工法	○ 釘止め工法（ ○ 根太張り、 ○ 直張り）、 ○ 接着工法
樹種	⊠ なら　○
厚さ、大きさ	⊠ 標準仕様書表19.5.1による、 ○
仕上塗装	⊠ 塗装品、　○ 無塗装品
間伐材等の適用	○ 適用する、 ○ 適用しない

　○ フローリングブロック 1等

工法	⊠ 接着工法
樹種	⊠ なら　○
厚さ、大きさ	⊠ 標準仕様書表19.5.1による、 ○
仕上塗装	⊠ 塗装品、　○ 無塗装品
間伐材等の適用	○ 適用する、 ○ 適用しない

・複合フローリング　：
　○ 天然木化粧複合フローリング

工法	○ 釘留め工法（ ○ 根太張り、 ○ 直張り）、 ○ 接着工法
樹種	⊠ なら　○
種別（表19.5.2）	○ A種、 ○ B種、 ○ C種
仕上塗装	⊠ 塗装品、　○ 無塗装品
間伐材等の適用	○ 適用する、 ○ 適用しない

・フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　：　⊠ F☆☆☆☆、 ○(　　)
・接着工法の場合の裏面緩衝材　：　⊠合成樹脂発泡シート、 ○ (　　)
・現場塗装仕上げ　：　施工箇所（　　）
　⊠ ウレタン樹脂ワニス塗り
　○ オイルステインの上、ワックス塗り
　○ 生地のままワックス塗り

○ 11. 畳敷き

(19.6.2)(表 19.6.1)

・種別　：　○ A種、 ○ B種、 ○ C種、 ○ D種
　（畳床：　○ KT-Ⅰ、 ○ KT-Ⅱ、○ KT-Ⅲ、 ○ KT-K、 ○ KT-N）
・下地の種類　：　○ 標準仕様書表12.6.1による床組
　○ ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン [G]）
　○ (　　)
・畳表及び畳床　：　ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
・衝撃緩和型畳　（畳表：　○G1、○ G2）

● 12. せっこうボードその他のボード及び台板張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)

・適用　：　以下によるほか、図示による。
・合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド発散量　：
　⊠ F☆☆☆☆、○(　　)
・木質系セメント板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ 硬質木毛セメント板 [G]	○ 15、 ○ 20、 ○ 25、○
○ 中質木毛セメント板 [G]	○ 15、 ○ 20、 ○ 25、○
○ 普通木毛セメント板 [G]	○ 15、 ○ 20、 ○ 25、○
○ 硬質木片セメント板 [G]	○ 12、 ○ 15、 ○ 18、○ 21、 ○
○ 普通木片セメント板 [G]	○ 30、 ○

・繊維強化セメント板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ 2（無石綿）○ 6、 ○ 8
○ 化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ 2（無石綿）○ 6、 ○ 8 表面への化粧張り等の加工　○ アクリル樹脂系焼付け ○

・火山性ガラス質複層板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ 火山性ガラス質複層板	○ 図示による　○

・繊維板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ ハードボード（素地） [G]	○ 無研磨板（ ○ スタンダード、 ○ テンパード） RN ○ 研磨板　（ ○ スタンダード、 ○ テンパード） RS ○ 2.5、 ○3.5、○ 5、 ○7
○ ハードボード（化粧） [G]	○ 内装用、　○外装用 ○ 2.5、 ○3.5、○ 5、 ○7
○ ミディアムデンシティファイバーボード [G]	○ 3 、 ○7 、○ 9、 ○12
○ インシュレーションボード [G]	A級（ ○ 天井仕上、 ○ 内装仕上、○　　） ○ 9 、 ○12、 ○15、 ○18

・パーティクルボード　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ 単板張りパーティクルボード [G]	○ 無研磨板 VN、 ○ 研磨板 VS ○ 10、○ 12、 ○ 15、○ 18、○
○ 化粧パーティクルボード [G]	○ 単板オーバーレイ DV ○ プラスチックオーバーレイ DO ○ 塗装 DC ○ 10（難燃）、 ○12（難燃）、○

・吸音材料　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ ロックウール化粧吸音板	○ フラットタイプ（○ 9（不燃）、○ 12(不燃)、○　　） ○ 凹凸タイプ　（○ 12(不燃)、○ 15(不燃)、○　　）
○ ロックウール吸音ボード1号	○ 25、○
○ グラスウール吸音ボード32K	○ 25(ガラスクロス包)、 ○

・せっこうボード製品　：

種類	厚さ(mm)、規格等
● せっこうボード	● 12.5（不燃）、○15（不燃）、 ○
○ 不燃積層せっこうボード	○ 9.5（不燃）、○ ○ 化粧無（下地張り用）、○ 化粧有（トラバーチン模様）
○ シージングせっこうボード	○ 12.5 （ ⊠ 不燃、 ○ 準不燃　）
○ 強化せっこうボード	○ 12.5（不燃）、 ○ 15（不燃）
● せっこうラスボード	● 9.5
○ 化粧せっこうボード（木目）	○ 12.5（不燃）幅440mm程度 模様（ ○ 柾目、 ○ 板目） 専用下地材有り
○ 化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	○ 9.5（準不燃） ○

・合板、化粧板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ 普通合板 [G]	表面の樹種 生地　透明塗料塗り　（ ⊠ ラワン合板程度、 ○　　） 不透明塗料塗り（ ⊠ しな合板程度　、 ○　　） 板面の品質（　　） 厚さ(mm)　（ ⊠ 図示による　○　　） 防虫処理　（ ○ する、○ しない　　）
○ 天然木化粧合板 [G]	化粧板の樹種名（　　） 厚さ(mm)　（ ⊠ 図示による　○　　） 防虫処理　（ ○ する、○ しない　　）
○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法（　○オーバーレイ、 ○ プリント、 ○ 塗装） 表面性能　（　　）タイプ 厚さ(mm)　（ ⊠ 図示による　○　　） 防虫処理　（ ○ する、○ しない　　）
○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による厚さ（ ⊠ 1.2、○　　）
○ ポリエステル樹脂化粧板	

・遮音シール材　：　○ 適用する
　（ ○ シーリング材、 ○ ジョイントコンパウンド）
　○ 適用しない
天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
⊠ 図示　○
・合板類の張付け　：　○ B種 、 ○ A種
・せっこうボードの目地工法　：⊠ 仕上げ表による、○ (　　)

突付け工法のエッジの種類	○ ベベルエッジ	○スクェアエッジ
目透かし工法のエッジの種類	○ ベベルエッジ	○スクェアエッジ

● 13. 壁紙張り

(19.8.2、3)

・ホルムアルデヒド放散量　：　● F☆☆☆☆、○ (　　)

施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考
病室（2～4階）	○ 紙、○繊維、○ プラスチック、 ● 無機質、○ 塩化ビニル	○ 不燃、 ● 準不燃 ○ 難燃	
	○ 紙、○繊維、○ プラスチック、 ○ 無機質、○ 塩化ビニル	○ 不燃、 ○準不燃 ○ 難燃	
	○ 紙、○繊維、○ プラスチック、 ○ 無機質、○ 塩化ビニル	○ 不燃、 ○準不燃 ○ 難燃	

・モルタル、プラスター面の素地ごしらえ　：　⊠ B種、 ○ A種
・コンクリート面の素地ごしらえ　：　⊠ B種、 ○ A種
・せっこうボード面の素地ごしらえ　：　⊠ B種、 ○ A種

● 14. 断熱材 [G]

(19.9.2、3)

・フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　：
　⊠ F☆☆☆☆、○ (　　)
・断熱材打込み工法　：

種類	厚さ(mm)	施工箇所
○ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
○ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) （ ○ 2種bA　○ 3種bA　○ 3種bC　○ 3種bD ）		
● 硬質ウレタンフォーム断熱材		
○ フェノールフォーム断熱材		

・断熱材現場発泡工法　：
　断熱材の種類　○ A種1、 ○ A種1H
　厚さ（mm）　○ 25、 ○ 30、○ (　　)
　施工箇所　○ 図示、○ (　　)
・現場発泡断熱材　：
　（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

20 ユニット及びその他の工事

○ 1. フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所			
構法	○ 置敷式 ○ 支柱調整式 ○	○ 置敷式 ○ 支柱調整式 ○	○ 置敷式 ○ 支柱調整式 ○
寸法(mm)	○ 500×500 ○	○ 500×500 ○	○ 500×500 ○
高さ(mm)			
耐震性能	○ 1.0G、 ○ 0.6G	○ 1.0G、 ○ 0.6G	○ 1.0G、 ○ 0.6G
所定荷重	○ 3,000N、 ○ 5,000N	○ 3,000N、 ○ 5,000N	○ 3,000N、 ○ 5,000N
表面仕上材	○ 帯電防止床タイル ○ タイルカーペット ○	○ 帯電防止床タイル ○ タイルカーペット ○	○ 帯電防止床タイル ○ タイルカーペット ○
備考			

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

・寸法精度　：
　⊠ 標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による
　○ 以下による
　パネルの長さ　(　　)
　パネルの平面形状（角度）　(　　)
　フリーアクセスフロアの高さ　(　　)
・帯電防止性能　：　○ 評価値（U値）≧0.6以上　○ 評価値（U値）≧1.2以上
・感電防止性能　：　⊠ 漏えい抵抗（R）≧1×10^6Ω

○ 2. 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	○ スタッド式（内蔵）、 ○スタッド式(露出)、 ○ パネル式 ○ スタッドパネル式	
構成基材の種類	スタッド	
	パネル	
表面仕上げ材 (パネル表面仕上げ)	○ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付、 ○ 壁紙張り ○	
遮音性(dB/500Hz)	○ 0、 ○ 12、○ 20、○ 28、○ 36	
防火性能	○ 不燃、○	

・パネル内に取付ける建具　：　○ あり（⊠ 図示、 ○　　）、 ○ なし
・ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし　：
　⊠ 標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質
・表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能　：
　⊠ 標準仕様書19章による
・パネル材のホルムアルデヒド放散量　：　⊠ F☆☆☆☆
　○ (　　)

○ 3. 移動間仕切

(20.2.4)

走行方法	○ 平行方向移動式、 ○ 二方向移動式	
操作方法による種別	○ 手動式、 ○ 電動式、 ○ 部分電動式	
圧接装置の操作方法	○ プッシュ式、○ ハンドル式、○	
総厚さ(mm)		
パネル表面材	材質	○ 鋼板、 ○
	仕上げ	○ 焼付塗装、 ○ 壁紙張り、 ○
遮音性(dB/500Hz)	○ 36未満、 ○ 36以上	

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

・パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能　：　標準仕様書19章による
・ハンガーレールの取付け下地の補強　：
　⊠ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
　○ 図示
・パネルをランナーに取り付ける部品　：
　⊠ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
　○ (　　)
・ハンガーレール　：
　⊠ ランナーを取り付けた状態で、パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする
　○ (　　)
・ランナー　：
　⊠ パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする
　○ (　　)

○ 4. トイレブース

(20.2.5)

表面材の種類		○ メラミン樹脂系化粧板、 ○ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部	形状	⊠ 幅木タイプ、　○
ドアエッジ	材質	○ アルミニウム製、 ○ ステンレス製、 ○ 表面材と同材　、 ⊠　製造所の仕様
	形状	○ 標準、○ Rｲﾝﾌﾟ

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・パネル材のホルムアルデヒド放散量　：　⊠ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上
　○ (　　)

○ 5. 手すり

(20.2.6、12)

材料の種類及び仕上　：
　○ ステンレス製　SUS304（表面処理　⊠ HL程度、○ (　　)）
　○ 鋼製　（表面処理　○ 溶融亜鉛めっき種別（　　））
　○ アルミニウム　表面処理（ ⊠標準仕様書 表14.2.1による種別（　　）
　色合等　○ 標準色（　　）　○ 特注色（　　）

・手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
○ 集成材 (材種：　　)	○ クリアラッカー ○	○ 30、○ 35、 ○ 45		
○ ビニル製ハンドレール		○ 30、○ 35、 ○ 45		
○				

○ 6. 階段滑り止め

(20.2.7)

材種	○ ステンレス製、 ○ 黄銅製押出型材、 ○ アルミニウム製押出型材、 ○ (　　)	
滑り止め材	形状	⊠ タイヤ型、 ○タイヤレス型
	材質	○ ゴム　、 ○ 合成樹脂、 ○ (　　)
取付け	工法	⊠ 接着工法、 ○ 埋込み工法
	寸法(幅)(mm)	○ 35 ○ 40 ○ 50
	端部フラットエンド	○ あり、 ○なし

○ 7. 黒板及びホワイトボード [G]

(20.2.9)

○ 黒板	区分	⊠ 焼付け　、○ (　　)
	種類	⊠ ほうろう黒板、 ○ (　鋼製黒板　)
	色	⊠ 緑　　、○ (　　)
○ ホワイトボード		

○ 8. 鏡

(20.2.10)

取付箇所	
寸法(mm)	○ 図示、○
厚さ(mm)	⊠ 5　、○

○ 9. 表示

(20.2.11)

・衝突防止表示　：
　設置場所　⊠ 図示　○ (　　)
　形状、寸法　○ 30φ　　、○ (　　)
　材質　○ ステンレス製、○ (　　)
・案内用図記号　：　JIS Z 8210による
・誘導標識、非常用進入口等の表示　：　⊠ 消防法に適合する市販品、○ (　　)
・室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)：⊠ 図示による
・その他の表示　：　図示による

○ 10. タラップ

(20.2.12)

・材質及び仕上げ　：⊠ステンレス製　SUS304（スリップ止め加工　⊠あり、○なし）
　○鋼製　（表面処理　○ 溶融亜鉛めっき種別（　　））

○ 11. 煙突ライニング

(20.2.13)

・適用安全使用温度　：○ 400℃、○ 650℃、　○ (　　)
・工法
　⊠ 鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
　○ (　　)

● 12. ブラインド

(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	スラット幅(mm)	ボックスレールの材種
● 横形	● 手動	○ ギヤ式 ● コード式 ○ 操作棒式	● アルミニウム合金製 [G] ○	● 25 ○	○ 鋼製 ● アルミ製
	○ 電動				
縦形	○ 手動	⊠ 2本操作コード式 ○ 1本操作コード式	○ アルミスラット ○ クロススラット ○	○ 80 ○ 100 ○	⊠ アルミニウム合金製
	○ 電動	－			

・縦型ブラインドのスラットの材質　：
　○ アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
　○ クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
・ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、[G]とする
・寸法、取り付け箇所　：　⊠ 図示、○ (　　)
・幅・高さ　：⊠　図示　　○ (　　)

○ 13. ロールスクリーン [G]

(20.2.15)

操作方式	○ スプリング式、 ○ コード式、 ○ 電動式
幅、高さ	○ 図示、○
材種	○ ガラス繊維製、 ○ 合成・天然繊維製、 ○
品質等	
その他の材料	⊠ ロールスクリーンの製造所の仕様、○

・スクリーンの仕様
　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
　ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする

○ 14. カーテン

(20.2.16)

形式	○ シングル、 ○ ダブル	
	○ 片引き　、 ○ 引分け	
開閉操作	○ 手引き　、 ○ ひも引き	
	○ 電動	
ひだの種類	○ つまみひだ	
	○ 箱ひだ、片ひだ	
	○ プレーンひだ	
生地の種別、品質、特殊加工等		
取付箇所	○ 図示　、 ○	○ 図示　、 ○
備考		（暗幕）

・生地の仕様
　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
・ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、[G]とする
・暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　：
　⊠ 300mm以上、 ○(　　)
・カーテン付属物　フック（ひるかん）
　⊠ 鋼製　○樹脂製

20 ユニット及びその他の工事

○ 15. カーテンレール

(20.2.16)

材料による区分	⊠ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ○ ステンレス製
強さによる区分	⊠ 10-90　、○
仕上げ	⊠ アルマイト、 ○
形状	⊠ 角形　、 ○

● 16. ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（mm）	● 90×150、 ○ 120×80、 ○ 120×150、 ○ 150×80、 ○ 図示
材質	● 集成材（仕上げ：　　） ○ アルミニウム製　押出し型材（市販品） 種別（標準仕様書 表14.2.1）○ BC-1種、 ○ BC-2種 色合い　○ 標準色（　　）、○ 特注色（　　） ○ 鋼製　（仕上げ：　　）

● 17. 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
● アルミニウム製 ○	● 450×450 ○ 600×600 ○	● 一般形 ○ 気密形	○ 屋内外用 ● 屋内用	○ 額縁タイプ ● 目地タイプ	○ 額縁タイプ ● 目地タイプ

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

○ 18. 床点検口

材種	寸法	形式		備考
○ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ○ 鋼製	○ 450×450 ○ 600×600 ○	○ 一般形 ○ 密閉形	○ 屋内外用 ○ 屋内用	○ 鍵付き ○

密閉形とはボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

○ 19. 耐震スリット

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
○ 垂直方向 ○ 水平方向	⊠ 図示 ○	○ 完全（全貫通型） ○	○ 耐火型 ○ 非耐火型	○ 有り ○ 無し	

・目地　：

目地	内壁	外壁
目地材	○ シーリング材(見え掛かりのみ) ○	○ シーリング材(見え掛かりのみ) ○ シーリング材（内外とも）
目地寸法 （幅mm×深さmm）	○ スリット幅×10 ○	○ スリット幅×10 ○

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

○ 20. 止水板

形状	○ 差込式、 ○ 据置式、 ○壁張り式
施工箇所	○ 図示　、 ○

○ 21. エキスパンションジョイント金物

○ 施工箇所	
材質	○ アルミニウム製、○　ステンレス製
建築物間のクリアランス(mm)	○ 50、　○100、 ○ 150、 ○
変位追従量(mm)	避難経路の床等　　以上、その他　　以上
耐火性能	○ 有り、（　　）、○ 無し
断熱性能	○ 有り、（　　）、○ 無し
備考	
○ 施工箇所	
材質	○ アルミニウム製、○　ステンレス製
建築物間のクリアランス(mm)	○ 50、　○100、 ○ 150、 ○
変位追従量(mm)	避難経路の床等　　以上、その他　　以上
耐火性能	○ 有り、（　　）、○ 無し
断熱性能	○ 有り、（　　）、○ 無し
備考	

外部に設置するものは防水型とする
エキスパンションジョイントカバーには脱落防止措置を講ずる

○ 22. くつふきマット

材種	受け枠	備考
○ 塩化ビニル又はゴム製 ○ 硬質アルミニウム合金製 ○ ステンレス鋼（SUS304）製 ○	○ ステンレス鋼（SUS304） ○ 硬質アルミニウム合金 ○	

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	建築改修工事特記仕様書（６）
縮尺	NS
	船橋市建設局建築部建築課
図面番号	A-07
	令和7年度
	(137/402)

20 ユニット及びその他の工事

○ 23. 流し台ユニット

ユニット分類	寸法(mm) W	D	H	備考
○ 流し台	○ 1,200 ○ 1,500 ○ 1,800 ○	○ 550 ○ 600 ○ 650 ○	○ 800 ○ 850 ○	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
○ コンロ台	○ 600 ○	○ 550 ○ 600 ○ 650 ○	○ 620 ○ 670 ○	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
○ つり戸棚	○ 1,200 ○ 900 ○	○ 450 ○	○ 500 ○ 700 ○	市販品
○ 水切り	○ 1,200 ○ 900 ○ 600 ○	—	—	市販品 ステンレス製 ○ 1段式、○

・品質・性能　：　JIS A 4420による
・形状　　：☒ 図示、○(　　)

○ 24. 旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
○ アルミニウム合金製 ○	○ テーパー式 ○ 同一断面式		○ ハンドル式 ○ ロープ式	⊘ 埋込式 ○ ベース式 ○ バンド式	

○ 25. 旗竿受金物

・材種　:○ ステンレス製 (SUS 304) 、○(　　)

○ 26. 車止め支柱

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
○ 上下式鎖内蔵式	○ 標準品 ○ スプリング式	○ ステンレス製 ○		
○				

○ 27. フェンス

フェンスの種類	○ ビニル被覆エキスパンドフェンス、○ 樹脂塗装メッシュフェンス ○ 鋼管フェンス、○ アルミフェンス、○ (　　)
高さ	○ 図示、○

○ 28. プレキャストコンクリート　(20.3.3、4)

・コンクリートの設計基準強度　：
☒ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調合強度
○ 図示
・配筋　：
☒ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する、○ 図示
・取付け方法　：
☒ 図示、○(　　)

○ 29. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み　(20.4.2、3)

材種		種類	質量区分	備考
○ 間知石	○ 花こう岩 ○ 凝灰岩	—	—	
○ コンクリート間知ブロック	—		○ A ○ B	

・積み方　：☒ 谷積み、○ 布積み
・目塗り　：○ 図示 、○ (　　)
・伸縮調整目地　：材種 ○ 図示、○ (　　)
厚さ ○ 図示、○ (　　)

○ 30. 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
○ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	○ 1種、 ○ 2種、○ 3種
○ 鋼製物品棚		○ 4種、 ○ 5種、 ○ 6種、○
○		

○ 31. 屋内掲示板

・枠の材質　：☒ アルミニウム製　、○(　　)
・表面の材質　：☒ 塩ビ発泡シート張り、○(　　)

○ 32. 洗面カウンター

・材種　：○ メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）、○ 人工大理石
・奥行き(mm)　：○ 約 450、○ 約 600

○ 33. 防煙垂れ壁

・固定式　：

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
☒ 網入り磨板ガラス ○ 線入り磨板ガラス	☒ 6.8 ○	☒ 500 ○	アルミ製枠付き

・可動式　：

種類	材質	高さ(mm)	備考
○ 垂直降下式（巻取り型）	不燃布（不燃認定品）	☒ 500 ○ 800 ○	ガイドレール ☒ 固定式（壁埋込型） ○ 可動式（天井収納型）
○ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	☒ 500 ○ 800 ○	表面仕上げ ☒ 天井材張り ○

降下機構　　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

○ 34. 屋外掲示板

・照明器具　：☒ 有り、 ○ 無し
・施錠　　：☒ 有り、 ○ 無し

○ 35. 収納家具

・材質、形状、寸法　：
☒ 図示、 ○(　　)
・合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　：
☒ F☆☆☆☆、 ○(　　)
・壁等に固定する家具　：☒ 固定方法、寸法は家具表による　○下表による

家具名称	設置場所	固定方法	備考
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	

軽量鉄骨壁下地等への補強 ☒ 図示、○ (　　)
収納物の脱乱防止措置（ラッチ機構、ロック機構等）　講ずる
地震力に対する安全性

設計用震度	性能
設計用水平震度 (K_H) ☒ 1.0 ○	設計用震度の地震による引抜き力に対して、固定金具に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。
設計用鉛直震度 (K_V) ☒ 0.5 ○	なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。

21 排水工事

○ 1. 屋外雨水排水　(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

・排水管用材料　：

材種	管の種類	形状	呼び径	備考
○ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	○ B形管 ○	☒ 図示、○	
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ RF-VP ⓖ		☒ 図示、○	
	○ RS-VU ⓖ		☒ 図示、○	
	○ VP		☒ 図示、○	
	○ VU		☒ 図示、○	

・基床の厚さ及び種類　：○ 図示、○ (　　)
・硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　：☒ 接着剤、○ ゴム輪
・側塊の形状及び寸法　：○ 図示、○ (　　)
・排水桝、ふたの種類　：○ 図示、○ (　　)
・砂地業に用いる材料 (6.4.2(2))　：
○ シルト、○ 山砂、○ 川砂、○ 砕砂
・砂利地業に用いる材料 (6.4.2(1))　：
○ 再生クラッシャラン ⓖ、○ 切込砂利、○ 切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート　：
種類　　☒ 普通コンクリート、○ (　　)
設計基準強度 ☒ 18N/mm²、○(　　)
スランプ　☒ 15cm又は18cm、○ (　　)
・現場打ちの場合の鉄筋　：
種類の記号　☒ SD295A、○(　　)
・排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物　：
材料　　☒ 標準仕様書21.2.2(6)(ｲ)による
(材質 ○ ステンレス製、○ 鋼製、 ○ 合成樹脂被覆加工されたもの)
○ (　　)
・凍上抑制層の厚さ　：○ 図示、 ○ (　　)
・凍上抑制層に用いる材料　：○ (　　)
(砂を用いる場合の砂の粒度試験　○行う、○ 行わない)

○ 2. 鋳鉄製ふた　(21.2.1)

・鋳鉄製マンホールふた　：

種類	適用荷重	鍵	備考
○ 水封形 ○ 簡易密閉形（パッキン式） ○ 密閉形（テーパ・パッキン式） ○ 中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ○	○ T-2 用 ○ T-6 用 ○ T-20用 ○	○ 有り ○ 無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

○ 3. グレーチング　(21.2.1)

・鋼製　：

形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
○ 受枠付き、ボルト固定 ○	○ 溝ふた（横断用） ○ 溝ふた（側溝用） ○ 桝ふた用 ○ U 字溝用	○ 歩行用 ○ ○ T- 2用 ○ T- 6用 ○ T-14用 ○ T-20用	○ 細目 ○ ○ 普通目 ○ 細目		○ 凹凸形 ○ ○ 平形 ○

・ステンレス製　：

形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
○ 受枠付き、ボルト固定 ○	○ 溝ふた（横断用） ○ 溝ふた（側溝用） ○ 桝ふた用 ○ U 字溝用	○ 歩行用 ○ ○ T- 2用 ○ T- 6用 ○ T-14用 ○ T-20用	—	—	○ 凹凸形 ○ ○ 平形 ○

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

○ 4. 街きょ、縁石、側溝　(21.3.1、2)(表21.3.1)

・街きょ、縁石、側溝　：

種類	形状、寸法
○ 縁石	☒ 図示、○
○ L 形側溝	☒ 図示、○
○ U 形側溝	☒ 図示、○
○ U 形側溝ふた	☒ 図示、○
○	☒ 図示、○

・砂地業の材料　：
○ シルト、 ○ 山砂、 ○ 川砂、 ○ 砕砂
・砂利地業に用いる材料　：
○ 再生クラッシャラン ⓖ、 ○ 切込砂利、 ○ 切込砕石
・砂利地業の厚さ　：
☒ 100 (mm) 、 ○ 図示
・現場打ちの場合のコンクリート　：
種類　　☒ 普通コンクリート、○ (　　)
設計基準強度 ☒ 18N/mm²、○(　　)
スランプ　☒ 15cm又は18cm、○ (　　)
・現場打ちの場合の鉄筋　：
種類の記号　☒ SD295A、 ○(　　)
・凍上抑制層の厚さ　：○ 図示、 ○ (　　)
・凍上抑制層に用いる材料　：○ (　　)
(砂を用いる場合の砂の粒度試験　○行う、○ 行わない)

○ 5. 埋戻し土　(21.2.1)

・埋戻し土　：☒ B種、○ (　　)

22 舗装工事

○ 1. 路床　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

・路床の材料　：

種別	材料	厚さ(mm)
○ 盛土	○ A種、 ○ B種、 ○ C種、 ○ D種 ○ 建設汚泥から再生した処理土 ⓖ	○ 図示 ○
○ 凍上抑制層	○ 再生クラッシャラン ⓖ、 ○ クラッシャラン ○ 切込み砂利 ○ 砂（標準仕様書表21.2.2による） ○	○ 図示 ○
○ フィルター層	○ 砂（標準仕様書表22.2.3(3)による） ○	○ 図示 ○

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
・行う
・行わない
・路床安定処理　：
安定処理の方法　○ 置き換え工法、○ 安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類　○ 普通ポルトランドセメント、 ○ 高炉セメントB種 ⓖ
○ フライアッシュセメントB種
○ 生石灰（ ○ 特号、 ○1号 ）、○ 消石灰（ ○ 特号、 ○1号）
○ 固化剤（ ○ セメント系、 ○ 石灰系）
添加量　　(　　kg/m³ (目標CBR ○ 3以上、 ○　　))
・路床置換処理　：
置換厚　　☒ 図示、○ (　　)
置換材料の種類、品質　☒ 図示、○ (　　)
・不織布（ジオテキスタイル）　：
単位面積質量　○ 60g/m²以上　　、○ (　　)
厚さ(mm)　○ 0.5～1.0　　、○ (　　)
引張強さ　○ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上、○ (　　)
透水係数　○ 1.5×10^{-1}cm/sec以上　、○ (　　)
・試験　：
路床土の支持力比（CBR）試験 ○ 行う (　　箇所) 、 ○ 行わない
現場CBR試験　○ 行う (　　箇所) 、 ○ 行わない
安定処理土のCBR試験　○ 行う　　、 ○ 行わない
路床締固め度の試験　○ 行う (　　箇所) 、 ○ 行わない
六価クロム溶出試験　○ 行う　　、 ○ 行わない

○ 2. 路盤　(22.3.2、3、5)(表 22.3.1)

・路盤の構成及び厚さ　：☒ 図示、○ (　　)
・路盤材料の種類（標準仕様書表22.3.1による種別）　：

砕石	○ クラッシャラン ○ 粒度調整砕石
再生材	○ 再生クラッシャラン ⓖ ○ 再生粒度調整砕石 ⓖ
鉄鋼スラグ	クラッシャラン鉄鋼スラグ ⓖ ○ 粒度調整鉄鋼スラグ ⓖ ○ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ⓖ

○ 3. アスファルト舗装　(22.4.2～6)(表22.4.1)

・アスファルト舗装の構成及び厚さ　：☒ 図示、○ (　　)
・舗装の平たん性　：☒ 通行の支障となるわたまりを生じない程度、○ (　　)
・材料　：
アスファルト○ 再生アスファルト ⓖ
(標準仕様書表22.4.1による種類 ○ 60～80、 ○ 80～100)
○ ストレートアスファルト
骨材　○ 道路用砕石
○ アスファルトコンクリート再生骨材 ⓖ
・加熱アスファルト混合物等の種類（配合は標準仕様書表22.4.4による）　：
○ 密粒度アスファルト混合物(13)
○ 細粒度アスファルト混合物(13)
○ 密粒度アスファルト混合物(13F)
・試験　：
アスファルト混合物等の抽出試験　○ 行う、○ 行わない

○ 4. コンクリート舗装　(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

・コンクリート舗装の構成及び厚さ　：

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	○ 車路、駐車場	☒ 図示、○	☒ 図示 ○
	○ 歩行者用通路	☒ 図示、○	☒ 70、 ○

・舗装の平たん性　：☒ 通行の支障となるわたまりを生じない程度、○ (　　)
・材料　：
コンクリート ☒ 普通コンクリートで標準仕様書表22.5.1による
○ 以下による
コンクリートの種類　(　　)
設計基準強度(N/mm²)　(　　)
所定スランプ(cm)　☒ 8、○ (　　)
粗骨材の最大寸法(mm)　(　　)
早強ポルトランドセメント　○ 使用する、　○使用しない
注入目地材料　☒ 低弾性タイプ、 ○高弾性タイプ
アスファルト乳剤　　プライムコート(1.5L/m²)
目地　　☒ 標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による
○ 以下による
種類　(　　)
間隔　(　　m程度ごと)
構造　○ 図示による、○ (　　)

○ 5. カラー舗装　(22.6.2～4)

○ 加熱系カラー舗装
構成及び厚さ　　☒ 図示、○ (　　)
加熱系混合物結合材　○ アスファルト混合物
○ 石油樹脂系混合物（顔料添加量　　%）
添加材
着色骨材　(　　)
自然石　(　　)
⊘ 常温系カラー舗装
工法　　○ ニート工法、　○ 塗布工法
着色部の下部　○ アスファルト舗装、○ コンクリート舗装
・舗装の平たん性　：○ 通行の支障となる水たまりを生じない程度、○ (　　)

22 舗装工事

○ 6. 透水性アスファルト舗装　(22.7.2、3、6)

・舗装の構成　　:☒ 図示、○ (　　)
・舗装の平たん性　:☒ 著しい不陸がないもの、○ (　　)
・材料　：骨材　○ 道路用砕石
○ アスファルトコンクリート再生骨材 ⓖ
(標準仕様書表22.4.1による種類 ○ 60～80、○ 80～100)
・試験　：開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　○ 行う、○ 行わない
砂の粒度試験　　○ 行う、○ 行わない
○ 透水性コンクリート舗装　：　(22.5.2～4.6)
コンクリート舗装に対する基準値

項目	基準値
最大粒径　(mm)	13
空隙率　(%)	20以上
透水係数　(cm/s)	0.01以上
目地の間隔	版厚の20倍程度

構成、厚さはコンクリート舗装による
不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置　☒　フィルター層と路床の間に敷設、 ○ 図示
透水性コンクリート平板舗装舗装　(22.8.2、3)
透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による
透水性インターロッキングブロック舗装　(22.8.2、3)
透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による

○ 7. 半たわみ性舗装

区分	種類	厚さ(mm)
表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13)	40
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40

・試験　：
半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験　○ 行う、 ○行わない
・材料　：
浸透用セメントミルクの標準的な性状

項目	性状	試験方法
フロー値（Pロート）秒	10　～　14	舗装調査・試験法便覧（C041）
圧縮強度（7日養生）MPa	9.8　～　29.4	JIS R 5201
曲げ強度（7日養生）MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧（C042）

・配合　：
半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合

ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率（%）
19　mm	100
13.2　mm	95　～　100
4.75　mm	10　～　35
2.36　mm	5　～　22
600　μm	4　～　15
300　μm	3　～　12
75　μm	1　～　6
アスファルト量（%）	3.0　～　4.5

半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値

項目	基準値
密度　(g/cm3)	1.90以上
安定度　(kN)	2.94以上
フロー値　(1/100cm)	20～40
空隙率　(%)	20～28
突き固め回数　(回)	50

・施工　：
アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。
浸透用セメントミルクの施工は、(ｱ) から (5) による。
(1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。
(2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。
浸透作業は、一般に振動ローラー等により行う。
(3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、硅砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。
(4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下記に示すとおりである。

セメントミルクの種類	養生期間
普通タイプ	約3日
早強タイプ	約1日
超速硬タイプ	約3時間

(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的に注入前に交通解放は行わないようにする。
締固め度　　標準仕様書22.4.2(2)による
舗装厚さの許容差　標準仕様書22.4.2(3)による
舗装の平たん性　　通行の支障となる水たまりを生じない程度

出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	建築改修工事特記仕様書（7）
縮尺	NS
	船橋市建設局建築部建築課
図面番号	A-08
	令和7年度

22 舗装工事

○ 8. 弾性舗装

・弾性舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ　：⊠ 図示、○（　　）

区分	種類	厚さ(mm)
表層	弾性塗装材	15～20
基層	再生密粒度アスファルト混合物(13)	30

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

○ 9. ブロック系舗装　(22.8.2、3)

○ コンクリート平板舗装 R
構成および厚さ　⊠ 図示、○（　　）

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
○ 普通平板(N)				表面加工
○ 透水性平板(P)	○ 300角	⊠ 60	⊠ 砂	○ 研ぎ出し
○ 保水性平板(M)	○	○	○ モルタル	○ 洗い出し
○				○ たたき出し

クッション材　⊠ 砂、○ 空練りモルタル
普通平板　⊠ 再生材料を用いた舗装用ブロック R
透水性平板　⊠ 透水性コンクリート R
仕上り面の平たん性　⊠ 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする
○（　　）

○ インターロッキングブロック舗装 R
構成および厚さ　⊠　図示、○（　　）

種類	部位	厚さ(mm)	形状寸法	横断面勾配	曲げ強度(N/mm²)	備考
⊠ 普通ブロック(N)	車路、駐車場	⊠80	○ 図示	2%	5.0以上	表面加工
○ 透水性ブロック(P)		○	○			
○ 保水性ブロック(M)						
⊠ 普通ブロック(N)	歩行者用通路	⊠ 60	○ 図示	1.5～2%	3.0以上	表面加工
○ 透水性ブロック(P)		○	○			
○ 保水性ブロック(M)						

歩行者用通路に使用する普通ブロック　⊠ 再生材料を用いた舗装用ブロック R
透水性ブロック　⊠ 透水性コンクリート R
舗装の割付（車路、駐車場）　○ ヘリンボンボンド(45°)、○ ヘリンボンボンド(90°)
仕上り面の平たん性　⊠ 走行、歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内とする
○（　　）

区分	部位	厚さ(mm)	種類
敷砂層	○ 車路、駐車場	20	砂
	○ 歩行者用通路	30	
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）

○ 舗石舗装（歩行者用通路）
構成および厚さ⊠　図示○（　　）

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
○ 花崗岩	○ 割石○図示		○ うろこ張り	○ コンクリート版	⊠ 70、○
○	○		○	○ アスファルト混合物	⊠ 50、○

クッション材　⊠ 砂、○ 空練りモルタル
仕上り面の平たん性　⊠ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内
○（　　）

○ 10. 砂利敷き　(22.9.2)

・種別　：
○ A種（施工範囲 ○ 図示、○ 通路、○　　）
○ B種（施工範囲 ○ 図示、○ 建物周囲他、○　　）

○ 11. 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	備考
⊠ 3種1号	溶融	粉体状	○ 白	○ 150	○ 1.0	
○ 1種 R	常温	液状	○	○ 100	○	
○ 2種 R	加熱			○		

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 R

23 植栽及び屋上緑化工事

○ 1. 植栽地の確認等

・土壌の水素イオン濃度（pH）試験　：○ 行う、○ 行わない　(23.1.3)
・電気伝導度（EC）の試験　：○ 行う、○ 行わない

○ 2. 植栽基盤の整備　(23.2.2、4)

樹木の植栽基盤の整備　（○ 適用する　○ 適用しない）

植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
⊠ 樹木	⊠ A種	樹高12m以上（⊠ 100、○120、○150）	○ 葉張り部分 ○ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ○ 適用しない
	○ B種	樹高7m以上～12m未満（⊠ 80、○100）		
	○ C種	樹高3m以上～7m未満（⊠ 60、○ 80）		
	○ D種	樹高3m未満（⊠ 50、○ 60）		
⊠ 芝、地被類	⊠ B種	⊠ 20	○ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ○ 適用しない
	○	○	○	

植栽基盤の排水設備　（○ 設ける（⊠図示　○　　）○ 設けない）
・植込み用土　：○ 現場発生土の良質土、○ 客土　(23.2.3)
・土壌改良材　：　(23.2.3)
パーク堆肥 R
施工箇所　⊠植栽範囲、○ 図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（○ 50L、○　　）
汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）R
施工箇所　⊠植栽範囲、○ 図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（○ 10L、○　　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

○ 3. 樹木　(23.3.2)

・樹種、寸法、株立数等　：⊠ 図示、○（　　）

○ 4. 支柱　(23.3.2、3)

・支柱材　：⊠ 丸太（間伐材）R、○ 真竹、○（　　）
・防腐処理方法　：⊠ 加圧式防腐処理丸太材、○（　　）
・形式　：○ 図示、○（　　）

○ 5. 幹巻き用材料　(23.3.2)

・材料　：⊠ 幹巻き用テープ、○ わら及びこも

○ 6. 芝　(23.4.2、3)

・種類　：⊠ コウライシバ、○ ノシバ、○（　　）
・芝張りの工法　：平地 ⊠ 目地張り、○ べた張り
法面 ⊠ べた張り、○ 目地張り

○ 7. 吹付けは種　(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量(g/㎡)	備考
⊠ 洋芝類（採取後2年以内）	⊠ 発芽率80%以上		
○			

○ 8. 地被類　(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数

○ 9. 新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置　(23.3.4、6)(23.4.7)

・新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間　：
⊠ 引渡しの日から 1年、○ 無し、○（　　）
・移植樹木の枯損処置を行う期間　：
⊠ 引渡しの日から 1年、○ 無し、○（　　）

○ 10. 屋上緑化 R　(23.5.2～4)

・植栽基盤及び材料　：
○ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ　○　図示、○（　　）
排水層　○　軽量骨材（層の厚さ：　　）、○　板状成型品
植込み用土　⊠　在来土、○　人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ⊠ 図示、○（　　）
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　⊠ 図示、○（　　）
（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
○ 屋上緑化軽量システム
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ⊠ 図示、○（　　）
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　⊠ 図示、○（　　）
（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・工法　：　(23.5.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ○ 1、○ 1.15、○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
支柱　○ 設置する（形式　⊠ 図示、○　　）
かん水装置　○ 設置する（種類　⊠ 図示、○　　）

別記① 建設副産物の処理

1. 共通事項
1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」を準用し、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を建設副産物情報交換システム（COBRIS）により作成し、施工計画書に含め、各1 部提出すること。
また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「建設副産物情報交換システム登録証明書」を同システムにより作成し、各 1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後 1年間保存しておくこと。
・作成対象工事
「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100 万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

2)「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基き、建設副産物の処理に先立ち「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を 1 部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約書を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。
建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し確認を受けること。

3)建設廃棄物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票の D票及び E票を提示すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を提示すること。

4)以下の項目の数量については、積算のための参考数量を示す。

2. 建設発生土
○ 指定(A)(工事間流用)の場合
本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間流用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。

搬出先（相手先工事名、場所等）	工事（　　市　　町地先）
土質及び処理量	第　種建設発生土　m^3
搬出時期	年　月 ～　年　月

なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。
○ 指定(A)(その他)の場合
建設発生土（　　m^3）は、（　　）地先に搬出するものとする。
なお、詳細については監督職員の指示によること。
○ 指定(B)の場合
建設発生土（　　m^3）は、（　　）地先に搬出するものとする。

1) 上記、指定(A)及び指定(B)については、「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」による。
2) 建設発生土を搬出又は搬入する場合は「建設発生土管理基準」に基づき「建設発生土の管理調書」を作成・保管する。
3) 建設発生土に係る留意事項
・利用先の確保
他の工事現場での利用を促進するため、ストックヤード、土質改良プラント及び「建設発生土情報交換システム」を積極的に活用し、利用先の確保に努める。
・中間処理施設の選定
中間処理施設の選定に当たっては、利用先の品質要件にあう発生処理土を確保するため、他の残土と混ざらないようにいかに再生処理できるかが大きな要素となる。このため、経済性を含めて、総合的に判断する必要がある。
また、リサイクル原則化ルールに基づき、「建設副産物情報交換システム -COBRIS- 」(JACIC)の登録処理業者を活用して、50km範囲で検索する。
・品質・安全性の確保
処理土の品質・安全性を確認するため、土質試験、土壌分析試験などを行う。
・一時保管
利用先との工程調整のため一時保管する場合には廃棄物処理法等の手続きが必要となるので注意する。

3. 路盤廃材

	数量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備考
○ 路盤廃材	t	都市町	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	

4. 建設廃棄物等

	数量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備考
● コンクリート塊（無筋）	4.4 t	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ コンクリート塊（有筋）	t	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ アスファルト塊	t	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● その他がれき類	1.7 m^3	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ 廃プラスチック	m^3	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ 金属くず	m^3	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ その他くず類	m^2	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 廃石膏ボード	52.4 m^3	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 混合廃棄物	2.0 m^3	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ 建設汚泥	m^3	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ カッター汚泥	m^3	都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○		都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○		都市町地先	km	○ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● スクラップ控除	12.2 t		km	● 有価物処理	
● スクラップ（ｽﾃﾝﾚｽ）	0.8 t		km	● 有価物処理	
● スクラップ（ｱﾙﾐ）	0.1 t		km	● 有価物処理	

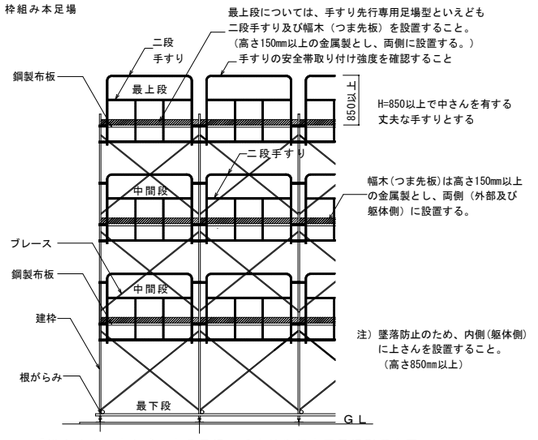
工事発注後、事情により上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。
なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。

別記② 工事区分

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	はり、床、壁貫通部	鉄筋補強	⊠	○	○
		スリーブ、型枠	○	⊠	⊠
	埋込形（分電盤、端子盤、プルボックス）	鉄筋補強	⊠	○	○
	風道、埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口、換気扇、大便器等	スリーブ、型枠	○	⊠	⊠
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切込み	補強とも	⊠	○	○
		補強のない場合	○	⊠	⊠
	スリーブ穴埋め、型枠穴埋め		⊠	⊠	⊠
	鉄骨、PC板等への穴開け、補強、スリーブ入れ（工場加工）		⊠	○	○
基礎	屋内 配電盤、制御盤、発電機、キュービクル、	躯体と一体のもの	⊠	○	○
	屋内 受水槽、サービスタンク	上記以外	○	⊠	⊠
	屋外 配電盤、制御盤、キュービクル、	鉄筋基礎	○	⊠	○
	屋外 受水槽、消火水槽	無筋基礎	○	○	○
	屋上 テレビアンテナ、避雷針、	躯体と一体のもの	⊠	○	○
	屋上 高架水槽、クーリングタワー、消化栓補給水槽	上記以外	○	⊠	⊠
	架台、アンカーボルト		⊠	○	○
点検口	床、壁、天井		⊠	○	○
	配線ピット、トレンチピット		⊠	○	○
	その他		○	○	○
配管配線	機器付属の制御盤（接地とも）	一次側	○	⊠	○
		二次側	⊠	⊠	⊠
	制御盤と動力盤の間（接地とも）	電源供給	○	⊠	○
		操作 配管	○	○	○
		回路 配線（　）	○	○	○
	天井吊り型FCU 及び全熱交換形換気扇（接地とも）	電源供給	○	⊠	○
		操作 配管	○	○	○
		回路 配線（　）	○	○	○
	煙感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配線配管		○	○	○
防油堤			⊠	○	○
インサート、吊りボルト（設備機器、器具、背反、ダクト用）			⊠	⊠	⊠
インサート、吊りボルト（天井）			⊠	○	○
換気扇枠			○	○	○
外部取り付けガラリ（ダクト、チャンバー接続用フランジを含む）			⊠	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○

仮設足場（参考）

枠組み本足場



「働きやすい安心感のある足場」手すり先行専用足場型概念図

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省　基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり掘置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
9 防水工事	1 アスファルト防水	乾式保護材	・乾式保護材： 窯業系パネル　無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの 金属合板　金属板と樹脂を積層一体化したもの ・品質・性能： 分類・規格：窯業系パネルⅠ類（耐衝撃性に優れ、また寒冷地仕様）／窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）／金属複合板 寸法の許容差：厚さ　+10%、-5%、幅　±1% 外観：割れ、貫通、き裂がない。異物の混入、汚れ、はく離など使用上支障がない。 含水率：出荷時において10%以下／— 曲げ強さ・曲げモーメント（N・cm）（スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント）：標準時　550N・cm以上／450N・cm以上／300N・cm以上 凍結融解完了時（試験サイクル数）　400N・cm以上（300）／320N・cm以上（200）／250N・cm以上（300） 吸水率(%)：20以下／20以下／1以下 吸水による長さ変化率(%)：0.07以下／0.07以下／0.07以下 難燃性：不燃／不燃／表面材は不燃 耐凍結融解性能：300 サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。／300 サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。／300 サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。（明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。） 耐衝撃性能：質量1.000gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。／—／質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下 剛性(E×I)（スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性）：—／—／80,000N・cm²以上 ・試験方法： 1)寸法の測定方法 厚さ　供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 幅　供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512 「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516 「金属性直尺」に規定する目量が 1mmの1級直尺を用いて測定する。 2)曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前と、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。） なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 3)吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 4)難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。 5)吸水による長さ変化率試験は、試験体（幅40mm×長さ160mm×素材厚さ）を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム（試薬）」に規定する塩化カルシウムまたはJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。 その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にに成てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。 24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率　(ΔL)は、次式によって求める。 (ΔL) = (L2 - L1) / L1 * 100 ΔL　吸水による長さ変化率(%)、L1　乾燥時の標線間の長さ(mm)、L2　吸水時の標線間の長さ(mm) 6)耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。 100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。） 凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。 7)耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。 試験体の支持装置は、記号S2対 辺単純支持方法による。 試験体の大きさは、4号（長さ400mm、幅300mm）とする。おもりは、鋼製のなす形おもり又は球形おもりとし、記号（W₁-1000）、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。
11 タイル工事	2 セメントモルタルによるタイル張り	既調合モルタル	・既調合モルタル： モルタルを下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 ・品質・性能： 項目／品質・性能 保水率：70.0 %以上 単位容積質量：1.80 kg/L以上 接着強さ　標準時：0.60 N/mm²以上／温冷繰り返し後：0.40 N/mm²以上 長さ変化率：0.20 %以下 曲げ強さ：4.0 N/mm²以上 ・試験方法： 1)試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、撹拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 2)保水率の試験方法 JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ 3mm）を設置し、1)で調製した試料を金べらで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50/平均値*100　（注）50 リング型わくの内径(mm) 3)単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 4)接着強さ（標準時）の試験方法 ｲ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合 （試験体の作製） JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1 規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル（外のりサ法約 300mm×300mm）」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法） JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 また、試験体の破材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T　タイルの母材破断 TM　既調合モルタルとタイルの界面破断 M　既調合モルタルの母材破断 MG　既調合モルタルと下地板の界面破断 G　下地板の母材破断 （なお、標準時の接着強さは、抜き取った試験片5箇所とも全て0.6N/mm²以上を確保していること。） ﾛ)適用タイルが「小口タイル、二丁掛けタイル」の場合 （試験体の作製） JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1 規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに1)で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の I 類（施ゆう）「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法） 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 5)接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法 （試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々「4)接着強さ（標準時）の試験方法」の「試験体」と同様とする。 （温冷繰返し試験） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」に規定する7.10温冷繰返し試験に準じて行う。試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに−20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び剥れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。 なお、温水繰返し後の接着強さは、抜き取った試験片5か所とも全て0.4N/mm²以上を確保していること。 6)長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 7)曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 （試験室の状態　試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。）
		既調合目地材	・品質・性能： 項目／品質・性能 保水率：30.0 %以上 単位容積質量：1.80 kg/L以上 長さ変化率：0.20 %以下（収縮） 吸水量：50 g以下 ・試験方法： 1)試験の条件 試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。 2)試料の調整 正味質量と標準練り上がり量より、1.0～1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、撹拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。 3)保水性（ろ紙法） JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦200mm、横200mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径18.5cm）をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率(%) = 50/平均値*100　（注）50 リング型わくの内径(mm) 4)単位容積質量 2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。 5)長さ変化率 2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。 6)吸水量 2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」10に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
15 左官工事	1 モルタル塗り	防水剤	・品質・性能： 項目／品質・性能 防水剤の種別：建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 混合割合：セメント重量の5%以下 凝結及び安定性：凝結時間　始発：1時間以上　終結：10時間以内／安定性　収縮性、膨張性のひび割れ及びそりがない 曲げ及び圧縮強度比：防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比　70%以上 吸水比：防水剤を混入したもの、しないものの吸水比　95%以下 透水比：防水剤を混入したもの、しないものの透水比　80%以下 ・試験方法： JIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10⁶Paとし1時間行う。
16 建具工事	11 建具用金物	錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠）	・品質： デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 ・性能： 使用頻度による性能：1)（シリンダ箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作及びラッチングカが試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。／2)キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。（シリンダ本締り錠のみ）シリンダ単体の施解錠繰り返しの評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。／3)キーによる施錠機構の施解錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。／4)キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする。） 外力に対する性能：1)デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上 であること。／2)デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。／3)デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が8mm未満）にならないこと。／4)デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。／5)（シリンダ本締り錠はグレード3以上の彫込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm 以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 使用扉の質量に対する性能（シリンダ箱錠のみ）：1)ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。／2)レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。／3)握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。／4)ハンドルの引張強度試験(2KN以上)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。／5)ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN以上)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。 鍵違い：1)鍵違い数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。／2)同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。 ・試験方法： JIS A 1541-1（建築金物-錠-第1部：試験方法）による。

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
16 建具工事	11 建具用金物	クローザ類	・品質・性能： 性能試験項目／区分／Grade2／番号／ドアクローザ 閉じモーメント(N・m)／ドアクローザ 効率(%)／ヒンジクローザ 閉じモーメント(N・m)／ヒンジクローザ 効率(%)／フロアヒンジ 閉じモーメント(N・m)／フロアヒンジ 効率(%) 初期値　閉じ力及び効率による区分（注1）（注2）：1／5以上／30以上／5以上／30以上／5以上／30以上 2／10以上／30以上／10以上／30以上／10以上／30以上 3／15以上／35以上／15以上／35以上／15以上／35以上 4／25以上／40以上／25以上／40以上／25以上／40以上 5／35以上／45以上／35以上／45以上／35以上／45以上 6／45以上／45以上／45以上／45以上／45以上／45以上 閉じ速度(秒)：常温(5～35℃)無風状態において、開扉(70°)から全開(0°)までの時間を5～8秒に調整できること。 温度依存性(℃)：緩衝油の流動点は、JIS K 2269（原油及び石油製品の流動点並びに石油製品品蝋り点試験方法）により測定し、−15℃以下であること。 ストップ力：ストップ入力：60 N・m以下 但しコンシールド型は 200 N・m以下／100 N・m以下／100 N・m以下 ストップ解放力：8 N・m以上／3 N・m以上／10 N・m以上 バックチェック性能(秒)（バックチェック機能を有する機種のみ適用）：ドア開扉方向に荷重60 N/mを開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度（70～85°）から更に20°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。／—／— ディレードアクション性能(秒) ディレードアクション解除角度（60～75°）（ディレードアクション機能を有する機種のみ適用）：開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10 秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。／—／— 戸の閉鎖位置（中心吊り込み両自由のみに適用）：—／—／±3mm以内 耐久性　繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m)／繰返し開閉後の効率(%)／繰返し開閉後の閉じ速度(秒)／繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)／繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)／繰返し開閉後の戸開鎖位置(mm)／耐久性の試験回数（繰り返し開閉回数）Grade2：20万回／10万回／30万回 Grade1を選定する場合は、図示による。 注1. パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。 注2. コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。 ・試験方法： 1)性能試験は、JIS A 1510-3（建築用ドア金物の試験方法-第3部　フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ）に規定する試験方法による。 2)試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。
14 自閉式上吊り引戸装置	自閉式上吊り引戸装置		・試験方法： (1)耐久性（開閉繰り返し）試験 JIS A 5545(2011)「サッシ用金物」の7.1(戸車の試験)開閉繰り返しに準じる。ただし、閉については、外力によらず、試験体の自閉制装置及び御装置のみにより扉を開端位置から閉端位置までの作動を確認できる試験を行う。 1)同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。 2)適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとする。 3)その他の制御装置については、メーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認できるものとする。 (2)耐衝撃性試験 JIS A 1518(1996)「ドアセットの砂袋による耐衝撃性試験方法」に準じ、重量30kgの砂袋を用い落下高さ17cmで、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3)気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。
19 内装工事	13 断熱材	現場発泡断熱材	・品質・性能： 項目／品質・性能 難燃性：下記のいずれかによっていること。1)JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。／2)法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）に適合していること。 発熱性：準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の1)～3)に適合していること。1)総発熱量が8MJ/m²以下であること。／2)防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。／3)最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/㎡を超えないこと。 ・試験方法： 1)原液試験（原液粘度試験） JIS K 7117-1「プラスチック　液状、乳濁状または分散状の樹脂　ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 2)発泡品試験 ｲ)試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 ﾛ)試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。 ﾊ)試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 ﾆ)試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 ﾎ)圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 ﾍ)熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 ﾄ)接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 ﾁ)透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 3)難燃性試験 下記に規定する表面試験及び発熱性試験による。 ｲ)表面試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 ﾛ)発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	建築材料等品質性能表（1）
縮尺	NS
	船橋市建設局建築部建築課
図面番号	A-10
	令和7年度

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
20 ユニット及びその他の工事	1 フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	標準仕様書20.2.2によるほか以下とする。 ・性能　： 1)耐震性能 イ)固定台試験による耐震性能（設計床高さH=300mm超え、600mm以下の場合） 性能 ① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき：水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上 ② 上記①以外の部分が耐力に達したとき：水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上 ③ 適用地震時水平力を加えた時の支柱頂部の変位：構造床面からの高さの1/50以下 ＜適用地震時水平力＞ ・3,000N 0.6Gタイプ　支柱一本が負担する床加重[(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数]×0.6 ・3,000N 1.0Gタイプ　支柱一本が負担する床加重[(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数]×1.0 ・5,000N 0.6Gタイプ　支柱一本が負担する床加重[(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数]×0.6 ・5,000N 1.0Gタイプ　支柱一本が負担する床加重[(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数]×1.0 ロ)振動台試験による耐震性能（設計床高さ≦300mmの場合のみ） パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。 2)歩行感 通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない 3)メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている ・試験方法　： 1)耐震性能 イ)設計床高さ≦300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量　3000N 200kg、5000N 350kg 加振　0.6G：所定加速度600cm/S²、1.0G：所定加速度1000cm/S² ロ)300mm＜設計床高さ≦600mmの場合 ①固定台による耐震性能試験 a. 支柱調整式－支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1　又は、試験方法-2による。 b. 原則として、試験方法-1は パネル単体設置（Aタイプ）に適用し、試験方法-2は パネル連結設置（Bタイプ）に適用するものとする。 ②試験方法-1 a. 試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品　種類 N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③試験方法-2 a. 試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品　種類 N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 b. 最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。また、800mm×800mmに荷重板荷重板3,200 N (5,000 N/㎡相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 ④変点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程の水平力を加力した後、速やかに除荷して「0」にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 ハ)共通事項 試験に使用する表面仕上材 種類：タイルカーペット、　繊維素材：ナイロン100%、　パイル携帯：ループパイル、パイル長：3.0mm～4.0m、　パッキング素材：塩化ビニル樹脂、全厚：6.0mm～7.0mm、単位質量：4.0kg/㎡～6.0kg/㎡、人体耐電圧：2KV以下
	3 移動間仕切	移動間仕切	標準仕様書表20.2.4によるほか以下とする。 ・品質　： 1)パネル（表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材）及びハンガーレール JIS A 6512「可動間仕切」の表9材料又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこさないもの又は防食処理を施したものとする。 2)パネルの外観 JIS A 6512「可動間仕切」の5.a) ～ c) による。 ・性能及び試験方法　： 1)パネルの操作性 パネル操作の初動力は98N以下とする。 2)パネル圧接装置の耐久性 パネル圧接装置の固定・解除は、7,500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。 3)耐衝撃性 質量50Kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく、表面の割れ、はがれがないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。 4)レールの耐久性 レールは普通パネルで吊り車2個が通過する部分を1m以上とし、吊り車の通過回数が30,000回以上で異常のないものとする。 5)吊り車の耐久性 吊り車は、走行距離60Kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。 6)ランナーの引張強度 引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。 7)吊りボルトの引張強度 一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。 8)遮音性能 遮音性試験はJIS A　6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。 9)ホルムアルデヒド等 JIS A 6512「可動間仕切」7材料による。
20 ユニット及びその他の工事	4 トイレブース	トイレブース	標準仕様書表20.2.5によるほか以下とする。 ・品質・性能　： 1)付属金物 項目：品質・性能 ヒンジ ラッチセット：耐蝕性のあるものとする。 戸当り：腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。 2)外観 JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。 3)パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性 品質・性能 項目：耐薬品性及び耐汚染性：耐ひっかき性：開閉耐久性 メラミン樹脂系化粧板　及びメラミン樹脂系単一材：JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性（B法）の規定を満足していること。：－：JIS A 4702「ドアセット」9.4 開閉繰り返し試験によるスイングドア（開閉回数10万回）を満足すること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に緩みのないこと。 低圧メラミン樹脂系化粧板：下記項目のポリエステル樹脂系加工化粧合板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。 ポリエステル樹脂系加工化粧合板：JAS「合板の日本農林規格」第9条（特殊加工化粧合板の規格）に示された耐汚染性B試験を満足していること。：JAS「合板の日本農林規格」第9条（特殊加工化粧合板の規格）に示された耐引っかき硬度B試験を満足していること。 ポリエステル樹脂系化粧MDF：JIS A 5905「繊維板」に規定する表18の化粧MDFの品質に適合していること。 ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード：JIS A 5908「パーティクルボード」に規定する表11の化粧パーティクルボードの品質に適合していること。 ・試験方法　： 1)ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法－第2部：ドア用金物」の規定による。 2)戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2の規定による。
	11 煙突ライニング	煙突用成形ライニング材	・品質・性能　： 種類：ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材 加熱線収縮率：2.0%以下 曲げ強度：0.8N/mm²以上 圧縮強度：1.0N/mm²以上 スポーリング性：試験体に亀裂の発生、剥離あるいは脱落がないものとする。 透水性：試験体裏面に水滴が生じないものとする。 耐酸性：試験体に形状変化が見られず、崩壊する危険性がないものとする。 石綿：使用不可。 ライニング材とコンクリートの境界温度：100℃以下とする。 加熱線収縮率、曲げ強度、圧縮強度の確認は、社内試験成績書によることができる。 ・試験方法　： 1)スポーリング性試験 適用安全使用温度（300℃）から適用安全使用温度まで100℃間隔で30分間加熱冷却を繰り返し、各温度設定時の加熱後及び冷却時の試験体変裂、剥離、脱落の状況を観察する。（試験体は完成品とし、サイズは内径600mm×長さ1000mm程度とする。） 2)透水性試験 JIS A 5430「繊維強化セメント板」8.6透水性試験による。 3)耐酸性試験 1.0%濃度の硝酸及び硫酸水溶液に下記の方法で浸せきした後、試験体の外観を調べる。試験は、試験体を温度20℃、湿度60%の試験室に24時間以上静置した後、酸水溶液に1週間（168時間）浸せきする。（ただし、酸水溶液は48時間毎に交換する。）その後、48時間以上温度20℃、湿度60%の試験室に静置した後に外観観察を行う。（試験体のサイズは、100mm×50mmとする。） 4)熱伝導率測定 JIS R 2616「耐火断熱れんがの熱伝導率の試験方法」による。試験設定温度は100℃、150℃、300 ℃、450℃、600℃とする。
	17 天井点検口	天井点検口	・品質・性能　： 1)内外枠の材質は、アルミニウム製とする。 イ)JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063St5 又は同等の性能を有するものとする。 ロ)表面処理は、JIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜」に規定するAA6又は同等の性能を有するものとする。 2)内枠及び外枠のコーナーピース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 3)外枠の取付け金物 イ)吊り金具 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 ロ)吊り金具取付けボルト 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 4)内枠の仕上材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき鋼板の類い又は同等以上の品質並びに仕上げ材を固定する性能を有するものとする。 5)寸法許容差（枠の許容差） 枠の寸法許容差　±0.5mm 外枠と内枠のクリアランス　片側2.0mm以内 6)耐久性能（繰り返し開閉試験） イ)50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内とする。 ロ)開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 ・試験方法　： 内蓋（内枠）の繰り返し開閉試験 1)試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 2)吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式（天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式）とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。 3)野縁の種類は、19形とし仕上材は、せっこうボード厚さ9.5mm（JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上）二重張りとする。 4)試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 5)測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。
20 ユニット及びその他の工事	18 床点検口	床点検口	・品質・性能　：　以下のもの又は同等のものとする。 部材名：材質：屋内外用：屋内用 受枠材 蓋枠：アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材：JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S-T5（表面処理）JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」に規定するB種又はJIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装被膜」に規定するAA15： ステンレス製：JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 表面処理：HL又は2B仕上げ程度：JIS G 4305のSUS430 表面処理：HL又は2B仕上げ程度 鋼製：－：鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類いにメラミン樹脂焼付塗装等若しくは、公共建築工事標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの 二重蓋の中蓋：錆鉄：JIS G 5501「ねずみ錆鉄品」に規定するFC150、FC200 その他：塩化ビニル樹脂製等 目地材：黄銅：JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定するC2600、C2720、C2801 JIS H 3250「銅及び銅合金の棒」に規定するC3602、C3604 ステンレス：JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 JIS G 4308「ステンレス鋼線材」に規定するSUS304 底板材、コーナーピース、底板補強材：ステンレス鋼板：JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 JIS G 4308に規定するSUS304 JIS G 4305に規定するSUS430 アルミニウム板：JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P H24 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601に規定するAM5 JIS H 8602に規定するB：－ 鋼材：－：鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類いに鋼板にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの パッキン材：塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 アンカー材：枠の材質、形状に適した強力性、密着性、気密性を有するもの 鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 取手：鋼製：黄銅鋳鋼製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳鉄製、ステンレス鋳鋼品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないもの 鍵：黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製：施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式 1)許容差 イ)受け枠基準寸法　600角程度まで ロ)受け枠寸法の許容差　±0.5mm ハ)蓋付き寸法の許容差　±0.5mm ニ)受け枠と蓋枠のクリアランス　片側2mm以内 2)蓋の耐荷重性能 イ)加圧する荷重値Pn=1.000N ロ)蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内 ハ)受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと ニ)破壊荷重が、加圧荷重値Pnの2倍以上 ・試験方法　： 1)試験体 イ)躯体用とし、600mm角程度とする。 ロ)枠見込みは、40mm以下とする。 2)試験 イ)試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 ロ)本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 ハ)本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する（終局荷重）まで加圧する。 3)測定 蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。
	21 排水工事	グレーチング	・品質・性能　：　以下のもの又は同等のものとする。 鋼製グレーチング 項目：品質・性能 メインバー、サイドバー及びエンドプレート：JIS G 3101「一般用構造用圧延鋼材」に規定するSS400 クロスバー：JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」に規定するSWRM 受け枠用アングル材：JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」に規定するSPHT 溶融亜鉛めっきの付着量：JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規程する溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又はHDZ 50以上又は2種50(HDZ50)以上のもの 受け枠用アングル材：塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料 ステンレス製グレーチング（表面仕上げは2B程度） メインバー、クロスバー：JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間仕上ステンレス鋼棒」に規定するSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430JIL サイドバー、エンドバー：JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318に規定するSUS304、又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430JIL及びJIS G 4317「熱間成形ステンレス鋼形鋼」、JIS G 4320「冷間成形ステンレス鋼形鋼」に規定するSUS304 受け枠用アングル材：JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定するSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430JIL アンカー：JIS G 3101に規定するSS400の類いとし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの 1)組み立て加工 イ)アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ)平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ)ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。 ・試験方法　： 設計荷重は以下の通りとする。 歩車道区分：荷重種別：側溝用(KN)：横断溝用(KN)：加圧面積(cm) 車道：T-20：78.5：109.8：20×50 T-14：54.9：76.9：20×50 T- 6：23.5：33.0：20×24 T- 2：7.8：11.0：20×16 歩道：4,903N/㎡の等分布荷重 1)試験体 溝ふた、U字溝ふたとし、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。 イ)溝ふた　横断用　T-20～T-2のうち1体 歩道用　1体 側溝用　T-20～T-2のうち1体 ロ)U字溝用　側溝用　T-14～T-2のうち1体 歩道用　1体 2)試験体への加力 イ)設計荷重を基準として一方向繰り返し加力を行う。加力速度は、4,903N/sとする。 ロ)繰り返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。
23 植栽及び屋上緑化工事	10 屋上緑化システム	屋上緑化システム	・品質・性能　： 項目：品質・性能 透水フィルターの材質及び透水性能：材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 透水性能は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。 透水、排水層等構成材の主要材質：合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共） 排水層：植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。 排水層の鉛直方向の排水性能：240L/㎡･h以上 耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度）：最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、3×10⁴N/㎡の載荷重で破損・有害なひずみなど異常のないこと。また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。（保水層を有する場合は保水層共） 耐根層：重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能（貫通防止能力）を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 耐根層保護層：材質は合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。 ・試験方法　： 1)透水フィルタの透水性能 イ)JIS A 1218「土の透水試験方法」の定水位透水試験に準じたインターロッキングブロックの透水性試験装置の下部に試験体（透水フィルター）をセットし、その上に砂（JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書Aに規定する砂）及びシルト質250を容積比9：1の割合で混合し、高さ80mmの試験容器に加圧せずに均一に充填する。（試験体1体） ロ)常温で1日置いた後、上部より給水する。給水5日間連続後取り出して自然水切り2日とした給水サイクルを繰り返す。週2回を下回らない測定回数で圧力差の水頭差110mmを保持したまま、1分間の透水量を計量し、透水係数を算出する。なお、乾燥工程の試験室は室温20±3℃、湿度60±5%とする。 ハ)水切り工程は、試験体の入った試験装置を取り出し、試験室内に水が切れる状態で保管する。 ニ)各サイクルごとの透水係数の推移をグラフ化し、6週間を過ぎるまでにその週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できれば目詰まりが解消方向にあると判断し、合格とする。 ホ)試験開始後6週間、流水時間合計が30日を越えた時点で透水係数がまだ上昇に転じない場合は、その後も透水量が増加する方向へ向かうまで流水時間を延長して確認することも可とする。 2)排水層の耐荷重性能 イ)最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍かつ3×10⁴ N/㎡の等分布荷重による加圧試験を行なく、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。） ロ)試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。
	屋上緑化軽量システム	屋上緑化軽量システム	・品質・性能　： 項目：品質・性能 透水、排水層等構成材の主要材質：合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共） 透水層：目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。 排水層：植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。 排水層の鉛直方向の排水性能：240L/㎡･h以上 耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度）：3×10⁴N/㎡以上の載荷重で破損・有害なひずみなど異常のないこと。 また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 耐根層：重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能（貫通防止能力）を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 耐根層保護層：材質は合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。 ・試験方法　： 排水基盤の耐荷重性能 イ)3×10⁴N/㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。 （保水層を有する場合は保水層も対象とする。） ロ)試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	建築材料等品質性能表（2）
縮尺	NS
	船橋市建設局建築部建築課
令和7年度	
図面番号	A-11

グレーチング

〈グレーチング〉
（品質・性能等）
〈鋼製グレーチング〉

項　目	品　質　・　性　能
メインバー、サイドバー及びエンドバー	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」に規定するSS400
クロスバー	JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」に規定するSWRM
受け枠用アングル材	JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」に規定するSPH
溶融亜鉛めっき膜厚	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定する HDZT　56/56μm　（旧2種40　HDZ　40）以上 HDZT　70/70μm　（旧2種50　HDZ　50）以上
受け枠用アングル材	塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料

(1) 組立て加工
ｲ) アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。
ﾛ) 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。
ﾊ) ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。
(2) 耐荷重性能
　設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。

〈ステンレス製グレーチング〉

項　目	品　質　・　性　能
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間仕上ステンレス鋼棒」に規定するSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L
エンドバー、サイドバー	メインバー及びクロスバーの材質並びにJIS G 4317「熱間成形ステンレス鋼形鋼」もしくは、JIS G 4320「冷間成形ステンレス鋼形鋼」に基づくSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305に基づくSUS430J1L
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定するSUS304又はJIS G 4305に規定するSUS430J1L
アンカー	JIS G 3101に規定するSS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの

HL又は表面仕上げは、No.2B程度とする。
(1) 組立て加工
ｲ) アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。
ﾛ) 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。
ﾊ) ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。
(2) 耐荷重性能
　設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。
(荷重試験)
　設計荷重は以下のとおりとする。

歩行道区分	荷重種別	側溝用 (kN)	横断溝用 (kN)	加圧面積 (cm)
車道	T-20	78.5	109.8	20×50
	T-14	54.9	76.9	20×50
	T-6	23.5	33.0	20×24
	T-2	7.8	11.0	20×16
歩道	4.903N/㎡ (500kgf/㎡) の等分布荷重			

(1) 試験体
　溝ふた、U字溝ふたとし、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。
ｲ) 溝ふた　　横断用　T-20～T-2のうち1体
　　歩道用　1体
　　側溝用　T-20～T-2のうち1体
ﾛ) U字溝用　　横断用　T-14～T-2のうち1体
　　歩道用　1体
(2) 試験体への加力
ｲ) 設計荷重を基準として、一方向繰返し加力を行う。加力速度は、原則として4.903N/s (0.5tf/秒) とする。
ﾛ) 繰返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、
　溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　　出堀　義夫
出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-12
図面名	建築材料等品質性能表(3)	縮尺	(142/402)
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

1 建築概要

工事名称	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事				
工事場所	千葉県船橋市夏見台４丁目２番ほか				
建築主住所氏名	船橋市湊町2丁目10番25号　船橋市長				
用途地域	・第＊種低層住居専用　・第＊種中高層住居専用　・第1種住居　・準住居			法定建ぺい率	50 %
	・近隣商業　・商業　・準工業　・工業　・工業専用　・無指定			法定容積率	100 %
防火地域	・防火　・準防火　◎無指定				
その他の区域地域、地区、街区	なし				
主要用途	病院				
工事種別	◎新築　・増築　・改築　・移転　・用途変更　・　・大規模の修繕　・・大規模の模様替え				
主体構造	・S　・(一部) 造 SRC　◎RC造　・造 W　造				
階数	4F				
基礎地業	PHC杭				
主たる外部仕上	屋根	コンクリート金ゴテ押え（アスファルト断熱防水工法）	外壁	タイル貼り	
	軒裏	ケイ酸カルシウム板			
工事着工予定	2005 年 10 月（新築時）		工事竣工予定	2007 年 12 月（新築時）	
面積その他					
敷地面積	18,574.92 m^2				
建築面積	病院本体 5,949.59 m^2	付属建物 94.29 m^2	合計 6,043.88 m^2		
延べ面積(建築物全体)	病院本体 容積対象 13,892.50 m^2	付属建物 容積対象 137.48 m^2	合計 容積対象 14,029.98 m^2		
	病院本体 容積対象外 54.43 m^2	付属建物 容積対象外 73.68 m^2	合計 容積対象外 128.11		
	病院本体 合計 13,946.93 m^2	付属建物 合計 211.16 m^2	合計 14,158.09		
駐車場面積	- m^2				
駐車台数	128 台	台	128 台		

建ぺい率	32.54 %	容積率	75.53 %
最高の高さ	18.00 m	最高の軒の高さ	17.10 m
設計地盤高	TP 9.50 m	前面道路の中心高さと標準地盤高の高さの差	— m
基準階階高	3.80 m		
基礎下端	IFL -2.35 m	基準階天井高	2.7 m
主なスパン	6.5 m	杭長さ	29.0 m
全体有効面積	— m^2	基準階有効面積	— m^2
規模	・住戸数 — 戸	・客室数 — 室	・ベッド数 200 床　・専門店舗数 — 店

2 電気設備概要

電力	引込	本線・予備線	方式 2	回線	3φ3W 50Hz 6.6kV	架空
電源設備	変圧器	1φ3W 6.6KV/210-105V 300KVA×3 ・ 1φ3W 6.6KV/210-105V 100KVA×3				
	高効率モールド（トップランナー）50Hz	1φ3W 6.6KV/210V-105V 50KVA×1 ・ 3φ3W 6.6KV/210V 150KVA×2				
		3φ3W 6.6KV/210V 500KVA×2 ・ 3φ3W 6.6KV/210V 200KVA×1				
		3φ3W 6.6KV/415V 750KVA×1				
	発電機	ガスタービン	3φ3W 50Hz 6.6kV		625 KVA	
	蓄電池	MSE（長寿命） 54 セル	108 V		300 AH/10HR	
	C V C F	セル	V		KVA	
幹線	照明	1 相	3 線式	210/105 V		
	動力	3 相	3 線式	210,415 V		
負荷	設備容量	3500 KVA				
	基準部照明	光源種別	FL・IL・ハロゲン・LED・ＨＩＤ			
監視制御	方式	◎集中 ◎個別 ◎遠方 ◎手元				
電話	引込	架空				
	中継方式	多機能電話				
	内線容量	デジタル １６回線	アナログ ２４０回線	PHS ８回線	ナースコール 回線	
防災	火災報知機	4系統 1020 アドレス ＧＲ複合型				
	非常照明	◎電池別置 ・電池内蔵 ・発電機直入				
	非常放送	880 W ・専用 ◎兼用				

3 空調設備概要

熱源	エネルギー	・重油 ・灯油 ・ガス ◎電気 ・DCH ・ (・高温水 ・蒸気 ・冷 太陽熱
	装置	冷凍機 6 ◎ターボ 台3 レシプロ式 台、 ◎吸収式 台、1 スクリュー 台)
		・直焚冷温水機 台、 ◎ボイラー 3 基、 ・蓄熱槽 、m^2コレクター
	総容量	冷熱源 1,718 kw　温熱源 1,714 kw
空調方式	病棟	◎中央式 ファンコイルユニット（２コイル）+外調機
	リハビリ室	◎中央式 変風量単一ダクト方式＋床暖房
	一般外来他	◎中央式 ファンコイルユニット（２コイル）+外調機、空冷HPパッケージ＋外調機
	中央監視室他	◎個別式 空冷ヒートポンプエアコン+全熱交換機
制御	空調	・電気式 ・空気式 ◎電子式
	防煙ダンパー	◎電気式 ・空気式
換気	◎中央式	◎(1 ・種2 ◎種3 ◎種) 個別式 ◎(1 ・種2 ◎種3 種)
排煙	方式	◎自然排煙方式◎ 機械排煙方式（排煙機 台）
	制御	◎電気式 ・空気式
その他	◎・床暖房設備	・ ・

4 給排水衛生設備概要

給水	水源	◎上水 ◎雑用水 （処理水）	引込口径 50 mm	・直結給水 ◎ポンプ圧送 ・重力給水
	受水槽	上水 50 m^3× 1 基	◎雑用水 54 m^3× 1 基	
	高置水槽	上水 - m^3× - 基	・雑用水 - m^3× - 基	
給湯	◎中央式	熱源（ 重油 灯油 ・ガス◎電気 ・蒸気 ・ ソーラー）、貯湯槽0(m^3× 2 基)+ (5.0 m^3× 3 基)		
	◎個別式	熱源（ 重油 灯油 ・ガス◎電気 ・蒸気 ・ ◎ソーラー）、・貯湯式 ・瞬間式 循環式		
排水	屋内排水	・ 合流（ 地上階 地下階）、◎分流（ 地上階 ・地下階）、 ・再利用装置（ 有 無）		
	屋外排水	・ ・下水道放流（ 汚水・ 雑用水 ◎雨水）、 浄化槽600人、204[m3/日] ）		
ガス	◎都市ガス	引込口径（中圧 mm） （低圧 mm）、 発熱量（ Kcal m^3）		
	・プロパン	kg ボンベ 本立 組		
消火	・屋内消火栓 ・屋外消火栓 ・連結送水管 ・連結散水 ◎ スプリンクラー消火 粉末消火 ・泡消火 ○ フード消火			
	・ハロゲン化物消火 ・炭酸ガス消火 ・消防用水（ m^3） ◎ 消防水利0(m^3)			
その他	◎医療ガス設備			

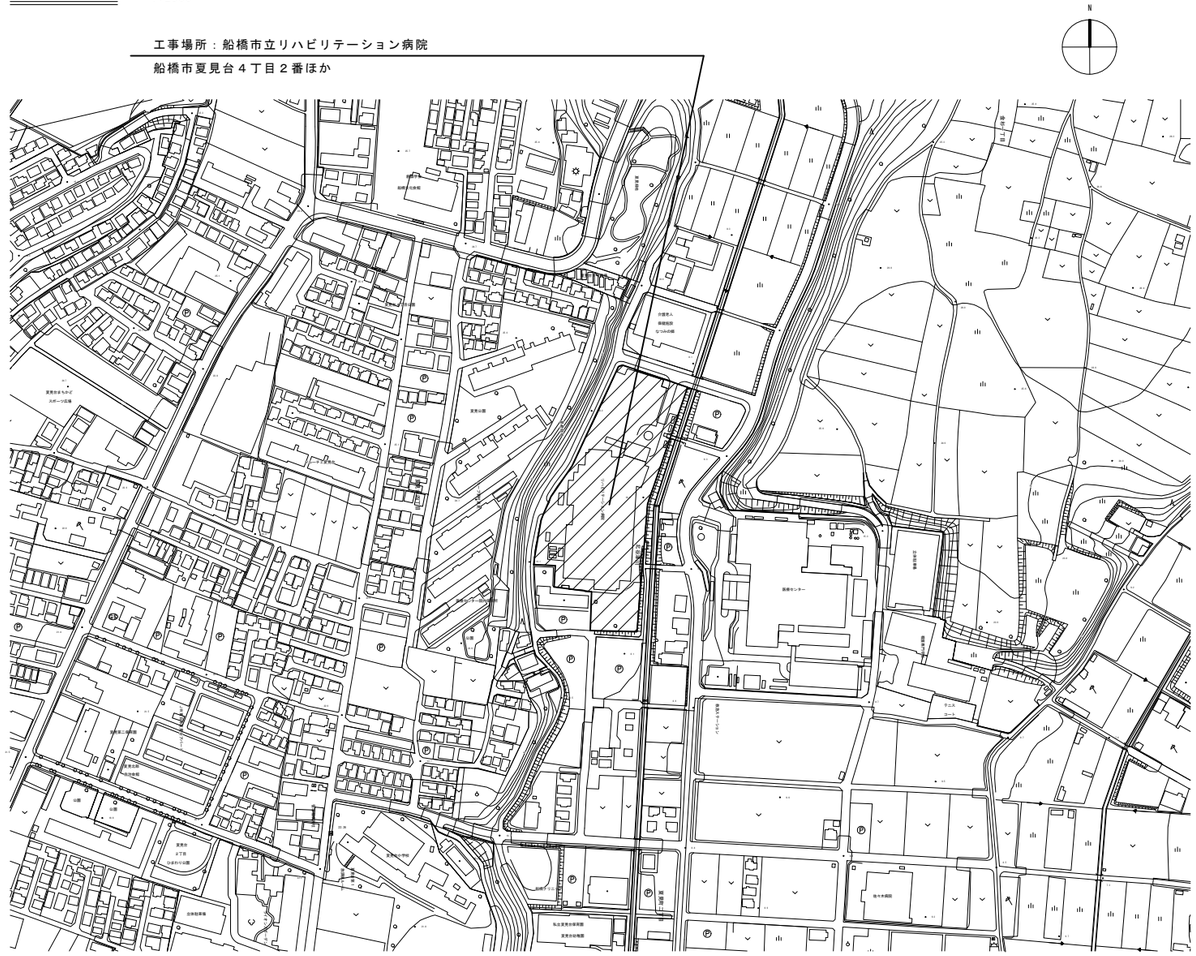
5 昇降機設備概要

種類と台数	一般用エレベーター（EV1.2）2台	寝台用エレベーター（EV3.4）2台	寝台用エレベーター（EV5）1台	小荷物専用エレベーター（EV6）（給食用） 1台
用途	乗用	寝台用	寝台用	小荷物用
積載量	15人/1000ｋｇ	15人/1000ｋｇ	15人/1000ｋｇ	0人/500ｋｇ
定格速度	60m/min	60m/min	60m/min	22m/min
停止箇所	4ヶ所	4ヶ所	5ヶ所	4ヶ所
制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	インバーター制御方式
使用電源	三相３線 200V 50HZ	三相３線 200V 50HZ	三相３線 200V 50HZ	三相３線 200V 50HZ
身障者対策	行う	行う	行う	-

案内図

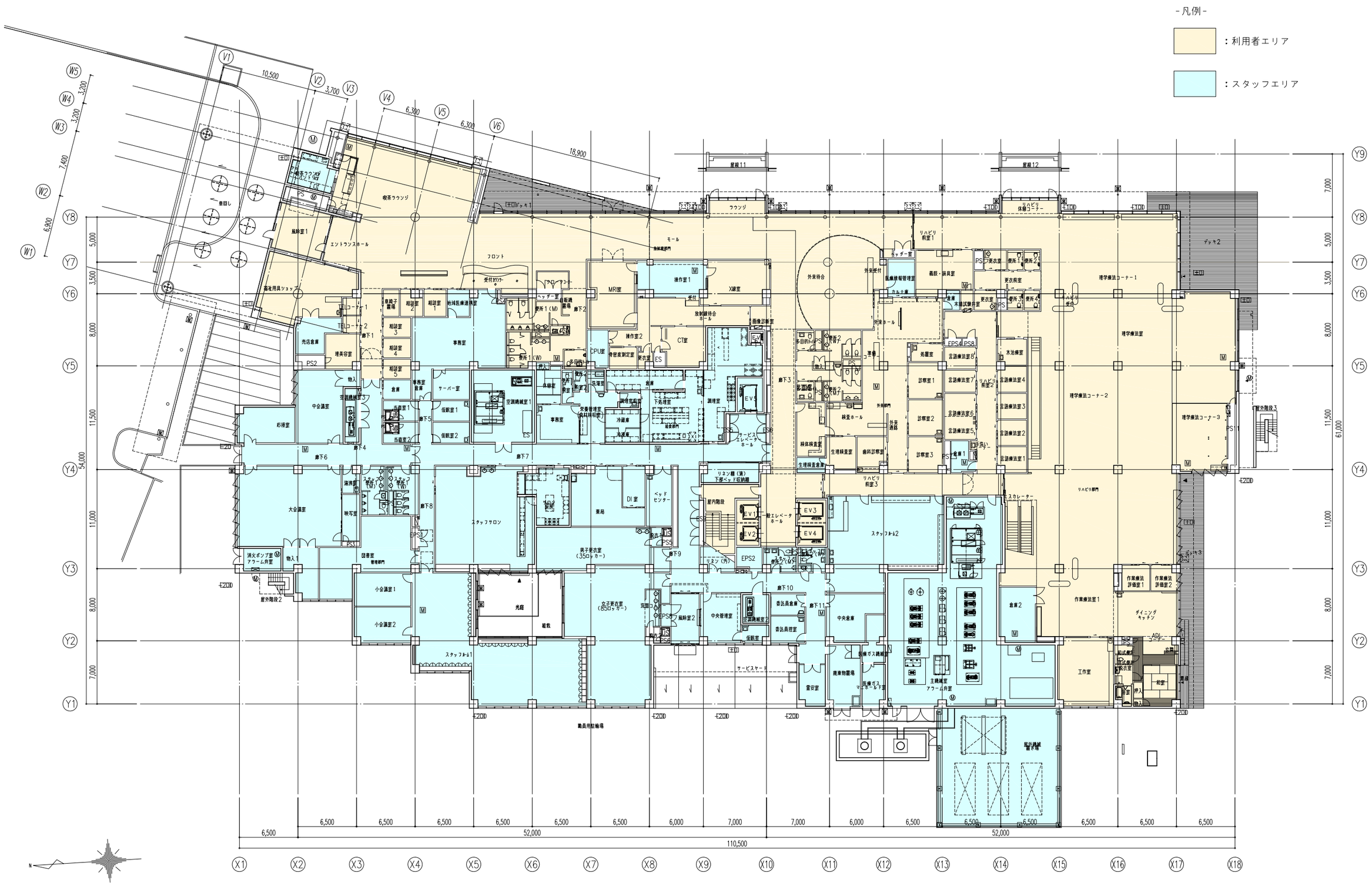
1:2500

工事場所：船橋市立リハビリテーション病院
船橋市夏見台４丁目２番ほか

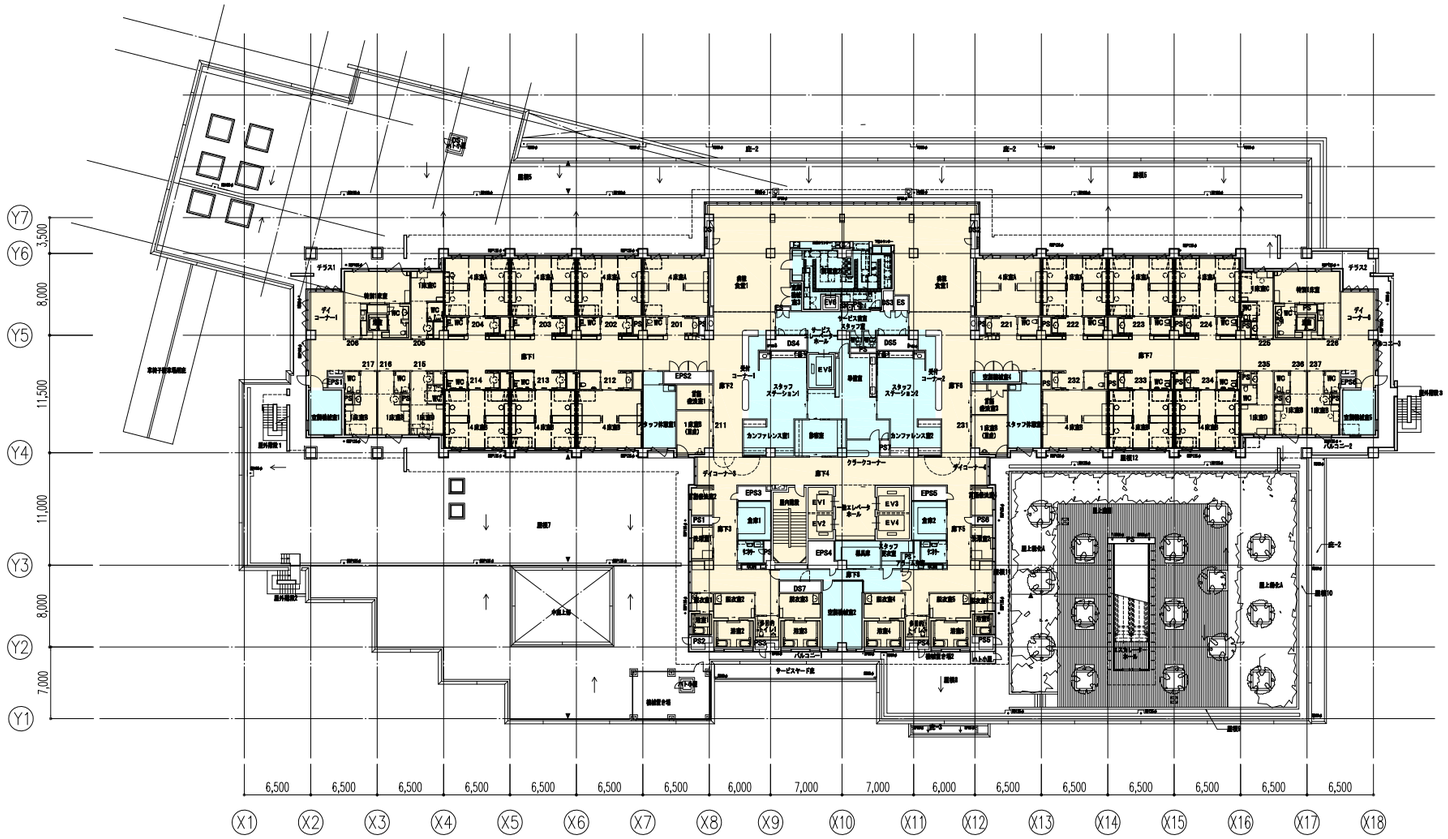


千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

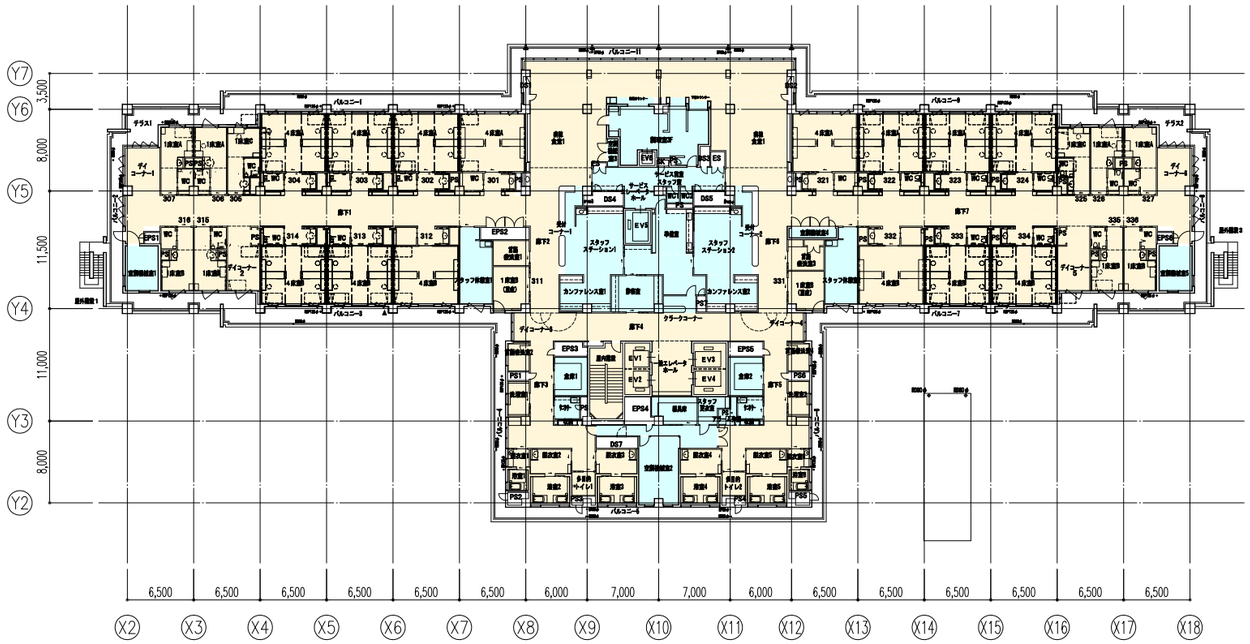
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-13
図面名	概要・案内図	縮尺 1:2500	(143/402)
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



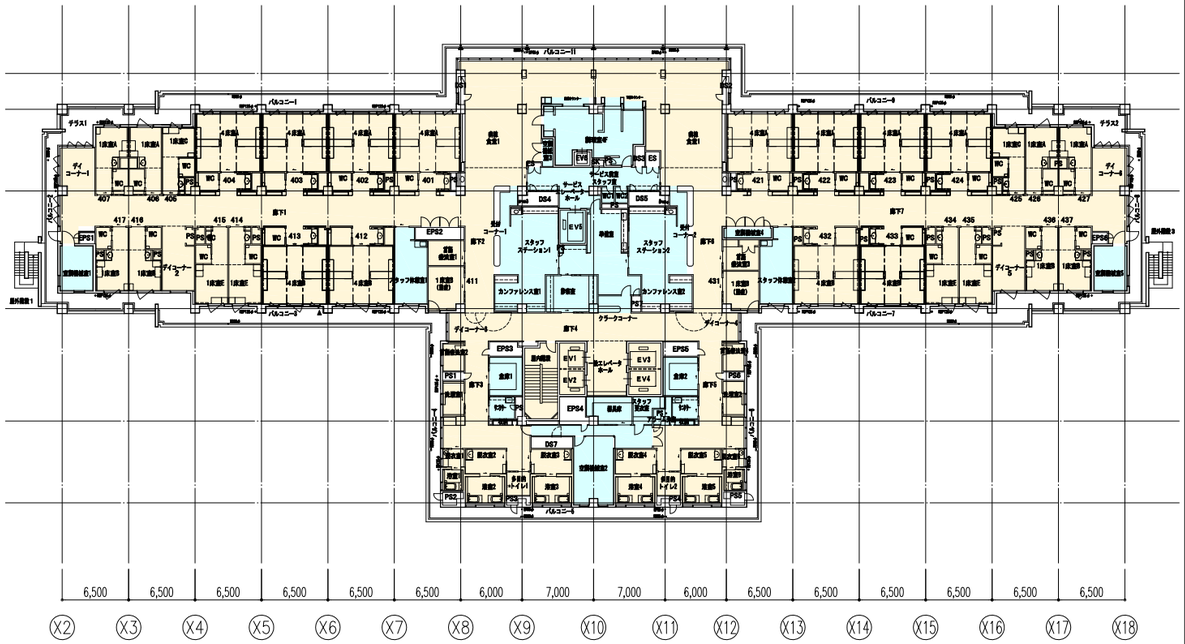
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	利用者・スタッフエリア図（１階）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-14 (144/402)



2階平面図



3階平面図



4階平面図

- 凡例 -

：利用者エリア

：スタッフエリア

N

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	利用者・スタッフエリア図（2～4階）
縮尺	1:300
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-15 (145/402)

【概略工事工程表】

工事名：　船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事

			1年目										2年目										3年目						
年　数																													
期　間			Ⅰ期										Ⅱ期										Ⅲ期						
前期・後期			準備			前期				後期			前期				後期				前期				後期			検査期		
工事ステップ			ステップ①			ステップ②				ステップ③			ステップ④				ステップ⑤				ステップ⑥				ステップ⑦			ステップ⑧		
中間期			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
月　数			1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	5ヵ月	6ヵ月	7ヵ月	8ヵ月	9ヵ月	10ヵ月	11ヵ月	12ヵ月	13ヵ月	14ヵ月	15ヵ月	16ヵ月	17ヵ月	18ヵ月	19ヵ月	20ヵ月	21ヵ月	22ヵ月	23ヵ月	24ヵ月	25ヵ月	26ヵ月	27ヵ月	28ヵ月	29ヵ月	30ヵ月	31ヵ月
工事エリア																																
	発注側検討事項		着工		病院・病室什器移動期間																											
	全体工事工程（想定）		工事準備 病院準備調整・施工工程とのすり合わせ期間（１ヵ月） 設備機器製作期間（3ヵ月）															現場工事期間24ヵ月（約2年０ヵ月）															
4F	病棟（北） FCU、空調機、ドレン管等の更新・建具改修																															
	病棟（南） FCU、空調機、ドレン管等の更新																															
3F	病棟（北） FCU、空調機、ドレン管等の更新・建具改修																															
	病棟（南） FCU、空調機、ドレン管等の更新																															
2F	病棟（北） FCU、空調機、ドレン管等の更新・建具改修																															
	病棟（南） FCU、空調機、ドレン管等の更新																															
1F	1階機械室（メイン） 空調機の更新					売店・事務所系統				北側機械室							中央機械室										給食室系統					
																	放射線系統															
	エントランス系統エリア FCU、ドレン管等の更新・建具改修	中間期 夜間																														
	売店・事務所系統エリア 空調機の更新	中間期 夜間																														
	給食室系統エリア 空調機の更新	昼間																														
	放射線系統エリア パッケージ類の更新	中間期 夜間																														
	検査・外来系統エリア FCU、ドレン管等の更新	中間期 夜間																														
	リハビリ系統エリア 空調機の更新	中間期 昼間																														
	1階管理北側（１）	昼間																														
	1階管理北側（２）	昼間																														
	1階管理南側	昼間																														
RF屋上	RF屋上設備機器置場											撤去工事		チラー更新工事①			チラー更新工事② 屋上後期															
	屋上設備基礎防水・フェンス工事 目隠しルーバー改修											ルーバー鉄骨撤去	金属製基礎・空調機器用鉄骨架台（30）				防水改修			鉄骨・ルーバー新設 防水改修												
	完了検査																											完成検査				

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		
図面名	概略工事工程表（案）	縮尺	—
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

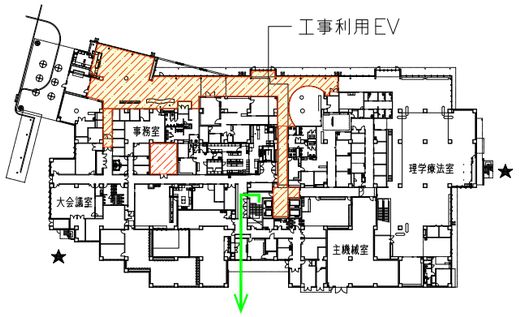
図面番号 A-16 (146/402)

【１階工事エリアの区分表】

：工事エリア　：利用者動線　：施工者動線　★：２方向避難の避難階段

1.エントランス系統　Ⅰ期－後期ステップ③

夜間工事



中間期

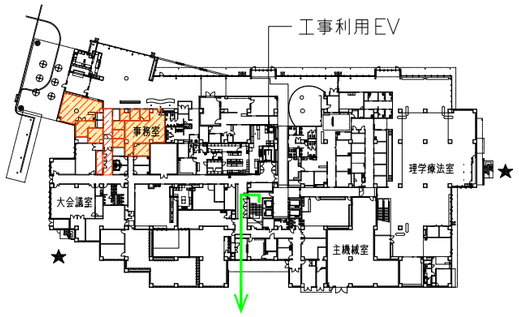
備考

昼間工事

改修対象部屋
（拡大図による）

2.売店・事務室系統　Ⅰ期－前期ステップ②

夜間工事



中間期

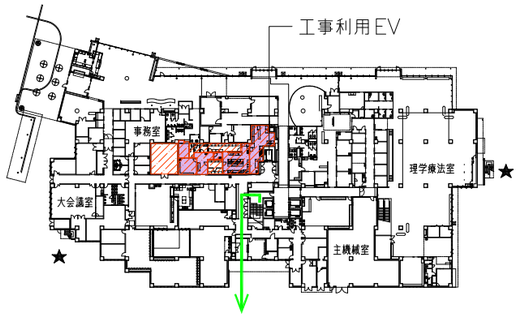
備考

昼間工事

改修対象部屋
（拡大図による）

3.給食系統　Ⅱ期－前期ステップ④

夜間工事



中間期

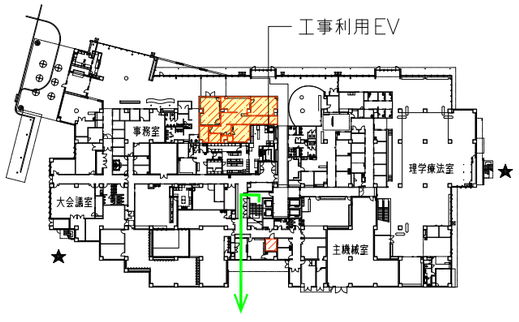
備考

昼間工事

改修対象部屋
（拡大図による）

4.放射線系統　Ⅱ期－前期ステップ④

夜間工事



中間期

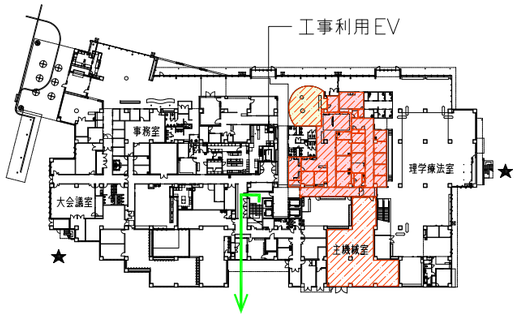
備考

昼間工事

改修対象部屋
（拡大図による）

5.検査・外来系統　Ⅲ期－前期ステップ⑥

夜間工事



中間期

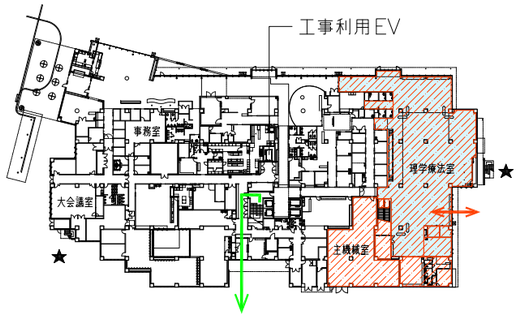
備考

昼間工事

改修対象部屋
（拡大図による）

6.リハビリ系統　Ⅱ期－後期ステップ⑤

夜間工事



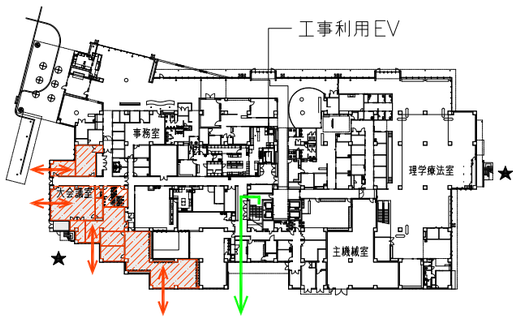
中間期

備考

昼間工事

改修対象部屋
（拡大図による）

7.管理部門（北側）01　Ⅱ期－前期ステップ④

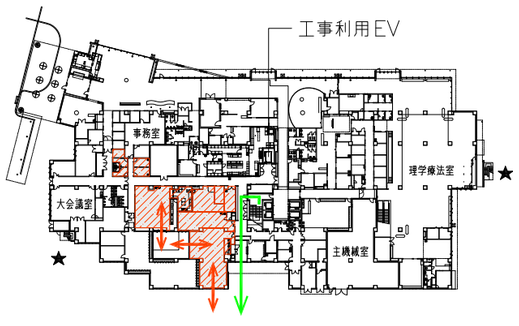


備考

昼間工事

改修対象部屋
（拡大図による）

8.管理部門（北側）02　Ⅱ期－後期ステップ⑤

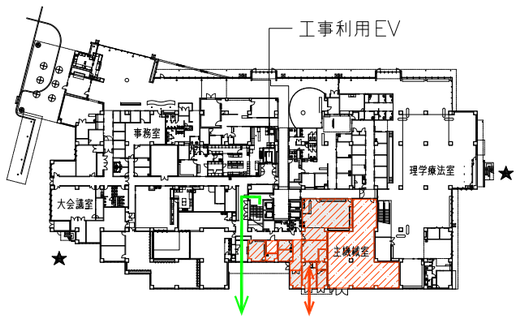


備考

昼間工事

改修対象部屋
（拡大図による）

9.管理部門（南側）03　Ⅲ期－前期ステップ⑥⑦



備考

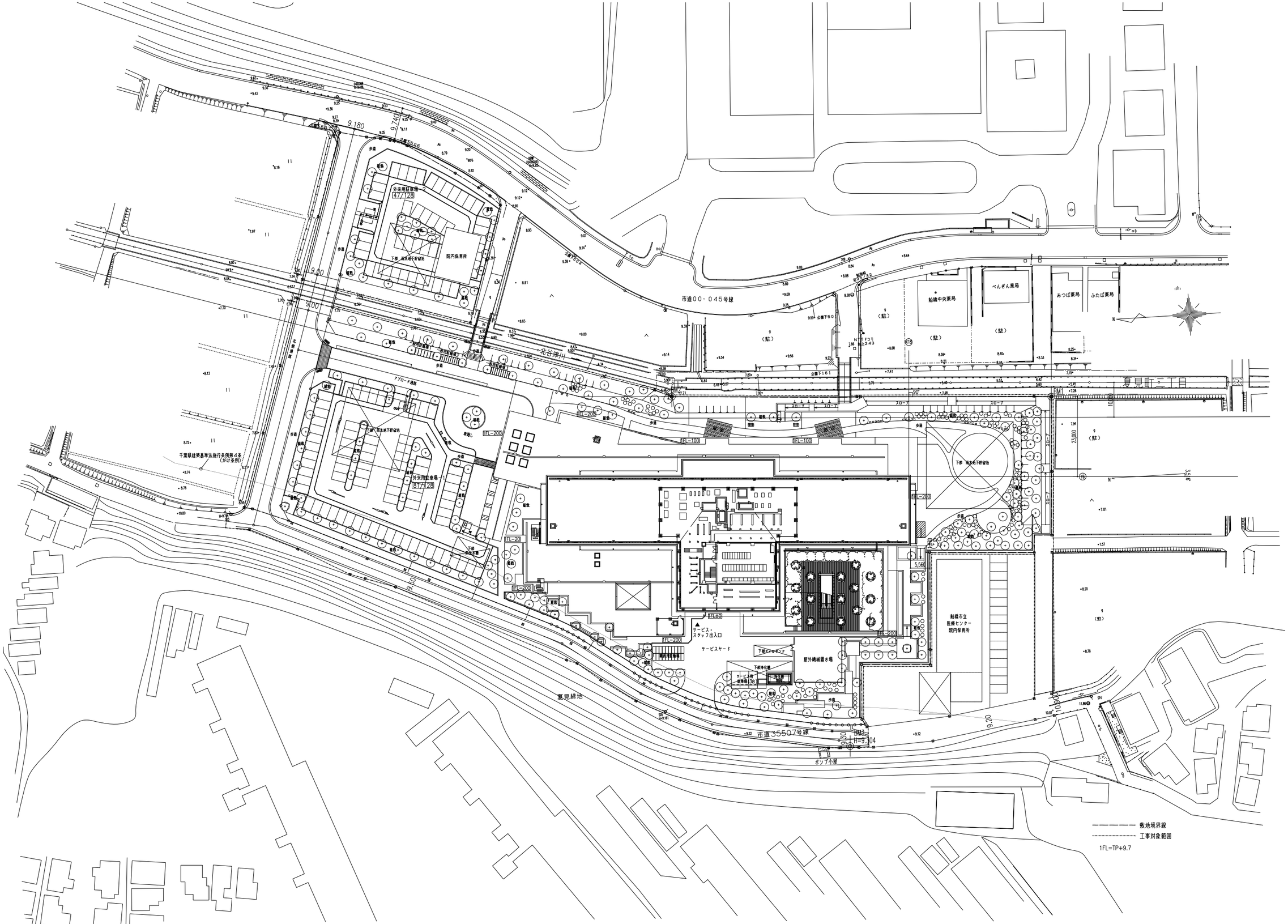
昼間工事

改修対象部屋
（拡大図による）

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	工区分け計画図（１階平面図）
縮尺	1:800
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
図面番号	A－17（147／402）



出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	屋根伏図兼配置図
		縮尺	1:500
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-18 (148/402)

外部仕上表（1）

■屋　根		
陸屋根	屋根1,2,3,8,9,10 （屋根一般仕様）	屋根C：コンクリート直押えの上アスファルト防水（ＢＩ-Ⅰ）（断熱材XPS-B-2b（t=35））、押えコンクリート金コテ仕上げ(溶接金網6φ100×100) 水勾配　1/75 伸縮目地W=25たてよこ3000内外(発泡ポリエチレン系既製品)　排水溝W=300　PC板既製品、勾配1/200　→一部撤去、鉄骨架台用：金属製基礎・ルーバー支持用鉄骨：RC基礎新設
	屋上庭園	屋根G：屋根Cの上、屋上緑化排水システム、人工軽量土壌の上植栽、および屋根W：鋼製根太ウッドデッキ敷
金属屋根	屋根4	屋根K：ステンレスt=0.4　B-FUメタリック塗装　かん合式平滑葺（定尺工法）　裏面：発泡ポリエチレンフォーム　t=4.0裏貼り アスファルトフェルト（17kg）貼り付け細木太木二層式木毛セメント板t=40　母屋：C-100×50×20×2.3@900
	屋根11,12	屋根F：ウレタン系塗膜防水
■パラペット、笠木		
パラペット		防水保護材：押し出し成形セメント板(t=15.0)
笠木	一般屋根　笠木（下記以外）	K1：アルミ笠木（既製品）、B-FU @3250
	屋外階段1,3	K3：アルミFB笠木　t=8.0、B-FU @3250
■外壁等		
外壁	外壁　標準 外壁　車廻しまわり外壁 一部：バルコニー等	外壁T：無釉磁器質タイル（45×45×7）［特注品］、改良モザイク圧着張り工法、　出角部　役ものタイル45×45 外壁S2（柱廻りに施工）：ステンレスパネル 外壁P：Con化粧打ち放し仕上げの上、2-FUE吹付
巾木		外壁に同じ
バルコニー・テラス	2階バルコニー-2、テラス1 2階バルコニー-5,6,7,テラス2 3、4階バルコニー1～9 3、4階テラス1、2 3、4階バルコニー10～12	床：屋根T に同じ　　軒天：軒天K （けい酸カルシウム板(t=6.0、2-ASE吹付） 床：屋根C に同じ　　軒天：軒天K （けい酸カルシウム板(t=6.0、2-ASE吹付） 床：防水Tm（Con直押さえの上、塗膜防水　亀裂誘発目地@3250内外）　軒天：軒天K （けい酸カルシウム板(t=6.0、2-ASE吹付） 床：防水Tm（Con直押さえの上、塗膜防水　亀裂誘発目地@3250内外）　軒天：軒天K （けい酸カルシウム板(t=6.0、2-ASE吹付） 床：防水Tm（Con直押さえの上、塗膜防水　亀裂誘発目地@3250内外） 鼻先：鼻先AL（アルミカットパネルt=2.0、B-FUメタリック塗装 軒天：軒天C （Con化粧打ち放し仕上げ、2-FUE吹付、亀裂誘発目地 3250内外）
庇	車廻し	軒天：軒天AL （アルミカットパネルt=2.0、B-FUメタリック塗装、目透かし貼り）
	庇-1、2	天端：防水Tmに同じ　鼻先：鼻先AL　軒天：軒天C （Con化粧打ち放し仕上げ、2-FUE吹付、亀裂誘発目地 3250内外）
	庇-3、サービスヤード庇	天端：防水Tmに同じ　鼻先：鼻先P、外壁Pに同じ　軒天：軒天C （Con化粧打ち放し仕上げ、2-FUE吹付、亀裂誘発目地 3250内外）
	バルコニー庇-1～9	天端：防水Tmに同じ　鼻先：外壁T　軒天：軒天K （けい酸カルシウム板(t=6.0、2-ASE吹付）
	バルコニー庇-10～12	天端：防水Tmに同じ　鼻先：鼻先AL　軒天：軒天C （Con化粧打ち放し仕上げ、2-FUE吹付、亀裂誘発目地 3250内外）
外部建具	1階　東面ＡＣＷ	木製方立てALカーテンウォール（AL部：B-FUメタリック塗装、木部：OSUC）、下部 FIX　上部　外倒し（排煙窓）　→一部撤去、SUS製搬出入口建具新設
	2～4階　病棟食堂　東面AW	ＡＬサッシユニット式特殊型材（アルミシルバーマット仕上げ）、下部 FIX　上部　外倒し（排煙窓）
	外部一般開口部	ＡＬサッシ（アルミシルバーマット仕上げ）　→2～4階　結露対策アルミ樹脂複合サッシュ（かぶせ工法）にて改修
	主出入口（風除室1）	ＳＵＳ製　自動ドア、カラーSUS、ﾋﾞｰｽﾞ仕上げ
	スタッフ入口（風除室2）	ＳＵＳ製　自動ドア、カラーSUS、ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰｼｮﾝ仕上げ

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-19 (149/402)
図面名	外部仕上表（1）	縮尺	—
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

外部仕上表（2）

■犬走り、玄関廻り		
犬走り		玉砂利敷き（t=150）
デッキ１～３		コンクリート金コテ押さえの上、鋼製根太、ウッドデッキ材(20×120)貼
■外部金物		
外部たて樋		標準　TY1：VP、B-FU、取り付け金物　St　FBt=6.0加工溶融亜鉛めっき下地　B-FU　特記なき限り 125φ 庇1竪樋　TY2：VP　丸パイプ　125φ　B-FU
ルーフドレイン		陸屋根：エポキシ樹脂焼付塗装　特記なき限り 125φ
メンテナンス金物		SUS　FBt=9.0　加工　HL
タラップ		SUS製
外部手摺1 外部手摺２～５		支柱、手すり　支柱・ガラス枠：AL製、HL仕上げ、ガラス：カタガラス t=6 St製　溶融亜鉛メッキ
庇-1下丸柱		TY3：VP　丸パイプ　125φ
■外部工作物		
横ルーバー		2～4階　バルコニー10,11,12上部　AL製（既成品）、留め金物St製　溶融亜鉛めっき仕上げ
屋外階段1,2,3		RC造、　段床、踊り場：防水モルタル金コテ押さえ　陶器ノンスリップタイル　　段裏、側面：軒天Cに同じ 手すり：St溶融亜鉛メッキ
目隠しルーバー１～３		屋上空調機置場、発電機置場廻り　有孔折版既製品、溶融亜鉛メッキ　→一部撤去・新設（増設含む）溶融亜鉛メッキ
■外構		
付属建物	車椅子用駐車場庇	S造　　屋根：アルミハニカムパネル　　柱梁等構造体：St製 2-FUE　その他見えがかり部：2-FUE
	一般用駐輪場1,2,3庇	アルミ製（既成品）
	職員用駐輪場1,2庇	S造　　屋根：AL　PL2.0曲げ加工　2-FUE、構造体：St 2-FUE　その他見えがかり部：2-FUE
舗装等	一般駐車場、車道	アスファルト舗装（アスファルトt=50、路盤コンクリートt=70、プライムコート　PK-3、切込砕石C-40　t=150）
	車回し（車道）、車椅子用駐車場	アスファルト舗装（アスファルトt=50、路盤コンクリートt=70、プライムコート　PK-3、切込砕石C-40　t=150）
	車回し（歩道）	花崗岩（t=30）、ウォータージェット仕上げ
	歩道	インターロッキング舗装
その他	敷地南側　よう壁	外壁C：コンクリート化粧打放し仕上げの上、光触媒塗布
	植栽	植栽図参照
	雨水排水側溝、桝、排水管	測溝、桝：既成コンクリート　蓋-SUSグレーチング　配管：VP

略号一覧

- 合成樹脂調合ペイント塗り：SOP
- 合成樹脂エマルジョンペイント塗り：AEP
- つやあり合成樹脂エマルジョンペイント塗り：EP-G
- 多彩模様塗料塗り：EP-M
- アクリル樹脂エナメル焼付け：B-AE
- ２液性ポリウレタン樹脂エナメル塗り：２-UE
- ２液性ポリウレタン樹脂エナメル塗焼付：2B-UE
- ２液性ポリウレタン樹脂ワニス塗：UC
- アクリルシリコン樹脂エナメル塗り：２-ASE
- 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り：２-FUE
- ふっ素樹脂焼付け塗装：B-FU
- フタル酸樹脂エナメル塗り：FE
- アクリル樹脂エナメル焼付け：B-AE
- オイルスティン塗り：OS
- クリアーラッカー塗り：CL
- 無石綿セメントケイ酸カルシウム板：FK
- ロックウール化粧吸音板：DR
- せっこうボード：GB-R
- 硬質せっこうボード：GB-R-H
- シージングせっこうボード：GB-S
- 化粧せっこうボード：GB-D
- 不燃化粧せっこうボード：GB-NC
- グラスウール吸音ボード：GW-B

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	外部仕上表（2）
縮尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-20 (150/402)

内部仕上表（1）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階	エントランス系統	風除室1	既存		花崗岩 t=35 W-J仕上	壁材に同じ	Con	壁：ﾗｲﾑｽﾄｰﾝ t=25 本磨き乾式	LGS	ALﾊﾟﾈﾙt=2.0 フッ素樹脂メタリック塗装	底目地	—	4,000	±0 -60	—	壁面収納式傘立て、ガードパイプA
			改修													
		喫茶ラウンジ パントリー	既存		AS防かさ上げCon特殊防滑シート床材	壁タイル同材	Con	磁器質タイルA 100ロ	LGS	GB-S t=9.5+12.5下地 EP-G塗 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	-200 -400	— ※1	排水側溝B、厨房機器一式
			改修													
		喫茶ラウンジ	既存		床暖房下地の上 花崗岩 t=35 W-J仕上	大理石 t=30 h=300	LGS	GB-R下地 大理石 t=30	LGS	GB-R t=9.5 捨貼 DR t=12 図示部分撤去	底目地	St FE	4,000	±0 -170	— ※1	電動ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ、カウンター、空調吹出し（床）
			改修						LGS	図示部分新設						
		エントランスホール	既存		床暖房下地の上 花崗岩 t=35 W-J仕上 PVCシートA	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 2700>天然木練付ボード t6.0 OSCL 目透貼 GB-R下地 2700<ペン下クロス貼 一部Con下地 外壁SI	LGS	GB-R t=9.5 捨貼リブ付き DR t=19	底目地	St FE	4,000	±0 -170	— ※1	サイン壁 照明ボックスB、空調化粧ノズル
			改修													
		フロント	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上直敷PVCタイル	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 2700>天然木練付ボード t6.0 OSCL 目透貼 GB-R下地 2700<ペン下クロス貼	LGS	GB-R t=9.5捨貼リブ付きDR t=19 一部GB-R t=9.5+12.5 下地 AEP塗	底目地	—	4,000	±0 -300	— ※1	受付カウンター、照明ボックスB飾り棚A
			改修													
		クロークコーナー	既存		PVCシートA	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 一部天然木練付ボード t6.0 一部パイプ壁		—	—	—	—	±0 -10	— ※1	パイプ壁
			改修													
		モール	既存		PVCシートA （一部床暖房下地）	集成材 OSCL h=300 一部SUS HL h=300	LGS	GB-R下地 2700>天然木練付ボード t6.0 OSCL 目透貼 2700<ペン下クロス貼	LGS	GB-R t=9.5捨貼リブ付きDR t=19 一部GB-R t=9.5+12.5 下地 AEP塗	底目地	St FE	4,000	±0 -10,-120	— ※1	照明ボックスB、D、木製手すりA ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙC ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟB、木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄ 電動ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ、空調化粧ﾉｽﾞﾙ
			改修													
		ラウンジ	既存		床暖房下地の上 PVCシートA	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 ペン下クロス	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 AEP塗 図示部分撤去	底目地	—	2,400	±0 -120	— ※1	電動ロールスクリーン
			改修						LGS	図示部分新設						
		廊下1、2	既存		PVCシートA	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去（廊下2）	底目地	—	2,700	±0 -10	— ※1	木製手すりB 消火器ﾎﾞｯｸｽ（廊下2）
			改修						LGS	図示部分新設（廊下2）						
		廊下3	既存		PVCシートE	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	底目地	—	2,700	±0 -10	— ※1	木製手すりA、照明ﾎﾞｯｸｽE 木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ 飾り棚A ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙA、補助散水栓
			改修													

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（1）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-21 (151/402)

内部仕上表（2）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階	エントランス系統	一般 エレベーターホール	既存		PVCシートE	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 AEP塗	底目地	—	3,250	±0 -10	— ※1	木製手すりB 飾り棚A、照明ﾎﾞｯｸｽG,木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
			改修													
		外来待合	既存		床暖房下地の上 PVCシートA	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 ペン下クロス	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 AEP塗	底目地	—	4,000	±0 -120	— ※1	照明ボックスC、木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ 木製手すりB､ﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙA
			改修													
		外来受付	既存		床暖房下地の上 PVCシートA	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 ペン下クロス 一部 天然木練付ボード	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 AEP塗	底目地	—	2,700	±0 -120	— ※1	受付カウンター
			改修													
	売店・事務室系統	福祉用具ショップ	既存		PVCシートE	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 ペン下クロス	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	底目地	—	3,000	±0 -10	— ※1	カウンター、面台B
			改修						LGS	図示部分新設						
		売店倉庫	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0 EP-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	—	2,700	±0 -10	—	受付カウンター、照明ボックスB飾り棚A
			改修													
		理美容室	既存		PVCシートB AL見切	床材巻上げ h=100	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	—	面台B
			改修						LGS	図示部分新設						
		事務室	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -150	(不)	樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
			改修						LGS	図示部分新設						
		相談室1～5	既存		タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地無機質クロス	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,500	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		地域医療連携室	既存		タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地無機質クロス	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,500	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		サーバー室	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 直敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -150	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（2）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-22 (152/402)

内部仕上表（3）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階	売店・事務室系統	TELコーナー 1・2	既存		PVCシートE	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	—	木製手すりB TELカウンター
			改修						LGS	図示部分新設						
		車椅子置場	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0 EP-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	—	2,700	±0 -10	不	
			改修													
	放射線系統	放射線待合ホール	既存		PVCシートE	ソフト巾木 h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	準不	樹脂製手すり、照明ﾎﾞｯｸｽF トラフB、受付ｶｳﾝﾀｰ 消火器ボックス
			改修						LGS	図示部分新設						
		MRI室	既存		かさ上げCon 帯電防止PVCシート	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地のまま	LGS		塩ビ	—	3,000	±0 -300	不	トラフB ※機器撤去済み
			改修													
		CPU室	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 直敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -300	—	
			改修						LGS	図示部分新設						
		骨密度測定室	既存		かさ上げCon 耐動荷重型PVCシート	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 鉛裏打ち（Pb2.0） GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -200	不	
			改修						LGS	図示部分新設						
		更衣室	既存		かさ上げCon PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -200	—	樹脂製手すり
			改修						LGS	図示部分新設						
		CT室	既存		かさ上げCon 耐動荷重型PVCシート	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 鉛裏打ち（Pb2.0） GB-R下地 EP-G塗 一部Pb2.5	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	3,000	±0 -200	不	トラフB
			改修						LGS	図示部分新設						
		X線室	既存		かさ上げCon 耐動荷重型PVCシート	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 鉛裏打ち（Pb2.0） GB-R下地 EP-G塗 一部Pb2.5	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	3,000	±0 -200	不	トラフB 天井走行レール架台
			改修						LGS	図示部分新設						
		操作室1・2	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 直敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -200	不	吊戸棚（操作室1） 塩ビｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ床下点検口（操作室1）
			LGS 改修						LGS	図示部分新設						

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（3）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-23 (153/402)

内部仕上表（4）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインド	天井高	仕上高	内装制限	備考
1階	検査・外来系統	外来ホール 外来通路	既存		PVCシートE	ワイド巾木 h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R 9.5 捨貼 DR t=12図示部部分撤去 折上部 GB-R 9.5+12.5 下地 AEP塗（残置）	塩ビ	—	2,700 (3,250)	±0 -10	(不)	ｶｳﾝﾀｰ、作業ｶｳﾝﾀｰ、ｽﾄﾚｯﾁｬｰ収納(外来ﾎｰﾙ)飾り棚B 樹脂製手すり(外来通路) 照明ﾎﾞｯｸｽ灯、木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
			改修						LGS	図示部分新設						
		準備コーナー	既存		PVCシートE	ワイド巾木 h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	(不)	流し台(足洗い)、吊戸棚、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(処置ｺｰﾅｰ1) 流し台(処置ｺｰﾅｰ2)、ｶｳﾝﾀｰ(準備ｺｰﾅｰ)木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ、床下点検口
			改修						LGS	図示部分新設						
		診察室1・2・3	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	(不)	面台B（診察室1,2,3）、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
		医療情報管理室 （カルテ室）	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0 EP-G	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	
			改修						LGS	図示部分新設						
		検査ホール	既存		PVCシートE	ワイド巾木 h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	(不)	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ、点滴ﾚｰﾙ 面台B、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
		検体検査室	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 直敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -200	(不)	流し台、吊戸棚面台B、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
		生理検査室	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	(不)	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
			改修						LGS	図示部分新設						
		歯科診察室	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 直敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -300	(不)	流し台・吊戸棚（歯科診察）
			改修						LGS	図示部分新設						
		生理検査室	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	— ※1	収納棚
			改修						LGS	図示部分新設						
		リハビリ前室1	既存		フローリング t=15	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 ベン下クロス	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	底目地	—	4,000	±0 -50	(不)	
			改修													

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（4）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-24 (154/402)

内部仕上表（5）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階	検査・外来系統	リハビリ前室2	既存		PVCシートE	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		手洗いコーナー	既存		PVCシートE	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 FK t=6.0 EP-G	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 AEP塗 図示部分撤去	塩ビ	—	2,300	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		水治療室	既存		AS防かさ上げCon（床暖房仕様） 磁器質タイル50□	壁材と同材	LGS Con	GB-S 9.5+ FK 6.0 磁器質タイル 100×100	LGS	AL製バスリブ貼 図示部分撤去	AL	—	2,500	-20～-50 -200	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		言語療法室 1～8	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,500	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		倉庫1	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0 EP-G 目透かし貼り	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,500	±0 -10	—	
			改修						LGS	図示部分新設						
		リハビリ前室3	既存		PVCシートE	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,500	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		義肢・装具室	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		便所1～4	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-S下地 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 AEP塗	底目地	—	2,500	±0 -10	—	
			改修													
		男子、女子 更衣室	既存		PVCシートB	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	塩ビ	—	2,500	±0 -10	—	
			改修													
	リハビリ系統	更衣前室	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	塩ビ	—	2,500	±0 -10	(不)	
			改修													

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（5）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-25

内部仕上表（6）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階	リハビリ系統	理学療法室 理学療法コーナー 1・2	既存		床暖房下地の上 フローリング t=15	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	St FE	4,000	±0 -110,-50	— ※1	
			改修						LGS	図示部分新設						
		理学療法室 理学療法コーナー 3	既存		PVCシートE	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	St FE	4,000	±0 -10	— ※1	
			改修						LGS	図示部分新設						
		リハビリ休憩 コーナー	既存		床暖房下地の上 フローリング t=15	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 AEP塗 図示部分撤去	底目地	St FE	2,400	±0 -110	— ※1	
			改修						LGS	図示部分新設						
		作業療法室1	既存		床暖房下地の上 フローリング t=15	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	塩ビ	St FE	4,000	±0 -110	— ※1	
			改修													
		作業療法評価室 1・2	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		ダイニング キッチン	既存		PVCシートB	木製OSCL h=60	LGS	GB-S下地 FK t=6.0 無機質クロス	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	底目地	St FE	3,000	±0 -10	— ※1	面台B、壁面収納、補助散水栓、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
		工作室	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 AEP塗 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	— ※1	
			改修						LGS	図示部分新設						
		倉庫2	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	—	2,700	±0 -10	—	
			改修													
		和室	既存	鋼製根太	コンパネ t=12.0下地 畳敷き t=60	畳寄せ杉		GB-R下地 無機質クロス	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	杉 30×30	杉	2,450	400 -10	(不)	付け柱（桧）、付長押
			改修						LGS	図示部分新設						
		和室板間部	既存	鋼製根太	コンパネ t=12.0下地 松フローリング t=12.0	松		GB-R下地 無機質クロス	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	杉 30×30	—	2,450	400 -10	(不)	付け柱（桧）、付長押
			改修						LGS	図示部分新設						

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（6）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

内部仕上表（7）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階		和室押入れ、物入	既存	鋼製根太	シナベニア	松		シナベニア		シナベニア	松 30×30	—	2,450	400 -10	—	
			改修													
		和室玄関	既存	鋼製根太	コンパネt=12.0下地 松フローリングt=12.0	松		GB-R下地 無機質クロス		GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス	杉 30×30	—	2,450	400 -10	㊇	上框(松)、下足棚木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
			改修													
		脱衣室	既存		PVCシートB	木製FE h=60	LGS	GB-S下地無機質クロス	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	洗濯パン、鏡、洗面化粧台
			改修						LGS	図示部分新設						
		浴室	既存		AS防かさ上げCon（床暖房仕様） せっ器質タイル50□	壁材と同材	Con	磁器質タイル 100×100	LGS	AL製バスリブ貼 図示部分撤去	AL	—	2,500	-100 -250	—	排水側溝D、浴槽、面台D,鏡手すり（I型、洗い場）
			改修						LGS	図示部分新設						
		和式・洋式 便所	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地無機質クロス	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	-40 -50	—	手すり（L型）,木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
			改修						LGS	図示部分新設						
	給食系統	下処理室 調理室	既存		PVCシートC AS防かさ上げCon 特殊防滑シート床材	床材巻上げ h=100	Con	磁器質タイルA 100□	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G 図示部分撤去	底目地	—	2,700	-20～-50 -300	㊇	排水側溝B、面台C,SUSｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ 厨房機器一式、グリストラップ、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
		調理室前室	既存		PVCシートC AS防かさ上げCon 特殊防滑シート床材	床材巻上げ h=100	Con	磁器質タイルA 100□	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G	底目地	—	2,700	±0 -300	㊇	コートフック、面台C,鏡、手洗い
			改修													
		栄養管理室 （食材検収室）	既存		PVCシートC 特殊防滑シート床材	床材巻上げ h=100	Con	磁器質タイルA 100□	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 AEP 図示部分撤去	底目地	—	2,700	±0 -10	㊇	面台C,鏡、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
		給食 休憩室	既存		コンパネt=12.0 畳敷きt=60	畳寄せ：杉		GB-R下地 無機質クロス	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	杉 30×30	—	2,500	70 -10	㊇	飾り棚C
			改修						LGS	図示部分新設						
		同上 押入れ	既存		シナベニア	松		シナベニア		シナベニア	松 30×30	—	2,450	70 -10	—	
			改修													

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（7）
尺	—
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-27 (157/402)

内部仕上表（8）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階	給食系統	給食事務室	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	㊇	面台B、鏡、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
		便所1・2	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	面台B、衛生陶器一式
			改修						LGS	図示部分新設						
		便所前室1・2	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	面台B、コートフック、鏡、手洗い
			改修													
		冷蔵庫、冷凍庫（プレファブ）	既存		AS防かさ上げCon 合成樹脂塗床B							—	2,300	-20 -300	—	
			改修													
		倉庫（給食）	既存		PVCシートC AS防かさ上げCon 特殊防滑シート床材	床材巻上げ h=100	LGS	GB-S t=9.5下地 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G塗 図示部分撤去	底目地	—	2,700	±0 -300	—	
			改修						LGS	図示部分新設						
		洗濯室	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G塗 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	流し台（地流し）、面台C、吊戸棚、掃除流し
			改修						LGS	図示部分新設						
	管理部門	スタッフルーム2	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上直敷PVCタイル 一部 かさ上げコンの上 PVCシートB	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗 一部（キッチン廻り） EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -150,-10	—	流し台、ﾊｲｶｳﾝﾀｰ、作業ｶｳﾝﾀｰ、吊戸棚 ﾋﾟﾝﾅｯﾌﾟﾎﾞｰﾄﾞ 面台B、鏡、姿見
			改修						LGS	図示部分新設						
		中会議室	既存		OAフロアの上 タイルカーペットB	木製OSCL h=60	LGS	GB-R下地 天然木練付ボード t=6.0 OSCL 目透貼	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	底目地	—	2,700	±0 -10	— ※1	ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ ﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙB
			改修						LGS	図示部分新設						
		同上 物入	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	㊇	
			改修						LGS	図示部分新設						
		応援室	既存		タイルカーペットB	木製OSCL h=60	LGS	GB-R下地 天然木練付ボード t=6.0 OSCL 目透貼	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	底目地	ならOSCL	2,700	±0 -10	— ※1	
			改修						LGS	図示部分新設						

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（8）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-28 (158/402)

内部仕上表（9）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階	管理部門	図書室	既存		タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	— ※1	
			改修						LGS	 図示部分新設						
		大会議室	既存		タイルカーペットB	木製OSCL h=60	LGS	GB-R下地無機質クロス	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	底目地	St FE	3,000	±0 -150	— ※1	ｽｸﾘｰﾝ+可動ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ 電動ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙB
			改修						LGS	 図示部分新設						
		同上 物入3 ・映写室	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去（映写室）	塩ビ	—	3,000	100 -10	—	
			改修						LGS	 図示部分新設（映写室）						
		小会議室 1、2	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -150	— ※1	
			改修						LGS	 図示部分新設						
		スタッフルーム 1	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -150	— ※1	床下点検口
			改修						LGS	 図示部分新設						
		スタッフサロン	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	— ※1	ｶｳﾝﾀｰ、下膳ｶｳﾝﾀｰ、洗面ｶｳﾝﾀｰ、樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙB ﾋｰﾄﾗﾝﾌﾟ吊ﾌﾚｰﾑ、面台A
			改修						LGS	 図示部分新設						
		サロン厨房	既存		PVCシートC AS防かさ上げCon	床材と同材 h=100	Con	磁器室タイルA 100ロ	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G 図示部分撤去	底目地	AL B-FU	2,700	-100 -300	(不)	排水側溝B、面台C 厨房機器一式、手洗いグリストラップ
			改修						LGS	 図示部分新設 EP-G						
		仮眠室 1・2	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地無機質クロス	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	(不)	付長押、面台B、鏡、手洗い
			改修						LGS	 図示部分新設						
		当直室 1・2	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地無機質クロス	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,450	±0 -10	(不)	ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ、付長押
			改修						LGS	 図示部分新設						
		委託員控室 委託員倉庫	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	— ※1	面台B、鏡、手洗い
			改修						LGS	 図示部分新設						

LGS

図示部分新設

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（9）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-29 (159/402)

内部仕上表（10）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階	管理部門	男子更衣室 女子更衣室	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	—	洗面ｶｳﾝﾀｰ、鏡、姿見 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ、樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
			改修						LGS	図示部分新設						
		同上 脱衣室1～2	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-S下地 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗 一部図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	+150 -10	—	ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ
			改修						LGS	一部図示部分新設						
		女子更衣室 洗面コーナー	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-S下地 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 AEP塗 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	
			改修						LGS	図示部分新設						
		中央管理室	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -150	— ※1	受付ｶｳﾝﾀｰ
			改修						LGS	図示部分新設						
		同上 仮眠室	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	— ※1	面台B、付長押、鏡、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
		霊安室	既存		PVCシートB	木製OSCL h=60	LGS	GB-R下地 一部不燃天然木練付ボード EP-M t=6.0 OSCL 目透貼	LGS	GB-R t=9.5+12.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	底目地	—	2,700	±0 -10	㊇	
			改修						LGS	図示部分新設						
		薬局	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上置敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -150	㊇	流し台、ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ吊戸棚
			改修						LGS	図示部分新設						
		DI室	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上置敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -150	㊇	
			改修						LGS	図示部分新設						
		ベッドセンター	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-S t=9.5下地 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G塗 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	—	面台B、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設 EP-G塗						
		中央倉庫	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0 -10	—	樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
			改修						LGS	図示部分新設						

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（10）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-30 (160/402)

内部仕上表（11）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
1階	管理部門	医療ガス機械室 マニホールド室	既存	—	Con金コテの上 合成樹脂塗床C	床材と同材 h=100	Con	1,000以上GW成形板	Con	GW成形板	—	—	直天	±0 -10	—	機械基礎B
			改修													
		廃棄物置場	既存		AS防かさ上げCon Con金コテの上 合成樹脂塗床D	床材と同材 h=100	Con	FE塗	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G　図示部分撤去	塩ビ	—	2,700	±0～+50 -10	(不)	排水側溝B、地流し、汚物流し
			改修						LGS	図示部分新設						
		風除室2	既存		PVCシートF	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0 下地 EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	St FE	3,500	±0 -10	(不)	ｽﾄﾚｯﾁｬｰｶﾞｰﾄﾞ2段
			改修						LGS	図示部分新設						
		湯沸室	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-S下地 FK t=6.0 下地 EP-G塗 一部磁器質タイル貼り100□	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 AEP塗	塩ビ	—	2,500	±0 -10	—	流し台、吊戸棚
			改修													
		リネン（汚）	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-S t=9.5下地 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G塗	塩ビ	—	2,700	±0 -10	—	樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
			改修													
		主機械室	既存		Con金コテの上 合成樹脂塗床C	床材と同材 h=300	Con	1,000以上GW成形板	LGS	梁型：Con打ち放し、スラブ下：Con打ち放し の上GW成形板	—	—	直天	±0 -300	(不)	機械基礎A，B 排水側溝A、鋳鉄製マンホール
			改修													
		廊下 4、6	既存		PVCシートE	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗 一部 マグネットクロス張	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 一部図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	(不)	木製手すりB、補助散水栓
			改修						LGS	一部図示部分新設						
		廊下 5	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0下地 EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		廊下 7、9、10 サービス エレベーターホール	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0下地 EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5 一部図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	(不)	ｽﾄﾚｯﾁｬｰｶﾞｰﾄﾞ2段、樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ、補助散水栓
			改修						LGS	一部図示部分新設						
		廊下 8	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0下地 EP-G塗 一部 マグネットクロス張	LGS	GB-NC t=9.5 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（11）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-31（161/402）

内部仕上表（12）

階	部門	室　名		下地	床	巾　木	下地	壁	下地	天　井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備　考
1階		便所１、２（M）（W）	既 存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地 AEP塗 一部人工大理石貼及び､EP-M	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 AEP塗 図示部分撤去	底目地	—	2,600	±0 -10	—	洗面カウンター、便所ブース、面台A、汚垂石(M) 手すり(L型､可動)、鏡、飾り棚C､姿見、衛生陶器
			改 修						LGS	図示部分新設						
		多目的トイレ（3ヶ所）	既 存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地 AEP塗 一部人工大理石貼及び､EP-M	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 AEP塗 一部図示部分撤去	底目地	—	2,500	±0 -10	—	面台A、手すり(L型､可動)、鏡、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ 折りたたみｼｰﾄ、衛生陶器
			改 修						LGS	一部図示部分新設						
		スタッフ便所１・２（M）（W）	既 存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 AEP塗 一部図示部分撤去	底目地	—	2,500	±0 -10	—	便所ブース、洗面ｶｳﾝﾀｰ(ｽﾀｯﾌ便所1)、鏡 面台B、汚垂石(M)、手洗い、衛生陶器
			改 修						LGS	一部図示部分新設						
2階		エスカレーターホール	既 存		AS防木製根太 コンパネ12.0捨貼の上 木デッキ t=20		LGS	GB-R t=9.5+9..5下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5+9.5下地 AEP塗	底目地	—	1,400 ～ 3,000	+600 +500	— ※1	
			改 修													
2～4階	病棟系統	４床室A,B	既 存		PVCシートB	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	底目地	—	2,700	±0 -10	— ※1	ﾜｰﾄﾞﾛｰﾌﾞﾕﾆｯﾄ、机､照明医療ｶﾞｽﾕﾆｯﾄ ﾍﾞｯﾄﾞｶﾞｰﾄﾞ+ﾍﾞｯﾄﾞ止、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙB
			改 修						LGS	図示部分新設						
		４床室ＷＣ	既 存		PVCシートG	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-S下地 AEP塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス	底目地	—	2,400	±0 -10	—	手すり(L型、可動型) 面台B、収納、点検口B 壁掛手洗い
			改 修													
		４床室 洗面コーナー	既 存		PVCシートB	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-S下地 AEP塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	— ※1	洗面ｶｳﾝﾀｰ、鏡、洗面収納ﾎﾞｯｸｽ（各２個） 消毒液置き下部ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ
			改 修						LGS	図示部分新設						
		１床室 A～E	既 存		PVCシートB	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	底目地	—	2,700 一部2,400	±0 -10	— ※1	ﾜｰﾄﾞﾛｰﾌﾞ、机､照明医療ｶﾞｽﾕﾆｯﾄ、面台A ﾍﾞｯﾄﾞｶﾞｰﾄﾞ+ ﾍﾞｯﾄﾞ止､洗面ｶｳﾝﾀｰ､鏡 消毒液置き場、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙB
			改 修						LGS	図示部分新設						
		１床室ＷＣ	既 存		PVCシートG	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-S下地 AEP塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	底目地	—	2,400	±0 -10	—	手すり(L型、可動型)収納､点検口B
			改 修						LGS	図示部分新設						
		１床室B （重症）	既 存		PVCシートB	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	底目地	—	2,700 一部2,400	±0 -10	— ※1	照明医療ｶﾞｽﾕﾆｯﾄ、面台A ﾍﾞｯﾄﾞｶﾞｰﾄﾞ+ﾍﾞｯﾄﾞ止 洗面ｶｳﾝﾀｰ､鏡 消毒液置き場、点検口A､ｶｰﾃﾝﾚｰﾙB
			改 修						LGS	図示部分新設						

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（12）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-32（162/402）

内部仕上表（13）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
2～4階	病棟系統	特別１床室 （２階のみ）	既存		フローリング t=15	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地ＥＰ-M塗 一部天然木練付ボード t=6.0（メープル玉杢）	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	底目地	－	2,700 一部2,400	±0 -30	－ ※１	机､照明医療ｶﾞｽﾕﾆｯﾄ ﾍﾞｯﾄﾞｶﾞｰﾄﾞ+ ﾍﾞｯﾄﾞ止 ﾜｰﾄﾞﾛｰﾌﾞｷｯﾁﾝ、飾り棚、消毒液置き場
			改修						LGS	図示部分新設						
		特別１床室 洗面コーナー	既存		ＰＶＣシートＢ	床材巻上げ h=300	Con	人工大理石貼	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 ＡＥＰ塗 図示部分撤去	底目地	－	2,400	±0 -300	－	洗面カウンター、洗面収納鏡
			改修						LGS	図示部分新設						
		特別１床室 ＷＣ	既存		ＰＶＣシートＢ ＡＳ防かさ上げＣｏｎ磁器質タイル50ロ	床材巻上げ h=300	Con	人工大理石貼	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 ＡＥＰ塗	底目地	－	2,400	±0 -300	－	手すり(Ｌ型、可動型)面台Ａ、収納
			改修													
		特別１床室 浴室	既存		ＡＳ防かさ上げＣｏｎ磁器質タイル50ロ	壁材と同材	Con	磁器質タイル 100×100	LGS	ＡＬ製バスリブ貼 図示部分撤去	ＡＬ Ｂ-ＦＵ	－	2,400	±0～-50 -300	－ ※１	浴槽、手すり、面台Ｄ、排水側溝Ｄ
			改修						LGS	図示部分新設						
		デイコーナー １、６	既存		ＰＶＣシートＢ	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 ＥＰ-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,400	±0 -10	－ ※１	木製手すりＢ
			改修						LGS	図示部分新設						
		デイコーナー ２、５ （３・４階）	既存		ＰＶＣシートＢ	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 ＥＰ-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	－	2,700	±0 -10	－ ※１	木製手すりＢ、補助散水栓
			改修						LGS	図示部分新設						
		スタッフ休憩室 １、２	既存		ＰＶＣシートＢ タイルカーペットＡ	木製OSCL h=60	LGS	GB-R下地 ＥＰ-M塗	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,700	±0 -10	－	流し台、吊戸棚
			改修						LGS	図示部分新設						
	食堂系統	病棟食堂１	既存		フローリング t=15	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 天然木練付ボードOSCL 一部　クロス貼り	LGS	GB-R t=9.5+9..5下地 ＡＥＰ塗 図示部分撤去	底目地	St FE	2,650	±0 -30	－ ※１	洗面ｶｳﾝﾀｰ、ｶｳﾝﾀｰ鏡、面台Ａ収納、床見切Ｂ 木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ、消火器ﾎﾞｯｸｽ
			改修						LGS	図示部分新設						
		調理室 ２～４階	既存		ＡＳ防かさ上げＣｏｎ ＰＶＣシートＣ 特殊防滑シート床材	壁材と同材	Con	磁器室タイル 100ロ	LGS	GB-S t=9.5捨貼 ＦＫ t=6.0 目透貼り下地 ＥＰ-Ｇ 図示部分撤去	底目地	－	2,400	±0 -200	㊎	排水側溝Ｂ、面台Ｃ、ＳＵＳｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞｶｳﾝﾀｰ 厨房機器一式、グリストラップ、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
	スタッフステーション系統	準備室	既存		合成樹脂塗床D ＯＡフロアの上 直敷ＰＶＣタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-NC t=9.5	塩ビ	－	2,400	±0 -10	－ ※１	収納、流し台、吊戸棚 ストレッチャーガード2段
			改修													

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（13）
尺	－
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-33

内部仕上表（14）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
2～4階	スタッフステーション系統	スタッフステーション 1，2	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 直敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 一部図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	— ※1	収納、吊戸棚、ﾅｰｽｺｰﾙ台
			改修						LGS	一部図示部分新設						
		同上 受付コーナー	既存		PVCシートB	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 色ガラス貼り	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	塩ビ	—	2,400	±0 -10	— ※1	受付カウンター、洗面カウンター 木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
			改修													
		診察室	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 直敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 天然木練付ボード t=6.0 GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=12.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		カンファレンス室 1、2	既存		合成樹脂塗床D OAフロアの上 直敷PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=12.5捨貼 DR t=12 一部図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,400	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	一部図示部分新設						
		サービスエレベーターホール・前室	既存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	吊戸棚 樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ ｽﾄﾚｯﾁｬｰｶﾞｰﾄﾞ2段
			改修													
		スタッフWC 1、2	既存		PVCシートD	床材巻上げ h=100 塩ビ見切	LGS	GB-S下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	面台B、鏡、壁掛手洗い（排水カバー付）
			改修													
		クラークコーナー	既存		PVCシートB	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 天然木練付ボード t=6.0 GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	塩ビ	—	2,400	±0 -10	— ※1	カウンター、照明ﾎﾞｯｸｽH 木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ 飾り棚E、収納
			改修													
	共用系統	言語療法室 1、3	既存		タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=12.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		言語療法室 2、4	既存		タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 AEP塗	LGS	GB-R t=12.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,400	±0 -10	(不)	
			改修						LGS	図示部分新設						
		デイコーナー 3、4	既存		PVCシートB	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,400	±0 -10	— ※1	木製手すりB ピクチャーレールB
			改修						LGS	図示部分新設						

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（14）
尺	—
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-34 (164/402)

内部仕上表（15）

階	部門	室名		下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備考
2～4階	共用系統	一般 エレベーター ホール	既存		PVCシートB	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	底目地	—	2,700	±0 -10	— ※1	飾り棚A、照明ﾎﾞｯｸｽG 木製手すりB、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙA
			改修													
		洗濯室 1、2	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 塩ビ見切	LGS	GB-S下地 FK t=6.0 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G 図示部分撤去	塩ビ	St FE	2,400	±0 -10	—	面台B、洗濯パン、手洗い
			改修						LGS	図示部分新設						
		脱衣室 1、6	既存		かさ上げCon（床暖房仕様） PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地 FK t=6.0 EP-G塗	LGS	GB-S捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G	底目地	—	2,400	±0 -110	—	手すり(L型)、洗面 洗面ｶｳﾝﾀｰ、鏡、ベンチ ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ 床暖房（電気式）
			改修													
		脱衣室 2～5	既存		かさ上げCon（床暖房仕様） PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地 FK t=6.0 EP-G塗	LGS	GB-S捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G 図示部分撤去	底目地	—	2,400	±0 -110	—	手すり(L型)、収納棚、面台A洗面ｶｳﾝﾀｰ、鏡 ベンチ ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ、床暖房（電気式）図示部分撤去
			改修						LGS	図示部分新設						
		倉庫 1、2	既存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	棚
			改修													
		廊下 3、5	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	底目地	St FE	2,400	±0 -10	— ※1	木製手すりB、木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ収納棚、姿見 補助散水栓
			改修						LGS	図示部分新設						LGS
		廊下 4	既存		PVCシートB	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 天然木練付ボード t=6.0	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	塩ビ	—	2,400	±0 -10	— ※1	照明ﾎﾞｯｸｽH、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙB木製手すりB 補助散水栓(廊下4)
			改修													
		浴室 1、6	既存		AS防かさ上げCon（床暖房仕様） 磁器質タイル50□	壁材と同材	RC	磁器質タイル 100×100	LGS	AL製バスリブ貼	AL B-FU	—	2,400	±0～-50 -300	—	浴槽、排水側溝D、面台D 手すり(L型､洗い場用) 鏡､ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ鏡、床暖房（電気式）
			改修													
		浴室 2～5	既存		AS防かさ上げCon（床暖房仕様） 磁器質タイル50□	壁材と同材	RC	磁器質タイル 100×100	LGS	AL製バスリブ貼	AL B-FU	—	2,400	±0～-50 -300	—	浴槽、排水側溝D、面台D、手すり天井ﾘﾌﾄﾚｰﾙA(浴室2) 天井ﾘﾌﾄﾚｰﾙB(浴室5)､鏡、床暖房（電気式）
			改修													
		サニタリー	既存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 塩ビ見切	LGS	GB-S下地 FK t=6.0 EP-G塗	LGS	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0 目透貼り下地 EP-G	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	面台C、流し台､吊戸棚、汚物流し、掃除流し
			改修													

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（15）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-35 (165/402)

内部仕上表（16）

階	部門	室　名		下地	床	巾　木	下地	壁	下地	天　井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備　考
2～4階		スタッフ更衣室	既 存		タイルカーペットA	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	収納棚、床見切A
			改 修													
		器具庫	既 存		PVCタイル	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 FK t=6.0 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	棚
			改 修													
		多目的トイレ 1、2	既 存		PVCシートB	床材巻上げ h=100 AL見切	LGS	GB-S下地 FK t=6.0 ダイノックシート	LGS	GB-S t=9.5+9.5下地 AEP塗	塩ビ	—	2,400	±0 -10	—	面台B、手すり(L型、可動型、小便器鏡 衛生器具一式
			改 修													
		廊下 1、7	既 存		PVCシートB	床材巻上げ h=300 AL見切	LGS	GB-R下地 東面:ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板t=3 目透貼 その他:EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12	塩ビ	—	2,400	±0 -10	— ※1	木製手すりB、木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ,姿見 収納、消火器ﾎﾞｯｸｽ,飾り棚C 照明ﾎﾞｯｸｽH,ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙB、飾り棚D、補助散水栓
			改 修													
		廊下 2、6	既 存		PVCシートB	集成材 OSCL h=300	LGS	GB-R下地 EP-M塗	LGS	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12 図示部分撤去	塩ビ	—	2,400	±0 -10	— ※1	照明ﾎﾞｯｸｽH,ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙB 木製手すりB、木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ 補助散水栓(廊下4)
			改 修						LGS	図示部分新設						
PH階		電気室	既 存		Con金コテの上合成樹脂塗床C	床材と同材 h=300	Con	h>300 GW-B	Con	GW-B	—	—	直天	400 100	(不)	機械基礎、配線ピット（トラフ）
			改 修													
		EV5 前室	既 存		PVCシートD	ソフト巾木 h=60	LGS	GB-R下地 EP-G塗	LGS	GB-D t=9.5	—	—		400 100		
			改 修													
各階共通		屋内階段	既 存		PVCシートB	ソフト巾木 h=60	Con	側面：EP-G塗 正面：EP-M塗	Con	段裏：EP-G	底目地	—	2,400	±0 -10	(不)	ノンスリップSUS既製品 木製手すり、誘導ブロック(PVC)
			改 修													
		空調機械室 消火ポンプ室	既 存		合成樹脂塗床C	床材と同材 h=300	Con	h>300 GW-B	Con	GW-B	—	—	直天	±0 -10	—	機械基礎A,B
			改 修													
		PS、DS アラーム弁室	既 存		合成樹脂塗床E	床材と同材 h=100	Con	GB-Rのまま	Con	Con打放し	—	—	直天	±0 -10	—	
			改 修													

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（16）
尺	—
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-36 (166/402)

内部仕上表（17）

階	部門	室　名		下地	床	巾　木	下地	壁	下地	天　井	廻縁	ブラインドボックス	天井高	仕上高 スラブ高	内装制限	備　考
各階共通		EPS、ES	既 存		かさ上げＣｏｎ合成樹脂塗床Ｅ	床材と同材 ｈ＝100	Con	Ｃｏｎ打放し補修 ＧＢ－Ｒのまま	Con	Ｃｏｎ打放し	－	－	直天	50 －10	－	
			改 修													
水槽		雑用水槽 消火水槽	既 存		コンクリート金こて押さえ モルタル防水金こて押さえ	壁に同じ	Con	コンクリート金こて押さえ モルタル防水金こて押さえ	Con	Ｃｏｎ打放し	－	－	直天	IFL－2100 －10	－	人通口、通気口、通水口、タラップ
			改 修													
		湧水槽 沈砂槽雨水貯留槽	既 存		Ｃｏｎ金こて押さえ	壁に同じ	Con	Ｃｏｎ打放し	Con	Ｃｏｎ打放し	－	－	直天	IFL－2100 －10	－	人通口、通気口、通水口、タラップ
			改 修													

凡例

内装制限凡例　不：不燃（仕上のみ）　(不)：不燃（下地、仕上共）　準不：準不燃（仕上のみ）　(準不)：（下地、仕上共）　－：内装制限なし

※１：令129条7項の規定により、特殊建築物の内装制限を不適用とする。

面台Ａ：人工大理石　面台Ｂ：ポストフォーム　面台Ｃ：ＳＵＳ　面台Ｄ：花崗岩

■内部仕上略号及び防火認定番号リスト

〔仕上もしくは基材〕－壁－　〔認定番号〕

- ＧＢ－Ｒ：石膏ボード　ｔ＝9.5　準不燃：ＱＭ－9828
- ＧＢ－Ｒ：石膏ボード　ｔ＝12.5　不燃　：ＮＭ－8619、ＮＭ－8612
- ＧＢ－Ｒ：硬質石膏ボード［適合品］　ｔ＝9.5、12.5　不燃　：ＮＭ－9645
- ＧＢ－Ｓ：シージング石膏ボード　ｔ＝9.5、12.5　準不燃：ＱＭ－9826
- ＧＢ－Ｓ：シージング石膏ボード　［適合品］　ｔ＝12.5　不燃　：ＮＭ－9639
- ＦＫ　：無石綿セメントけい酸カルシウム板　ｔ＝5.0、6.0、8.0　不燃　：ＮＭ－8578
- ＧＷ－Ｂ：グラスウール成形板　不燃　：ＮＭ－8606

〔仕上もしくは基材〕－天井－　〔認定番号〕

- ＧＢ－Ｒ：石膏ボード　ｔ＝9.5　準不燃：ＱＭ－9828
- ＧＢ－Ｒ：石膏ボード　ｔ＝12.5　不燃　：ＮＭ－8619、ＮＭ－8612
- ＧＢ－Ｄ：化粧石膏ボード　ｔ＝9.5　準不燃：ＱＭ－9824
- ＧＢ－ＮＣ：不燃化粧石膏ボード　ｔ＝9.5　不燃　：ＮＭ－8613
- ＦＫ　：無石綿セメントけい酸カルシウム板　ｔ＝5.0、6.0、8.0　不燃　：ＮＭ－8578
- ＤＲ　：ロックウール化粧吸音板　ｔ＝12.0、19.0　不燃　：ＮＭ－8599

〔仕上もしくは基材〕　〔認定番号〕

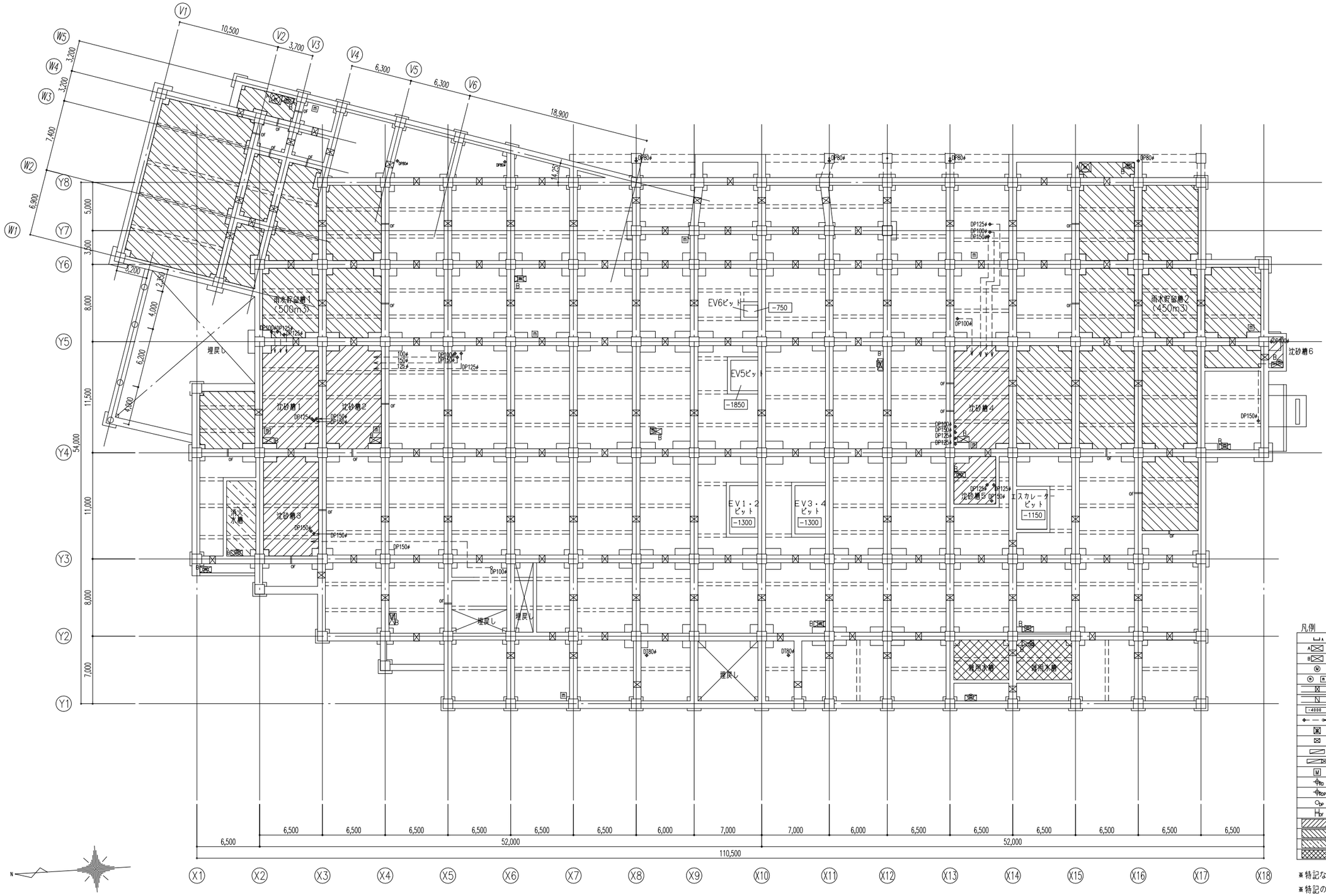
- 塗装（ＡＥＰ、ＥＰ－Ｇ、ＥＰ－Ｍ、ＦＥ、ＳＯＰ）　基材同等
- 無機質クロス　不燃認定品
- 不燃天然木練付ボード　ｔ＝6.0　不燃（個）12052号
- 施釉セメントケイ酸カルシウム板（東レグラサル）　ｔ＝4.0　不燃（個）11091号
- 繊維混入石膏板（曲面用）（エフジーボード）　ｔ＝5.0、6.0　不燃：ＮＭ－9028
- ペン下クロス（アクリル系樹脂塗装ガラス繊維織物張り）（グレイスコーポレーションＨＧＴ　60560）　不燃：ＮＭ－0793
- 特殊塩ビシート（住友3Ｍ特殊塩ビフィルム）　不燃：ＮＭ－0131
- 不燃メラミン化粧板　ｔ＝3.0　不燃：ＮＭ－9300

〔仕上もしくは基材〕　〔認定番号〕

- 塗装（ＡＥＰ、ＥＰ－Ｇ、ＦＥ）　基材同等
- 無機質クロス　不燃認定品
- 施釉セメントケイ酸カルシウム板（東レグラサル）　ｔ＝4.0、5.0　不燃（個）11091号
- ＧＷ－Ｂ：グラスウール成形板　不燃：ＮＭ－8606

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	内部仕上表（17）
縮尺	－
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度



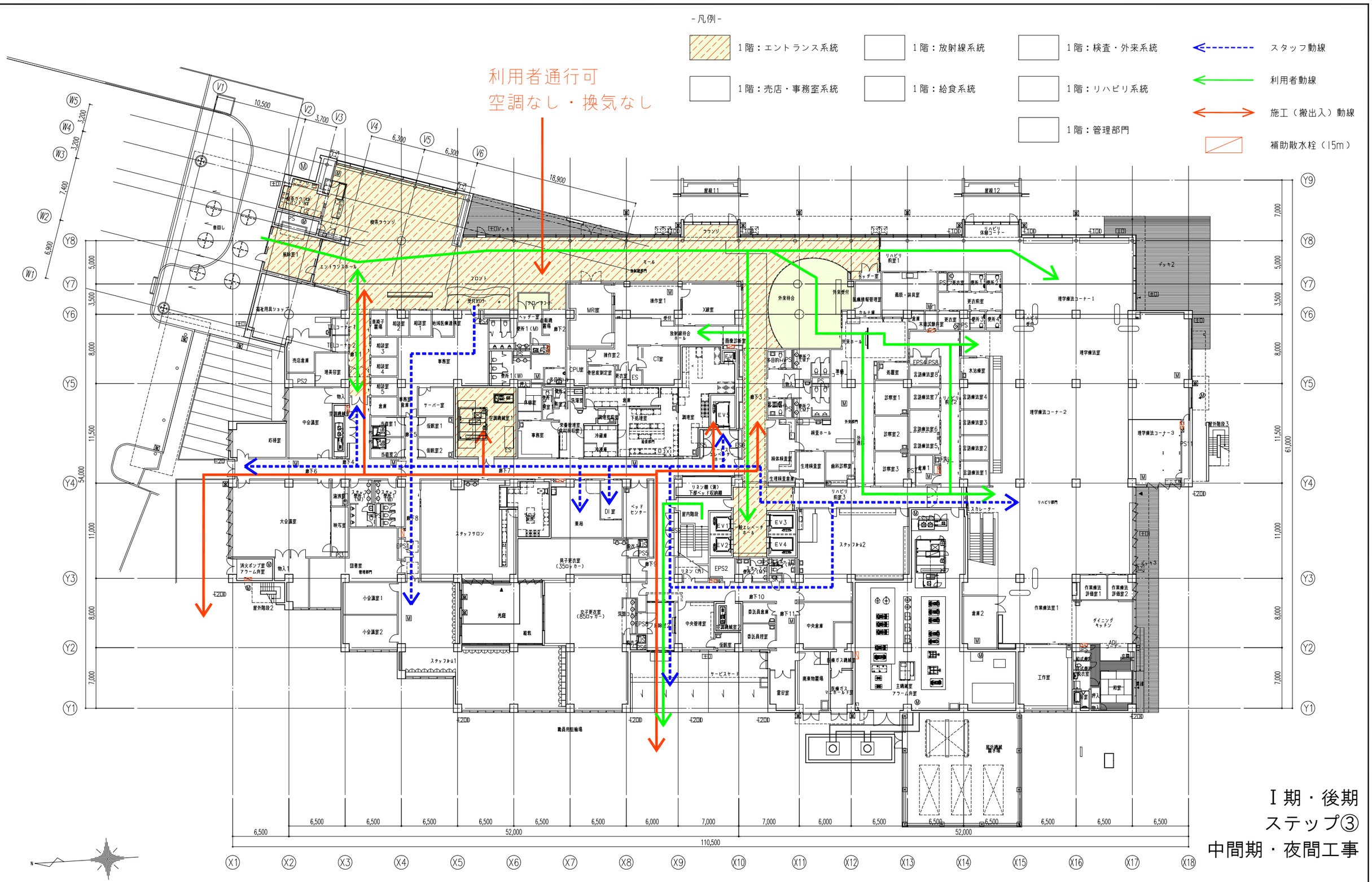
凡例

A	タラップA
A	釜場 1000x1200x600
B	釜場 600x1200x600
M	マンホール 600φ
M	上部マンホール＋タラップA
N	人通孔600φ＋通水管150φ／2＋通気管100φ＋タラップA
N	通気管
-4000	床レベル（1FLから）
	雨水横送管 (VP)
R	雨水桝
F	消火器ボックス
	補助散水栓（設備工事）
F	消火器ボックス付補助散水栓（設備工事）
M	鋳鉄製マンホール 600φ
RD	ルーフドレイン
RDP	中継ドレイン
DP	竪樋
OF	オーバーフロー管
	沈砂槽
	雨水貯留槽
	消火水槽
	雑用水槽

※特記なき限り床レベルは1FL−2000とする。
※特記のない部分は湧水槽とする。
※貯留槽の小梁部に通気管100φ（2ヶ所/スパン）を設ける

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-38 (168/402)
図面名	ピット階平面図	縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度


- 凡例 -
1 階：エントランス系統
1 階：放射線系統
1 階：検査・外来系統
スタッフ動線
1 階：売店・事務室系統
1 階：給食系統
1 階：リハビリ系統
利用者動線
施工（搬出入）動線
1 階：管理部門
補助散水栓（15m）
利用者通行可
空調なし・換気なし
エントランスホール
ロビー
フロント
外来待合
外来受付
外来ホール
リハビリ前室1
リハビリ前室2
リハビリ前室3
理学療法室
理学療法コーナー1
理学療法コーナー2
理学療法コーナー3
作業療法室1
作業療法評価室1
作業療法評価室2
ダイニングキッチン
言語療法室1
言語療法室2
言語療法室3
言語療法室4
言語療法室5
言語療法室6
言語療法室7
言語療法室8
診察室1
診察室2
診察室3
検体検査室
生理検査室
生理検査倉庫
歯科診察室
検査ホール
水治療室
処置室
義肢・装具室
更衣室
更衣前室
カルテ庫
ヘッダー室
ナースステーション
ナースコール
MR室
X線室
操作室1
操作室2
CT室
CPU室
放射線待合ホール
画像診断室
放射線管理室
放射線機器管理室
受付カウンター
受付
ATM
相談室1
相談室2
相談室3
相談室4
相談室5
地域医療連携室
患者用具ショップ
売店倉庫
理美容室
TVコーナー1
TVコーナー2
中会議室
大会議室
小会議室1
小会議室2
図書室
管理部門
消火ポンプ室
アラーム弁室
物入1
物入2
屋外階段1
屋外階段2
屋外階段3
EV1
EV2
EV3
EV4
EV5
EV6
昇降機
エレベーターホール
リネン庫（汚）
リネン庫（清）
下都ベッド収納庫
スタッフトイレ1
スタッフトイレ2
スタッフトイレ3
スタッフトイレ4
スタッフトイレ5
スタッフトイレ6
スタッフトイレ7
スタッフトイレ8
スタッフトイレ9
スタッフトイレ10
スタッフトイレ11
スタッフトイレ12
スタッフサロン
スタッフ休憩室
ベッドセンター
DI 室
薬局
男子更衣室（350ロッカー）
女子更衣室（350ロッカー）
シャワー室
浴槽室
光庭
屋内階段
EPS1
EPS2
EPS3
EPS4
EPS5
EPS6
EPS7
EPS8
PS1
PS2
PS3
PS4
PS5
PS6
PS7
PS8
PS9
PS10
PS11
PS12
PS13
PS14
PS15
PS16
PS17
PS18
PS19
PS20
PS21
PS22
PS23
PS24
PS25
PS26
PS27
PS28
PS29
PS30
PS31
PS32
PS33
PS34
PS35
PS36
PS37
PS38
PS39
PS40

利用者通行不可
サービス（スタッフ）通行不可

- 凡例 -

- 1階：エントランス系統
- 1階：売店・事務室系統
- 1階：放射線系統
- 1階：給食系統
- 1階：検査・外来系統
- 1階：リハビリ系統
- 1階：管理部門
- スタッフ動線
- 利用者動線
- 施工（搬出入）動線
- 補助散水栓（15m）

Ⅰ期・前期
ステップ②
中間期・夜間工事

売店・事務室系統　02/9

千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	1階平面図（売店・事務室系統）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-40（170/402）

スタッフ動線と交差
病床への食事提供停止

- 凡例 -

1階：エントランス系統
1階：放射線系統
1階：検査・外来系統
スタッフ動線
1階：売店・事務室系統
1階：給食系統
1階：リハビリ系統
利用者動線
1階：管理部門
施工（搬出入）動線
補助散水栓（15m）

Ⅱ期・前期
ステップ④
昼間工事

給食系統　03/9

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	1階平面図（給食系統）
			船橋市建設局建築部建築課
		縮尺	1:200
			令和7年度
		図面番号	A-41 (171/402)

- 凡例 -

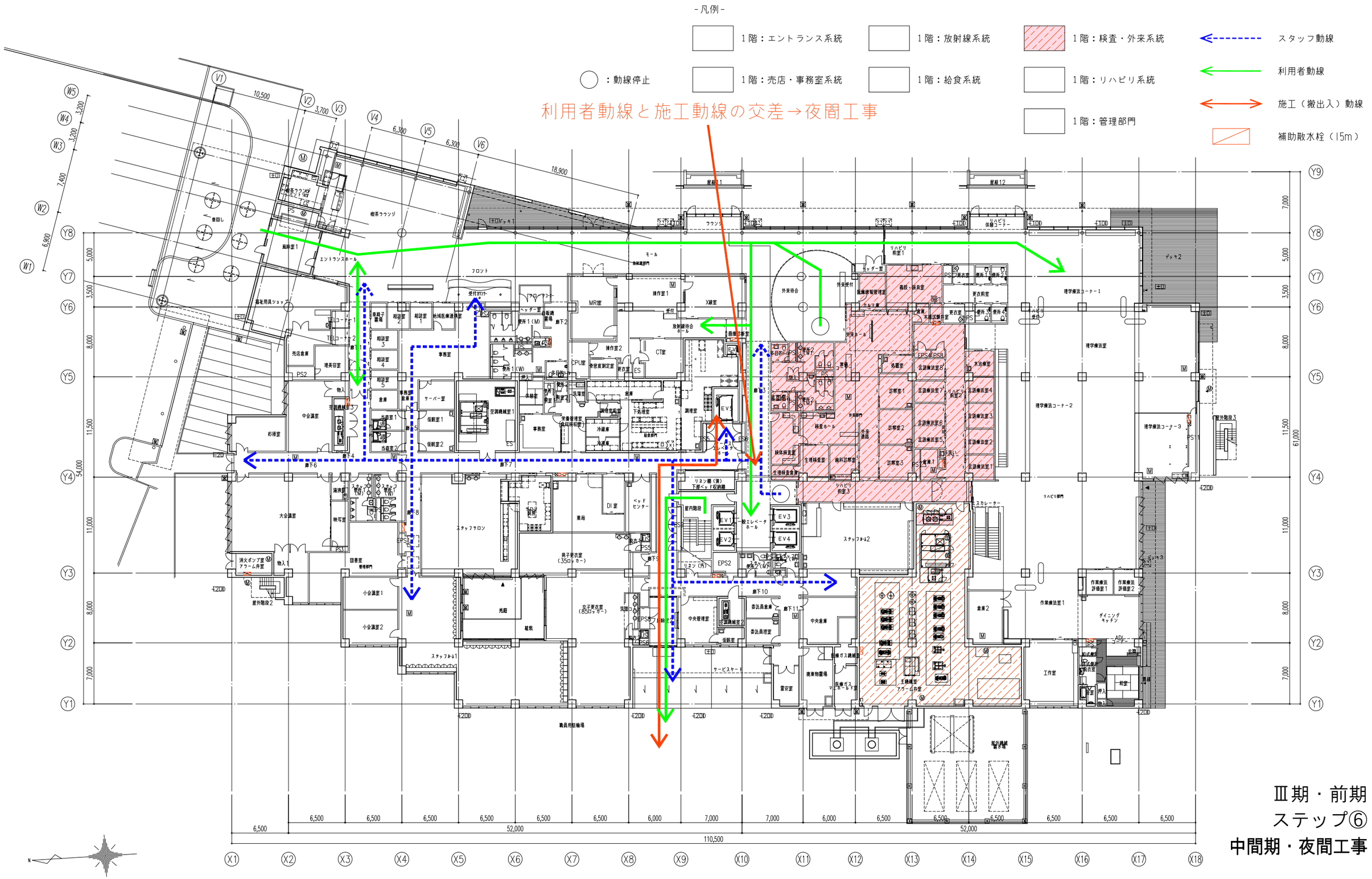
1階：エントランス系統
1階：売店・事務室系統
1階：放射線系統
1階：給食系統
1階：検査・外来系統
1階：リハビリ系統
1階：管理部門
スタッフ動線
利用者動線
施工（搬出入）動線
補助散水栓（15m）

利用者動線と施工動線の交差→夜間工事

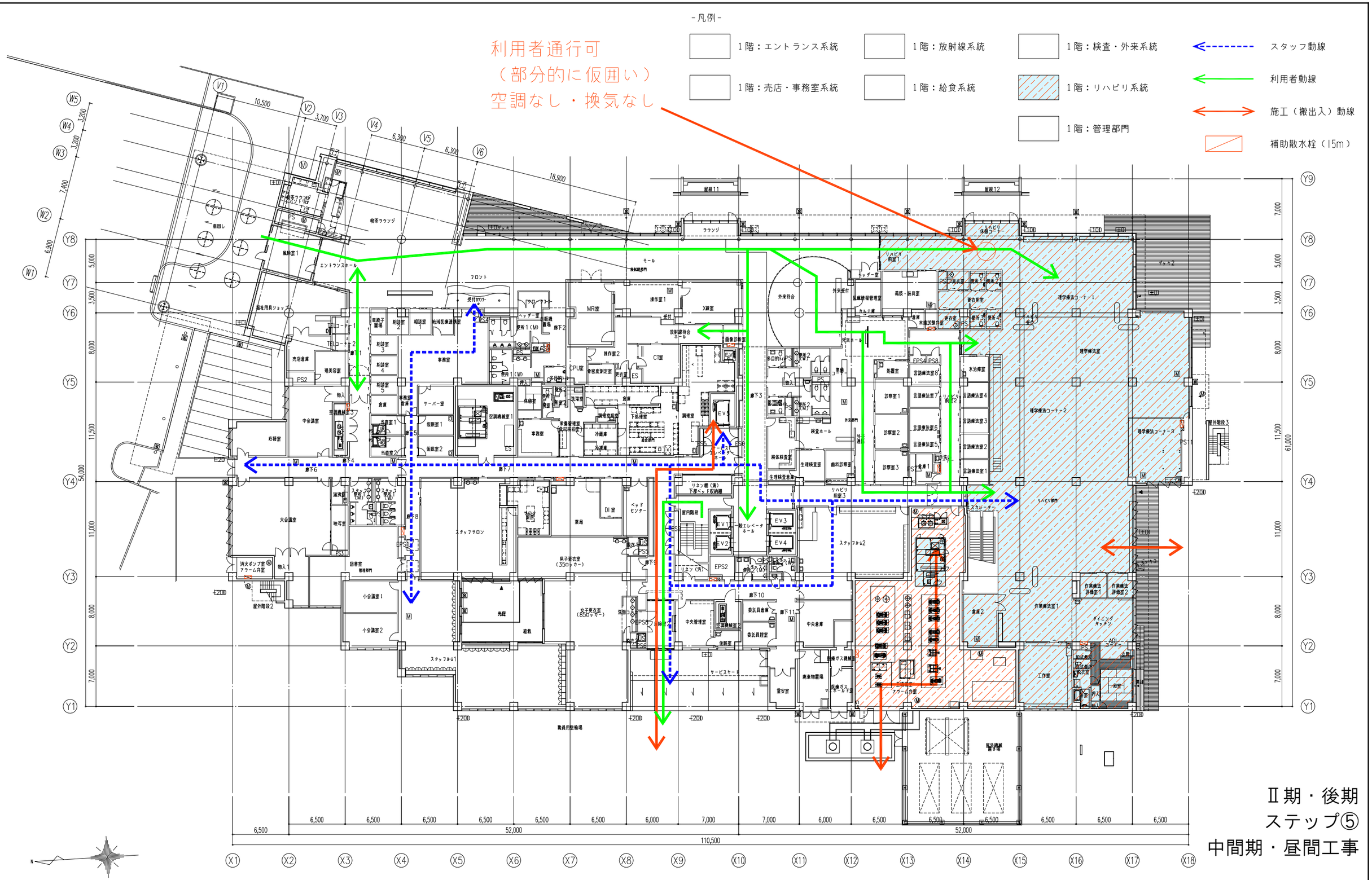
Ⅱ期・前期
ステップ④
中間期・夜間工事

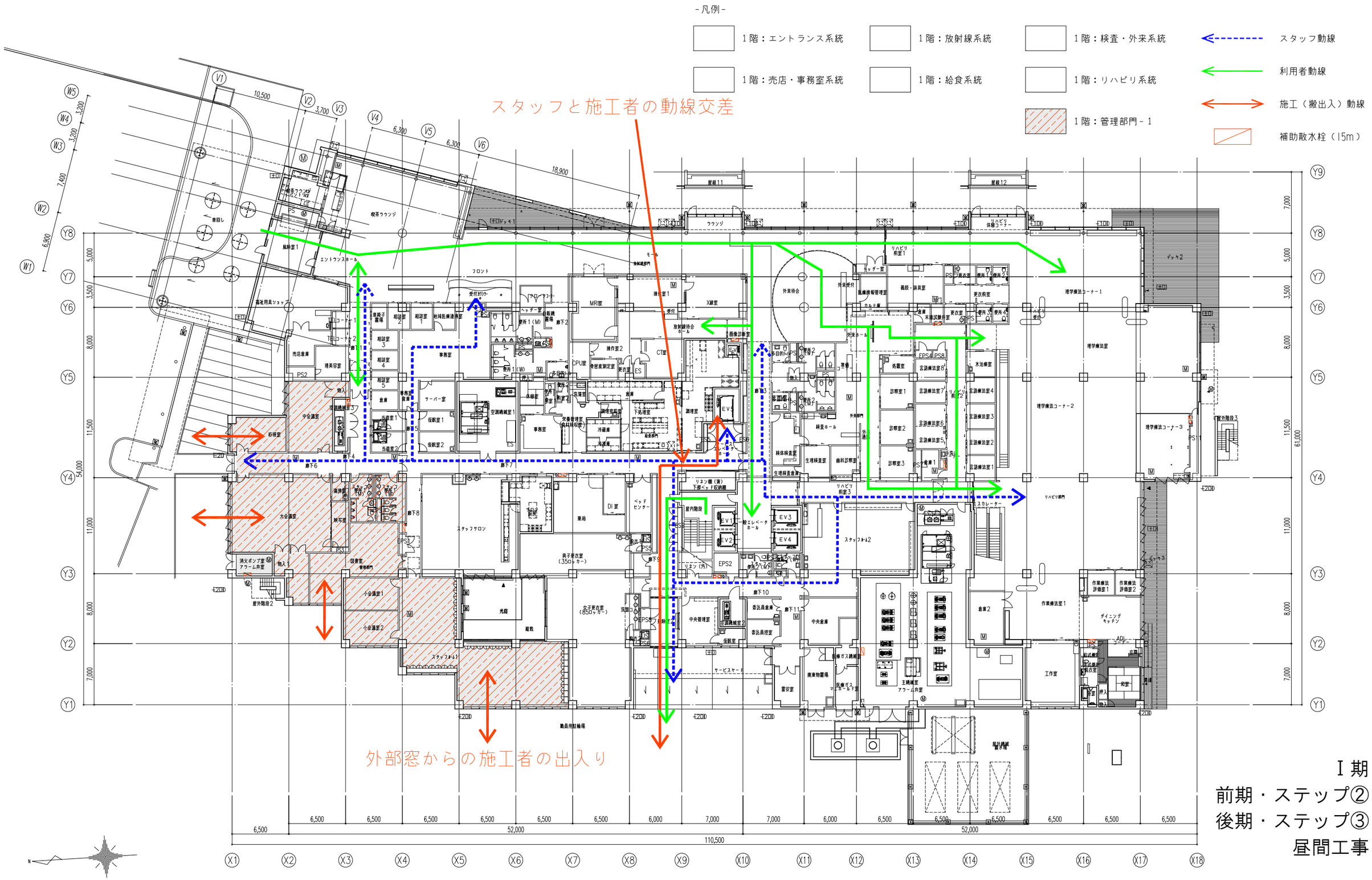
放射線系統 04/9

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	1階平面図（放射線系統）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-42（172/402）



出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	1階平面図（検査・外来系統）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-43 (173/402)

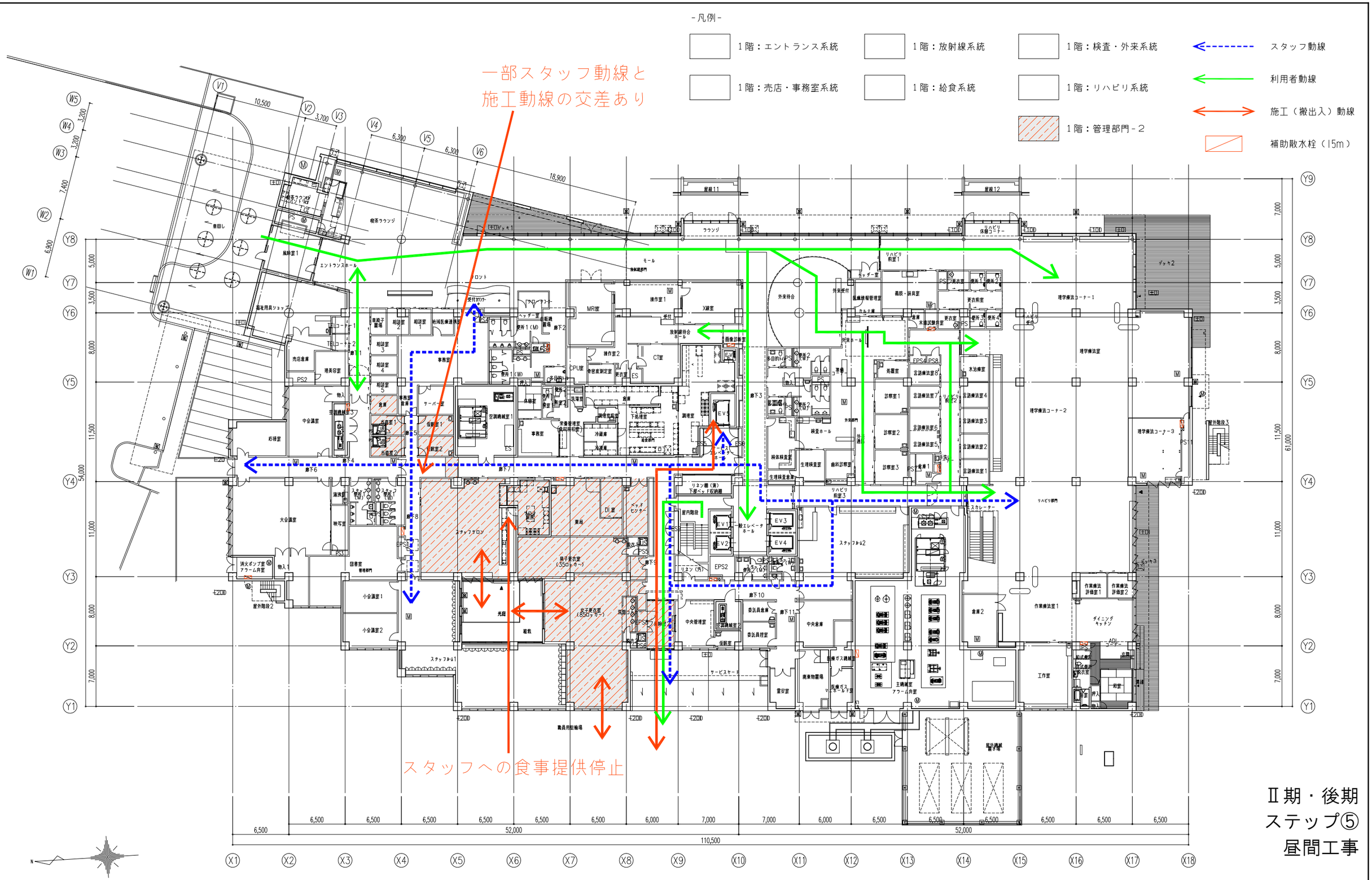

- 凡例 -
1階：エントランス系統
1階：放射線系統
1階：検査・外来系統
スタッフ動線
1階：売店・事務室系統
1階：給食系統
1階：リハビリ系統
利用者動線
1階：管理部門
施工（搬出入）動線
補助散水栓（15m）
利用者通行可
（部分的に仮囲い）
空調なし・換気なし
エントランスホール
喫茶ラウンジ
ラウンジ
フロント
受付カウンター
風除室1
屋根11
屋根12
リハビリ前室1
リハビリ前室2
リハビリ前室3
体操コーナー
理学療法コーナー1
理学療法コーナー2
理学療法コーナー3
理学療法室
言語療法室1
言語療法室2
言語療法室3
言語療法室4
言語療法室5
言語療法室6
言語療法室7
言語療法室8
作業療法室1
作業療法評価室1
作業療法評価室2
水治療室
診察室1
診察室2
診察室3
検査ホール
外来受付
外来待合
外来ホール
義肢・装具室
更衣室
処置室
検体検査室
生理検査室
生理検査倉庫
歯科診察室
画像診断室
MR室
X線室
CT室
操作室1
操作室2
放射線待合ホール
CPU室
造影剤注入室
調理室
下処理室
配膳室
食堂
厨房
EV1
EV2
EV3
EV4
EV5
昇降機
エレベーターホール
階段室
屋内階段
屋外階段1
屋外階段2
屋外階段3
スロープ
スカレーター
リネン庫（汚）
リネン庫（清）
下部ベッド収納庫
ベッドセンター
DI室
薬局
スタッフサロン
スタッフトイレ1
スタッフトイレ2
スタッフトイレ3
男子更衣室（350ロッカー）
女子更衣室（835ロッカー）
光庭
廊下1
廊下2
廊下3
廊下4
廊下5
廊下6
廊下7
廊下8
廊下9
廊下10
廊下11
大会議室
小会議室1
小会議室2
図書室
管理部門
映写室
消火ポンプ室
アラーム弁室
物入1
物入2
倉庫1
倉庫2
倉庫3
倉庫4
倉庫5
倉庫6
倉庫7
倉庫8
倉庫9
倉庫10
倉庫11
倉庫12
倉庫13
倉庫14
倉庫15
倉庫16
倉庫17
倉庫18
倉庫19
倉庫20
倉庫21
倉庫22
倉庫23
倉庫24
倉庫25
倉庫26
倉庫27
倉庫28
倉庫29
倉庫30
倉庫31
倉庫32
倉庫33
倉庫34
倉庫35
倉庫36
倉庫37
倉庫38
倉庫39
倉庫40



Ⅰ期
前期・ステップ②
後期・ステップ③
昼間工事

管理部門-1　07/9

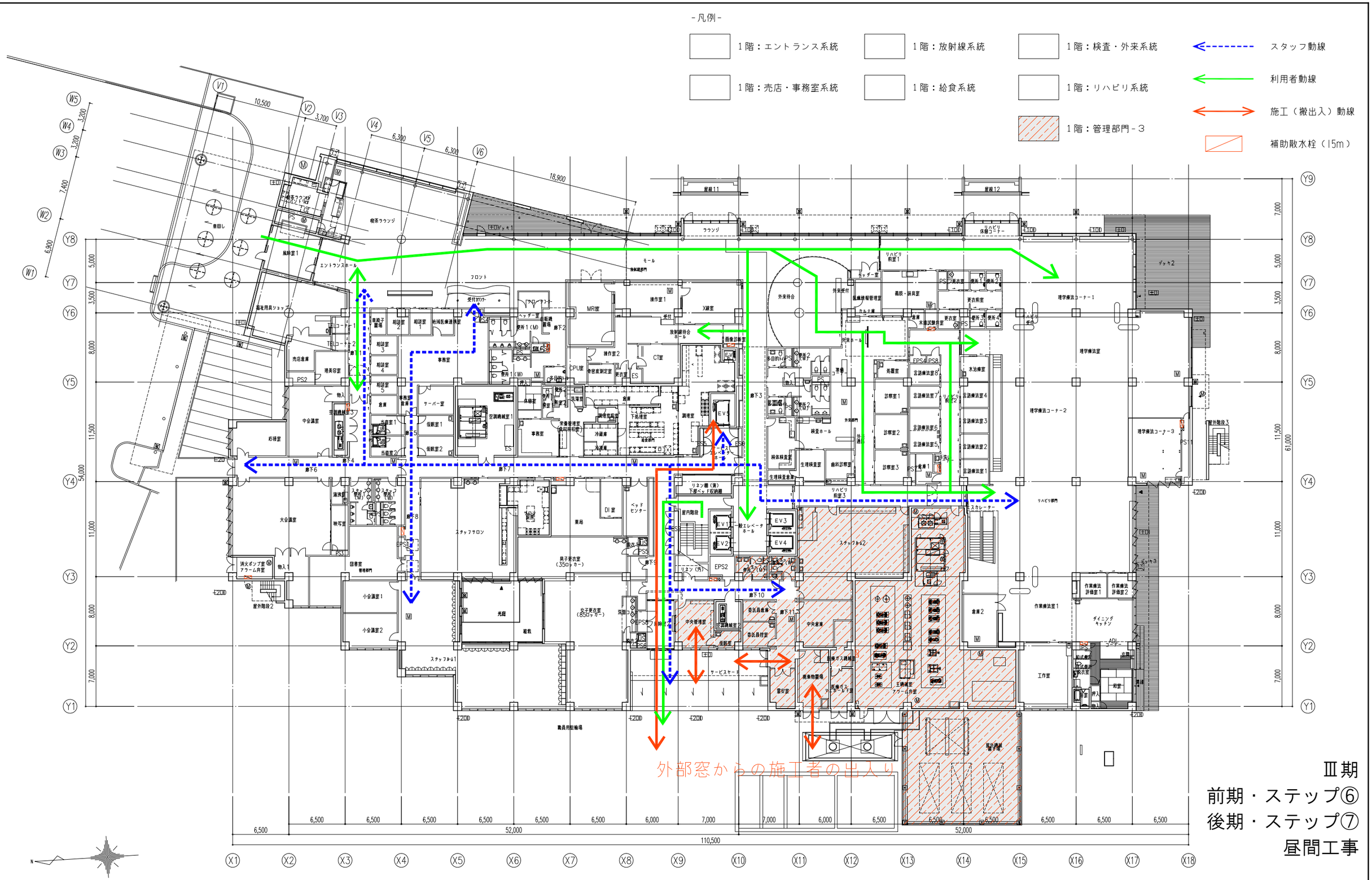
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS 千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 A-45 (175/402)
	図面名	1階平面図（管理部門 - 1系統）	縮尺 1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度



Ⅱ期・後期
ステップ⑤
昼間工事

管理部門-2　08/9

千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	1階平面図（管理部門-2系統）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-46 （176/402）



Ⅲ期
前期・ステップ⑥
後期・ステップ⑦
昼間工事

管理部門-3 09/9

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	1階平面図（管理部門-3系統）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-47（177/402）

一部SUS製大型搬入扉に部分改修

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	1階平面図【全体】・改修建具キープラン
縮尺	1:200
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
図面番号	A-48 (178/402)

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

2階南側工事　Ⅲ期・後期・ステップ⑦

南側工事

昼間工事

- 凡例 -

- 工事エリア
- 病棟系統
- スタッフステーション系統
- 食堂系統
- 厨房系統
- 共用系統
- スタッフ動線
- 利用者動線
- 施工（搬出入）動線
- 補助散水栓（15m）

食事は他階のパントリーからの提供による

OHU-KIT：450kg

人・寝台用EV【工事利用】
積載：1000kg（15人）
かご内法：1500×2500×2250h
出入口寸法：1200×2100

OHU-RES：1050kg→分解

OHU-N：450kg
2010×650×1346h

OHU-S：450kg

OHU-S：450kg

OHU-S：450kg

OHU-SS：1050kg
3364×870×2027h
（1680+1620）
→分解

囲仕切り壁撤去・新設

階段：工事で利用

★：2方向避難の避難階段

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室　DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	2階平面図【南側工事】
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-49（179/402）

２階北側工事　Ⅲ期・前期・ステップ⑥

北側工事

昼間工事

- 凡例 -

- 病棟系統
- スタッフステーション系統
- 工事エリア
- 食堂系統
- 厨房系統
- 共用系統
- スタッフ動線
- 利用者動線
- 施工（搬出入）動線
- 補助散水栓（15m）

食事は他階のパントリーからの提供による

OHU-KIT：450kg

人・寝台用EV【工事利用】
積載：1000kg（15人）
かご内法：1500×2500×2250h
出入口寸法：1200×2100

OHU-RES：1050kg→分解

OHU-N：450kg
2010×650×1346h

OHU-S：450kg

OHU-S：450kg

OHU-SS：1050kg
3364×870×2027h
（1680+1620）
→分解

階段：工事で利用

階段：工事で利用

★：２方向避難の避難階段

間仕切り壁撤去・新設

千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	２階平面図【北側工事】・改修建具キープラン
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-50（180/402）

３階南側工事　Ⅰ期・後期・ステップ③

- 凡例 -

工事エリア

病棟系統

スタッフステーション系統

食堂系統

厨房系統

共用系統

スタッフ動線

利用者動線

施工（搬出入）動線

補助散水栓（15m）

南側工事

昼間工事



出堀建築設計室　DEBORI ARCHITECTS

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	３階平面図【南側工事】
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-51（181/402）

３階北側工事 | Ⅰ期・前期・ステップ②

- 凡例 -

工事エリア

病棟系統

スタッフステーション系統

食堂系統

厨房系統

共用系統

スタッフ動線

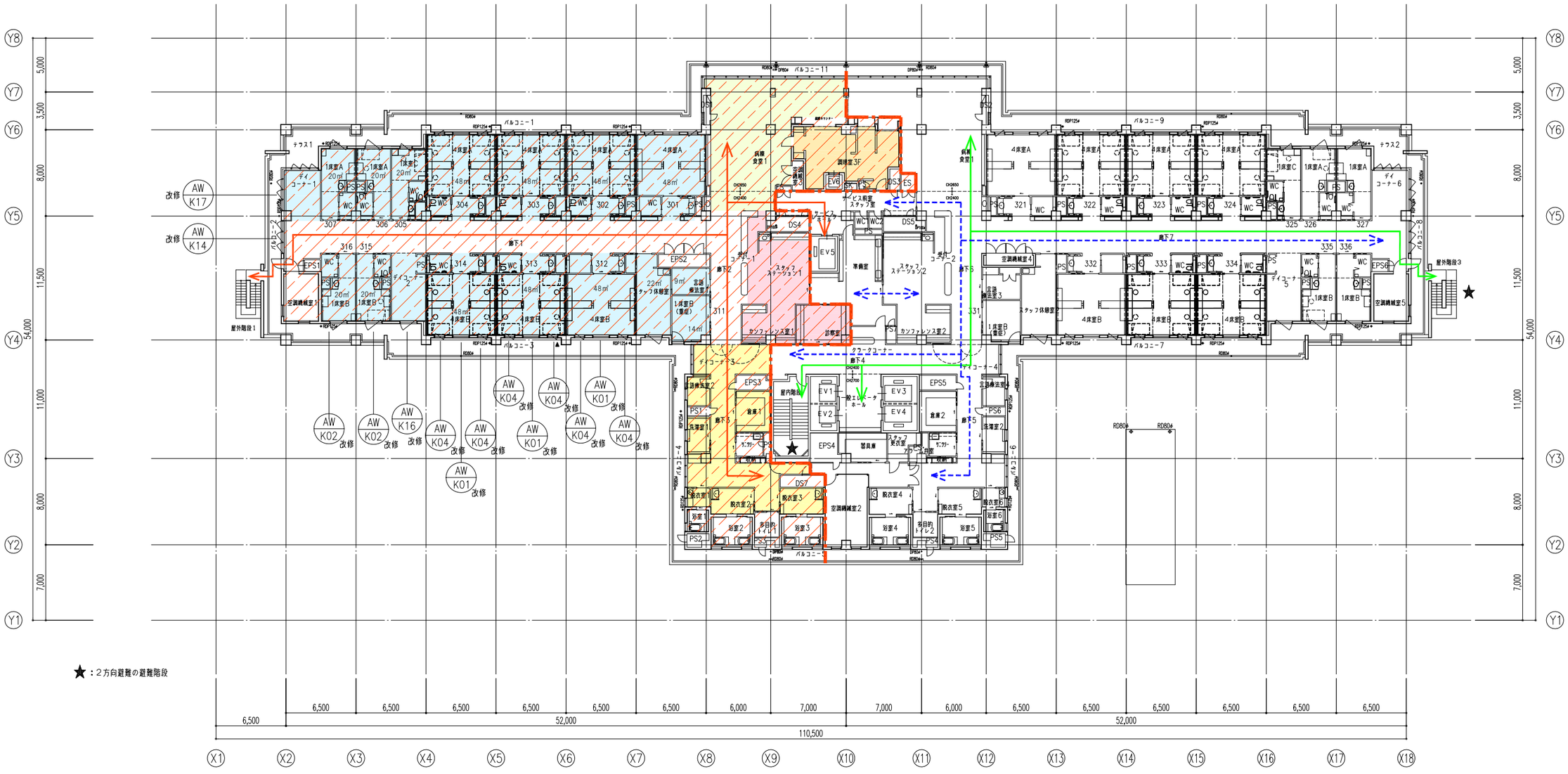
利用者動線

施工（搬出入）動線

補助散水栓（15m）

北側工事

昼間工事



千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	３階平面図【北側工事】・改修建具キープラン
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-52 (182/402)

４階南側工事　Ⅱ期・後期・ステップ⑤

- 凡例 -

工事エリア

病棟系統

スタッフステーション系統

食堂系統

厨房系統

共用系統

スタッフ動線

利用者動線

施工（搬出入）動線

補助散水栓（15m）

南側工事

昼間工事



千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	４階平面図【南側工事】
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-53（183/402）

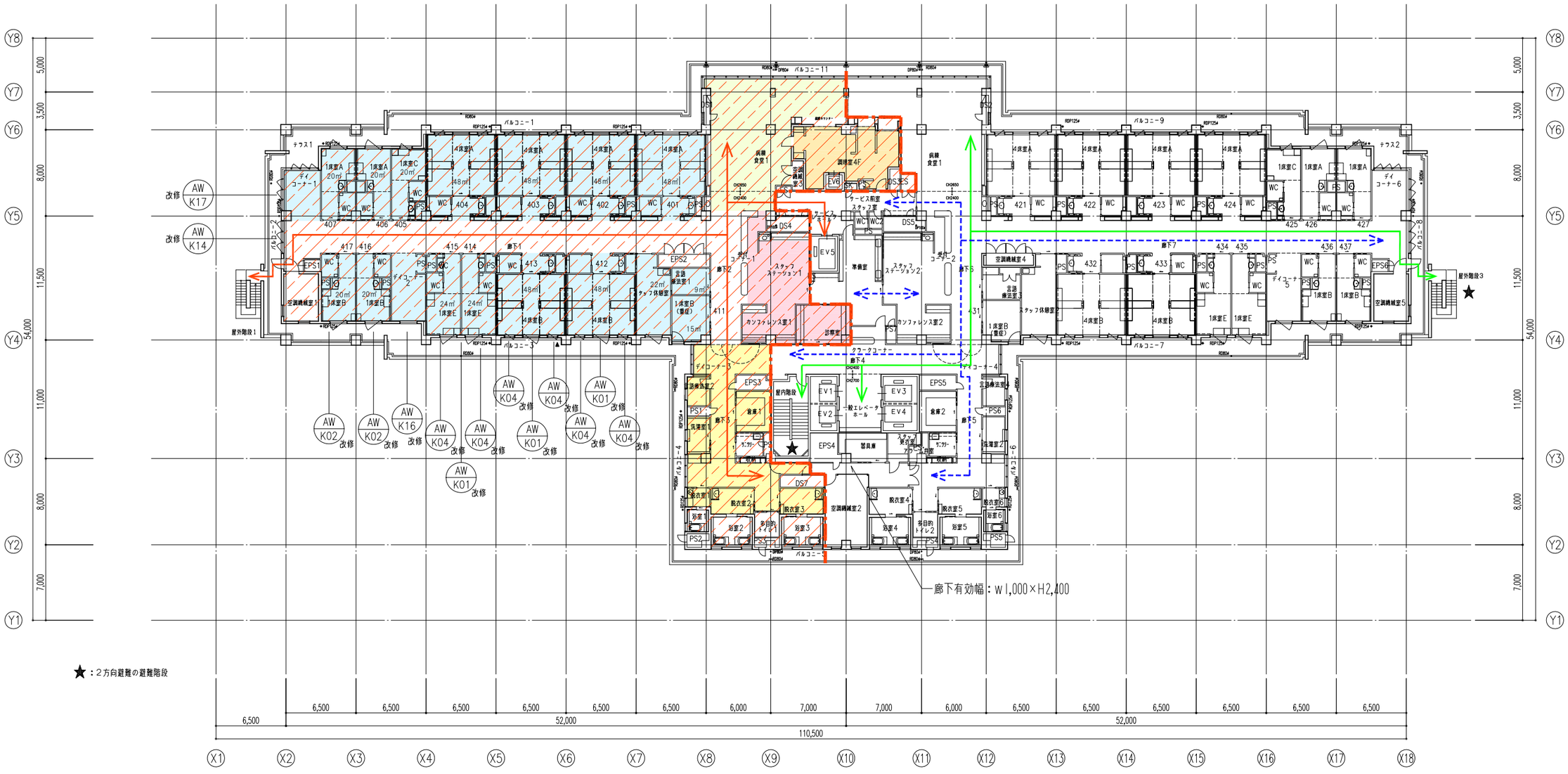
４階北側工事 | Ⅱ期・前期・ステップ④

- 凡例 -

- 工事エリア
- 病棟系統
- スタッフステーション系統
- 食堂系統
- 厨房系統
- 共用系統
- スタッフ動線
- 利用者動線
- 施工（搬出入）動線
- 補助散水栓（15m）

北側工事

昼間工事

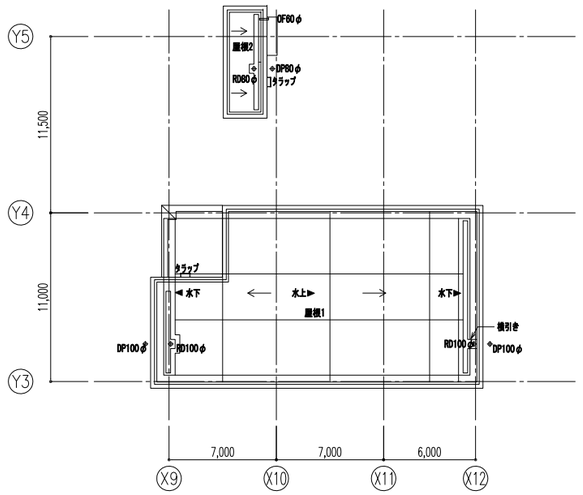


千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

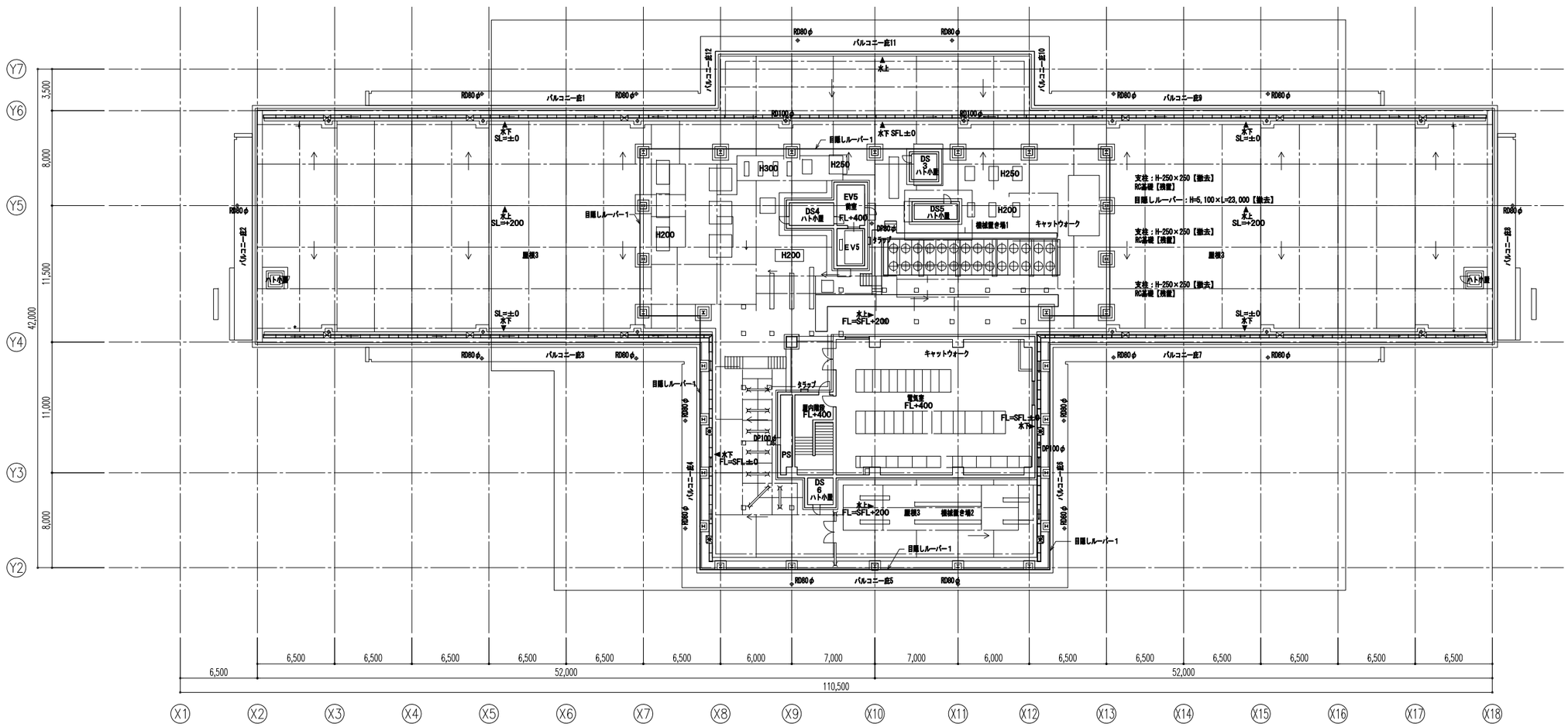
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	４階平面図【北側工事】・改修建具キープラン
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-54 (184/402)



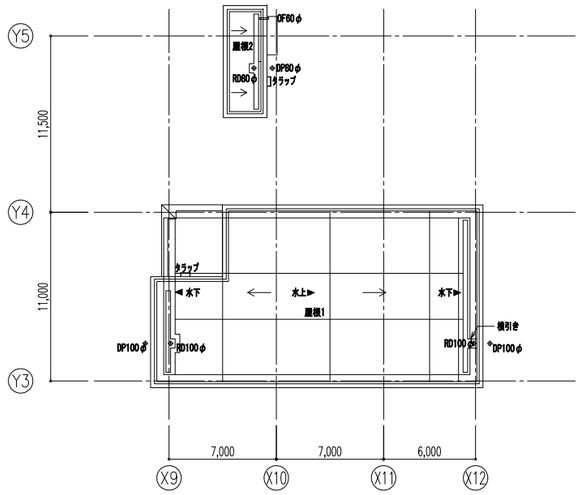
R階平面図 S=1:200



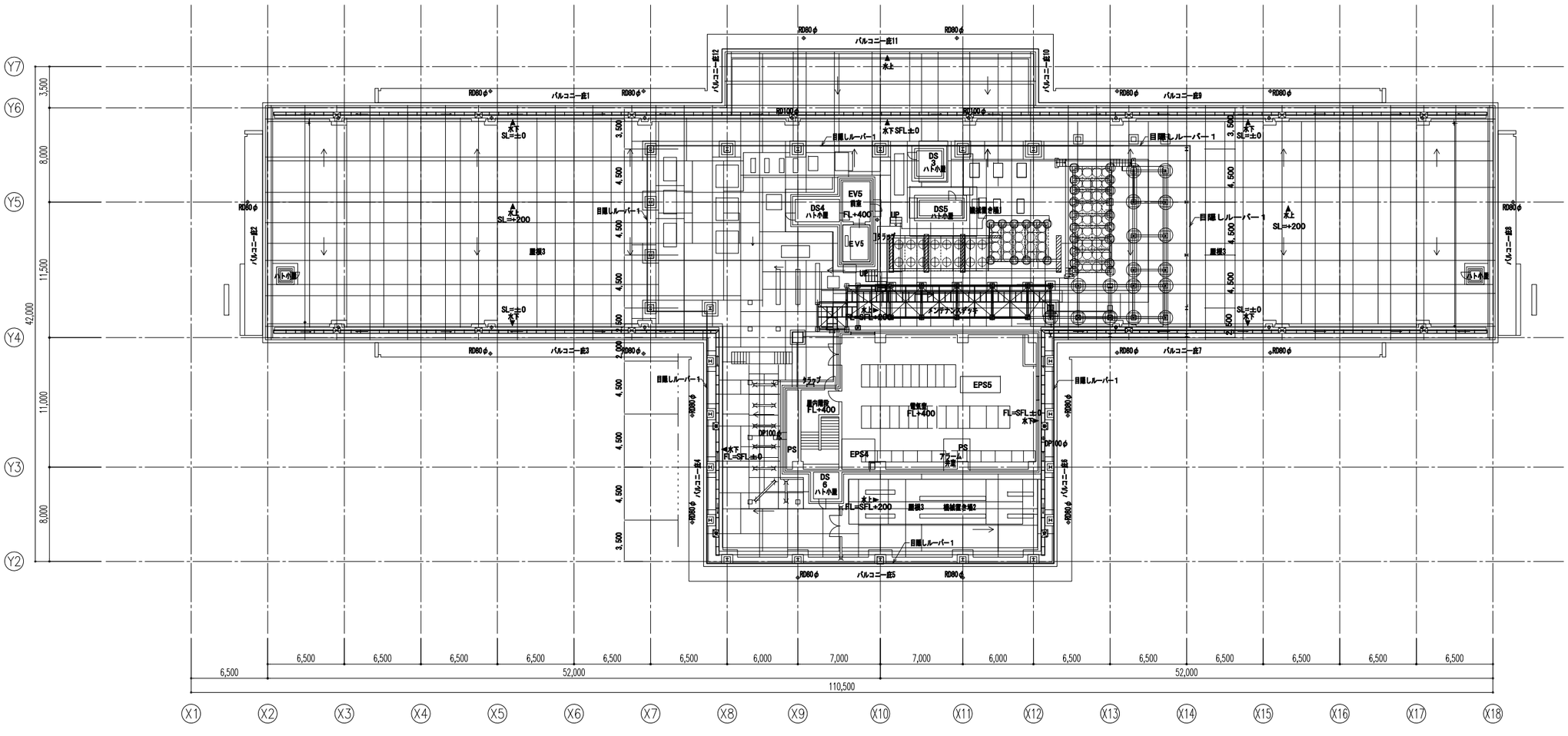
PH階平面図 S=1:200

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-55 (185/402)
図面名	（改修前）PH・R階平面図	縮尺 1:200	
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



R階平面図 S=1:200

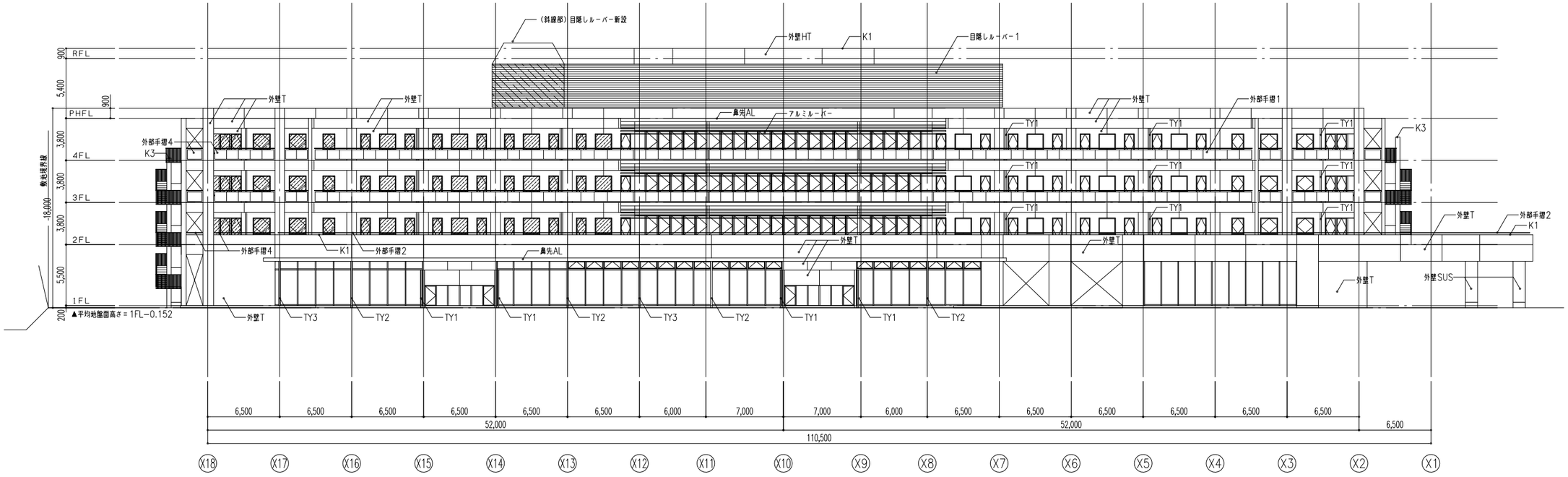


PH階平面図 S=1:200

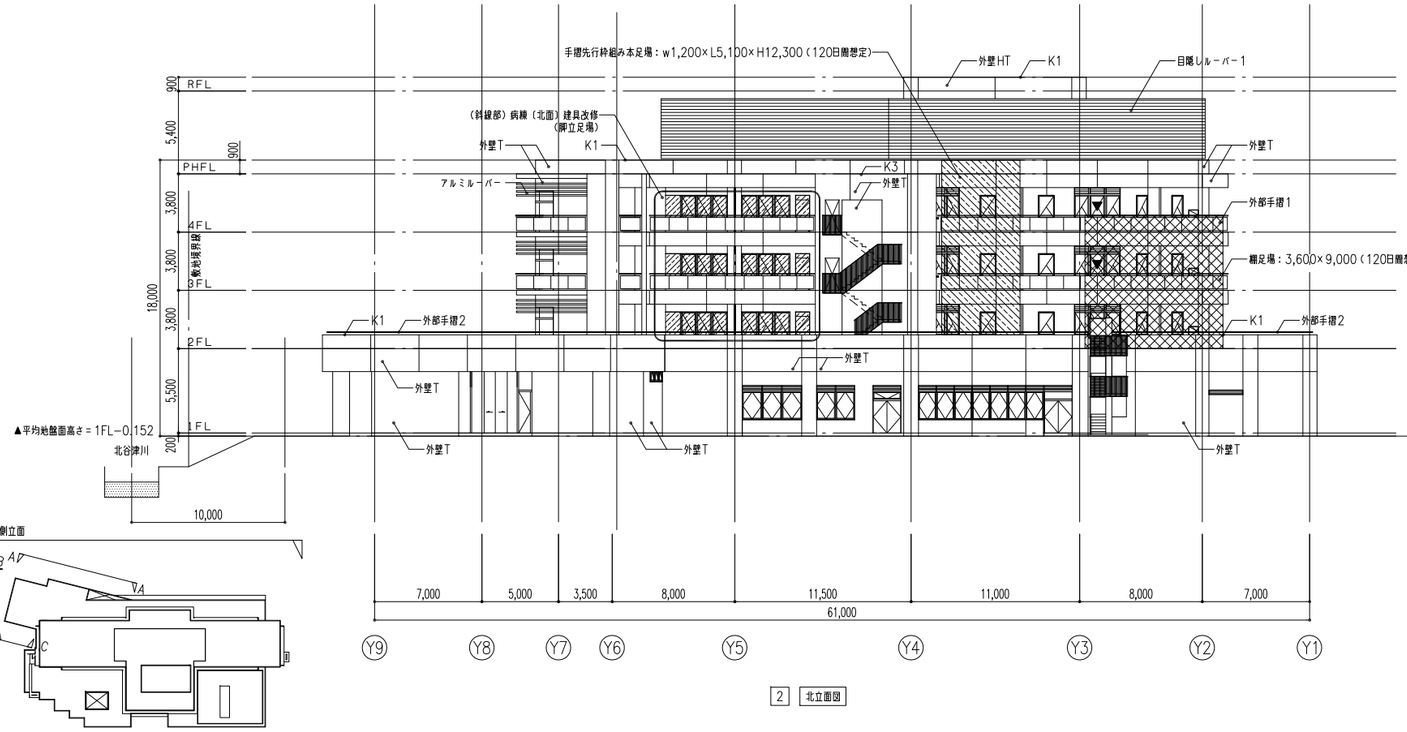
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	（改修後）PH・R階平面図
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

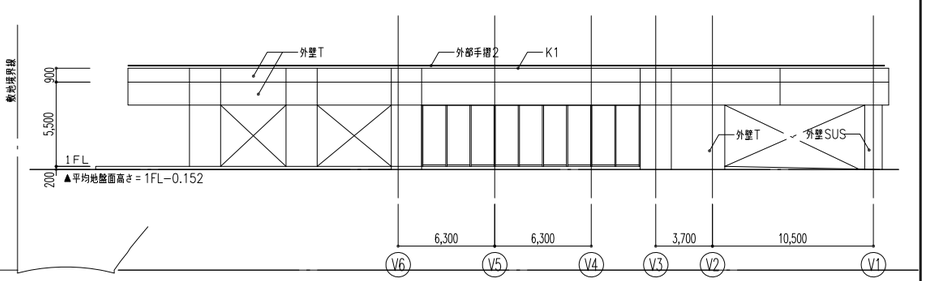
図面番号 A-56 (186/402)



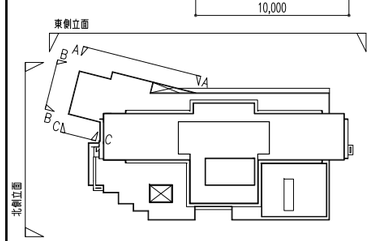
1 東立面図



2 北立面図



3 A−A立面図



▼ 非常用進入口

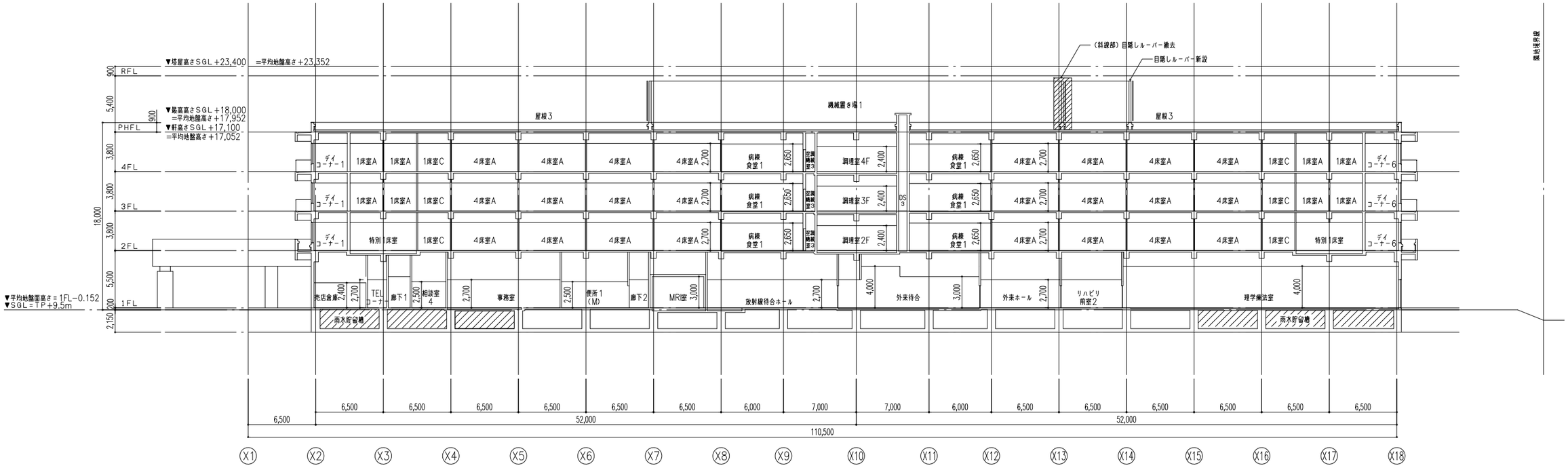
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	立面図（1）
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

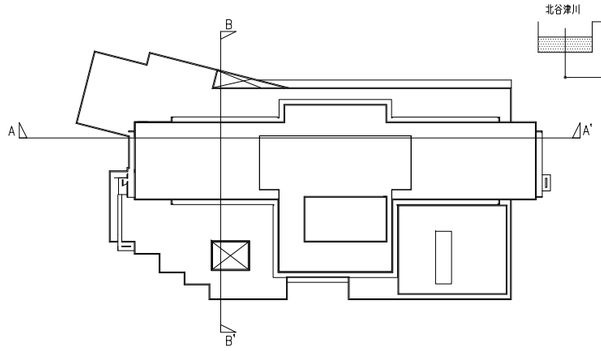
図面番号 A-57 (187/402)

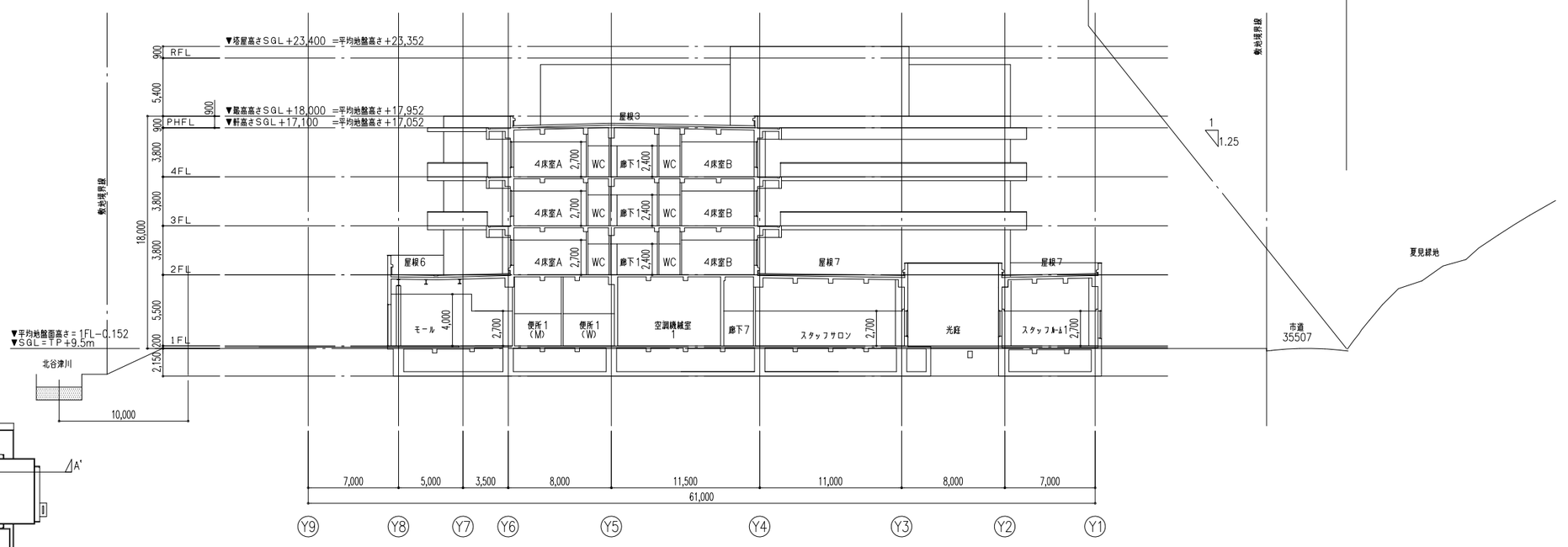


出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	立面図（2）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A−58 （188／402）



A　A–A' 断面図

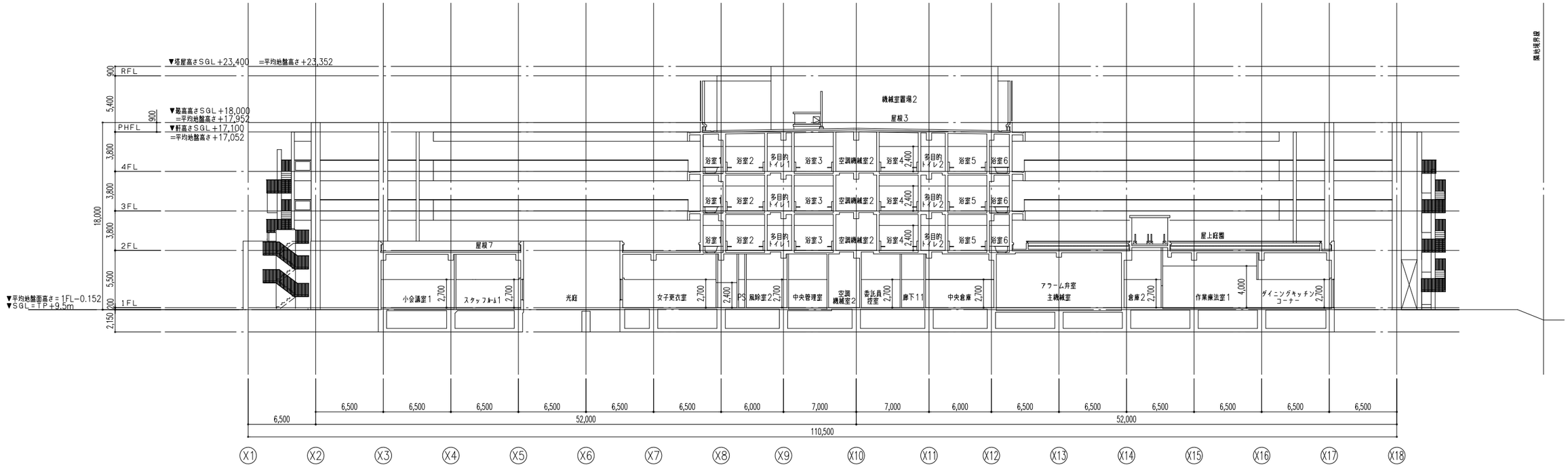




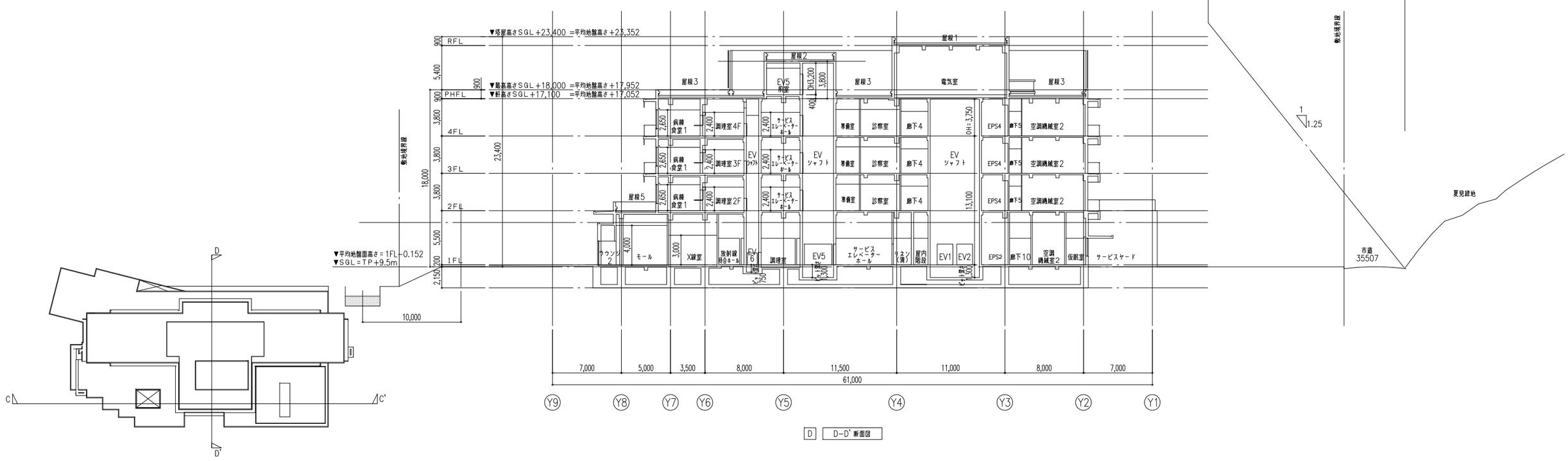
B　B–B' 断面図

千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	断面図（1）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

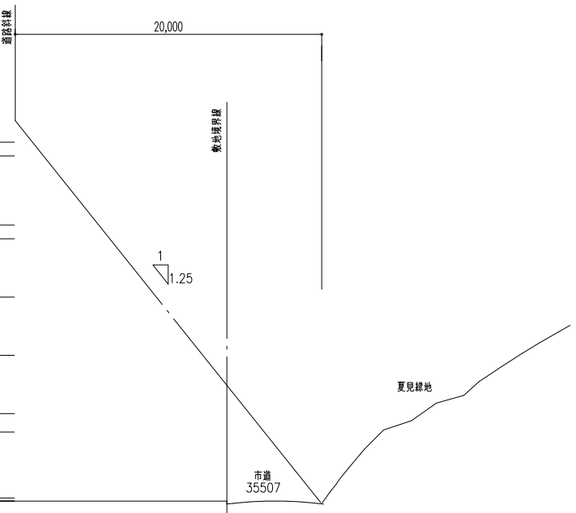
図面番号 A-59
（189/402）



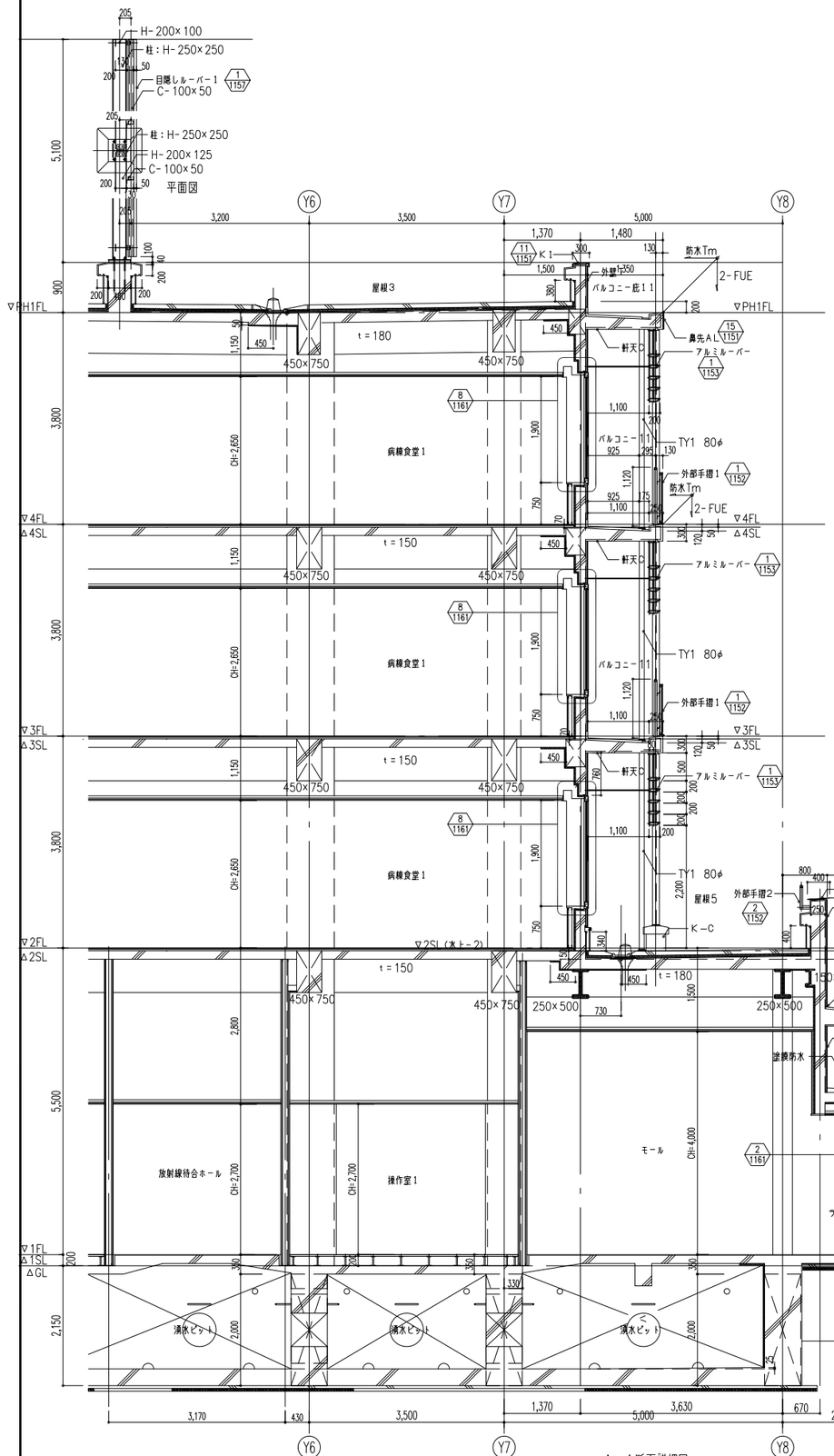
C　C−C' 断面図



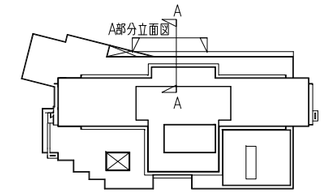
D　D−D' 断面図

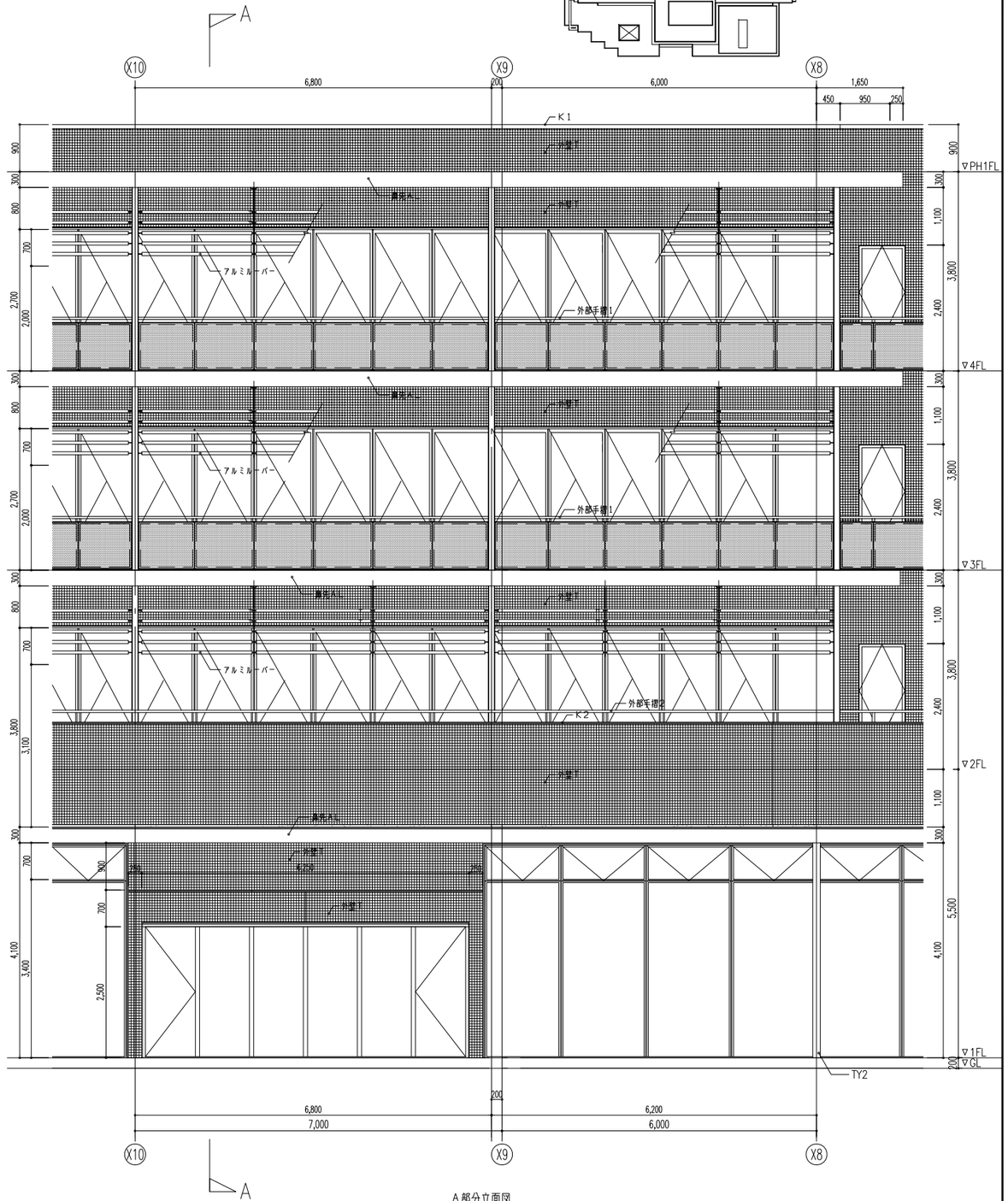


千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	断面図（2）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-60 （190/402）



A－A断面詳細図





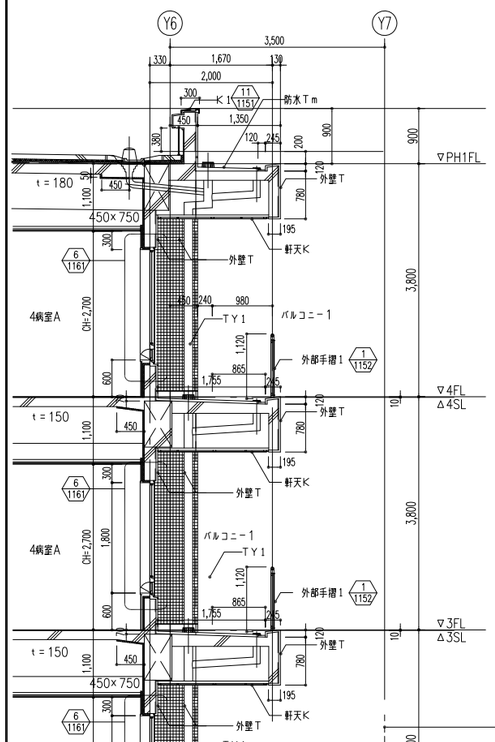
A部分立面図

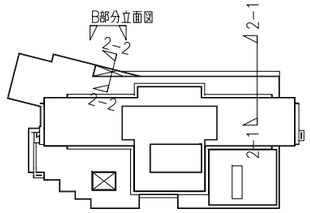
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

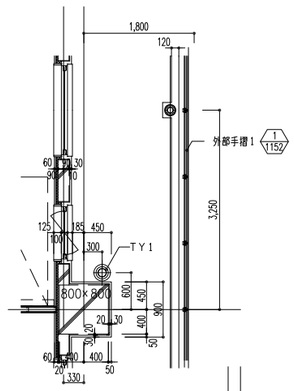
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

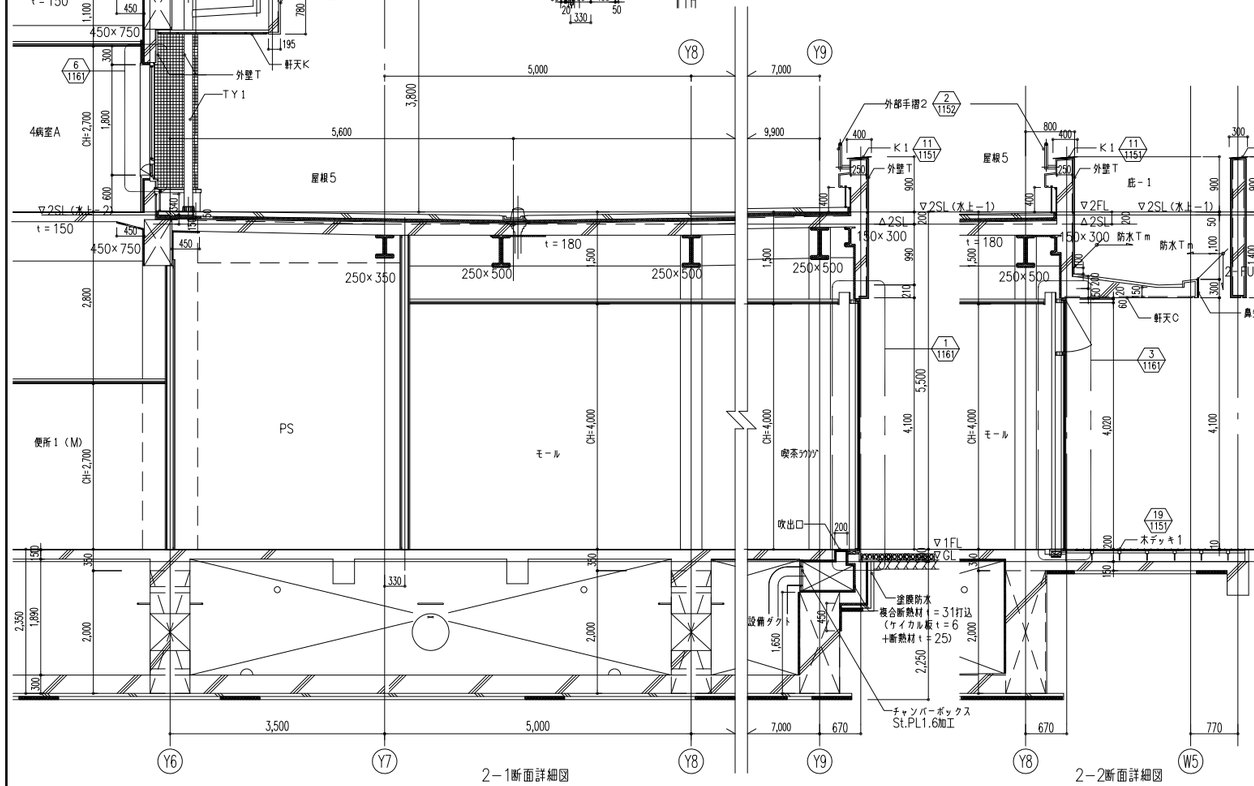
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	断面詳細図（1）
縮尺	1:50
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-61（191/402）



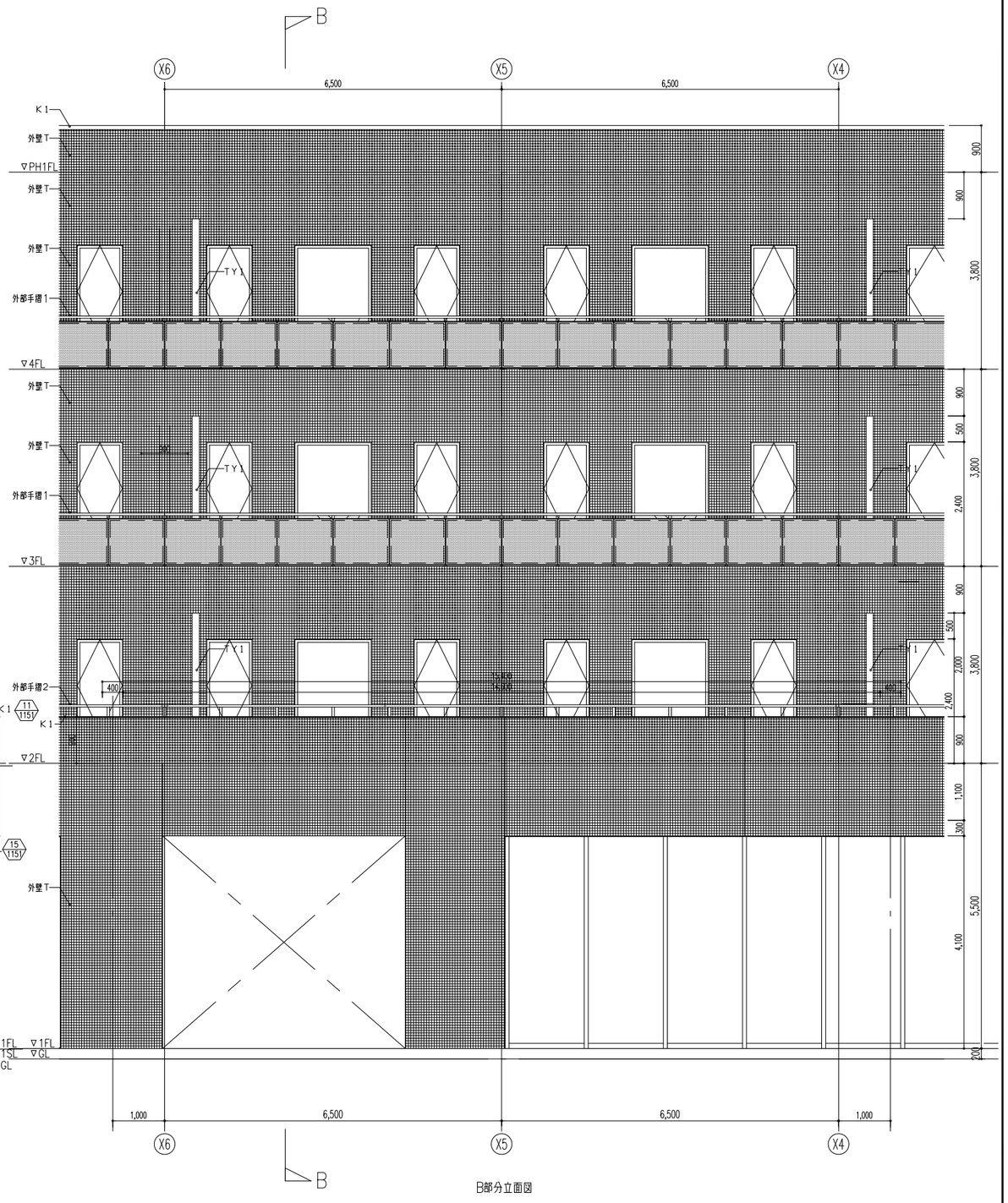






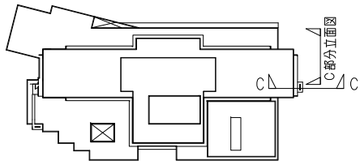
2－1断面詳細図

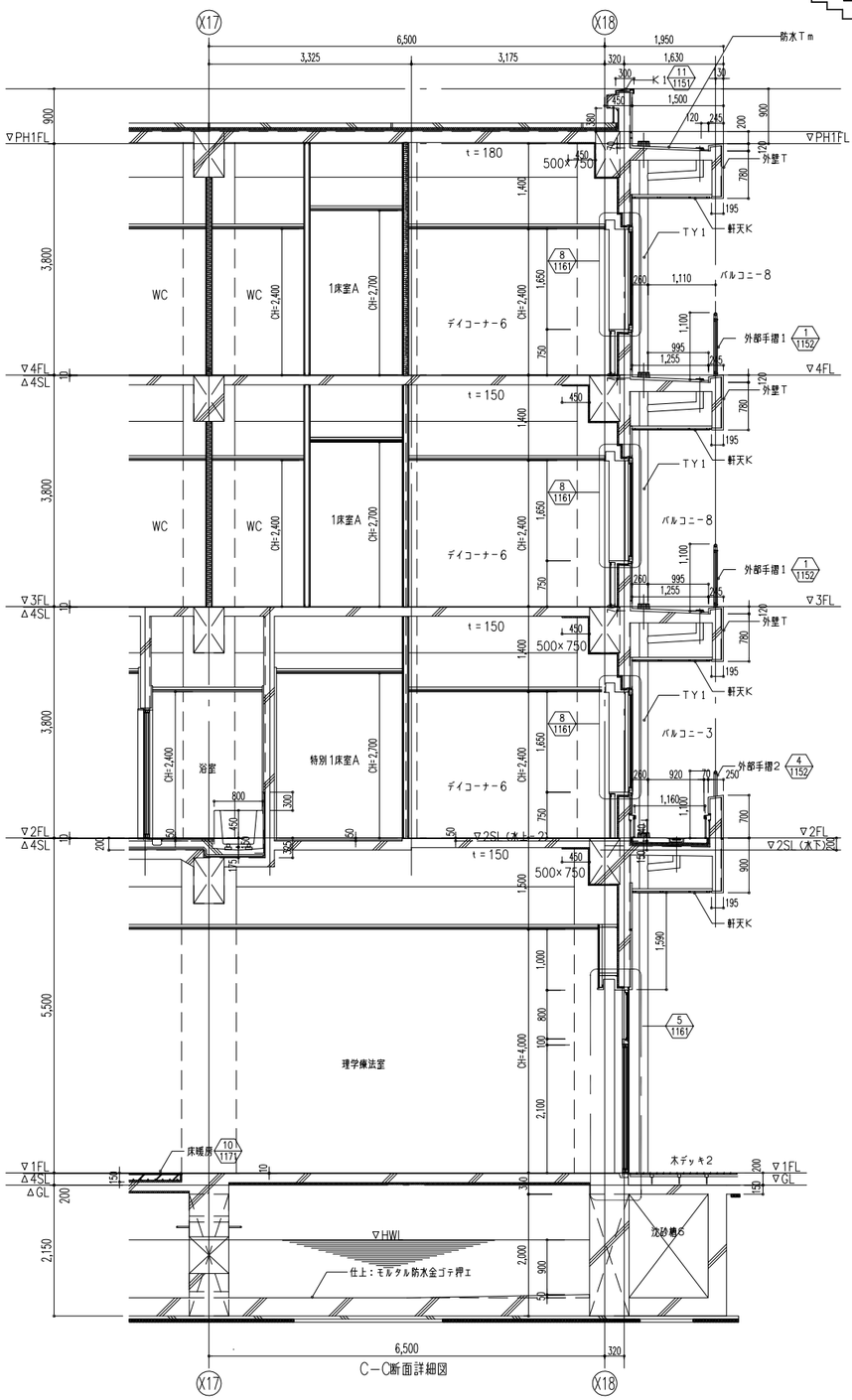
2－2断面詳細図

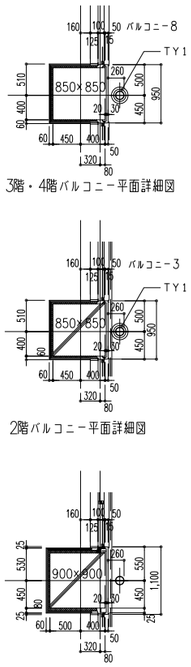


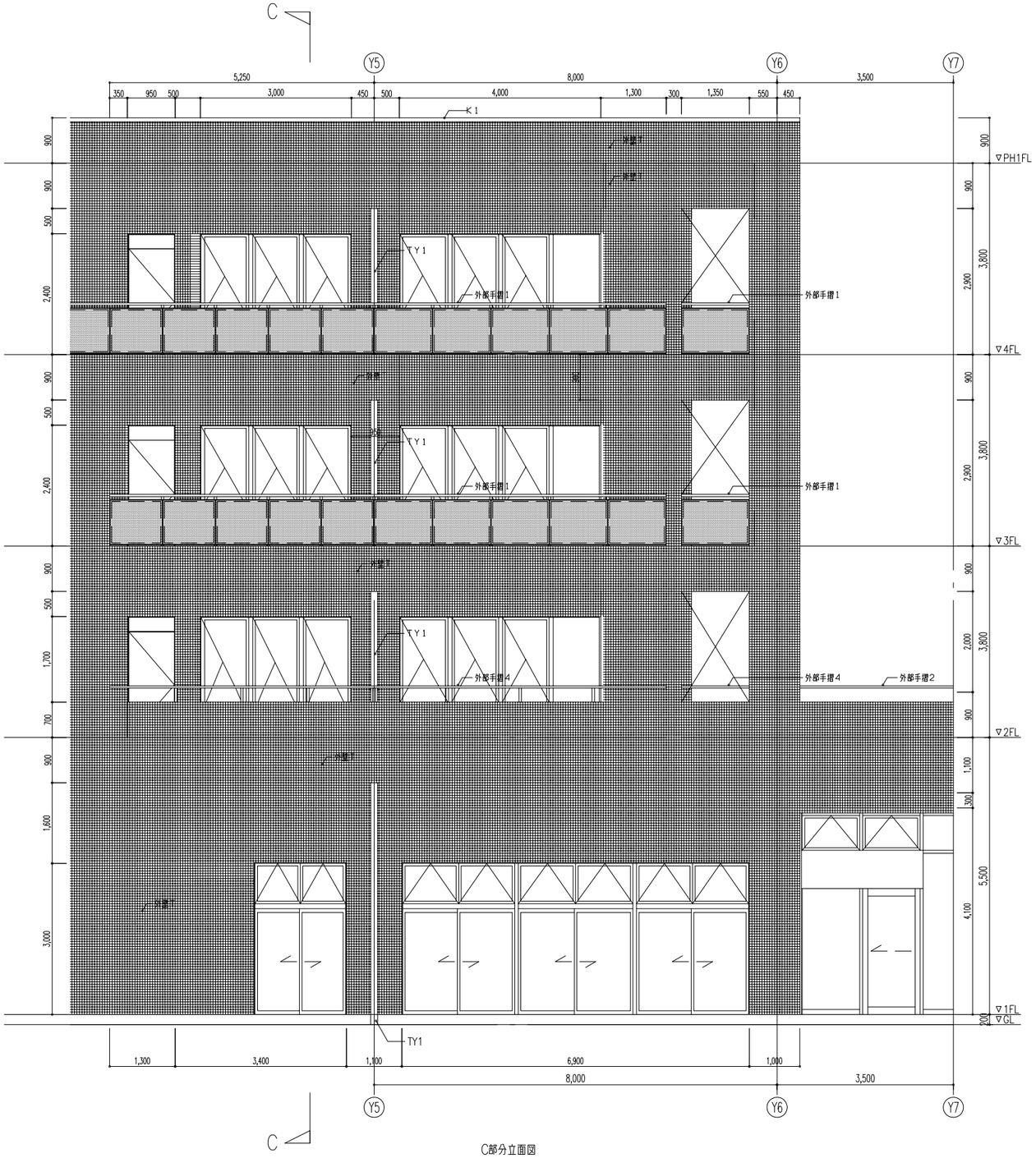
B部分立面図

千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	断面詳細図（2）
		縮尺	1:50
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A－62 （192／402）

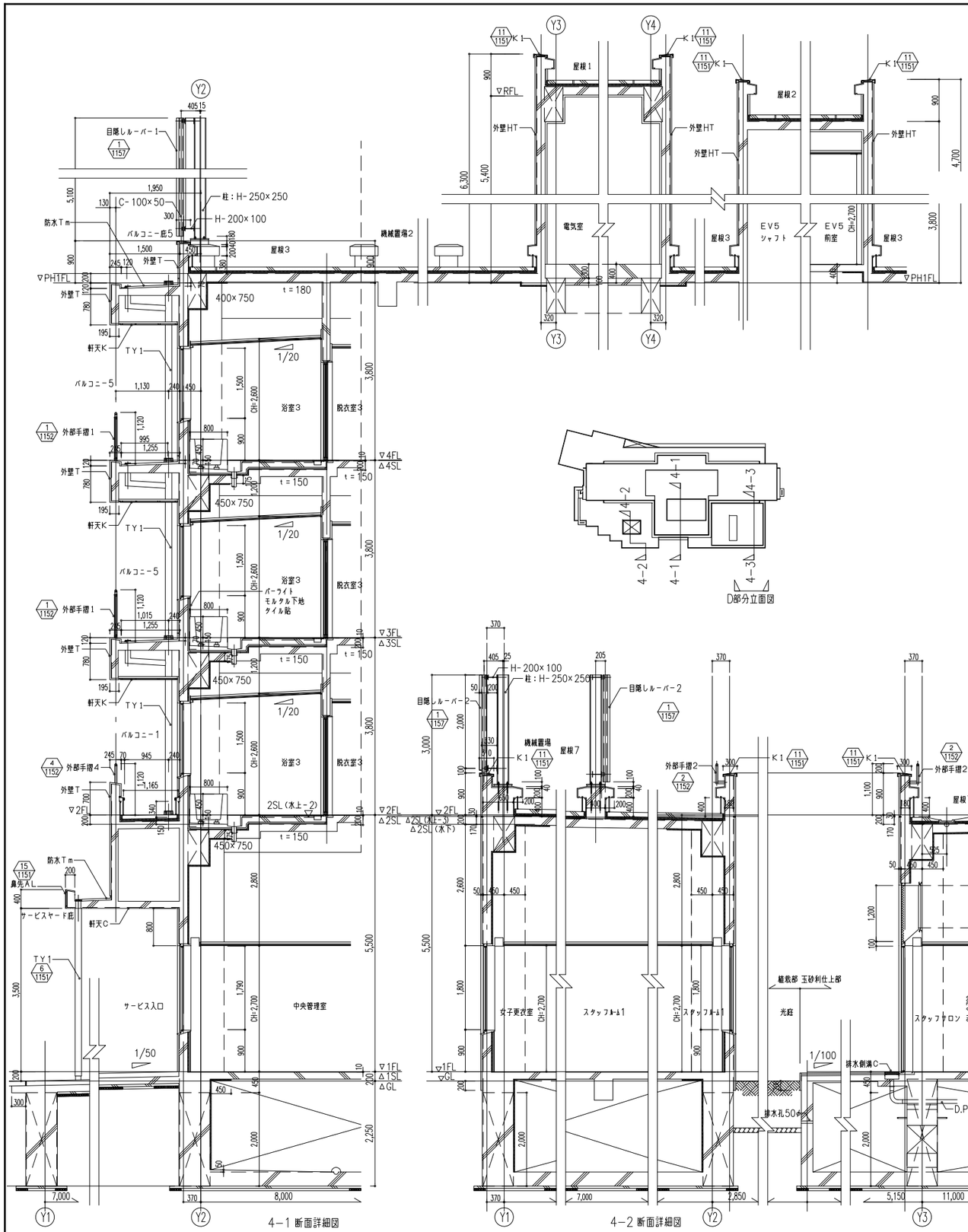








出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	断面詳細図（3）
		縮尺	1:50
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A－63 （193／402）



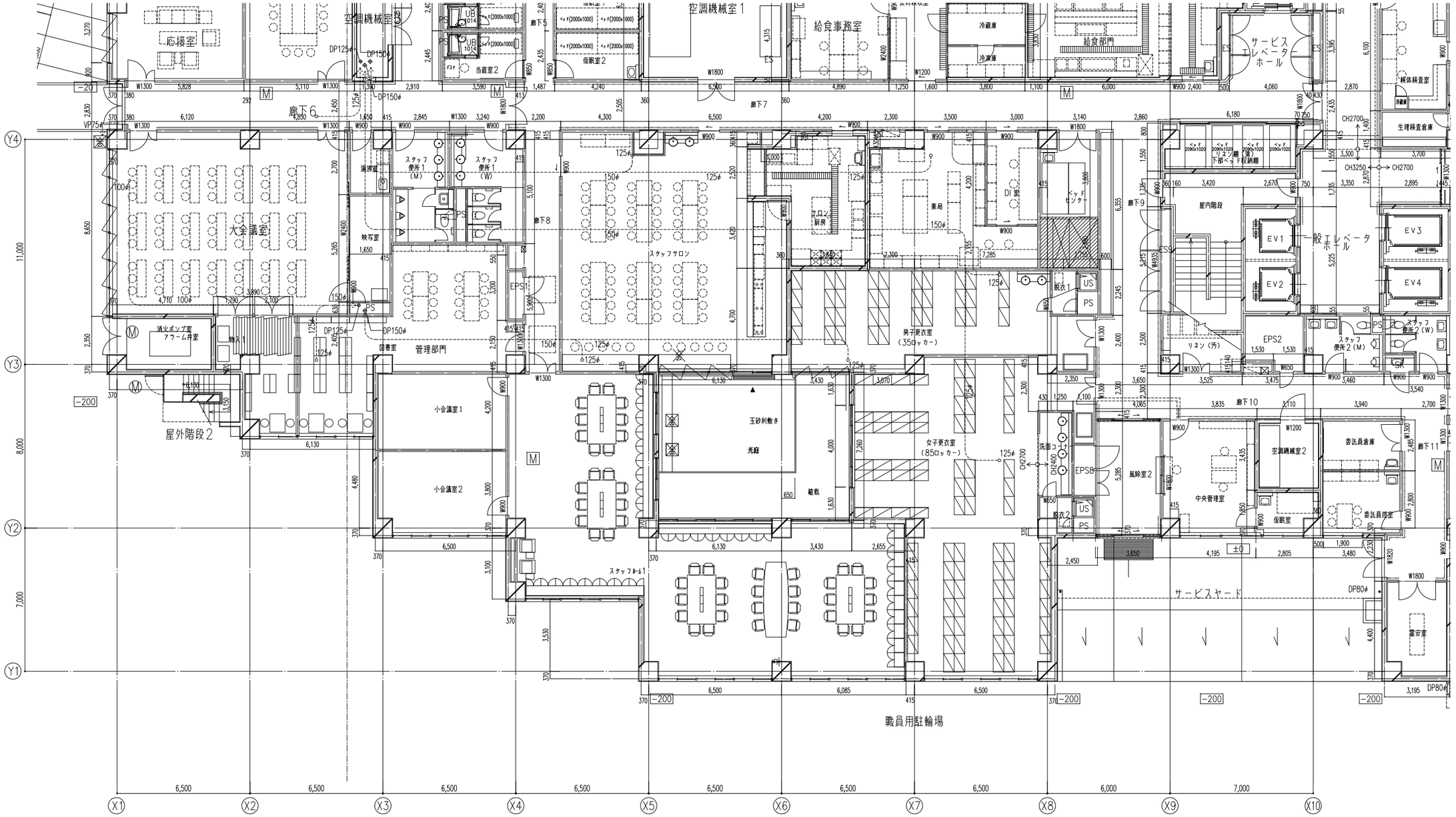
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	断面詳細図（4）
縮尺	1:50
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度
図面番号	A-64 (194/402)

<凡例>

TwA	木製手摺A	⊠	消火栓ボックス（建築工事）	M	床下点検口（600□）	K-A	織維基礎A（屋内） (W×L×Hm)	飾り棚A	人工大理石
TwB	木製手摺B	⊠	補助散水栓（設備工事）	X	床下点検口（600□）デッキ用	K-B	織維基礎B（屋内） (W×L×Hm)	飾り棚B	ポストフォーム
Tj	樹脂製手摺	⊠	消火栓ボックス付補助散水栓（設備工事）	M	鋳鉄製マンホール（600φ）	K-C	織維基礎C（屋外） (W×L×Hm)	飾り棚C	集成材
Sg2	ストレッチャーガード 2段			m m	マンホール見上げ+クラップA	K-D	織維基礎D（屋外） (W×L×Hm)	面台A	人工大理石
	コーナーガード1（木製）（特記なき限り床から手摺までとする）	CT	カーテンレール	RD	ルーフドレイン	K	金属 （600×600×800） SUS化粧蓋	面台B	ポストフォーム（標準）
		RCT	アコーディオンカーテン	ROP	中間ドレイン		特記なき限りT2φ22とする	面台C	SUS（厨房）
	コーナーガード2（樹脂製）（特記なき限り床から手摺までとする）	GR	点滴レール	DP	竪樋	□1	一方枠（天井まで SI製）	面台D	花崗岩（浴室）
sus	コーナーガード3（SUS製）（特記なき限り床から天井までとする）	GF	点滴フック	OF	オーバーフロー管	□2	二方枠（特記なき場合H=（1F:2100,2~4F:2000 SI製）		
					メンテナンス金物	□3	三方枠（特記なき場合H=（1F:2100,2~4F:2000 SI製）		
					排水側溝A B（SUS） (W×H)	□4	四方枠（SI製）		
					排水側溝C（SUS），D (W×H)		数字のあとに「−W」がついている枠は		
					トラフA (W×H)		巾 OSCL 25×150		
					トラフB (W×H)		「−S」がついている枠はSUS製		
					クラップA		枠：特記なき限りSt PL1.6曲加工 FE		
					クラップB		見付25、見込竪厚t20		

千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	1階平面詳細図（I）
		縮尺	1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-65
			（195/402）

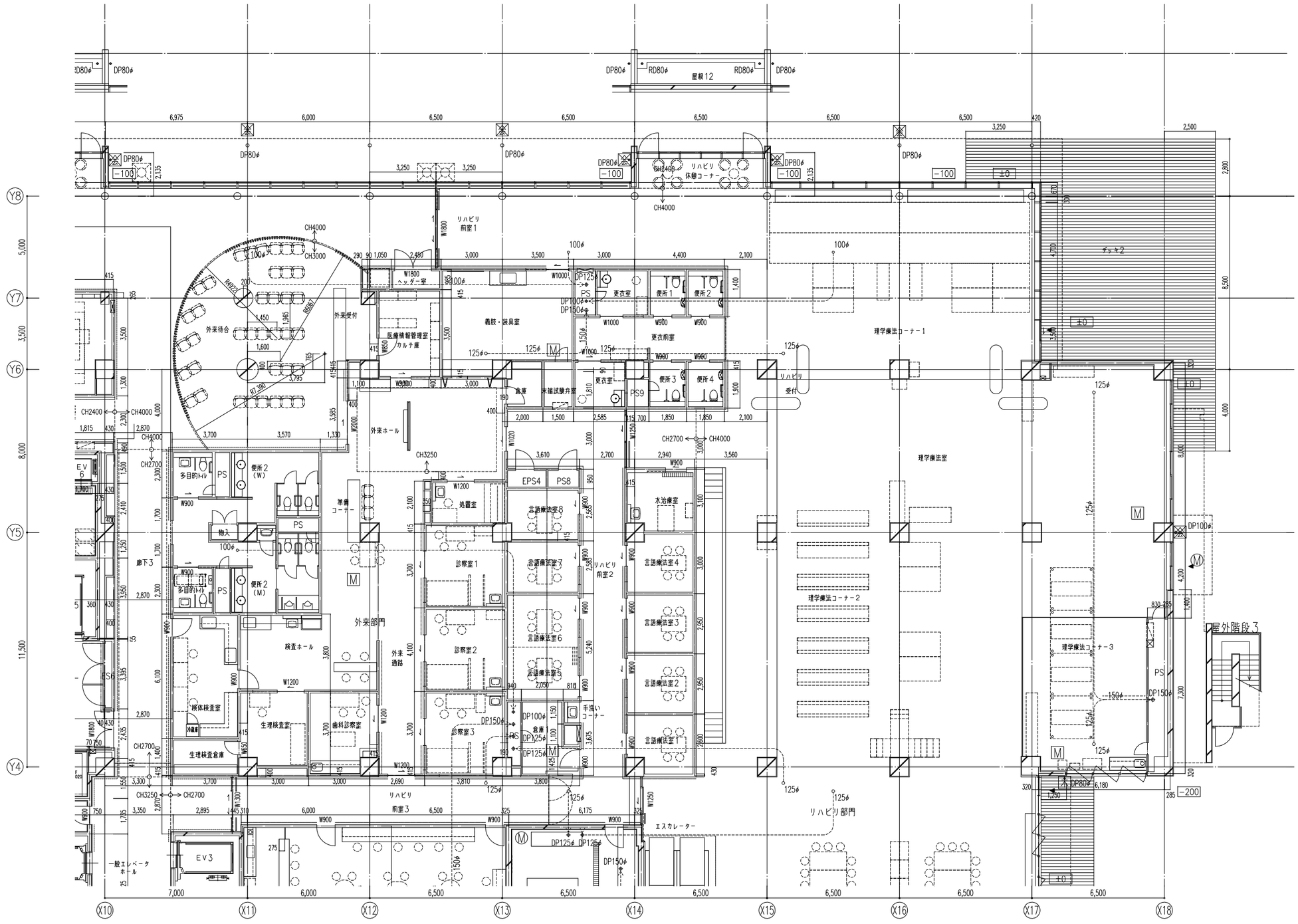


千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室　DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	1階平面詳細図（2）
縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

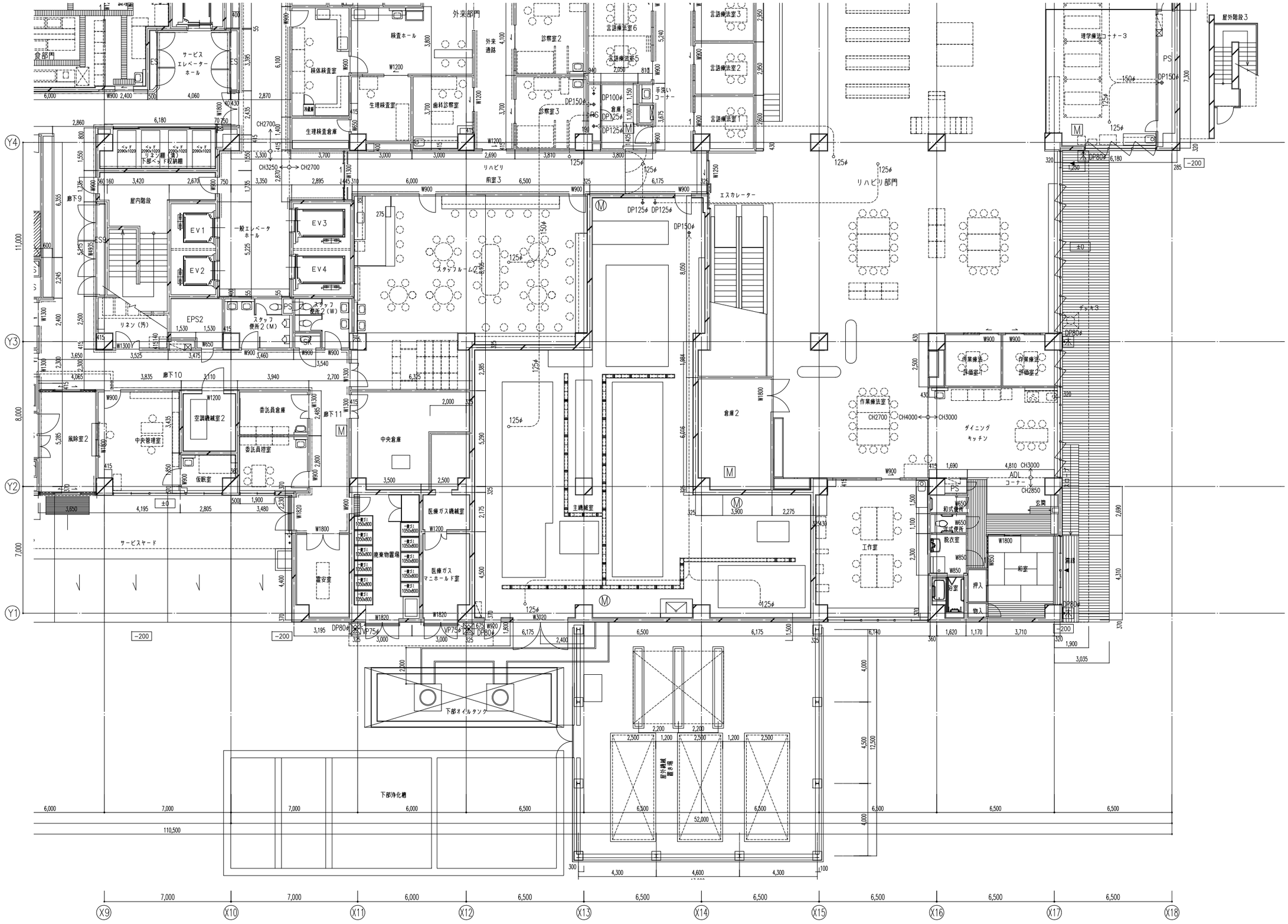
図面番号
A-66
（196/402）



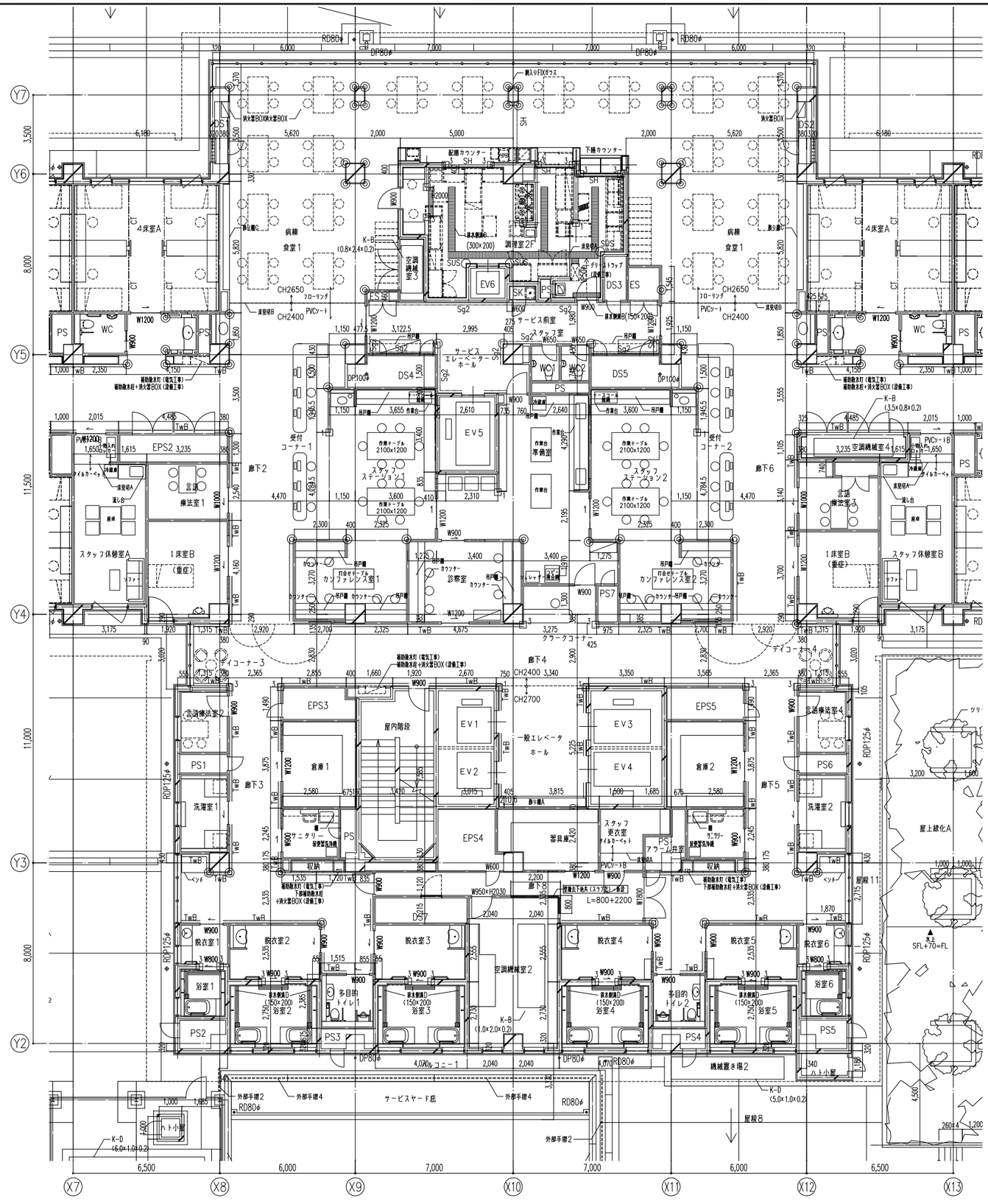
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

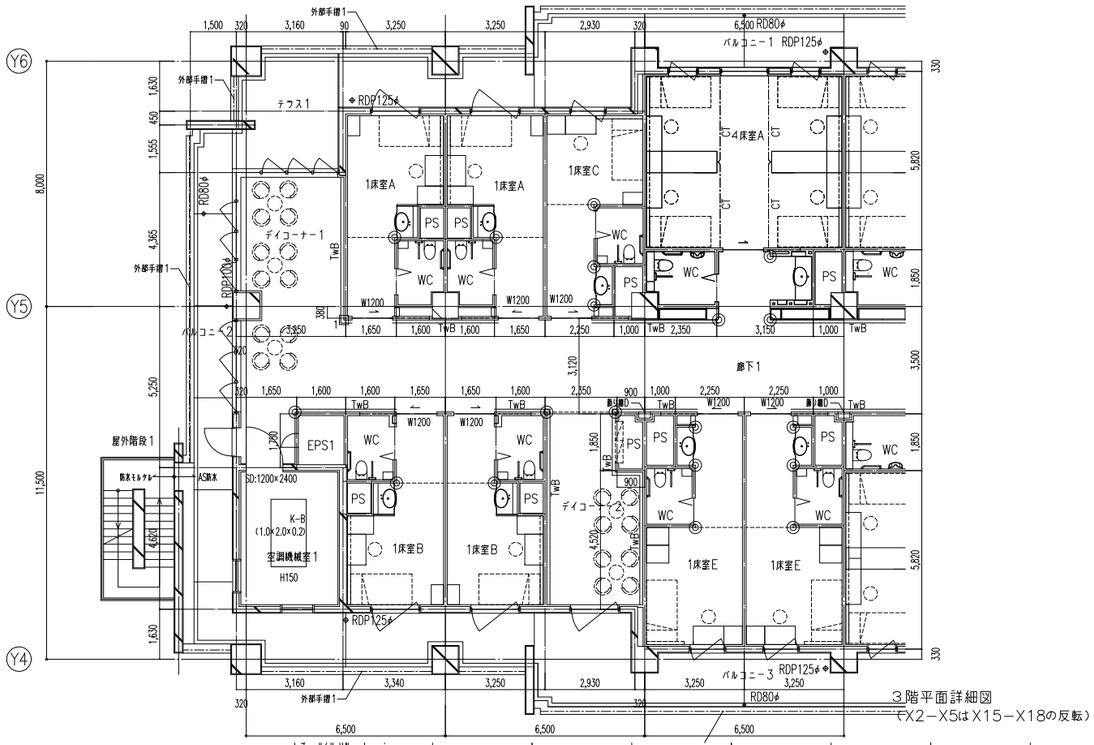
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-67 (197/402)
図面名	1階平面詳細図（3）	縮尺 1:100	
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



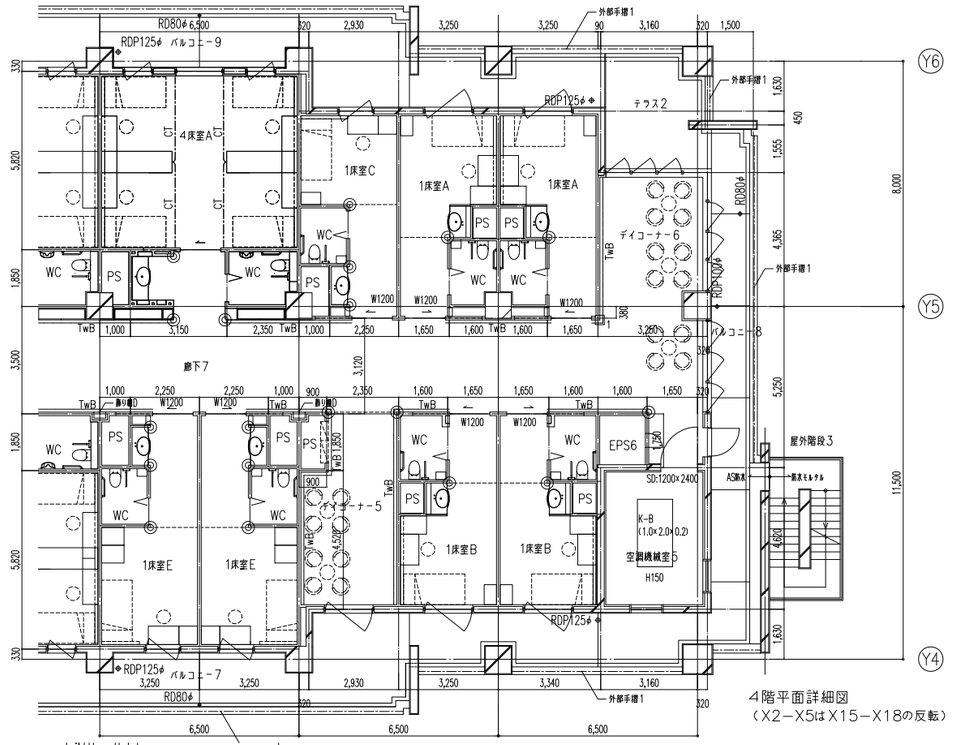
千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	1階平面詳細図（4）
		縮尺	1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-68 （198/402）



千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	2～4階平面詳細図（1）
		縮尺	1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-69 (199/402)

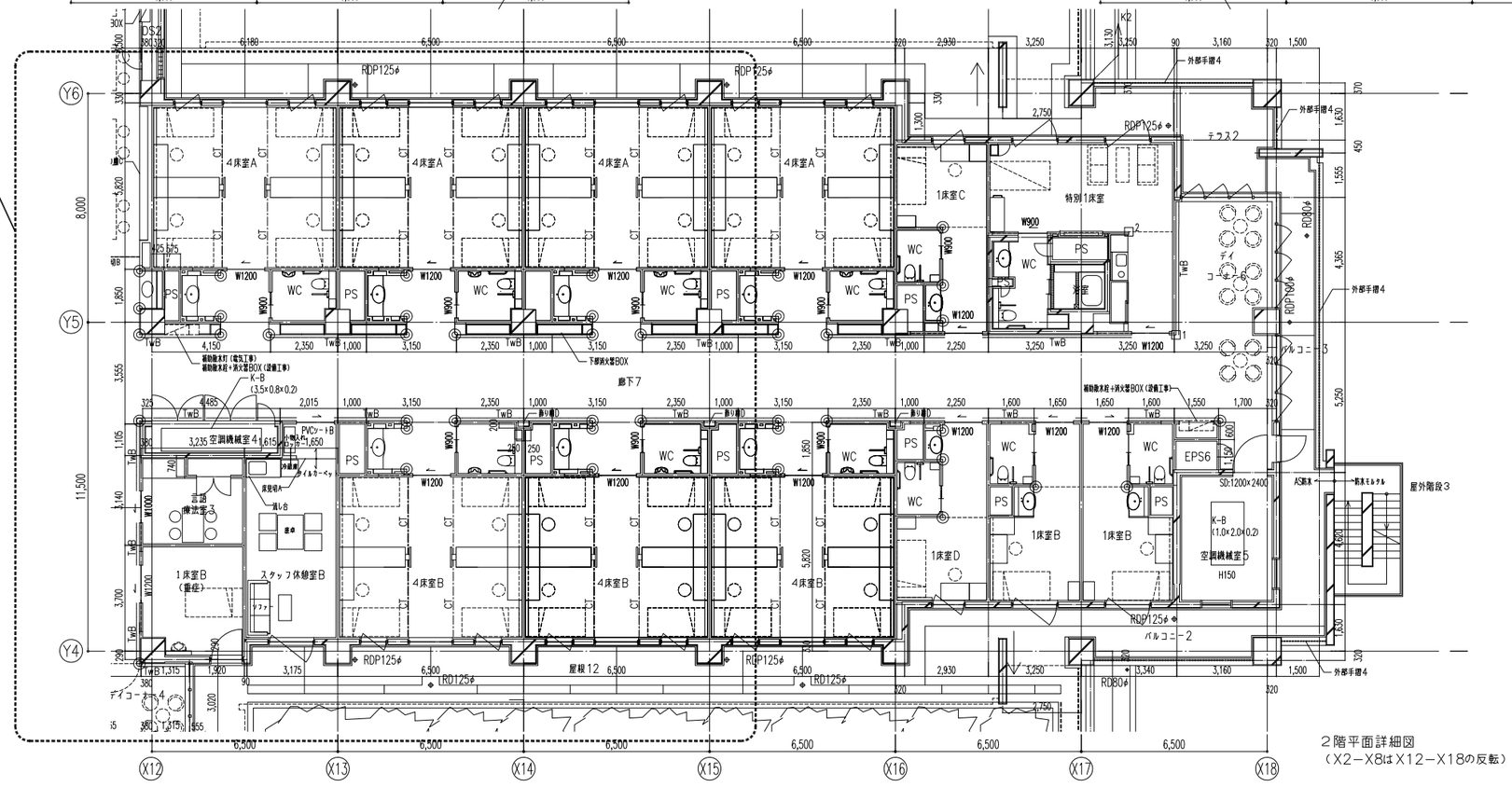


3階平面詳細図
（X2−X5はX15−X18の反転）



4階平面詳細図
（X2−X5はX15−X18の反転）

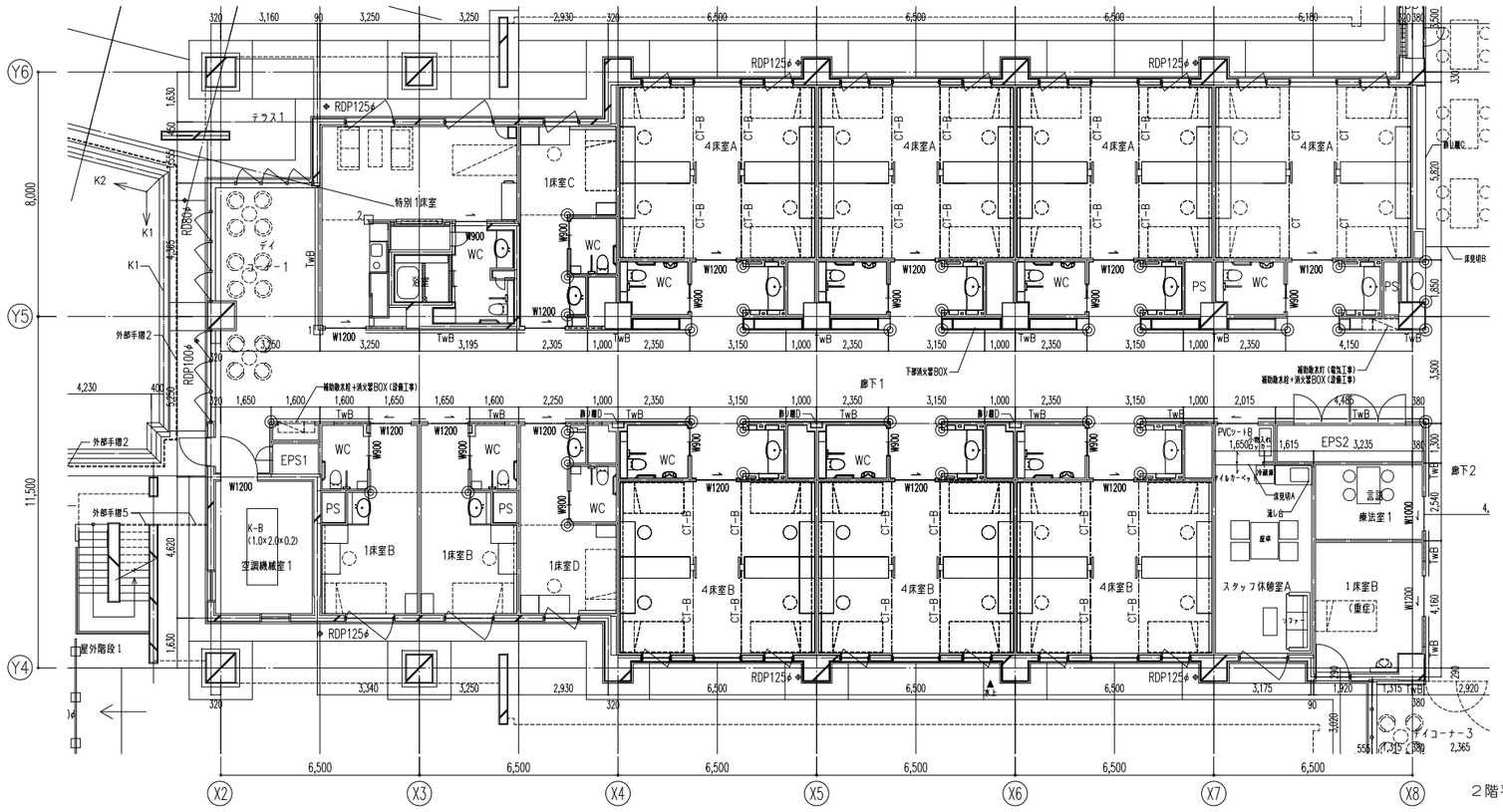
2～4階共通



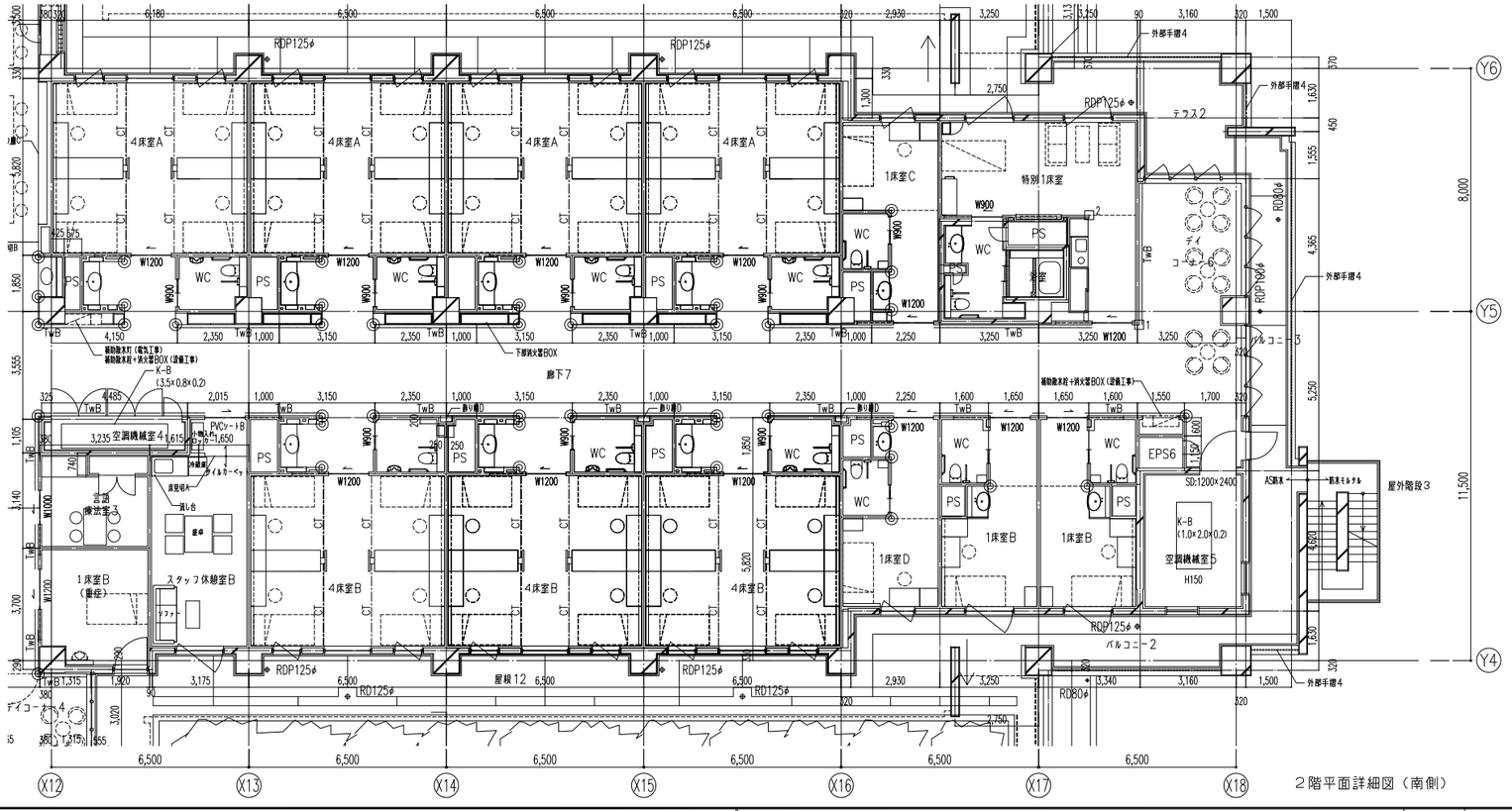
2階平面詳細図
（X2−X8はX12−X18の反転）

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-70 (200/402)
図面名	2～4階平面詳細図（2）	縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

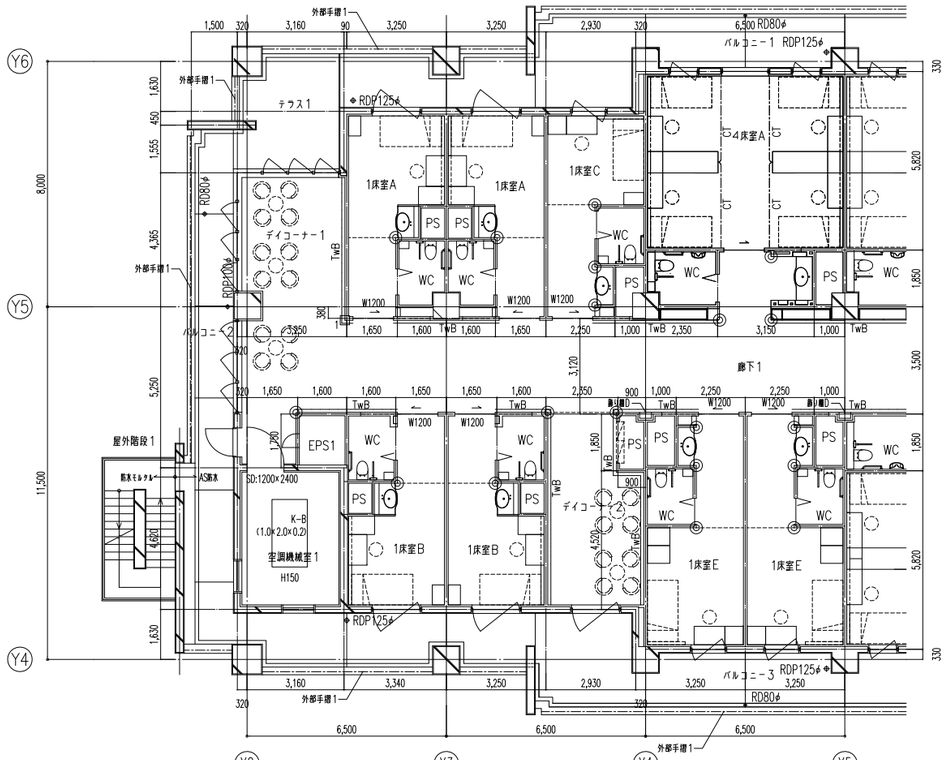


2階平面詳細図（北側）

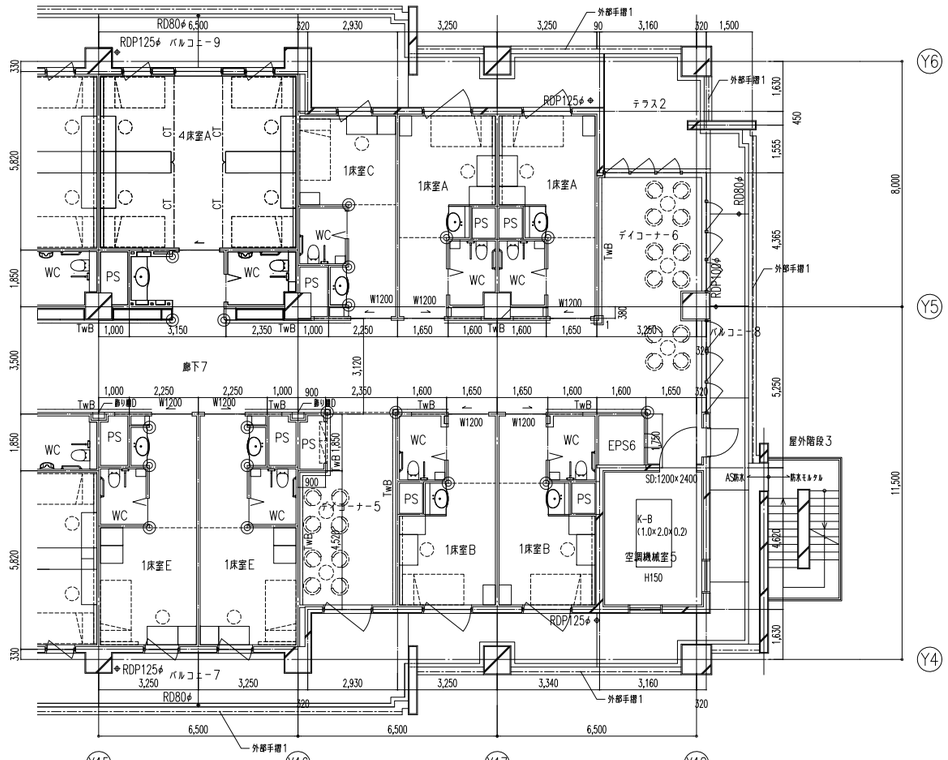


2階平面詳細図（南側）

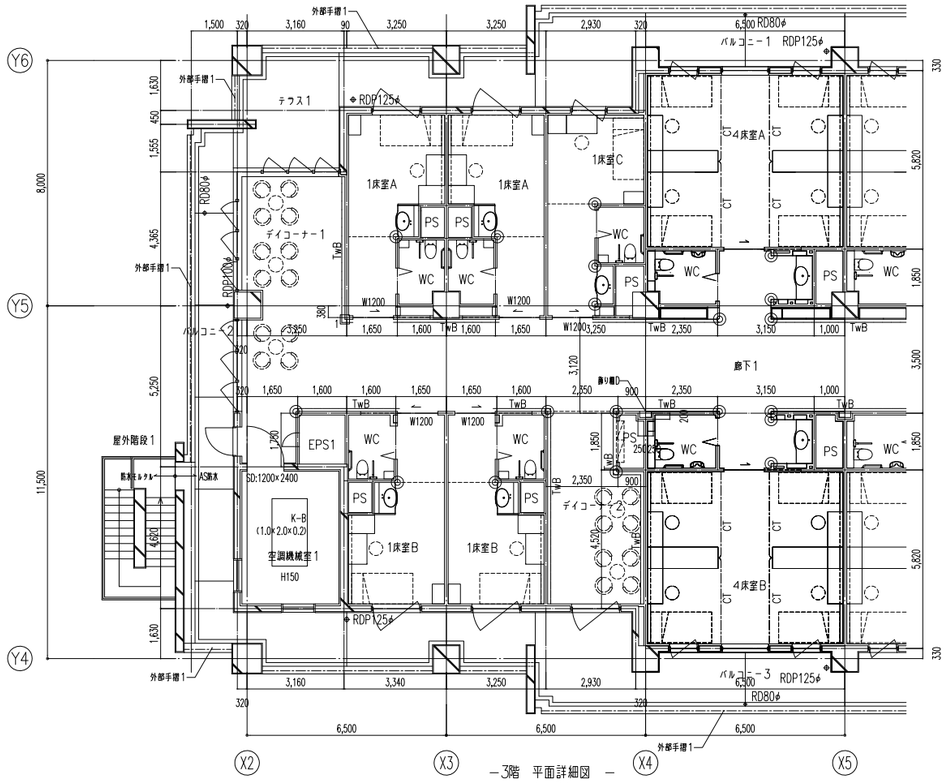
千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	2階平面詳細図
		縮尺	1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-71 （201/402）



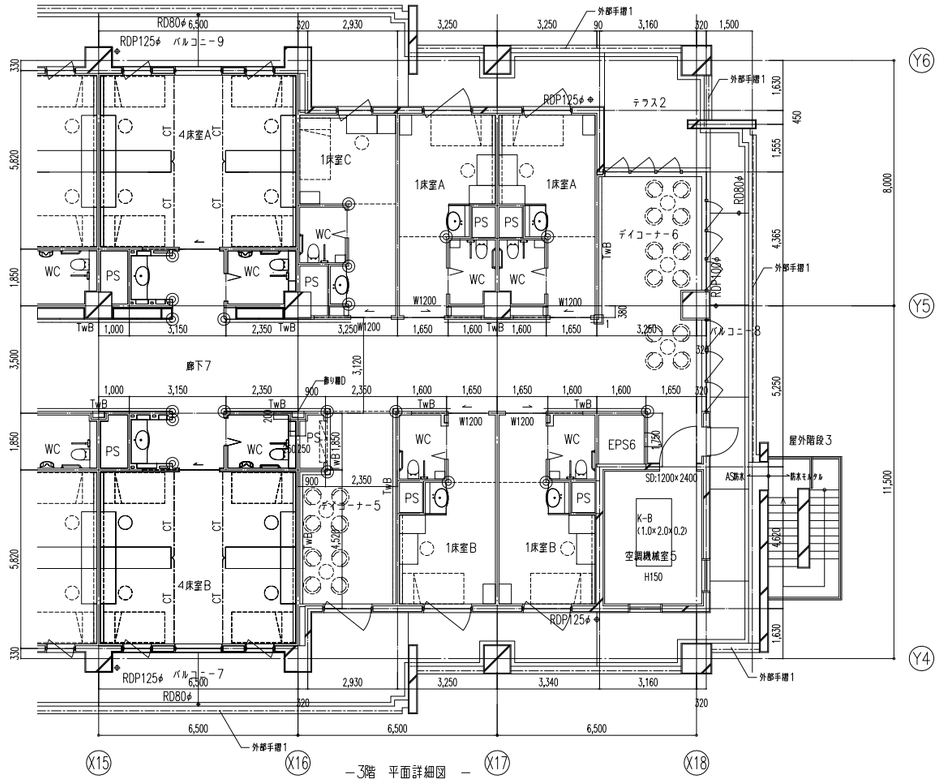
－4階　平面詳細図－
（北側）



－4階　平面詳細図－
（南側）



－3階　平面詳細図－
（北側）



－3階　平面詳細図－
（南側）

出堀建築設計室　DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	3・4階平面詳細図
縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A－72
（202／402）

※天井改修位置については、機械設備の
改修図に基づくものとする。

■エントランス系統（Ⅰ期・後期・ステップ③）

Ⓐ Ⓓ

：天井点検口（450角）撤去・新設

RS（ロールスクリーンBOX）

■売店・事務室系統（Ⅰ期・前期・ステップ②）

Ⓐ Ⓕ

：天井点検口（450角）撤去・新設

■給食系統（Ⅱ期・前期・ステップ④）

Ⓑ Ⓔ Ⓕ Ⓙ

：天井点検口（450角）撤去・新設

■放射線系統（Ⅱ期・前期・ステップ④）

Ⓐ Ⓕ Ⓛ

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修範囲

：天井改修時、棚足場及び
シート養生区画

・ポリエチレンシート：t=0.15×2枚（30㎡）
・仮設残置期間：14日間想定

棚足場 参考図

<凡例>	
Ⓐ	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12
Ⓑ	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
Ⓒ	AL製バスリブ貼
Ⓓ	GB-R t=9.5+9..5下地 EP-G塗
Ⓔ	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0
Ⓕ	GB-NC t=9.5
Ⓖ	AL製パネル張り
Ⓗ	GB-Rt9.5捨張 リブ付DRt19
Ⓙ	GB-Dt9.5
Ⓛ	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB-A	照明ボックスA
LB-B	照明ボックスB
LB-C	照明ボックスC
LB-D	照明ボックスD
LB-E	照明ボックスE
LB-F	照明ボックスF
LB-G	照明ボックスG
LB-H	照明ボックスH
PR-A	ピクチャーレールA
PR-B	ピクチャーレールB
PR-C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	1階天井伏図（1）
縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-73（203/402）

※天井改修位置については、機械設備の
改修図に基づくものとする。

■管理-1系統（Ⅰ期・前期・ステップ②/後期・ステップ③）

Ⓐ Ⓑ Ⓕ Ⓙ Ⓛ

：天井点検口（450角）撤去・新設

■管理-2系統（Ⅱ期・後期・ステップ⑤）

Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓙ

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修範囲

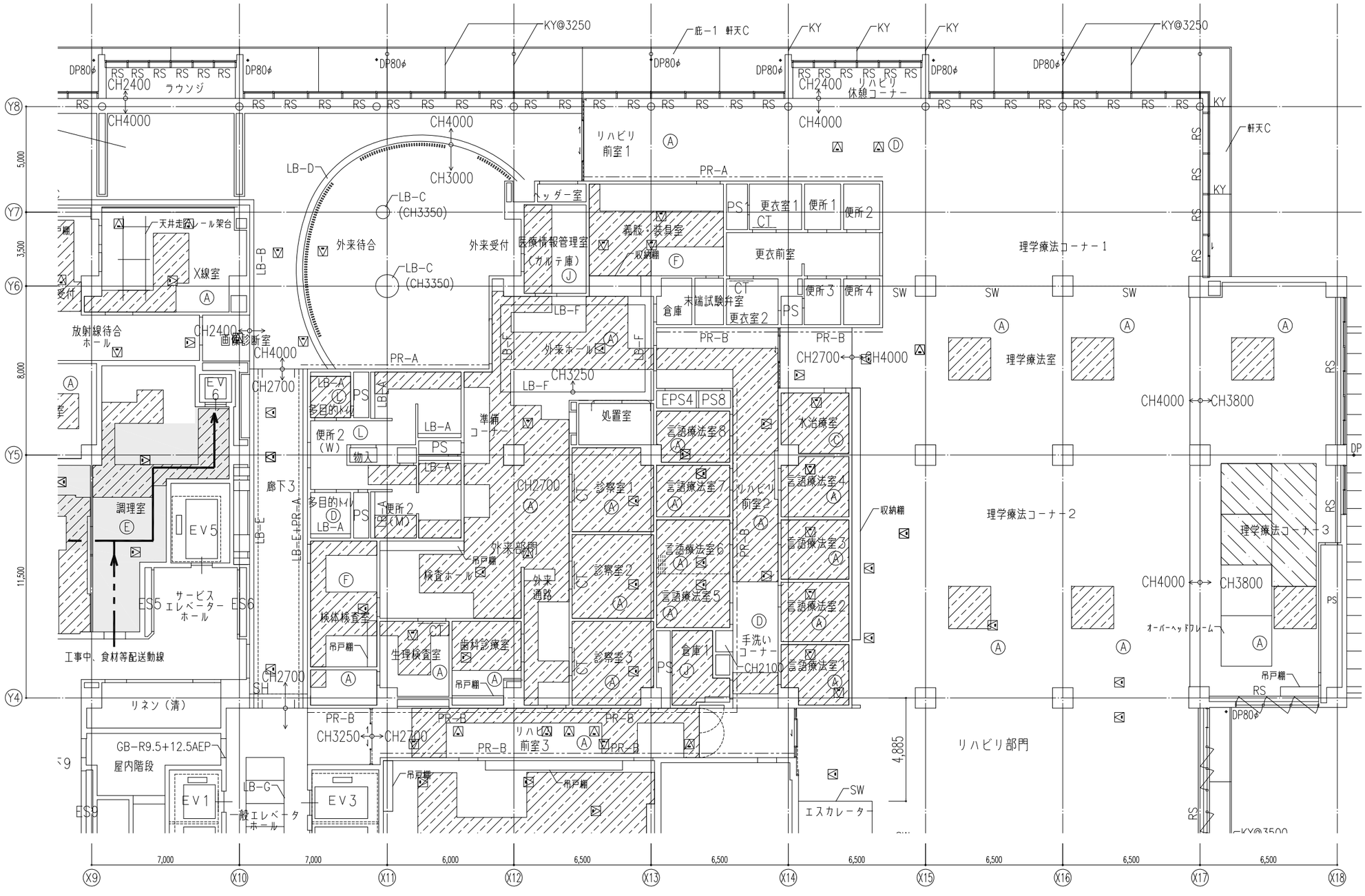
<凡例>	
Ⓐ	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12
Ⓑ	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
Ⓒ	AL製パスリブ貼
Ⓓ	GB-R t=9.5+9..5下地 EP-G塗
Ⓔ	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0
Ⓕ	GB-NC t=9.5
Ⓖ	AL製パネル張り
Ⓗ	GB-Rt9.5捨張 リブ付DRt19
Ⓙ	GB-Dt9.5
Ⓛ	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
+GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB-A	照明ボックスA
LB-B	照明ボックスB
LB-C	照明ボックスC
LB-D	照明ボックスD
LB-E	照明ボックスE
LB-F	照明ボックスF
LB-G	照明ボックスG
LB-H	照明ボックスH
PR-A	ピクチャーレールA
PR-B	ピクチャーレールB
PR-C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-74 (204/402)
図面名	1階天井伏図（2）	縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

※天井改修位置については、機械設備の
改修図に基づくものとする。



■検査・外来系統〔Ⅲ期・前期・ステップ⑥〕

Ⓐ Ⓕ Ⓙ Ⓛ

：天井点検口（450角）撤去・新設

□下がり壁〔外来ホール〕：H=550

□カーテンレール（CT）

■リハビリ系統〔Ⅱ期・後期・ステップ⑤〕

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修範囲

：天井張替え範囲
（汚れのため）

＜凡例＞	
Ⓐ	GB−R t=9.5捨貼 DR t=12
Ⓑ	GB−S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
Ⓒ	AL製パスリブ貼
Ⓓ	GB−R t=9.5+9..5下地 EP−G塗
Ⓔ	GB−S t=9.5捨貼 FK t=6.0
Ⓕ	GB−NC t=9.5
Ⓖ	AL製パネル張り
Ⓗ	GB−Rt9.5捨張 リブ付DRt19
Ⓙ	GB−Dt9.5
Ⓛ	GB−S t=9.5+9.5下地 EP−G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB−A	照明ボックスA
LB−B	照明ボックスB
LB−C	照明ボックスC
LB−D	照明ボックスD
LB−E	照明ボックスE
LB−F	照明ボックスF
LB−G	照明ボックスG
LB−H	照明ボックスH
PR−A	ピクチャーレールA
PR−B	ピクチャーレールB
PR−C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A−75 (205/402)
図面名	1階天井伏図（3）	縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

※天井改修位置については、機械設備の
改修図に基づくものとする。



■管理-3系統（Ⅲ期・前期・ステップ⑥/後期・ステップ⑦）
Ⓑ Ⓔ Ⓕ Ⓙ

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修範囲

＜凡例＞	
Ⓐ	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12
Ⓑ	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
Ⓒ	AL製バスリブ貼
Ⓓ	GB-R t=9.5+9..5下地 EP-G塗
Ⓔ	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0
Ⓕ	GB-NC t=9.5
Ⓖ	AL製パネル張り
Ⓗ	GB-Rt9.5捨張 リブ付DRt19
Ⓙ	GB-Dt9.5
Ⓛ	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB-A	照明ボックスA
LB-B	照明ボックスB
LB-C	照明ボックスC
LB-D	照明ボックスD
LB-E	照明ボックスE
LB-F	照明ボックスF
LB-G	照明ボックスG
LB-H	照明ボックスH
PR-A	ピクチャーレールA
PR-B	ピクチャーレールB
PR-C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号
図面名	1階天井伏図（4）	縮尺 1:100	A-76
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	（206/402）

※天井改修位置については、機械設備の
改修図に基づくものとする。

：工事区画ライン（南側）

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修不要部分
（ただし、電磁弁のための一部天井開口あり）

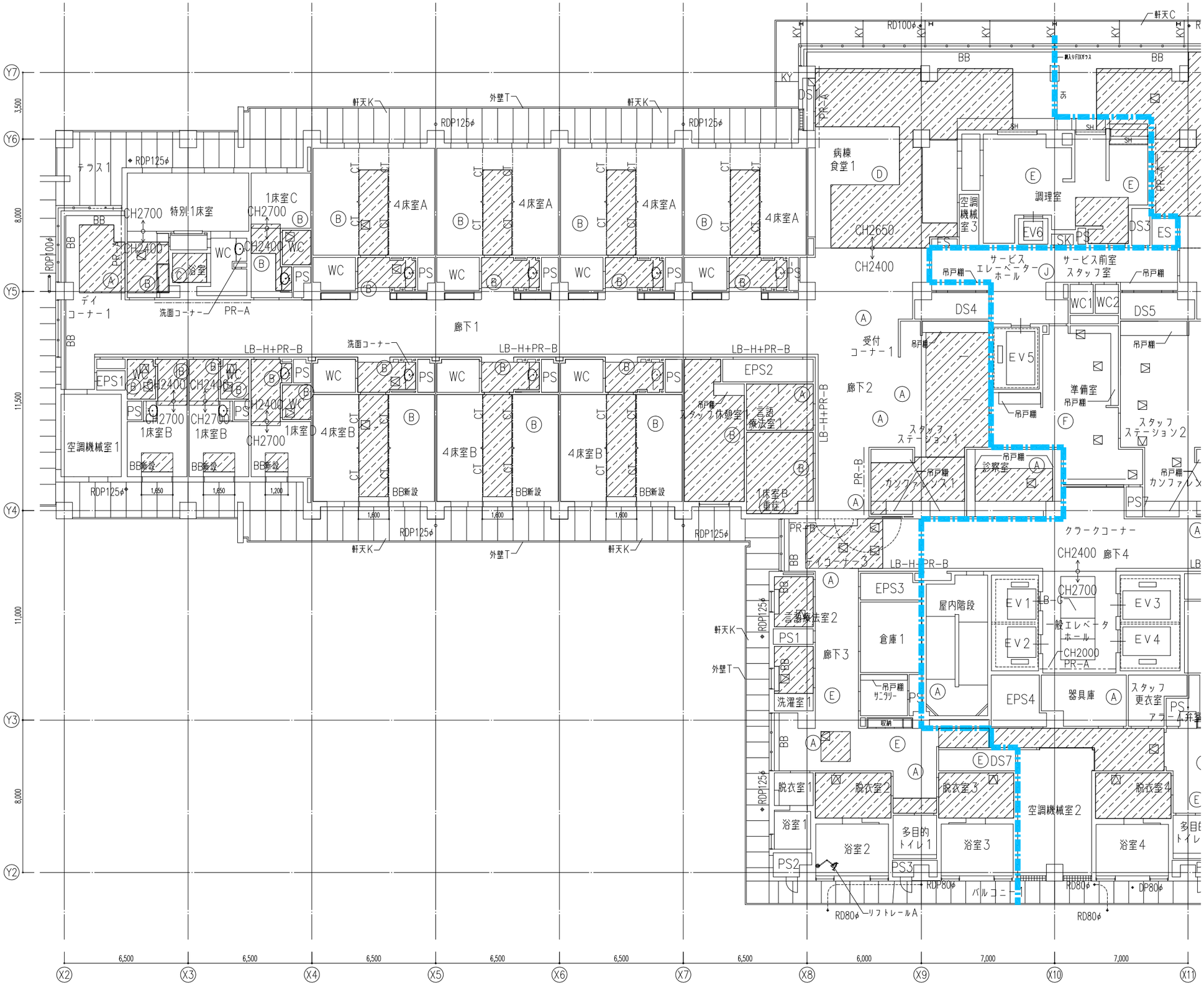
：天井改修範囲

下がり壁：H=300
下がり壁：H=250

＜凡例＞	
Ⓐ	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12
Ⓑ	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
Ⓒ	AL製バスリブ貼
Ⓓ	GB-R t=9.5+9..5下地 EP-G塗
Ⓔ	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0
Ⓕ	GB-NC t=9.5
Ⓖ	AL製パネル張り
Ⓗ	GB-Rt9.5捨張 リブ付DRt19
Ⓙ	GB-Dt9.5
Ⓛ	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB-A	照明ボックスA
LB-B	照明ボックスB
LB-C	照明ボックスC
LB-D	照明ボックスD
LB-E	照明ボックスE
LB-F	照明ボックスF
LB-G	照明ボックスG
LB-H	照明ボックスH
PR-A	ピクチャーレールA
PR-B	ピクチャーレールB
PR-C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-77 (207/402)
図面名	2階天井伏図（1）	縮尺 1:100	
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



※天井改修位置については、機械設備の改修図に基づくものとする。

：工事区画ライン（北側）

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修不要部分
（ただし、電磁弁のための一部天井開口あり）

：天井改修範囲

下がり壁：H=300

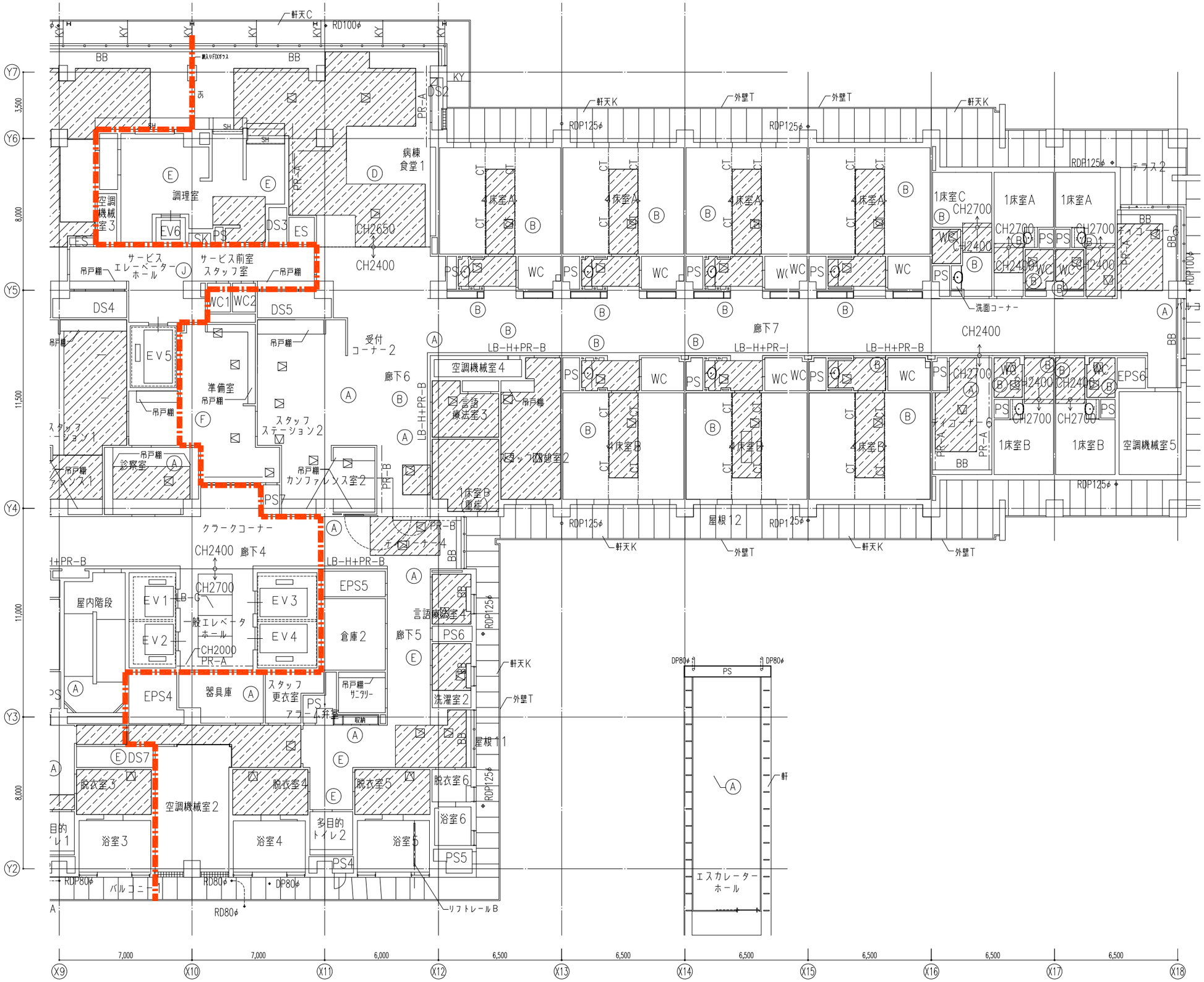
下がり壁：H=250

＜凡例＞	
Ⓐ	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12
Ⓑ	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
Ⓒ	AL製バスリブ貼
Ⓓ	GB-R t=9.5+9..5下地 EP-G塗
Ⓔ	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0
Ⓕ	GB-NC t=9.5
Ⓖ	AL製パネル張り
Ⓗ	GB-Rt9.5捨張 リブ付DRt19
Ⓙ	GB-Dt9.5
Ⓛ	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
+GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB-A	照明ボックスA
LB-B	照明ボックスB
LB-C	照明ボックスC
LB-D	照明ボックスD
LB-E	照明ボックスE
LB-F	照明ボックスF
LB-G	照明ボックスG
LB-H	照明ボックスH
PR-A	ピクチャーレールA
PR-B	ピクチャーレールB
PR-C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-78 (208/402)
図面名	2階天井伏図（2）	縮尺 1:100	
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

※天井改修位置については、機械設備の
改修図に基づくものとする。



：工事区画ライン（南側）

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修不要部分
（ただし、電磁弁のための一部天井開口あり）

：天井改修範囲

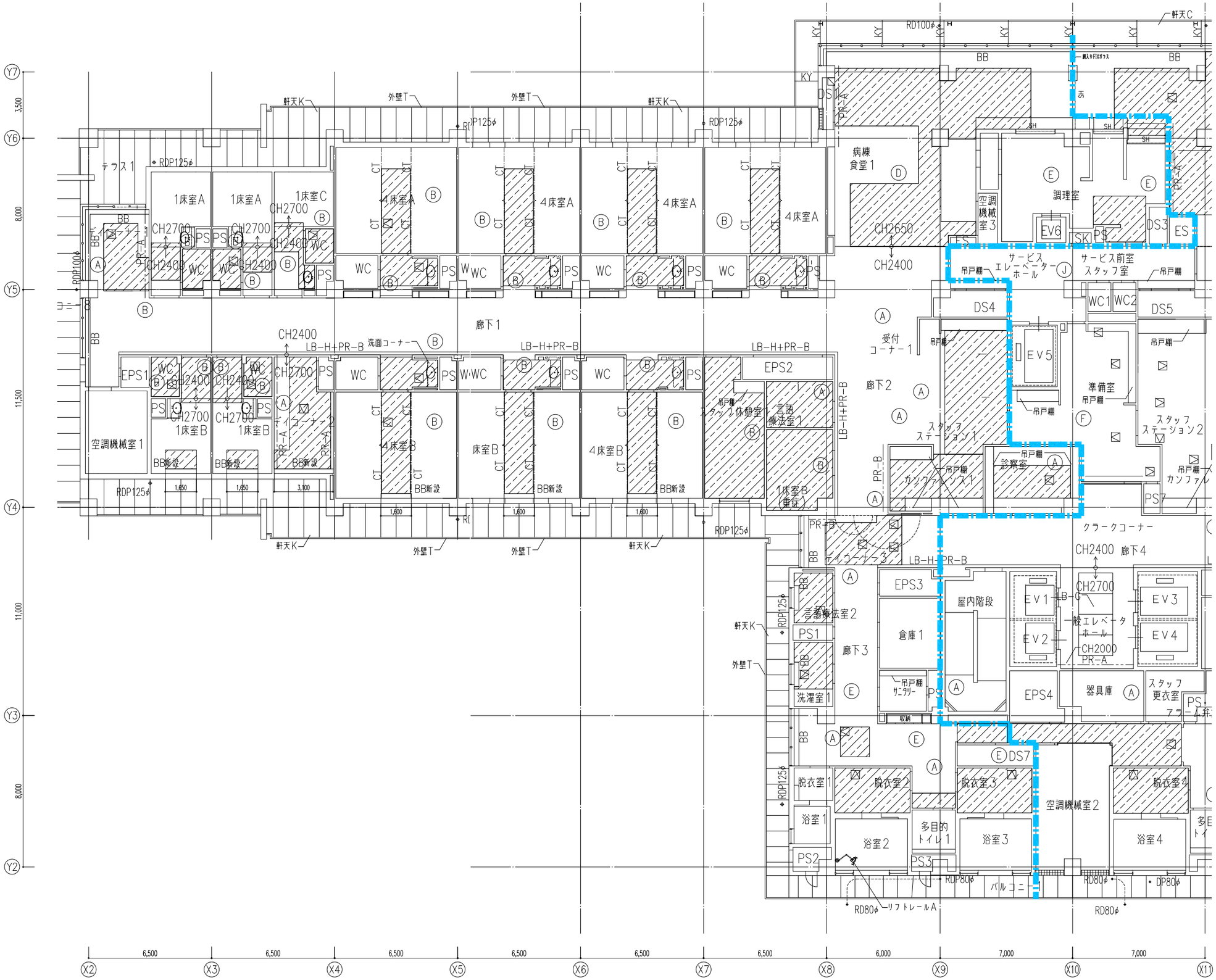
下がり壁：H=300
下がり壁：H=250

＜凡例＞	
A	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12
B	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
C	AL製バスリブ貼
D	GB-R t=9.5+9..5下地 EP-G塗
E	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0
F	GB-NC t=9.5
G	AL製パネル張り
H	GB-Rt9.5捨張 リブ付DRt19
J	GB-Dt9.5
L	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB-A	照明ボックスA
LB-B	照明ボックスB
LB-C	照明ボックスC
LB-D	照明ボックスD
LB-E	照明ボックスE
LB-F	照明ボックスF
LB-G	照明ボックスG
LB-H	照明ボックスH
PR-A	ピクチャーレールA
PR-B	ピクチャーレールB
PR-C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	3階天井伏図（I）
縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-79 (209/402)



※天井改修位置については、機械設備の改修図に基づくものとする。

：工事区画ライン（北側）

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修不要部分
（ただし、電磁弁のための一部天井開口あり）

：天井改修範囲

下がり壁：H=300
下がり壁：H=250

＜凡例＞	
Ⓐ	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12
Ⓑ	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
Ⓒ	AL製バスリブ貼
Ⓓ	GB-R t=9.5+9..5下地 EP-G塗
Ⓔ	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0
Ⓕ	GB-NC t=9.5
Ⓖ	AL製パネル張り
Ⓗ	GB-Rt9.5捨張 リブ付DRt19
Ⓙ	GB-Dt9.5
Ⓛ	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB-A	照明ボックスA
LB-B	照明ボックスB
LB-C	照明ボックスC
LB-D	照明ボックスD
LB-E	照明ボックスE
LB-F	照明ボックスF
LB-G	照明ボックスG
LB-H	照明ボックスH
PR-A	ピクチャーレールA
PR-B	ピクチャーレールB
PR-C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-80 (210/402)
図面名	3階天井伏図（2）	縮尺 1:100	
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

※天井改修位置については、機械設備の
改修図に基づくものとする。

：工事区画ライン（南側）

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修不要部分
（ただし、電磁弁のための一部天井開口あり）

：天井改修範囲

下がり壁：H=300
下がり壁：H=250

＜凡例＞	
A	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12
B	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
C	AL製バスリブ貼
D	GB-R t=9.5+9..5下地 EP-G塗
E	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0
F	GB-NC t=9.5
G	AL製パネル張り
H	GB-Rt9.5捨張 リブ付DRt19
J	GB-Dt9.5
L	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB-A	照明ボックスA
LB-B	照明ボックスB
LB-C	照明ボックスC
LB-D	照明ボックスD
LB-E	照明ボックスE
LB-F	照明ボックスF
LB-G	照明ボックスG
LB-H	照明ボックスH
PR-A	ピクチャーレールA
PR-B	ピクチャーレールB
PR-C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-81 (211/402)
図面名	4階天井伏図（1）	縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

※天井改修位置については、機械設備の
改修図に基づくものとする。

：工事区画ライン（北側）

：天井点検口（450角）撤去・新設

：天井改修不要部分
（ただし、電磁弁のための一部天井開口あり）

：天井改修範囲

下がり壁：H=300

下がり壁：H=250

＜凡例＞	
Ⓐ	GB-R t=9.5捨貼 DR t=12
Ⓑ	GB-S t=9.5+9.5下地 無機質クロス
Ⓒ	AL製バスリブ貼
Ⓓ	GB-R t=9.5+9..5下地 EP-G塗
Ⓔ	GB-S t=9.5捨貼 FK t=6.0
Ⓕ	GB-NC t=9.5
Ⓖ	AL製パネル張り
Ⓗ	GB-Rt9.5捨張 リブ付DRt19
Ⓙ	GB-Dt9.5
Ⓛ	GB-S t=9.5+9.5下地 EP-G塗
CT	カーテンレール
GR	点滴レール
SW	固定防煙垂壁 H=500
GF	点滴フック
BB	ブラインドボックス
SCB	スクリーンボックス
LB-A	照明ボックスA
LB-B	照明ボックスB
LB-C	照明ボックスC
LB-D	照明ボックスD
LB-E	照明ボックスE
LB-F	照明ボックスF
LB-G	照明ボックスG
LB-H	照明ボックスH
PR-A	ピクチャーレールA
PR-B	ピクチャーレールB
PR-C	ピクチャーレールC
ACT	アコーディオンカーテン
	GRCルーバー
AL	アルミルーバー

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	4階天井伏図（2）
縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-82 (212/402)

建　具　共　通　事　項

下記事項は共通とし、特に表示が無い場合に適用する。設計図書の優先順位は、特記仕様書、建具リスト、建具共通事項、共仕の順着とする。

1．一般共通事項

1－1．建具寸法は特記なき限り枠内法寸法とする。
1－2．ステンレスヘアーライン仕上は＃１５０とする。
1－3．ステンレス製建具は角出し曲加工（裏面補強）とする。
1－4．防火区画上のガラリにはFDを設置する。（設備工事）
1－5．性能ＩＮＳは、防虫対策として網戸を設置する。

2．アルミ建具関係共通事項

2－1．窓枠の形状はAとする。
2－2．外部アルミニウム建具の枠見込は１００ｍｍとする。
2－3．網入りガラスの小口は、ブチルゴムを施すこと。
2－4．床面よりの窓・カーテンウォールのガラスは、ＳＵＳ衝突防止マークをピッチ３００、１列で取付ける。
2－5．ガラリは、外部用：ガラリ形状１類及び有効開口率３５％、
内部用：ガラリ形状３類及び有効開口率５０％とする。
2－6．ガラリは枠と同材質・同仕上とする。
2－7．外部に面するガラリは室内側にステンレス防鳥網（１５ｍｍ目 取外し可能）付きとし、アルミニウム製水返し板を取付けると共に相フランジ付とする。
2－8．窓のぜん板・額縁の仕様は、スチール製ＦＥ塗装とし、断熱材裏打ちとする。
2－9．サッシと躯板・額縁の隙間に結露防止の断熱材を入れる。
2－10．水切板はアルミ既製押出型材とし、壁面汚れ防止のために両端を立ち上げる。
2－11．排煙窓のダンパー及び操作用ワイヤーは枠内隠蔽とする。
2－12．窓用金物は下記の＊印を設置する。

開閉方式	支持金物	錠	その他
引違い窓	＊戸車及びレール	＊レバーハンドル型クレセント	＊引手 進入口は進入口用クレセント
片引き窓	＊戸車及びレール	＊レバーハンドル型クレセント 引き寄せハンドル	＊ストッパー、＊引手 進入口は進入口用クレセント
片開き窓	＊丁番	＊引き寄せハンドル	＊突出し棒、＊調整器、 ＊アームストッパー
すべり出し窓	＊横すべり出しビボット ＊竪すべり出しビボット	＊引き寄せハンドル	＊調整器、＊アームストッパー
回転窓	＊横軸・竪軸	＊トップラッチ	＊フック棒、＊チェーン ＊角度調整器 ＊進入口は内外ハンドル
突出し窓	＊丁番		＊オペレーター　＊60°開き
外倒し窓	＊丁番		＊オペレーター　＊90°開き

2－13．網入りガラスの小口についてトップライトの場合はブチルゴムテープ張り
その他一般的使用の場合は、防錆塗料塗りとする。
2－14．仕上は電解２次着色のシルバーマット仕上とする。又、見えがかりの付属金物もサッシュと同色とする。
2－15．網戸はプリーツ式とし、材料は合成樹脂製とする。
2－16．窓枠形状はAとし、サッシ下部にはＡＬ製水切を設ける。
2－17．ペアガラスのフッ酸加工のガラスはガラス間のスペーサー部分にフッ酸加工を施さないものとする。

3．ＳＳＤ関係共通事項

3－1．外部扉は扉性能ＳＡＴとする。
3－2．Ｔ・ＡＴ・ＳＡＴはフラッシュ扉とし、枠の四周には曲加工による溝を設け、クロロプレンゴム等の気密材を充填する。
3－3．Ｔ扉は戸厚５０ｍ／ｍとし、ロックウール（８０ｋｇ／ｍ３）を充填し、枠にはモルタルを隙間無く充填する。また、取手はグレモンハンドルとし、遮音性能は４０ｄＢ（５００Ｈｚ）以上とする。
3－4．ＡＴ、ＳＡＴ扉には、グラスウールを充填する。また、扉の取手はグレモンハンドルとする。
3－5．扉枠の形状はＡを基準とする。
3－6．外部に面する鋼製建具は四方枠を、ＳＵＳ、Ｂ－ＦＵ仕上とし、
扉の塗装仕様は、2－ASEとする。
3－7．水がかり部のＳＤ、ＬＤ扉及び３方枠はＳＵＳ、Ｂ－ＦＵ仕上とする。
又支持金物は平丁番とする。
3－8．内部鋼製建具の塗装仕様はＦＥとする。（枠・扉共）
3－9．鋼製建具の開き扉・引戸の枠には戸当りゴムを取付ける。
また、必要な場合は両引戸に全半開機構付き、引戸・開き戸に指詰め防止機構を装備する。
3－10．外部扉は、上枠に水切金物（ＳＵＳ３０４、ｔ＝１．５、枠よりの出寸法３０ｍｍ）を取付ける。
3－11．吝摺は、床が同レベルの場合：Ｂ－１、
レベル差が有る場合：Ｂ－３、ＳＡＴ・ＡＴ・Ｔ扉の場合：Ｃ－２とする。
3－12．吝摺はSUS304 HLとする。（点検口を除く）
3－13．鋼製扉の扉厚は４０ｍｍとする。
3－14．鋼製軽量扉の扉厚は３５ｍｍとする。
3－15．鋼製軽量扉の小口包みにはコ形に加工したＳＵＳプレートを取り付け、扉と同仕上とする。
3－16．框ドア・ガラスドアは、ＳＵＳ衝突防止マークをピッチ３００、1列で取付ける。
3－17．扉に取付くガラリは、外部用：ガラリ形状１類及び有効開口率３０％、
内部用：ガラリ形状３類及び有効開口率５０％とする。
3－18．扉に取付くガラリは、建具図による。記入がなければ扉と同材質・同仕上とする。
3－19．建具金物は下記の＊印を標準設置する。

基本機能・開閉方式		支持金物	錠	付属金物
外部	片開き扉	＊平丁番 旗丁番	＊シリンダー剛込箱錠 インテグラル錠・円筒錠	＊レバーハンドル・握玉、サムラッチハンドル ＊ドアクローザ、アオリ止め、電気錠、非常錠
	両開き扉	＊平丁番 旗丁番	＊シリンダー剛込箱錠 インテグラル錠・円筒錠	＊レバーハンドル・握玉 ＊ドアクローザ、アオリ止め、電気錠、グレモン錠
内部	片開き扉	＊ピボットヒンジ フロアーヒンジ	＊シリンダー剛込箱錠 インテグラル錠・円筒錠	＊レバーハンドル・握玉 ＊ドアクローザ、＊戸当り、電気錠、
	両開き扉	＊ピボットヒンジ フロアーヒンジ	＊シリンダー剛込箱錠 インテグラル錠・円筒錠	＊レバーハンドル・握玉 ドアクローザ、＊戸当り、電気錠、グレモン錠
引　戸		＊ハンガーレール ＊ガイドローラー	＊鎌錠 ＊引戸用シリンダー剛込箱錠	＊引手、フレ止めローラー、戸当り 引戸クローザ（ばね、重力、電磁力等）
気　密　扉		＊ピボットヒンジ	＊シリンダー剛込箱錠 シリンダー本締錠	＊引寄せハンドル（グレモン締り） ＊ドアクローザ
遮　音　扉		＊ピボットヒンジ	＊シリンダー剛込箱錠 シリンダー本締錠	＊引寄せハンドル（グレモン締り） ＊ドアクローザ
壁埋込型防火戸		＊軸吊型オートヒンジ	―――	＊ケースハンドル又は剛込引手 ＊順位調整器（両開きの場合）
点　検　口		＊中心吊ヒンジ スプリングヒンジ	＊点検錠	ケースハンドル又は剛込引手 ＊アームストッパー、鎖 ＊着脱式ハンドル

3－20．レバーハンドル及び握玉は、ステンレスHL仕上とする。
特記なき限りバックセットは握玉は１００ｍｍ、レバーハンドルの場合は７５ｍｍとする。
3－21．シリンダー箱錠は、室内側：サムターン、廊下側：シリンダー錠とする。
3－22．錠の種類がＥＥＬ及びＥＬの場合、電気錠及び通電丁番は建築工事、カードリーダー及び配線工事は電気工事とする。
3－23．すべての電気錠を設置した建具は制御版まで見込むものとする（火報、停電、強制）。
3－24．ドアークローザは、金具の調節により、ストッパー有無の切替え可能で、ラッチング装置付のタイプとする。
3－25．旗丁番の扉ではドアークローザは室内側に取り付けることを基準とし、吊元側に１００ｍｍ程度の袖壁を設ける。
3－26．１階・屋上階の外部に面する建具のドアクローザはあおり防止機構付とする。
3－27．防火・防煙区画の両開き扉、親子扉は２枚共ドアークローザ付きとし、枠埋込型コンシールド順位調整器を設置する。
3－28．防火・防煙区画の扉はストッパー無しとし、その他はストッパー付とする。
3－29．常閉防火扉は、壁または枠への埋込型レリーズ付とする。
3－30．オートドアには、天井付光線式反射スイッチを付け、天井及び庇の無い箇所は無目取付けタイプを基準とする。
3－31．戸当りは、全ての扉に対し、壁または床に取付ける。
3－32．マスターキーはGMK付マルチマスターキーシステムとする。
3－33．扉サッシ性能 RSL は鉛２．０ｍｍ裏面張り（扉・枠共），窓は鉛当量２．０の鉛ガラスを標準とする。
3－34．親子・両開き扉にはフランス落しを取付ける。

4．シャッター関係共通事項

4－1．シャッターのスラット形式は鋼製重量シャッターとする。
4－2．防火シャッター（防火・防煙シャッター）は煙感連動電動シャッターとする。
4－3．シャッターは単軸タイプとし、防火シャッターはリミットスイッチ付とする。
4－4．電動シャッターは手動併用とする。防火、防煙、防火・防煙シャッターは手動開閉装置付とする。
4－5．電動式シャッターは二重安全装置付きとする。
4－6．まぐさ・座板及びまぐさ・座板の包み板はＳＵＳ３０４ ＨＬとする。
4－7．ガイドレールはＳＵＳ３０４ ＦＢｔ＝９ ＨＬとし、底板をつける。
4－8．シャッターケースは防火防煙シャッター、及び一般型露出タイプに設ける。
4－9．シャッターケースは表面処理亜鉛メッキ鋼板ｔ１．６以上とする。
4－10．スイッチボックス類はカバーの材質をＳｔ、Ｂ－ＦＵとする。
4－11．シャッターは障害物感知装置付とする。
4－12．可動式防煙垂壁は本体をロール式とし、レールは天井内収納タイプとする。

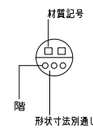
5．その他共通事項

5－1．襖及び障子の敷居は敷居すべり付とする。
5－2．襖の仕上は新鳥の子とし、枠は木枠にカシュー樹脂塗料塗りとする。
5－3．障子は杉材とし、格子の寸法は姿図による。
5－4．障子紙はワーロンｔ＝１ｍｍとする。
5－5．硝子製防煙垂壁はＰＬＧ６．８ｍｍ、下部ＳＵＳエッジ付とする。
5－6．ガラスのフッ酸加工は室側に設ける。
5－7．木製建具の枠仕上は扉の仕上と同じとする。

シリンダー	美和ロック　JNシリンダー1	同等品	引棒　標準	ユニオン　H2154	同等品
レバーハンドル錠	美和ロック　LHSシリーズ	同等品	引棒1	ユニオン　G7915	同等品
本錠	美和ロック　DHシリーズ	同等品	引棒2	ユニオン　T2101	同等品
引戸鎌錠	美和ロック　FGシリーズ	同等品	引手	ユニオン　G215-25-038	同等品
引戸錠	美和ロック　UDシリーズ	同等品	着脱ハンドル(本体)	ジョープリンス竹下　PH-53-SUS	同等品
テンキーユニット	美和ロック　TKU-002	同等品	ピボットヒンジ	中西　PHD-SUSシリーズ（外部）	同等品
			チェックウィンドウ	ユニオン　UCW-200	同等品
レバーハンドル標準	ユニオン　UL477002S	同等品	平面ハンドル	スガツネ　FH-100BM	同等品
レバーハンドル1	ユニオン　UL277011S	同等品			

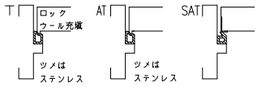
建具符号と図面表示

記号表示方法



扉・サッシュの性能記号

F1	特定防火設備	AUT	自動扉	T	遮音
F2	防火設備	HA	半自動引戸	AT	エアタイト
SS	煙感連動			SAT	準エアタイト
SMW	排煙オペレーター付				
INS	防虫				
RSL	放射線シールド				
MSL	電磁波シールド				
MG	マグネットセンサー付				



シャッターの記号

種類		スラットの形状	
W	一般重量シャッター	S1	片面・正巻用
F	防火シャッター	S2	両面・逆巻用
S	防煙シャッター	S3	平面・正巻用
G	グリルシャッター		
L	軽量シャッター		
N	ネットシャッター		
O	オーバースライダー		

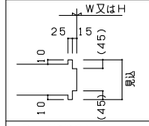
建具の種類と符号（建具符号の材質は、扉の場合は扉の材質、シャッターの場合はスラットの材質とする）

符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	種類
SD	鋼製扉	SSD	ステンレス製扉	AD	アルミニウム製扉	WD	木製扉
SW	鋼製窓	SSW	ステンレス製窓	AW	アルミニウム製窓	WW	木製窓
SG	鋼製ガラリ	SSG	ステンレス製ガラリ	AG	アルミニウム製ガラリ	WG	木製ガラリ
SF	鋼製三方枠・四方・一方・二方枠	SSF	ステンレス製三方枠・四方枠	AF	アルミニウム製三方枠・四方枠	WF	木製三方枠・四方・一方・二方枠
HLD	鋼製軽量引き戸	SST	ステンレス製点検口扉（片面フラッシュ）	HAD	アルミニウム製引戸		
LD	鋼製軽量扉						
HSD	鋼製引き戸	SH	鋼製シャッター　可動防煙垂壁	ACW	アルミニウムカーテンウォール	FU	ふすま
TD	強化ガラス扉	ASH	アルミニウム製シャッター	GCW	ガラスカーテンウォール	SY	障子
GSF	ガラス製防煙垂壁	SSH	ステンレス製シャッター				
RSD	鉛シールド鋼製扉	HSH	シートシャッター	TP	トップライト		
RSW	鉛シールド鋼製窓	SPS	ステンレス製パイプシャッター				

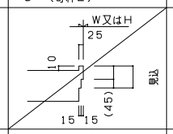
枠の形状、規格寸法　特記なき限り下記寸法を原則とする

扉枠

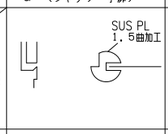
A （抱枠1）



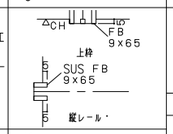
D （寄枠2）



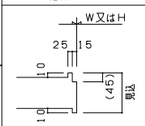
G （シャッター子扉）



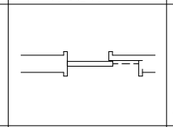
J



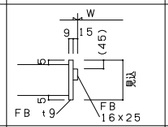
B （抱枠2）



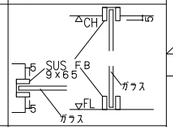
E （引き込み扉）



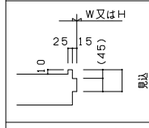
H



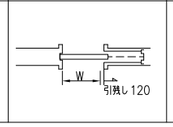
K



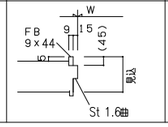
C （寄枠1）



F （隠蔽型引き込み扉）

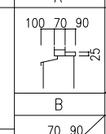


I

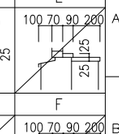


窓枠

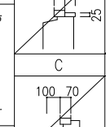
A



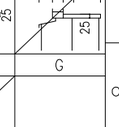
E



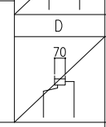
B



F

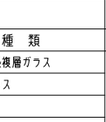


C



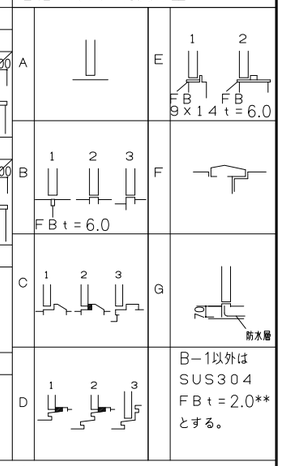
G

D



H

沓摺の形式（材質は全てＳＵＳ）



ガラスの種類と符号

符号	種類	符号	種類	符号	種類
FL	フロート板ガラス	TG	強化ガラス	LE	遮熱・高断熱複層ガラス
FG	型板ガラス	HS	倍強度ガラス	HTG	耐熱強化ガラス
FL-F	フロート板ガラス　フッ酸加工	PG	複層ガラス	PBG	鉛ガラス
PWG	網入板ガラス（クロス・菱形）	LG	合わせガラス	GB	ガラスブロック
FWG	網入型板ガラス	TLG	強化合せガラス		
PLG	線入板ガラス	HG	熱線吸収板ガラス		
FLG	線入型板ガラス	MG	熱線反射ガラス		

ガラリ形状

類	1類	2類	3類
形状			

ハンドル・押手類の形式

h	レバーハンドル
h	回転把手（ケースハンドル）
h	握込引手（両面）
h	握玉
h	押板 ／ 引手
h	引棒
h	グレモン
h	平面ハンドル
h	着脱式ハンドル

錠の形式

d●	錠 ／ サムターン又は押ボタン
d○	錠 ／ 非常サムターン
d	錠 ／ 錠
d	錠
d●	マイナスドライバー錠 ／ サムターン
	空錠
	ワンタッチ非常開放装置付本締錠
C	クレセント

錠の種類と符号

D	シリンダー剛込本錠
K	シリンダー剛込箱錠
M	円筒錠（モノロック）
I	インテグラル錠
P	空錠
S	鎌錠
H	ホテルロック
E	本錠非常錠
A	自動本締錠
C	クレセント
EEL	非常錠付電気錠
EL	電気錠
T	点検錠
SP	シリンダープッシュ錠

建具金物の種類と符号

T	T番
N	ヒンジクローザ
P	ピボットヒンジ
C	隠蔽型ドアクローザ
D	露出型ドアクローザ
F	フロアヒンジ
H	ハンガーレール
O	フランス落し
Y	誘導灯開口

その他の略符号

ST	鋼
AL	アルミニウム
SUS	ステンレス
BR	真鍮
着	着色焼付処理
AMT	無着色陽極酸化皮膜
発	着色陽極酸化皮膜
AC	アルキャスト
HL	ヘアーライン
E	エッチング
MR	鏡面
FB	フラットバー

B-FU	ふっ素樹脂焼付塗装
2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り
2-UE	2液型ポリウレタン樹脂エナメル塗り
AE	アクリル樹脂エナメル塗り
B-AE	アクリル樹脂エナメル焼付塗装
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り
FC	フタル酸樹脂クリア塗り
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
LE	ラッカーエナメル塗り
UC	1液型ポリウレタンウニス塗り
CL	クリヤーラッカー塗り
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
OS	オイルステイン塗り
B-ME	メラミン樹脂エナメル焼付
EP-M	多彩模様塗料塗り

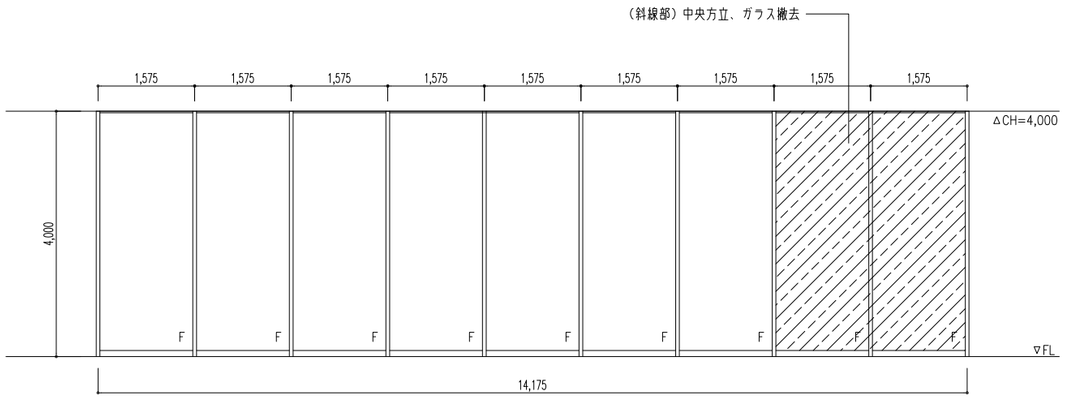
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室　DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号
図面名	建具共通事項	縮尺 －	A－83
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(213/402)

符号	名称	性能	数量				
ACW 101	カーテンウォール（FIX）				−	1	

姿 図
【改修前】

【撤去】

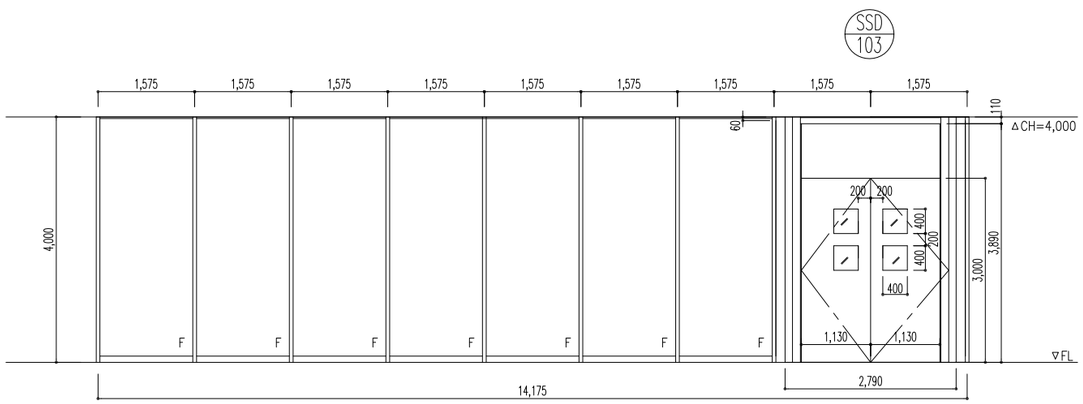


使用場所		1F 喫茶ラウンジ		
錠の形式	ハンドル種類	錠の種類		
枠形状	枠見込（扉厚）	沓摺符号	FL19	75
ガラス	ガラリ	塗装		
特殊金物			なら集成材方立（60×250、OSUC）	
備 考				

符号	名称	性能	数量						
ACW 101	カーテンウォール（FIX）→搬入口部分	SSD 103	：両開きフラッシュ扉及び両側固定袖パネル付き新設（ステンレス製）			−	1	

姿 図
【改修後】

【部分改修】



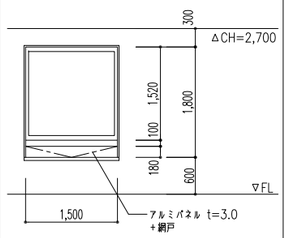
使用場所		1F 喫茶ラウンジ		
錠の形式	ハンドル種類	錠の種類		
枠形状	枠見込（扉厚）	沓摺符号	（扉部開口）FL3+A6+FL3	324（60）
ガラス	ガラリ	塗装		
特殊金物			エアタイト・グレモンハンドル・ロックウール充填・ドアチェック・大型丁番（8箇所）SUS サンドブラスト仕上	
備 考				

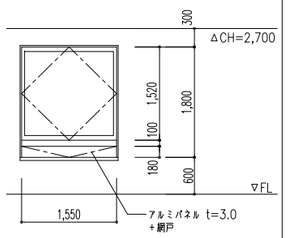
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

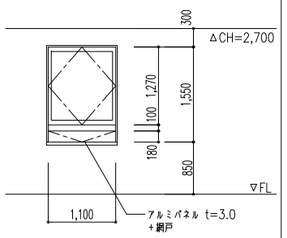
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-84 (214/402)
図面名	（改修前・改修後）建具表（1）	縮尺 1:50	
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

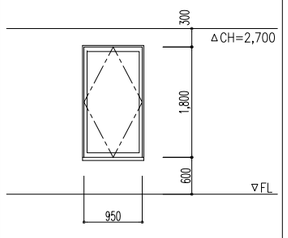
【改修前】

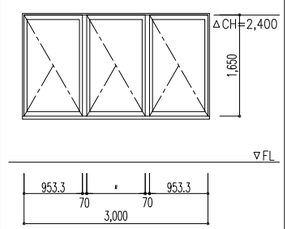
符号	AW K01	AW K02	AW K03	AW K04	AW K14	AW K16	AW K17
名称	ブラインド内蔵窓＋内たおし窓	ブラインド内蔵竪軸回転窓＋内たおし窓	ブラインド内蔵竪軸回転窓＋内たおし窓	ブラインド内蔵竪軸回転窓	縦すべり出し窓	竪軸回転窓	縦すべり出し窓＋FIX
性能	－	－	－	－	－	－	F
数量	9	6	1	18	3	2	3
姿図	【障子撤去・換気窓含む】	【障子撤去・換気窓含む】	【部分撤去】	【部分撤去】	【部分撤去】	【部分撤去】	【部分撤去】
使用場所	2−4F 4床室A、B	2−4F 1床室A、B、特別1床室	2F 1床室D	2−4F 4床室A、B	2−4F デイコーナー1、6	3−4F デイコーナー2、5	2−4F デイコーナー1
錠の形式							
枠形状	100	100	100	100	75	100	100
ガラス	FL8+FL6	FL8+FL6	FL8+FL6	FL8+FL6	PG(FL6+A6+FL6)	PG(FL6+A6+FL6)	PG(FL6+A6+FL6)
特殊金物	内蔵ブラインド、付属金物一式、網戸	内蔵ブラインド、付属金物一式、網戸	内蔵ブラインド、付属金物一式、網戸	内蔵ブラインド、付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	(ｺｰﾅｰのみ 2～4階はFL15) 付属金物一式
備考							

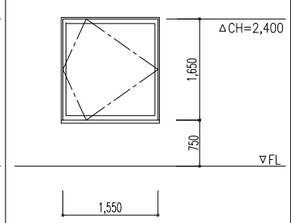


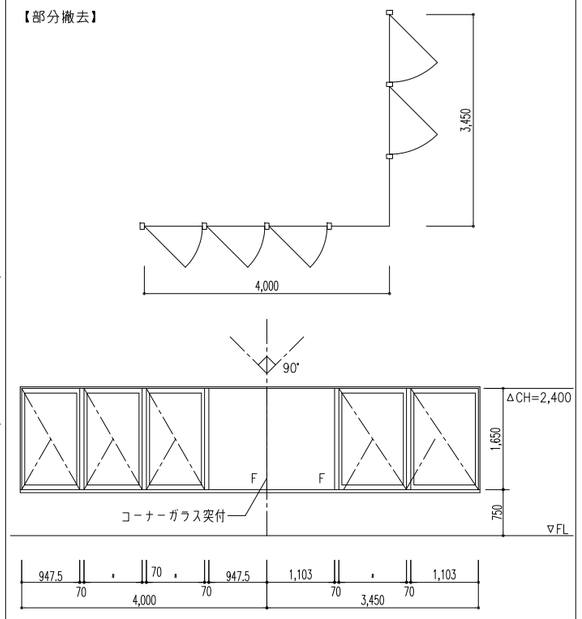






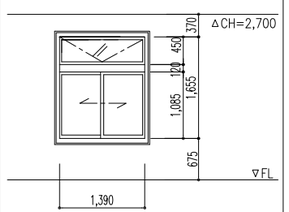


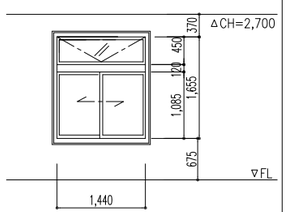


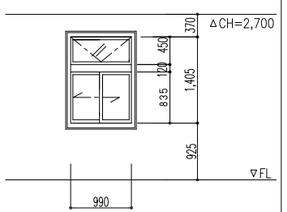


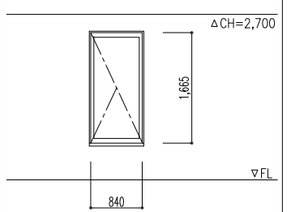
符号	AW K01	AW K02	AW K03	AW K04	AW K14	AW K16	AW K17
名称	アルミ樹脂複合突き出し排煙窓 アルミ樹脂複合引違い窓	アルミ樹脂複合突き出し排煙窓 アルミ樹脂複合引違い窓	アルミ樹脂複合突き出し排煙窓 アルミ樹脂複合引違い窓	アルミ樹脂複合縦すべり出し窓	アルミ樹脂複合縦すべり出し窓	アルミ樹脂複合突き出し排煙窓 アルミ樹脂複合引違い窓	アルミ樹脂複合縦すべり出し窓＋FIX
性能	－	－	－	－	－	－	F
数量	9	6	1	18	3	2	3
姿図	【新設】 【カバー工法】	【新設】 【カバー工法】	【新設】 【カバー工法】	【新設】 【カバー工法】	【新設】 【カバー工法】	【新設】 【カバー工法】	【新設・コーナー方立共】 【カバー工法】
使用場所	2−4F 4床室A、B	2−4F 1床室A、B、特別1床室	2F 1床室D	2−4F 4床室A、B	2−4F デイコーナー1、6	3−4F デイコーナー2、5	2−4F デイコーナー1
錠の形式							
枠形状	100	100	100	100	75	100	100
ガラス	PG(FL6+A6+FL6)	PG(FL6+A6+FL6)	PG(FL6+A6+FL6)	PG(FL6+A6+FL6)	PG(FL6+A6+FL6)	PG(FL6+A6+FL6)	PG(FL6+A6+FL6)
特殊金物	オペレーター、付属金物一式、網戸	オペレーター、付属金物一式、網戸	オペレーター、付属金物一式、網戸	付属金物一式・開閉45度以上	付属金物一式・開閉45度以上	オペレーター、付属金物一式・開閉45度以上	付属金物一式・開閉45度以上
備考				ブラインド別途			

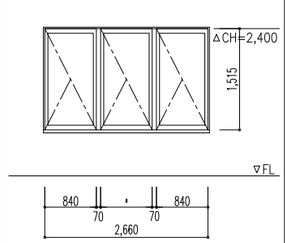
【改修後】

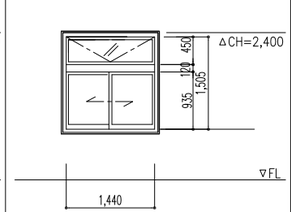


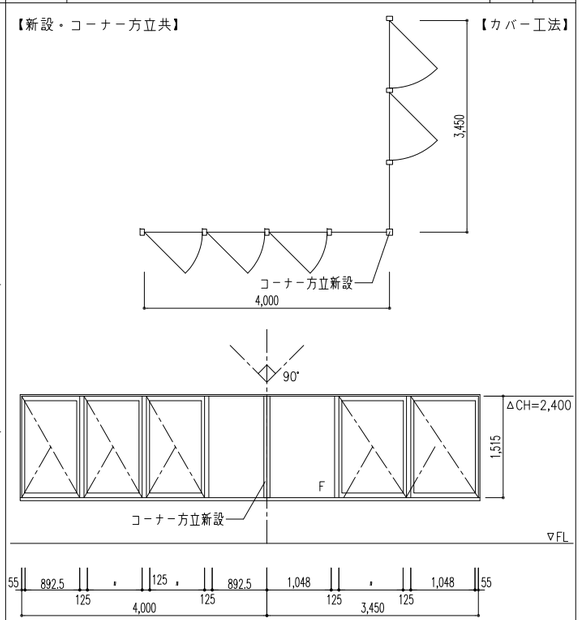








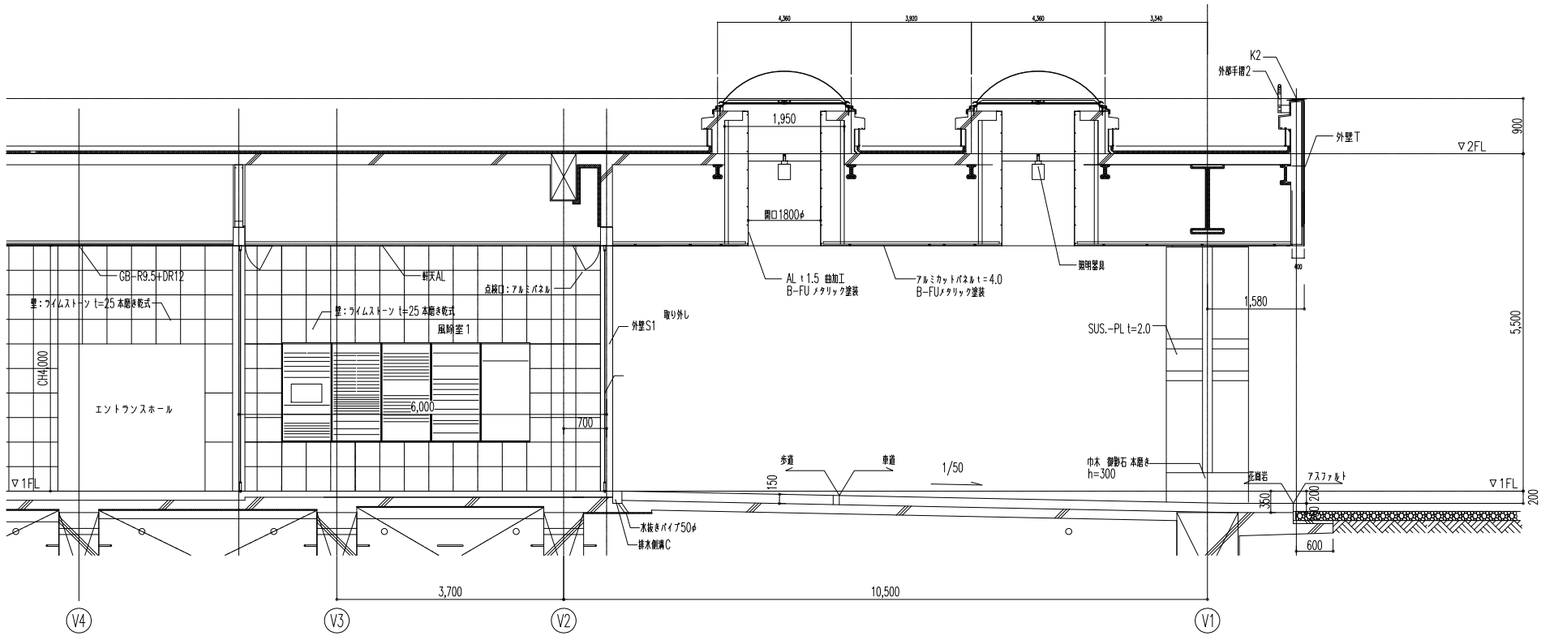




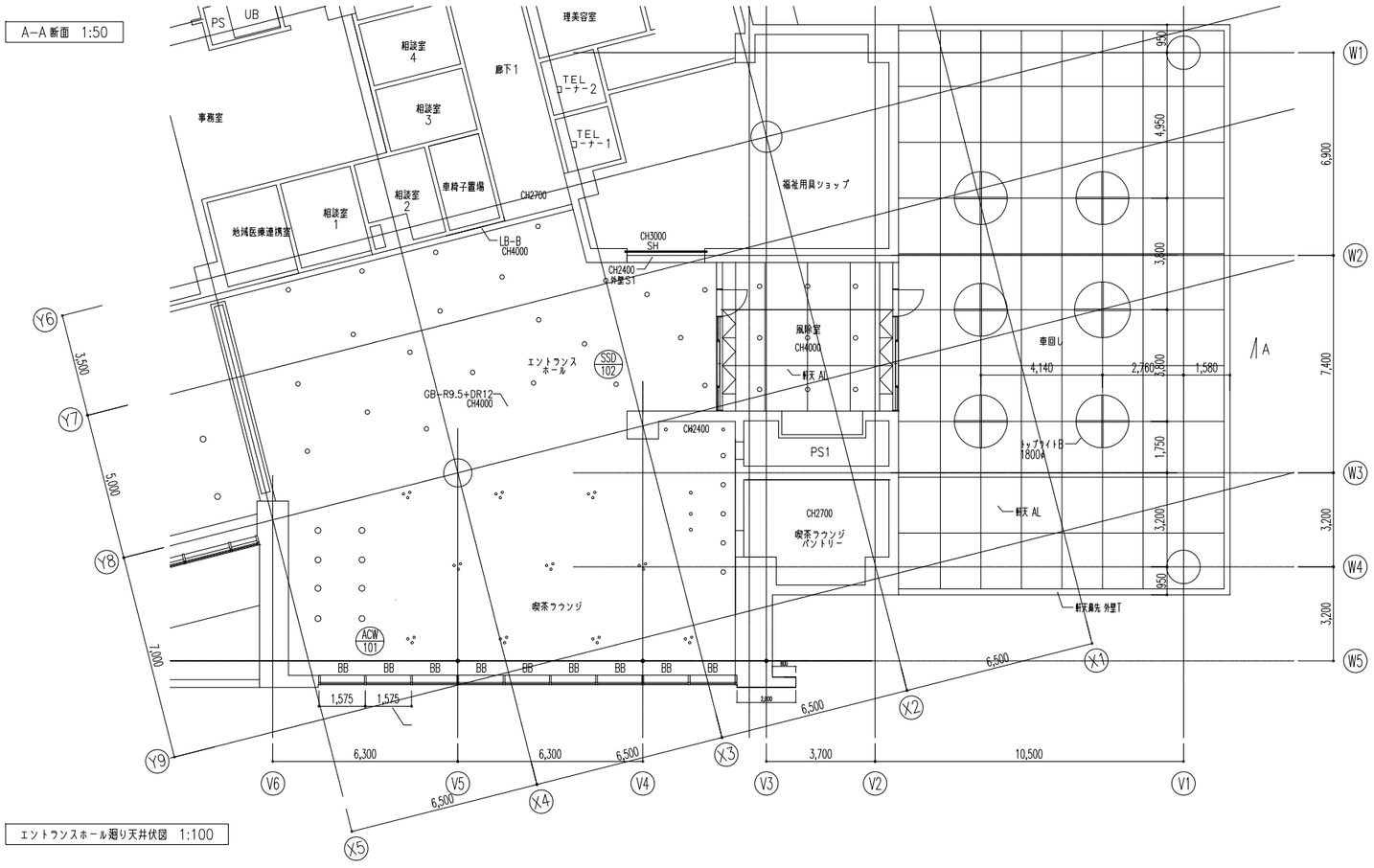
千葉県知事登録	第1-2105-5512号
一級建築士	第113243号 出堀 義夫

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

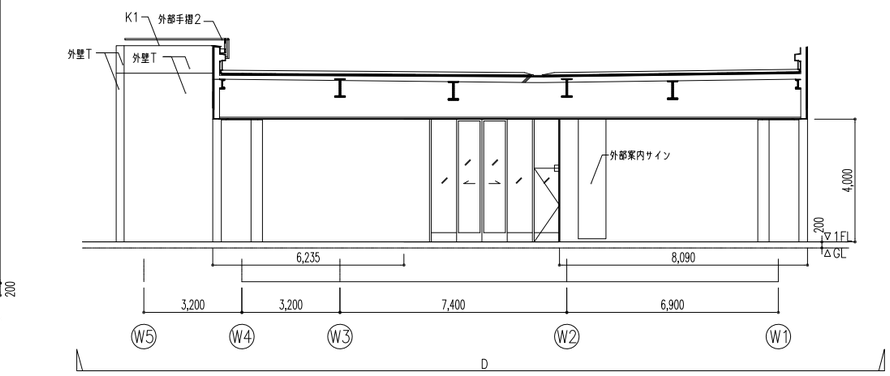
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-85 (215/402)
図面名	（改修前・改修後）建具表（2）	縮尺 1:50	
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	



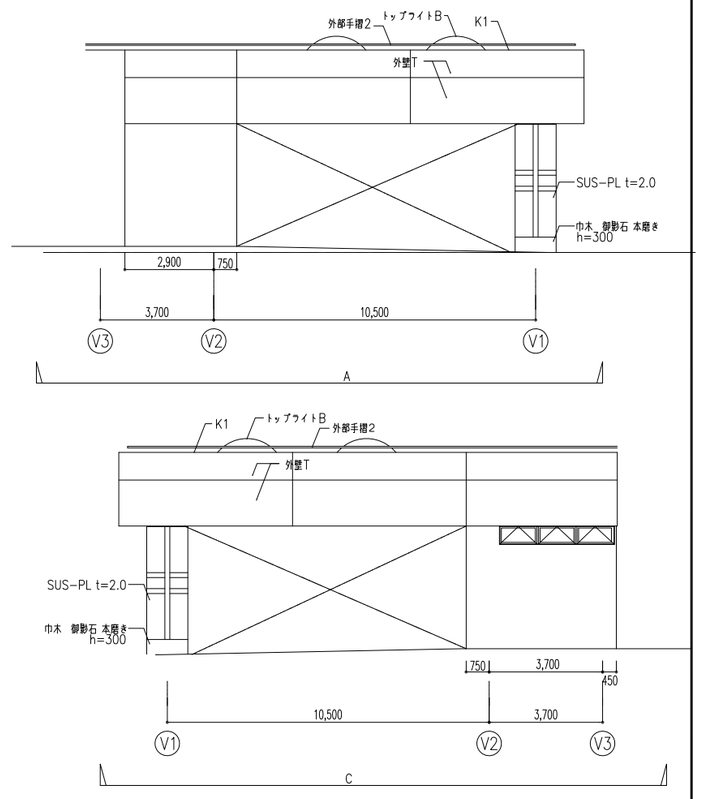
1 A–A 断面 1:50



2 エントランスホール廻り天井伏図 1:100





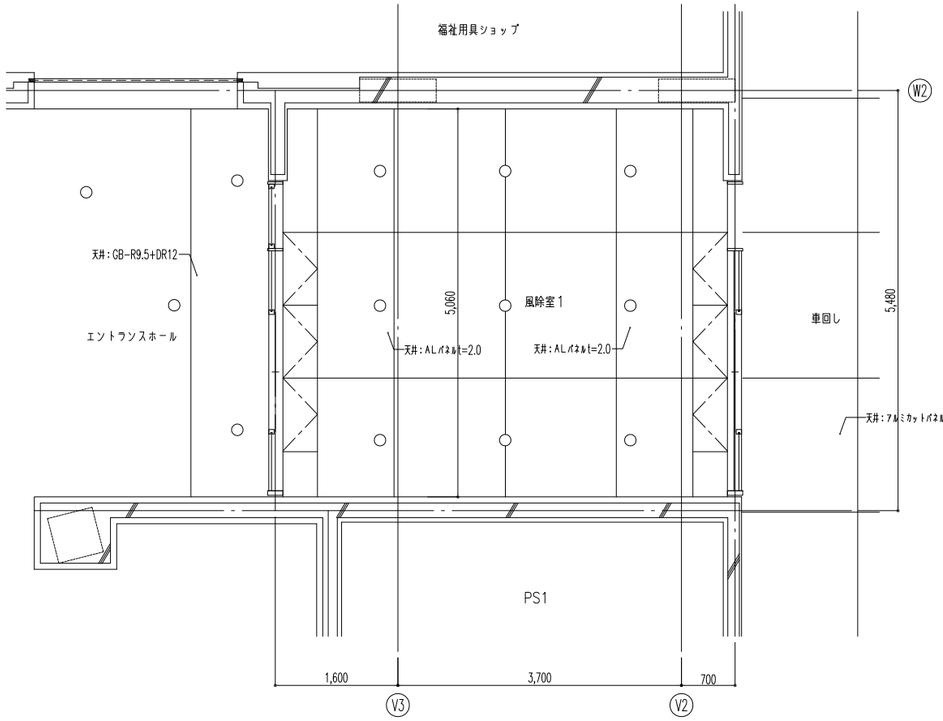


3 車回し廻り展開図 1:100

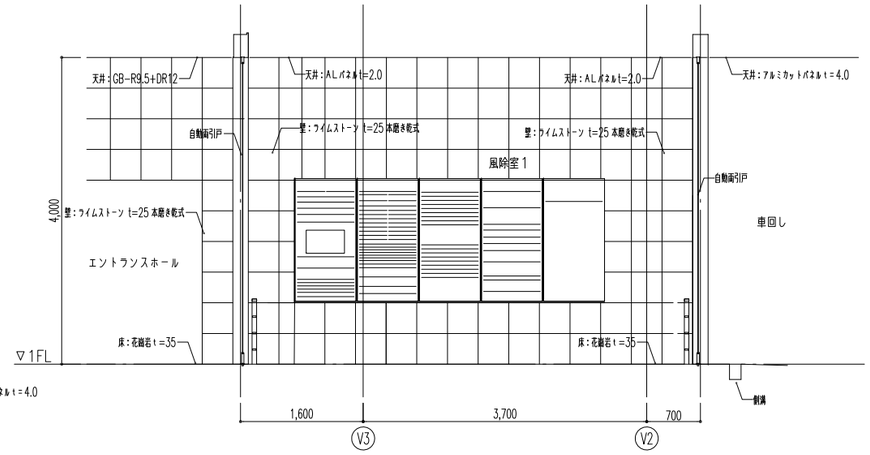
【改修前】

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

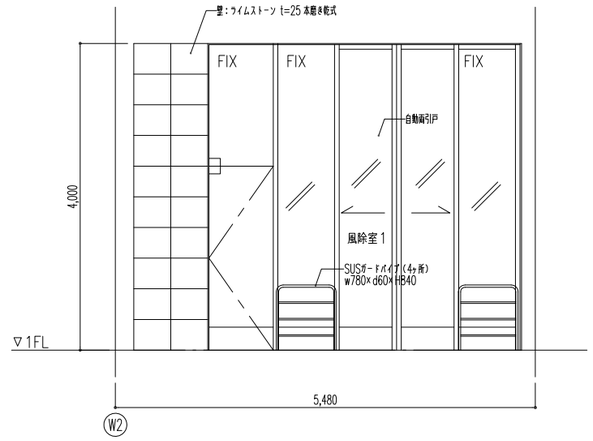
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	（参考）1階玄関廻り詳細図
縮尺	1:50,100
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度
図面番号	A-86 (216/402)



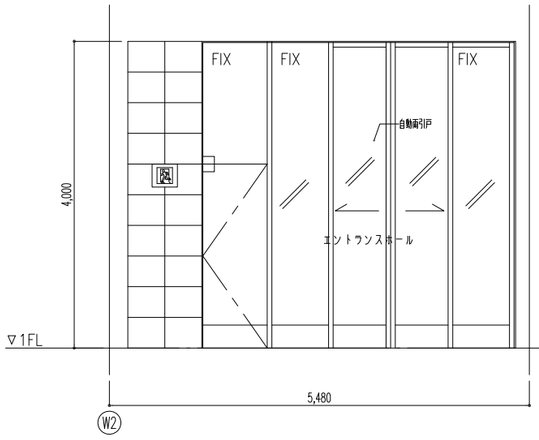
風除室１天井伏図　S=1:40



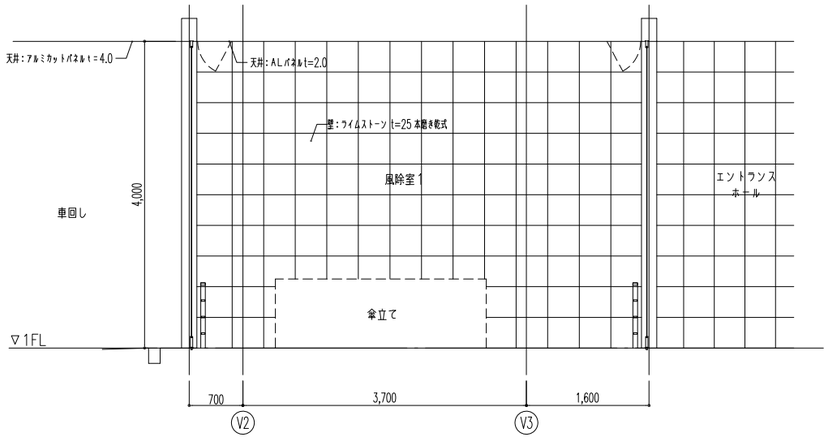
展開図－A－



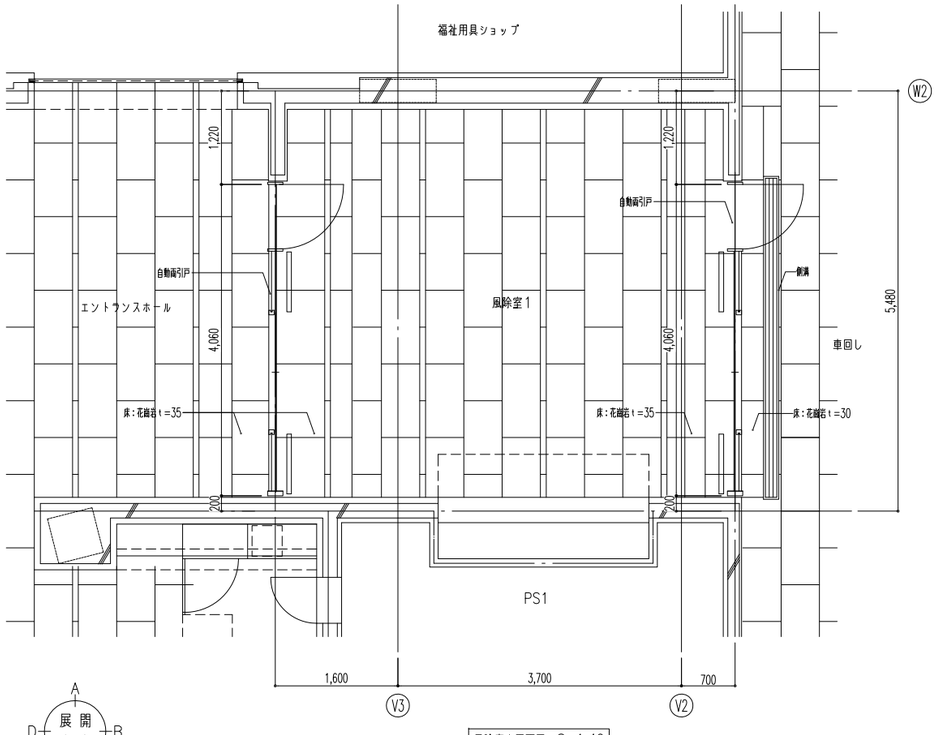
展開図－B－



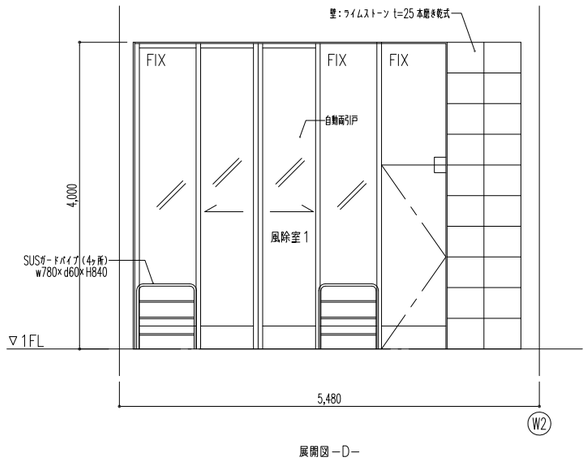
展開図－B'－



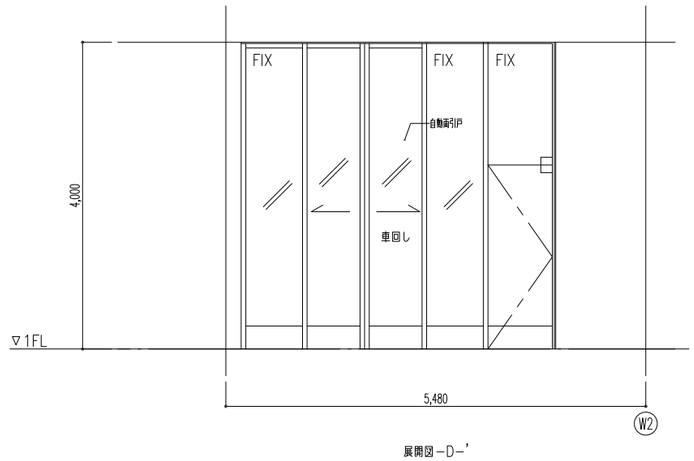
展開図－C－



風除室１平面図　S=1:40



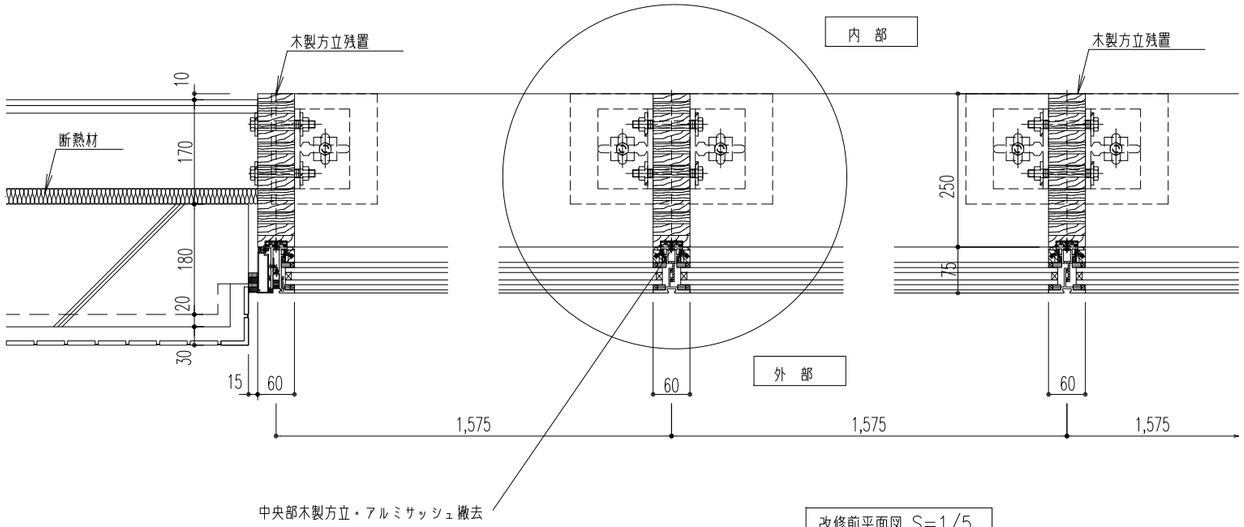
展開図－D－



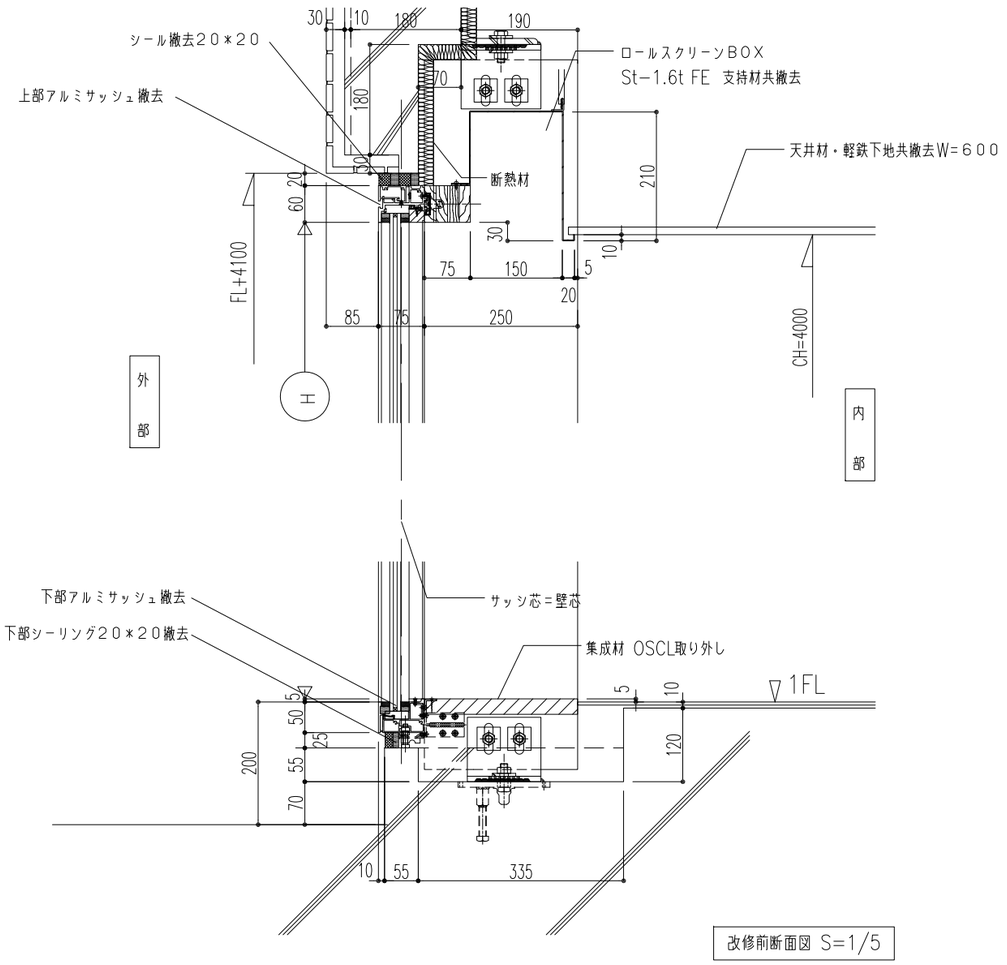
展開図－D－'

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

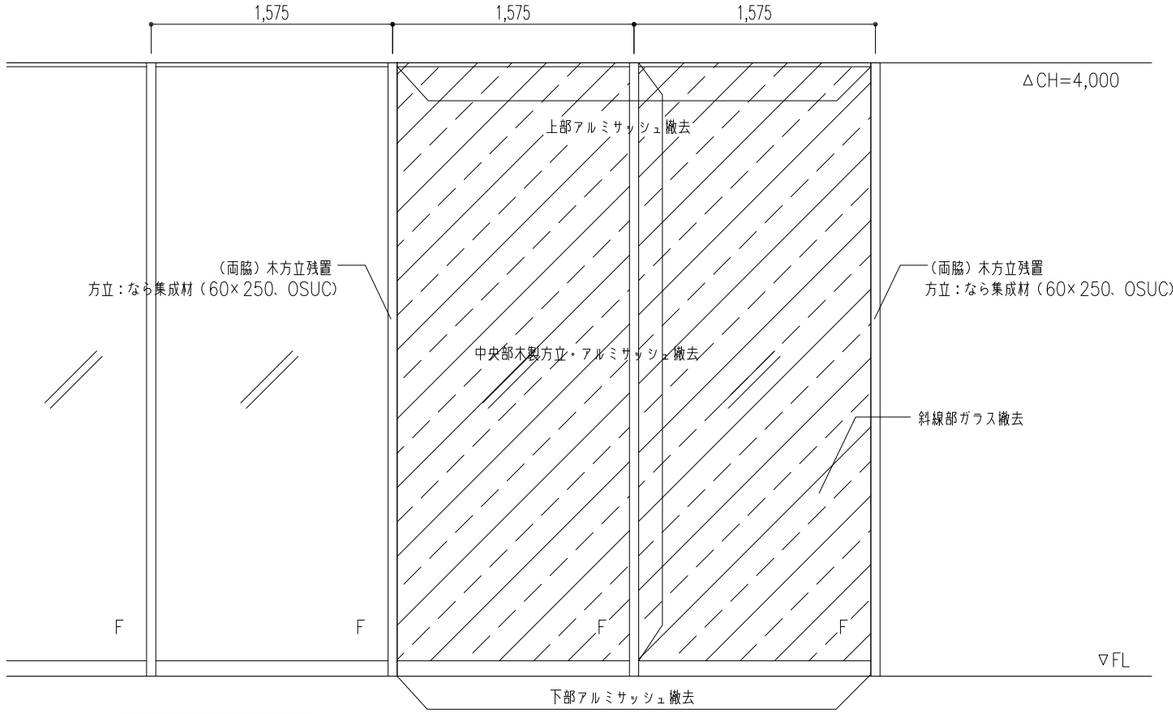
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A－87 (217/402)
図面名	（参考）風除室平面図・天井伏図・展開図	縮尺	1:40
船橋市建設局建築部建築課			令和7年度



改修前平面図 S=1/5



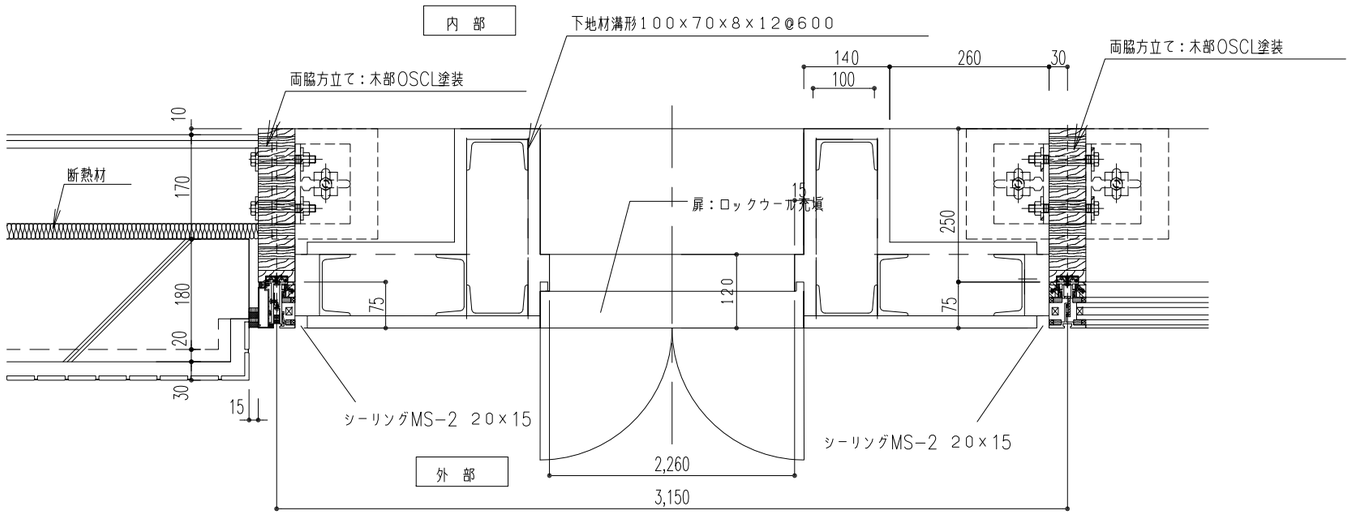
改修前断面図 S=1/5



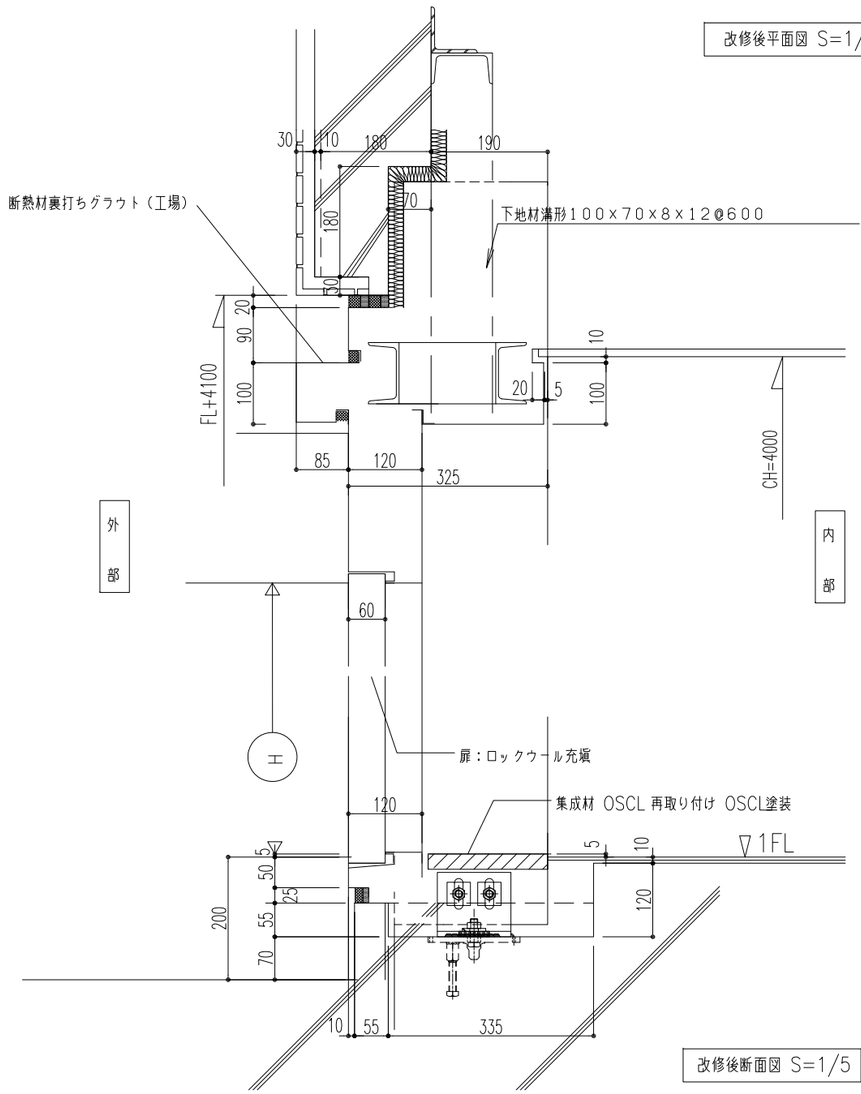
改修前立面図 S=1/20

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	（改修前）１階搬入扉建具詳細図
		縮尺	図示
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A－88 (218/402)

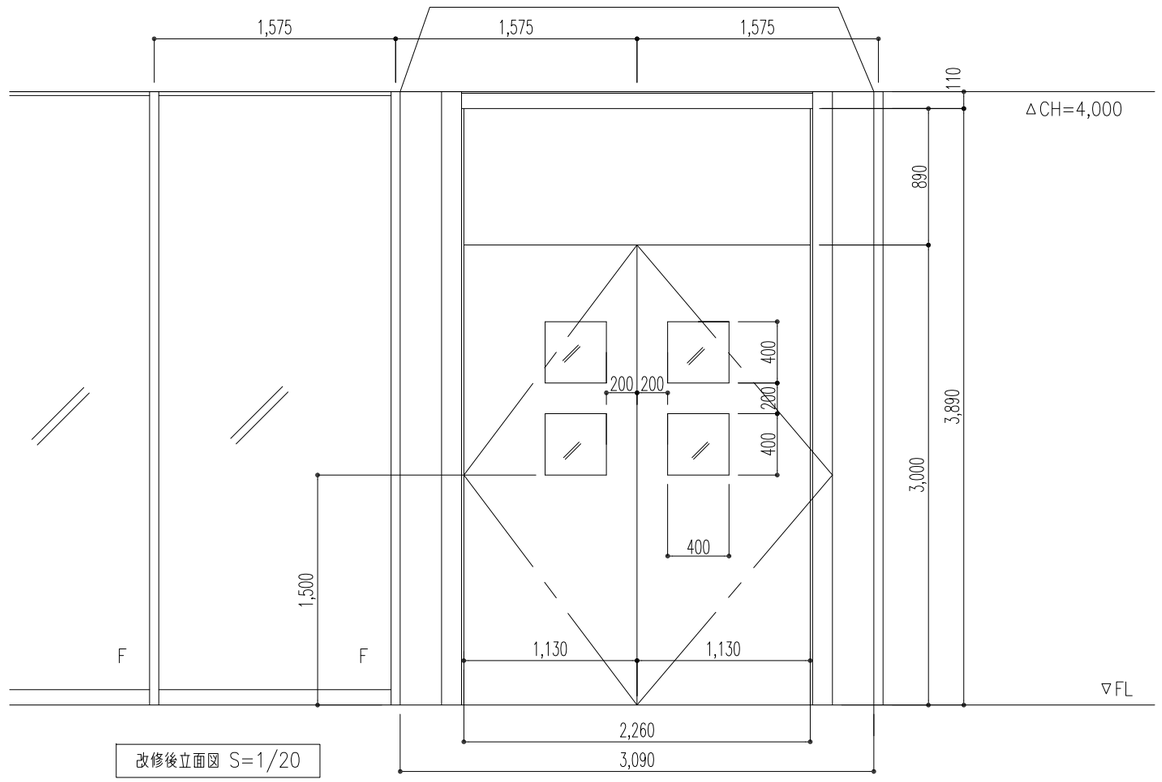


改修後平面図 S=1/5



改修後断面図 S=1/5

SSD
103

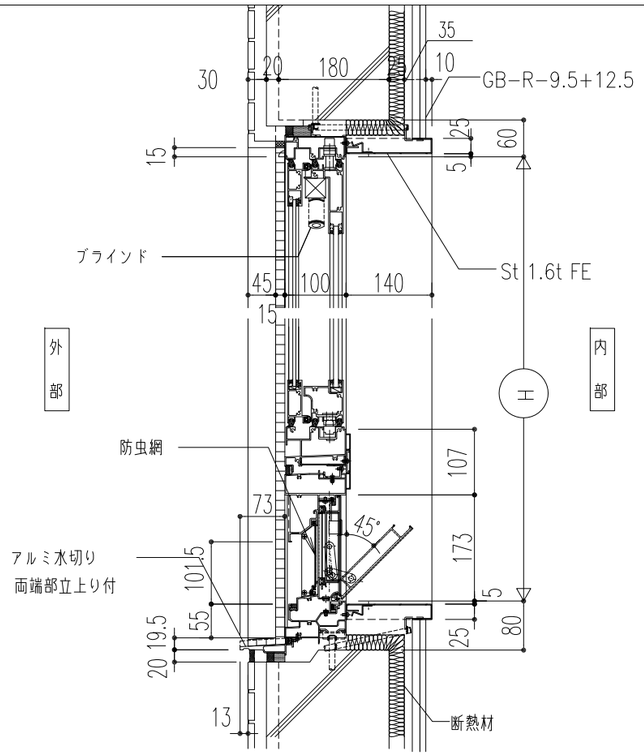


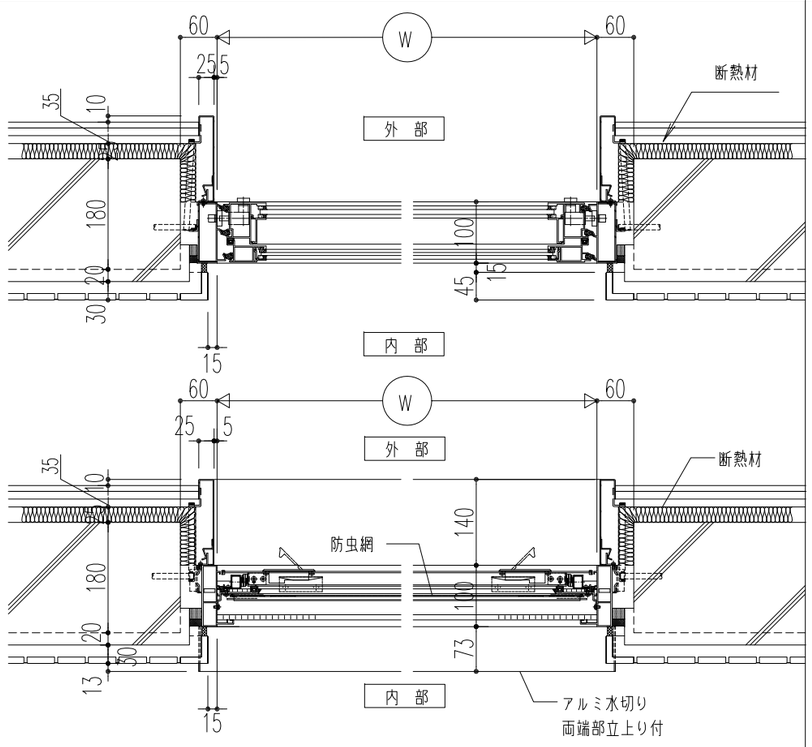
改修後立面図 S=1/20

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	（改修後）１階搬入扉建具詳細図
		縮尺	図示
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

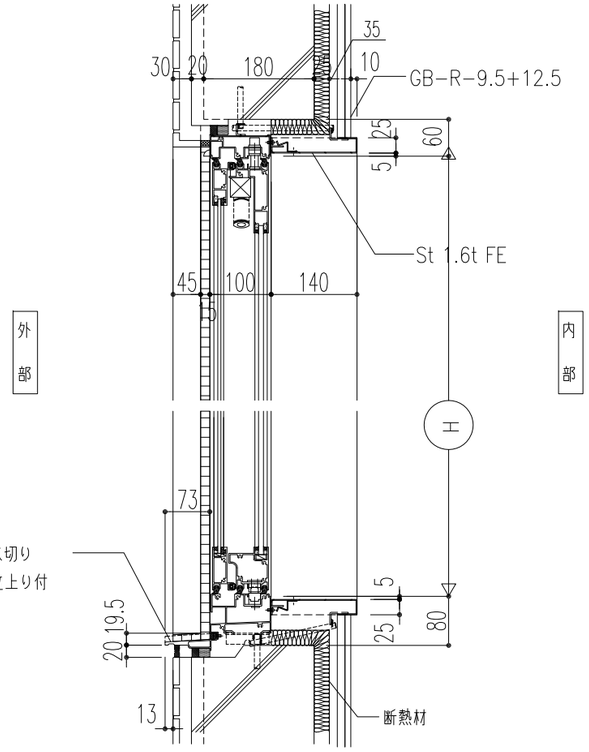
図面番号 A－89 (219/402)

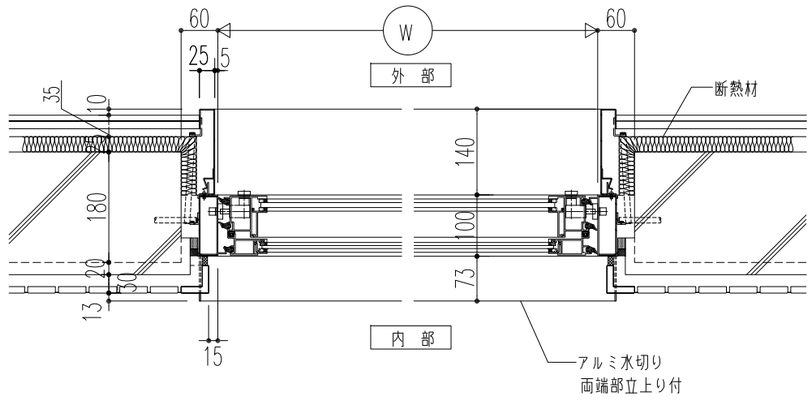
AW−K01～03 詳細図　改修前　　S=1:5





AW−K04～06 詳細図　改修前　　S=1:5

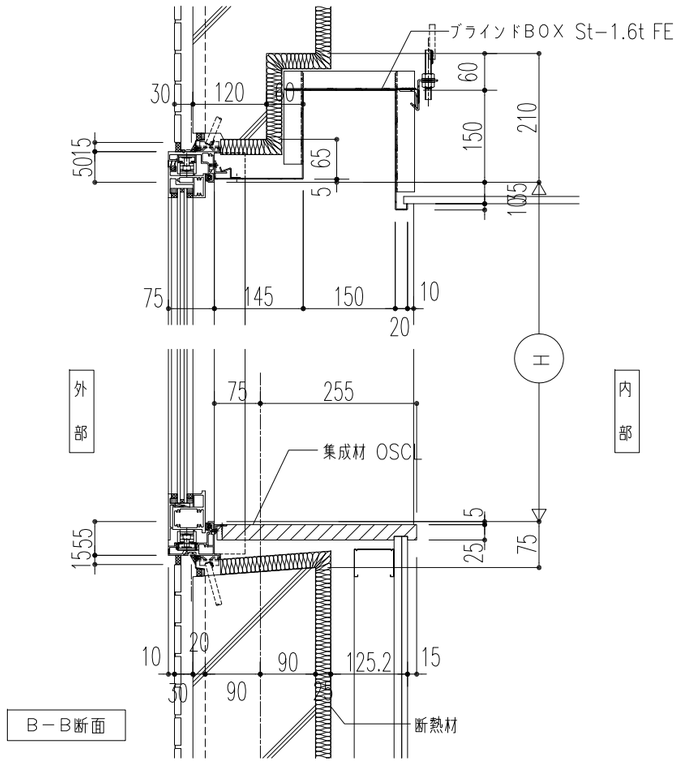




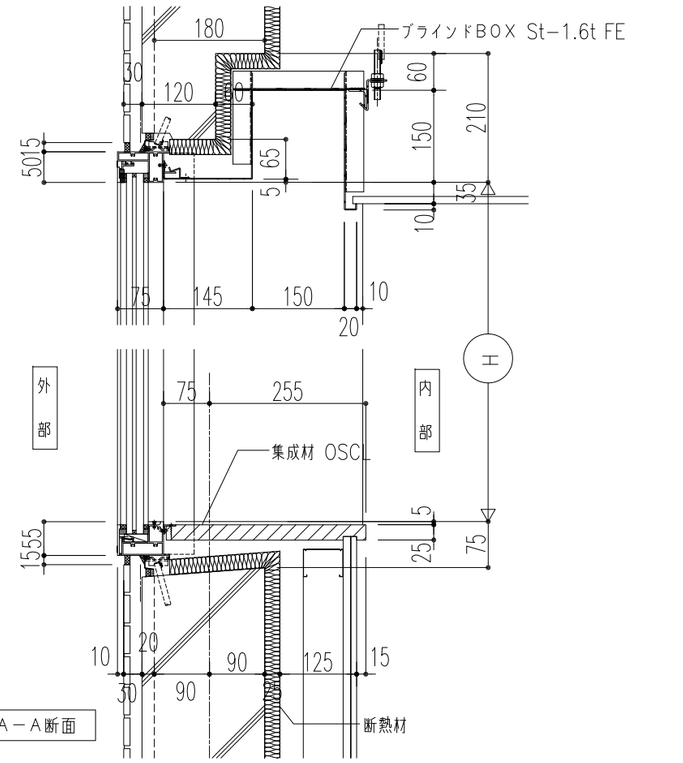
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	（改修前）外部建具詳細図（１）AW-K01～06
		縮尺	1:5
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-90 （220/402）

AW−K17 詳細図　改修前

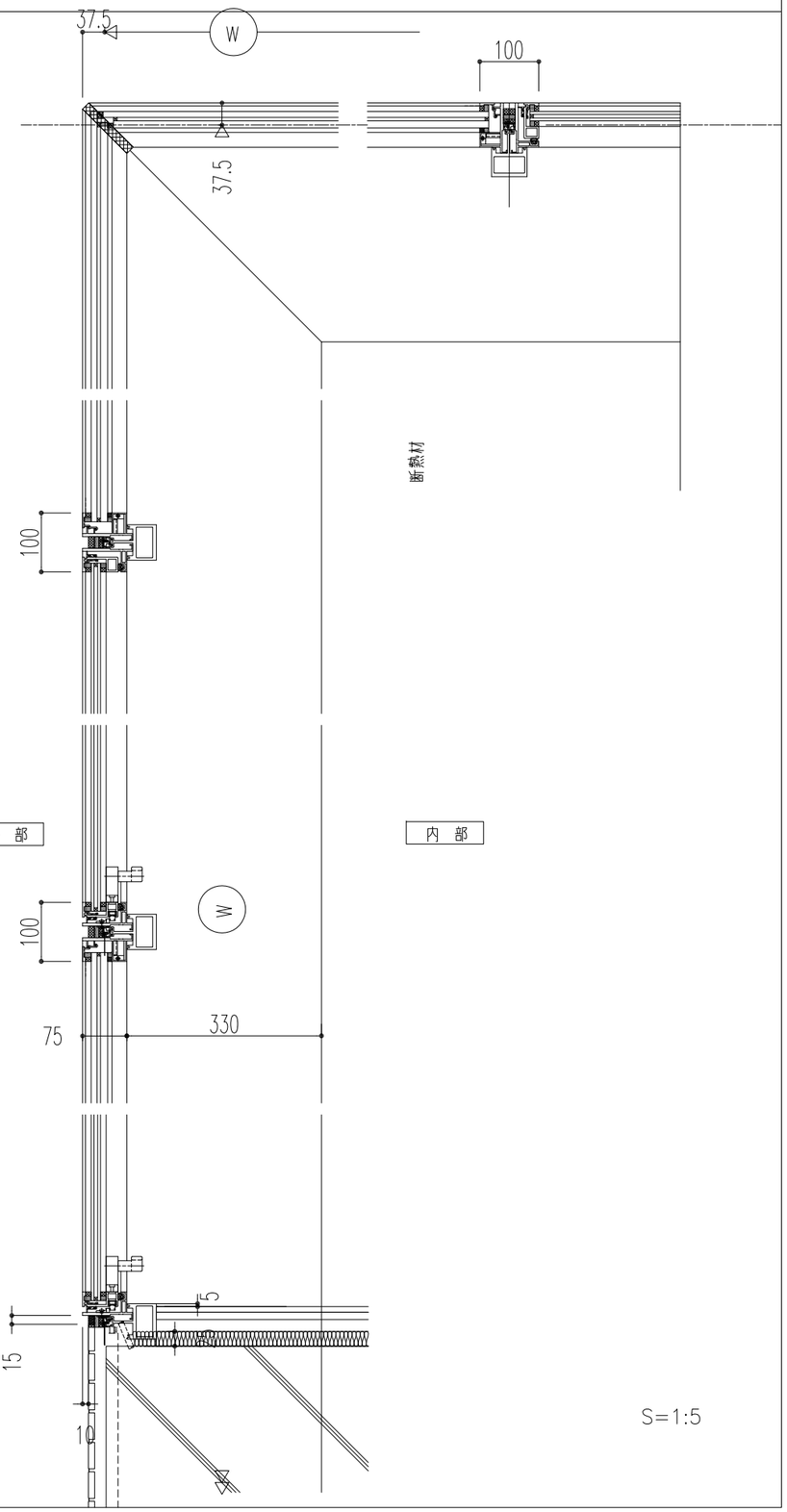
S=1:5



B−B断面



A−A断面

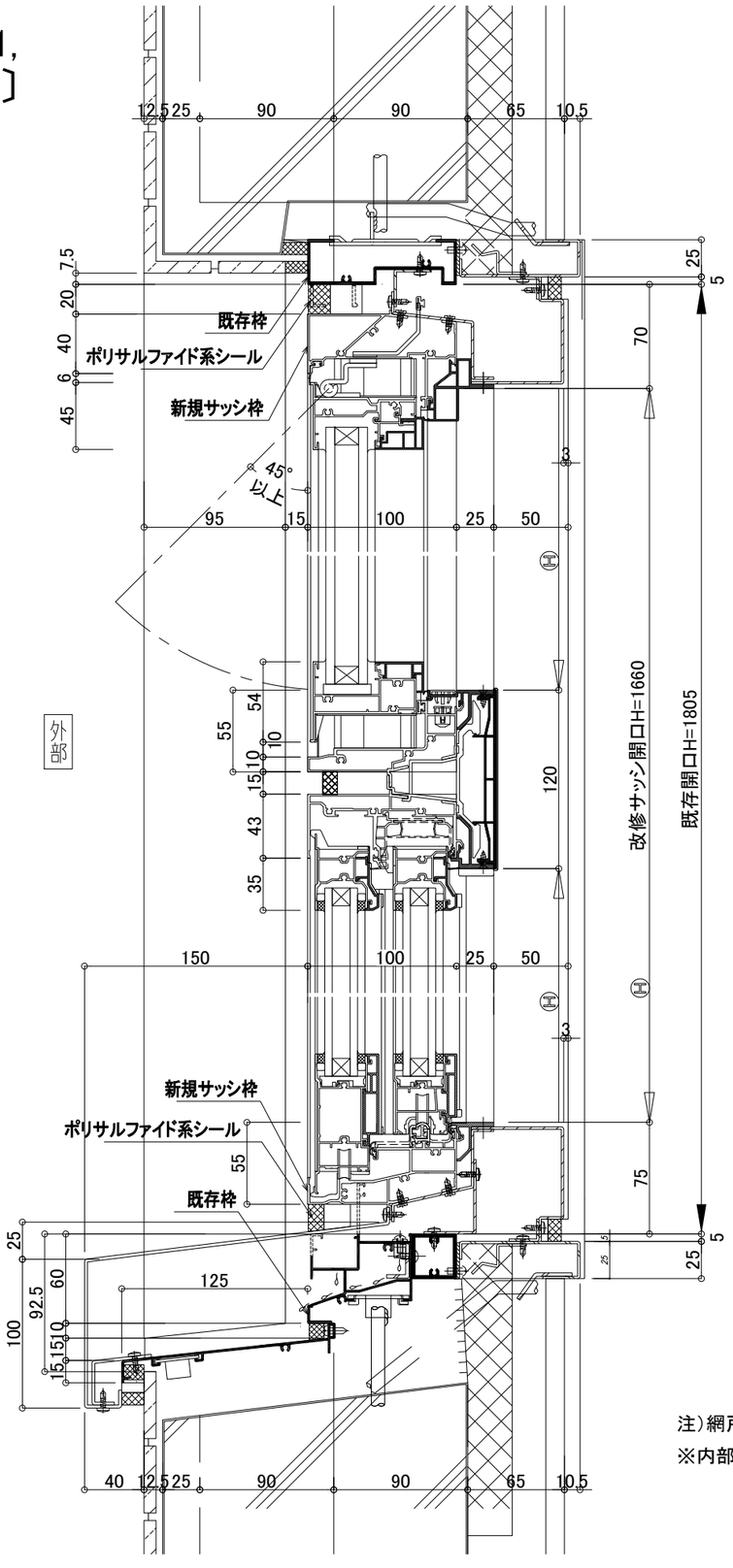


S=1:5

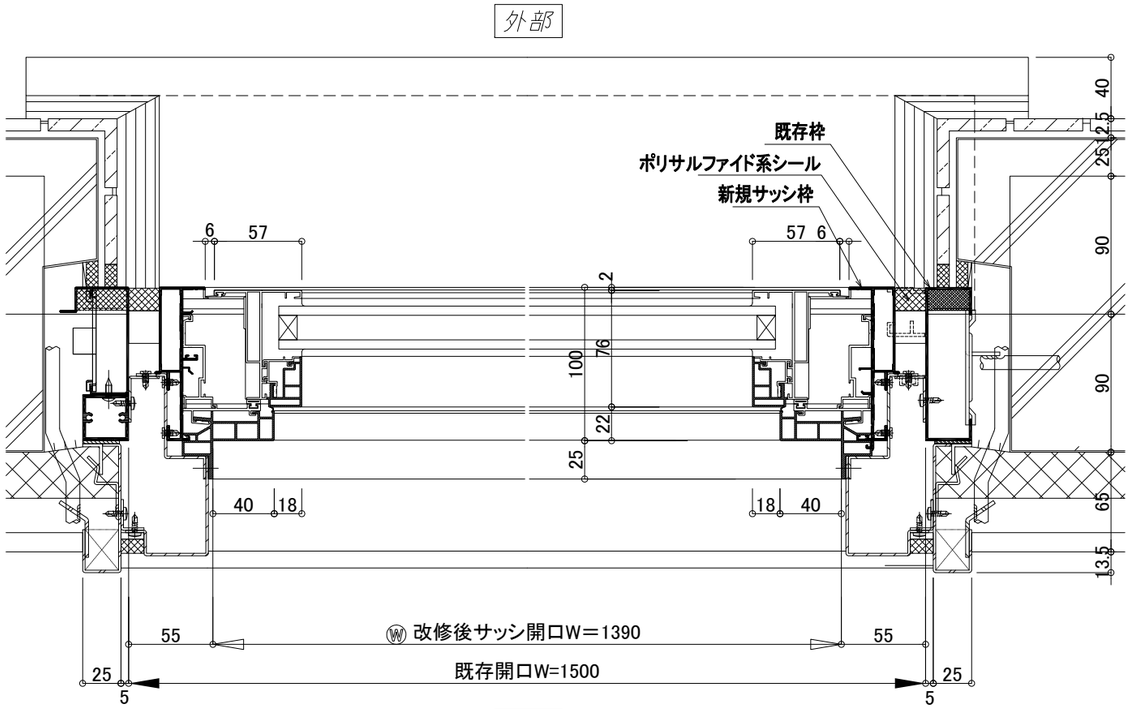
千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	（改修前）外部建具詳細図（２）AW-K17
		縮尺	1:5
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-91 (221/402)

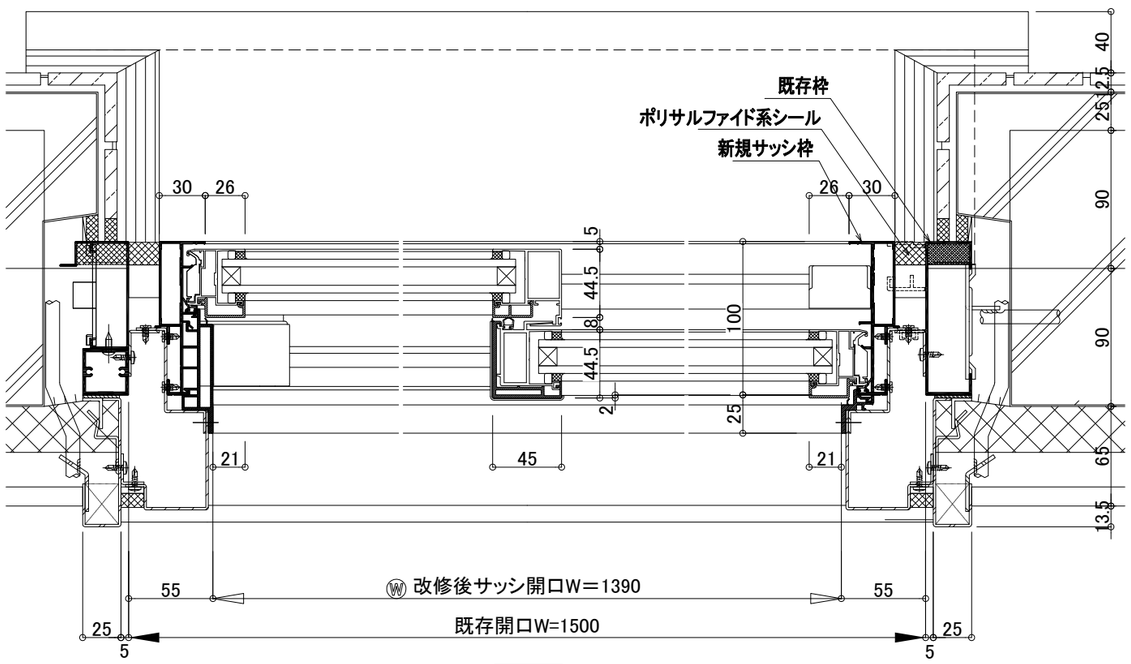
〔AW-K01,
K03,K16〕



注）網戸付き（上段内側、下段外側）
※内部額縁：SOP塗装（細幅物）新設



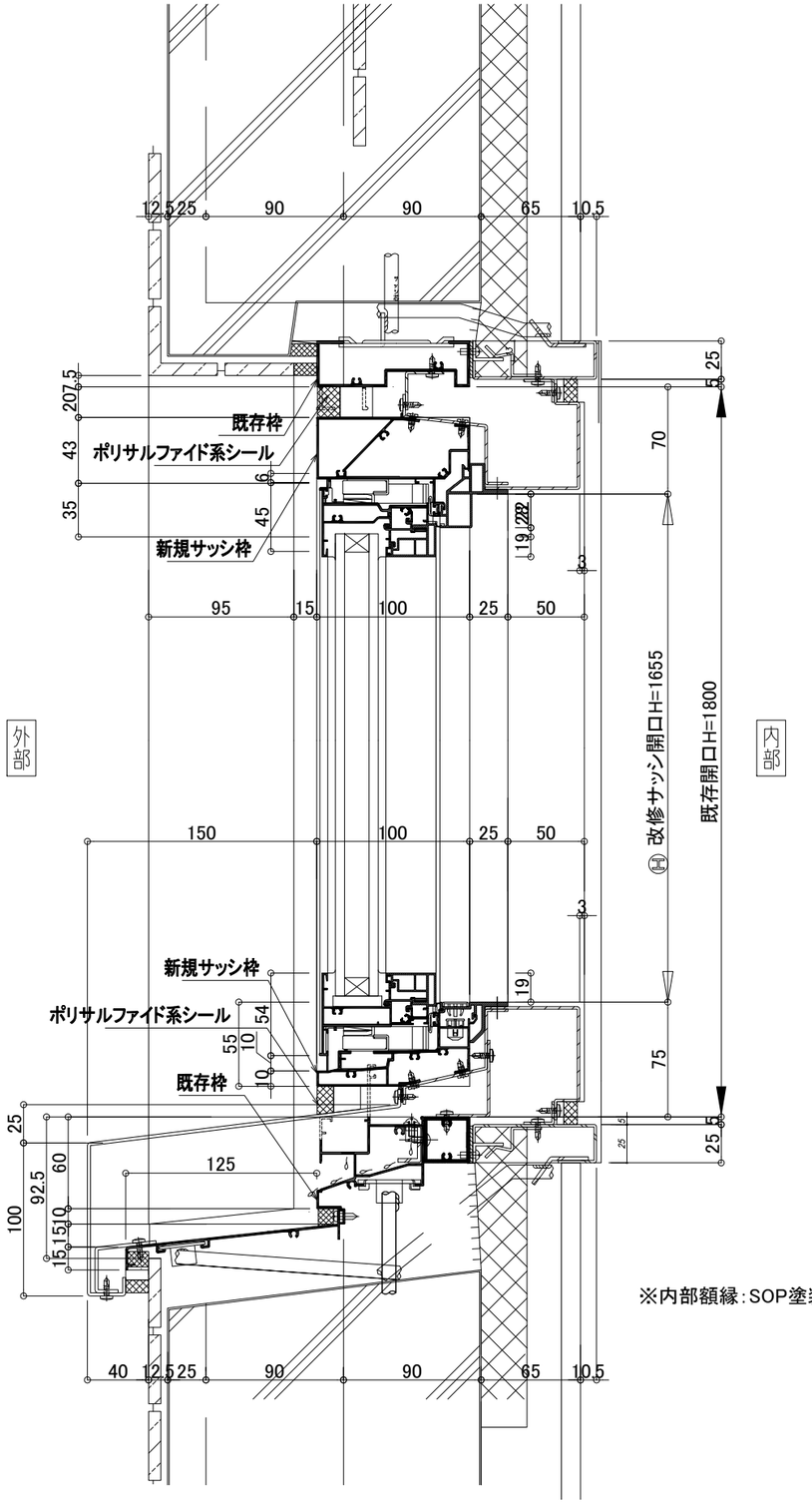
（上段）



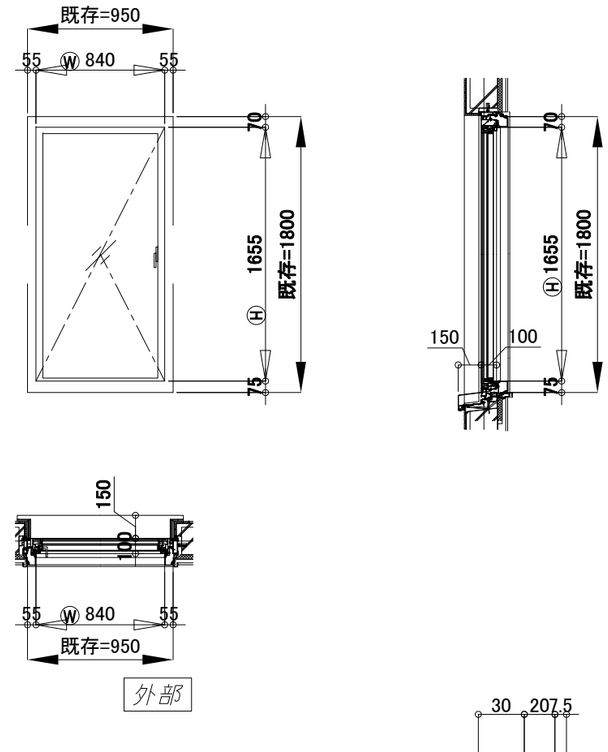
（下段）

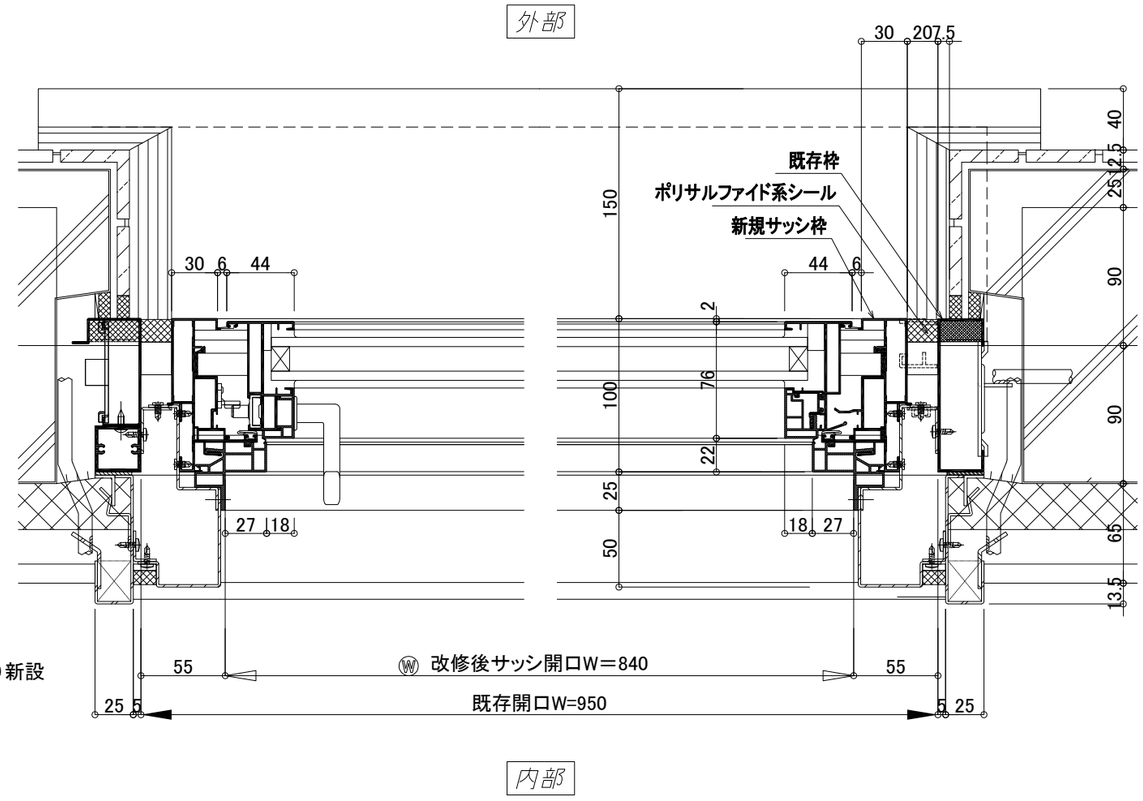
千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫 出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 A-92
	図面名	（改修後）建具詳細図（１）排煙窓	縮尺 1:2
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度 (222/402)

〔AW-K04〕



※内部額縁：SOP塗装（細幅物）新設

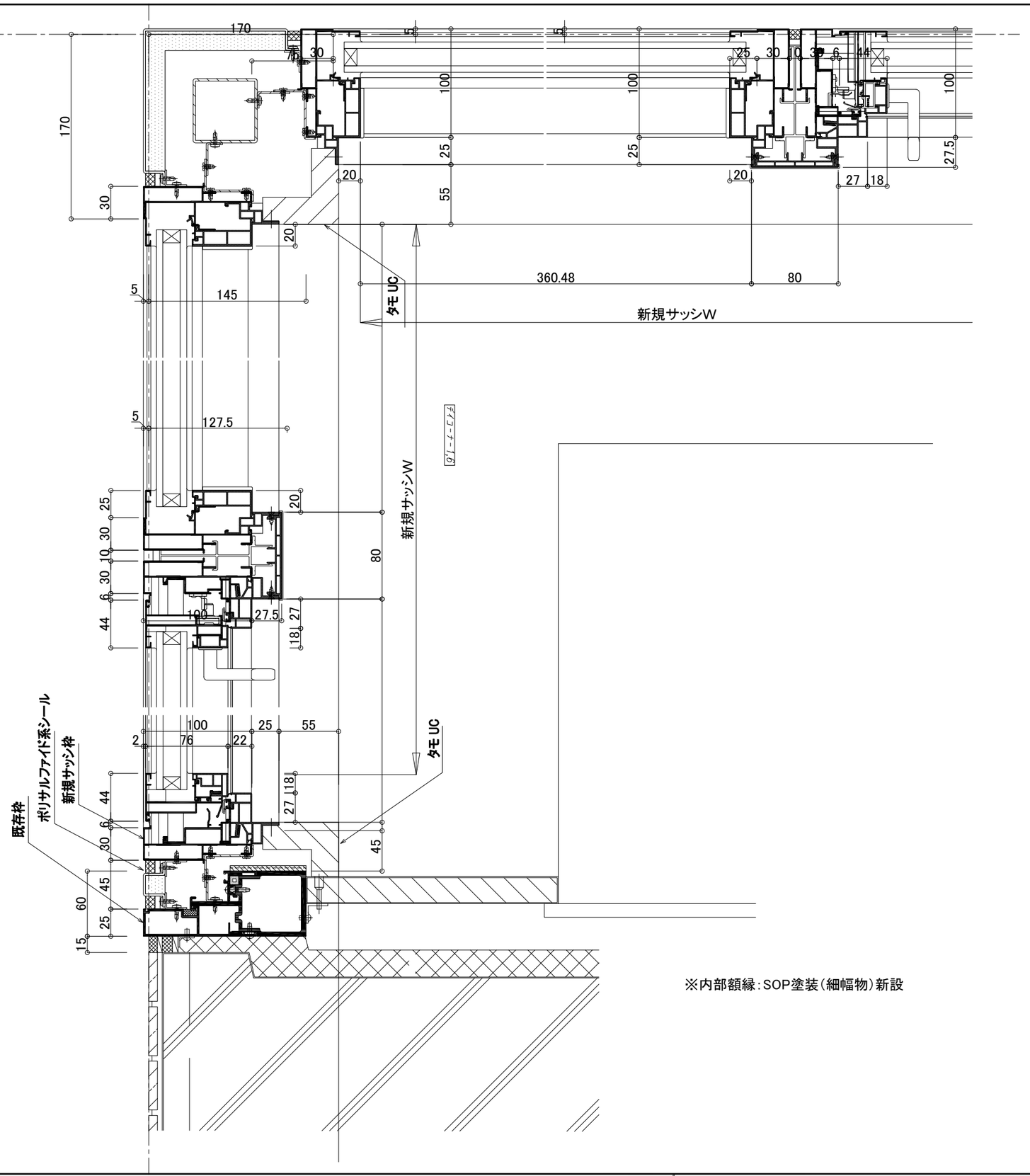




出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	（改修後）建具詳細図（２）滑り出し窓
		縮尺	1:2
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-93 (223/402)

〔AW-K17〕

平面詳細図



※内部額縁：SOP塗装（細幅物）新設

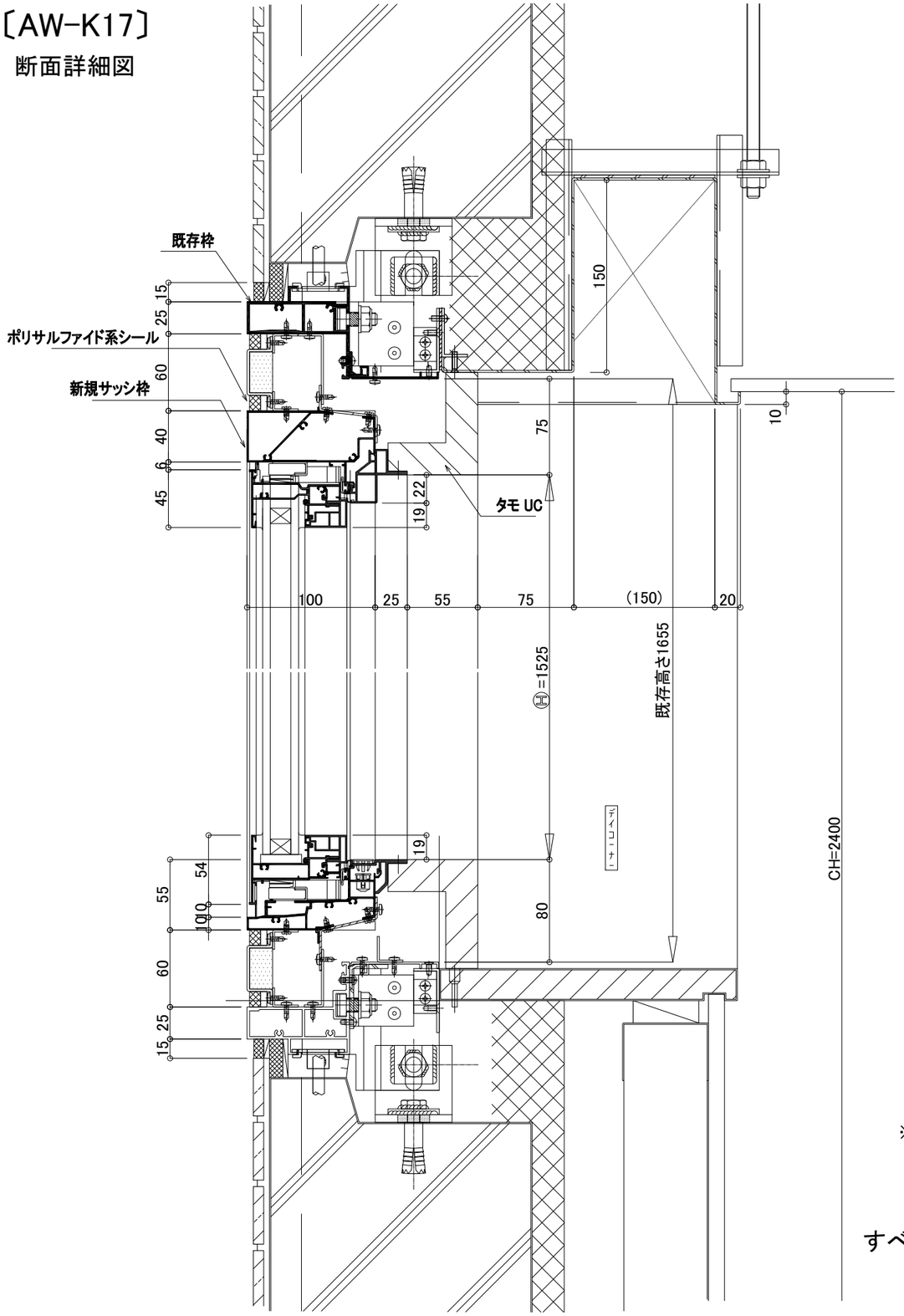
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-94 (224/402)
図面名	（改修後）建具詳細図（３）AW-K17	縮尺	1:2
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	

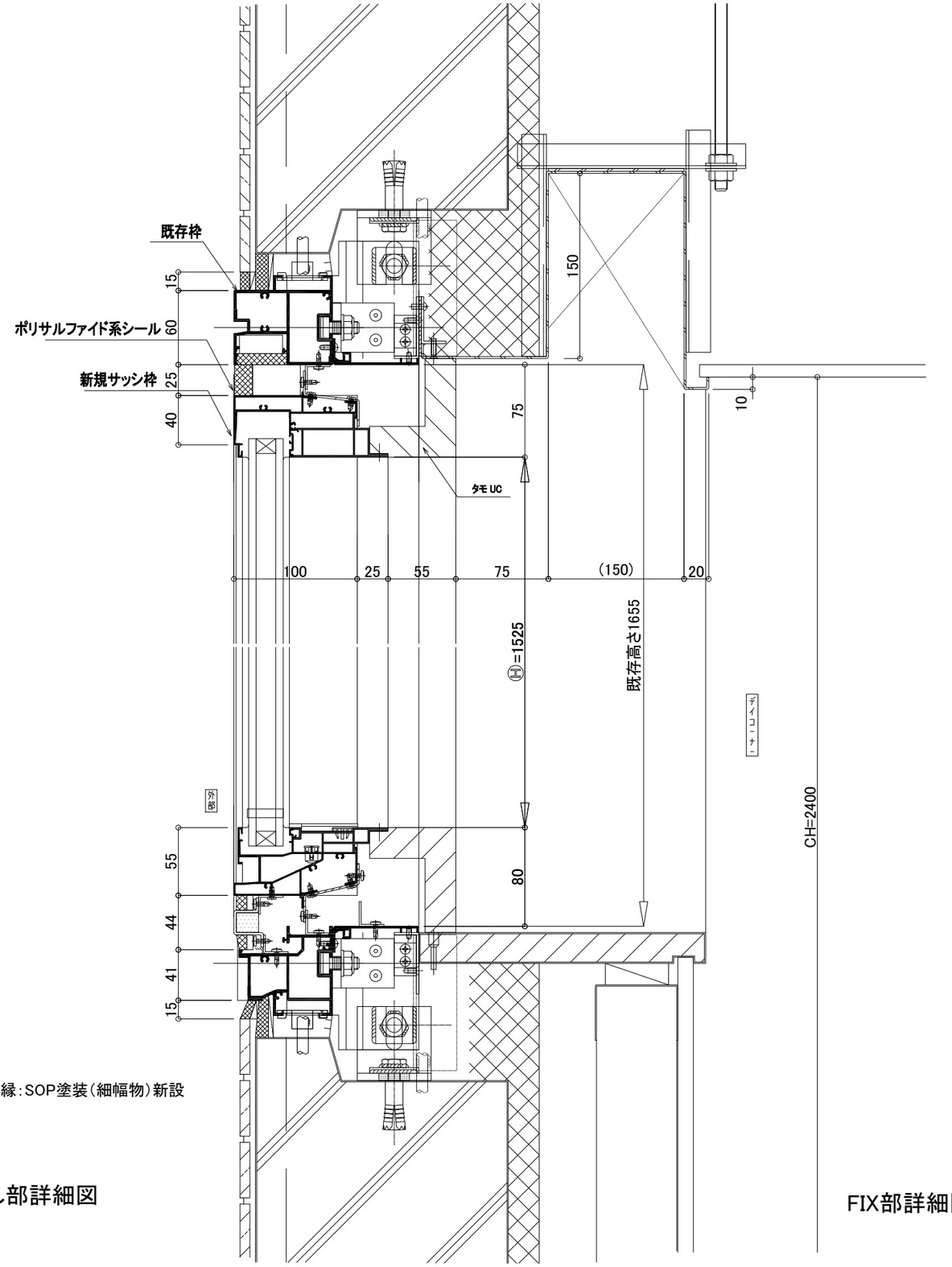
〔AW-K17〕

断面詳細図



すべり出し部詳細図

※内部額縁：SOP塗装（細幅物）新設



FIX部詳細図

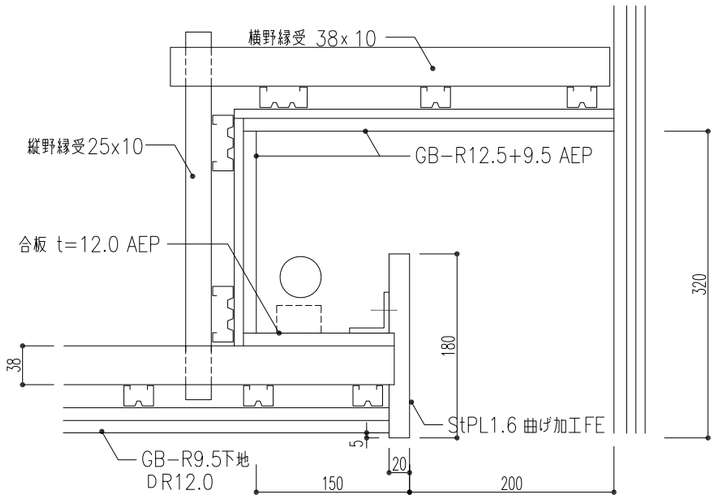
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	（改修後）建具詳細図（４）AW-K17
縮尺	1:2
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-95 (225/402)

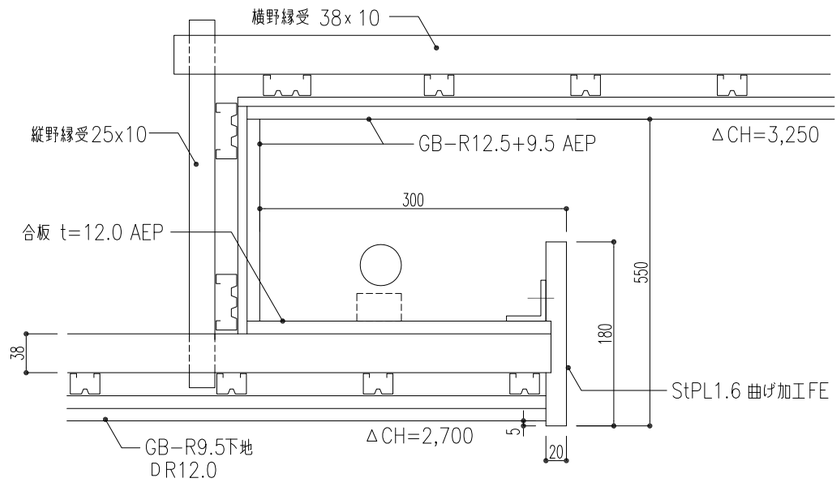
照明ボックスA（LB−A） S=1:3（参考）

（残置）



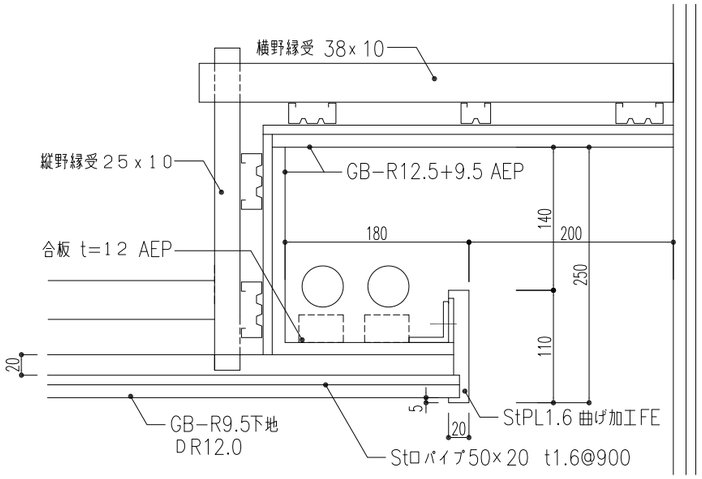
折り上げ天井断面図（LB−F） S=1:3

※1階：外来ホール



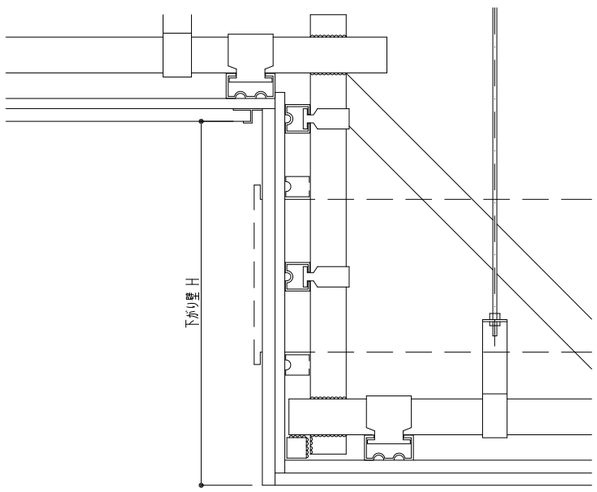
照明ボックスH（LB−H） S=1:3（参考）

（残置）



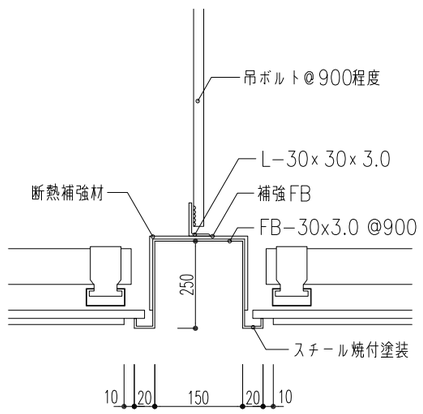
下がり壁断面図 S=1:3

2〜4階：床室



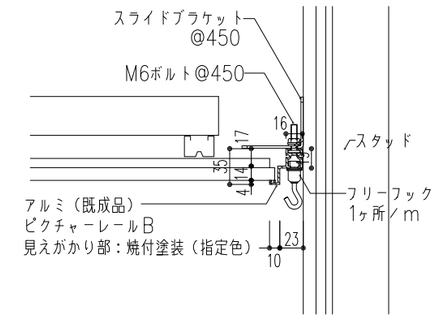
スクリーンボックス（SCB） S=1:3（参考）

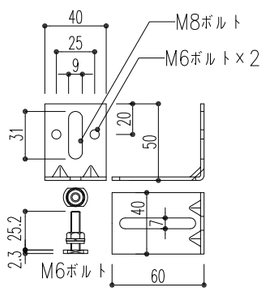
（残置）



ピクチャーレールB （PR−B） S=1:3（参考）

（残置）

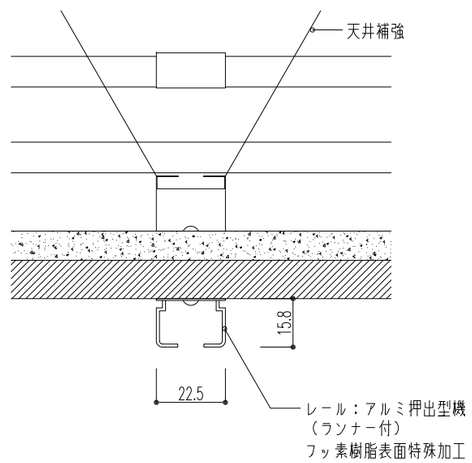




※スライドブラケット詳細図
@450

カーテンレールA（CT） S=1:1

2〜4階：床室



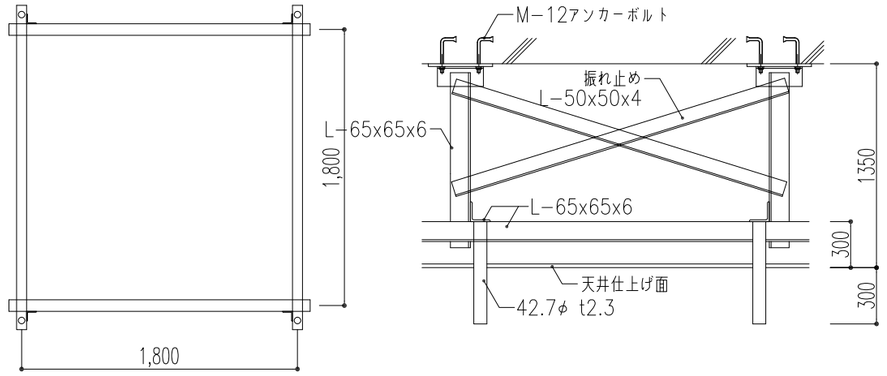
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	雑詳細図（1）
縮尺	図示
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A−96（226/402）

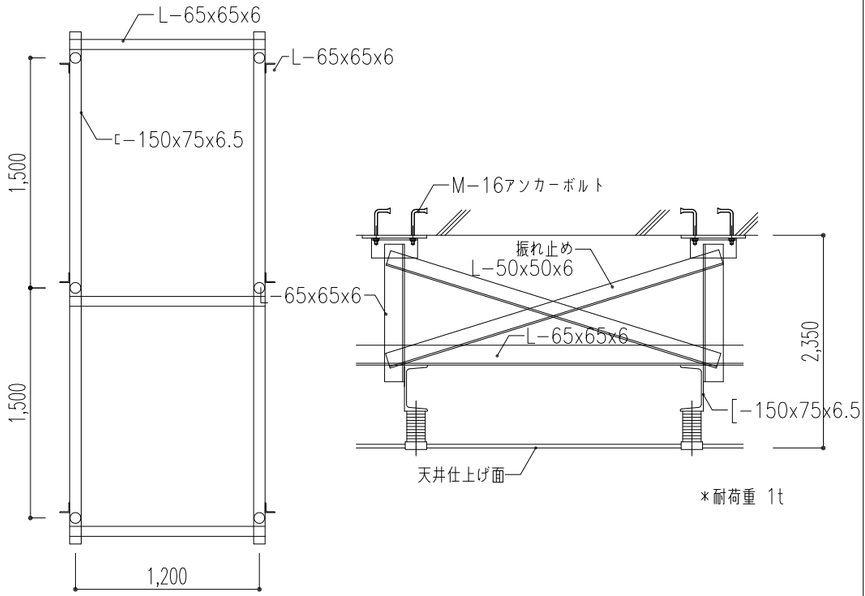
オーバーヘッドフレーム架台 S=1:10,20（参考）

（残置）



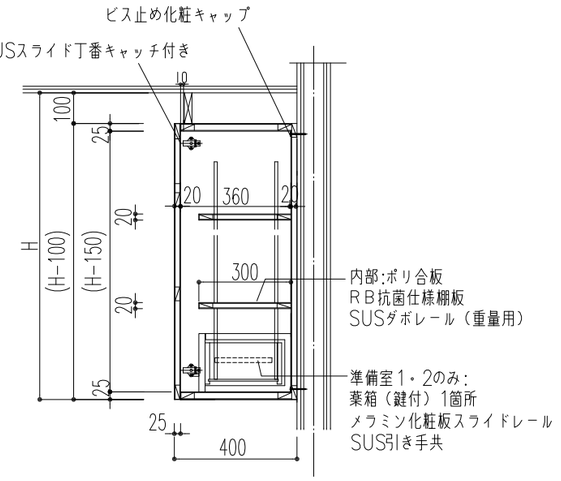
放射線天井走行レール架台 S=1:10,20（参考）

（残置）



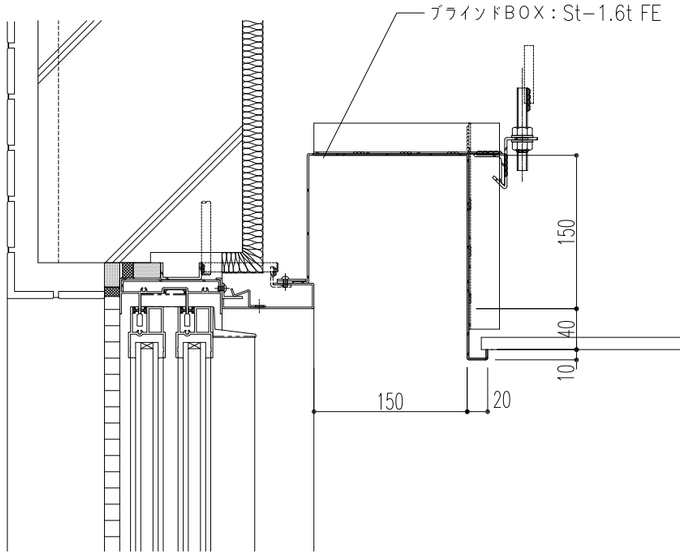
吊り戸棚 S=1:10（参考）

（残置）



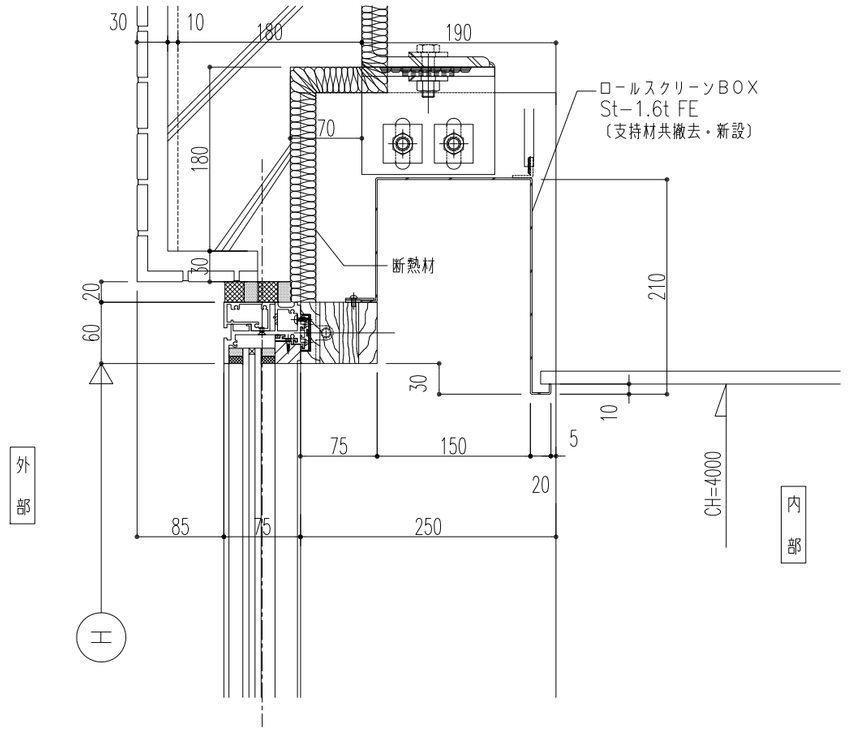
ブラインドBOX（BB） S=1:3（参考）

（残置）



ロールスクリーンBOX（RSB） S=1:3

喫茶ラウンジ



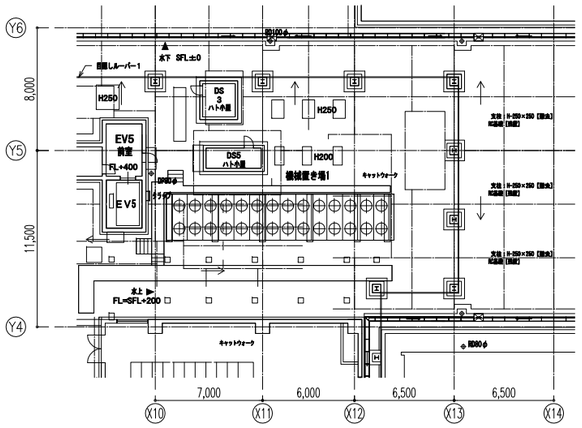
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	雑詳細図（2）
尺	図示
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

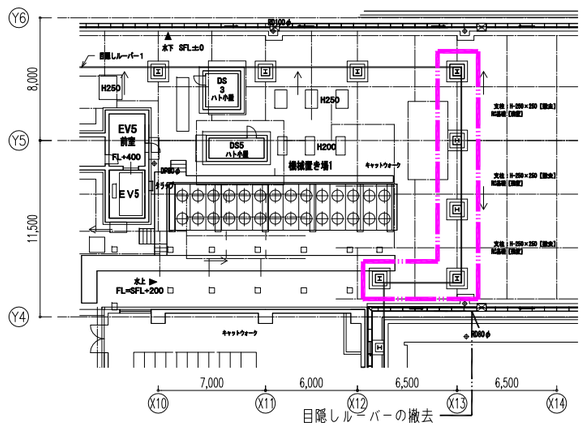
図面番号 A-97 (227/402)

屋上チラー改修に伴う屋上基礎ほか目隠しルーバー改修工事（建築）

①：現況（改修前）

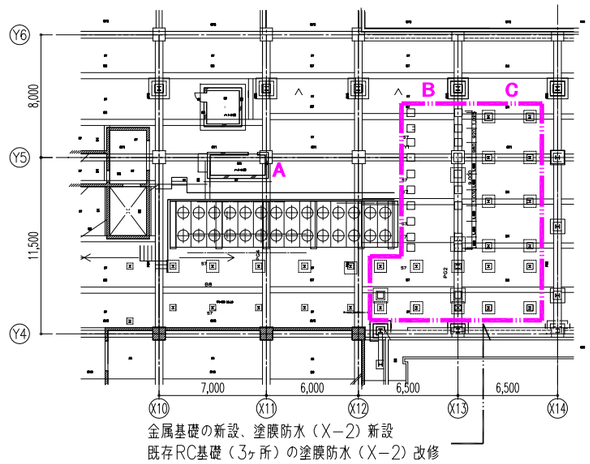


②：目隠しルーバーの撤去



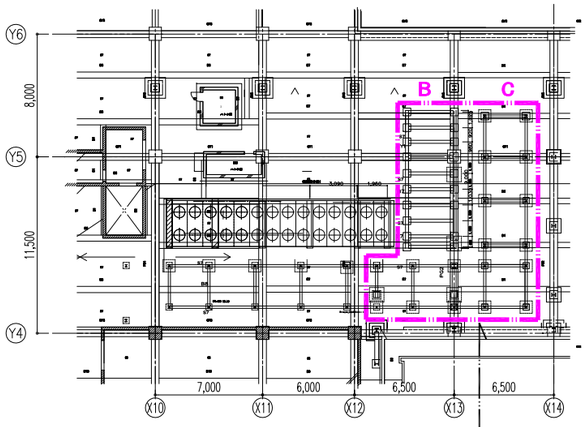
目隠しルーバーの撤去

③：B・C部金属基礎新設



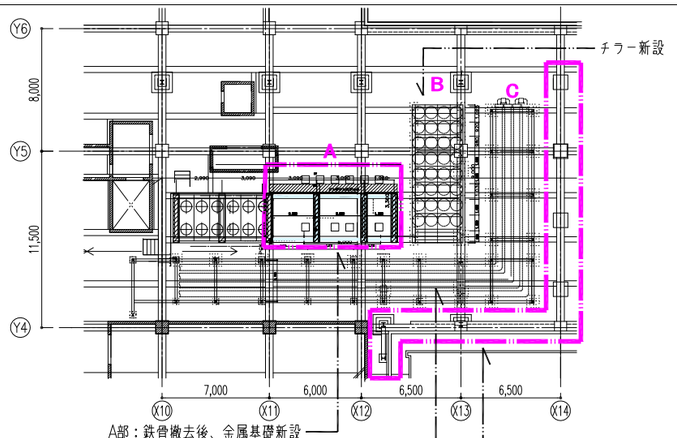
金属基礎の新設、塗膜防水（X−2）新設
既存RC基礎（3ヶ所）の塗膜防水（X−2）改修

④：B・C部鉄骨架台新設



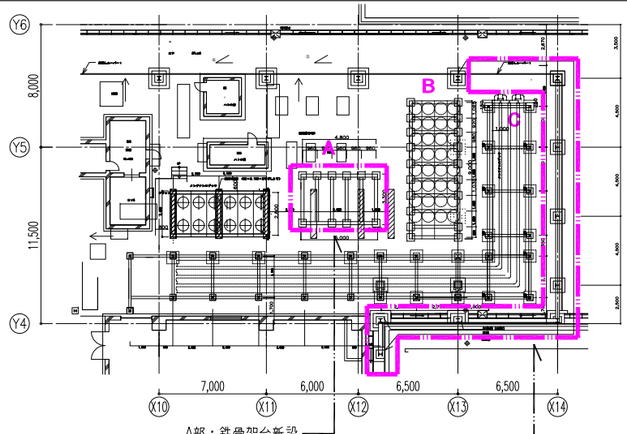
鉄骨架台の新設：B，配管架台の新設：C

⑤：チラー新設、A部鉄骨撤去後・金属基礎、目隠しルーバー基礎



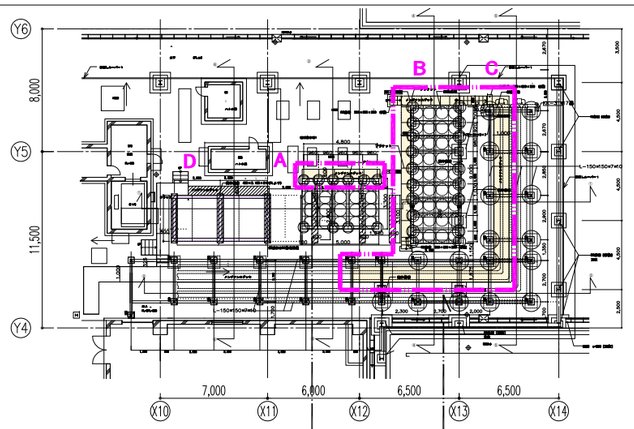
A部：鉄骨撤去後、金属基礎新設
チラー設置、配管延長（機械設備）
目隠しルーバーの基礎新設及び周囲防水改修

⑥：鉄骨架台Aの新設、目隠しルーバー鉄骨新設



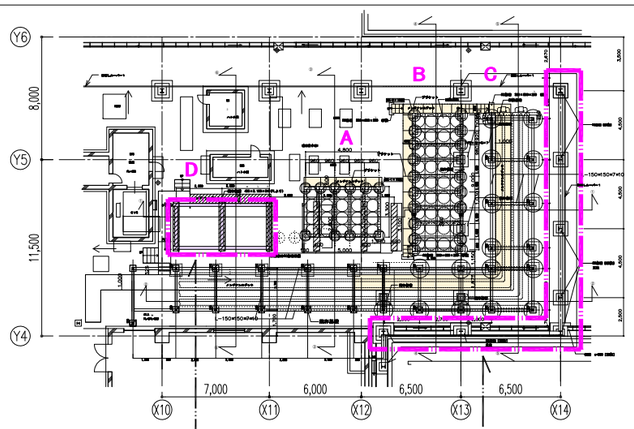
A部：鉄骨架台新設
目隠しルーバーの鉄骨新設

⑦：A部チラー新設・メンテナンスデッキの新設



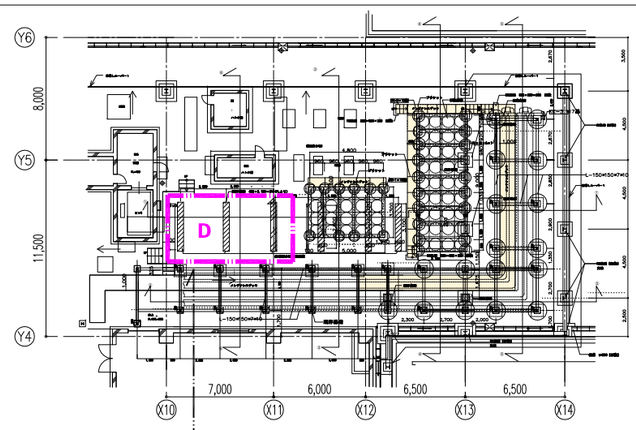
A部：チラー新設
メンテナンスデッキの新設：A・B・C

⑧：D部 鉄骨架台の撤去、目隠しルーバー新設



鉄骨架台の撤去
目隠しルーバー新設

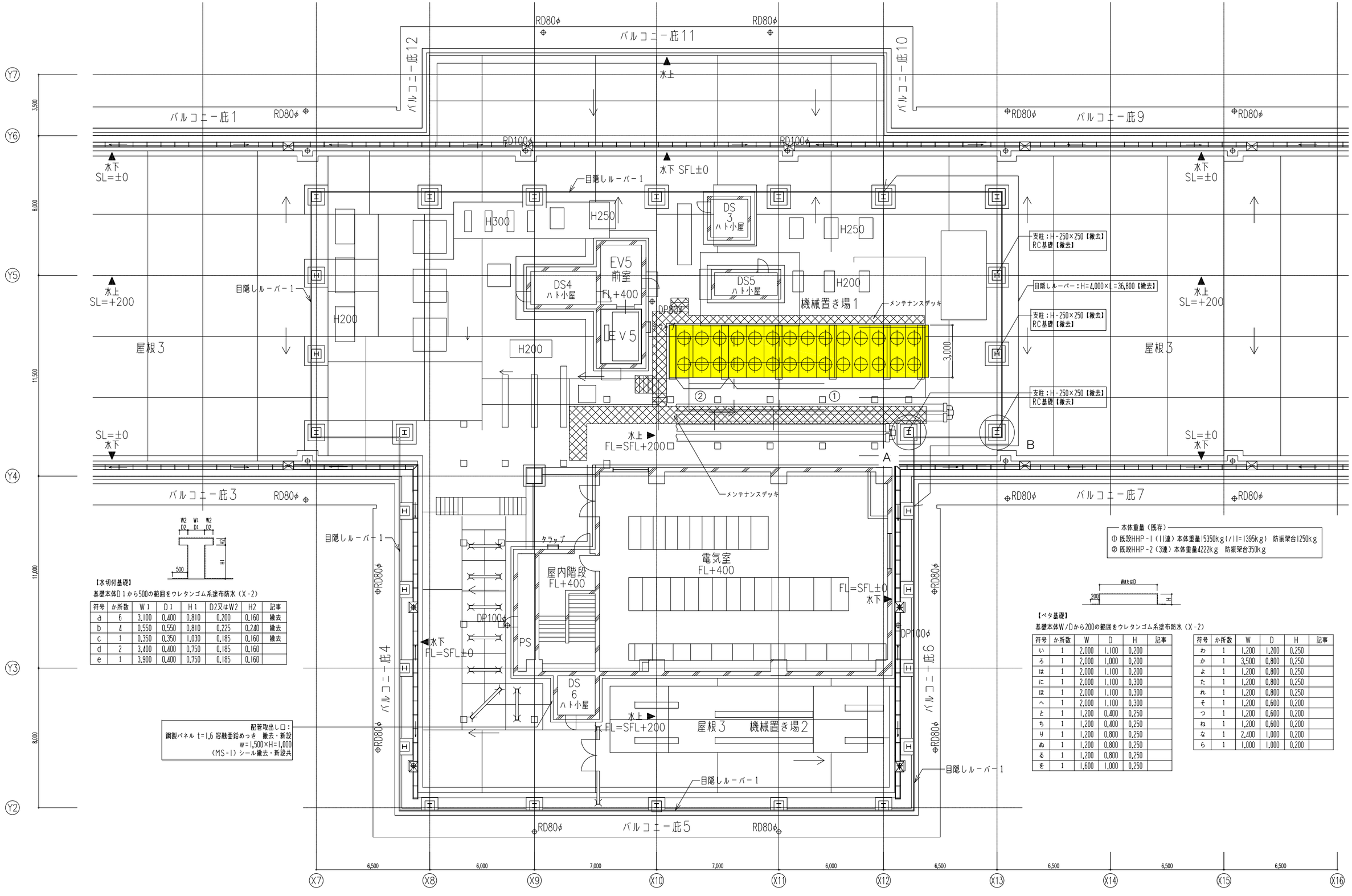
⑨：D部 RC基礎の周囲防水改修



RC基礎の周囲屋上防水

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	PH階屋上基礎ほか改修概要
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度
図面番号	A-98 (228/402)



本体重量（既存）
① 既設HHP-1（1連）本体重量15350kg（1/1=1395kg） 防振架台1250kg
② 既設HHP-2（3連）本体重量4222kg 防振架台350kg

【水切付基礎】
基礎本体D1から500の範囲をウレタンゴム系塗布防水（X-2）

符号	か所数	W1	D1	H1	D2又はW2	H2	記事
a	6	3,100	0,400	0,810	0,200	0,160	撤去
b	4	0,550	0,550	0,810	0,225	0,240	撤去
c	1	0,350	0,350	1,030	0,185	0,160	撤去
d	2	3,400	0,400	0,750	0,185	0,160	
e	1	3,900	0,400	0,750	0,185	0,160	

配管取出し口：
鋼製パネル t=1.6 溶融亜鉛めっき 撤去・新設
W=1,500×H=1,000
（MS-1）シール撤去・新設共

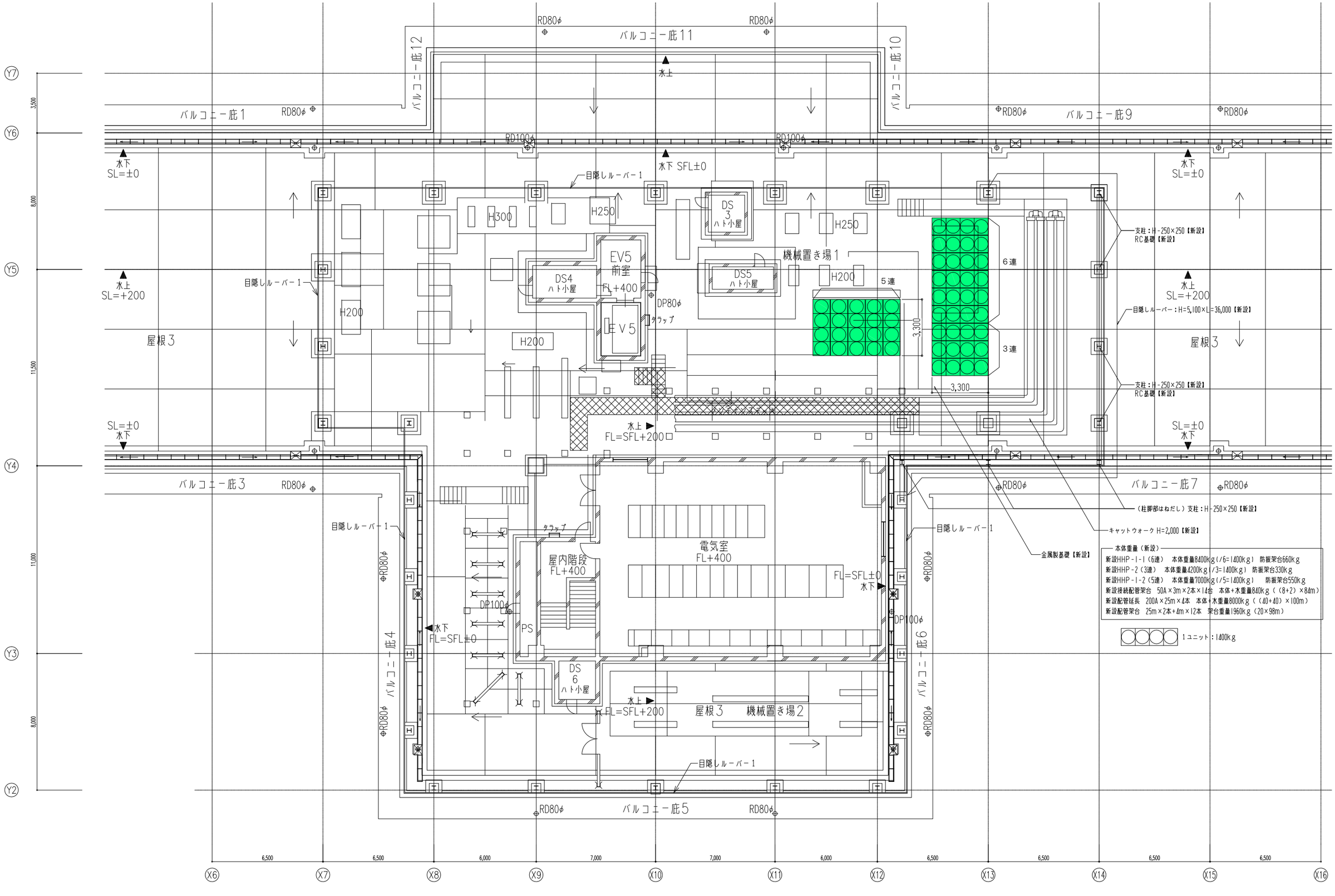
【ベタ基礎】
基礎本体W/Dから200の範囲をウレタンゴム系塗布防水（X-2）

符号	か所数	W	D	H	記事
い	1	2,000	1,100	0,200	
ろ	1	2,000	1,000	0,200	
は	1	2,000	1,100	0,200	
に	1	2,000	1,100	0,300	
ほ	1	2,000	1,100	0,300	
へ	1	2,000	1,100	0,300	
と	1	1,200	0,400	0,250	
ち	1	1,200	0,400	0,250	
り	1	1,200	0,800	0,250	
ぬ	1	1,200	0,800	0,250	
る	1	1,200	0,800	0,250	
を	1	1,600	1,000	0,250	

符号	か所数	W	D	H	記事
わ	1	1,200	1,200	0,250	
か	1	3,500	0,800	0,250	
よ	1	1,200	0,800	0,250	
た	1	1,200	0,800	0,250	
れ	1	1,200	0,800	0,250	
そ	1	1,200	0,600	0,200	
つ	1	1,200	0,600	0,200	
ね	1	1,200	0,600	0,200	
な	1	2,400	1,000	0,200	
ら	1	1,000	1,000	0,200	

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-99
図面名	（改修前）PH階機械置場平面図	縮尺 1:100	（229/402）
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	（改修後）PH階機械置場平面図
		縮尺	1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-100（230/402）

凡　例

（既存）　メンテナンスデッキ

（撤去）　メンテナンスデッキ

（撤去）　鉄骨設備架台　H－200×200×8×12　（先行）

（撤去）　鉄骨設備架台　H－200×200×8×12　（最終）

RD80φ

RD100φ

水下　SFL±0

目隠しルーバー 1

支柱：H－250×250【撤去】

H250

DS
3
ハト小屋

斜線部メンテナンスデッキ　撤去
（最終）

H250

③

支柱：H－250×250【撤去】

ルーバー用基礎撤去
H－250×250共撤去

斜線部メンテナンスデッキ　撤去
（最終）

EV5

DS5
ハト小屋

H200

DS4
ハト小屋

前室
FL＋400

斜線部メンテナンスデッキ　撤去
（先行）

目隠しルーバー：H=5,100【撤去】

機械置き場Ⅰ

2,990　3,090　3,090　3,090　1,960

メンテナンスデッキ　600　メンテナンスデッキ

グラッチ

EV5

808

2,690　2,690　1,690

2,800

①

3,400　1,900　900　2,600　3,000　3,000　3,000　500　1,500

②

斜線部メンテナンスデッキ　撤去

支柱：H－250×250【撤去】

1,000　1,000

本体重量
1,395kg×11=15,350kg

水上 ▶
FL=SFL+200

本体重量
1,407kg×3=4,222kg

2,700

支柱：H－250×250【撤去】

ルーバー用基礎撤去
H－250×250共撤去

目隠しルーバー：H=5,100×L=23,000【撤去】

③ルーバー用基礎撤去
H－250×250共撤去

1,700

1,800

キャットウォーク

間柱H－150×150　撤去

RD80φ

7,000　6,000　6,500　6,500

3,500　4,500　4,500　2,500

8,000　11,500

Y6　Y5　Y4

X10　X11　X12　X13　X14

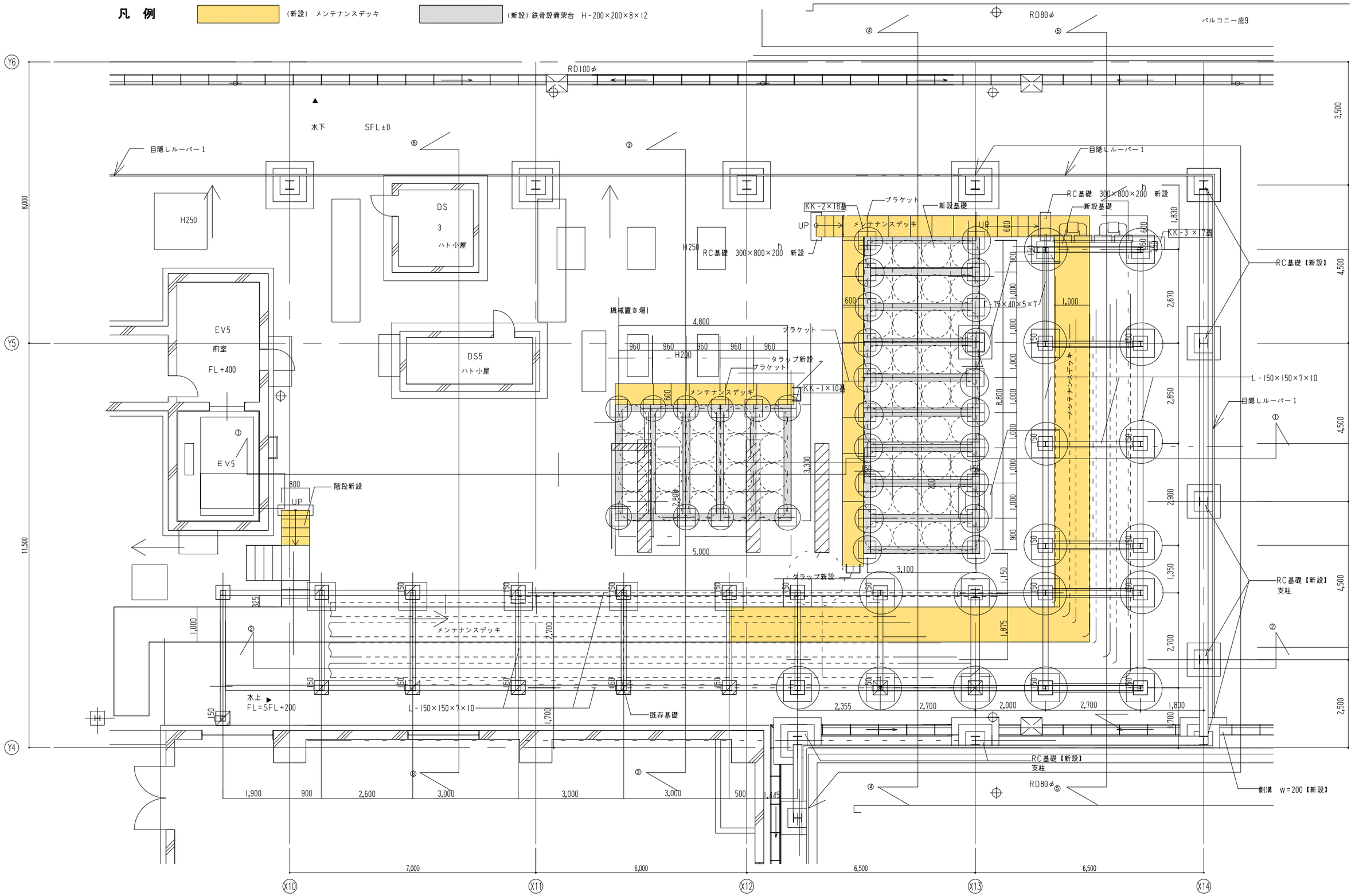
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

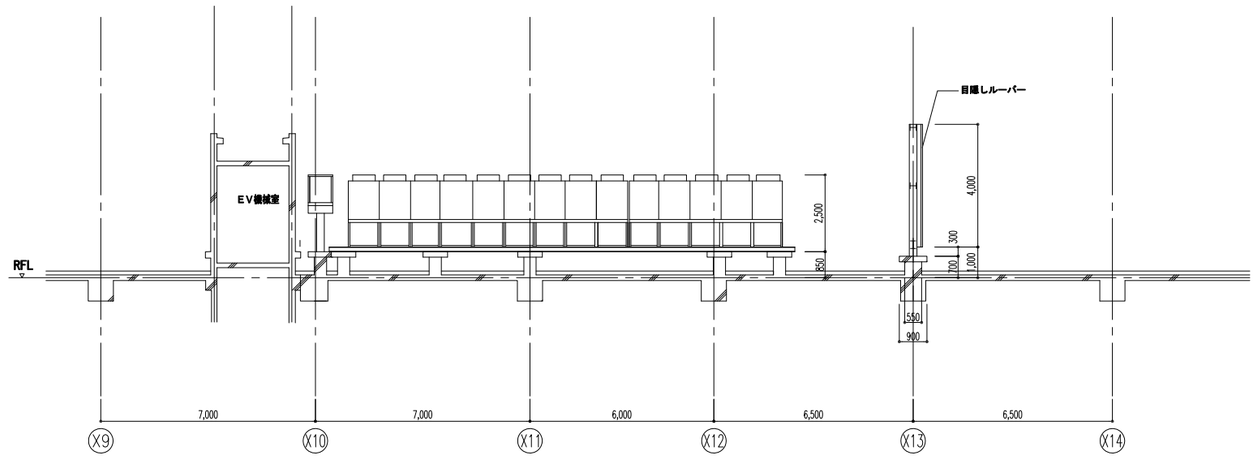
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	（改修前）PH階平面詳細図
尺度	1:50
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号
A－101
（231／402）

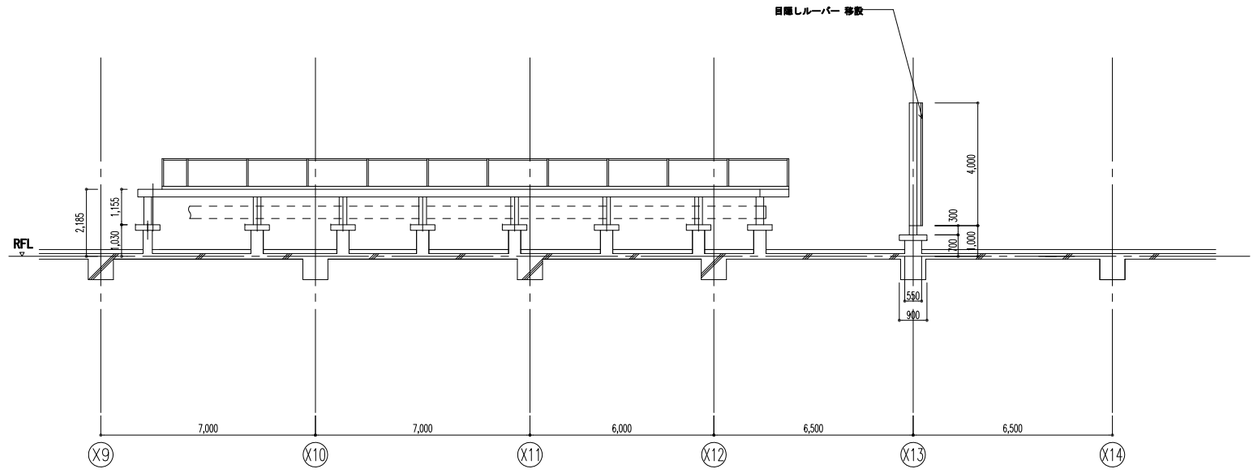
凡　例　（新設）　メンテナンスデッキ　（新設）鉄骨設備架台　H－200×200×8×12



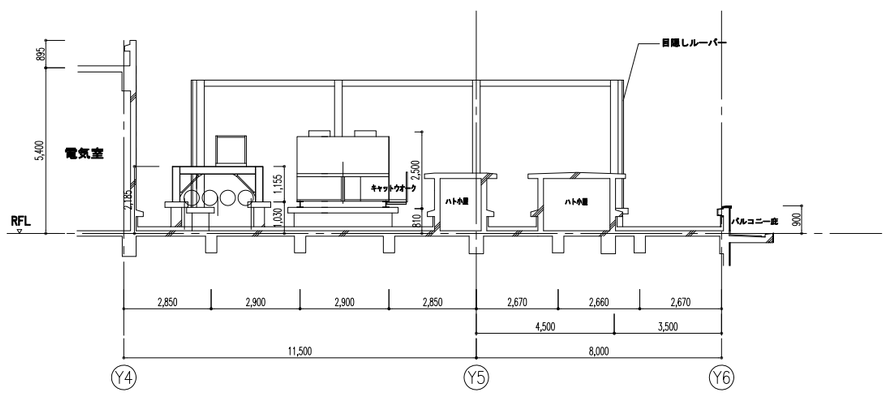
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS 千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 A－102 (232／402)
	図面名	（改修後）PH階平面詳細図	縮尺 1:50
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度



①～①断面図



②～②断面図

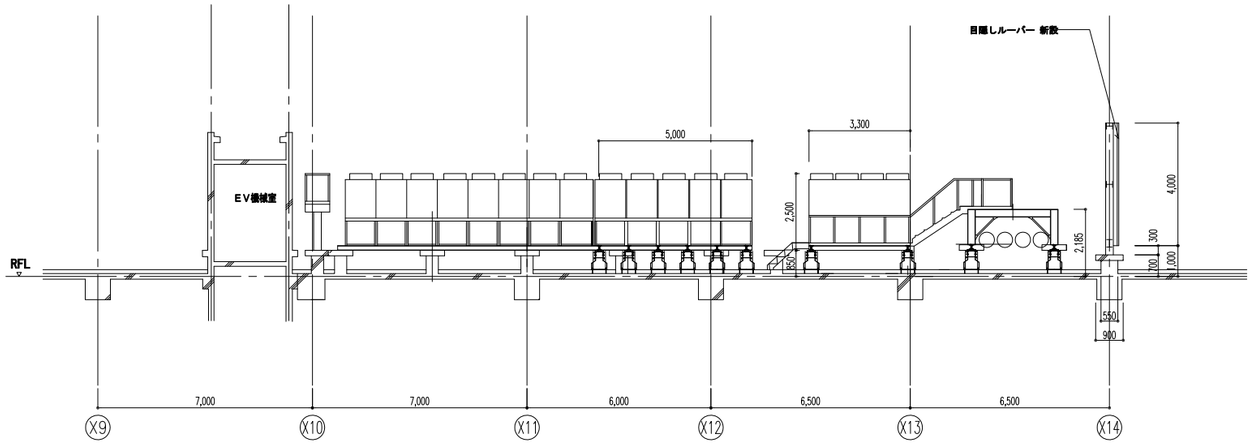


③～③断面図

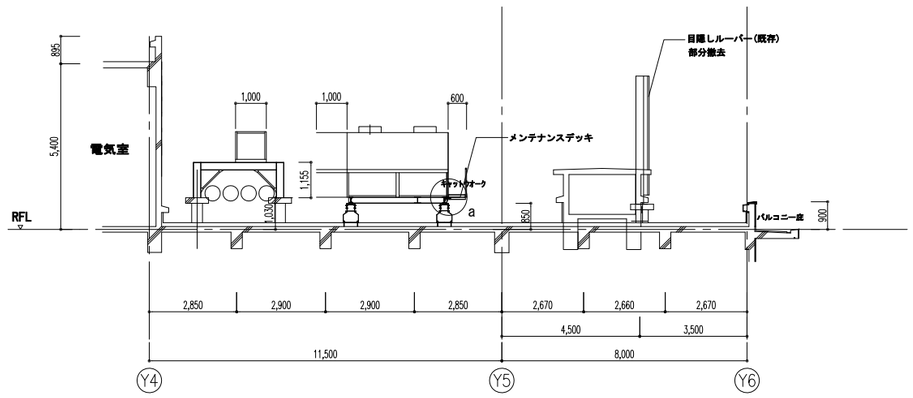
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

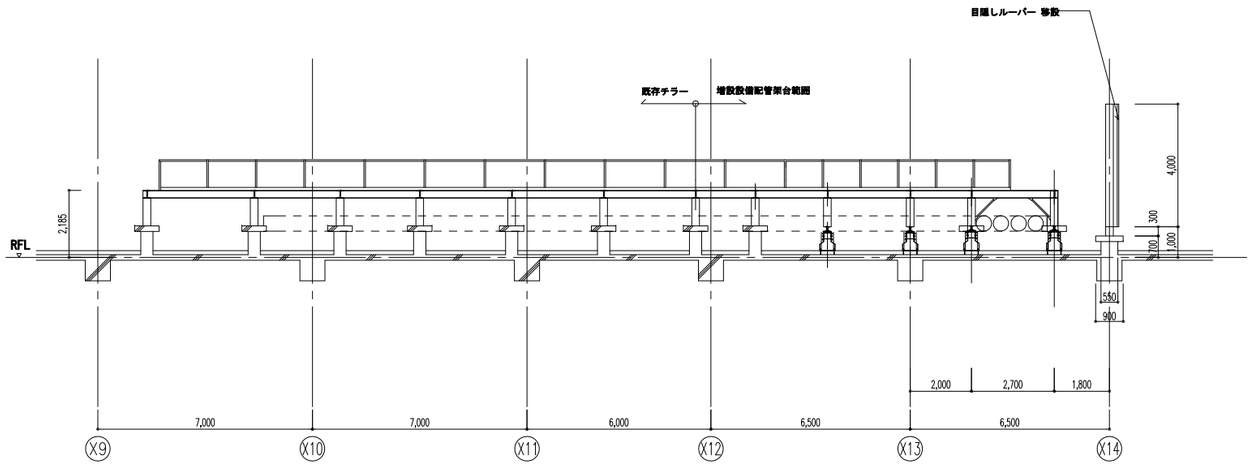
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-103 (233/402)
図面名	（改修前）屋上断面図	縮尺 1:100	
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



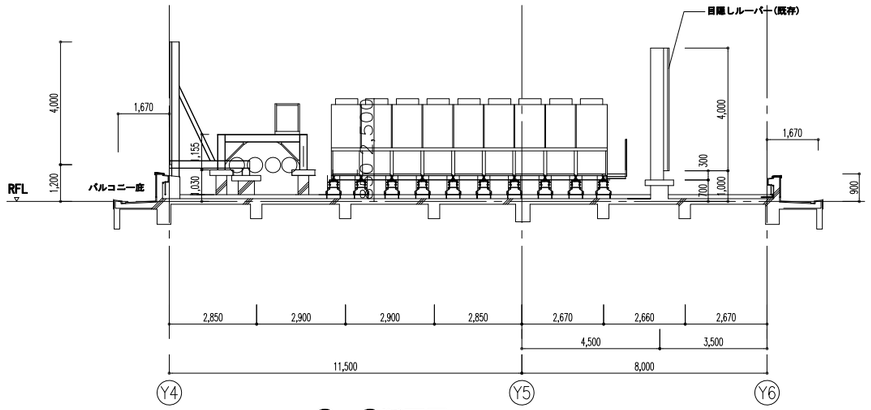
①～①断面図



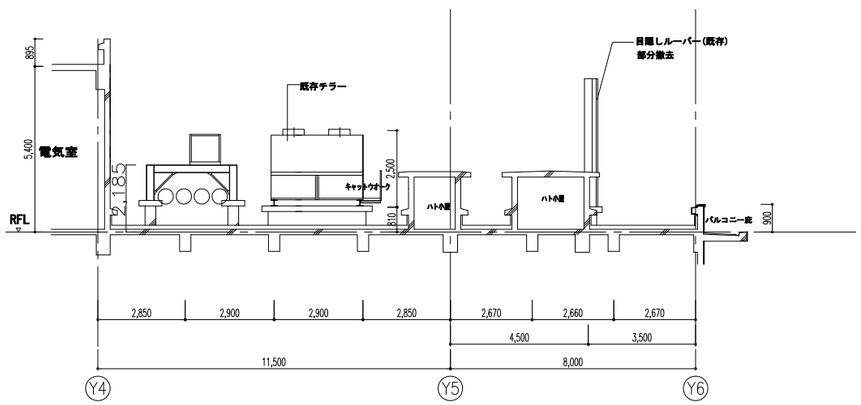
③～③断面図



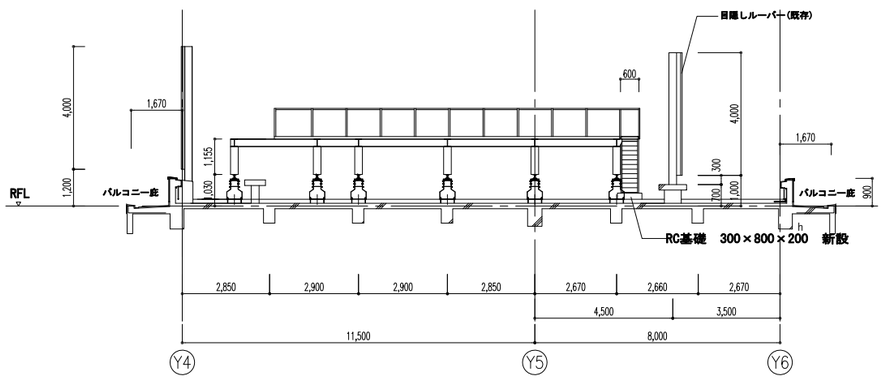
②～②断面図



④～④断面図



⑥～⑥断面図



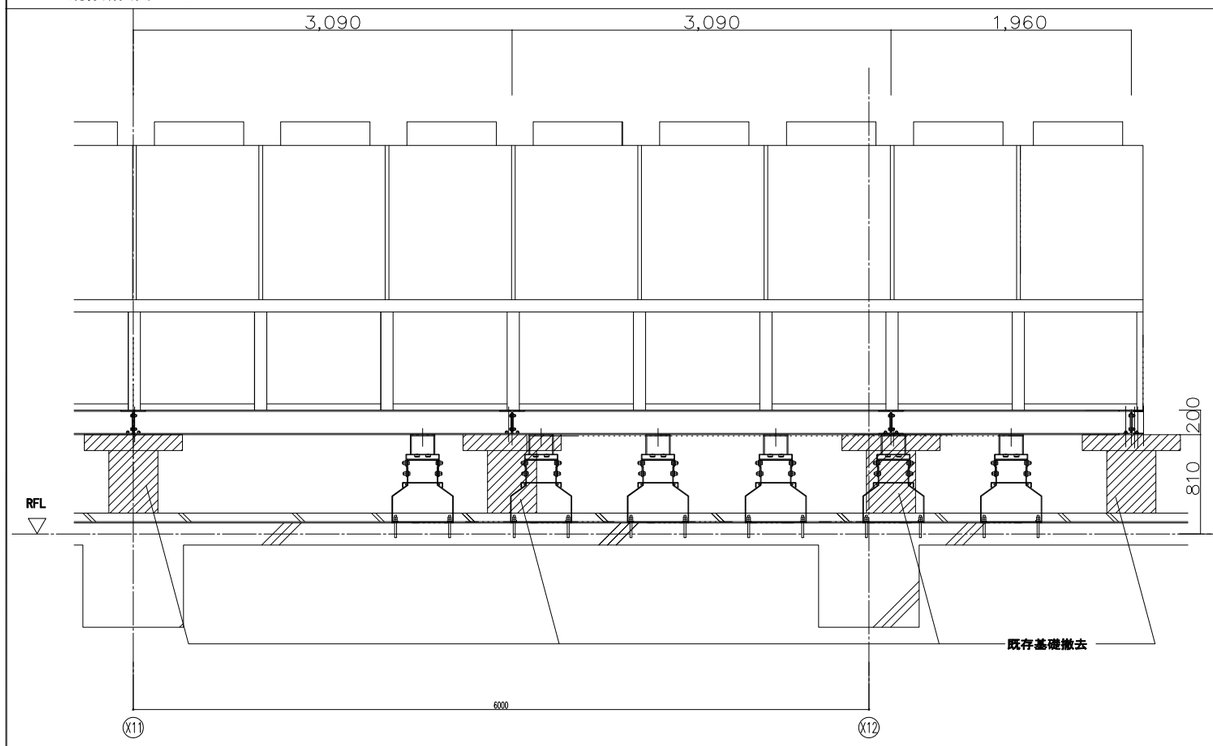
⑤～⑤断面図

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

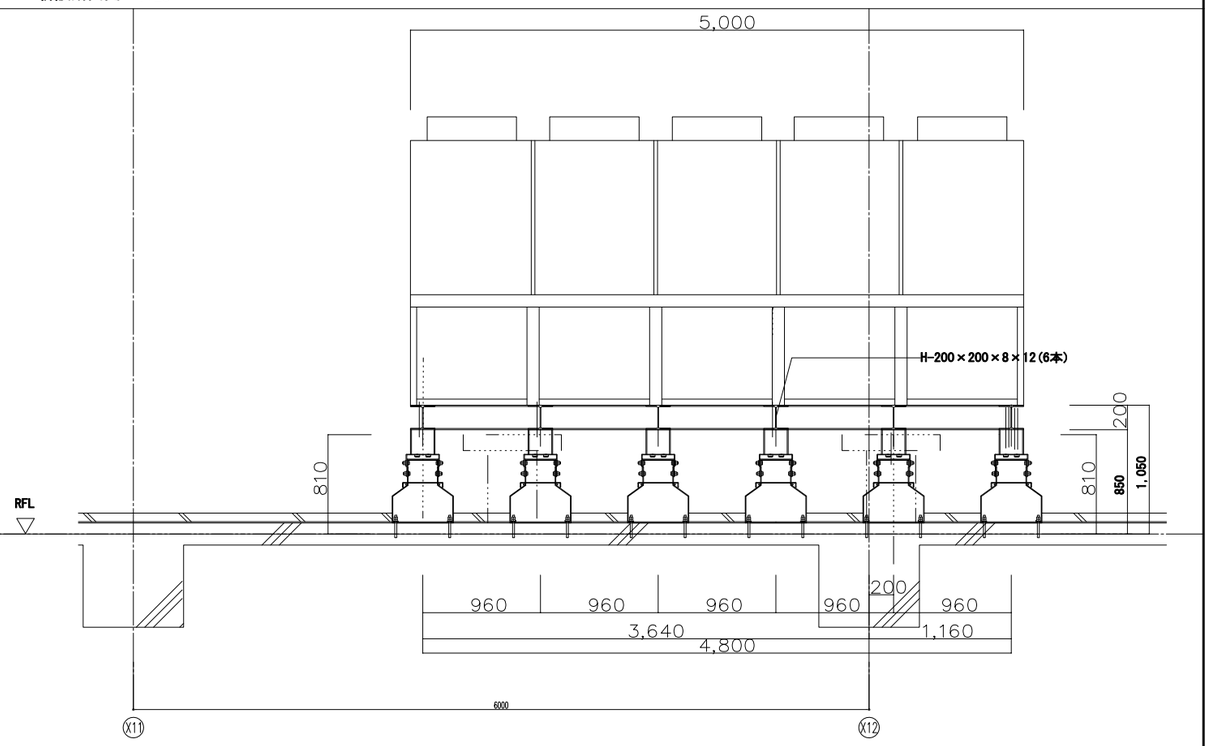
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	（改修後）屋上断面図
縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-104 (234/402)

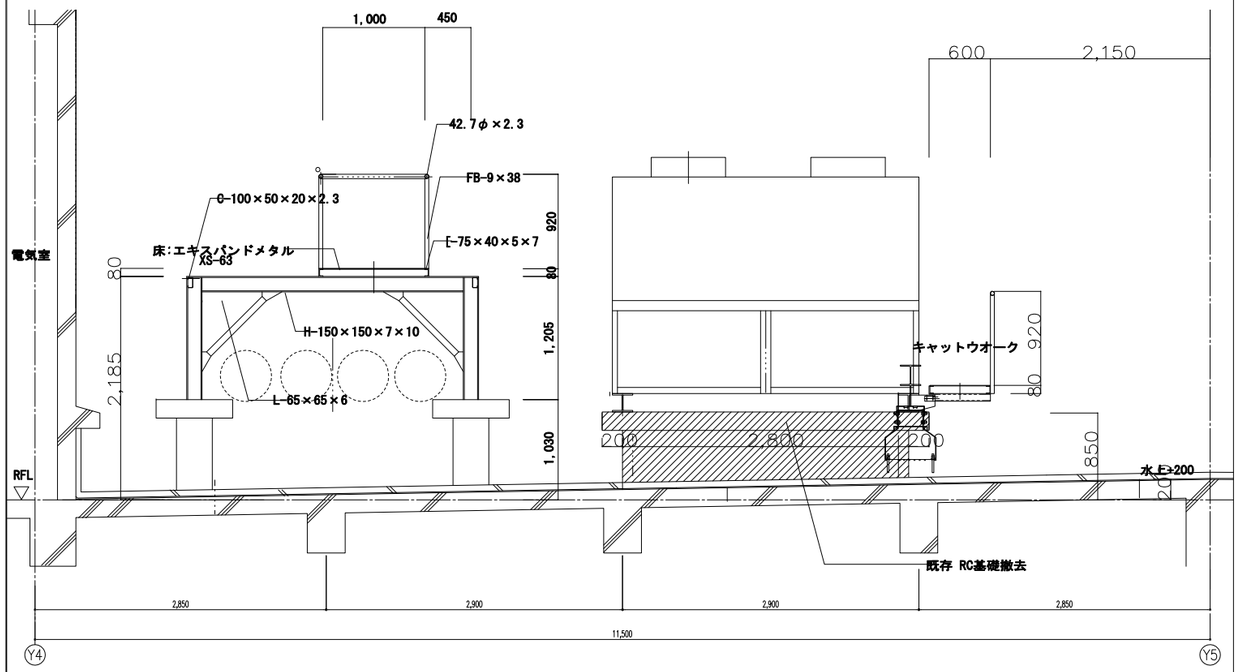
既存断面図　1:25



新設断面図　1:25

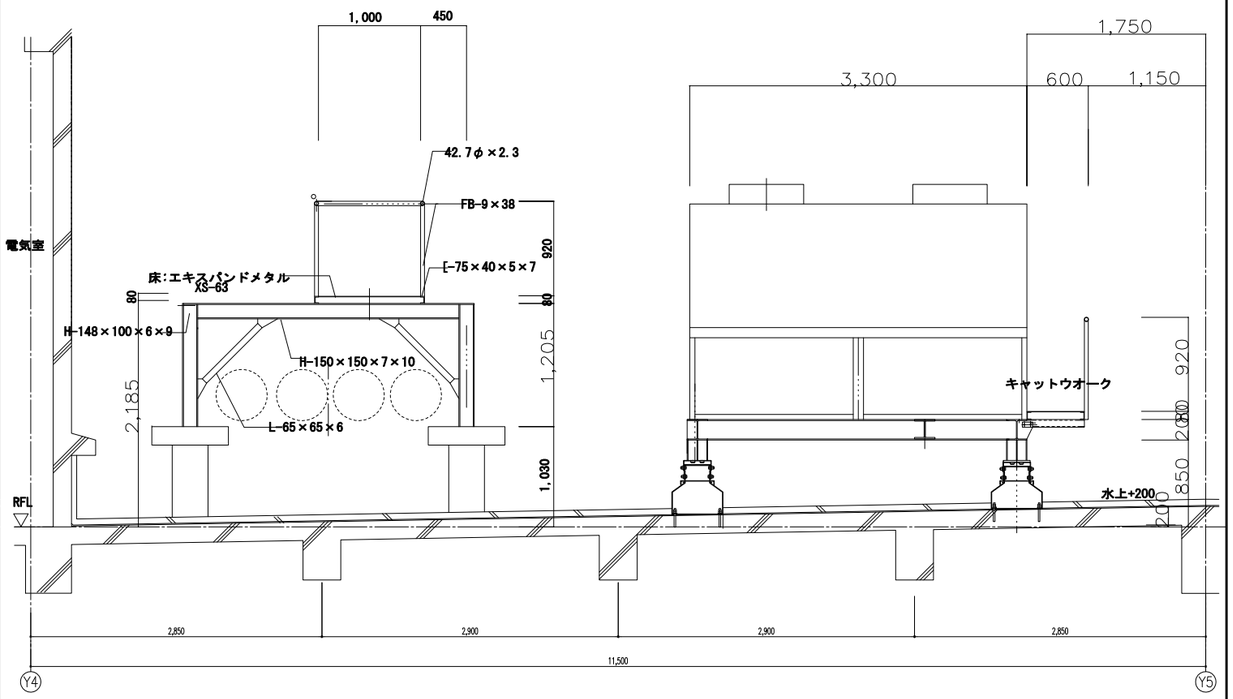


既存断面図　1:30



③～③断面図 1:30

新設断面図　1:30

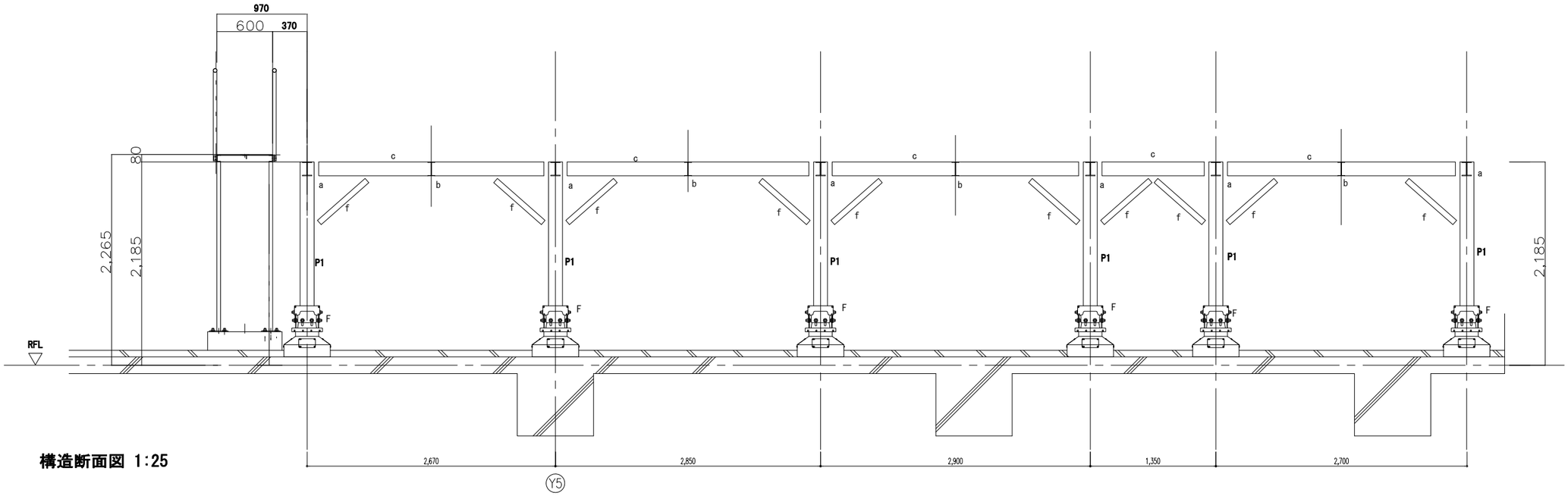


③～③断面図 1:30

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

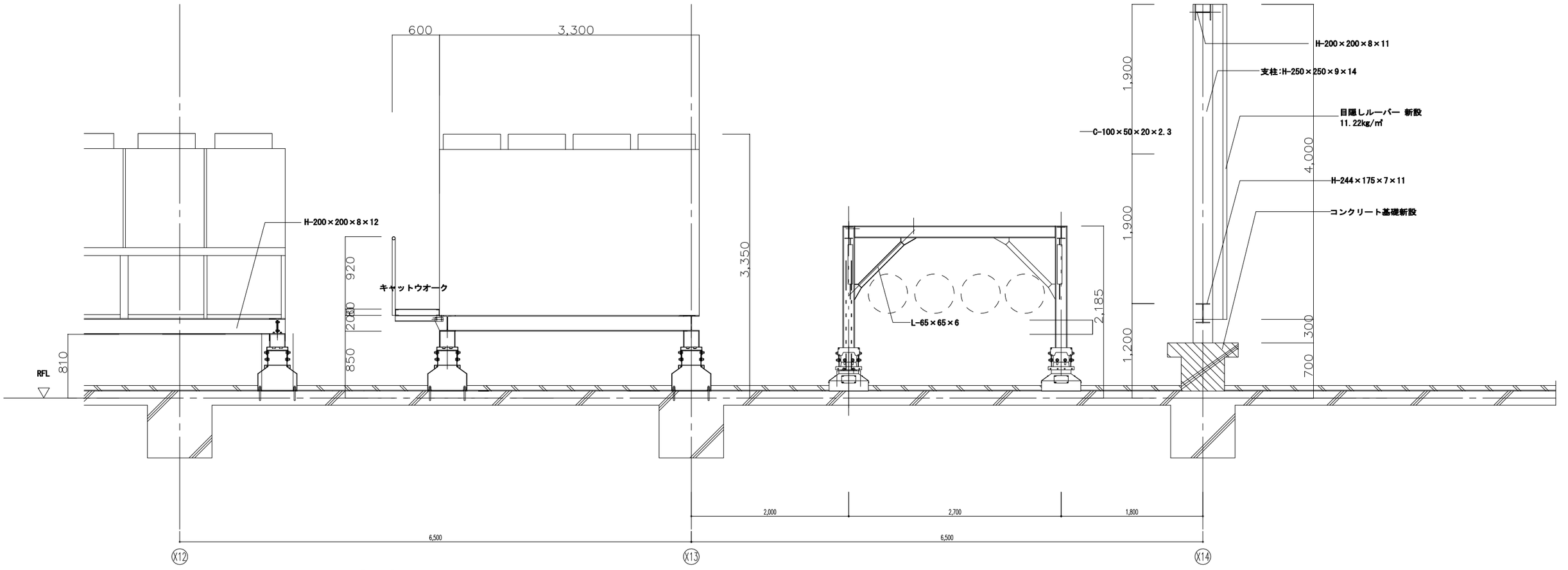
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	（改修前）屋上断面詳細図（1）
縮尺	1:30
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-105 (235/402)



構造断面図 1:25

※構造符号は構造図S-07による。

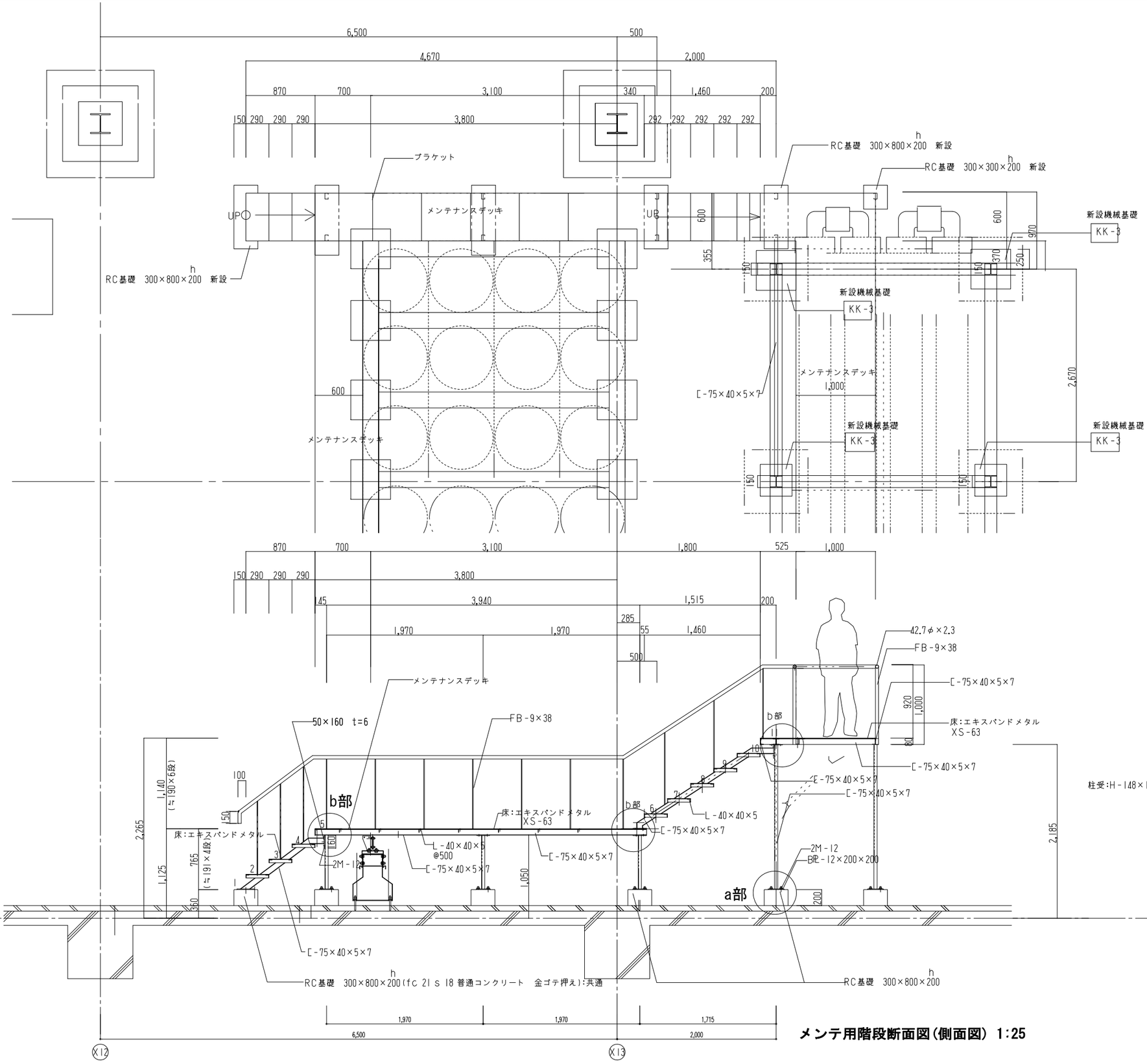


①～①断面図 1:25

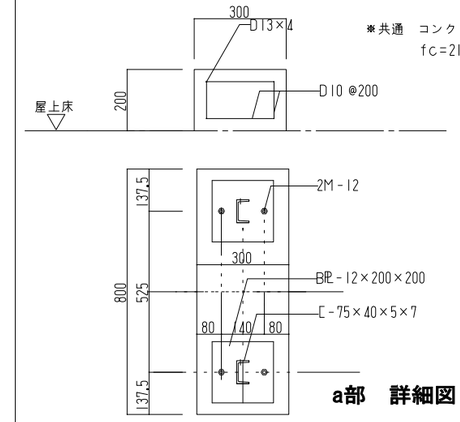
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	（改修前）屋上断面詳細図（２）
縮尺	1:25
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

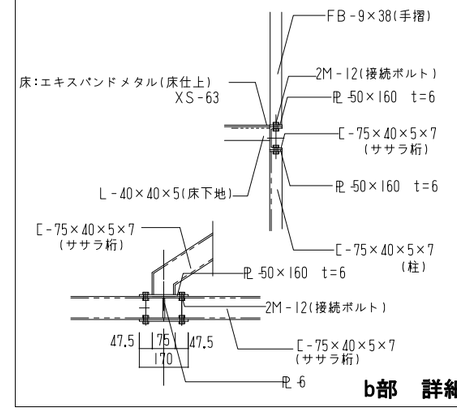
図面番号 A-106 (236/402)



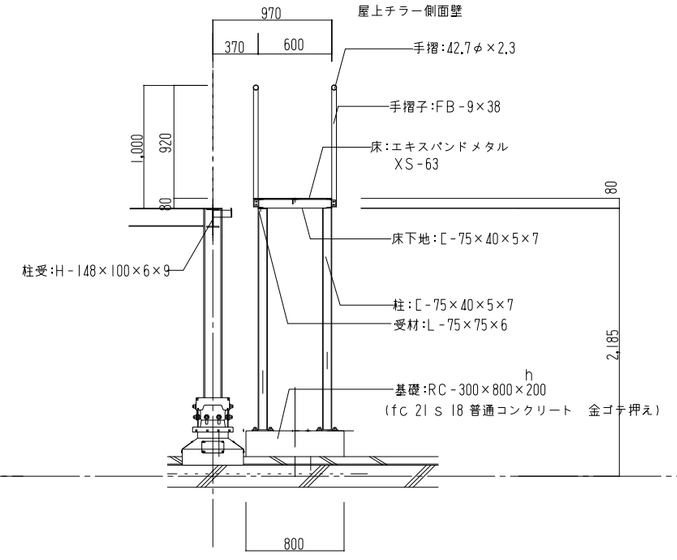
メンテ用階段断面図(側面図) 1:25



a部 詳細図 1:10

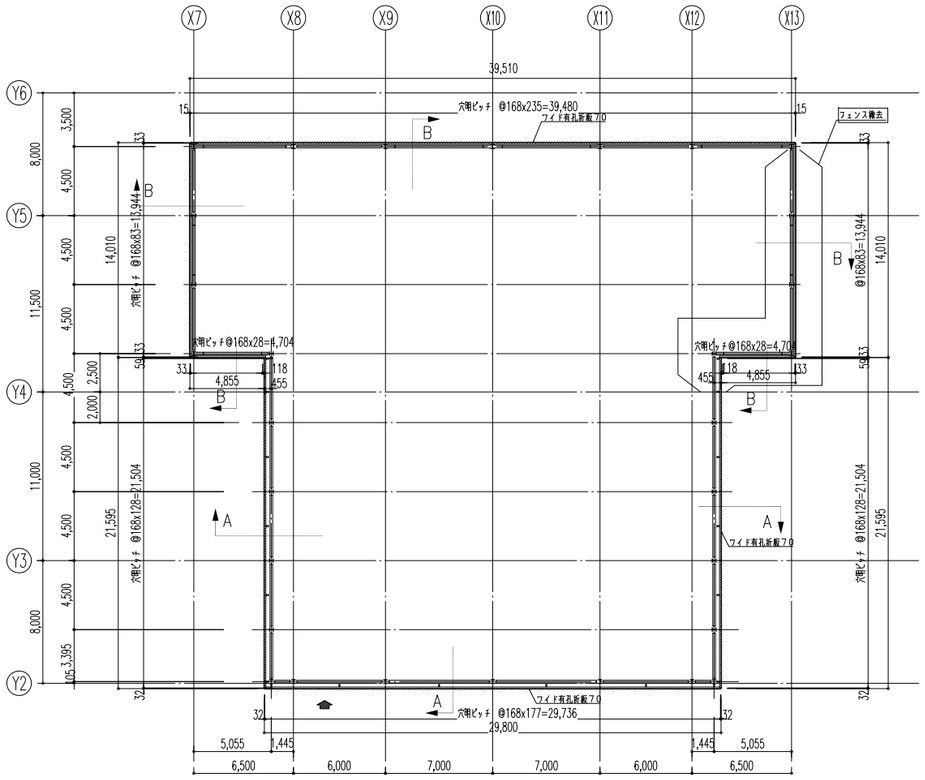


b部 詳細図 1:10

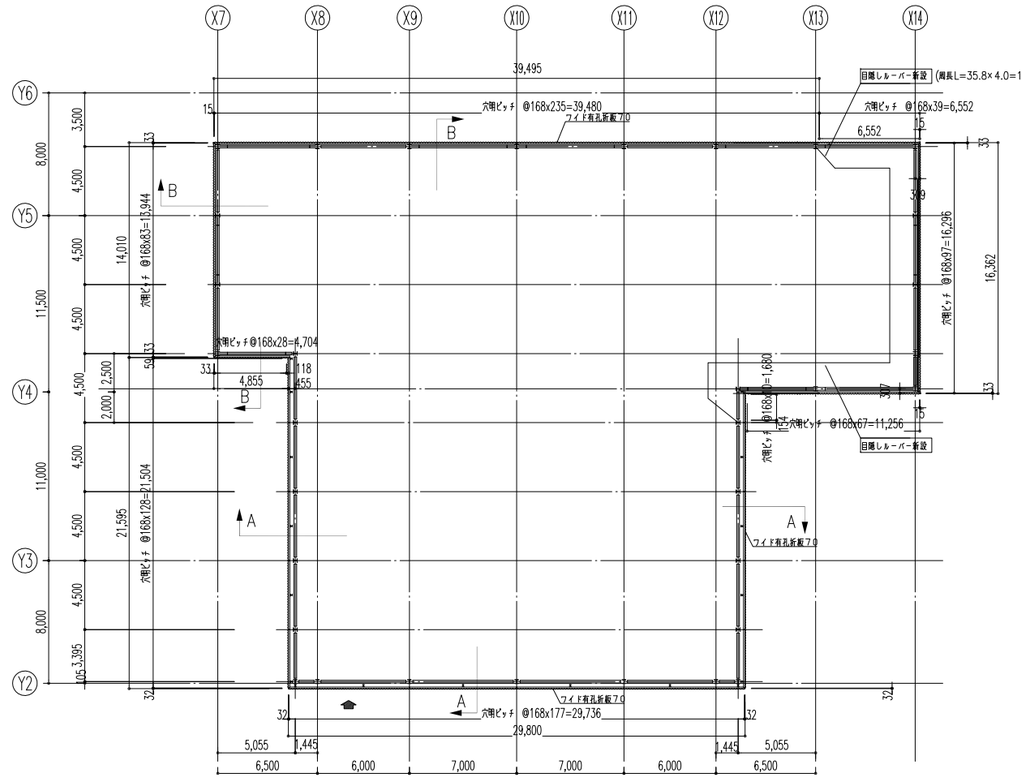


正面図 1:25

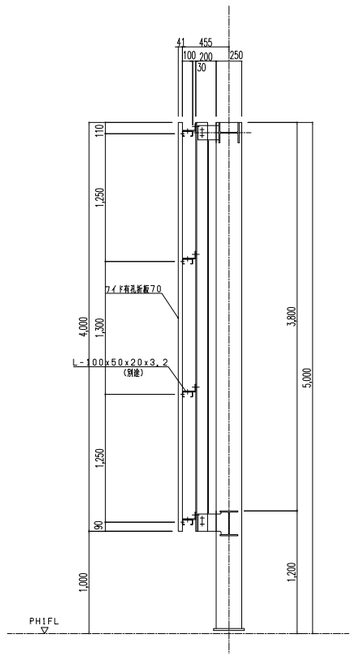
千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 A-107 (237/402)
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	図面名	(改修前)屋上断面詳細図(3)	縮尺 1:25
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度



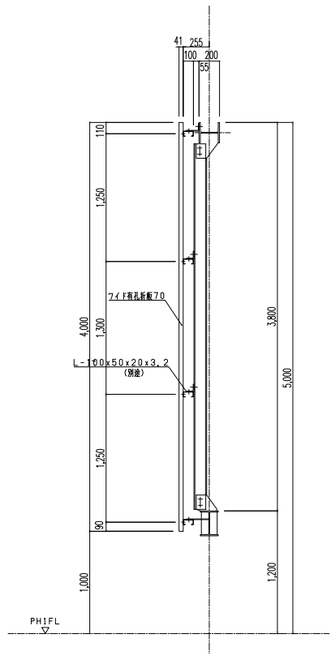
PHFアルミ目隠しルーバー1 割付け平面図（S=1:200）



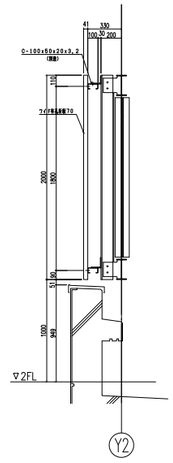
PHFアルミ目隠しルーバー1 割付け平面図（S=1:200）



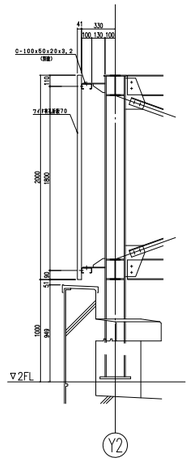
A断面図（S=1:30）



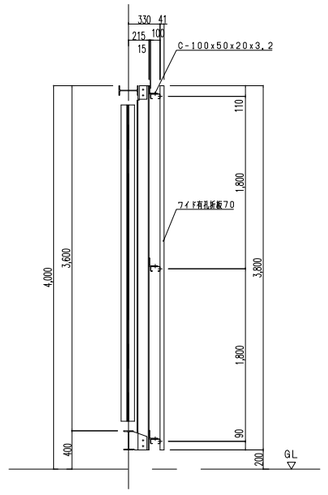
B断面図（S=1:30）



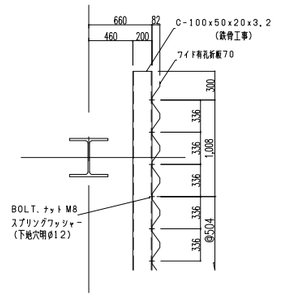
C断面図（S=1:30）



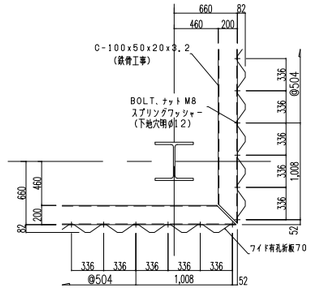
D断面図（S=1:30）



E断面図（S=1:30）



端部平面詳細図（S=1:10）

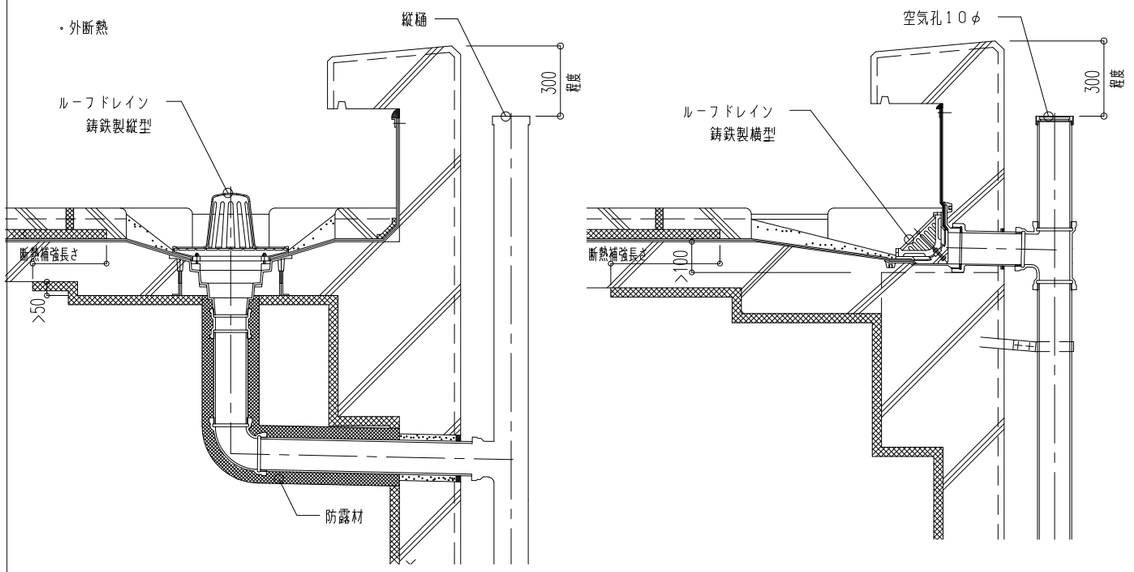


コーナー部断面詳細図（S=1:10）

千葉県知事登録　第1−2105−5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	目隠しルーバー詳細図
		縮尺	図示
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

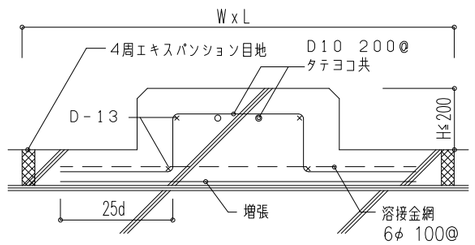
図面番号 A−108 (238/402)

1 ルーフドレイン



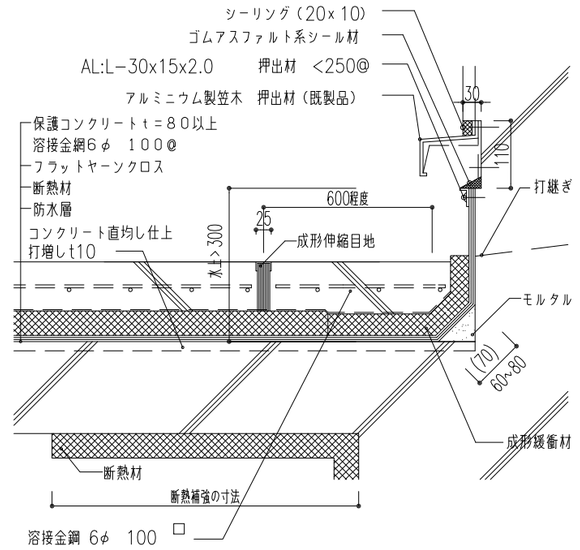
S=1/10

2 機械基礎－D（屋外）（K－D）



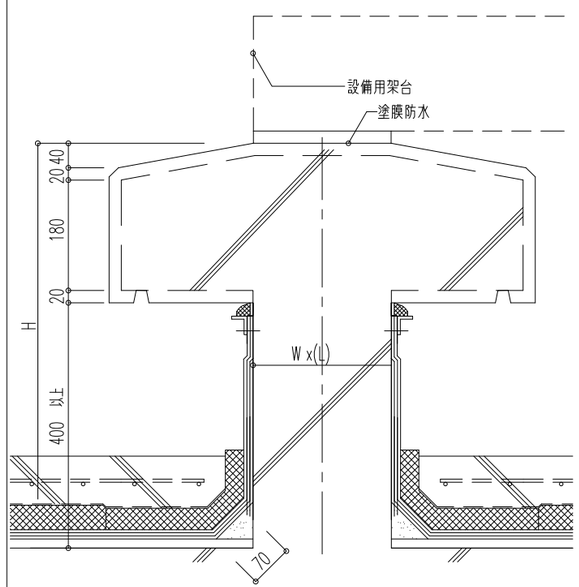
S=1/10

3 アスファルト防水、外断熱工法　金属笠木



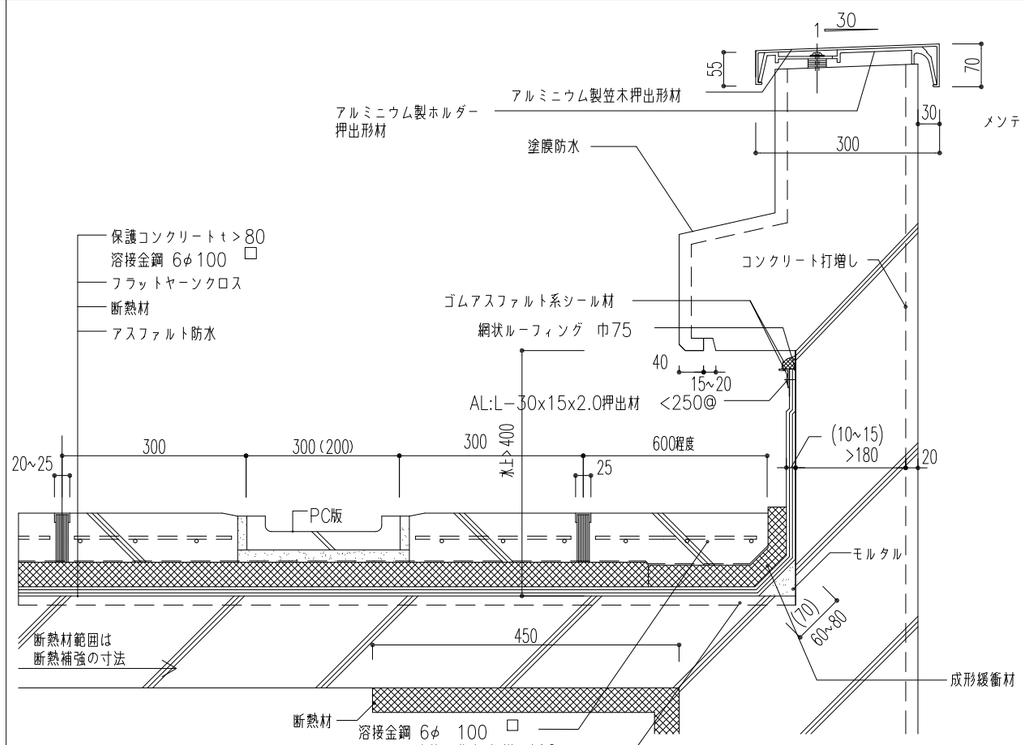
S=1/5

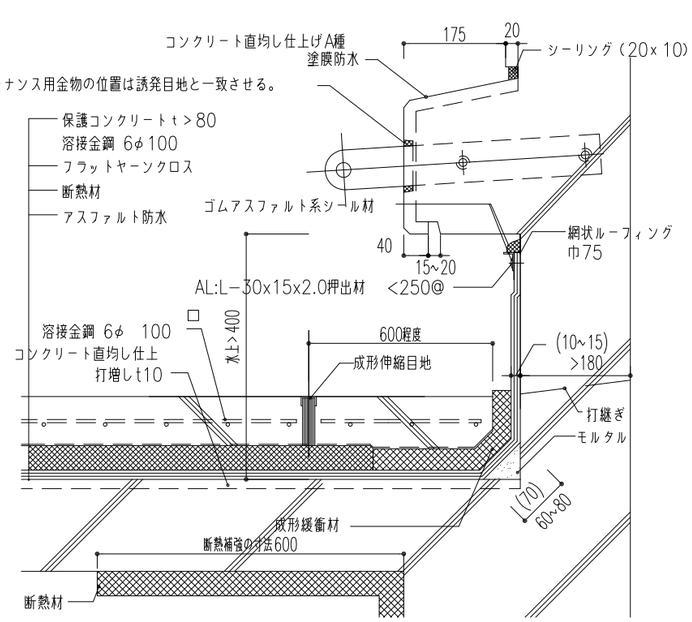
4 機械基礎－C（屋外）（K－C）



S=1/5

5 アスファルト防水、外断熱工法　金属笠木

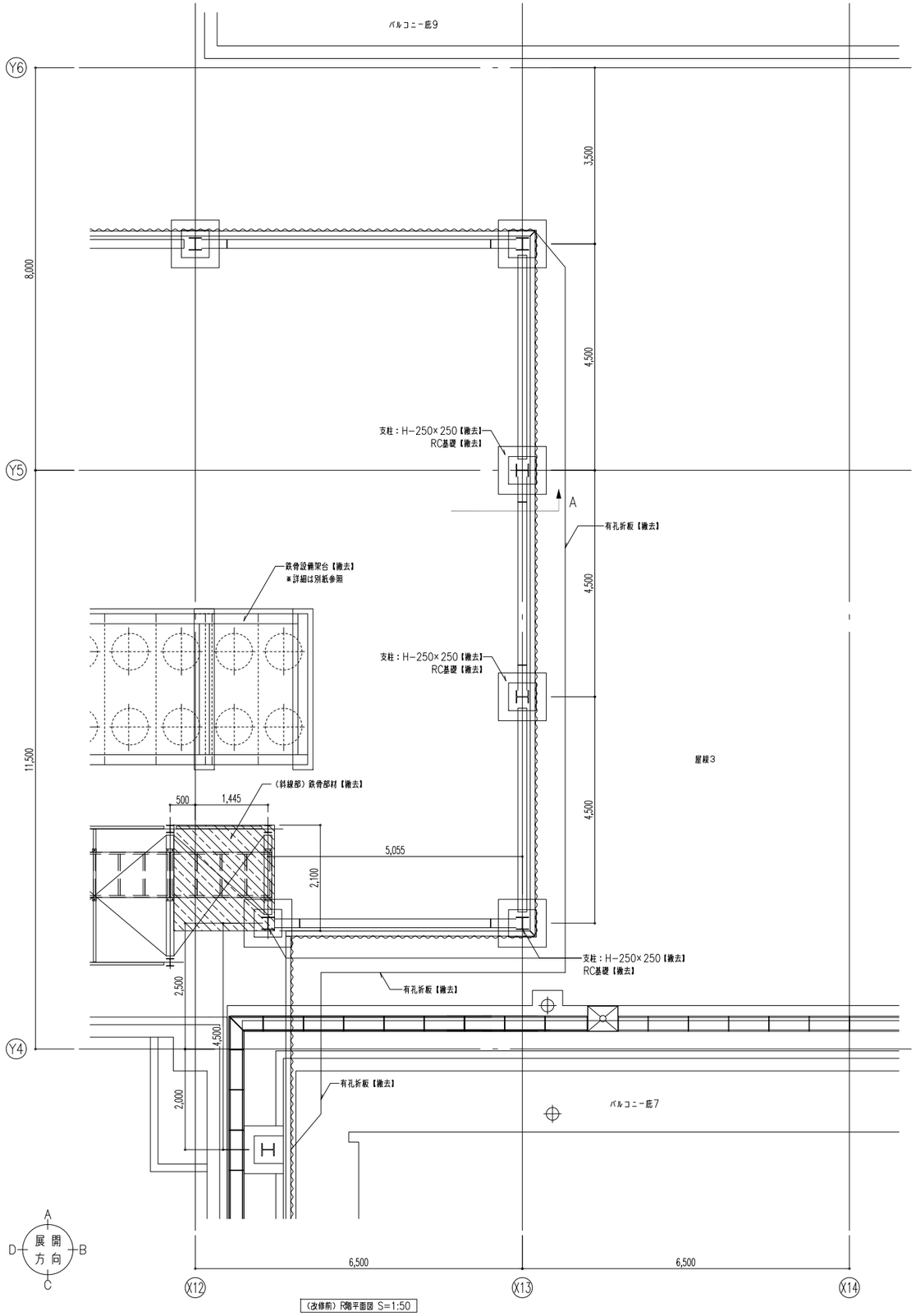




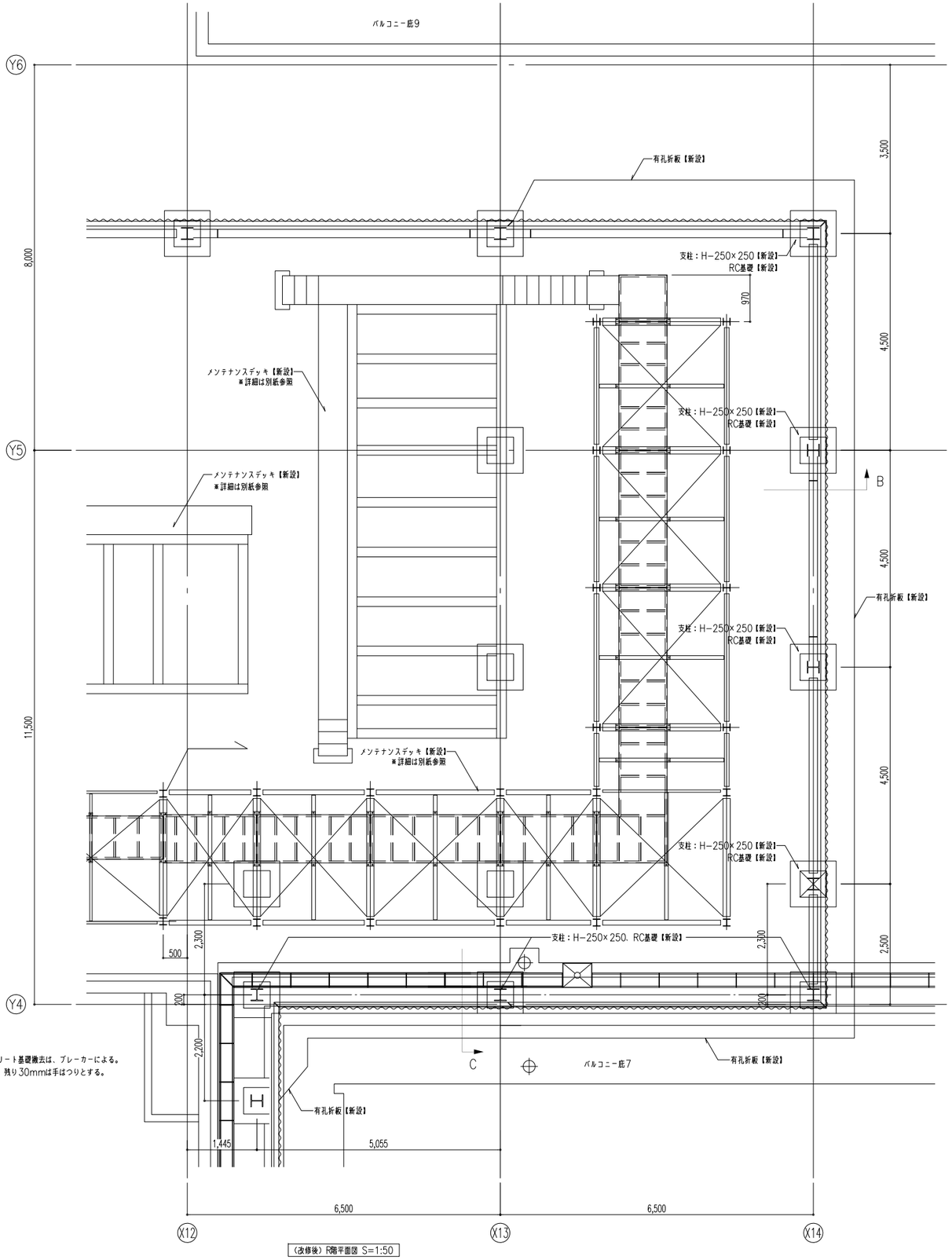
S=1/5

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 A-109 (239/402)
図面名	パラペット詳細図	縮尺	図示
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度



（改修前）R階平面図 S=1:50



（注）コンクリート基礎撤去は、ブレーカーによる。
ただし、残り30mmは手はつりとする。

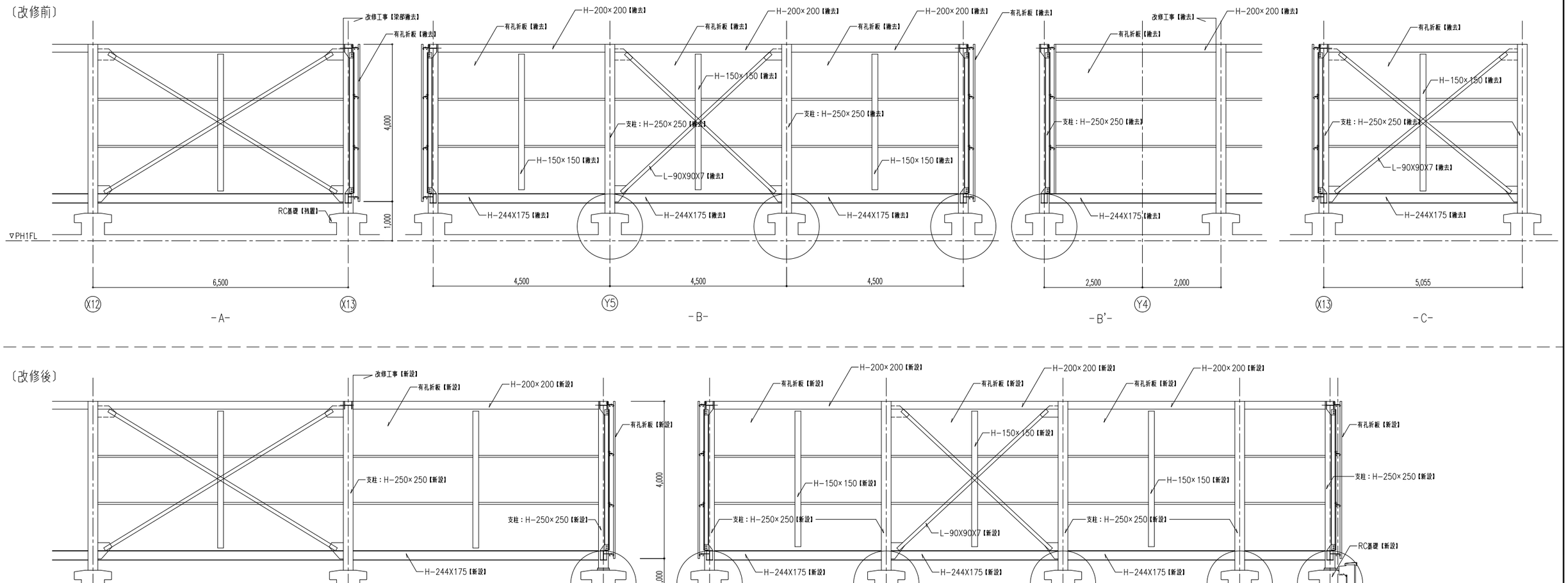
（改修後）R階平面図 S=1:50

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

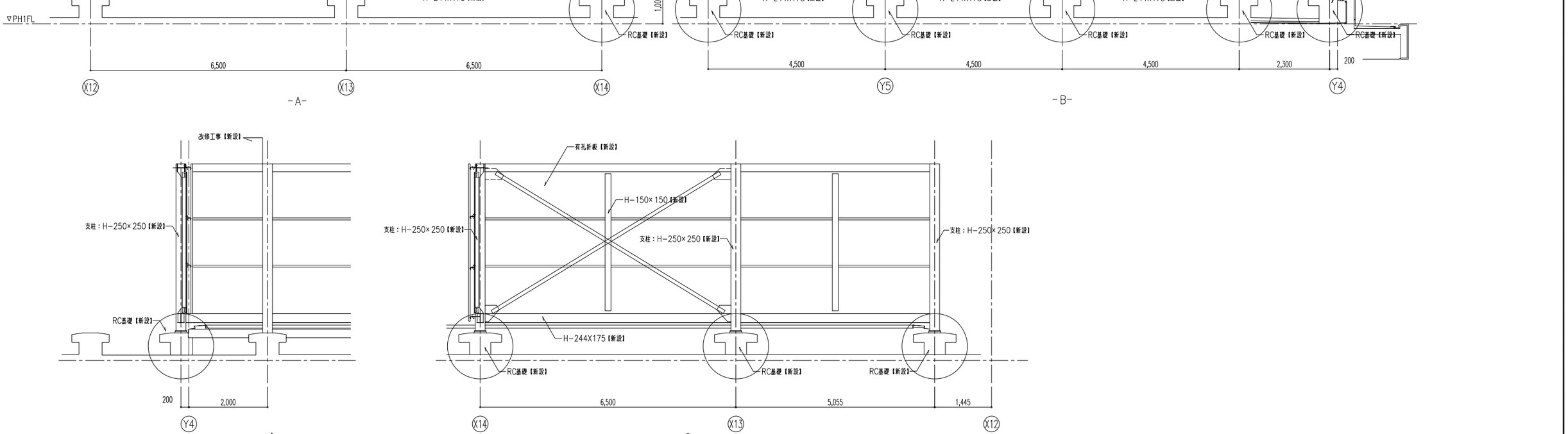
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	（改修前・改修後）PH階目隠しルーバー平面図
縮尺	1:50
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-110 (240/402)

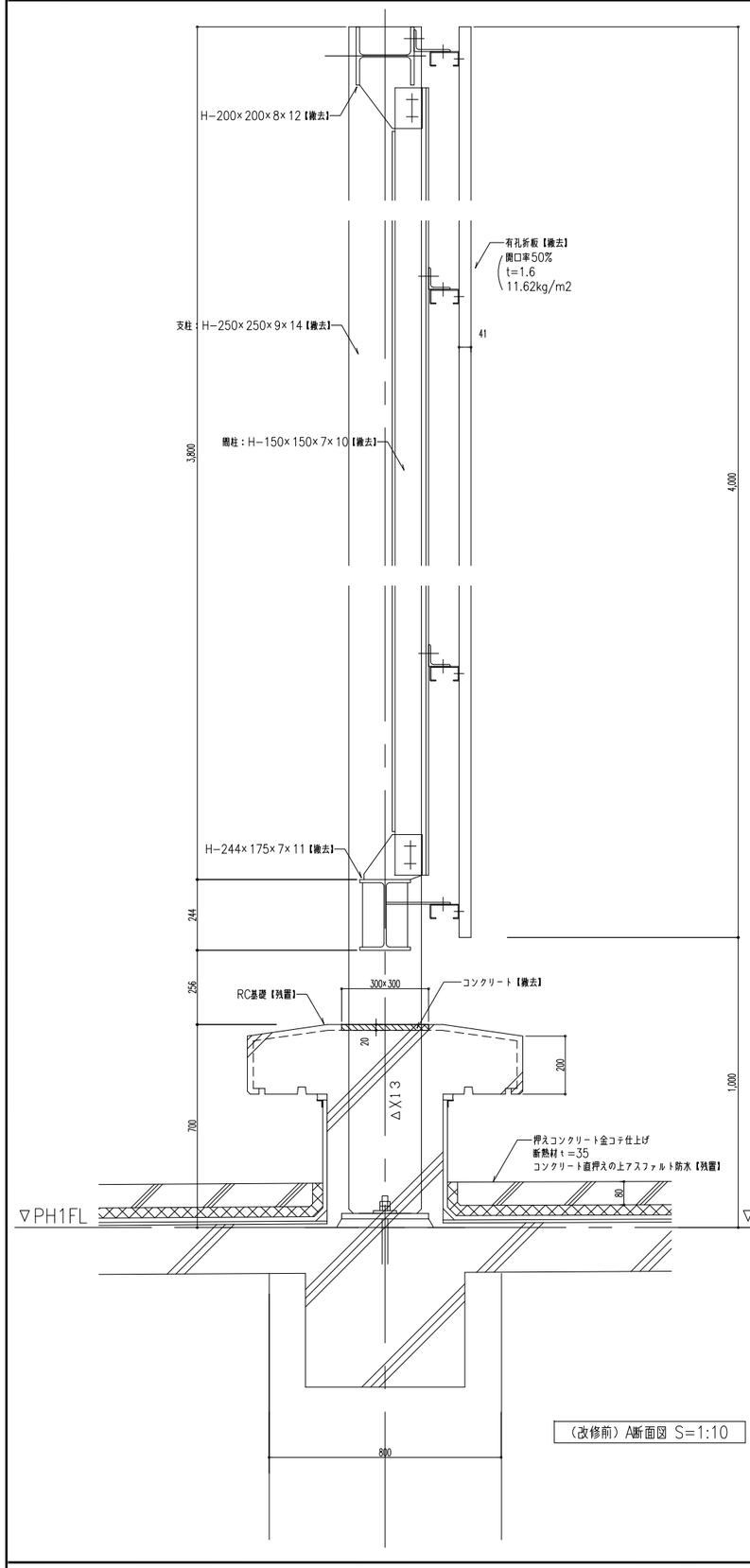
〔改修前〕



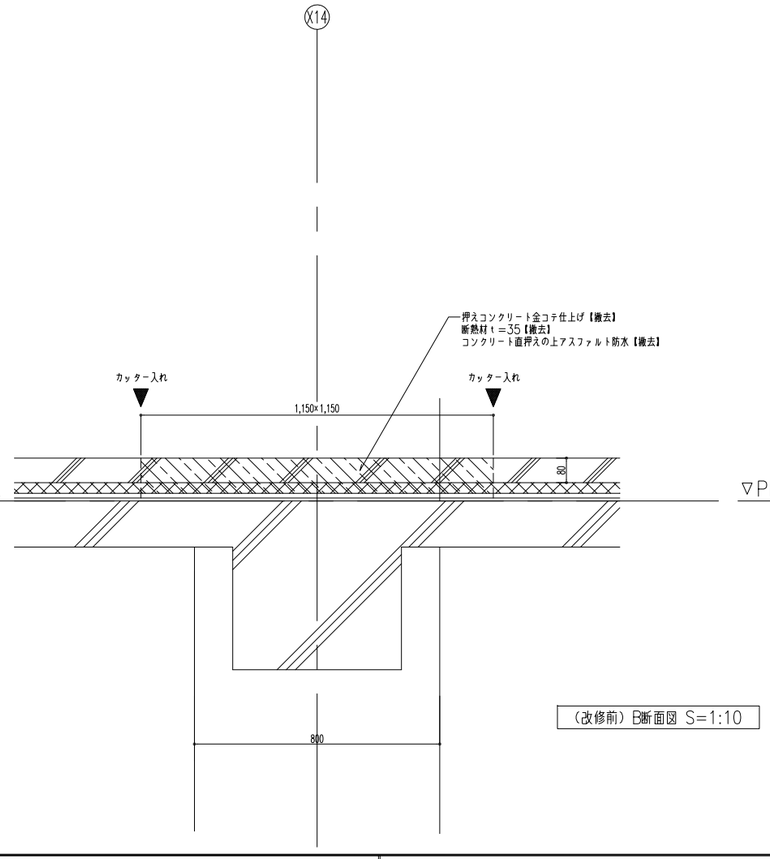
〔改修後〕



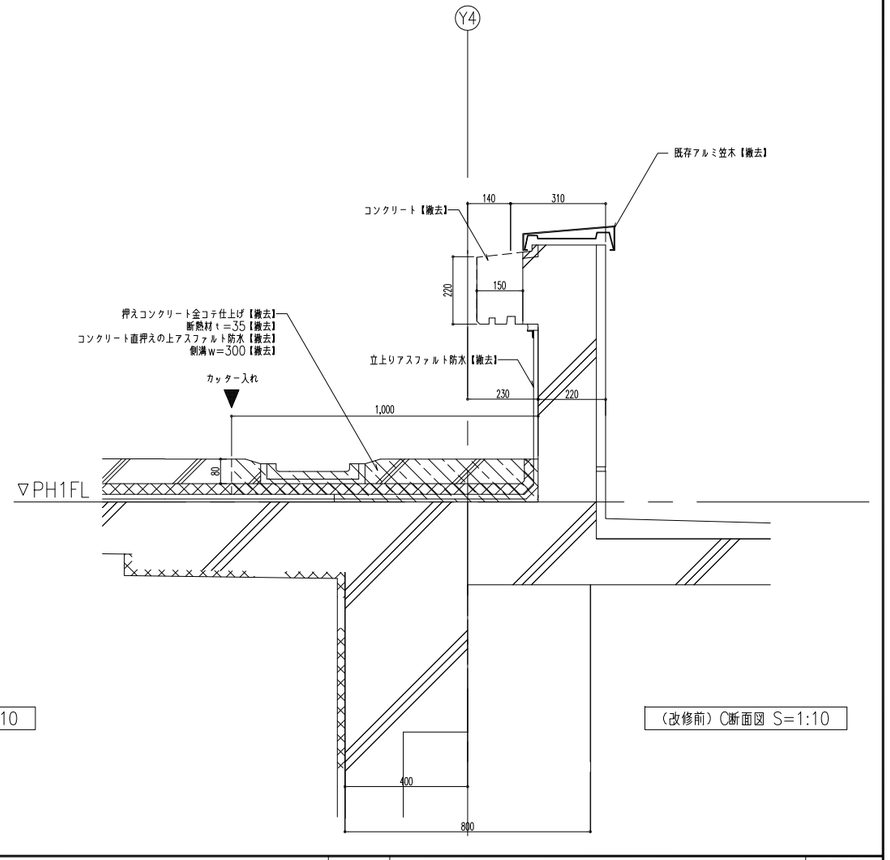
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	（改修前・改修後）PH階目隠しルーバー展開図
		縮尺	1:50
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	A-111 （241/402）



（改修前）A断面図 S=1:10



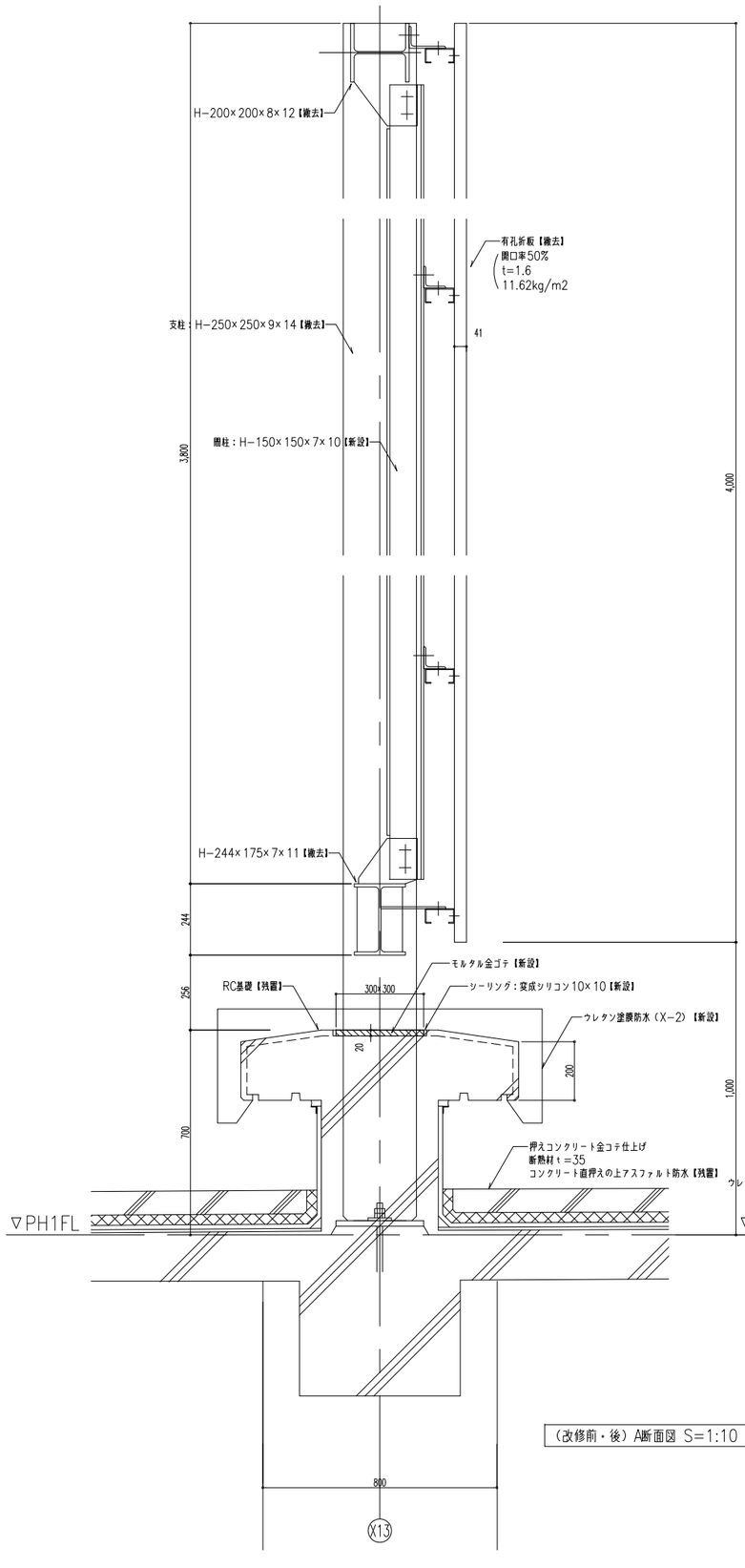
（改修前）B断面図 S=1:10



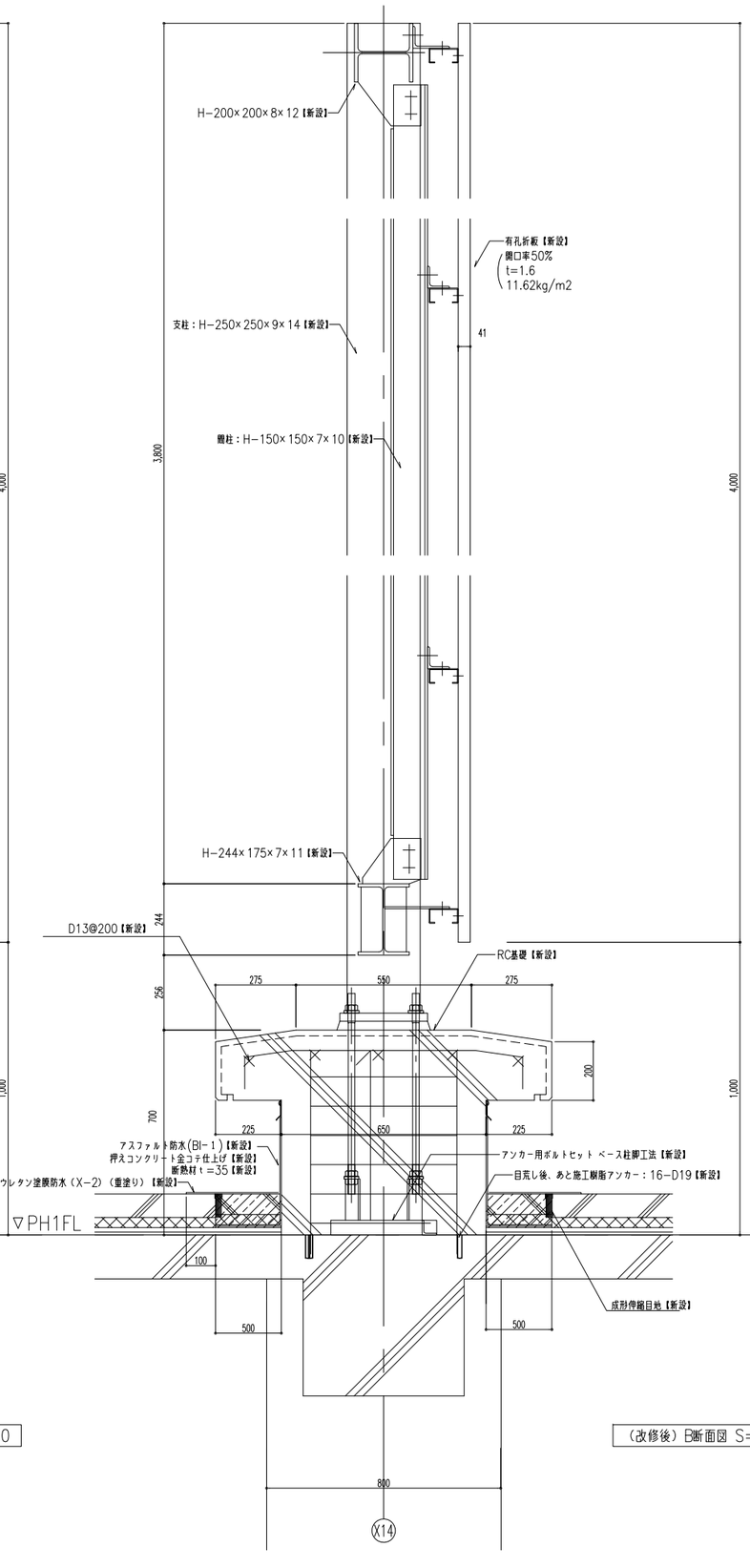
（改修前）C断面図 S=1:10

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

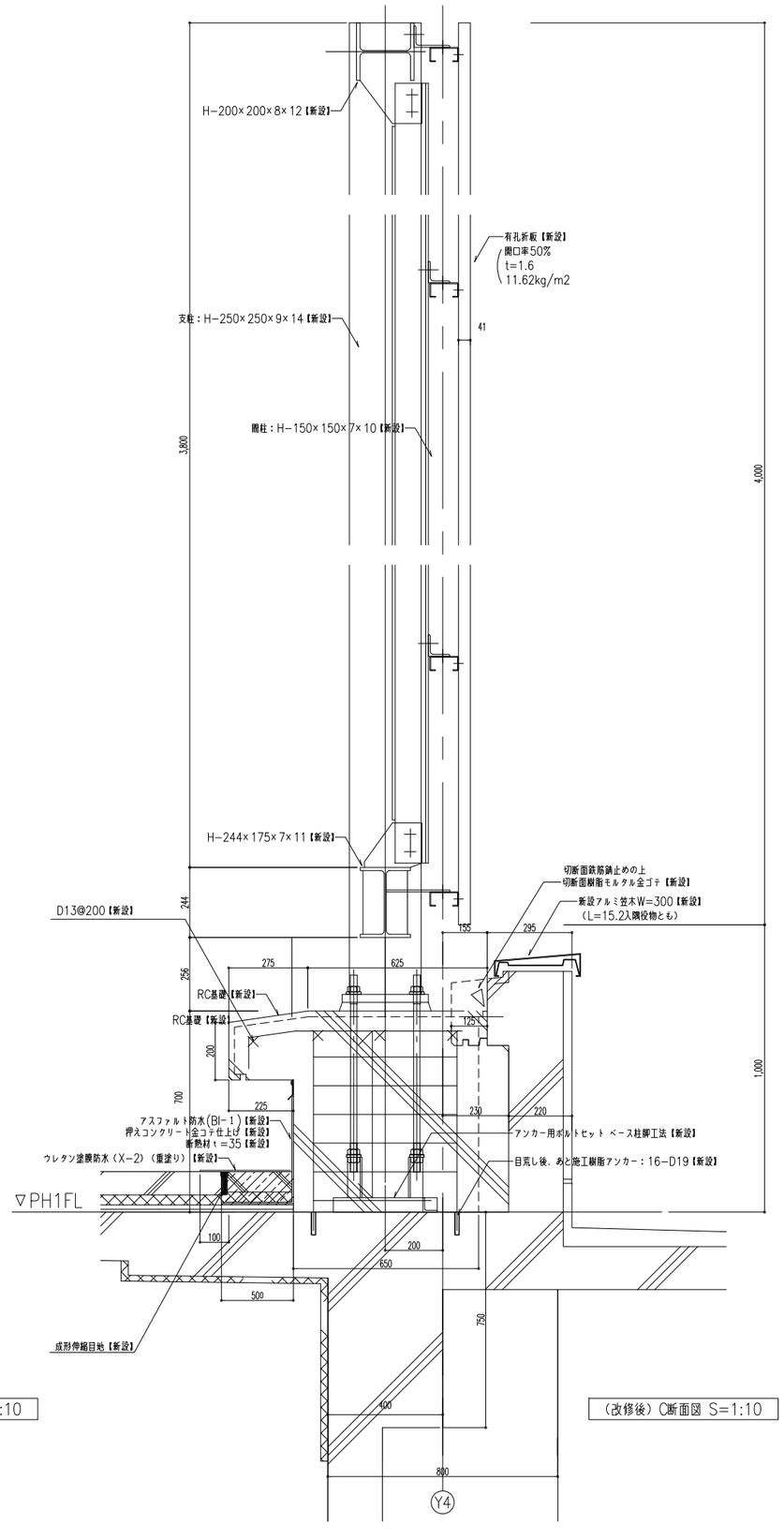
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号
図面名	（改修前）PH階目隠しルーバー断面詳細図	縮尺 1:10	A-112
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	（242/402）



（改修前・後）A断面図 S=1:10



（改修後）B断面図 S=1:10



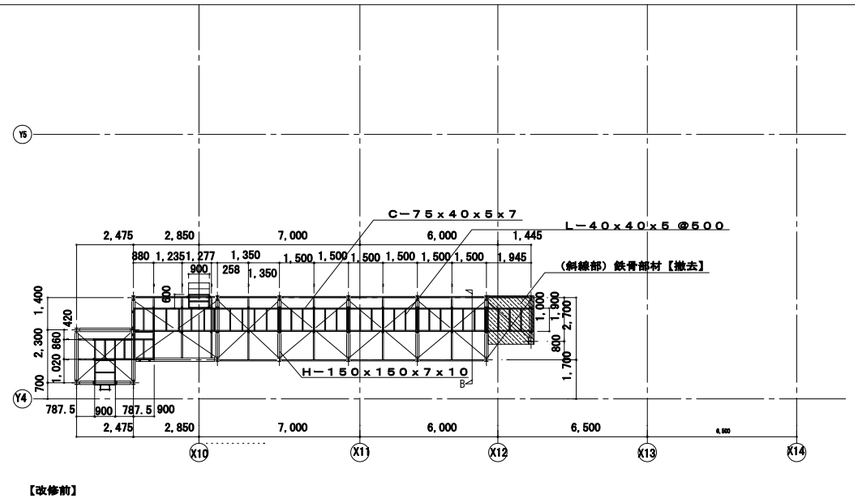
（改修後）C断面図 S=1:10

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	（改修前・改修後）PH階目隠しルーバー詳細図
縮尺	1:10
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

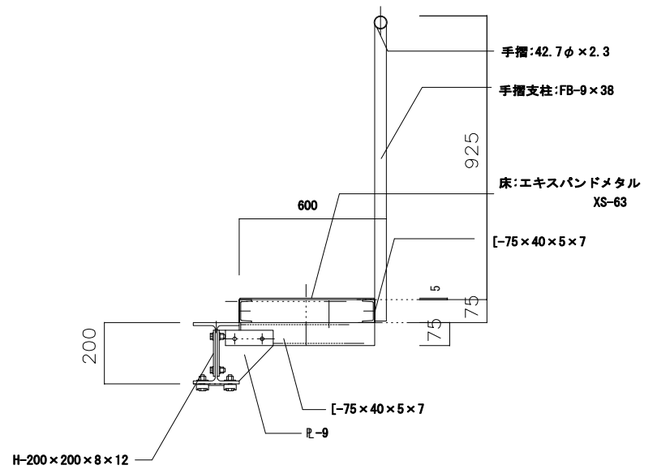
図面番号 A-113 (243/402)

7 メンテナンスデッキ　S=1:100　（既存部分）

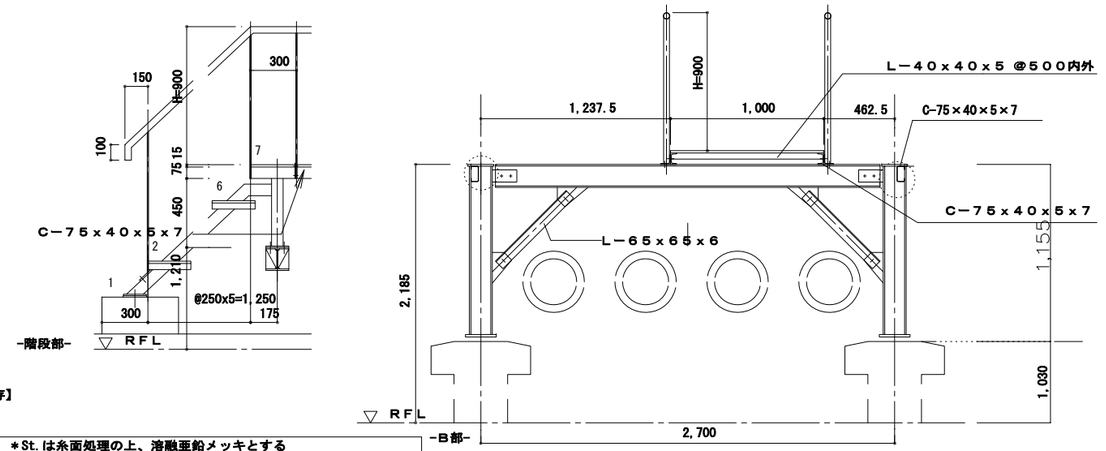


【改修前】

9 メンテナンスデッキ(キャットウオーク部取付)詳細図　S=1:10　（新設部分）



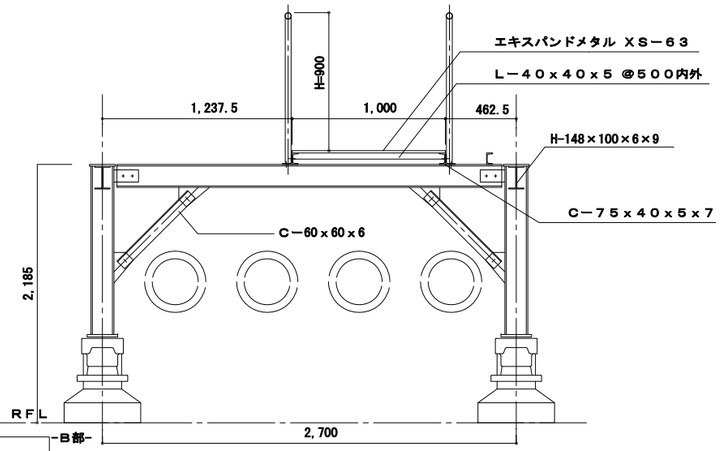
8 メンテナンスデッキ(B部、階段部分)　S=1:20　（既存部分）



【既存】

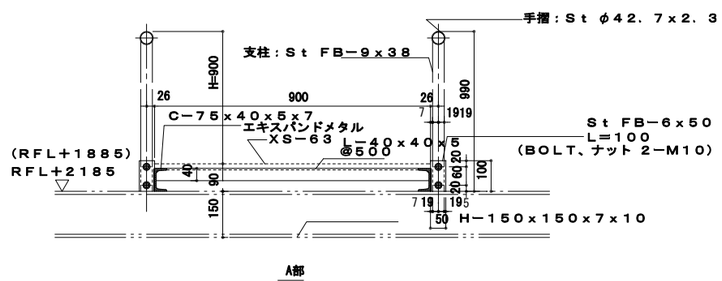
特記事項　＊St.は糸面処理の上、溶融亜鉛メッキとする
＊立上り基礎部分配筋は、別図梁型基礎（躯体一体式）に準ずる。

8 メンテナンスデッキ(B部、階段部分)　S=1:20　（延長部分）



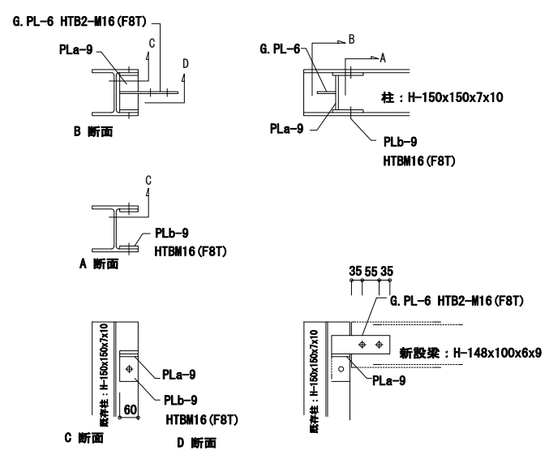
特記事項　＊St.は糸面処理の上、溶融亜鉛メッキとする
立上り柱基礎部分は金属製基礎(新設)

9 メンテナンスデッキ断面詳細図(A部)　S=1:10　（既存及び延長増築部）



特記事項　＊St.は糸面処理の上、溶融亜鉛メッキとする

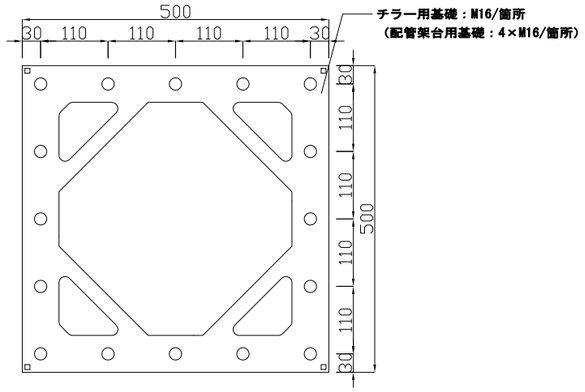
メンテナンスデッキ既存部と延長増設部の接続詳細　S=1:10



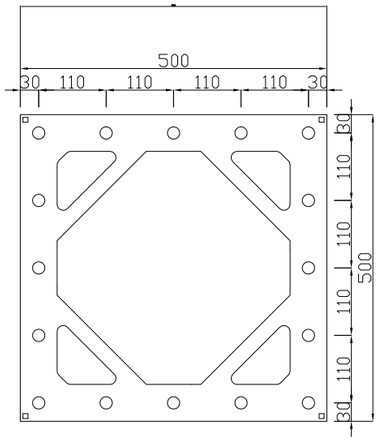
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	外部標準詳細図（１）（屋上鉄骨）
縮尺	図示
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A－114 (244/402)

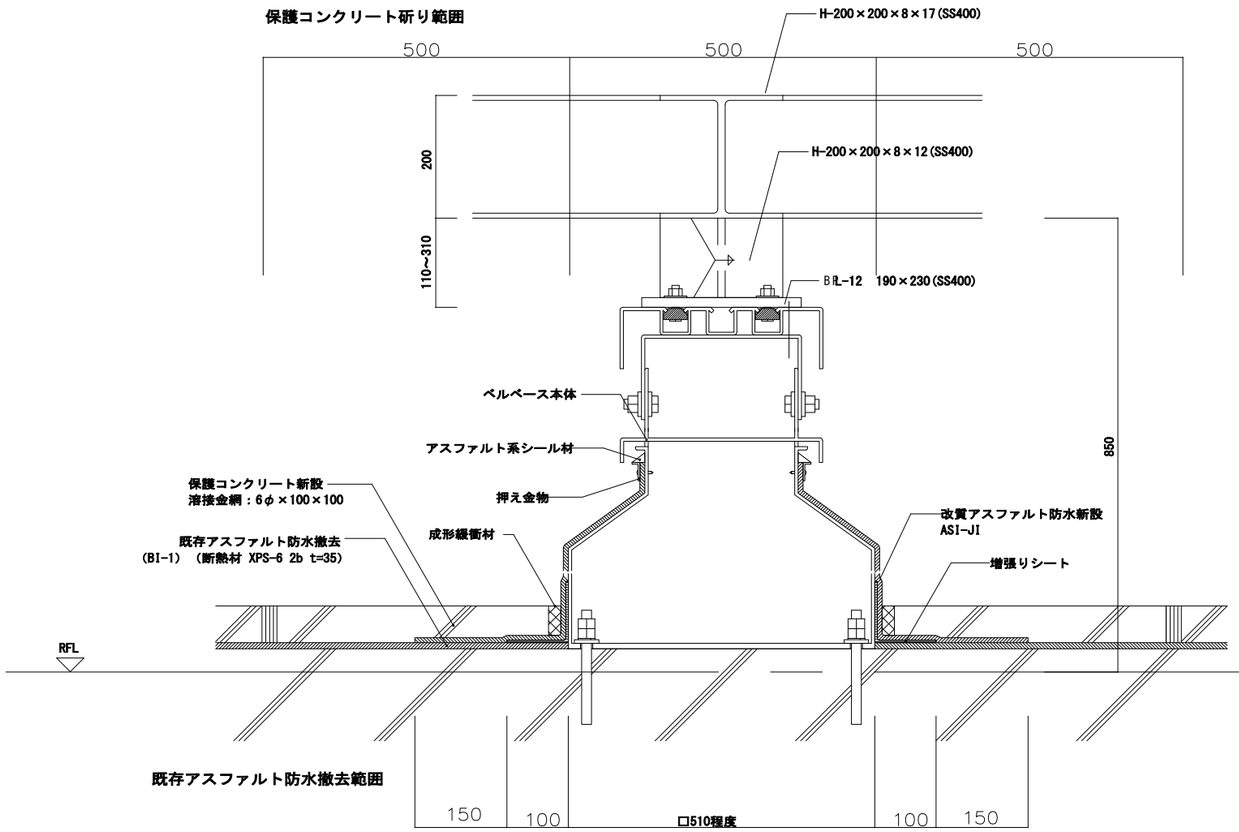


＜底部穴寸法＞



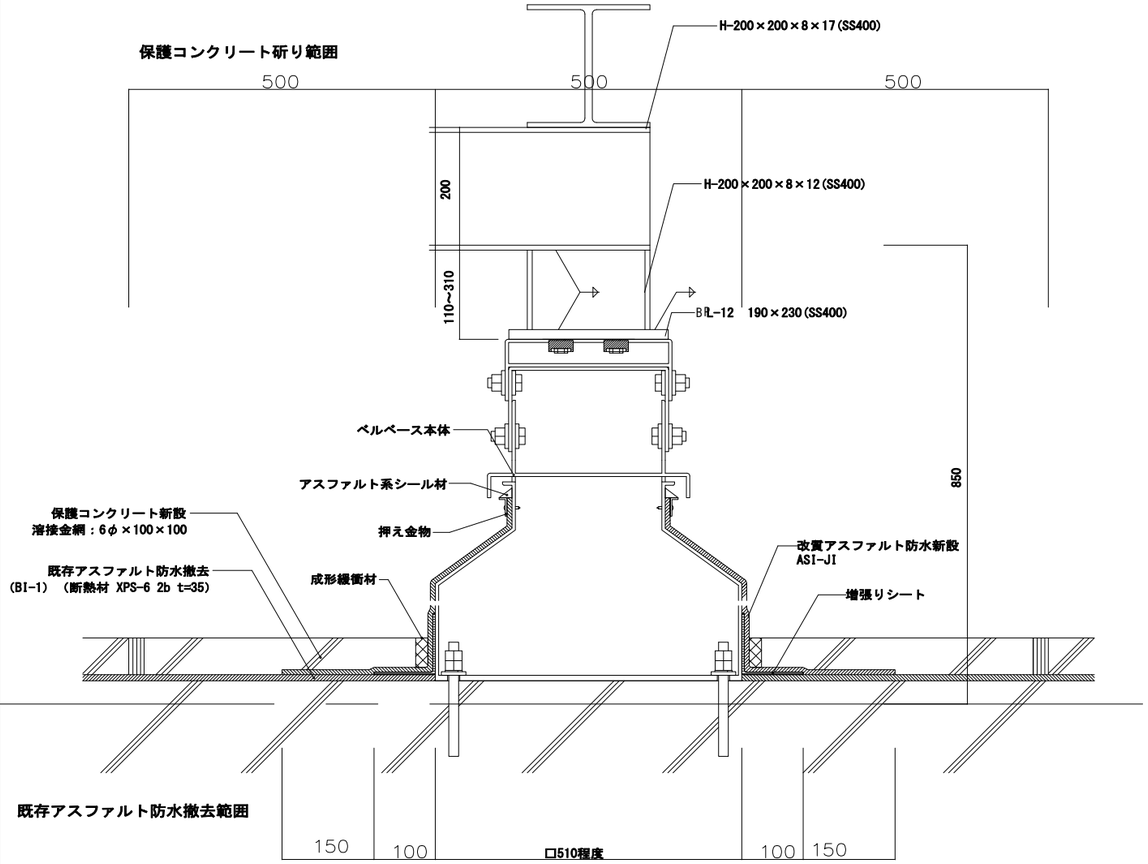
＜底部穴寸法＞

保護コンクリート斫り範囲



既存アスファルト防水撤去範囲

保護コンクリート斫り範囲



既存アスファルト防水撤去範囲

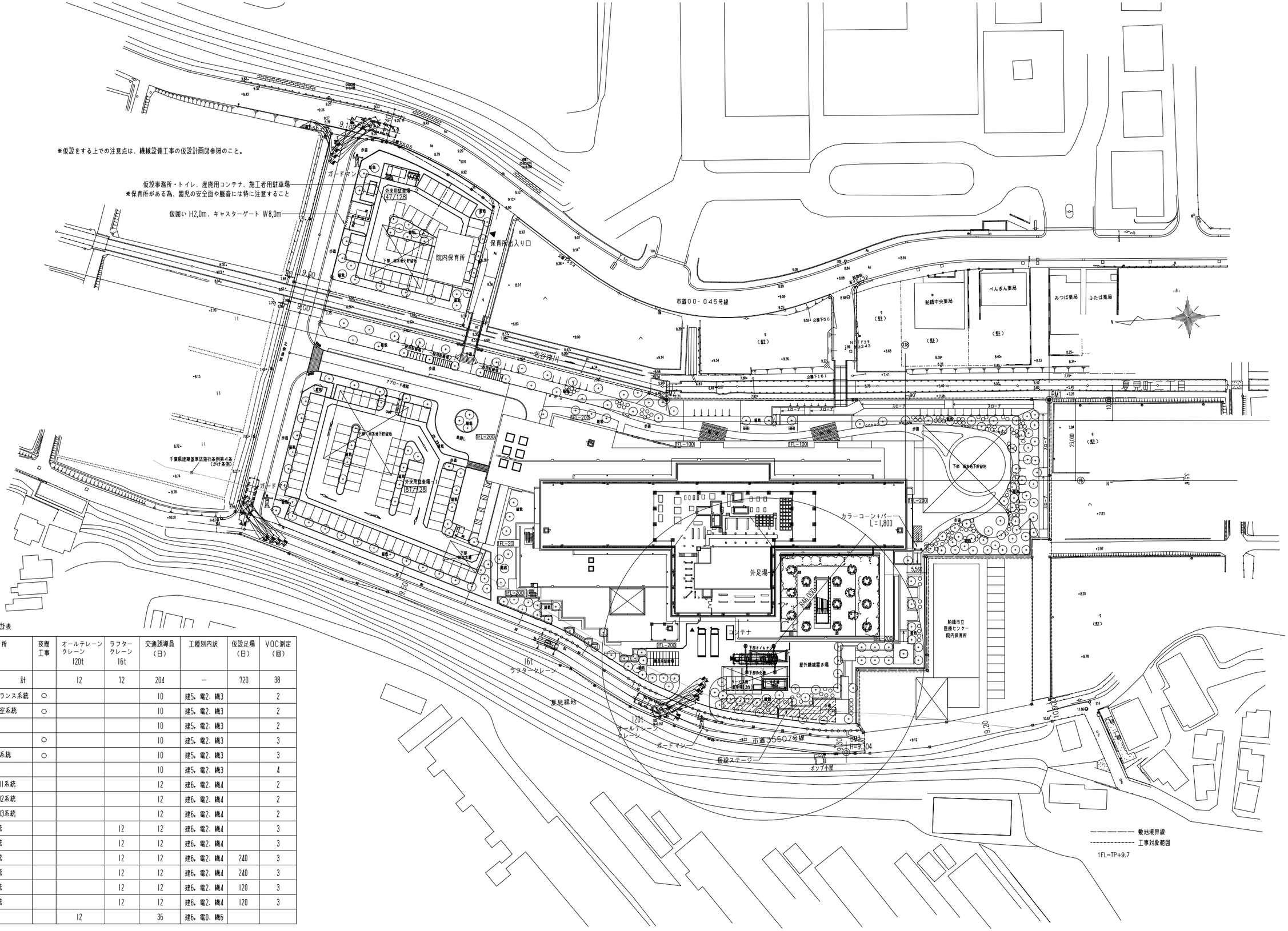
※ 屋上金属基礎詳細図

※立上り基※礎部分配筋は、別図梁型基礎（躯体一体式）に準ずる。

千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	外部標準詳細図（２）（屋上架台金物）
尺度	1:5
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 A-115 (245/402)



仮設工事費の項目集計表

No.	場　所	夜間工事	オールテレーンクレーン 120t	ラフタークレーン 16t	交通誘導員（日）	工種別内訳	仮設足場（日）	VOC測定（回）
	計		12	72	204	－	720	38
1	1階エントランス系統	○			10	建5，電2、機3		2
2	売店・事務室系統	○			10	建5，電2、機3		2
3	給食系統				10	建5，電2、機3		2
4	放射線系統	○			10	建5，電2、機3		3
5	検査・外来系統	○			10	建5，電2、機3		3
6	ﾘﾊﾋﾞﾘ系統				10	建5，電2、機3		4
7	管理部門-01系統				12	建6，電2、機4		2
8	管理部門-02系統				12	建6，電2、機4		2
9	管理部門-03系統				12	建6，電2、機4		2
10	2階北側系統			12	12	建6，電2、機4		3
11	2階南側系統			12	12	建6，電2、機4		3
12	3階北側系統			12	12	建6，電2、機4	240	3
13	3階南側系統			12	12	建6，電2、機4	240	3
14	4階北側系統			12	12	建6，電2、機4	120	3
15	4階南側系統			12	12	建6，電2、機4	120	3
16	屋上		12		36	建6，電0、機6		

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	仮設計画図（配置図）
縮尺	1:500
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
図面番号	K-01（246/402）

1. エントランス系統
7. 1階管理北側（1）

Ⅰ期-後期ステップ③

：床養生範囲



千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

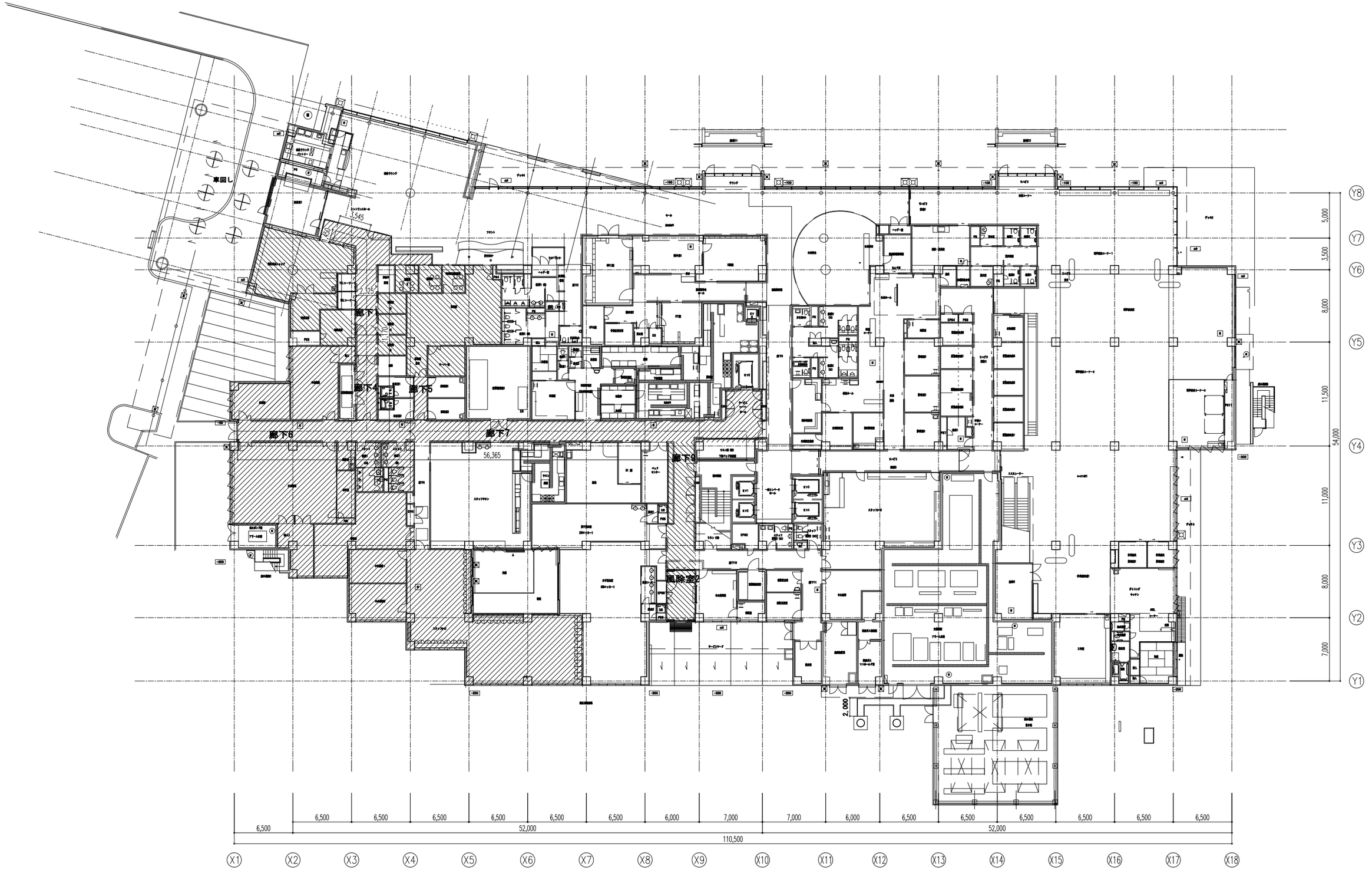
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	仮設養生計画図（1階平面図）（1）
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 K-02 (247/402)

2. 売店・事務室系統
7. 1階管理北側（１）

Ｉ期-前期ステップ②

：床養生範囲



千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号
図面名	仮設養生計画図（１階平面図）（２）	縮尺 1:200	K-03
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	（248/402）

：床養生範囲



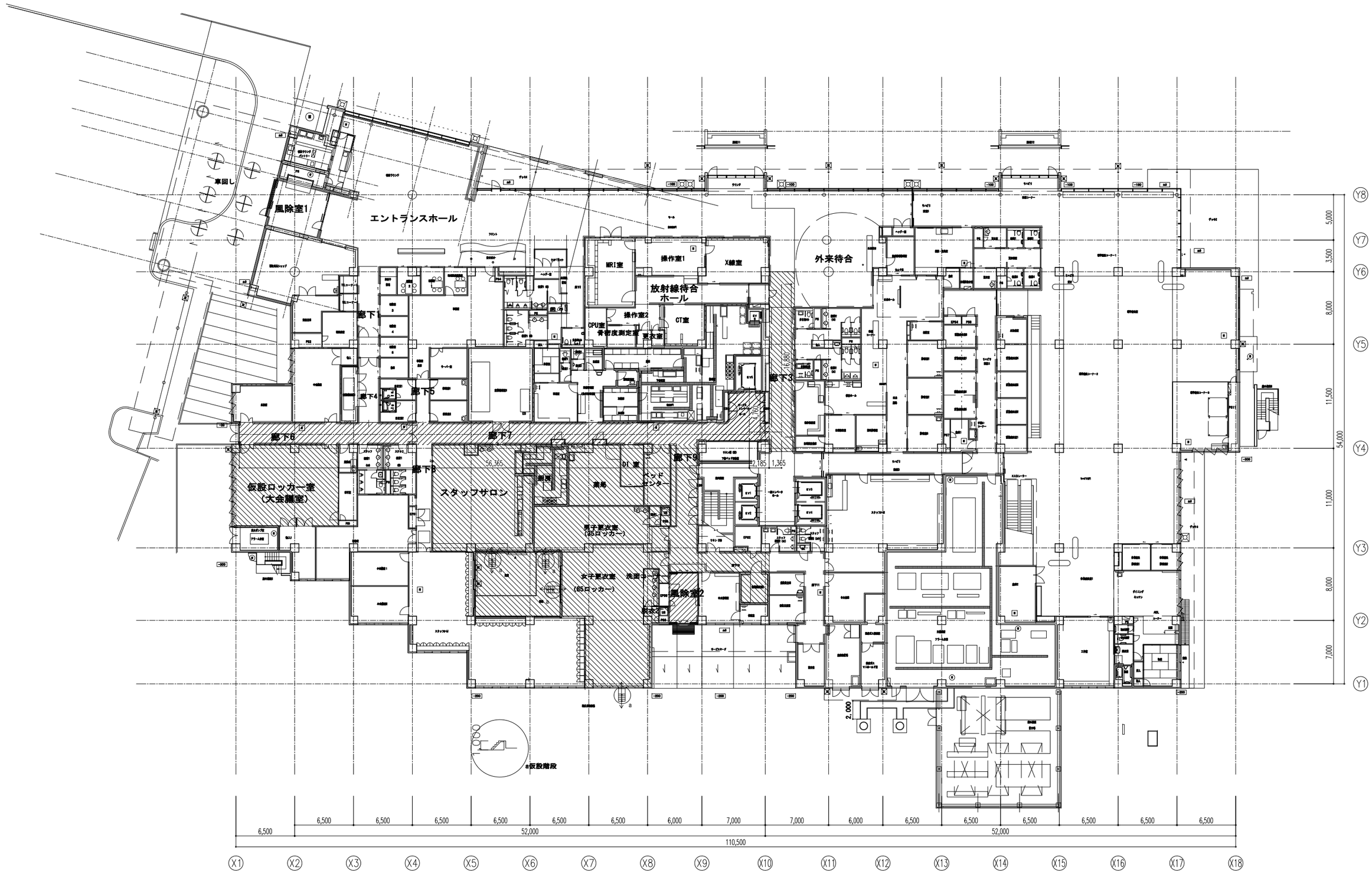
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 K-04 (249/402)
図面名	仮設養生計画図（1階平面図）（3）	縮尺 1:200	
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	

8. 管理部門(北側)　Ⅱ期-後期ステップ⑤

※改修時、大会議室を男女ロッカー室にあてる

：床養生範囲



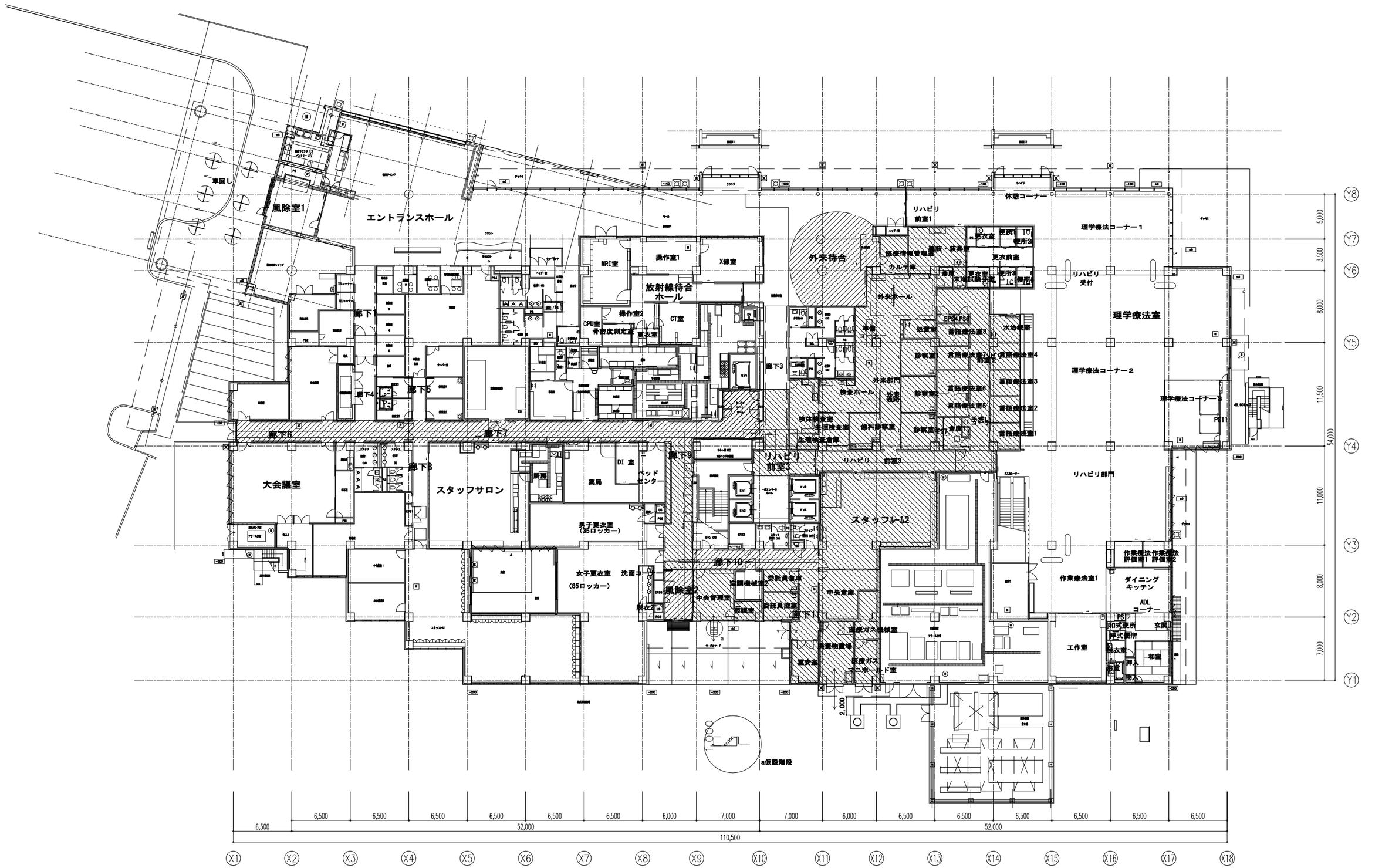
出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号
図面名	仮設養生計画図（１階平面図）（４）	縮尺 1:200	K-05
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(250/402)

5. 検査・外来系統
9. 管理部門(南側)

Ⅲ期-前期ステップ⑥

：床養生範囲



千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	仮設養生計画図（１階平面図）（５）
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

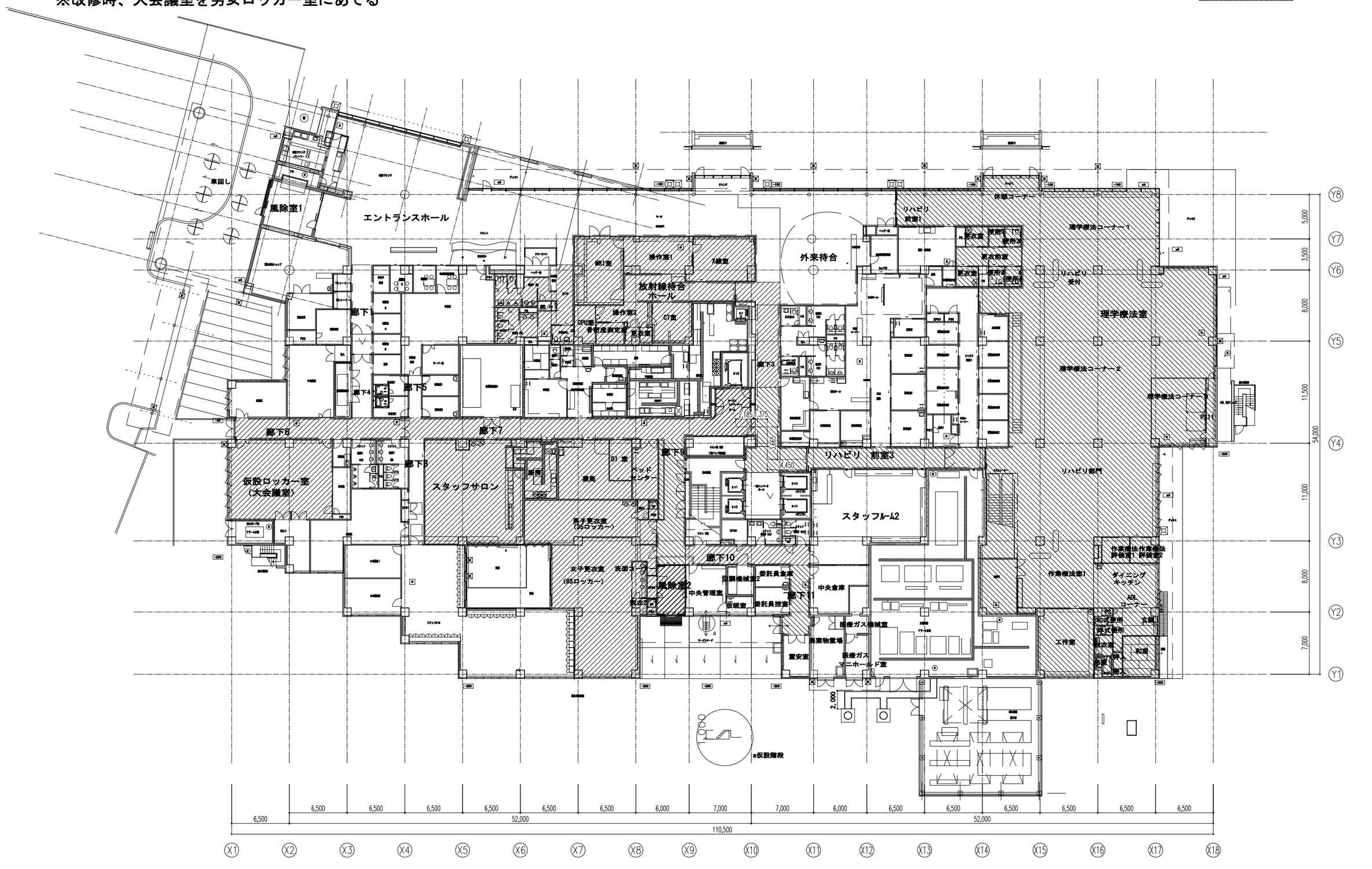
図面番号
K-06
(251/402)

4. 放射線系統
6. リハビリ系統
8. 1階管理北側（２）

Ⅱ期-後期ステップ⑤

※改修時、大会議室を男女ロッカー室にあてる

：床養生範囲



千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

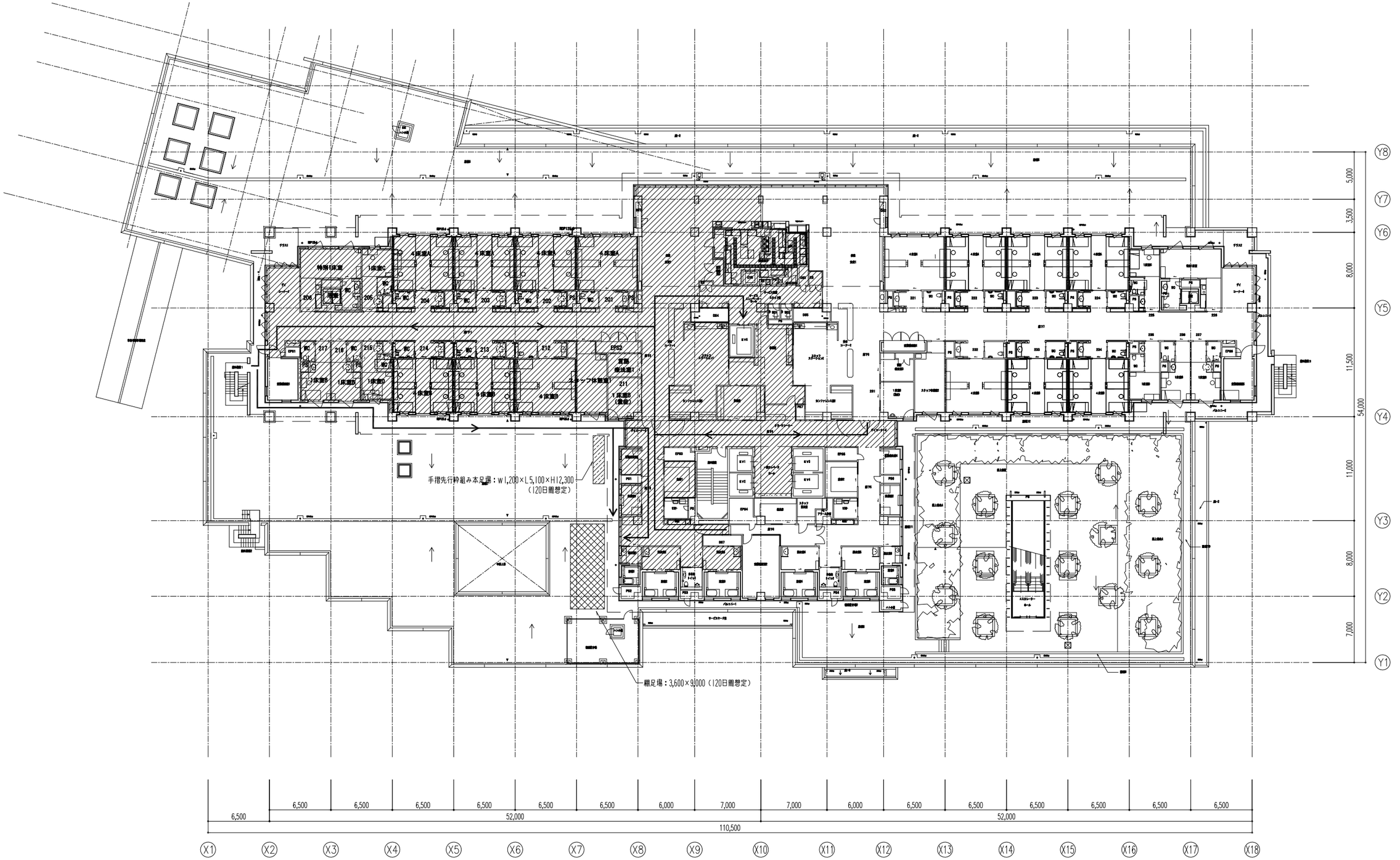
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 K-07 (252/402)
図面名	仮設養生計画図（１階平面図）（６）	縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

2階　北側棟

Ⅲ期-前期ステップ⑥

：床養生範囲



出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

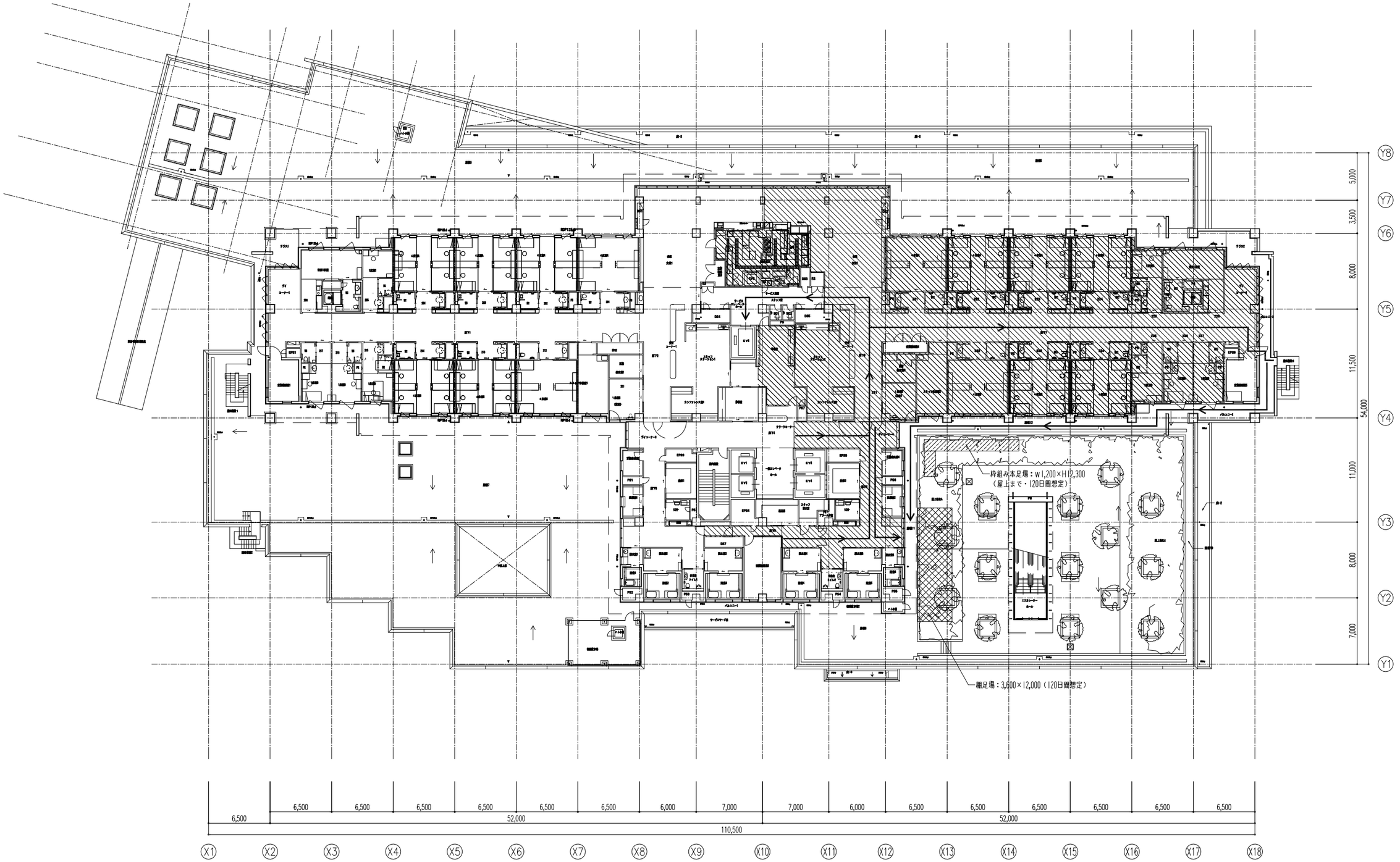
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	仮設養生計画図（２階平面図）（１）
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号
K－08
（253／402）

2階南側棟

Ⅲ期-後期工事ステップ⑦

：床養生範囲



千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

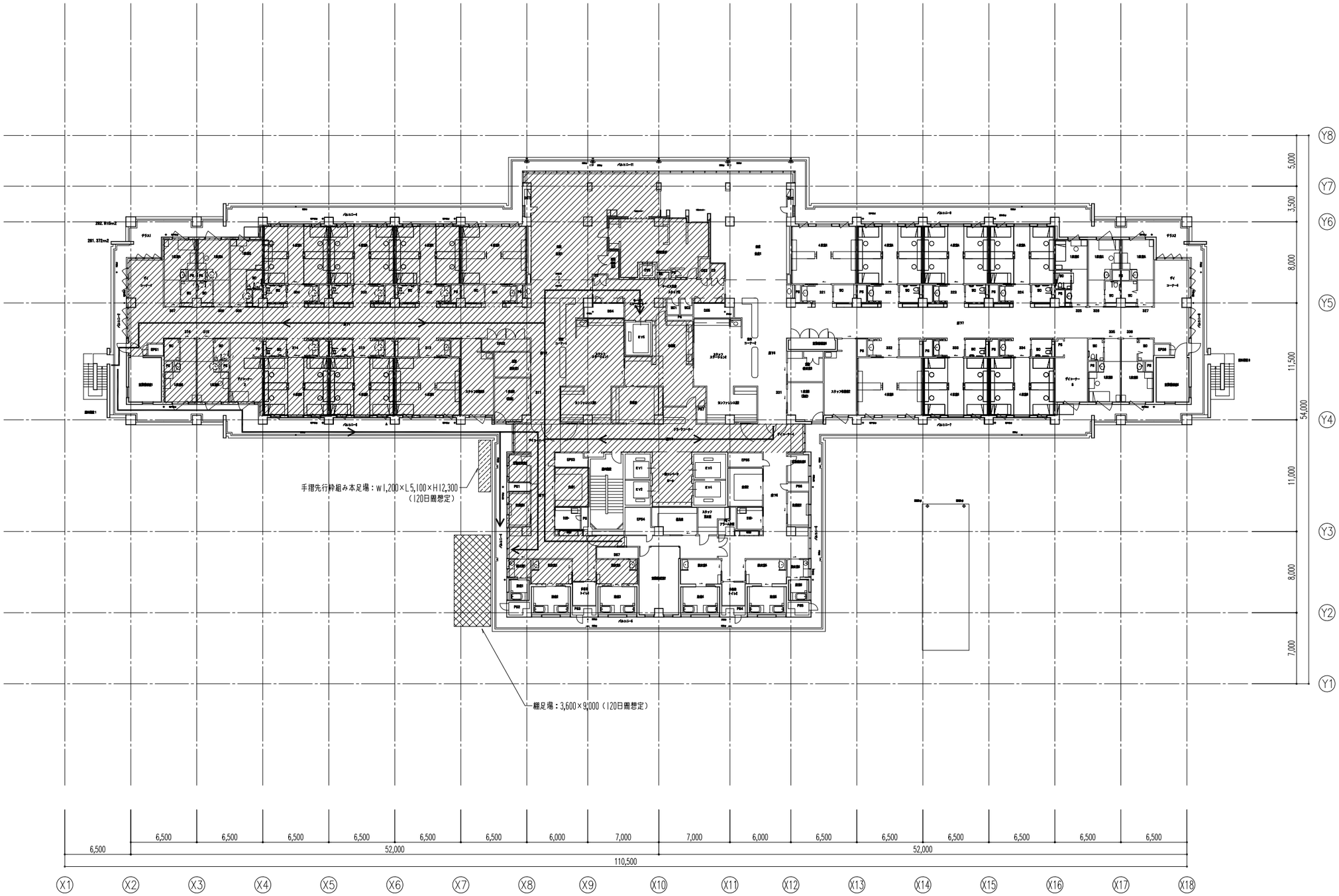
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	仮設養生計画図（2階平面図）（2）
縮尺	1:200
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
図面番号	K-09（254/402）

3階北側棟

Ⅰ期-前期工事ステップ②

：床養生範囲

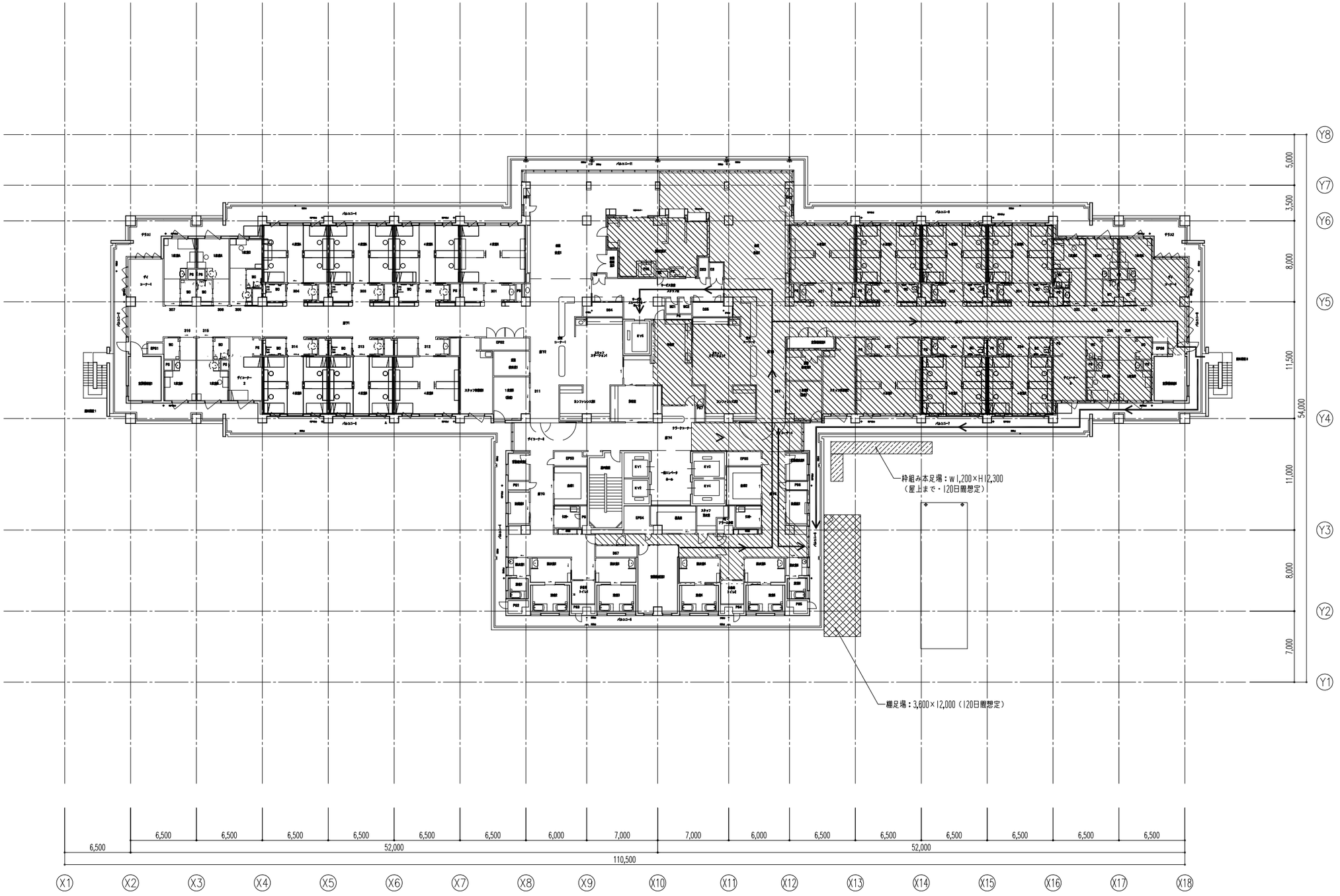


出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	仮設養生計画図（3階平面図）（1）
		縮尺	1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 K-10 (255/402)

3階南側棟	Ⅰ期-後期工事ステップ③

：床養生範囲



出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

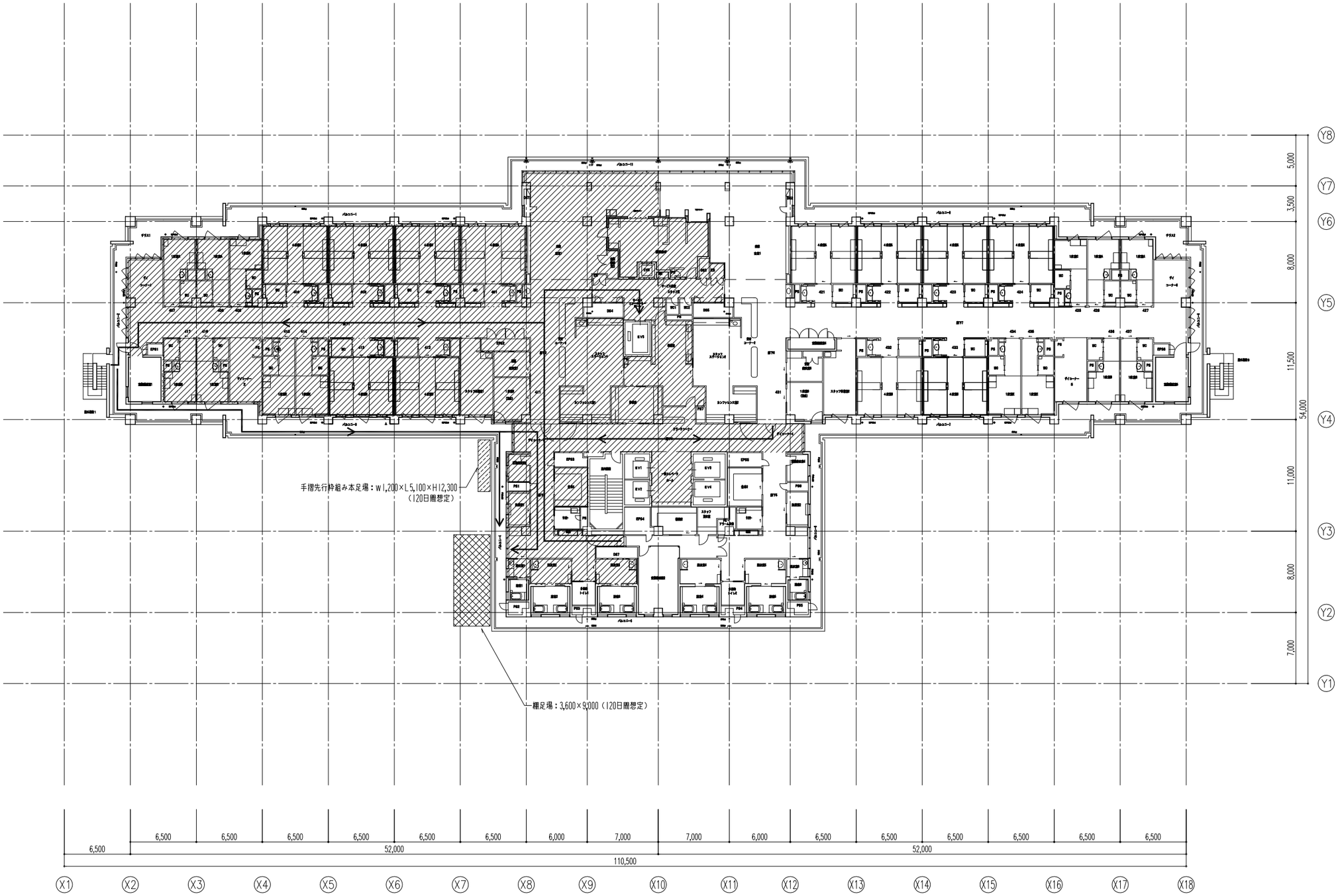
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 K-11 (256/402)
図面名	仮設養生計画図（3階平面図）（2）	縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

4階北側棟

Ⅱ期-前期工事ステップ④

：床養生範囲

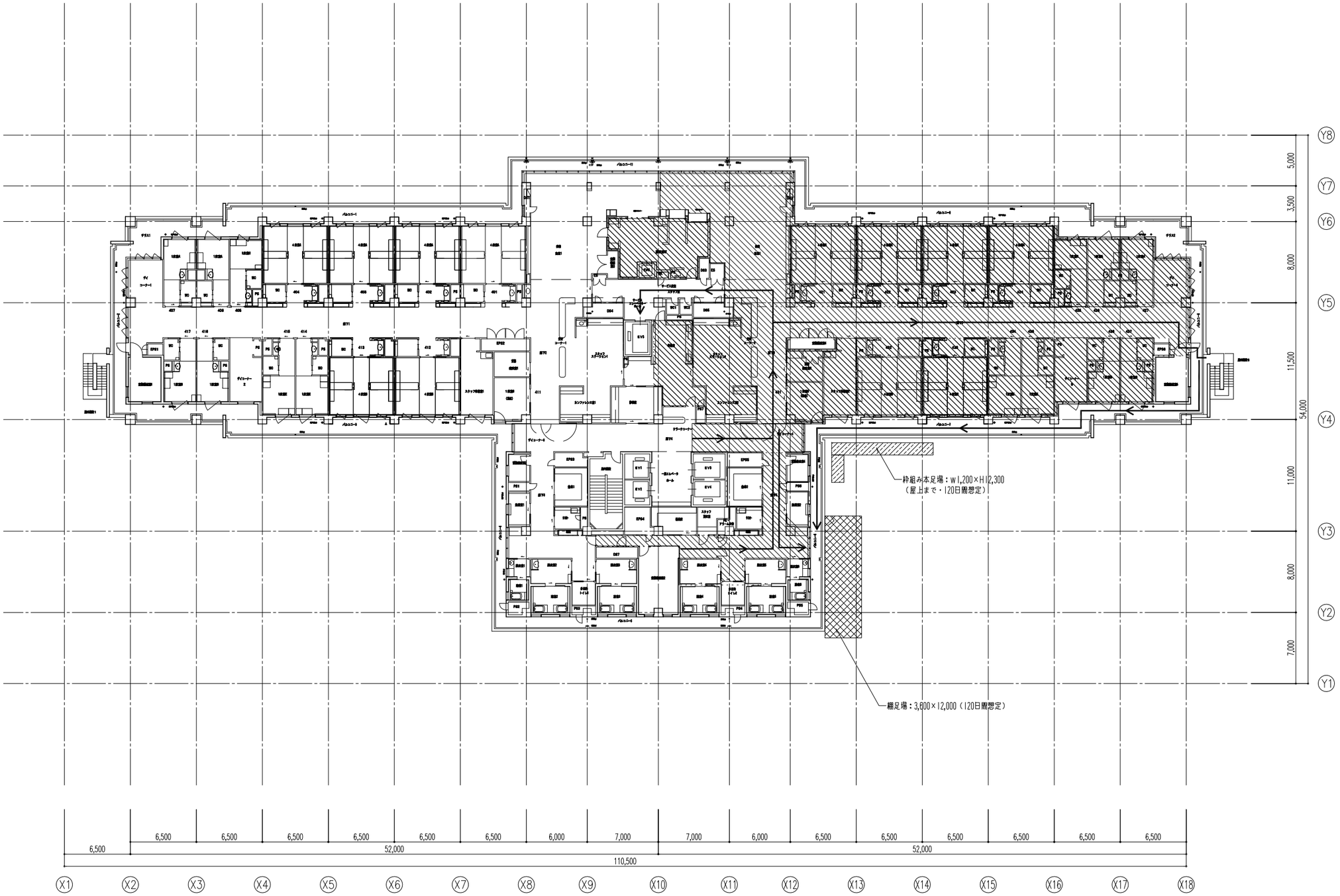


千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫 出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 K-12 （257/402）
	図面名	仮設養生計画図（4階平面図）（1）	縮尺　1:200
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

4階南側棟

Ⅱ期-後期工事ステップ⑤

：床養生範囲



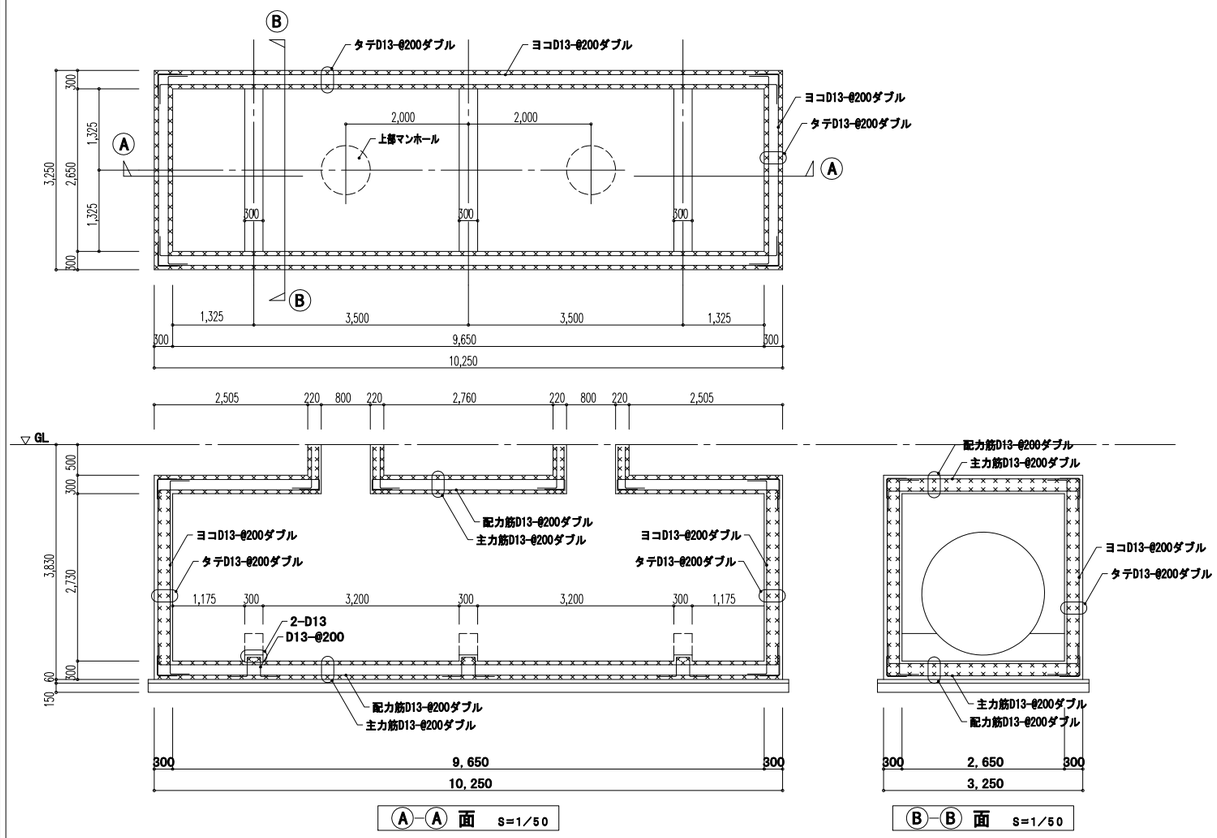
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 K-13 (258/402)
図面名	仮設養生計画図（４階平面図）（２）	縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

オイルタンクピット詳細図　　S＝1／50

（注記）　特記なき限り下記による。



Ⓐ—Ⓐ 面　S=1／50

Ⓑ—Ⓑ 面　S=1／50

千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	（既存）オイルタンク詳細図
		縮尺	1:50
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	K－14 （259／402）

凡例

：仮設鉄骨を示す

樹脂製仮設敷板：910×1,820×t13×14枚

鉄板敷き：1.5m×6m×t22×38枚
1.5m×3m×t22×8枚

H−400×400×13×21（1列・2本L=7.0m）

H−400×400×13×21　2列（L=10.5）

H−400×400×13×21　2列（L=8.0+2.6）

サービス・
スタッフ出入口

スロープ

ｹﾞﾃﾚｰﾁﾝｸﾞ

職員用駐輪場1（別図参照）

職員用駐輪場2

植込

サービスヤード

ｹﾞﾃﾚｰﾁﾝｸﾞT−25固定

白線W150

側溝300×300

部オイルタンク

4,125

8,430

屋外機械置き場

植込

植込

植込

植込

A

植込

1/12.5

DN

C

2

1

下部浄化槽

サービス用
駐車場（3台）

車止め（既設）

浄化槽
階段室

底引打ち

ｹﾞﾃﾚｰﾁﾝｸﾞT−25固定

仮設ステージ
（GL+800）
14.5㎡

キャスターゲート：w6m×H2.0m

仮囲い：成形鋼板 H=2.0m×75m

1,800

3,000

植込

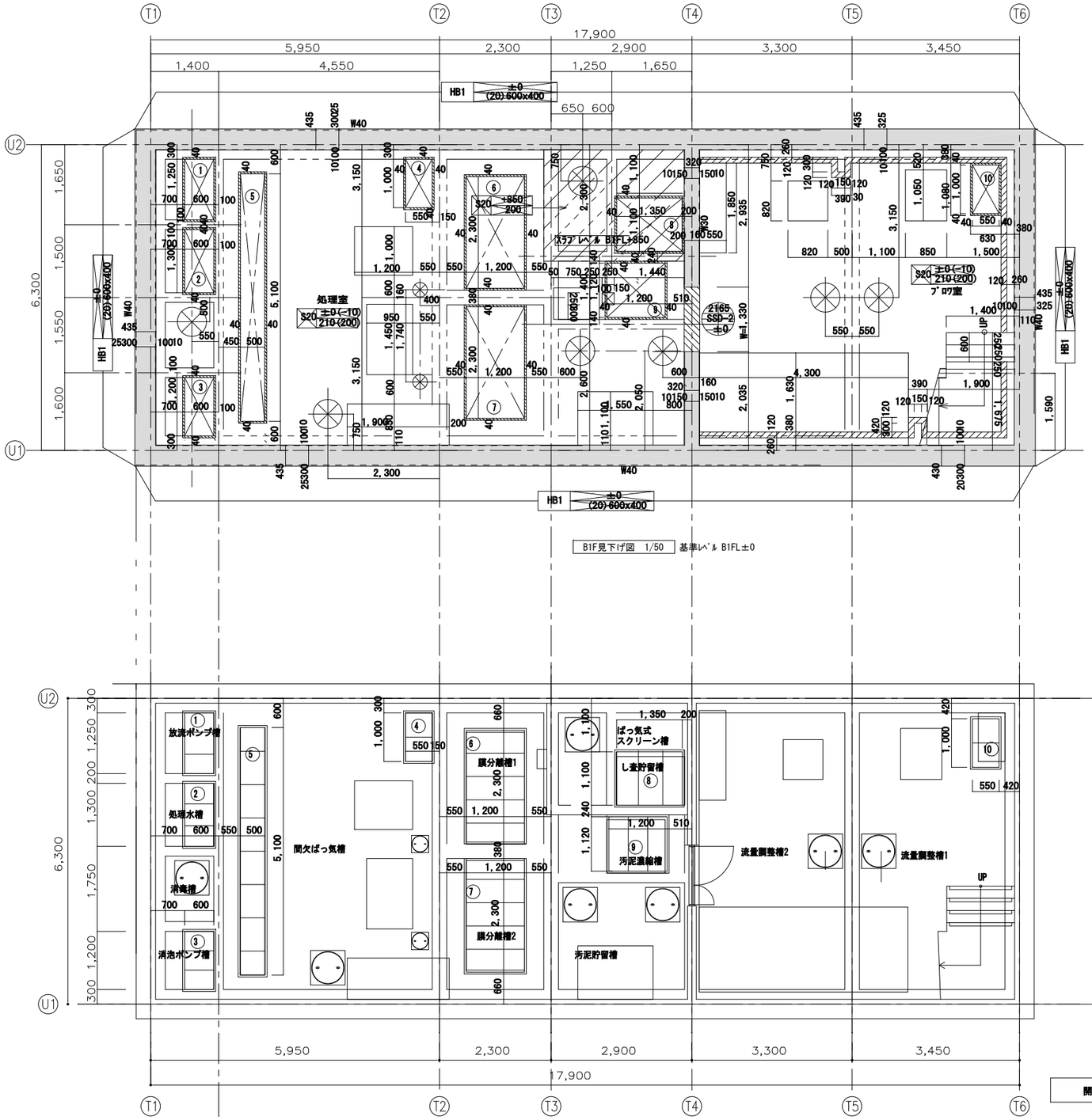
仮設通路：コンクリート舗装t=150（刷毛引き）
（Fc=21、S=18）再生砕石 t=100

S05
H=9.161

公園下310

市道35507号線

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	浄化槽配置平面図
		縮尺	1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	K-15（260/402）



B1F見下げ図　1/50　基準ﾚﾍﾞﾙ B1FL±0

開口リスト

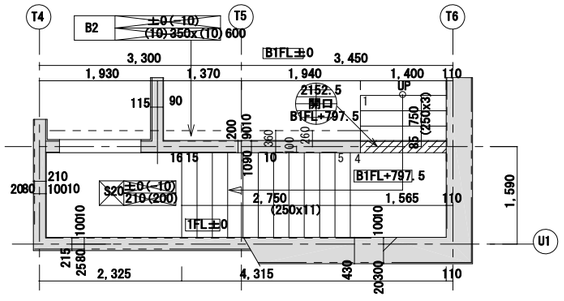
記号	取付場所	開口寸法	箇所数	分割数
1	放流ポンプ槽	600 x 1250	1	3
2	処理水槽	600 x 1300	1	3
3	消泡ポンプ槽	600 x 1200	1	3
4	間欠ばっ気槽	550 x 1000	1	2
5	間欠ばっ気槽	500 x 5100	1	10
6	膜分離槽1	1200 x 2300	1	5
7	膜分離槽2	1200 x 2300	1	5
8	ばっ気式スクリーン槽	1100 x 1350	1	3
9	汚泥濃縮槽	1120 x 1200	1	3
10	流量調整槽1	550 x 1000	1	2
	地上	Ø600マンホール	1	
	地下1階	Ø600マンホール	7	
	地下1階	Ø300マンホール	2	

開口部蓋配置図（S＝1／50）

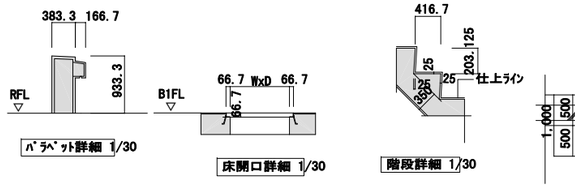
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	浄化槽詳細図（1）
尺度	1:50
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 K-16 (261/402)



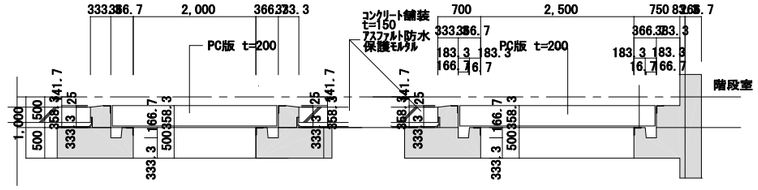
階段平面図



パラペット詳細 1/30

床開口詳細 1/30

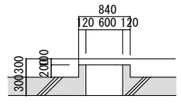
階段詳細 1/30



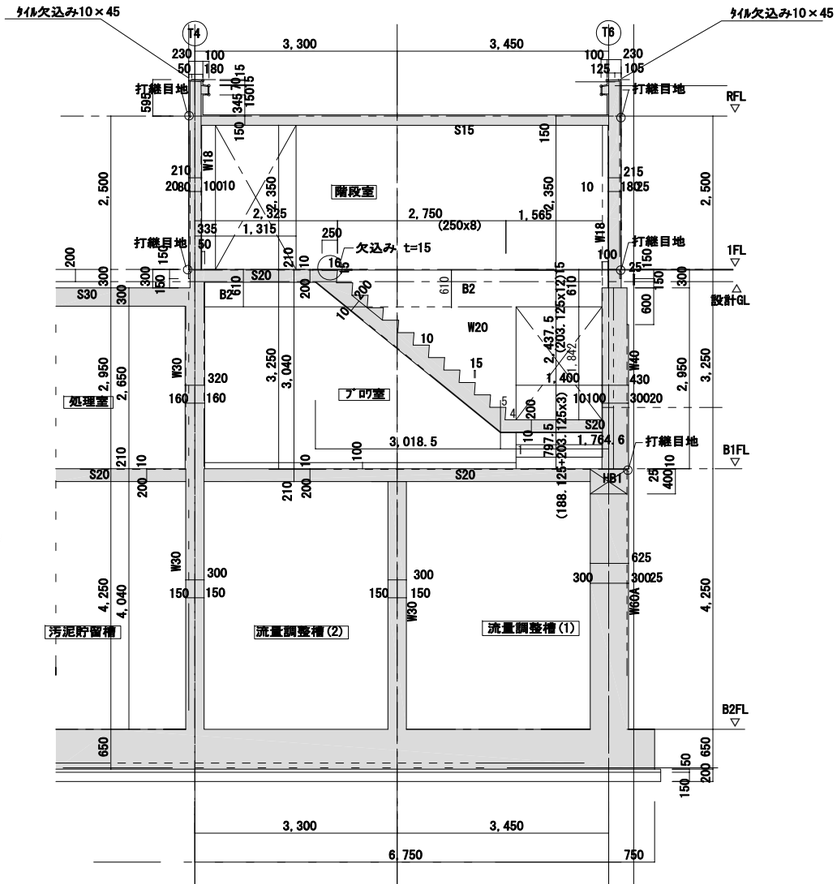
Ⓐ 断面 1/30

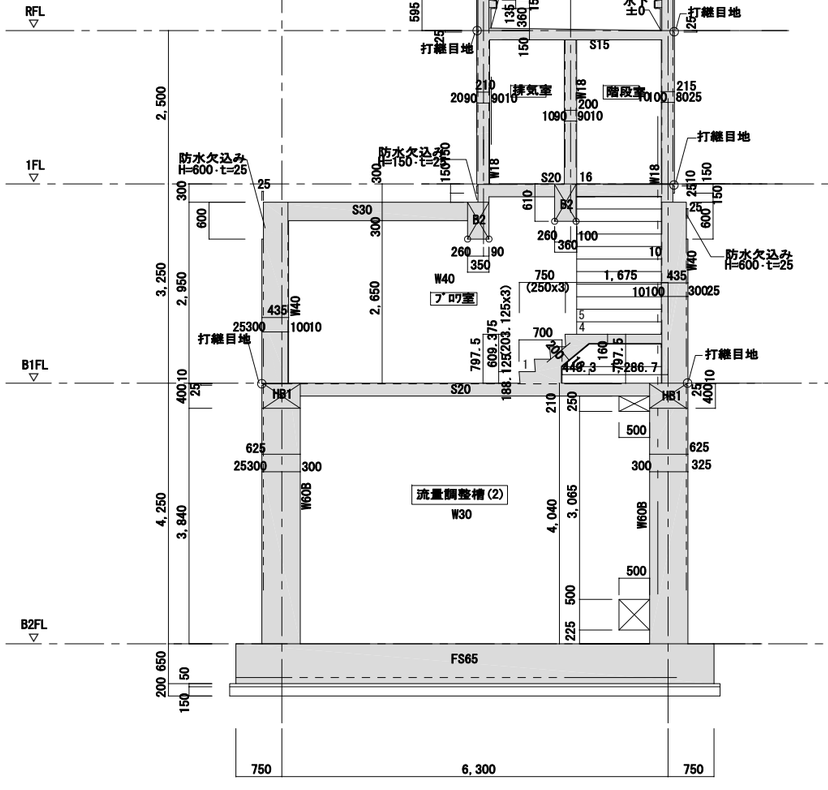
Ⓑ 断面 1/30

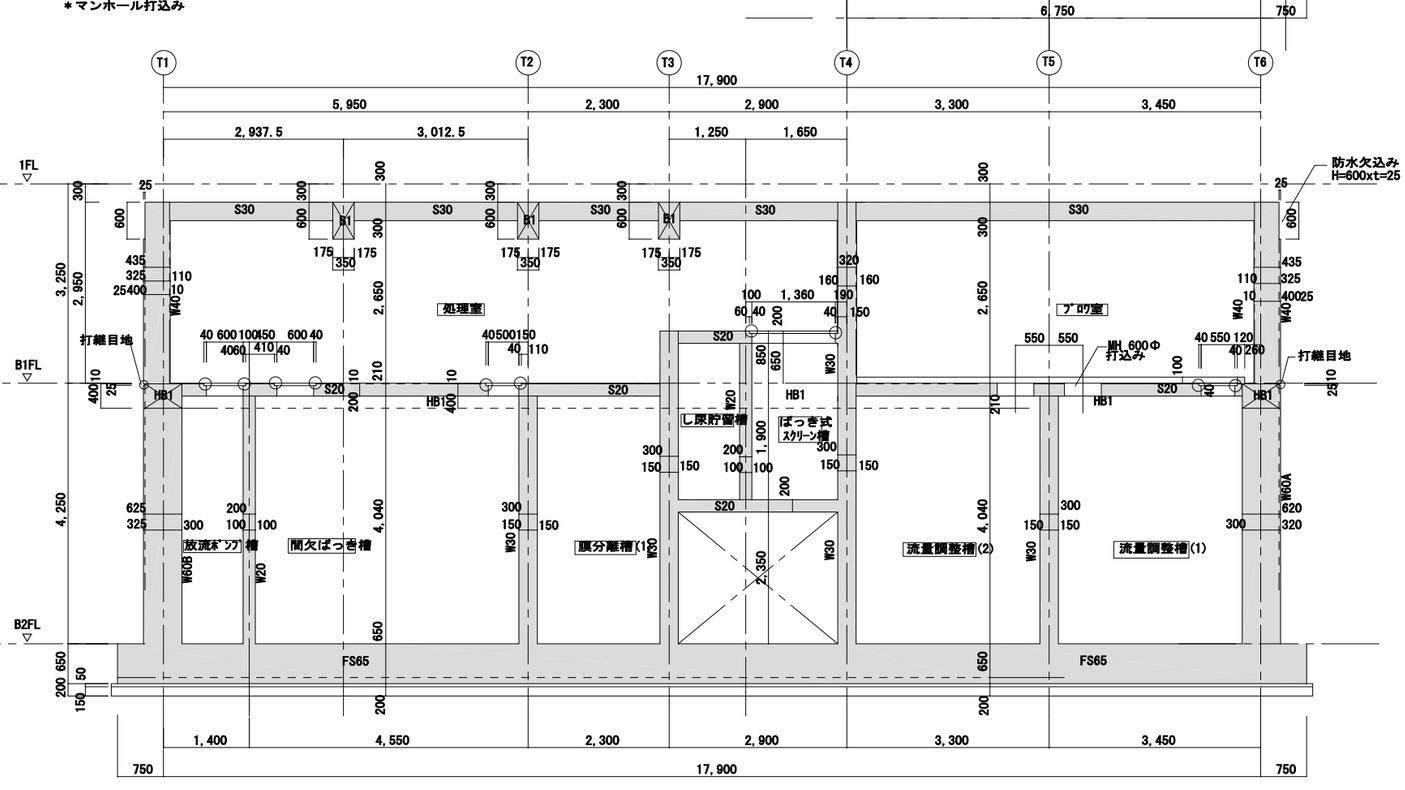
マシンハッチ断面 1/30



マンホール600φ立上り
＊マンホール打込み



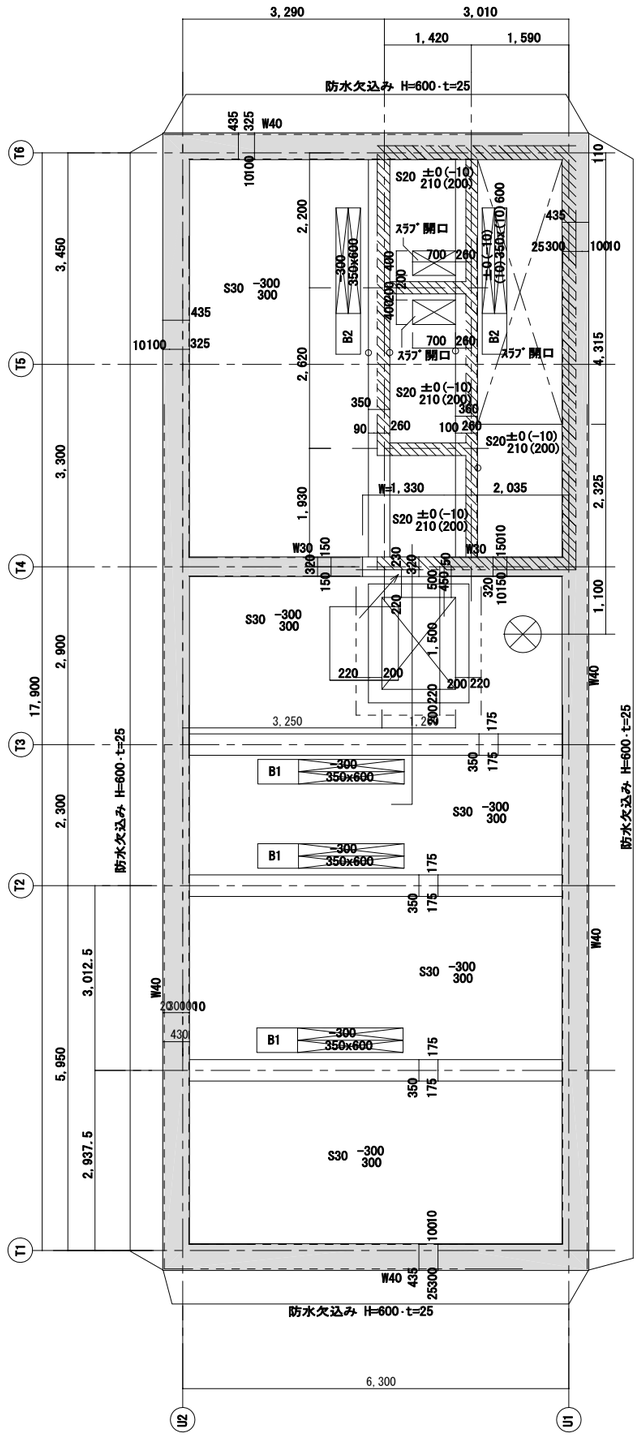




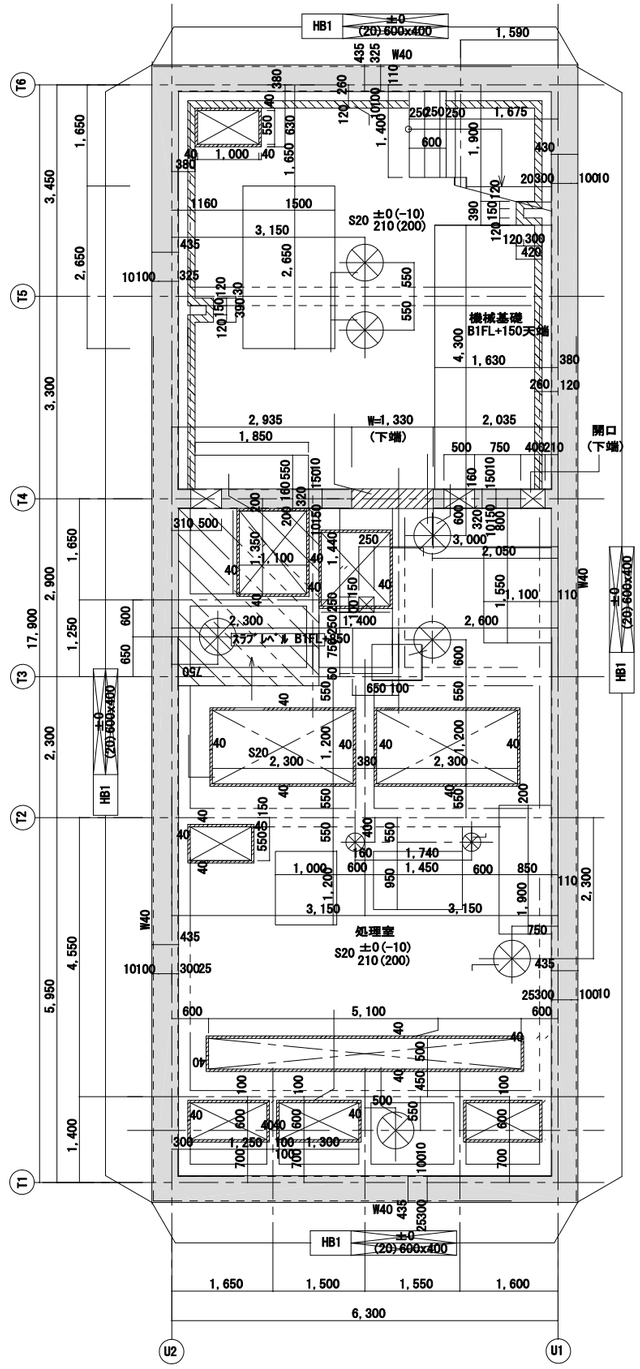
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	浄化槽詳細図（２）
縮尺	1:50
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

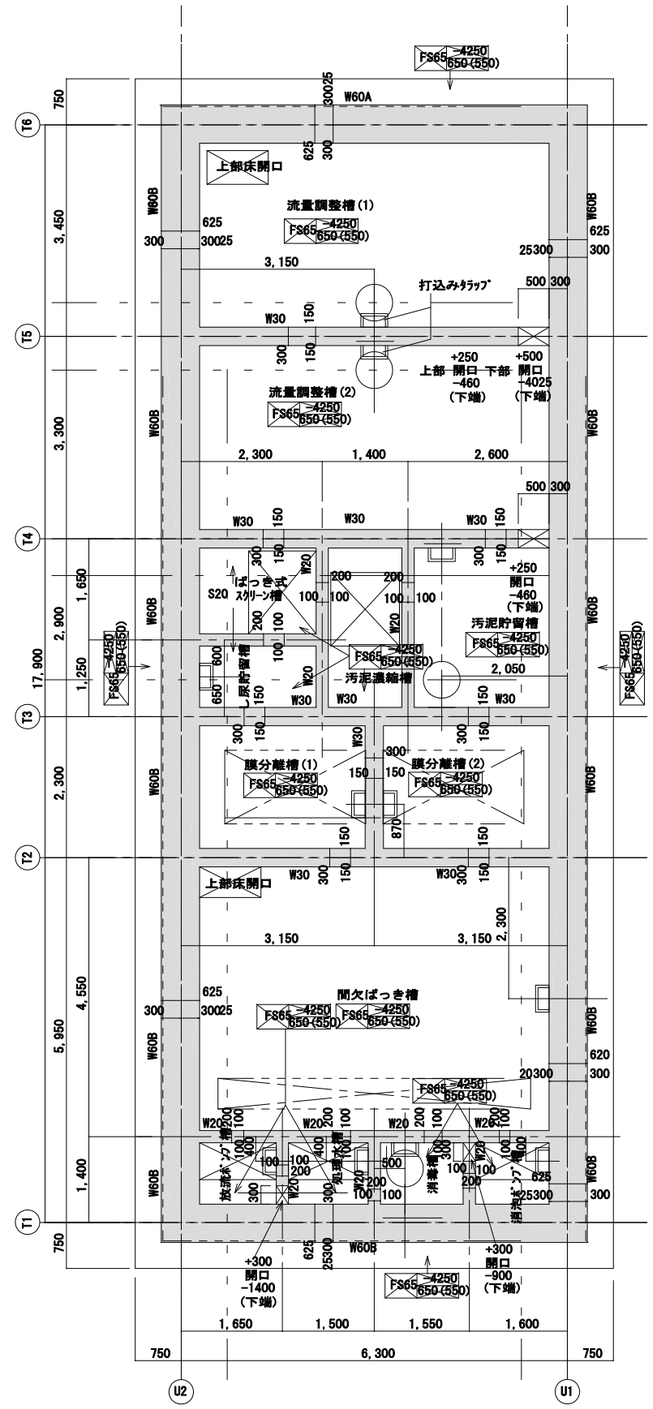
図面番号 K-17 (262/402)



B1F見上げ図 1/50 基準ﾚﾍﾞﾙ 1FL±0



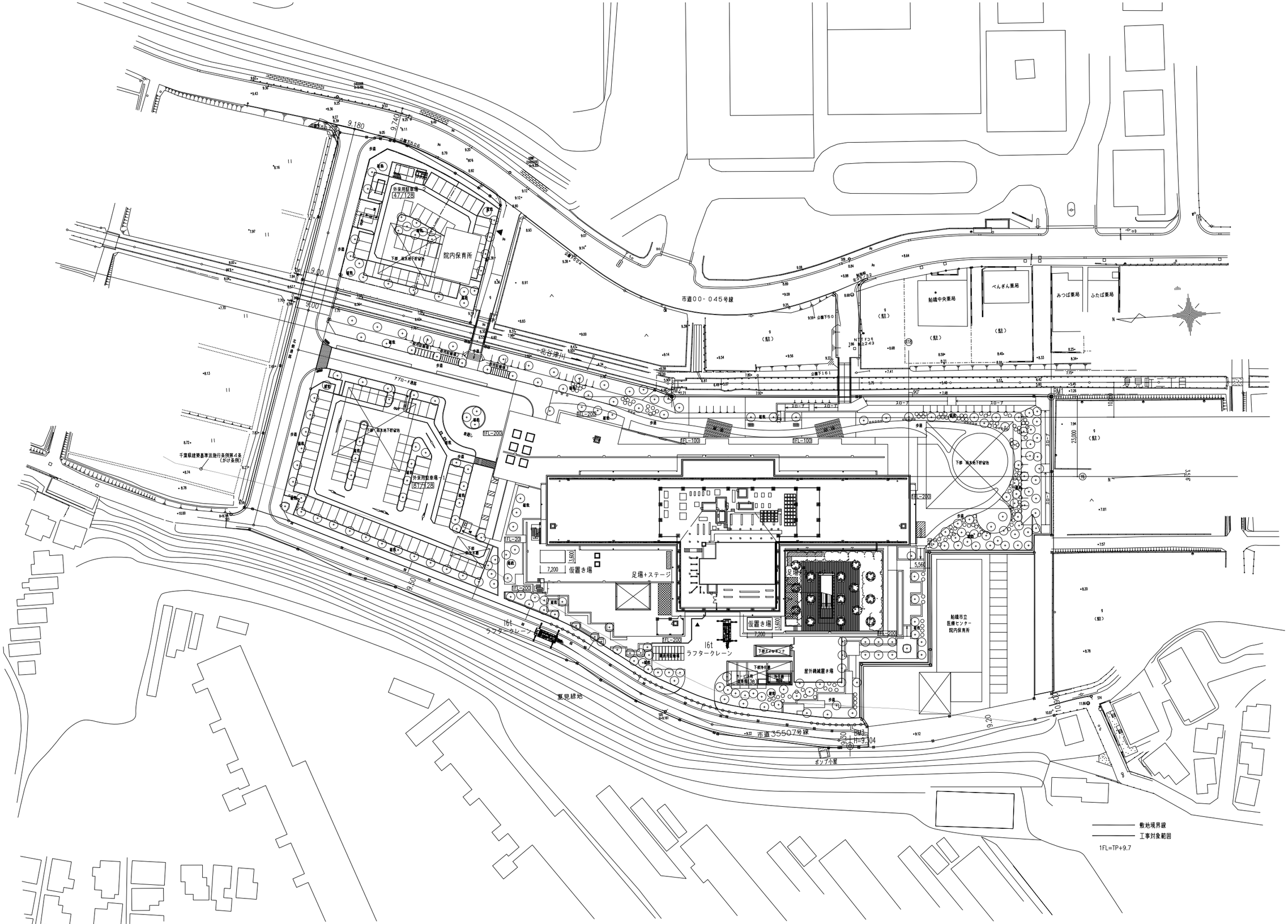
B1F見下げ図 1/50 基準ﾚﾍﾞﾙ B1FL±0



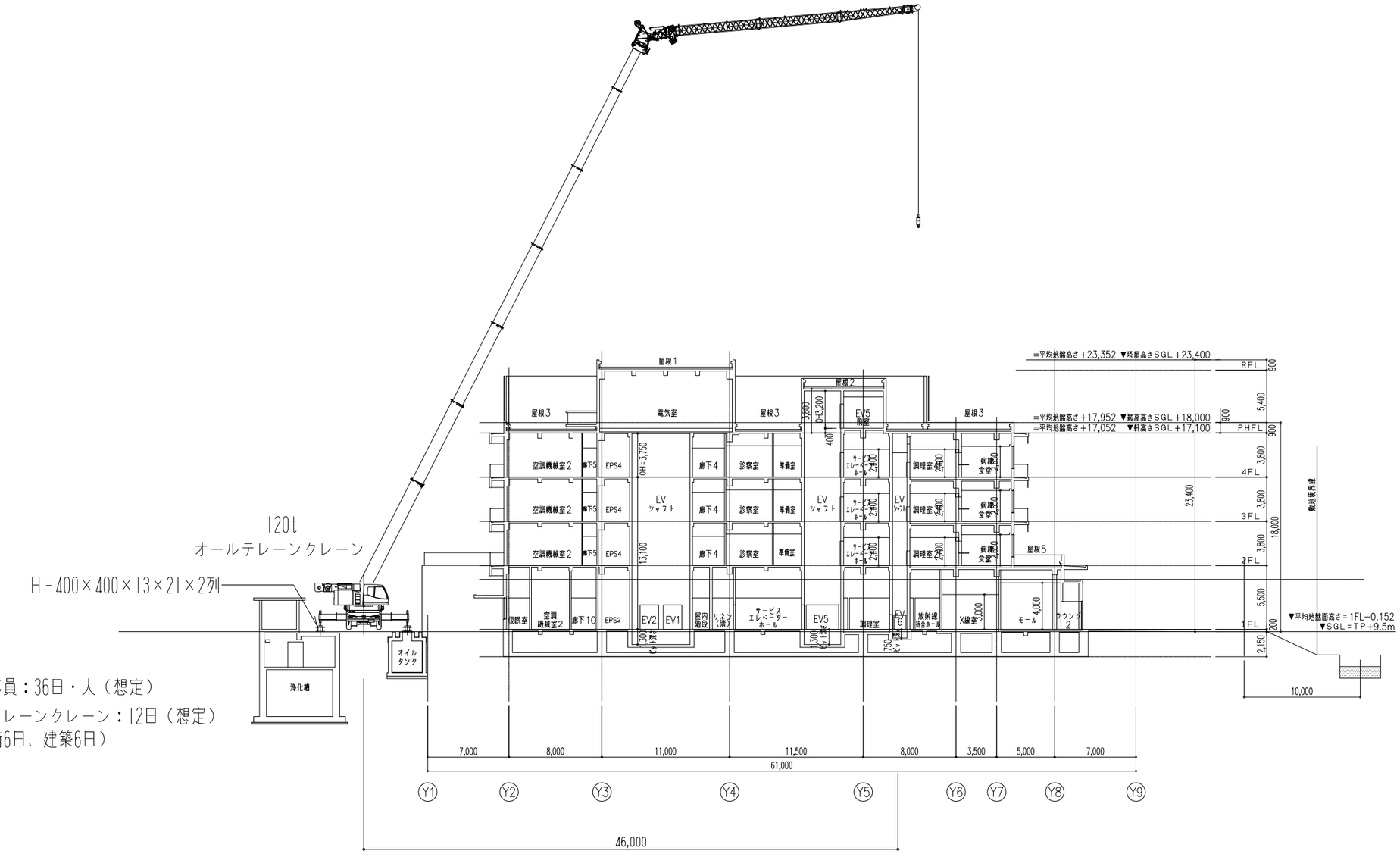
B2F見下げ図 1/50 基準ﾚﾍﾞﾙ B1FL±0

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	浄化槽詳細図（３）
		尺度	1:50
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 K-18 (263/402)



千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 K-19 (264/402)
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	図面名	ラフタークレーン配置図	縮尺 1:500
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度



■交通誘導員：36日・人（想定）

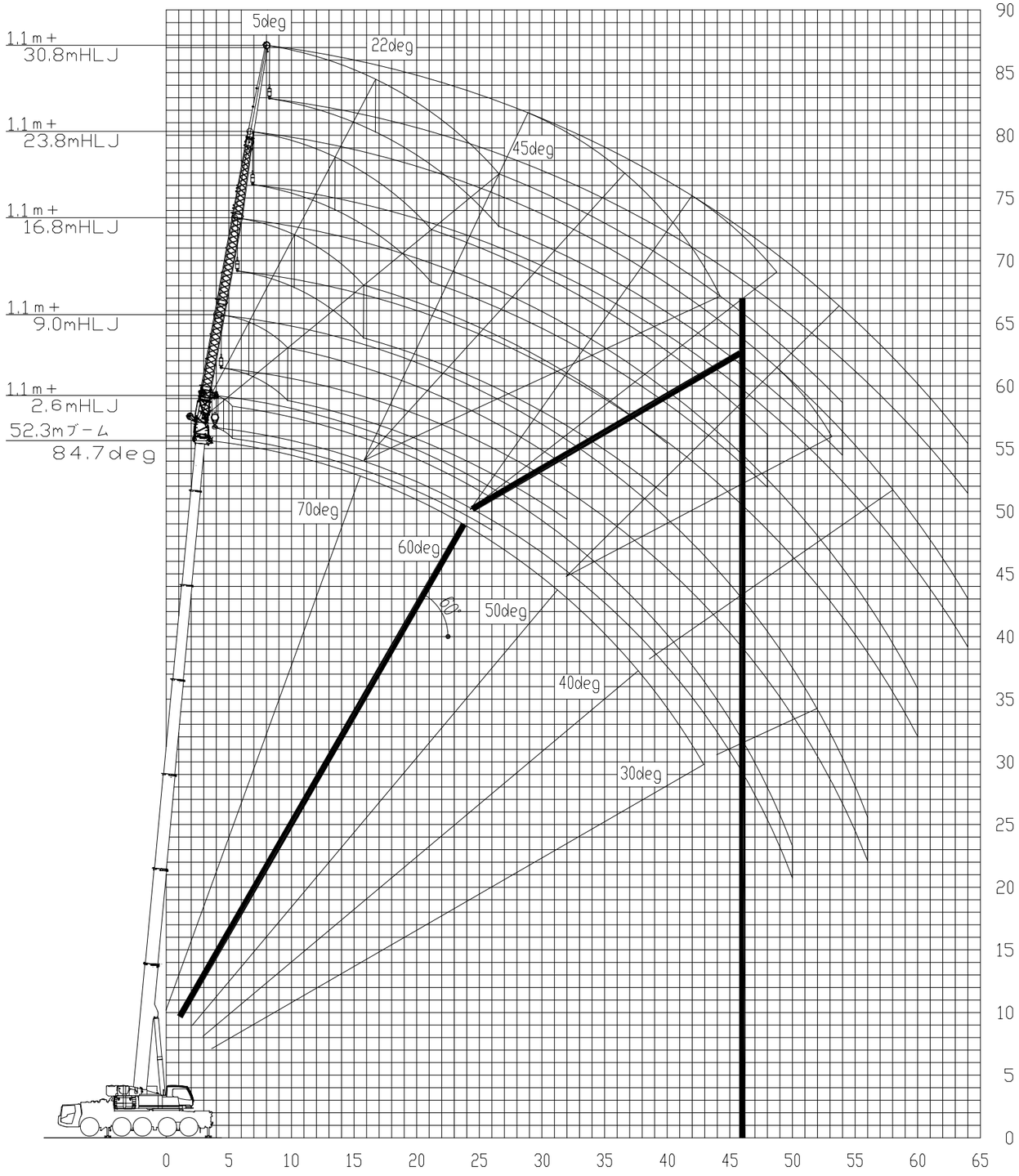
■オールテレーンクレーン：12日（想定）
（機械設備6日、建築6日）

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	オールテレーンクレーン検討図（断面図）
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 K-20 (265/402)

作業半径－揚程図
52.3ｍブーム+油圧チルトジブ

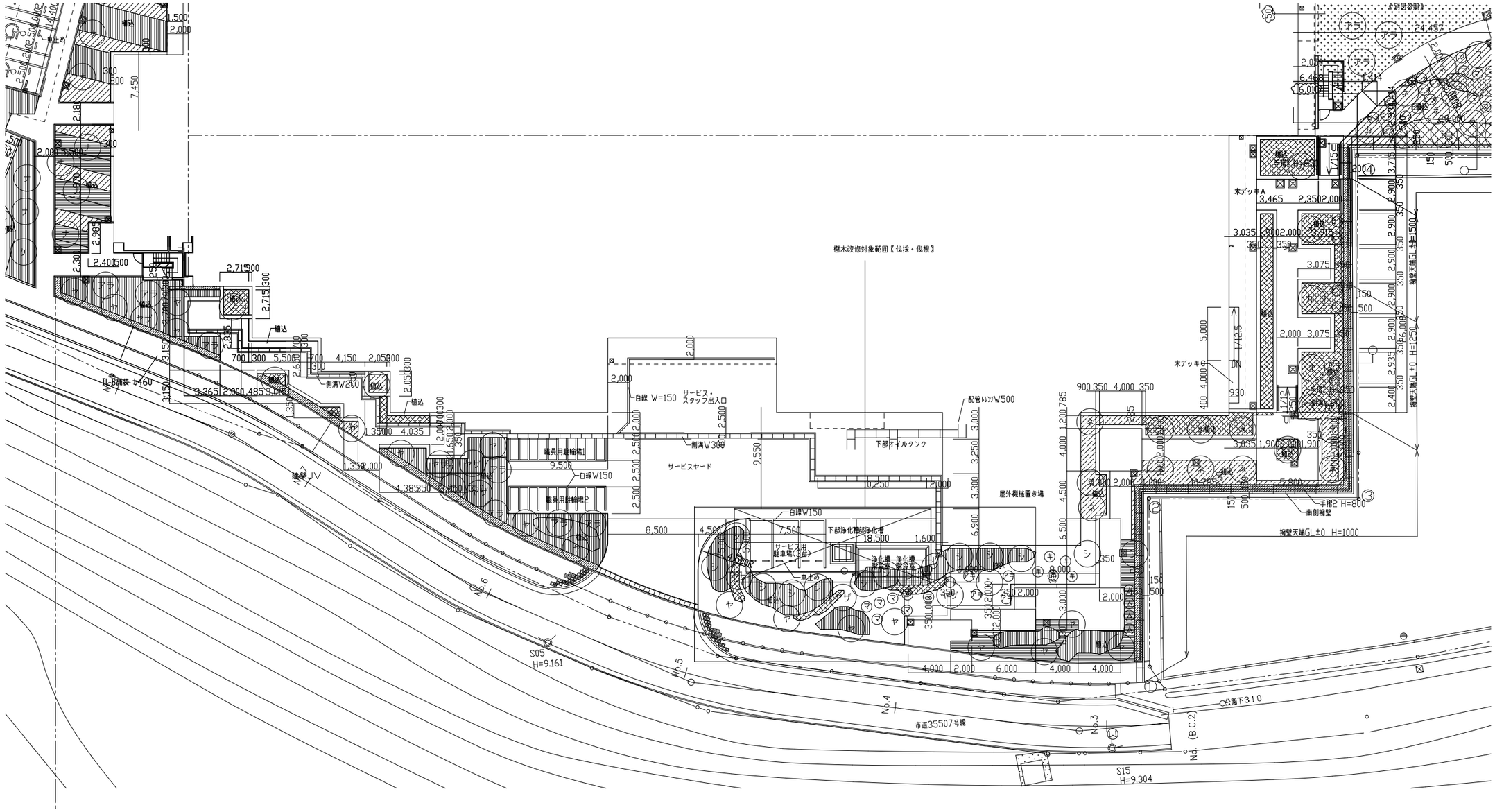


注意：上図はブームのたわみを含んでいません。
カウンタウエイト34.1ｔ,アウトリガ張出幅7.5m時の性能を図示しています。

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	オールテレーンクレーン検討図（作業半径）
縮尺	1:200
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 K-21 (266/402)

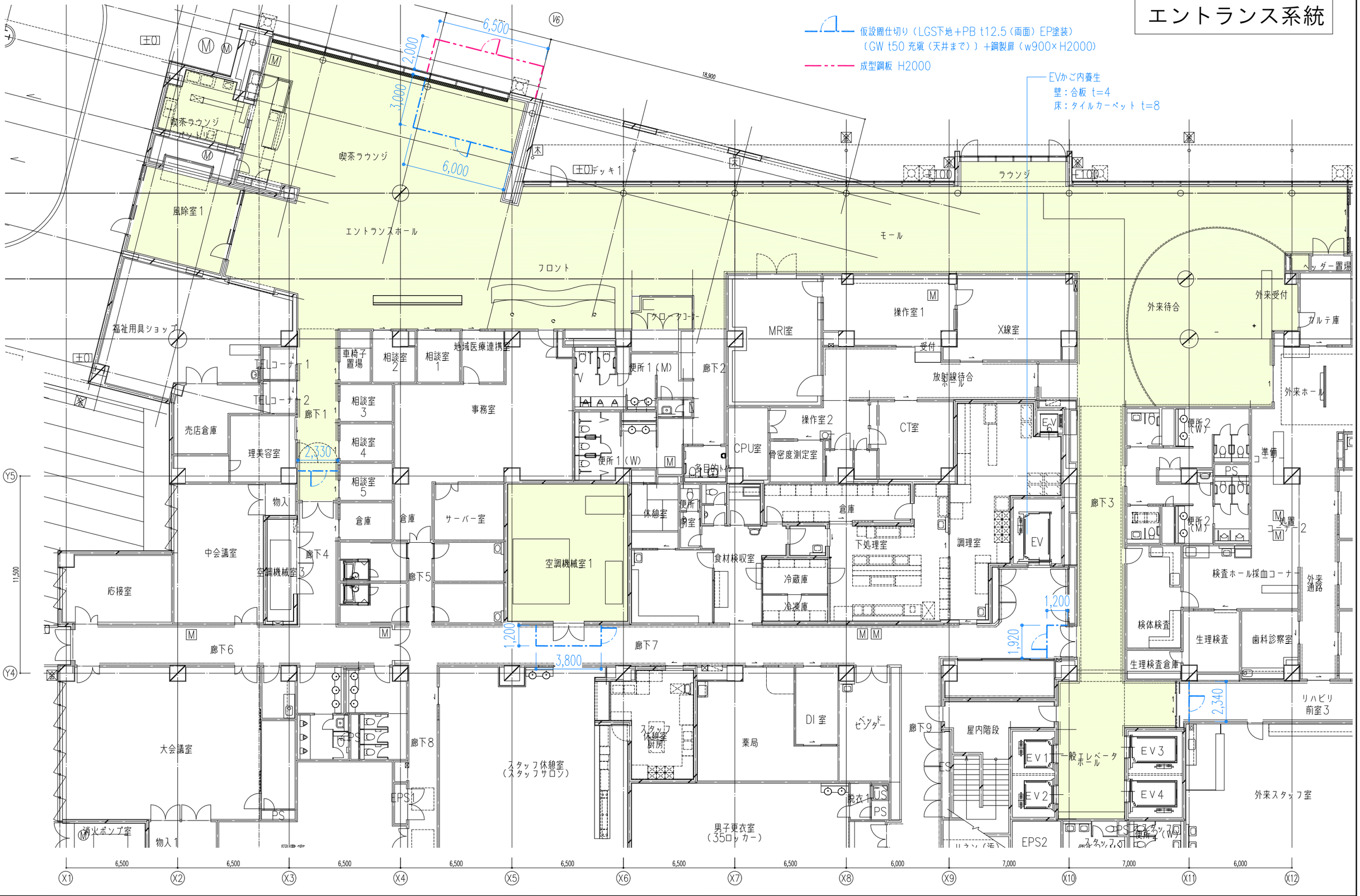

樹木改修対象範囲【伐採・伐根】
サービスヤード
職員用駐輪場1
職員用駐輪場2
サービス用駐車場(3台)
白線 W=150
白線W150
サービス・スタッフ出入口
配管トレンチW500
下部オイルタンク
屋外機械置き場
下部浄化槽
浄化槽
側溝W300
側溝W200
植込
手摺2 H=800
南側擁壁
擁壁天端GL±0 H=1000
擁壁天端GL±0 H=1250
擁壁天端GL±0 H=1500
木デッキA
木デッキB
公園下310
市道35507号線
No.1
No.2
No.3
No.4
No.5
No.6
No.7
No.8
No.9
No.10
No.11
No.12
No.13
No.14
No.15
No.16
No.17
No.18
No.19
No.20
No.21
No.22
No.23
No.24
No.25
No.26
No.27
No.28
No.29
No.30
No.31
No.32
No.33
No.34
No.35
No.36
No.37
No.38
No.39
No.40

エントランス系統

仮設間仕切り（LGS下地＋PB t12.5（両面）EP塗装）
（GW t50 充填（天井まで））＋鋼製扉（w900×H2000）

成型鋼板 H2000

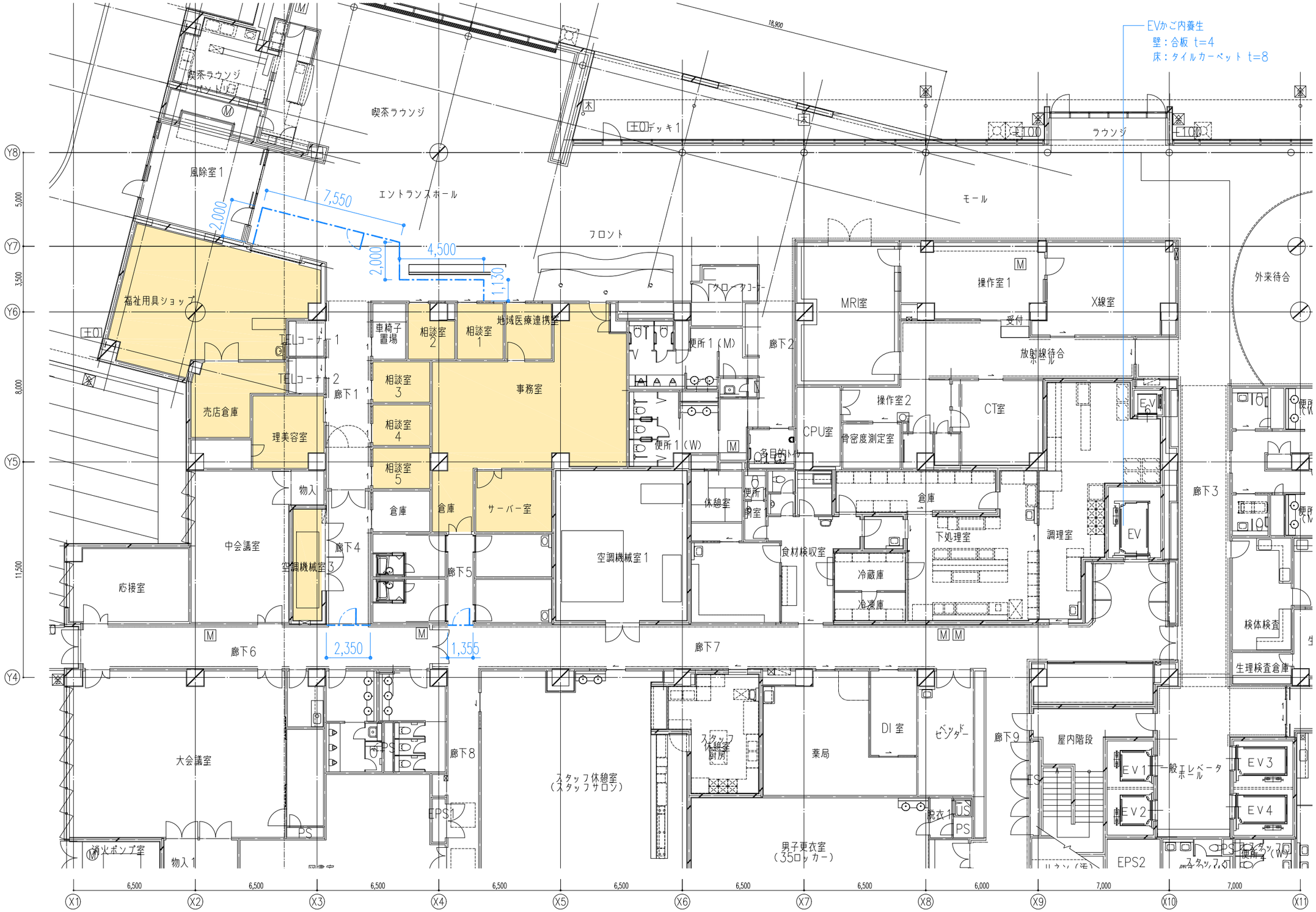
EVかご内養生
壁：合板 t=4
床：タイルカーペット t=8



千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 K-23 (268/402)
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	図面名	仮設間仕切り1階平面図（I）エントランス	縮尺 1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

仮設囲仕切り（LGS下地＋PB t12.5（両面）EP塗装）
（GW t50 充填（天井まで））＋鋼製扉（w900×H2000）

売店・事務室系統



千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

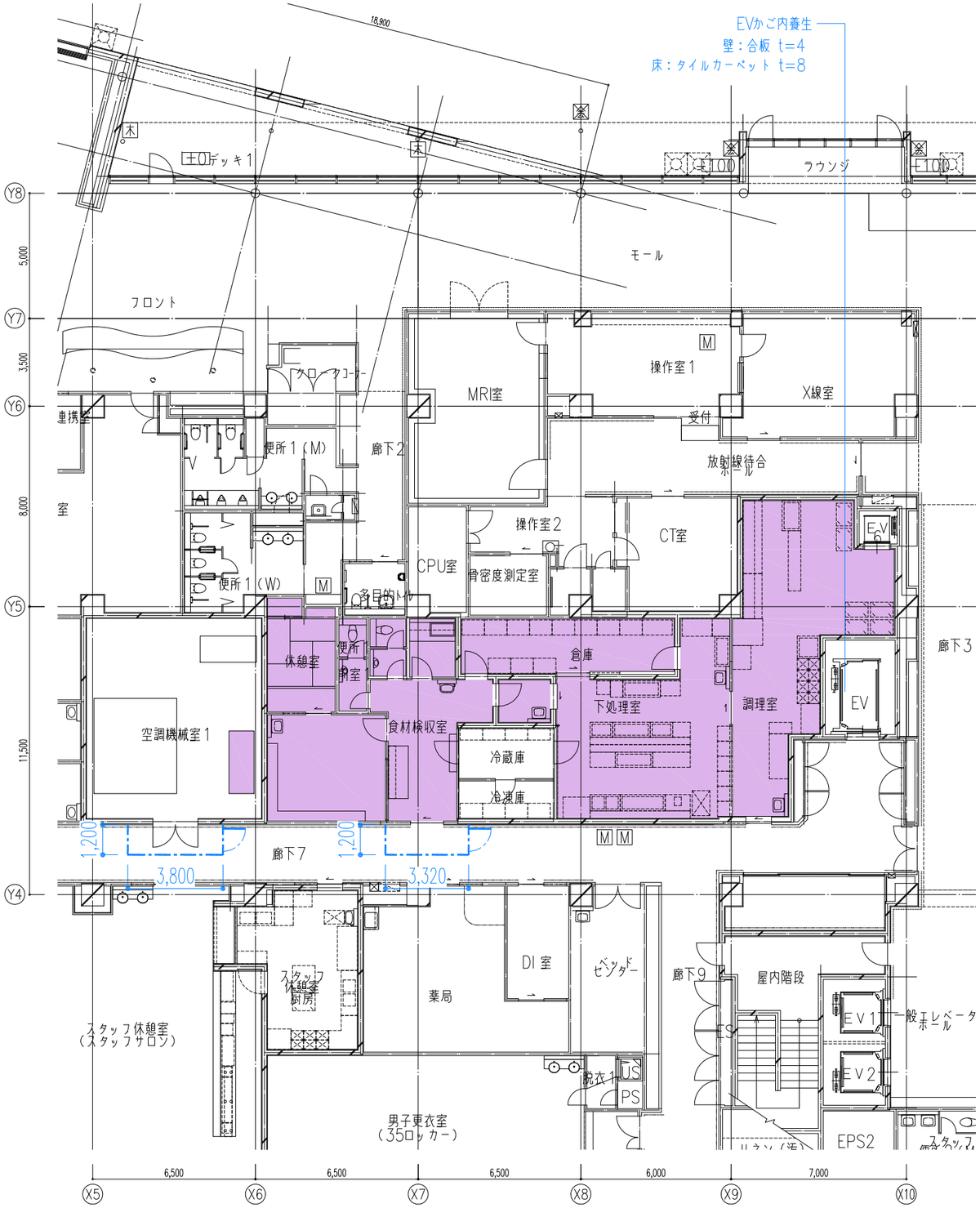
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号
図面名	仮設囲仕切り１階平面図（2）売店・事務室	縮尺 1:100	K-24
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	（269/402）

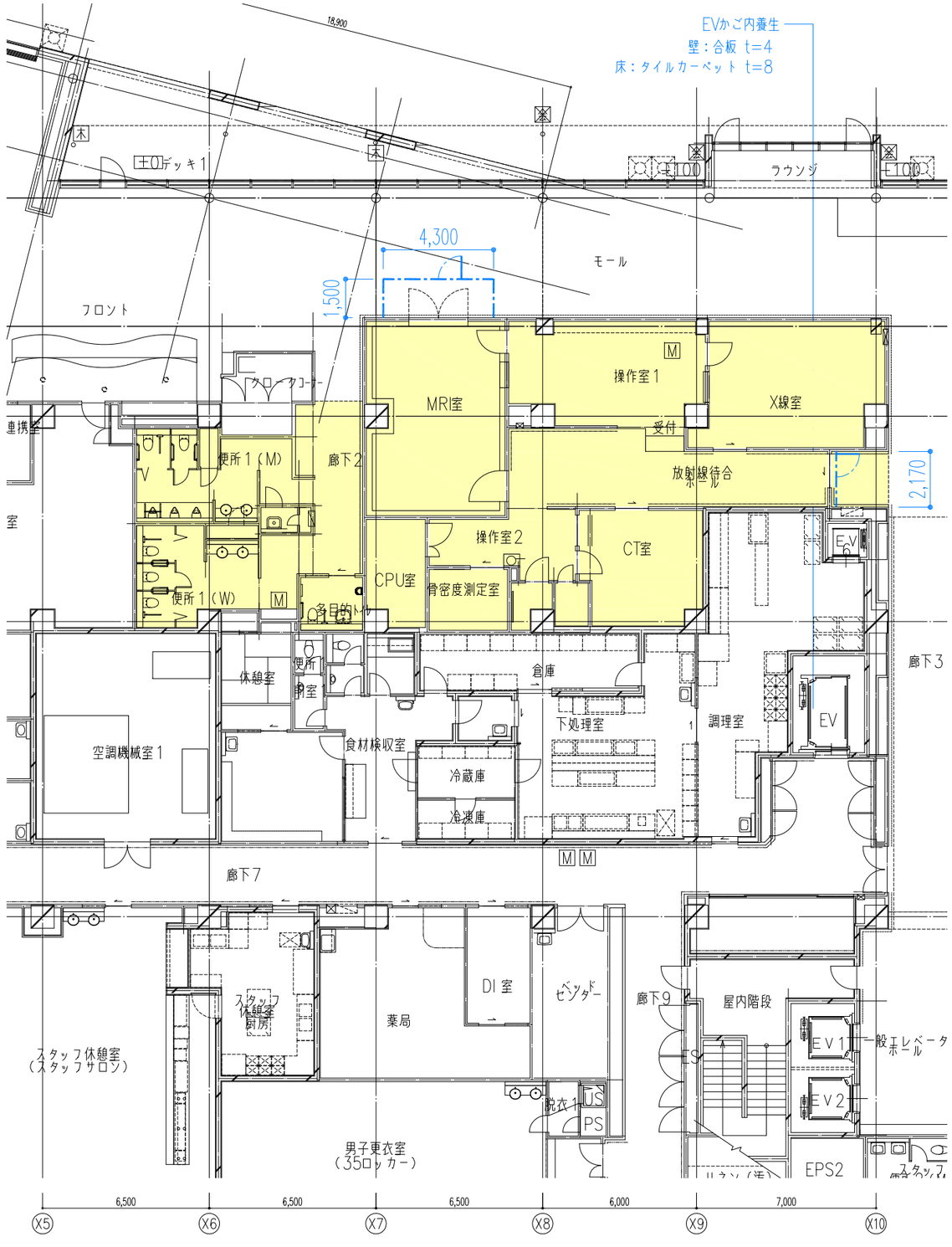
給食系統

放射線系統

仮設間仕切り（LGS下地＋PB t12.5（両面）EP塗装）
（GW t50 充填（天井まで））＋鋼製扉（w900×H2000）

EVかご内養生
壁：合板 t=4
床：タイルカーペット t=8





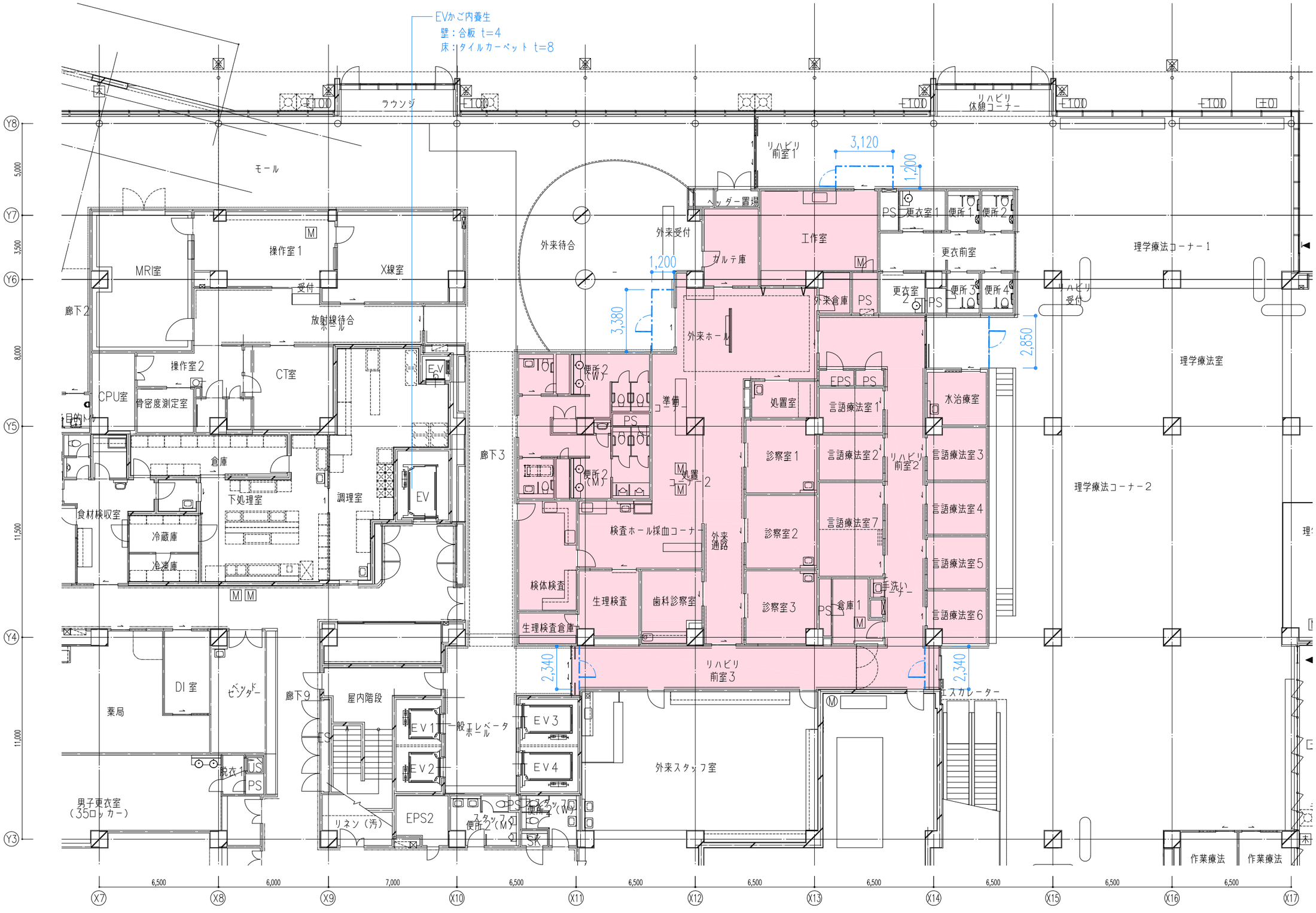
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号
図面名	仮設間仕切り1階平面図（3）給食、放射線	縮尺 1:100	K-25
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	（270/402）

検査・外来系統

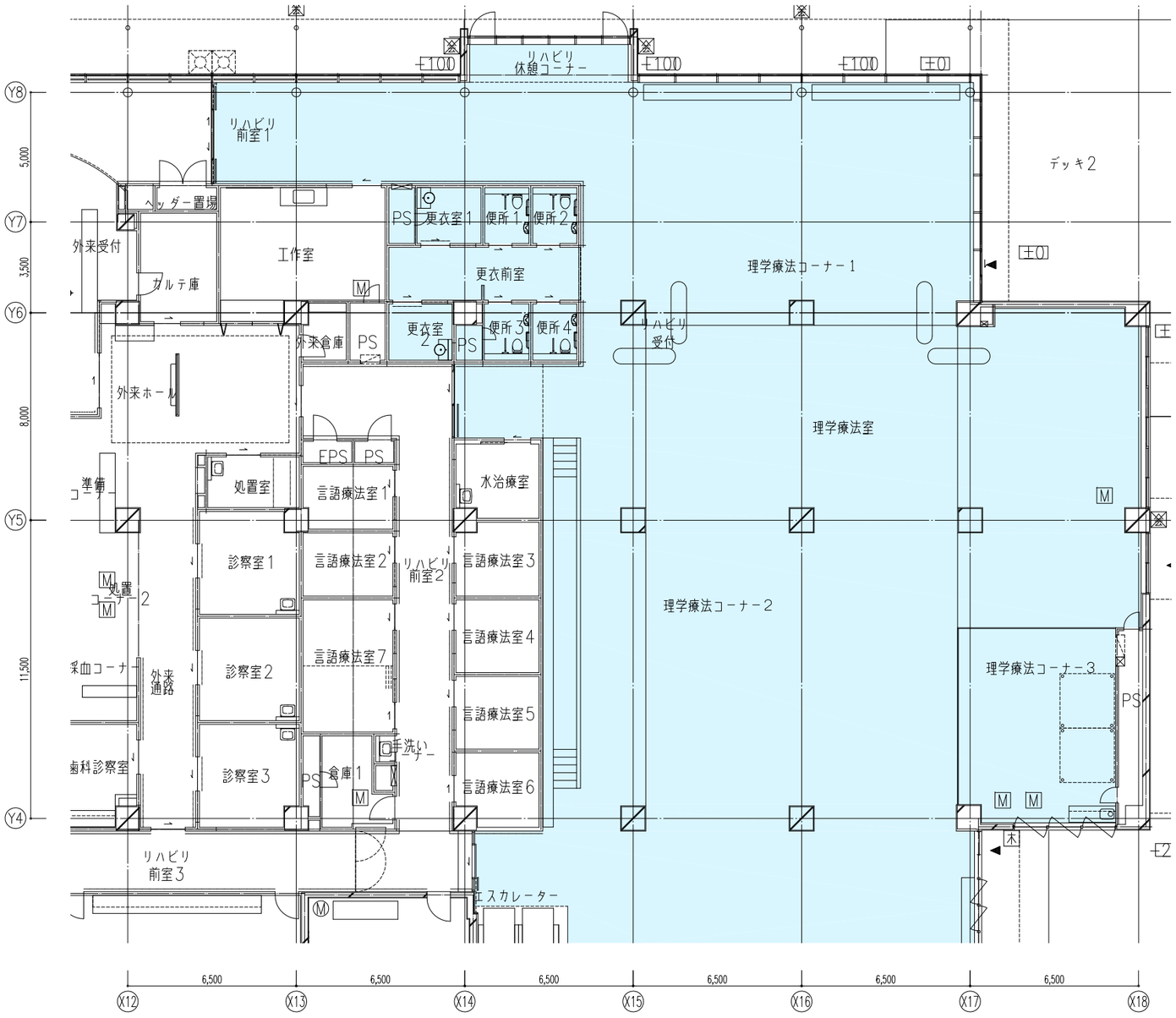
仮設間仕切り（LGS下地＋PB t12.5（両面）EP塗装）
（GW t50 充填（天井まで））＋鋼製扉（w900×H2000）

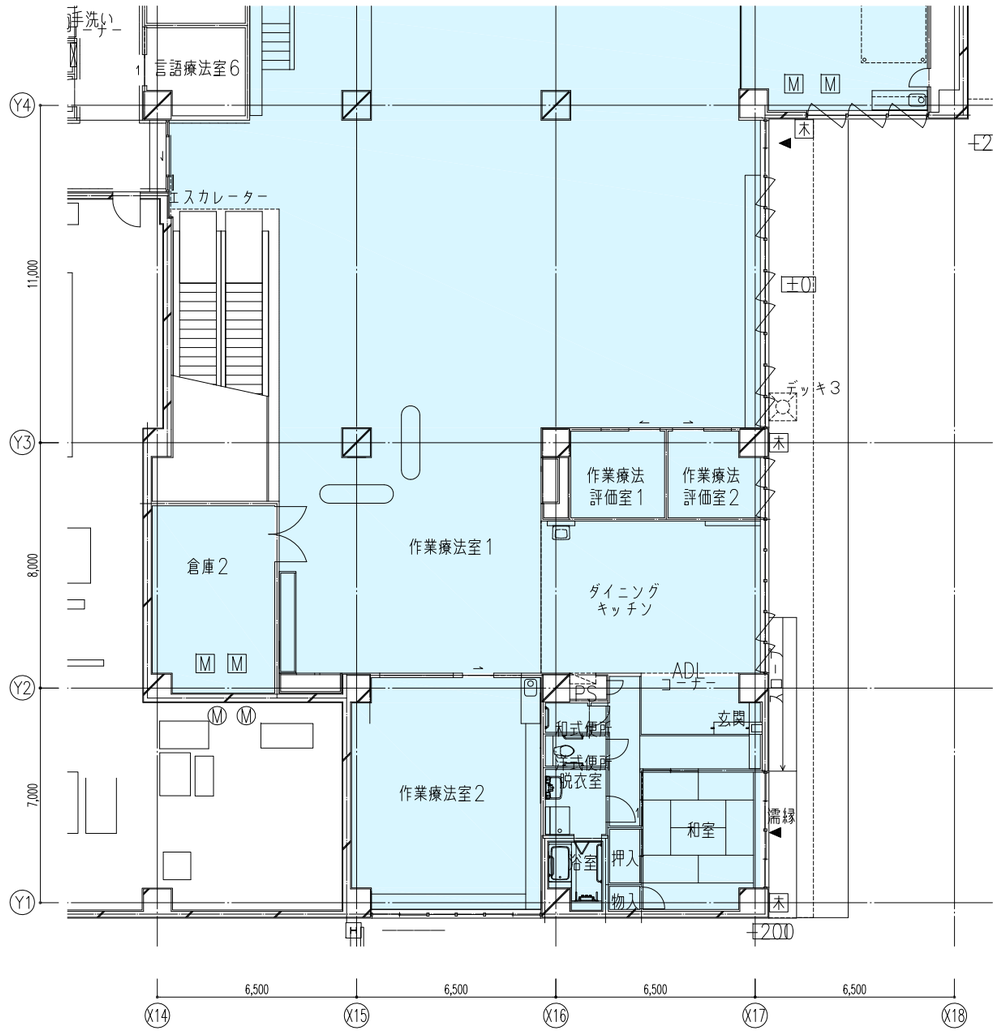
EVかご内養生
壁：合板 t=4
床：タイルカーペット t=8



千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 K-26 (271/402)
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	図面名	仮設間仕切り１階平面図（4）検査・外来	縮尺 1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

リハビリ系統

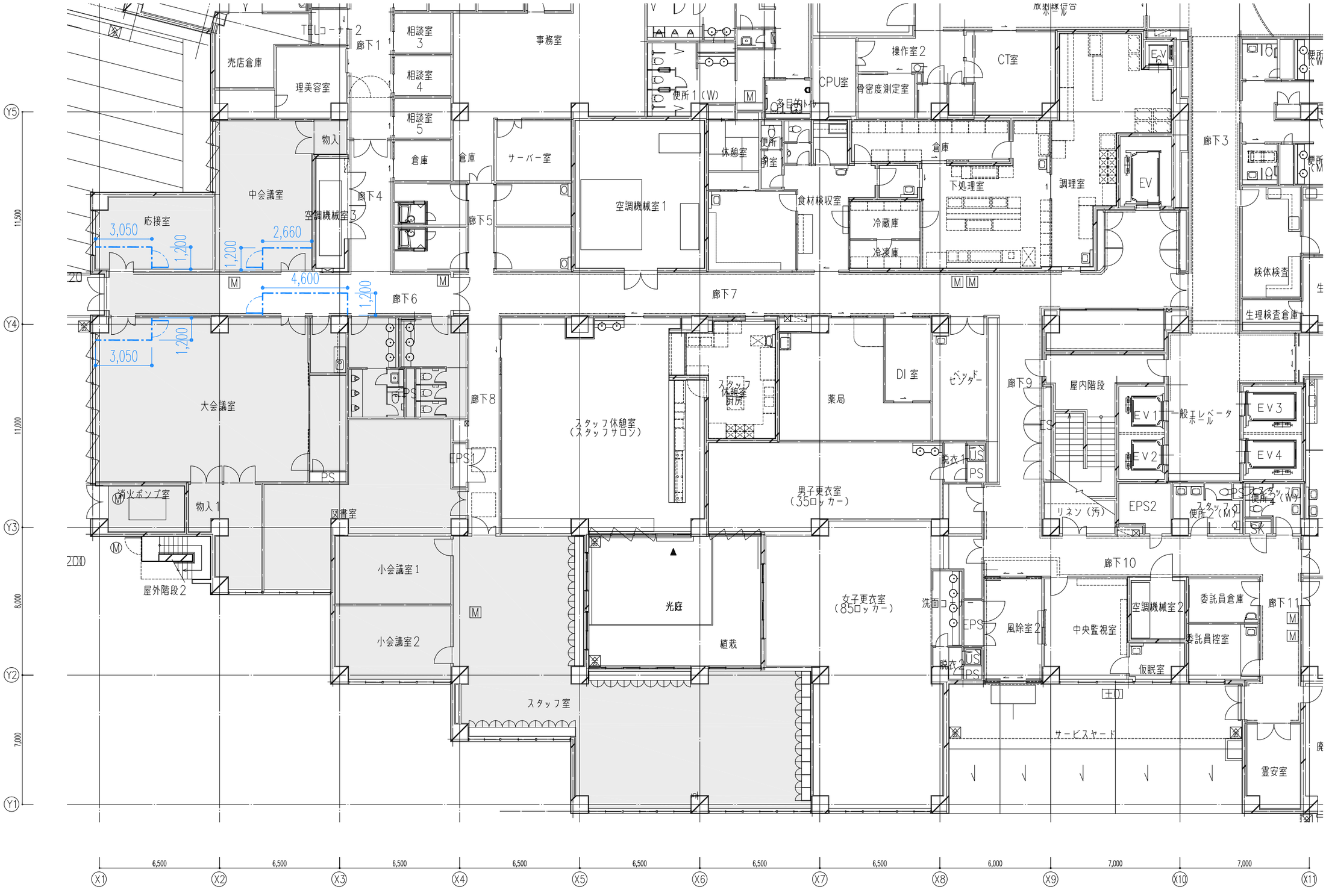




出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録 第1-2105-5512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	仮設間仕切り1階平面図（5）リハビリ
		縮尺	1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	K-27 （272/402）

仮設間仕切り（LGS下地＋PB t12.5（両面）EP塗装）
（GW t50 充填（天井まで））＋鋼製扉（w900×H2000）

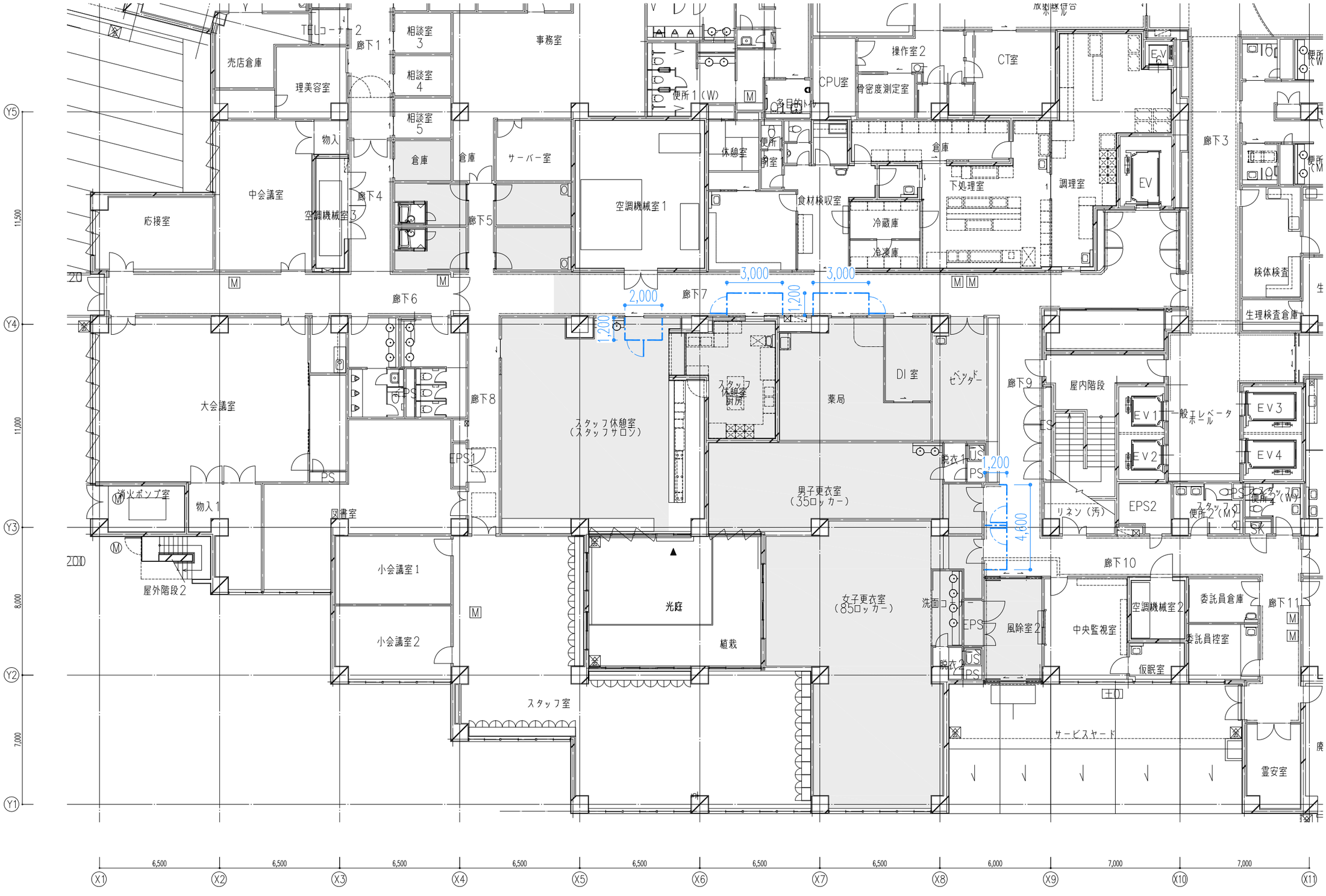
管理部門-1



出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	仮設間仕切り１階平面図（6）管理部門-1
			船橋市建設局建築部建築課
		縮尺	1:100
			令和7年度
		図面番号	K-28 （273/402）

仮設間仕切り（LGS下地＋PB t12.5（両面）EP塗装）
（GW t50 充填（天井まで））＋鋼製扉（w900×H2000）

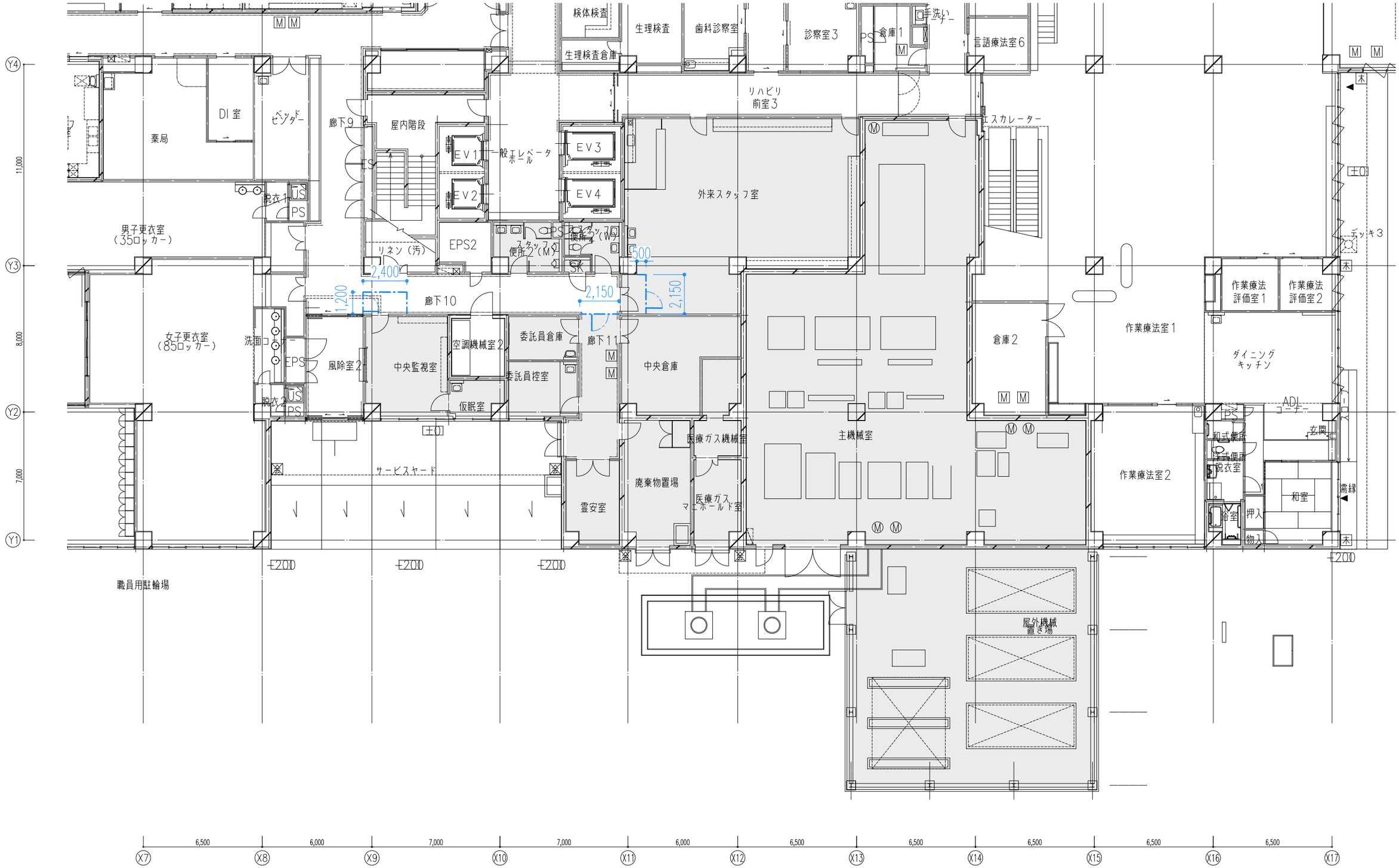
管理部門-2



出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS 千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 K-29
	図面名	仮設間仕切り１階平面図（7）管理部門-2	縮尺 1:100
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

仮設間仕切り（LGS下地＋PB t12.5（両面）EP塗装）
（GW t50 充填（天井まで））＋鋼製扉（w900×H2000）

管理部門-3



千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 K-30（275/402）
図面名	仮設間仕切り1階平面図（8）管理部門-3	縮尺 1:100	
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

2～4階南側

仮設囲仕切り（LGS下地＋PB t12.5（両面）EP塗装）
（GW t50 充填（天井まで））＋鋼製扉（w900×H2000）

系統別区画ライン

N

病棟食堂1
調理室
下膳カウンター
配膳カウンター
空調機械室3
EV6
SK
DS1
DS3
ES
DS2
サービス前室
スタッフ室
サービスレーベーターホール
WC1
WC2
DS4
DS5
EV5
受付コーナー1
スタッフステーション1
準備室
スタッフステーション2
受付コーナー2
廊下6
カンファレンス室1
診察室
カンファレンス室2
PS7
クラークコーナー
廊下4
アイコーナー4
EPS3
屋内階段
EV1
EV2
一般エレベーターホール
EV3
EV4
EPS5
言語療法室4
倉庫1
倉庫2
廊下5
PS6
洗濯室2
サニタリー
PS
収納
EPS4
器具庫
スタッフ更衣室
PS・アラーム制御室
廊下8
DS7
脱衣室3
空調機械室2
脱衣室4
脱衣室5
脱衣室6
浴室2
多目的トイレ1
浴室3
浴室4
多目的トイレ2
浴室5
浴室6
PS3
PS4
PS5
バルコニー
機械置き場2
ルト小屋
サービスヤード庇
屋根8
屋根1
4床室A
1床室C
特別1床室
テラス2
デイコーナー6
廊下7
バルコニー3
空調機械室4
言語療法室3
1床室B（重症）
スタッフ休憩室B
4床室B
1床室D
1床室B
EPS6
空調機械室5
屋外階段3
バルコニー2
屋根12
屋上庭園
屋上緑化A
エスカレーターホール
庇-2
屋根10

Y7	Y6	Y5	Y4	Y3	Y2	3,500	8,000	11,500	11,000	8,000		
X9	X10	X11	X12	X13	X14	X15	X16	X17	X18			
7,000	7,000	6,000	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500				

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
		図面名	仮設囲仕切り２～４階平面図（南側）
		縮尺	1:100
		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
		図面番号	K-31 （276/402）

2～4階北側

仮設間仕切り（LGS下地＋PB t12.5（両面）EP塗装）
（GW t50 充填（天井まで））＋鋼製扉（w900×H2000）

系統別区画ライン

N

テラス1
デイコーナー1
特別1床室
浴室
1床室C
4床室A
廊下1
EPS1
空調機械室1
1床室B
1床室D
4床室B
EPS2
言語療法室1
スタッフ休憩室A
1床室B（重症）
屋外階段1
屋外階段2
屋根7
中庭上部
病棟食堂1
配膳カウンター
調理室
空調機械室3
EV6
SK
DS1
DS2
DS3
ES
サービス前室
スタッフ室
サービスエレベーターホール
DS4
DS5
受付コーナー1
スタッフステーション1
EV5
準備室
受付コーナー2
スタッフステーション2
廊下2
廊下6
カンファレンス室1
診察室
カンファレンス室2
ブラークコーナー
デイコーナー3
デイコーナー4
廊下4
言語療法室2
EPS3
屋内階段
EV1
一般エレベータホール
EV3
EPS5
言語療法
EV2
EV4
倉庫1
倉庫2
廊下3
廊下5
PS1
洗濯室1
サニタリー
EPS4
器具庫
スタッフ更衣室
シャワー室
廊下8
DS7
脱衣室1
脱衣室2
脱衣室3
空調機械室2
脱衣室4
脱衣室5
浴室1
浴室2
多目的トイレ1
浴室3
浴室4
多目的トイレ2
浴室5
PS2
PS3
PS4
バルコニー
機械置き場2
サービスヤード庇

6,500 6,500 6,500 6,500 6,500 6,500 6,500 6,500 6,000 7,000 7,000 6,000

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

Y6 Y5 Y4 Y3 Y2

8,000 11,500 11,000 8,000

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	仮設間仕切り２～４階平面図（北側）
縮尺	1:100
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

図面番号 K-32 (277/402)

工事名称： 船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事

Ⅰ.建物構造概要等

1.建物概要

工事名称	
工事場所	
主要用途	
延べ面積	㎡
階数	地上 4 階、 地下 階、 搭屋 1 階
建物高さ	m
軒高	m
工事種別	○ 新築、 ○ 増築、● 改築、 ○ 移転
増築計画	○ 有り、 ○ 無し
構造種別	地上 造、地下 造
架構形式	X方向 Y方向
耐震構造方式	○ 耐震構造、 ○ 免震構造、 ○ 制震構造、 ○（ ）
耐震安全性の分類	○ Ⅰ類（Ⅰ=1.50）、○ Ⅱ類（Ⅰ=1.25）、 ○ Ⅲ類（Ⅰ=1.00）

2.構造計算条件

a.耐震設計条件

地震荷重	建物一次固有周期		秒
	地盤種別		第 種地盤
	地域係数		Z=
計算ルート	X方向		☒ 許容応力度計算（ルート ）
			○
	Y方向		☒ 許容応力度計算（ルート ）
			○
設計層間変形角	X方向	一次設計	
		二次設計	
	Y方向	一次設計	
		二次設計	

b.耐風設計条件

基準風速（V_0）	m/秒
地表面粗度区分	○ Ⅰ、 ○ Ⅱ、☒ Ⅲ、 ○ Ⅳ

c.耐積雪設計条件

建設地の標高	m
多雪区域の指定	○ 有り、 ○ 無し
設計垂直積雪量	cm

Ⅱ.建築工事仕様（構造関係）

1.共通仕様書

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という）による。

2.特記仕様

1) 項目は、●のついたものを適用する。
2) 特記事項は、●のついたものを適用する。（●印が付かない場合は ☒印のついたものを適用する。）
3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 6 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12 年法律第100 号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める判断の基準を満たすものとする。
ただし、特定調達品目の仕様が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

章	項目	特記事項
4 地業工事	○ 1.支持地盤	・杭基礎 : (4.2.1)(4.3.4～5)(4.5.5～6) 支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む） ○ 図示、 ○（ ） ・直接基礎 : (3.2.1)(4.2.1) 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ○ 図示、 ○（ ） 試験掘り（根切り底の状態の確認等） ○ 行わない ○ 行う（位置等 ○ 図示、 ○（ ）） ・地盤の載荷試験 : (4.2.4) 載荷試験の方法 ○ 地盤工学会基準 JIS 1521による、 ○（ ） 試験の位置、載荷荷重 ○ 図示、 ○（ ）
	○ 2.液状化対策	○ 行う（工法、施工範囲、仕様及び計測、試験等は図示による。） ○ 行わない
	○ 3.杭工事の施工管理	☒ 施工計画において、杭工事に係る受注者及び下請業者の施工プロセスごとの役割や責任分担を明確にすること。 施工管理に際して、事前に管理項目及び管理内容について監督職員の承諾を得た上で、杭一本ごとに施工管理チェックシートを作成し、施工時に全数分を記録して監督職員に提出すること。 受注者は、杭一本ごとの支持層への到達状況について責任を負うものとする。 ○ （ ）

章	項目	特記事項
4 地業工事	○ 4.既製コンクリート杭地業	・種類 : (4.3.6) ○ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ○ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ○ 外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料 ○ SKK400、 ○ SKK490 ○（ ） ・寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） : (4.2.2)(4.3.3)

		種類	コンクリート強度（N/mm²）	鋼管厚（mm）	杭径（mm）	杭長（mm）	継手数	セット数	長期設計支持力（kN/本）	備考
○ 試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
○ 本杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
○										

・杭先端部形状 : (4.4.3)
○ 開放形、 ○ 半開放形、 ○ 閉そく形、 ○（ ）
・施工方法 : (4.3.1)
○ セメントミルク工法 (4.2.2)(4.3.4)
試験杭の位置 ○ 図示による、 ○（ ）
掘削深さ ○ 図示による、 ○（ ）
杭の支持地盤への根入れ深さ ○ 図示による、 ○（ ）
杭の精度 水平方向の位置ずれ ○ 杭径の1/4かつ100㎜以下、 ○（ ）
杭の傾斜 ○ 1/100以内、 ○（ ）
○ 特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)
○H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
○H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式の内、α、β、γが下記の値を採用できる工法
α=（ ）、β=（ ）、γ=（ ）
工法
○ プレボーリング拡大根固め工法
○ 中堀り拡大根固め工法
○（ ）
杭周固定液 ○ 使用する、 ○ 使用しない
試験杭の位置 ○ 図示による、 ○（ ）
杭の支持地盤への根入れ深さ ○ 図示による、 ○（ ）
杭の精度 水平方向の位置ずれ ☒ 評定等の評価内容による、 ○（ ）
杭の傾斜 ☒ 評定等の評価内容による、 ○（ ）
・杭の継手の工法 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)
○ アーク溶接継手
溶接材料 ○ 標準仕様書 7.2.5(1)(2)による、○（ ）
○ 機械式継手
工法 ☒ 評定等を受けた工法
検査 ☒ 評定等により定められた項目
施工 ☒ 評定等をされた施工管理基準による
・杭頭の処理等 : (4.3.8)
○ 処理しない
○ 処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
○ 図示による、○（ ）
・杭頭の中詰め材料 : (4.3.8)
○ 基礎のコンクリートと同調合のもの、 ○（ ）

○ 5.鋼杭地業	・材料、寸法、継手等 : (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)

		種類	厚さ（mm）	杭径（mm）	杭長（mm）	継手数	セット数	長期設計支持力（kN/本）	備考
○ 試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
○ 本杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
○									

・施工方法 : (4.4.1)
○ 特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)
○H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
○H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式の内、α、β、γが下記の値を採用できる工法
α=（ ）、β=（ ）、γ=（ ）
工法
○ 中堀り拡大根固め工法
○（ ）
試験杭の位置 ○ 図示による、 ○（ ）
杭の精度 水平方向の位置ずれ ☒ 評定等の評価内容による、 ○（ ）
杭の傾斜 ☒ 評定等の評価内容による、 ○（ ）
・杭の継手の工法 : (4.3.3)(4.4.5)(7.2.5)
○ 溶接継手
形状 ○ JIS A 5525による、 ○（ ）
溶接材料 ○ 標準仕様書 7.2.5(1)(2)による、○（ ）
○ 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法 ☒ 評定等を受けた工法
検査 ☒ 評定等により定められた項目
施工 ☒ 評定等をされた施工管理基準による
・杭頭の処理等 : (4.3.8)(4.4.6)
○ 処理しない
○ 処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
○ 図示による、○（ ）
・杭頭の中詰め材料 : (4.3.8)
○ 基礎のコンクリートと同調合のもの、 ○（ ）

章	項目	特記事項
4 地業工事	○ 6.場所打ちコンクリート杭地業	・工法 : (4.5.1)(4.5.5) ○ アースドリル工法（安定液 ○使用する、 ○ 使用しない） ○ リバース工法 ○ オールケーシング工法（孔内の水張り ○ 行う、 ○ 行わない） ・併用する工法 : (4.5.1)(4.5.6) ○ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法（鋼管の種類 ○ SKK400、 ○ SKK490、○ ） ○ 拡底杭工法（安定液 ○ 使用する、 ○ 使用しない） ○（ ） ・寸法等 : (4.2.2)

	鋼管厚（mm）	鋼管径（mm）	軸径（mm）	拡底径（mm）	杭長（mm）	セット数	長期設計支持力（kN/本）	備考
○ 試験杭								
○ 本杭								

・試験杭の位置 : ○ 図示による、 ○（ ）
・孔壁の保持状況の測定箇所 : ○ 試験杭（ ）箇所及び本杭（ ）箇所
○（ ）
・杭の支持層への根入れ深さ : ○ 図示による、 ○（ ）
・杭の精度 : 水平方向の位置ずれ ○ 杭径の1/4かつ100㎜以下、○（ ）
○ 評定等の内容による
杭の傾斜 ○ 1/100以内、 ○（ ）
○ 評定等の内容による
・鉄筋の種類 : (4.5.4)

種類の記号	呼び径（mm）	備考
○ SD295		
○ SD345		
○		

・帯筋 : (4.5.4)
○ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）6.2帯筋(2)(ｳ)⑥(ﾛ)）
○（ ）
・鉄筋の最小かぶり厚さ : (4.5.4)
○ 100㎜、 ○（ ）
・鉄筋かごの補強 : (4.5.4)
○ 図示による
○ 杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(㎜)、1.5mを超える場合は鋼板9×50～75(㎜)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する。溶接長さは、補強材の幅とする。
・組み立てた鉄筋の節ごとの継手 : (4.5.4)(5.3.4)
☒ 重ね継手（重ね継手の長さ ○図示による、○
・主筋の基礎定着への定着長さ : (4.5.4)(5.3.4)
○ 図示による、 ○（ ）
・セメントの種類 : (4.5.4)
☒ 高炉セメントB種 ⑥、 ○（ ）
・コンクリートの設計基準強度 : (4.5.4)
○ 図示による、 ○（ ）
・コンクリートの種別 : (4.5.4)
○ A種、 ○ B種、 ○ 評定等の内容による
・スランプ : (4.5.4)
☒ 18cm、 ○（ ）
・構造体強度補正値 : (4.5.4)
☒ 3N/mm²、 ○ 図示による、 ○ 評定等の内容による

○ 7.砂利地業
・材料 : (4.6.2)
○ 再生クラッシャラン ⑩、 ○ 切込砂利又は切込砕石
・砂利厚さ : (4.6.3)
☒ 60mm、 ○（ ）
・施工範囲 : (4.6.3)
○ 基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
○ 図示による

○ 8.捨コンクリート地業
・捨コンクリートの厚さ : (4.6.4)
☒ 50mm、 ○（ ）
・施工範囲 : (4.6.4)(6.14.1)
○ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下
○ 図示による
・設計基準強度 : (4.6.4)(6.14.1)
☒ 18N/mm²、○（ ）
・スランプ : (4.6.4)(6.14.1)
☒ 15cm又は18cm、○（ ）

○ 9.床下防湿層
・材料 : (4.6.2)
☒ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上、 ○（ ）
・施工範囲 : (4.6.5)
○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
○（ ）

○ 10.地盤改良工法
・種類及び施工方法等 :
○ 図示による、○（ ）
・六価クロム溶出試験 :
☒ 図示による、○（ ）

章	項目	特記事項
5 鉄筋工事	● 1.鉄筋	・鉄筋の種類等 : (5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備考
● SD295	☒ D16以下、○	
● SD345	☒ D19以上、○	
○		
○		

● 2.溶接金網
・鉄線の形状等 : (5.2.2)

種類	種類の記号	網目寸法、鉄線の経（mm）	使用部位
● 溶接金網		6φ 100@	押えコンクリート
○ 鉄筋格子			

○ 3.鉄筋の継手及び定着
・継手方法等 : (5.3.4)(5.5.2)(6.6.3)

部位	継手方法	呼び径（mm）
● 柱、梁の主筋	○ ガス圧接、 ○ 機械式継手 ○ 溶接継手	☒ D19以上 ○
○ 耐力壁の鉄筋	○ 重ね継手、 ○	
○ 基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○ 重ね継手、 ○ ガス圧接	
● 上記以外（ ）	● 重ね継手、 ○	

・継手位置 : (5.3.4)
○ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
基礎梁主筋の継手位置図 ○ 図5.2、 ○ 図5.3、 ○ 図5.4
○ 図示による（ ）
・柱及び梁主筋の重ね継手の長さ : (5.3.4)
○ 図示による（ ）
・耐力壁の重ね継手の長さ : (5.3.4)
○ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3(1)(ｲ)表3.1）
○ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3(1)(ﾛ)）
○ 図示による（ ）
・鉄筋の定着長さ : (5.3.4)
☒ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3(2)）
○ 図示による（ ）
・機械式定着工法 : (5.3.4)
○ 適用場所、種類：図示
○ 第三者機関の評定棟を取得している工法とする
必要定着長さ、補強筋形状、かぶり厚さ、品質確認、検査
○ 評定等の評価内容による

章	項目	特記事項
5 鉄筋工事	● 4.鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）	・最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） : (5.3.5) ○ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）表4.1） ○ 図示による（ ） ・柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 : ○ あり（主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する） 使用箇所（ ） ・耐久性上不利な箇所（塩害等を受けるおそれのある部分等） : ○ あり 適用箇所（ ） 最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）㎜
	● 5.各部配筋	(5.3.7) ・各部配筋 : ☒ 図示による
	○ 6.圧接完了後の試験	(5.4.10)(5.4.11) ・外観試験 : ☒ 行う（全ての圧接部） ・抜取試験 : ☒ 超音波探傷試験 試験ロット 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする 試験の箇所数 1ロットに対して30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る ○ 引張試験 試験ロット 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする 試験の箇所数 1ロットに対して（○ 3本、 ○ 5本）とする。
	○ 7.機械式継手	・適用箇所 : (5.5.3)(5.5.5) ○ 図示による、○（ ） ・H12建告第1463号に適合する性能 : ○ A級、 ○（ ） ・機械式継手の種類 : ○ 図示による、○（ ） ・工法 ☒ 第三者機関の評定等を取得している工法 ・鉄筋相互のあき、品質の確認、検査 : ☒ 評定等の評価内容による ・施工完了後の継手部の試験 : 外観試験 ） 試験対象： ☒ 全数 試験項目、試験方法 : ○ 評定等の評価内容による、○（ ） 超音波測定試験 試験対象： ○ 抜き取り ロット ○ 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。 ○（ ） 試験の箇所数 1ロットに対して（ ）箇所 ○ 全数 試験項目： ☒ 挿入長さ 試験方法： ☒ JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による ・不合格となった場合の措置 : ○（ ）
	○ 8.溶接継手	・適用箇所 : (5.6.3)(5.6.5) ○ 図示による、○（ ） ・H12建告第1463号に適合する性能 : ○ A級、 ○（ ） ・溶接継手の工法 : ○ 図示による、○（ ） ・鉄筋相互のあき : ○ 標準仕様書5.3.5(4)による ○ 評定等の評価内容による ○ 図示 ・施工完了後の溶接部の試験 : 外観試験 試験対象： ☒ 全数 試験項目、試験方法 : ○ 評定等の評価内容による、○（ ） 超音波探傷試験 試験対象： ○ 抜き取り ロット ○ 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。 ○（ ） 試験の箇所数 1ロットに対して（ ）箇所 ○ 全数 試験項目： ☒ 内部欠陥の検出 試験方法： ☒ JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による ・不合格となった場合の措置 : ○（ ）

有限会社 坂田建築士事務所
一級建築士 第356443号
構造設計一級建築士 第 10645号 坂田興平

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	構造関係特記仕様書（1）
縮尺	NS
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度
図面番号	S-01 (278/402)

6 コンクリート工事

● 1. コンクリートの種類等

・コンクリートの類別 : (6.2.1)
☒ Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
○ Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

・普通コンクリート (6.2.1～6.2.4)

設計基準強度 (N/mm²)	スランプ質量 (cm)	気乾単位容積 (t/m³)	適用箇所
● 24	○ 15又は18 ● 18	○ 2.3程度	屋上基礎
○			
● 21	● 18		押えコン
○			

・構造体強度補正値 : (6.3.2)
☒ ・別表「コンクリートの構造体強度補正値(S) 一覧」による
○ （ ）

● 2. セメント

・種類 : (6.3.1)
☒ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
適用個所（ ☒ 下記以外全て、○ ）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、
水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする
○ 高炉セメントB種 [G]
適用個所（ ○ 1FL より下部（立上り部含む）、○ ）
○ フライアッシュセメントB種 [G]
適用個所（ ）
○ （ ）
適用個所（ ）

● 3. 骨材

・アルカリシリカ反応性による区分 : (6.3.1)
☒ A、○ B（コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m³ 以下）

● 4. 混和材料

・混和剤の種類 : (6.3.1)
☒ 標準仕様書 6.3.1(4)(a)による
○ （ ）
・混和材の種類 : (6.3.1)
☒ 標準仕様書 6.3.1(4)(b)による
○ （ ）

○ 5. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

・打継の位置 : (6.6.4)
梁及びスラブ
☒ スパンの中央又は端から1/4の付近、○ 図示による
○ （ ）
柱及び壁
☒ スラブ、壁梁又は基礎の上端、○ 図示による
○ （ ）
・目地寸法 : (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
☒ 標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による
（ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する）
○ 図示による（ ）
○ （ ）
・ひび割れ誘発目地の位置 : (6.8.1)
○ 図示による（ ）
○ （ ）

● 6. コンクリートの仕上り

・合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ : (6.2.5)(6.8.2)

種別	
○ A種	☒ 図示による（ ）、○
● B種	☒ 図示による（ ）、○
○ C種	☒ 図示による（ ）、○

・コンクリートの仕上がりの平坦さ : (6.2.5)(6.8.2)

種別	
○ a種	☒ 図示による（ ）、○
○ b種	☒ 図示による（ ）、○
○ c種	☒ 図示による（ ）、○

● 7. 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

⊙打増し厚さ : (6.8.1)
打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
● 20mm、○ （ ）
打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
○ 10mm、○ 20mm、○ （ ）
外装タイル後張り面の打増し処理
○ 20mm、○ （ ）
・打増し範囲 :
○ 図示による（ ）、○ （ ）

● 8. 型枠

⊙せき板の材料及び厚さ (6.8.2)
● 合板 [G]（ ☒ 12mm、○ ）、○ （ ）
・断熱材を兼用した型枠 :
使用箇所 ○ 図示による（ ）、○ （ ）
・MCR工法用シート :
使用箇所 ○ 図示による（ ）、○ （ ）
打増し厚さ ○ 20mm、○ （ ）
打増し範囲 ○ 図示による（ ）、○ （ ）
・スリーブの材種、規格等 :
○ 図示による（ ）、○ （ ）

● 9. 無筋コンクリート

⊙コンクリートの種類 : (6.2.1)(6.14.1)
☒ 普通コンクリート、○ （ ）
⊙セメントの種類 : (6.3.1)
☒ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
○ 高炉セメントB種 [G]
○ フライアッシュセメントB種 [G]
⊙設計基準強度 : (6.14.1)
☒ 18N/mm²、○ （ ）
・スランプ : (6.14.1)
☒ 15cm又は18cm、○ （ ）
・適用箇所 : (6.14.1)
○ 標準仕様書 6.14.1(4)(ｱ)～(ｳ)による箇所
○ 図示による（ ）

○ 10. コンクリートの単位水量測定

・実施要領 :
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)「3)」の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

7 鉄骨工事

● 1. 鉄骨製作工場

・鉄骨製作工場の加工能力 : (7.1.3)
建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場、または、同等以上の能力のある工場
評価の区分 ☒（ ）グレード、 ○ グレードの指定はしない

○ 2. 鉄骨製作工場における施工管理技術者

(7.1.3)(7.1.4)
・施工管理技術者 :
☒ 配置する

● 3. 鋼材

・種類等 : (7.2.1)

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
○		○ JIS規格による、○
○		○ JIS規格による、○
○		○ JIS規格による、○
○		○ JIS規格による、○
○		○ JIS規格による、○

・溶融亜鉛めっき工法の適用個所 :
○（ ）

● 4. 高力ボルト

・高力ボルトの種類 : (7.2.2)
○ トルシア形高力ボルト
○ JIS形高力ボルト
○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
○ （ ）
・ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 : (7.3.2)
☒ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）
○ （ ）
・摩擦面の処理方法等 :
溶融亜鉛めっき面以外 (7.4.2)
☒ 標準仕様書7.4.2(1)による、○（ ）
溶融亜鉛めっき面 (7.12.5)
○ ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
○ ブラスト処理以外の特別な処理方法 ○ 図示による、○（ ）
・すべり試験 :
☒ すべり係数試験、 ○ すべり耐力試験
試験の方法等 (7.4.2)
○ 図示による、○（ ）

○ 5. 普通ボルト

・ボルト及びナットの材料 : (7.2.3)
○ 標準仕様書 表7.2.3（JIS附属書品）又は次による
ボルトの規格はJIS B 1180とする
（ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。）
ナットの規格はJIS B 1181とする
（ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。）
○ （ ）
・座金 : (7.2.3)
☒ JIS B 1256による、○ （ ）
・戻り止め : (7.5.2)
☒ 二重ナット、○（ ）
・ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 : (7.3.2)
☒ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）
○ （ ）

● 6. アンカーボルト

・構造用アンカーボルトの種類 : (7.2.4)(7.10.3)
○ ABR400、 ○ ABR490、 ○（ ）
・建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの種類 :
○ SS400、 ○ （ ）
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
○ 標準仕様書 表7.2.3による、○（ ）
・ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 : (7.3.2)
☒ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）
○ （ ）

○ 7. 溶接材料

・溶接材料 : (7.2.5)
☒ 標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
○ 標準仕様書 7.2.5(1)(2)以外による
材料及び使用箇所 ○ 図示による、 ○（ ）

○ 8. ターンバックル

・種類 : (7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
☒ 羽子板ボルト、○（ ）
建築用ターンバックル胴
☒ 割枠式、 ○（ ）
・ねじの呼び : (7.2.6)
○ 図示による、○（ ）

○ 9. 床構造用のデッキプレート

・材質、形状及び寸法 : (7.2.7)

構法	適用箇所	材質・形状・寸法	備考
○ デッキプレート単独の構法			
○ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			
○			

・開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む） :
○ 図示による、○（ ）
・鉄骨部材への溶接方法 : (7.7.8)
○ 図示による、○（ ）
・耐火認定 :
○ あり（耐火時間 ○ 図示による、○ ）、 ○ なし

○ 10. スタッド

・種類等 : (7.2.8)

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
○ 16		
○ 19		
○ 22		

○ 11. 柱底均しモルタル

・無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 : (7.2.9)
☒ 標準仕様書 7.2.9(2)(ｱ)～(ｴ)による、○（ ）

7 鉄骨工事

● 12. 製作精度

・鉄骨の製作精度 : (7.3.3)
JASS6付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて次による通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
☒ H12建告第1464号第二号イ (2)による、○（ ）
・アンダーカットの寸法 :
☒ H12建告第1464号第二号イ (3)による、○（ ）
・食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法 :
☒ 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
○ （ ）

○ 13. 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験

・試験の要領 : (7.6.3)
○ 図示による、○（ ）

● 14. 溶接接合

・開先の形状 : (7.6.4)
○ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-2）
○（ ）
・エンドタブの切除する部分 : (7.6.7)
○ 図示による、○（ ）
切断範囲
○ エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から5mm以下残して直線状に切断するなお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する
○（ ）
切断面の仕上げ
○ 標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)②による
○（ ）
・スカラップの形状 : (7.6.7)
○ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-4(d)改良型スカラップ）
○（ ）

○ 15. 入熱、パス間温度の管理

・適用箇所 :
○ 図示による
○ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

● 16. 溶接部の試験

・H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 : (7.6.12)
「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による
○ 抜き取り検査①
☒ 抜き取り検査②
・JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 :
☒ JASS6 10.4「受入検査」e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験個所と同一とする。
外観試験の不合格個所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
・完全溶込み部の超音波探傷試験 :
工場溶接の場合
○ AOQL(%)（ ☒ 4.0、 ○ 2.5）

節	○ 全て、○（ ）
検査水準	☒ 第6水準、○（ ）

○ 全数
工事現場溶接の場合
☒ 全数

● 17. 錆止め塗装

・塗料の範囲 : (7.8.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
○ 図示による、○（ ）
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
○ 図示による、○（ ）
・塗料の種別 : (7.8.4)(18.3.2)
下記以外の鉄鋼面は、「18章 塗装工事」による。
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
☒ A種、○（ ）
耐火被覆が接着する面の塗料の種別
○ （ ）

○ 18. 耐火被覆

・種類、材料、構法等 : (7.9.2～7.9.8)

種類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
○ 耐火材吹付け	○ 乾式吹付けロックウール		
	○ 半乾式吹付けロックウール		
	○ 湿式ロックウール		
	○		
	○		
○ 耐火板張り	○ 繊維混入けい酸カルシウム板		
	○		
○ 耐火材巻付け	○ 高断熱ロックウール		
	○		
○ ラス張り モルタル塗り	－		
○ 耐火塗料	○		

● 19. 建方精度

(7.10.2)
☒ JASS6 付則6［鉄骨精度基準］付表5［工事現場］による

● 20. アンカーボルトの設置等

・構造用アンカーボルトの形状及び寸法 : (7.10.3)
● 図示による、○（ ）
・構造用アンカーフレームの形状及び寸法 : (7.10.3)
● 図示による、○（ ）
・建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの形状及び寸法 : (7.10.3)
○ 図示による、○（ ）
・建方（及び付属鉄骨）の保持及び埋込み工法 : (7.10.3)
種別 ○A種、 ○B種
・柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 : (7.10.3)
厚さ ○（ ）
種別 ☒A種、 ○B種

有限会社 坂田建築士事務所
一級建築士 第356443号
構造設計一級建築士 第 10645号 坂田興平

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録 第1-2105-5512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号
図面名	構造関係特記仕様書（2）	縮尺 NS	S-02
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(279/402)

章	項　　目	特　　記　　事　　項
その他	○ 1. 軽微な変更 の対応 （あらかじめ検討）	・施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、 **あらかじめの検討を行っている部分**　： 本検討は、計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、 品質管理上の施工誤差を許容するものではない。 ・杭の芯ずれを考慮した検討　： あらかじめ検討の範囲及び対応方法　☒ 図示、○（　　） ・杭の長さの変更を見込んだ検討　： あらかじめ検討の範囲及び対応方法　☒ 図示、○（　　） ・梁貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討　： あらかじめ検討の範囲及び対応方法　☒ 図示、○（　　）

章	項　　目	特　　記　　事　　項

・別表「コンクリートの構造体強度補正値(S)　一覧」

令和4年12月現在(表6.3.2)

今回対象地区	地　　区	市　　町　　村　　名	セメントの種類	普通ポルトランドセメント			早強ポルトランドセメント		
			材齢28日間の平均気温	暑中におけるコンクリート	8以上	0以上 8未満	暑中におけるコンクリート	5以上	0以上 5未満
			補　正　値　（ S ）	6(N/mm²)	3(N/mm²)	6(N/mm²)	6(N/mm²)	3(N/mm²)	6(N/mm²)
○	千葉中央地区	千葉市・市原市・四街道市		7/ 6 ～ 9/ 9	2/10 ～ 7/ 5 9/10 ～ 12/ 8	12/ 9 ～ 2/ 9	7/ 6 ～ 9/ 9	9/10 ～ 7/ 5	該当なし
○	千葉北部地区	我孫子市・柏市・鎌ケ谷市・野田市・松戸市・流山市		7/15 ～ 8/28	2/24 ～ 7/14 8/29 ～ 11/19	11/20 ～ 2/23	7/15 ～ 8/28	2/ 3 ～ 7/14 8/29 ～ 12/ 8	12/ 9 ～ 2/ 2
●	千葉西部地区	市川市・印西市・浦安市・習志野市・八千代市・船橋市・白井市		7/10 ～ 9/ 3	2/17 ～ 7/ 9 9/ 4 ～ 11/28	11/29 ～ 2/16	7/10 ～ 9/ 3	1/ 7 ～ 7/ 9 9/ 4 ～ 12/28	12/29 ～ 1/ 6
○	北　総　地　区	成田市・佐倉市・八街市・神崎町・栄町・酒々井町・芝山町・多古町・富里市		7/10 ～ 8/31	2/21 ～ 7/ 9 9/ 1 ～ 11/22	11/23 ～ 2/20	7/10 ～ 8/31	1/29 ～ 7/ 9 9/ 1 ～ 12/10	12/11 ～ 1/28
○	東　総　地　区	旭市・香取市・銚子市・東庄町		7/24 ～ 9/ 2	2/ 7 ～ 7/23 9/ 3 ～ 12/12	12/13 ～ 2/ 6	7/24 ～ 9/ 2	9/ 3 ～ 7/23	該当なし
○	九十九里地区	東金市・山武市・茂原市・匝瑳市・いすみ市・大網白里市・一宮町・御宿町 九十九里町・白子町・長南町・長柄町・横芝光町・睦沢町・長生村		7/ 8 ～ 9/ 6	2/13 ～ 7/ 7 9/ 7 ～ 12/ 2	12/ 3 ～ 2/12	7/ 8 ～ 9/ 6	9/ 7 ～ 7/ 7	該当なし
○	君津・木更津地区	木更津市・君津市・袖ケ浦市・富津市		7/12 ～ 8/30	2/15 ～ 7/11 8/31 ～ 12/ 3	12/ 4 ～ 2/14	7/12 ～ 8/30	8/31 ～ 7/11	該当なし
○	館　山　地　区	館山市・鋸南町・南房総市		7/10 ～ 9/ 9	2/ 6 ～ 7/ 9 9/10 ～ 12/11	12/12 ～ 2/ 5	7/10 ～ 9/ 9	9/10 ～ 7/ 9	該当なし
○	勝浦・鴨川地区	勝浦市・鴨川市・大多喜町		7/23 ～ 9/ 5	2/ 5 ～ 7/22 9/ 6 ～ 12/15	12/16 ～ 2/ 4	7/23 ～ 9/ 5	9/ 6 ～ 7/22	該当なし

有限会社　坂田建築士事務所
一級建築士　第356443号
構造設計一級建築士 第 10645号　坂田興平

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 S-03 (280/402)
図面名	構造関係特記仕様書（３）	縮尺 NS	
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	

3．構造関係共通図(鉄骨標準図)

1-1 縁端距離及びボルト間隔

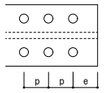
(1) 縁端距離及びボルト間隔

縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に３本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。

また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1　縁端距離及びボルト間隔　　(単位mm)

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12	40	60
M16		
M20		
M22		
M24	45	70

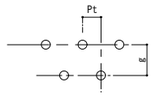


(2) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2　千鳥のゲージ及びボルト間隔　(単位mm)

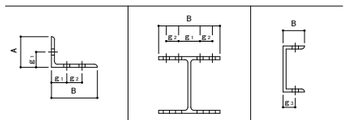
ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt ねじの呼び M12,M16,M20,M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	–	40



(3) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　(単位mm)



A又はB	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40※1	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

※1　千鳥打ちとした場合

1-2 溶接継手の種類別開先標準

突合わせ継手(B)の開先標準

(単位：mm)

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6		t≦12	
G＝t		6	
6＜t≦19		12＜t≦22	
35°, 7	45°, 7	30°, 6	60°, 6
19＜t≦40		22＜t≦40	
35°, 7	45°, 7	30°, 6	60°, 6
	D1＝2（t－2）/3 D2＝（t－2）/3		D1＝（t－6）/2 D2＝（t－6）/2

T型継手(T)の開先標準

(単位：mm)

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6		t≦12	
35°, 6		35°, 16	
1/4 t≦S≦10		1/4 t≦S≦10	
6＜t≦19		12＜t≦22	
35°, 7	45°, 7	35°, 7	60°, 7
1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10
19＜t≦40		22＜t≦40	
35°, 7	45°, 7	35°, 7	60°, 7
1/4 t≦S≦10	D1＝2（t－2）/3 D2＝（t－2）/3 1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	D1＝（t－6）/2 D2＝（t－6）/2 1/4 t≦S≦10

部材が直交しない場合の開先標準

(単位：mm)

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		
1（片面溶接）	2（両面溶接）	
6＜t≦40	6＜t≦19	19＜t≦40
≧60°, 35°	≧60°, 45°	≧70°, 60°
1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10

かど継手(L)の開先標準

(単位：mm)

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6		t≦12	
S＝t		6	
6＜t≦19		12＜t≦19	
35°, 7	45°, 7	35°, 7	50°, 7
1/4 t≦S≦10		1/4 t≦S≦10	
19＜t≦40		19＜t≦40	
35°, 7	45°, 7	35°, 7	60°, 7
1/4 t≦S≦10	D1＝2（t－2）/3 D2＝（t－2）/3 1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	D1＝（t－6）/2 D2＝（t－6）/2 1/4 t≦S≦10

隅肉溶接(F)の開先標準

(単位：mm)

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		
1（片面溶接）	2（両面溶接）	
t≦16	t≦16	16＜t≦40
S, S	t, S, S	t, S/2, S/2, 60°, 60°

隅肉溶接のサイズ

(単位：mm)

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接(P)の開先標準

(単位：mm)

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）
12≦t≦40	16≦t≦40
45°, S, D, S	45°, S, 2, S, D1, D2

t	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	10	11	12	13	14	15	15	15	16

1/4 t≦S≦10

D1＝（t－2）/2
D2＝（t－2）/2
1/4 t≦S≦10

重ねアーク溶接（フレア溶接）(FL)の開先標準

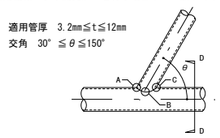
(単位：mm)

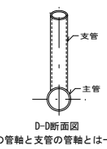
H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）			
1（丸鋼等片面溶接）	2（丸鋼等両面溶接）	3（軽量形鋼V形溶接）	4（軽量形鋼L形溶接）
d/2 d/2, d d	d/2 d/2, d/2, d d, d/2 d/2	S	t, S
		t≧3のとき S＝t t＜3のとき S＝3	t≧3のとき S＝t t＜3のとき S＝3

1-3 鋼管分岐継手詳細

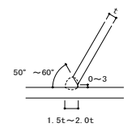
自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。　　(単位：mm)

適用管厚　3.2mm≦t≦12mm
交角　30°≦θ≦150°

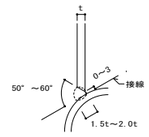




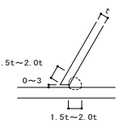
D-D断面図
主管の管軸と支管の管軸とは一致させること。



A部断面



B部断面



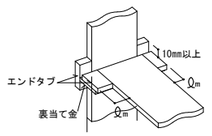
C部断面

1-4 鉄骨溶接施工

(1) エンドタブ・裏当て金の鋼材の種別及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。

(2) エンドタブ

エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。

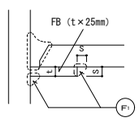


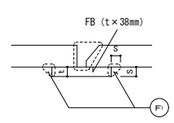
溶接方法	Ωm
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

(3) 裏当て金

(ｱ) 裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。

(ｲ) 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。





裏当て金の厚さ　(単位：mm)

溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

溶接のサイズ　(単位：mm)

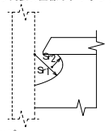
裏当て金の厚さ	S
t≦9	5
t>9	9

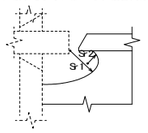
(4) スカラップ

改良型スカラップ

(ｱ) スカラップ半径Sr_1は35mmとする。Sr_2は10mmとする。

(ｲ) スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。

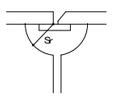




従来型スカラップ

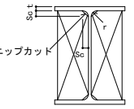
（1）スカラップ半径Srは35mmとする。





(5) スニップカット

(ｱ) スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

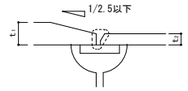


(ｲ) スニップカットの寸法は、下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r＋2により求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

(6) 溶接部分の段差

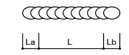
完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合、又は低応力高サイクル疲労を受ける場合



1-5 重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼に重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ（L）は、ビードの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた部分の長さとする。

L：片面フレア溶接の場合　１０ｄ
　両面フレア溶接の場合　５ｄ
La及びLbは１ｄ（軽量形鋼については１Ｓ）以上
ｄ：異形鉄筋の呼び名に用いた数値
Ｓ：溶接のサイズ



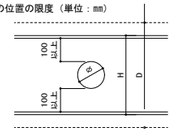
1-6 梁貫通孔補強

(1) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は、次による。

(ｱ) 貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。

(ｲ) 貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で 2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で 3倍以上確保する。

梁貫通孔の位置の限度（単位：mm）



H：鉄骨せい
D：はりせい
φ：貫通孔内径寸法
（φ≦H/2かつφ≦D/3）

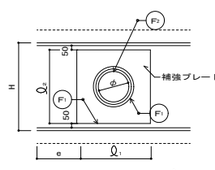
(2) 貫通孔の補強方法は、構造図による。

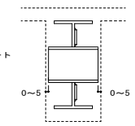
補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

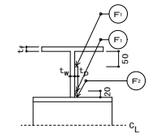
補強プレート法

(ｱ) 補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。

(ｲ) 補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。



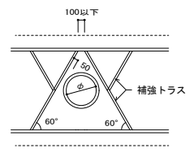


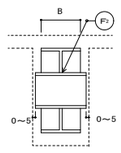


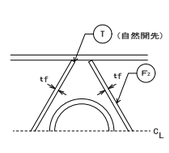
Ω1はｓφまたはΩ2のうち小さい方とする。（ｅ≧Ｈとする）
ｅ：材端と補強プレートの間隔

補強トラス法

スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。







1-7 その他

(1) 広幅平鋼の取り扱いについて

BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートは、PL表記であっても FB又はPLとする。

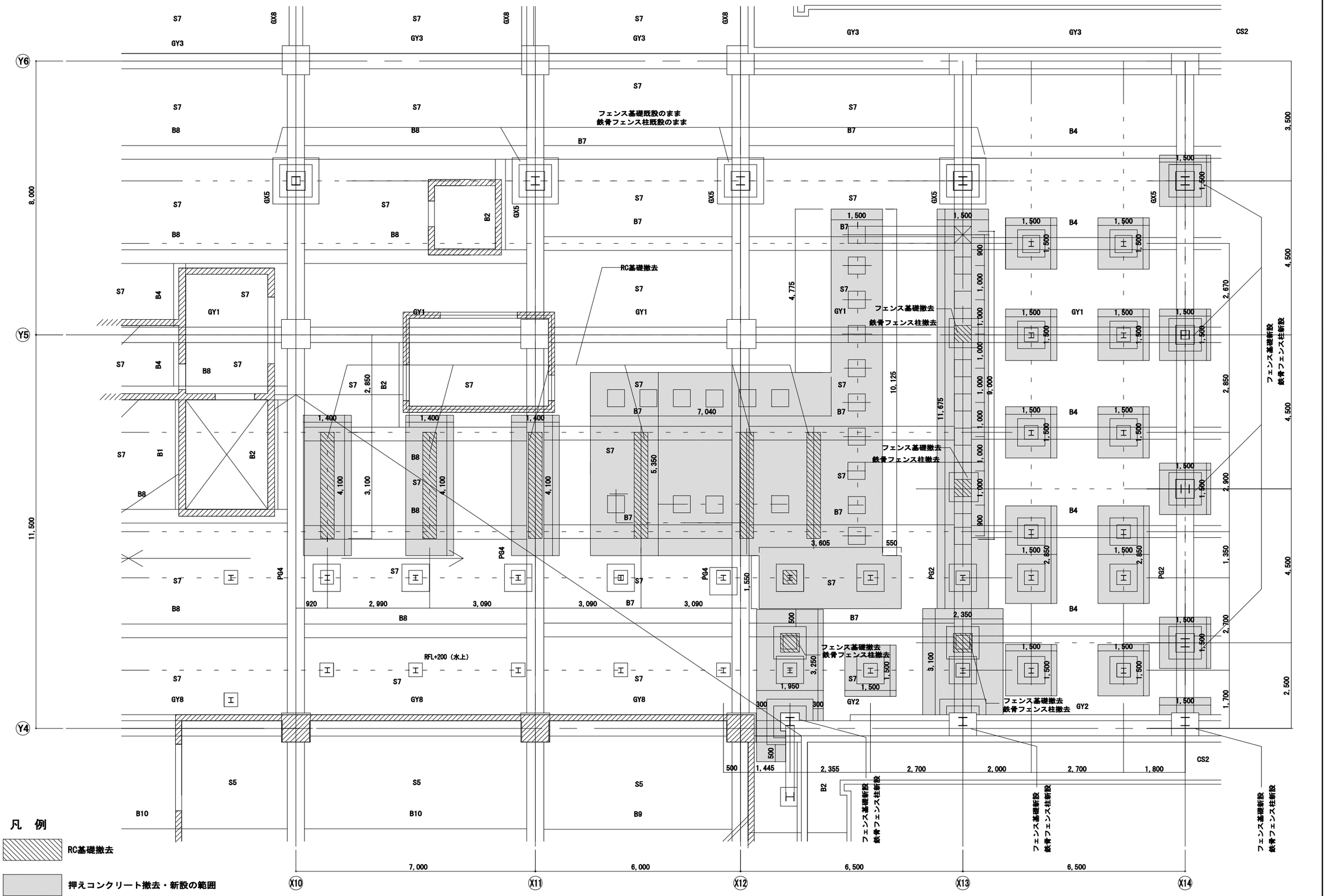
(2) フィラープレートの材質

フィラープレートを使用する場合、材質はSS400とする。

有限会社　坂田建築士事務所
一級建築士 第356443号
構造設計一級建築士 第 10645号　坂田興平

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 S-04 (281/402)
図面名	構造関係共通事項	縮尺	NS
船橋市建設局建築部建築課			令和7年度

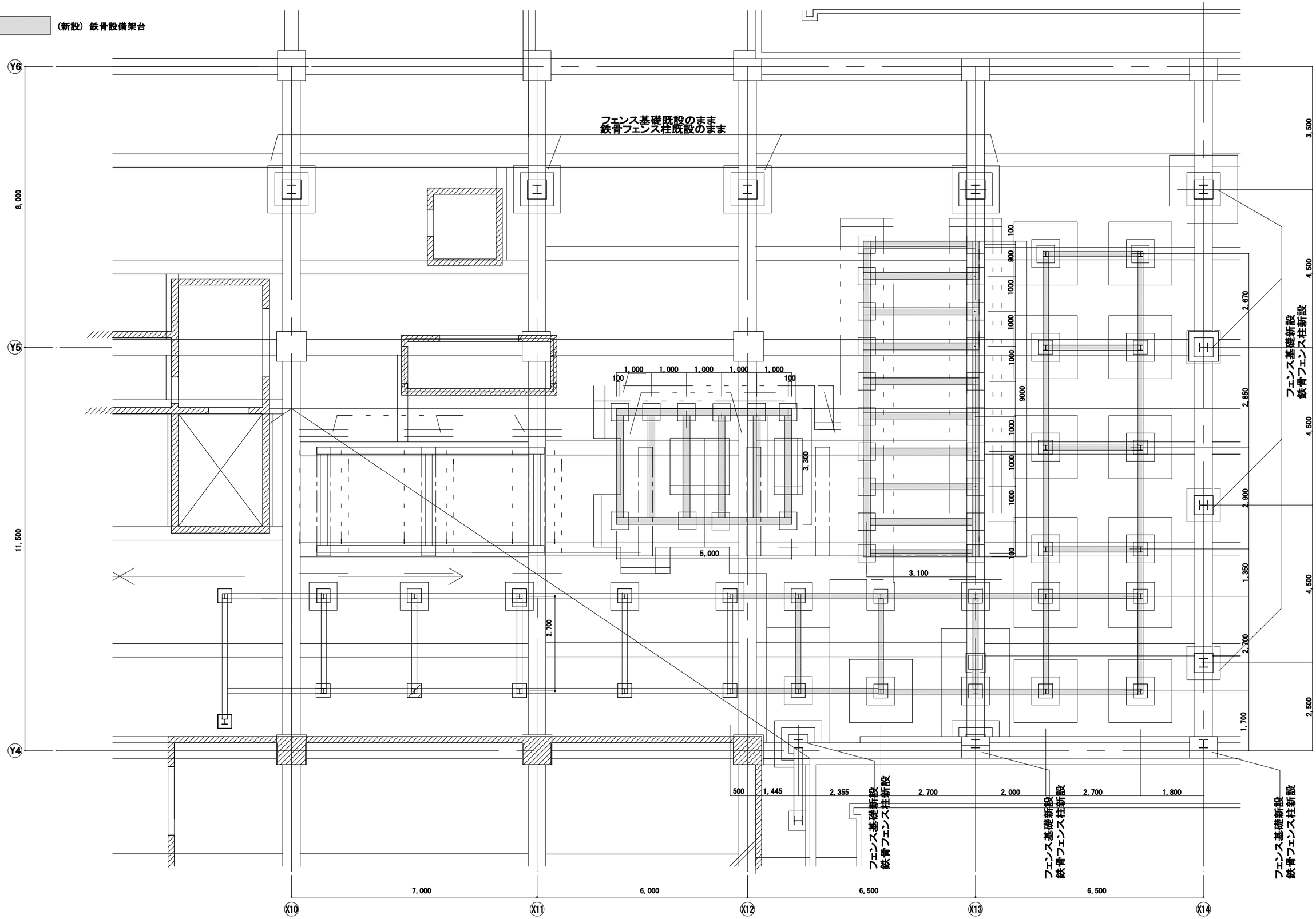


千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事
図面名	PH階　屋上伏図　（改修後）
尺度	1:50
	船橋市建設局建築部建築課
	令和7年度

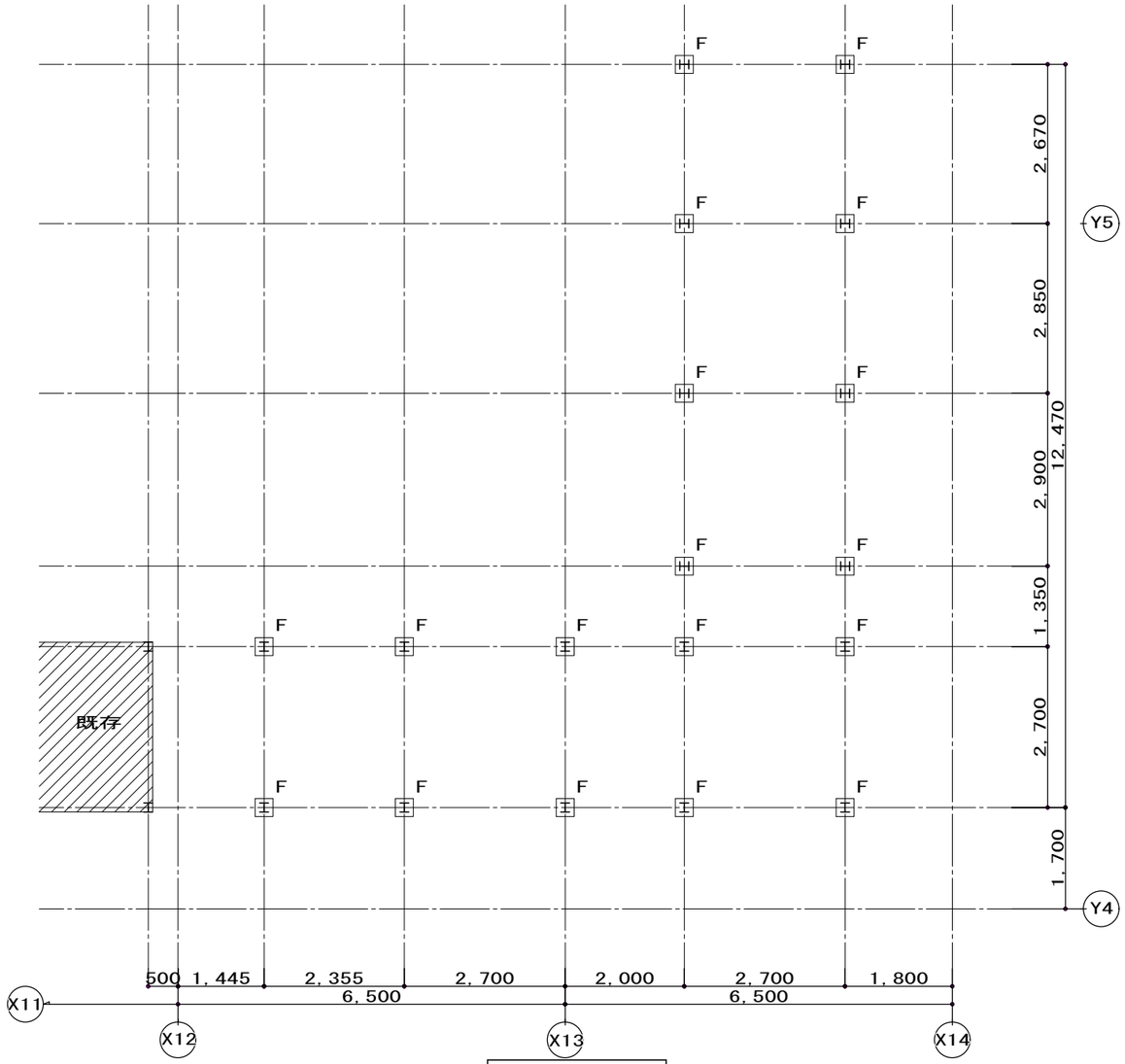
図面番号 S-05 (282/402)

（新設）鉄骨設備架台



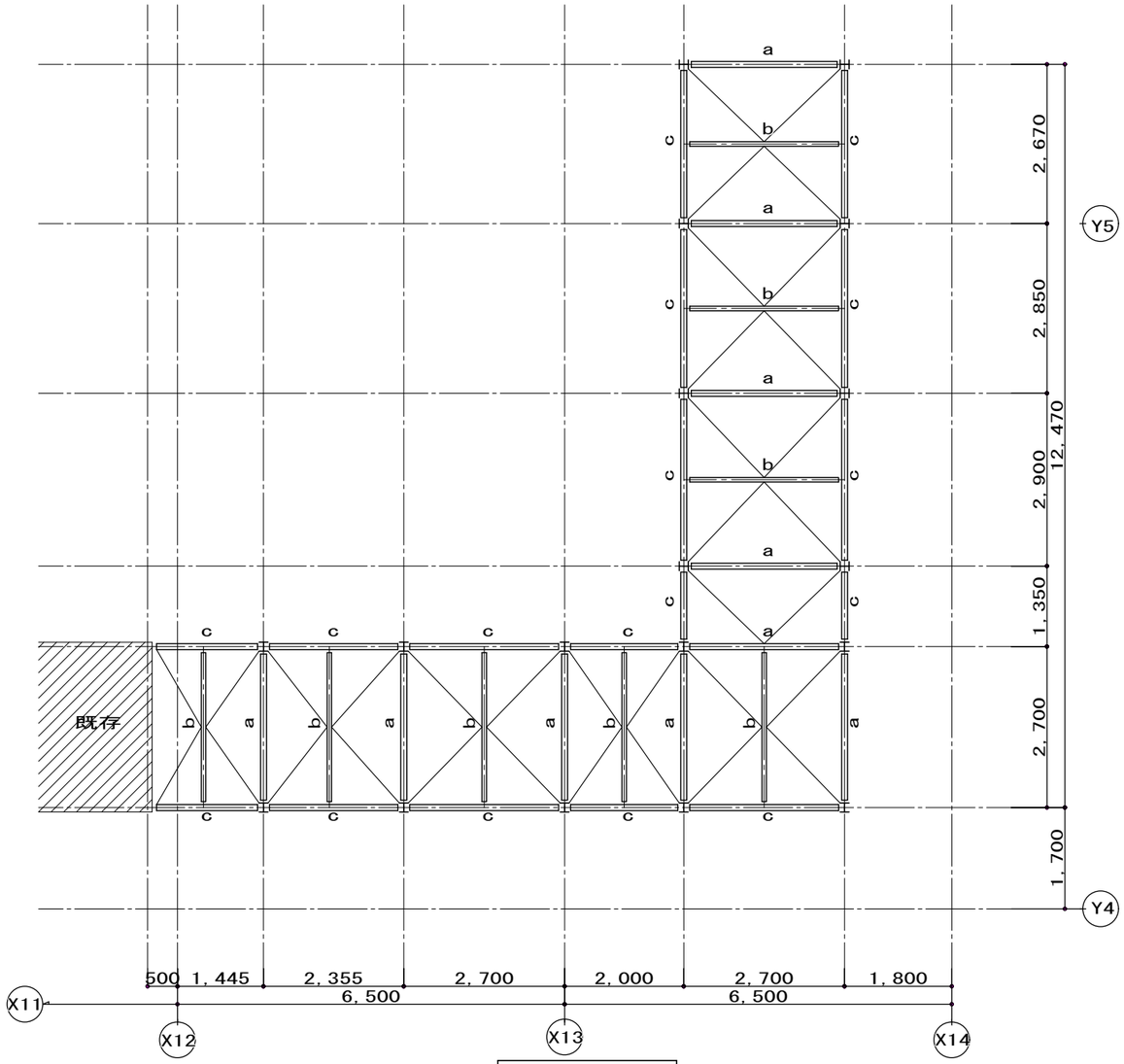
千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫 出堀建築設計室　DEBORI　ARCHITECTS	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 S-06 (283/402)
	図面名	PH階　屋上伏図　鉄骨フレーム（改修後）	縮尺 1:50
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

乾式基礎リスト		
符　号	部　材	接合部
F	ベルベース　F2	後施工アンカー 4-M16(SS400) 埋込長さ120mm以上
柱リスト		
符　号	部　材	接合部
P1	H - 150x150x 7x10	B.PL-12　HTB 2-M16(F8T)
梁リスト		
符　号	部　材	接合部
a	H - 148x100x 6x 9	G.PL-6　HTB 2-M16(F8T)
b	H - 150x 75x 5x 7	G.PL-6　HTB 2-M16(F8T)
c	H - 148x100x 6x 9	G.PL-6　HTB 2-M16(F8T)
d	[-　75x 40x 5x 7	G.PL-6　2-M12(中ボルト)
e	L -　40x 40x 5	-
水平ブレースリスト		
符　号	部　材	接合部
HV	M12(TB締め)	G.PL-6　HTB 1-M12(F8T)
方杖リスト		
符　号	部　材	接合部
f	L -　60x 60x 6	G.PL-6　HTB 2-M16(F8T)
支柱リスト		
g	L -　40x 40x 5	



柱伏図

特記無き限り下記とする
1．柱　　：P1



梁レベル伏図

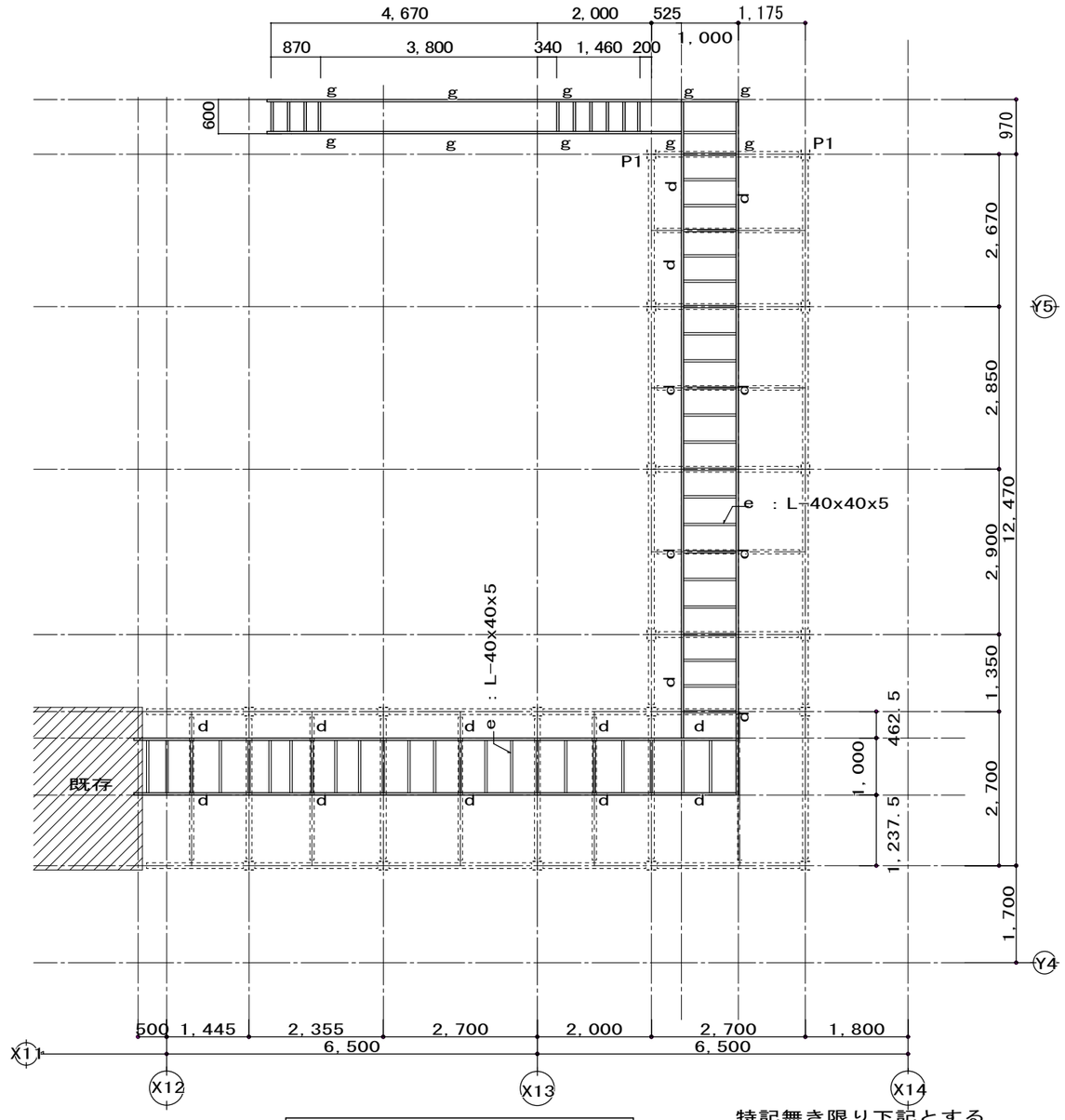
特記無き限り下記とする
1．水平ブレース：HV

有限会社　坂田建築士事務所
一級建築士 第356443号
構造設計一級建築士 第 10645号　坂田興平

出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫

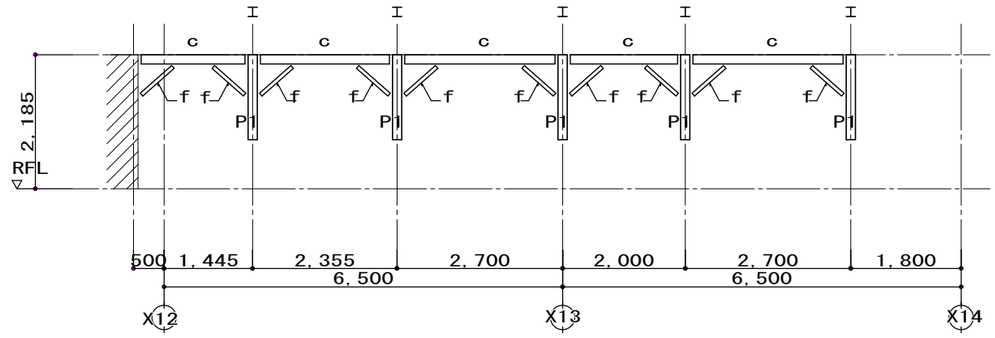
工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号
図面名	鉄骨フレーム柱・梁レベル伏図	縮尺 1：50	S-07 (284/402)
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



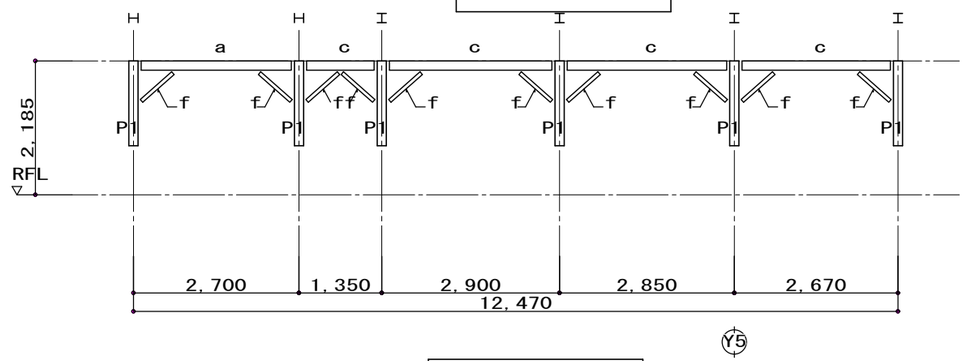
メンテナンス通路レベル伏図

特記無き限り下記とする

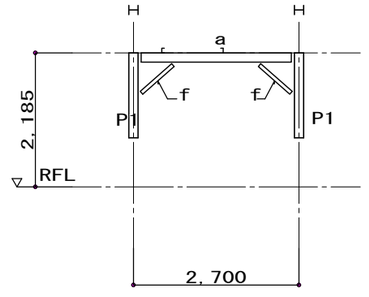
1. 梁符号：d



Y4+1700通り　軸図



X14−1800通り　軸図



Y5通り　軸図

有限会社　坂田建築士事務所 一級建築士 第356443号 構造設計一級建築士 第 10645号　坂田興平	出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS	千葉県知事登録　第1-2105-5512号 一級建築士　第113243号　出堀　義夫	工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事	図面番号 S−08 (285/402)
			図面名	メンテナンス通路レベル伏図・軸図	縮尺 1：50
			船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

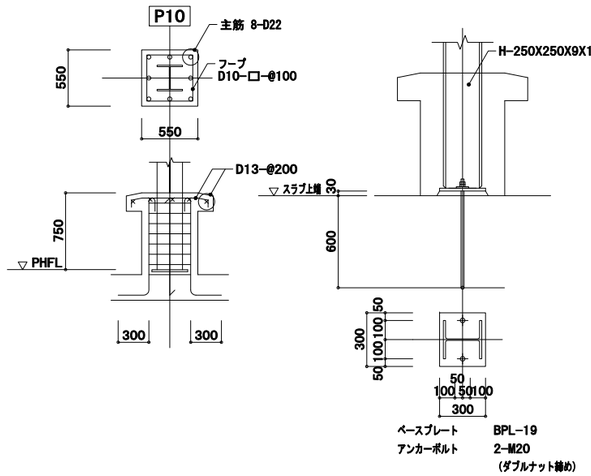
目隠しルーバー（既存:撤去のための参考図）

部材断面表

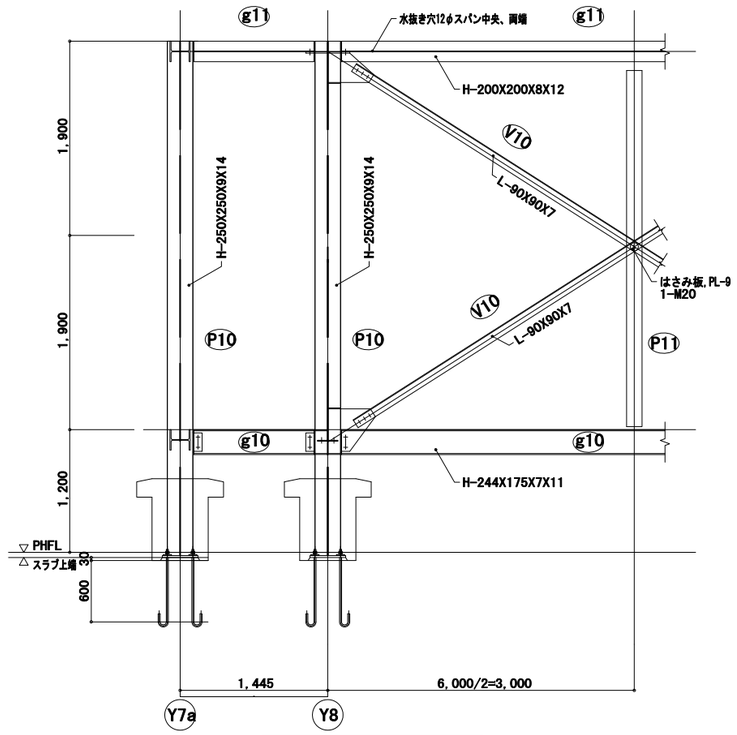
符　号	断　面	H. T. B	G. PL	備　考
P10	H-250X250X9X14			(SS400)
P11	H-150X150X7X10	2-M20	PL-9	(SS400)
g10	H-244X175X7X11	2-M20	PL-9	(SS400)
g11	H-200X200X8X12（横使い）	2-M20	PL-12	(SS400)
軸ブレース：V10	L-90X90X7	3-M20	PL-9	(SS400)

（注記）特記なき限り下記による。
1．鉄骨鋼材は溶融亜鉛メッキ工法（ＪＩＳ８６４１）とする。
2．ボルトは溶融亜鉛メッキボルト（Ｆ８Ｔ相当）建設大臣認定品

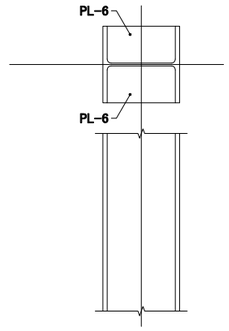
目隠しルーバー柱脚　S=1/30



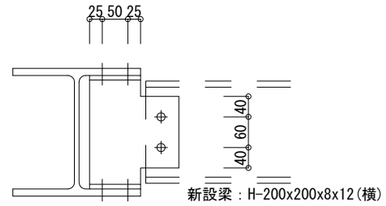
P10：柱脚詳細図　S=1/20

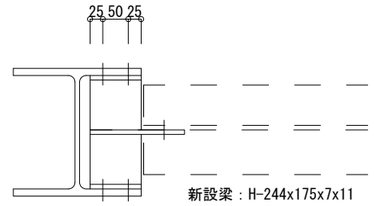


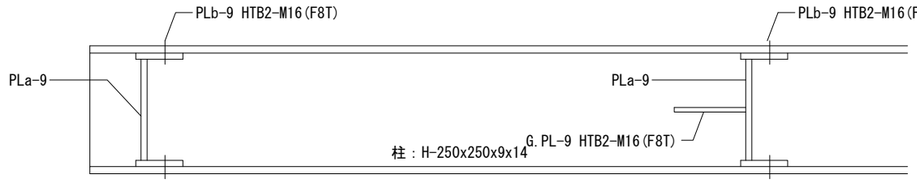
鉄骨詳細図　S=1/30

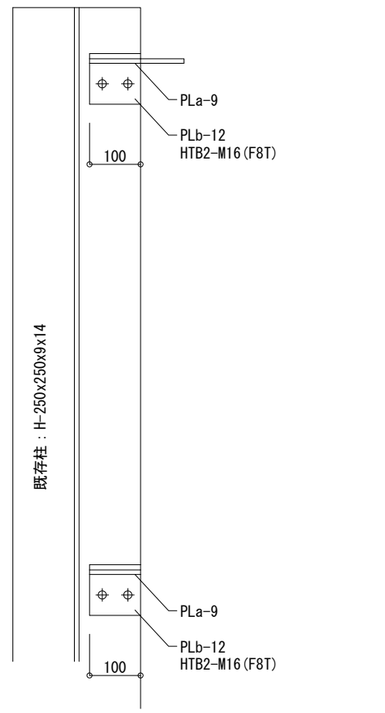


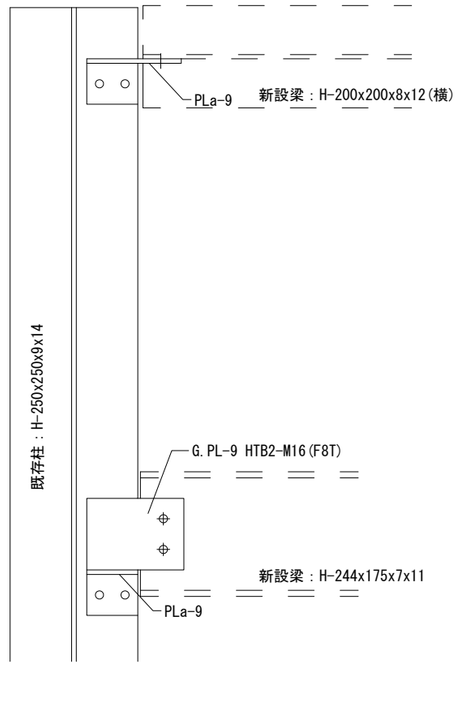
目隠しルーバー既設取り合い部詳細











・現場溶接を極力採用しない
・既存柱の新設側のみで処理できるディテールを採用
（既存柱側には同レベルにG.PL等が配置されていることが予測）
・接合方法は極力同一方法とする

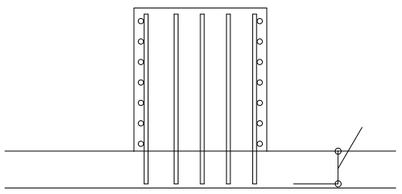
千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 S-09 (286/402)
図面名	詳細図（１）（既存）目隠しルーバー	縮尺	1:30
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

防音壁

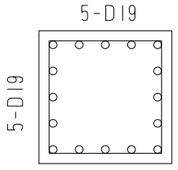
鉄骨リスト		
符　号	部　材	接合部
柱リスト		
符　号 主　柱 間　柱	部　材 H - 250X250X9X14 H - 150X150X7X10	接合部 ISベース HH2525 G.PL-6 HTB 2-M16(F8T)
梁リスト		
符　号 つなぎ梁（上） つなぎ梁（下） 胴縁 e	部　材 H - 200X200X8X12(横) H - 244X175X7X11 C-100X50X20X2.3@1200	接合部 G.PL-9 HTB 2-M16(F8T) G.PL-9 HTB 2-M16(F8T) G.PL-4.5 2-M12(中ボルト)
ブレースリスト		
符　号	部　材 L-65X65X6	接合部 G.PL-9 HTB 4-M16(F8T)
符　号	部　材	接合部

RC柱型



樹脂系アンカー（後施工アンカー）

埋込長さ160mm



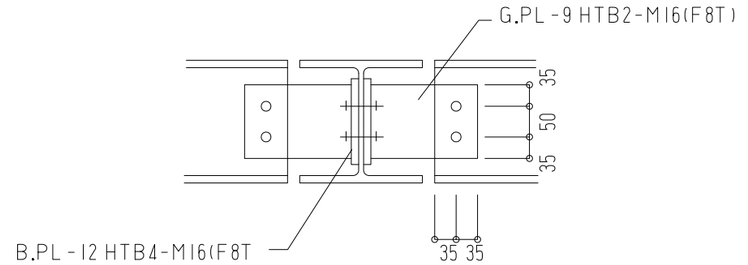
断面：650X650以上

主筋：16-D19

帯筋：ロ-D13@100

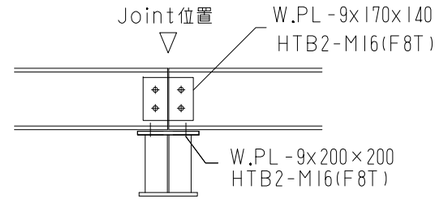
HHP既成基礎 （新設HHP1-1・HPP1-2・HHP-2共通）

ベルベース　F2　　後施工アンカー 4-M16(SS400) 埋込長さ120mm以上



既存鉄骨梁接続要領

HHP既成基礎 の鉄骨接手詳細（２か所）



千葉県知事登録　第1-2105-5512号
一級建築士　第113243号　出堀　義夫
出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS

工事名	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事		図面番号 S-10 (287/402)
図面名	詳細図（２）（既存）目隠しルーバー	縮尺 N.S.	
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	